

令和3年度

福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式
報告書

令和4年3月

公益財団法人テクノエイド協会

目次

I. 本編	1
1. 介護ロボット地域フォーラムの開催	1
2. 介護ロボット全国フォーラムの開催	4
3. 介護ロボットメーカー連絡会議の実施.....	7
4. 介護ロボット活用ミーティングの実施.....	9
5. 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組.....	12
6. 介護ロボットのプラットフォーム事業における実証フィールドの整備	23
7. 介護ロボットの試用貸出リストの作成.....	29
8. 介護ロボットの開発・導入に係る助成制度の調査	30
9. 介護ロボット導入支援事業の実態調査.....	34
10. 介護ロボットの選定に資する表示項目の周知・活用	56
11. 介護機器の安全利用に関する整理	63
12. 介護現場・開発企業、行政、マスコミ、海外等からの照会受付・情報発信	77
II. 資料編	81
1. 介護ロボット地域フォーラム 募集要項	81
2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果.....	93
3. 介護ロボット全国フォーラム パンフレット	145
4. 介護ロボット等モニター調査事業等 募集要項.....	157
5. 介護ロボットの試用貸出リスト	190
6. 介護機器の開発・導入に係る助成制度 調査結果	396
7. 介護ロボット導入支援事業等の実施状況調査 調査票	504

I. 本編

1. 介護ロボット地域フォーラムの開催

(1) 目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、介護ニーズが多様化する中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入が進められている。

こうした中、厚生労働省では「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を実施しているところであるが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集した。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とした。

○介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県

・宮城県	・秋田県	・山形県	・福島県	・茨城県	・栃木県	・群馬県
・千葉県	・東京都	・石川県	・福井県	・山梨県	・長野県	・岐阜県
・静岡県	・三重県	・滋賀県	・京都府	・奈良県	・和歌山県	・鳥取県
・島根県	・岡山県	・山口県	・香川県	・愛媛県	・高知県	・佐賀県
・長崎県	・熊本県	・大分県	・宮崎県	・沖縄県		

(2) 対象とするロボットの範囲

ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）

移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り・コミュニケーション	入浴支援
○装着  ・ロボット技術を用いて介助者のパワーアシストを行う装着型の機器	○屋外  ・高齢者等の外出をサポートし、荷物等を安全に運搬できるロボット技術を用いた歩行支援機器	○排泄物処理  ・排泄物の処理にロボット技術を用いた設置位置調節可能なトイレ	○施設  ・介護施設において使用する、センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム	 ・ロボット技術を用いて浴槽に入浴する際の一連の動作を支援する機器
○非装着  ・ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器	○屋内  ・高齢者等の屋内移動や立ち座りをサポートし、特にトイレへの往復やトイレ内での姿勢保持を支援するロボット技術を用いた歩行支援機器	○トイレ誘導  ・ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器	○在宅  ・在宅介護において使用する、転倒検知センサーや外部通信機能を備えたロボット技術を用いた機器のプラットフォーム	介護業務支援  ・ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それに基づき、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器
厚労省・経産省によるロボット技術の介護利用開発重点分野の策定 H24.11月 重点分野公表 H26.2月 追加改定(青枠) H29.10月 追加改定(赤枠)	○装着  ・高齢者等の外出をサポートし、転倒予防や歩行等を補助するロボット技術を用いた装着型の移動支援機器	○動作支援  ・ロボット技術を用いてトイレ内での下衣の着脱等の排泄の一連の動作を支援する機器	○生活支援  ・高齢者等とのコミュニケーションにロボット技術を用いた生活支援機器	

(3) 協力機関

令和3年5月24日～6月25日までの期間、募集を行い、10カ所から応募があり審査の結果、下記の8カ所に選定した。

令和3年度 介護ロボット地域フォーラム 協力機関

No	開催地	開催時期	機関名
1	栃木県	12月22日(水)	特定非営利活動法人 とちぎノーマライゼーション研究会
2	茨城県	10月25日(月) 2月4日(金)	茨城県福祉介護事業協同組合
3	石川県	1月26日(水)	一般社団法人日本福祉用具供給協会 石川県ブロック
4	静岡県	1月20日(木)	(公財)介護労働安定センター静岡支部
5	長崎県	11月15日(月)	公益財団法人ながさき地域政策研究所
6	山口県	1月26日(水)	社会福祉法人暁会
7	佐賀県	10月17日(日)	佐賀県在宅生活サポートセンター
8	沖縄県	2月21日(月)～23日(水)	一般社団法人沖縄県作業療法士会

※沖縄県は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、オンラインにて実施。

(4) 各協力機関の実施概要

① 栃木県 (来場者：147名)

【内容】

- ・ 機器体験展示 (28 機器)
- ・ シンポジウム
- ・ とちぎ福祉プラザモデルルーム企画展「介護ロボット」
(令和3年12月23日～令和4年1月14日、17 機器)

② 茨城県 (来場者：1回目40名、2回目28名)

【内容】

- ・ 機器体験展示 (16 機器)
- ・ シンポジウム
- ・ 試用貸出相談受付 (2 件)
- ・ オンライン配信

③ 石川県 (来場者：112名、Web参加者：86名)

【内容】

- ・ 機器展示 (13 機器)
- ・ シンポジウム
- ・ オンライン配信

④ 静岡県 (来場者：32名)

【内容】

- ・ 機器体験展示（18 機器）
- ・ シンポジウム

⑤ 長崎県（来場者：214名）

【内容】

- ・ 機器体験展示（17 機器）
- ・ シンポジウム

⑥ 山口県（来場者：48名）

【内容】

- ・ 企業プレゼンテーション（19 機器）
- ・ シンポジウム
- ・ オンライン配信

⑦ 佐賀県（来場者：113名、Web参加者21名）

【内容】

- ・ 機器体験展示（20 機器）
- ・ シンポジウム
- ・ 介護講座
- ・ 自助具作成体験、福祉用具謎解きイベント
- ・ 住宅相談
- ・ オンライン配信

⑧ 沖縄県（Web参加者：278名）

※オンライン開催

【内容】

- ・ 機器紹介（13 機器）
- ・ シンポジウム
- ・ トークセッション

※アンケート結果については、資料編2を参照のこと。

(5) 開催の様子



2. 介護ロボット全国フォーラムの開催

(1) 趣旨

厚生労働省と経済産業省が連携して行う介護ロボットに係る各種事業の進捗報告を行い、さらには開発・普及に向けた先駆的な取組事例の紹介等を行うことを目的として開催した。

【主な対象者】

- 高齢者や障害者の在宅及び施設サービスに従事する方
- 地域で普及を目指す行政の方
- 介護ロボット分野への新規参入または開発検討中の企業・研究機関の方
- その他、介護ロボットに興味のある福祉関係者 等

(2) 開催結果

- ① 日 時：令和4年1月26日（水）13：00～16：10
- ② 方 法：オンライン（Zoom）
※新型コロナウイルスの感染拡大により、会場開催は中止とし、シンポジウムのオンライン配信のみ実施した。
- ③ Web参加者：523名（事前登録者）

(3) プログラム

行政報告
○厚生労働省における介護テクノロジー関連政策について 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 須藤 明彦 氏
○経済産業省における福祉・ロボット介護機器産業政策について 経済産業省 商務・情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐 岡崎 健一 氏
成果報告
○福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田 良平
○介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームについて 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 情報未来イノベーション本部 先端技術戦略ユニット 山内 勇輝 氏

基調報告

介護の質と生産性を向上する未来の介護

○介護ロボット実用化支援事業の取り組み

スミリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸 ケアセンター センター長
福本 順子 氏

○コロナ禍において 介護の可能性を広げるIoTシステムの実践について

リハ・ハウス来夢 矢代 虎太郎 氏

テクノロジーの活用を提案する

○介護現場から見た見守りセンサーの活用

株式会社ツカモトコーポレーション 小林 孝路 氏

○排泄検知システムの開発と介護施設でのモニター調査結果

新東工業株式会社 開発本部開発グループ 鈴木 誉久 氏

※上記報告の詳細な資料は下記ページから取得可能。

http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab40_detail

(4) 展示を予定していた機器

会場開催では、以下の36社40機器の展示を予定していたが、新型コロナウイルスの感染拡大を受け会場開催を中止したため、機器情報および問合せ先を掲載したパンフレットを作成した。

【出展を予定していた機器】

No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ・分野	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ・分野
1	CYBERDYNE 株式会社	HAL 腰タイプ 介護・自立支援用	移乗支援	19	株式会社ラムロック	みまもり CUBE Plus- システム Light-	見守り/コミュニケーション
2	株式会社ジェイテクト	衣服型アクティブパワーアシストスーツ J-PAS(フェアリー) 自立推進トレーニングロボット J-Walker テクテック	移乗支援 移動支援	20	エイアイビューライフ株式会社	自立支援型 介護見守りシステム A.I.Viewlife 生体センサー運動版	見守り/コミュニケーション
3	メディカルクラフトン株式会社	DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)	移乗支援	21	積水化学工業株式会社	見守りセンサー ANSIEL (アンシエル)	見守り/コミュニケーション
4	株式会社アイザック	Keipu-Sb	移乗支援	22	Vayyar Imaging Japan	Vayyar Care (バイヤーカー)	見守り/コミュニケーション
5	アルジョ・ジャパン株式会社	移乗支援機器サラフレックス 移乗支援機器マキシムープ	移乗支援	23	Tellus you care, Inc.	Tellus 生活リズムセンサー	見守り/コミュニケーション
6	株式会社 あかね福祉	「移乗です」	移乗支援	24	パラマウントベッド株式会社	見守り支援システム 眠り SCAN	見守り/コミュニケーション
7	パナソニック株式会社	歩行トレーニングロボット	移動支援	25	株式会社ソルクシーズ	見守り支援システム 「いまイルモ」	見守り/コミュニケーション
8	アロン化成株式会社	歩行車リトルターン 電動アシスト付き 水洗ボータートイレ キューレット 家具調トイレ セレクト R 自動ラップ	移動支援 排泄支援	26	ミネベアミツミ株式会社	リコーみまもりベッドセンサーシステム	見守り/コミュニケーション
9	株式会社アイン	ナノミストベッドタイプ	入浴支援	27	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社	AI x 見守りサービス kizkia-Knight (きづきあ・ないど)	見守り/コミュニケーション
10	新東工業株式会社	Aiserv® 排泄検知システム	排泄支援	28	アイホン株式会社	見守りカメラ (Vi-nurse システム)	見守り/コミュニケーション
11	株式会社リリアム大塚	排泄タイミング予測支援デバイス 「リリアムスポット 2」	排泄支援	29	アイコム株式会社	IP200H (モバイル IP フォン インカム) IP100H (無線 LAN インカム)	見守り/コミュニケーション
12	株式会社ツカモトコーポレーション	AlgoSleep 介護用見守りセンサー	見守り/コミュニケーション	30	株式会社帝健	腰部負担計測用スマートデバイス	見守り/コミュニケーション
13	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ @+Dr	見守り/コミュニケーション	31	三菱総研DCS株式会社	Link & Robo for ウェルネス	見守り/コミュニケーション
14	富士通株式会社	ミリ波装置による見守りサービス	見守り/コミュニケーション	32	株式会社チカク	オンライン面会用テレビ電話	見守り/コミュニケーション
15	株式会社サイチ	みまもり花子 PLEN Cube	見守り/コミュニケーション	33	株式会社 PRIDIST	Time Tapper	ソフトウェア 介護記録
16	株式会社 ARASoftware	eye-Box smart R	見守り/コミュニケーション	34	株式会社日立情報通信エンジニアリング	日立データコレクション IC2000 -介護施設向けケア支援ソリューション-	ソフトウェア 介護記録
17	株式会社 ZIPCARE	まもるへの HOME (在宅向け) まもるへの Station (施設向け)	見守り/コミュニケーション	35	株式会社メディカルスイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット 「FUKU助」	その他
18	株式会社 TAOS 研究所	見守りセンサー AiSleep	見守り/コミュニケーション	36	株式会社アトリエ POSY	榻バズシート、set up ボード	その他

【パンフレット】 ※詳細は資料編3を参照のこと。

厚生労働省 「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

オンラインによるシンポジウム
配信のみとなりました

介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した
未来の介護

令和4年1月26日 水
11:00～16:30
TOC有明4階
コンベンションホール

参加費無料
入退場自由

公益財団法人テクノエイド協会
The Association for Technical Aids(ATA)

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

本事業は厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として行うものです。

3. 介護ロボットメーカー連絡会議の実施

(1) 趣旨

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入は不可欠となっている。

現在、福祉用具・介護ロボットの介護現場における利用は、様々な分野で、様々な主体により取り組まれており、今後さらに活用を推進するためには、介護現場のニーズを踏まえた開発、介護現場への周知・体験機会の創出、機器を活用した介護技術・業務改善方法の構築等、開発・導入・普及・活用それぞれのフェーズで時宜を得た取組を実施していくことが重要である。

また、厚生労働省では、令和2年度に「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を創設し、介護ロボットの開発から普及までの一連の流れを加速化するため、地域における開発から活用までの相談窓口（地域拠点）を設置するとともに、介護ロボットの製品化にあたっての評価・効果検証を実施するリビングラボのネットワークを形成し、さらに実証フィールドを整備し、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームを推進している。

こうした背景のもと、関係企業に対して行政の動向及び介護ロボットに関する最新の取り組み状況等について周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的とした「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することとした。

(2) 本会議の呼びかけ等

本会議の開催にあたって以下の条件に適した関係各所に周知し、582カ所に参加を促した。

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
 - ロボット介護機器開発・標準化事業（以前の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を含む。）において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
 - 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
 - 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないこととする。）
- ※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの参加名簿に基づくテクノエイド協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命イニシアティブ協議会、日刊工業新聞等にも周知をお願いします。

(3) 開催結果

- ① 日 時：令和3年6月21日（月）13:00～16:40
- ② 方 法：オンライン（Zoom）
- ③ Web参加者：367名（事前登録）

(4) プログラム

行政報告
○ロボットに係る施策の動向 厚生労働省老健局 高齢者支援課 介護ロボット開発・普及推進室 室長補佐 山田 士朗 氏
○ロボットに係る施策の動向 経済産業省商務情報政策局 ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐 村川 拓也 氏
情報提供
○福祉用具・介護ロボット実用化支援事業について ・介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組みについて アドバイス支援及びモニター調査事業等の実施 ・介護ロボット地域フォーラムの開催について ・都道府県における介護ロボットの開発・導入に係る助成事業について ・介護ロボットの試用貸出リスト等について ・その他令和3年度の主な事業の予定について 公益財団法人テクノエイド協会 五島 清国
○介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業について 株式会社NTT データ経営研究所 足立 圭司 氏
取組報告
○プラットフォーム事業におけるリビングラボの役割 産業技術総合研究所 柏リビングラボ 松本 吉央 氏
○プラットフォーム事業における相談窓口の役割 福祉カレッジ 富山県介護実習・普及センター 宮原 百合子 氏
基調報告 介護ロボットの開発・普及の最前線
○ロボット介護機器の導入・利用マニュアルの作成について 大内病院認知症疾患医療センター 松井 敏史 氏
○介護現場改革促進等事業 東京都福祉保健財団 原田 翔 氏
○ICTを活用した高齢者の孤独・孤立対策 株式会社チカク 石井 唯宏 氏

※上記報告の詳細な資料は下記ページから取得可能。

http://www.techno-aids.or.jp/robot/jigyo.shtml#tab24_detial

4. 介護ロボット活用ミーティングの実施

(1) 趣旨

少子高齢化の進行により、介護人材の不足が大きな課題となっている。

令和3年7月、厚生労働省が公表した介護職員の必要数では、令和5年度までに約22万人の人材が不足すると推計しており、総合的な介護人材確保対策の一環として、介護ロボット等の活用を掲げており、介護ロボットの導入支援や介護報酬による評価等を積極的に推進しているところである。

こうした背景のもと、当協会では、この度、介護ロボット等（介護機器や福祉用具を含む。）の導入・活用に関する情報交換の場として、「介護ロボット活用ミーティング」を開催することとした。

本ミーティングでは、介護ロボット等の導入・利活用にあたっての工夫や課題を共有化し、介護現場における介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境の構築を狙いとした。

(2) 発表者の募集

開催日ごとにテーマを設け、介護ロボット等の利用に伴う工夫や課題、アイデア等について発表を希望する介護施設等を募集し、応募のあった9施設から事例を紹介した。

(3) 本会の呼びかけ等

福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールドとして当協会に情報を登録している施設1,158か所へ案内するとともに、都道府県・政令市、介護施設系団体、マスコミなどに広く周知をお願いした。

(4) 開催結果

開催日	令和3年11月				
	15日 (月)	16日 (火)	17日 (水)	18日 (木)	19日 (金)
時間	13:00~15:00				
方法	オンライン (Zoom)				
参加者数 (事前登録)	131名	103名	61名	58名	64名

(5) 内容

11月15日(月)

テーマ	介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう ～その①～
セッション1 (13:00～14:00)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう
	①福祉用具・介護ロボットにかかわる最新情報と効果的な活用を考える(10分) 公益財団法人テクノエイド協会又は厚生労働省
	②福祉用具・介護ロボットの利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分) 暮らしの継続 ～床走行リフトとパロ、眠りscanの利用～ 特別養護老人ホームくぬぎ苑 川畑拓郎 氏 介護ロボットを用いた見守りと業務の効率化 特別養護老人ホームアガベホーム 草川春美 氏 他
	③福祉用具・介護ロボットを効果的に利用するための方策(20分) 見守り支援機器と他の機器を連携させる(仮称) パラマウントベッド(株) 岩田 剛 氏
個人ワーク (14:10～14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょう

11月16日(火)

テーマ	介護老人福祉施設等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう ～その②～
セッション1 (13:00～14:00)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう
	①福祉用具・介護ロボットにかかわる最新情報と効果的な活用を考える(10分) 公益財団法人テクノエイド協会又は厚生労働省
	②福祉用具・介護ロボットの利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分) 福祉用具を導入することで得られる効果と課題 特別養護老人ホーム 悠悠タウン江波 池田英寛 氏 他 リスクの可視化による負担減と介護意識の向上 特別養護老人ホーム クラリス 友野治真 氏
	③福祉用具・介護ロボットを効果的に利用するための方策(20分) 移乗支援の基本的な考え方(仮称) 福祉技術研究所 市川 洵 氏
個人ワーク (14:10～14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょう

11月17日(水)

テーマ	グループホーム等における課題の共有と介護機器等の活用を考えよう
セッション1 (13:00～14:00)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう
	①福祉用具・介護ロボットにかかわる最新情報と効果的な活用を考える(10分) 公益財団法人テクノエイド協会又は厚生労働省
	②福祉用具・介護ロボットの利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分) ICTを活用したその人らしさを大切にするケアの実践 ～ChatterBoxを介護現場の日常に～ グループホーム デイサービスセンター ゆめ長居公園 東出悠子 氏 IT、IOT機器の利用「オンデマンド介護」～AiSleepの利用～ 有料老人ホーム リゾートピラ雨晴 和田美津子 氏 他
	③福祉用具・介護ロボットを効果的に利用するための方策(20分) グループホームにおける、一歩進んだ見守りシステムの活用事例(仮称) エコナビスタ(株) 渡邊君人 氏
個人ワーク (14:10～14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15～15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行いましょう

11月18日(木)

テーマ	在宅高齢者の見守りに関する課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう
セッション1 (13:00~14:00)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう
	①福祉用具・介護ロボットにかかわる最新情報と効果的な活用を考える(10分) 公益財団法人テクノエイド協会又は厚生労働省
	②福祉用具・介護ロボットの利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分) 睡眠状態のモニタリングと効果 そんぼの家 苗穂(特定施設入居者生活介護) 青木聖治 氏 他 コロナ禍における終末期看取りの実践 サービス付き高齢者向け住宅 リハ・ハウス来夢 矢代虎太郎 氏
③福祉用具・介護ロボットを効果的に利用するための方策(20分) 在宅での福祉用具利用について(仮称) 武蔵野市住宅改修・福祉用具相談支援センター 堀家京子 氏	
個人ワーク (14:10~14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15~15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

11月19日(金)

テーマ	コロナ禍における課題と介護機器・ICT機器等の活用を考えよう
セッション1 (13:00~14:00)	1. 介護ロボット等の効果的な活用を促し、楽しく・働きやすい職場環境を考えよう
	①福祉用具・介護ロボットにかかわる最新情報と効果的な活用を考える(10分) 公益財団法人テクノエイド協会又は厚生労働省
	②福祉用具・介護ロボットの利用に伴う工夫や課題、アイデア等について(40分) コロナ禍における密を避ける介護 ~移乗リフトやセンサーロボットの活用~ 特別養護老人ホーム 六甲の館 溝田弘美 氏 コロナ禍における介護の工夫 ~福祉用具・介護ロボットの活用状況~ 特別養護老人ホーム新とみ 関口ゆかり 氏
③福祉用具・介護ロボットを効果的に利用するための方策(20分) コロナ禍における福祉用具の活用・研究(仮称) 安全なケア研究所 上田喜敏 氏	
個人ワーク (14:10~14:15)	2. 現状と課題の整理 セッション1を踏まえて、現状と課題、発言内容の整理
セッション2 (14:15~15:00)	3. 現場の思いをぶつけ、みんなの考えを聞こう(介護ロボット等の導入や利用にあたっての工夫や課題の共有化) オンライン上でフリーに意見交換や情報交換を行きましょう

5. 介護現場のニーズをふまえた介護機器の開発に係る取組

(1) 目的

本事業は、高齢者介護の現場において、真に必要とされる「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」）」の実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業である。

今年度は、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みとして、以下の3事業を行うこととした。

- ① 介護現場と開発企業の意見交換実施事業
- ② 試作機器へのアドバイス支援事業
- ③ 介護ロボット等モニター調査事業

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

現状・課題

【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・**介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない**
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・**介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない**

マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

(2) 対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとした。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）事業内容

① 介護現場と開発企業の意見交換実施事業

【概要】

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等について話し合いを行うこととした。

【募集対象者】

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

【実施内容】

- 募集件数（先着順）
15件程度
- 実施時期
令和3年6月28日～（※実施期間：1日～2日程度 協力施設等と要相談）
- 費用の交付
介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円
- 新型コロナウイルス等感染症予防の対策
原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議での実施も可とした。

【実施結果】

本事業は、令和3年6月28日より公募を開始し全部で5企業（6機器）、16案件のマッチングを実施した。

【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
テレビ電話機能付 まごチャンネル	(株) チカク	社会福祉法人ケアネット 特別養護老人ホーム陽だまり
		日本基準寝具株式会社
		社会福祉法人シルヴァーウィング 戸山いつきの杜
傾聴コミュニケーション ロボット	新東工業 (株)	スマリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸
		社会福祉法人悦生会 特別養護老人ホームなごみの里
		小規模多機能ホームみんなの家かるがも
受付対応ロボット	新東工業 (株)	株式会社櫻ブレイン グループホーム/小規模多機能ホーム樹
		社会福祉法人ウエル清光会 特別養護老人ホーム美豊苑
オンライン診療ロボ	日立チャネル ソリューションズ (株)	株式会社 connect グループホームおおきな木
		社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム新とみ
		社会福祉法人シルヴァーウィング 戸山いつきの杜
排泄動作支援ロボット	リーフ (株)	スマリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸
		特別養護老人ホーム塩屋さくら苑
		社会福祉法人宣長康久会 特別養護老人ホームささづ苑かすが
入居型介護施設向け 服薬支援装置	リコーテクノロジーズ (株)	介護老人保健施設 フルリールむかわ
		介護老人保健施設 寺田ガーデン

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2021」の第2章を参照されたい。

② 試作機器へのアドバイス支援事業

【概要】

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促すこととする。

【募集対象者】

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

【実施内容】

- 募集件数（先着順）
20件程度
- 実施時期
令和3年6月28日～（※実施期間：1週間～1ヶ月 協力施設等と要相談）
- 費用の交付
介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、8万円
- 新型コロナウイルス等感染症予防の対策
原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議での実施も可とした。

【実施結果】

本事業は、令和3年6月28日より公募を開始し全部で7企業（7機器）、21案件のマッチングを実施した。

【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
Time Tapper	(株) PRIDIST	社会医療法人杏嶺会 尾西記念病院
		社会福祉法人シルヴァーウイング 特別養護老人ホーム新とみ
		株式会社未来図 Labo デイサービス未来図
差尺式移乗機器 「TOPing (仮称)」の開発	(有) 京和工業	株式会社未来図 Labo デイサービス未来図
		一般社団法人白新会 Natural being
		社会医療法人杏嶺会 尾西記念病院
おむつモニター (排泄通知システム)	(株) エフエージェイ	介護老人保健施設エルダーランド 特別養護老人ホーム塩屋さくら苑
		介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
介護用 “ベッドの上で入浴” 機器	ベッドの上で入浴企画 (株)	社会福祉法人シルヴァーウイング 特別養護老人ホーム新とみ
		社会福祉法人長寿村 大田翔裕園
		かわさきJプロジェクト
体圧分散寝衣 ネマキュア	(株) フィッツ インターナショナル	スミリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸
		社会福祉法人なごや福祉施設協会 特別養護老人ホームなごやかハウス 滝ノ水
		医療法人和同会 広島パークヒル病院
マスク通気アタッチメント B T	(株) パイロット コーポレーション	(株) こだち デイサービス木まち
		evergreen SUPPORT OFFICE
		かわさきJプロジェクト
ミリ波装置による見守り サービス	富士通 (株)	スミリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸
		社会福祉法人弘陵福祉会 特別養護老人ホーム六甲の館
		社会福祉法人ときわ会

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2021」の第3章を参照されたい。

③ 介護ロボット等モニター調査事業

【概要】

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行う。また、モニター調査と合わせて実証試験を行うことも可能とした。

【募集対象者】

- 本モニター調査においては、テクノエイド協会が公募要項に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等を対象とする。
- 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等を対象とする。

【実施内容】

- 募集件数（先着順）
15件程度
- 実施期間
1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）
- 費用の交付
モニター協力費として、15万円（応募企業に対する費用は交付なし）
- 実施の留意点
 - ・モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的とした。
 - ・モニター調査の内容はテクノエイド協会のホームページより、情報提供を行うため、それに同意することとした。
 - ・適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、テクノエイド協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行うこととした。
 - ・モニター調査は利用者の同意を得て実施することとし、また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施を必須とした。
- 新型コロナウイルス等感染症予防の対策
原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議での実施も可とした。

【モニター調査検討委員会の設置】

モニター調査案件の選考にあたっては、協会に設置するモニター調査検討委員会の審議を経て決定することとした。

検討委員の具体的な役割としては、モニター調査を行うことの妥当性等について、事前確認を行うとともに、当該機器の開発者が介護施設等において、より効果的なモニター調査が行えるよう、専門的な視点からアドバイスを行った。

【モニター調査検討委員 一覧】

(委員)

(五十音順・敬称略)

氏名	所属機関
市川 洌	福祉技術研究所株式会社
鈴木 健太	社会福祉法人 友愛十字会 特別養護老人ホーム 砧ホーム
鈴木 光久	社会福祉法人 名古屋市総合リハビリテーション事業団
福辺 節子	一般社団法人白新会 Natural being
古田 恒輔	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
◎ 山内 繁	NPO法人支援技術開発機構
渡邊 慎一	社会福祉法人横浜市総合リハビリテーションセンター

◎委員長

(オブザーバー)

(敬称略)

東 好宣	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
山田 士朗	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
長倉 寿子	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
須賀 祐太	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室
舛井健一郎	厚生労働省 老健局 介護ロボット開発・普及推進室

【モニター調査検討委員会の開催】

● 第1回モニター調査検討委員会

- ・日時：令和3年8月10日（火）10：00～17：00
- ・方法：オンライン（Zoom）
- ・内容：

応募結果についての報告
 応募企業によるプレゼンテーション
 採択候補案件の決定及び、指導すべきポイントの確認

● 第2回モニター調査検討委員会

・日時：令和4年3月4日（金）9：00～16：10

・方法：オンライン（Zoom）

・内容：

〔 採択企業による成果報告

〕 今年度のモニター調査を振り返り、委員よりコメントを頂いた

【実施結果】

本事業は令和3年6月28日～7月28日まで募集を行い、17企業（18機器）より応募があり、先述したモニター調査検討委員会を経て、15企業（16機器）を採択した。

開発・実証フィールドの登録施設に募集を行った結果、すべての案件でモニター調査を実施することができた。

※実施結果の概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2021」の第4章を参照されたい。

【案件一覧】

機器名称	応募事業者	協力機関
【排泄支援】リリアムスポット2	(株) リリアム大塚	医療法人和光会 ファミリーケア島
【その他】こいじゃる!	(株) AKシステム	特別養護老人ホーム 利倉清豊苑
【その他】ピタッとストッパー	(株) AKシステム	介護老人保健施設フルリールむかわ
【見守り】骨格認識AIによる介護施設向け見守りシステム	エコナビスタ (株)	社会福祉法人和光会 ファミリーコート加納
【見守り】自動巡回、自動駆付けロボット	(株) テムザック	社会福祉法人友愛十字会 特別養護老人ホーム砧ホーム
【見守り】アルゴスリーブ介護用見守りセンサー	(株) ツカモトコーポレーション	社会福祉法人友愛十字会 特別養護老人ホーム砧ホーム
【その他】除菌バック	歯っぴー (株)	社会福祉法人シルヴァーウィング 特別養護老人ホーム みさよはうす富久
【移乗支援】「移乗です」	(株) あかね福祉	特別養護老人ホーム うみべの家
【入浴支援】シャワー温浴システム 切替弁タイプ	積水ホームテクノ (株)	evergreen SUPPORT OFFICE
【見守り】見守りセンサー+介護記録システム	エフ・アイ・ティー・パシフィック (株)	スミリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸
【入浴支援】ナノミストバスキャリータイプ	(株) EINS	グループホーム いろいろ端水戸
【介護業務支援】スマホシステム Sunrise Beach	(株) ヨコハマシステムズ	介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
【見守り】見守り介護ロボット「エンジェルアイ」	(株) コンフォート	社会福祉法人シルバーウィング 戸山いつきの社
【見守り】見守り支援システム「眠りSCAN Viewer」機器連携ソリューション	パラマウントベッド (株)	社会福祉法人竹清会 特別養護老人ホーム 美郷
【その他】認知機能、上肢機能及びADL維持向上を目的としたリハビリプログラム 植物パズル療法	(株) アトリエPOSY	介護付き有料老人ホーム 夕佳ゆめみがさき
【移動支援】歩行トレーニングロボット	パナソニック (株)	スミリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸

今回のモニター調査のねらい

番号	開発機器名	今回のモニター調査のねらい
1	リリアムスポット2	○超音波を用いたトイレ誘導の効率化により、介護者の負担軽減のみならず、利用者ご本人の排尿自立へつなげる
2	こいじゃる！	○リハビリ時間以外での「こいじゃる！」導入に関する可能性を調査したい
3	ピタッとストッパー	○ピタッとストッパーの導入効果、利用を通じての良い点、改良点などについて調査したい
4	骨格認識AIによる介護施設向け見守りシステム	○見守り性能・機能性・導入・運用・ユーザービリティの確認
5	自動巡回、自動駆け付けロボット	○介護現場における現場のニーズを的確に捉えているか？ ○夜間、介護スタッフ人数の少なくなる場面で、見守り・定時巡回・駆け付けなどの業務の負担軽減につながるか？
6	アルゴスリーブ 介護用見守りセンサー	○どれだけ作業効率化が行われるか ○蓄積されたデータ(レポート)がどのように介護の現場で活かせるのか、活かすためにはどのようなデータが必要なのか
7	除菌バック	○入れ歯の除菌での実証 ○接触感染対策として調査や意見抽出
8	「移乗です」	○使用方法やカタログ及び使用動画を見て思ったイメージ通りに「かんたん・らくちん」に使用する事が出来たか？及び定着出来そうか？
9	シャワー温浴システム 切替弁タイプ	○自宅の浴室で温まることができる ○介助者が浴槽出入りの介助をせずに済み、負担が軽減される ○自分に近い位置から水栓の切替操作ができる
10	見守りセンサー +介護記録システム	○サービスの質向上や介護業務の大幅改善 ○職員定着、働き方改革など、経営改善への貢献 ○介護ロボット・ICT化を簡単に導入できるシステムとしての可能性
11	ナノミストバス キャリータイプ	○入浴が困難な方に試用して欲しい ○介助する方の負担軽減となる入浴製品でありたい
12	スマホシステム Sunrise Beach	○サービスの質向上のためのコミュニケーションの手法や事例を集める
13	見守り介護ロボット 「エンジェルアイ」	○利便性・どの程度転倒事故を事前に防げるか・介護業務の負荷軽減効果・声かけによる認知症進行防止効果・スマートフォンを利用した介護効果

番号	開発機器名	今回のモニター調査のねらい
14	見守り支援システム「眠り SCAN Viewer」機器連携ソリューション	○見守り支援システムと他機器・システムが連携することで、それぞれが単独で提供できる価値に加え、+αの価値を提供できるか
15	認知機能、上肢機能及び ADL 維持向上を目的としたリハビリプログラム植物パズル療法	○介護職員が行うための学習内容及び方法の評価検討 ○アレンジキットの使用感と介護現場での利用継続の有無 ○作業ボードとシートの使用方法
16	歩行トレーニングロボット	○日常運用に組み込む際の課題や、実際の利用における課題・ニーズの抽出

※上記案件の詳細な実施概要については、別冊として作成した「福祉用具・介護ロボットの開発と普及 2021」の第4章を参照されたい。

6. 介護ロボットのプラットフォーム事業における実証フィールドの整備

(1) 趣旨

テクノイド協会では平成25年より、「福祉用具・介護ロボットの開発実証環境を整備するための事業」として、介護ロボット等の開発実証に積極的にご協力いただける協力施設等の募集を行い、年々登録件数を増やしてきた。

今年度は、「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」として名称を変更する共に、登録情報の活用方法の見直しや、登録サイトを一新することとし、改めて本取組みの目的に賛同いただける協力施設等の募集を行った。

(2) 協力施設等の募集

協力施設等の募集は、既存の登録者にメールマガジンを送付する方法と、自治体や事業者団体の中央組織に対して郵送を行う2つの方法で行った。

募集件数：2,859件
(内訳) 郵送：2,290件
メール：569件

【主な郵送先】

	送付先名
1	都道府県高齢者主管課
2	市町村高齢者主管課
3	介護実習・普及センター
4	リハビリテーションセンター
5	公益社団法人全国老人福祉施設協議会
6	公益財団法人全国老人保健施設協会
7	全国社会福祉施設経営者協議会
8	社団法人全国有料老人ホーム協会
9	公益財団法人日本認知症グループホーム協会
10	一般社団法人日本ユニットケア推進センター
11	全国身体障害者施設協議会
12	全国軽費老人ホーム協議会
13	一般社団法人日本在宅介護協会
14	社団法人日本作業療法士協会
15	社団法人日本理学療法士協会
16	社団法人日本介護福祉士会
17	日本慢性期医療協会
18	社団法人日本リハビリテーション医学会
19	公益社団法人日本看護協会
20	日本介護支援専門員協会

(3) 登録方法

登録にあたってはテクノエイド協会のホームページに専用の登録サイトを再構築した。加えて、登録時の入力項目を目的に合わせて修正・加筆した。

- ① 専用サイトのイメージ (<http://www.techno-aids.or.jp/robot/>)

The image shows a webpage titled 「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について (登録のお願い). The page has a green and white color scheme with a background image of a plant. The main heading is 「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールドを募集します!」. Below this, there are sections for 「背景・目的」, 「介護ロボットの開発・実証フィールドとは?」, 「募集する介護施設等」, and 「登録方法」. At the bottom, there are two numbered boxes: 1. 「介護施設、リハビリテーションセンター等の方はこちら」 and 2. 「都道府県、市町村、介護実習・普及センター、地域包括支援センター等の方はこちら」. A red note at the bottom says 「※) 一時保存できないため、あらかじめ入力内容をご確認ください」.

「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド」の募集について (登録のお願い)

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールドを募集します!

背景・目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、高齢者の自立支援と介護者の負担軽減、さらに質の高い介護サービスを効果的に行うためには、ロボット技術を用いた福祉用具・介護ロボット（介護ロボット等）の開発と利活用が不可欠です。厚生労働省では「介護ロボット導入支援事業」において、介護現場への介護ロボット等の導入支援を行っているところですが、介護現場のニーズを踏まえた開発や有効性の検証等を促進するためには、介護現場と開発企業等の連携がより一層必要とされています。こうした背景を踏まえ、テクノエイド協会では、介護ロボット等の開発・実証フィールドを募集し、介護ロボット等の開発及び、効果の検証等をより一層推進することを目的としております。本事業の趣旨をご理解いただき、賛同いただける介護保険の施設・居宅サービス等の関係事業者様におかれましては、ご登録いただけますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

介護ロボットの開発・実証フィールドとは?

これまでと同様ですが、福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、開発中や上市して間もない介護ロボット等に対する意見交換やアドバイス、モニター調査に協力する意向を示していただいている介護施設や事業所となります。また、実証フィールドとは、開発中の介護ロボットの安全性や使用効果の評価・検証等に協力する意向を示していただける介護施設等とさせていただきます。どちらも個別の案件がある度に、事務局よりメールにて情報配信させていただきます。最終的には当該案件の内容をご確認いただき、協力の可否を判断していただければと思います。

募集する介護施設等

介護保険の施設・居宅サービス 関係事業者 等
※) 登録はサービス事業所単位となります。
※) 介護保険以外の医療機関や障害者施設・居宅サービスの事業者も登録可能です。

登録方法

下記の入力フォームより登録を行って下さい。

- 1 介護施設、リハビリテーションセンター等の方はこちら
- 2 都道府県、市町村、介護実習・普及センター、地域包括支援センター等の方はこちら

※) 一時保存できないため、あらかじめ入力内容をご確認ください

② 登録項目の修正・加筆

介護ロボット等の導入に関する意向

11.介護ロボット等を活用して業務を改善したい分野（特に介護の必要度が高い分野）
※複数選択可【必須】

移乗 移動 入浴 排泄 見守り
 認知症ケア 機能訓練 洗濯 掃除 買い物
 その他

12.介護ロボット等のモニター協力等にあたっての要望

13.介護ロボット等の開発に対する期待・要望

14.介護ロボット等の最新情報やモニター協力等に関する情報提供のご希望

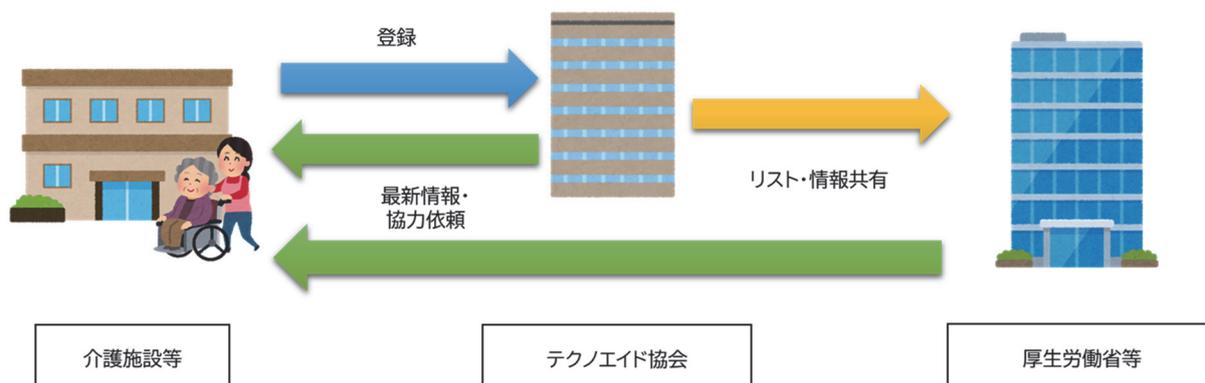
介護ロボットの意見交換やアドバイス支援、モニター調査協力に関する情報（これまでと同様です。）
 介護の開発・実証・普及のプラットフォームや大規模実証等に関する情報
 その他介護ロボットに関する最新の情報等
 ※最新情報やモニター協力等に関する情報をメールでお送りさせていただきます。

本意向登録フォームで作成したリストは、厚生労働省及びテクノエイド協会にて活用させていただきますとともに、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業や大規模実証の受託者等にも提供させていただきます。

介護ロボット等の導入に関する意向の項目を簡素化した。一方で情報提供の希望については、細分化し登録者に意向に沿った内容のメール配信が行えるよう考慮した。

(4) 登録リストの活用

登録情報はリスト化することで、厚生労働省等と情報共有を図り、各種事業の周知に活用できる仕組みとした。具体的には、プラットフォーム事業や効果測定事業においても登録リストを活用した。

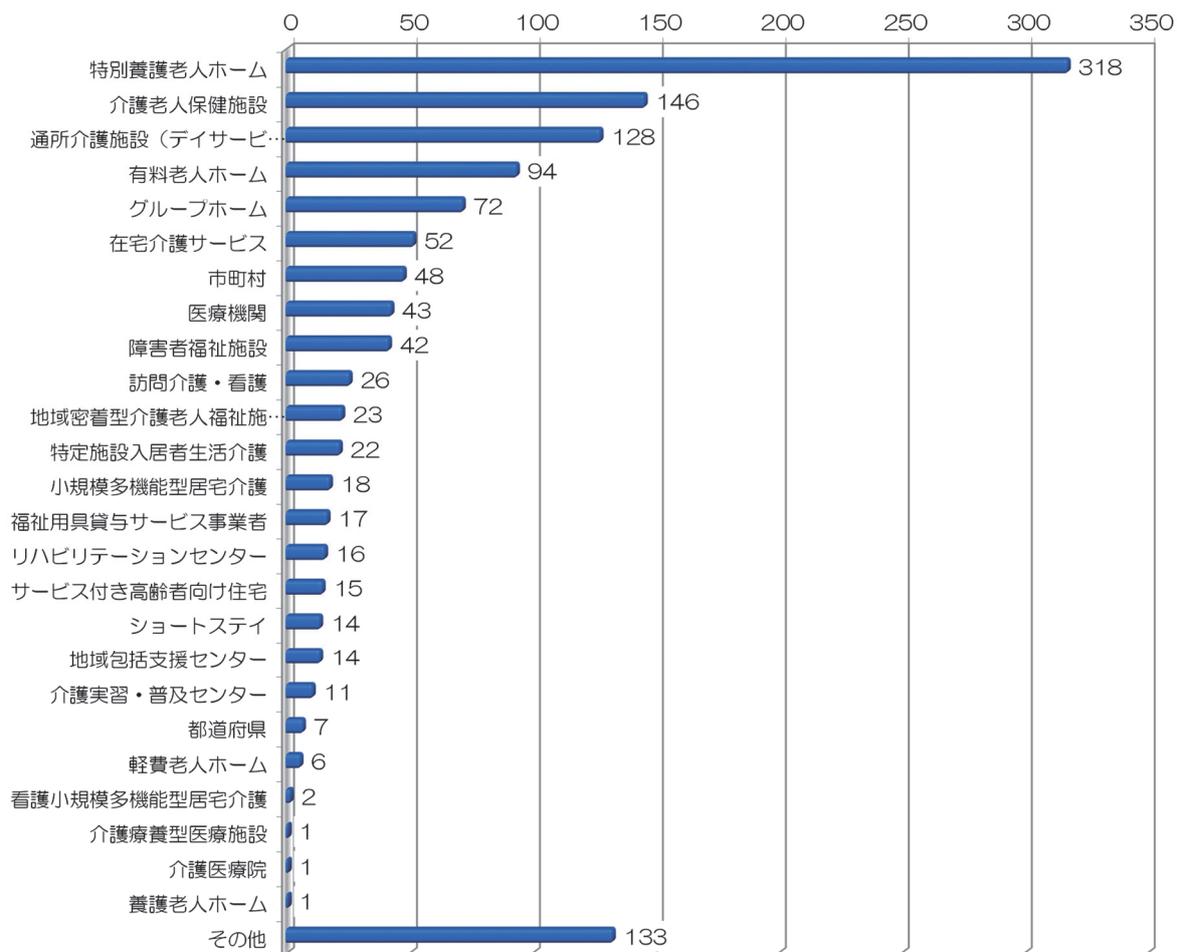


(5) 登録状況（令和4年2月24日時点）

募集を行った結果、昨年と同じ時期に比べ、登録件数が661件から1,270件と約2倍に増えた。詳細については、以下の通り。

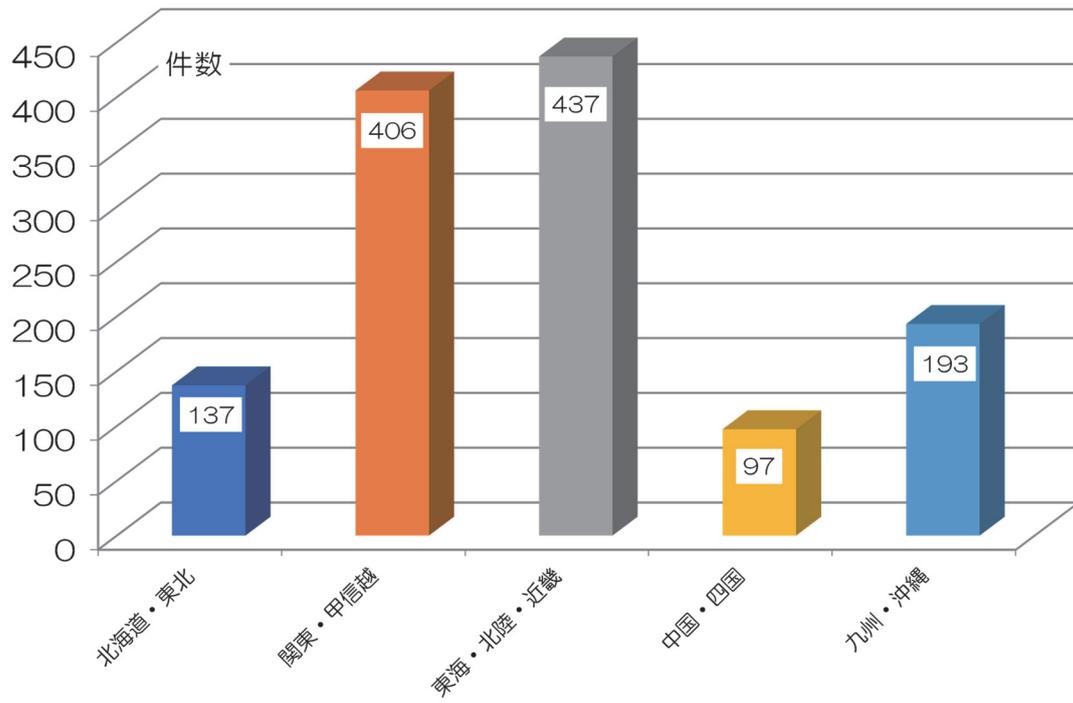
【種別ごと登録状況】

登録件数(種別)		
特別養護老人ホーム	318	(25.0%)
介護老人保健施設	146	(11.5%)
通所介護施設(デイサービス)	128	(10.1%)
有料老人ホーム	94	(7.4%)
グループホーム	72	(5.7%)
在宅介護サービス	52	(4.1%)
市町村	48	(3.8%)
医療機関	43	(3.4%)
障害者福祉施設	42	(3.3%)
訪問介護・看護	26	(2.0%)
地域密着型介護老人福祉施設入	23	(1.8%)
特定施設入居者生活介護	22	(1.7%)
小規模多機能型居宅介護	18	(1.4%)
福祉用具貸与サービス事業者	17	(1.3%)
リハビリテーションセンター	16	(1.3%)
サービス付き高齢者向け住宅	15	(1.2%)
ショートステイ	14	(1.1%)
地域包括支援センター	14	(1.1%)
介護実習・普及センター	11	(0.9%)
都道府県	7	(0.6%)
軽費老人ホーム	6	(0.5%)
看護小規模多機能型居宅介護	2	(0.2%)
介護療養型医療施設	1	(0.1%)
介護医療院	1	(0.1%)
養護老人ホーム	1	(0.1%)
その他	133	(10.5%)
合計	1270件	(100.0%)



【地域別登録状況】

登録件数(地域別)		
北海道・東北	137	(10.8%)
関東・甲信越	406	(32.0%)
東海・北陸・近畿	437	(34.4%)
中国・四国	97	(7.6%)
九州・沖縄	193	(15.2%)
	1270件	(100.0%)



7. 介護ロボットの試用貸出リストの作成

(1) 趣旨

介護ロボット開発企業等に対して試用貸出への参加を募り、同意を得ることができた企業・製品名等を掲載した「介護ロボットの試用貸出リスト」を作成した。

リストへの掲載は、重点分野に該当する介護ロボットを基本とし、試用貸出を行うことに同意した企業の機器情報及び詳細情報を掲載した。

取り纏めたリストは、厚生労働省が実施する介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の相談窓口において、開発企業と試用貸出を希望する介護施設等間の取次等で活用される。

これにより介護ロボットの効果的な導入支援・利活用を推進することとした。

(2) 掲載の対象

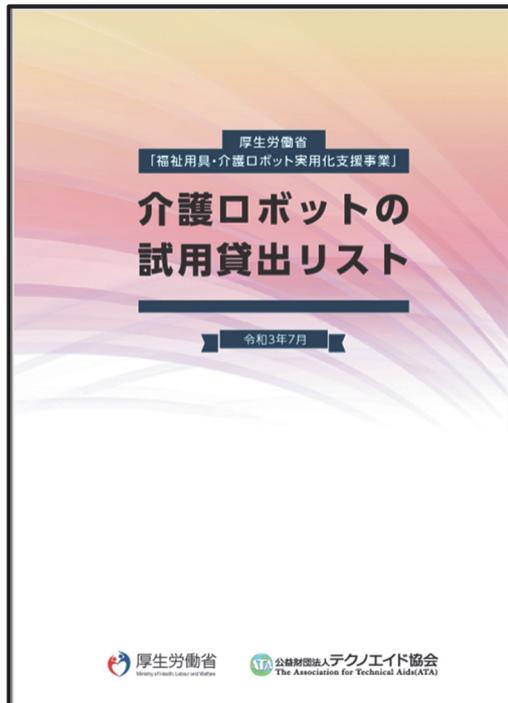
重点分野に該当する分野の介護ロボットを基本として、介護ロボットメーカー連絡会議及び介護ロボットフォーラムへの参加企業及び、厚生労働省が行う「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」や経済産業省（AMED）が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」において開発支援を受けた機器等のうち、既に商品化している機器とした。

また、リスト掲載にあたっては、全国各地からの要望に応じる試用貸出を行うことに同意した企業の機器とした。

(3) 掲載募集について

令和3年5月17日～6月4日まで募集を行い、掲載対象の機器に該当する46企業（50製品）を掲載した。

※資料編5を参照のこと。



各介護ロボットの仕様等については、令和2年度にテクノエイド協会にて作成した「介護ロボットの表示項目」に沿って情報収集した。

これにより現場における介護ロボットの比較検討に寄与することとした。

8. 介護ロボットの開発・導入に係る助成制度の調査

(1) 開発に係る助成制度の調査

① 目的

介護ロボット等の開発にあたり、各都道府県等において実施している企業が活用できる助成制度を調査し、その結果を一覧に取り纏め、介護ロボット等の開発メーカー等へ提供するとともに、厚生労働省が行う「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」の相談窓口やリビングラボネットワーク、研究機関等へ情報提供することとした。

また、結果の一覧については、当協会のホームページにも掲載した。

② 調査対象

- ・都道府県及び政令指定都市、中核市における産業振興担当の窓口
- ・地域において介護機器の開発に係る助成事業を行っている法人等

③ 調査内容

介護機器の開発にあたり、企業が活用できる助成制度の内容について、以下の事項について、調査することとした。

- ・事業の名称
- ・実施団体
- ・事業内容
- ・対象者
- ・範囲または条件
- ・公募期間
- ・予算規模
- ・実績
- ・主管課及び実施団体の窓口

④ 調査結果

都道府県別の結果は以下の通り。※詳細は資料編6に掲載のこと。

掲載総件数	87件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件
2	青森県	5件
3	岩手県	2件
4	宮城県	3件
5	秋田県	1件
6	山形県	1件
7	福島県	7件
8	茨城県	1件
9	栃木県	1件
10	群馬県	2件
11	埼玉県	1件
12	千葉県	1件
13	東京都	1件
14	神奈川県	8件
15	新潟県	4件
16	富山県	2件
17	石川県	1件
18	福井県	2件
19	山梨県	3件
20	長野県	2件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	4件
23	愛知県	1件
24	三重県	0件
25	滋賀県	1件

No.	都道府県	掲載件数
26	京都府	2件
27	大阪府	1件
28	兵庫県	1件
29	奈良県	1件
30	和歌山県	2件
31	鳥取県	3件
32	島根県	2件
33	岡山県	1件
34	広島県	2件
35	山口県	1件
36	徳島県	0件
37	香川県	0件
38	愛媛県	1件
39	高知県	1件
40	福岡県	3件
41	佐賀県	1件
42	長崎県	1件
43	熊本県	3件
44	大分県	1件
45	宮崎県	0件
46	鹿児島県	1件
47	沖縄県	0件
48	全 国	1件

※令和3年11月時点

(2) 導入に係る助成事業の調査

① 目的

介護ロボット等の導入にあたり、各都道府県等において実施している介護施設や居宅介護事業所等が活用できる助成制度を調査し、その結果を一覧に取り纏め、介護ロボット等の開発メーカー等へ提供するとともに、厚生労働省が行う「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム」の相談窓口やリビングラボネットワーク、研究機関等へ情報提供することとした。

また、結果の一覧につきましては、当協会のホームページにも掲載した。

② 調査対象

- ・都道府県及び政令指定都市における高齢福祉担当の窓口

③ 調査内容

介護機器の導入にあたり、介護施設等が活用できる助成制度の内容について、以下の事項について、調査することとした。

- ・事業の名称
- ・実施団体
- ・事業内容
- ・対象者
- ・範囲または条件
- ・公募期間
- ・予算規模
- ・実績
- ・主管課及び実施団体の窓口

④ 調査結果

都道県別の結果は以下の通り。※詳細は資料編6に掲載のこと。

掲載総件数	61件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件
2	青森県	1件
3	岩手県	1件
4	宮城県	1件
5	秋田県	1件
6	山形県	1件
7	福島県	2件
8	茨城県	1件
9	栃木県	1件
10	群馬県	1件
11	埼玉県	1件
12	千葉県	2件
13	東京都	1件
14	神奈川県	5件
15	新潟県	1件
16	富山県	1件
17	石川県	1件
18	福井県	1件
19	山梨県	1件
20	長野県	1件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	1件
23	愛知県	1件
24	三重県	1件
25	滋賀県	1件

No.	都道府県	掲載件数
26	京都府	1件
27	大阪府	1件
28	兵庫県	1件
29	奈良県	1件
30	和歌山県	2件
31	鳥取県	2件
32	島根県	1件
33	岡山県	3件
34	広島県	1件
35	山口県	1件
36	徳島県	1件
37	香川県	1件
38	愛媛県	1件
39	高知県	1件
40	福岡県	3件
41	佐賀県	1件
42	長崎県	1件
43	熊本県	1件
44	大分県	1件
45	宮崎県	1件
46	鹿児島県	1件
47	沖縄県	1件

※令和3年11月時点

9. 介護ロボット導入支援事業の実態調査

(1) 調査目的

介護ロボットの活用を促進するためには現在の導入実態を把握することが重要である。そこで、都道府県等における介護ロボット導入支援事業等の実施状況について調査を実施した。

(2) 実施概要

調査対象：47都道府県の介護ロボット導入支援事業所管部署（全件回収）

実施方法：電子メールまたはFAXにより調査票送付、電子メールにて回収

調査期間：令和3年11月15日（月）～令和3年12月17日（金）17：00

※回収締切までに11月末時点の状況未報告の都府県については、個別に未回答箇所の回答を依頼した

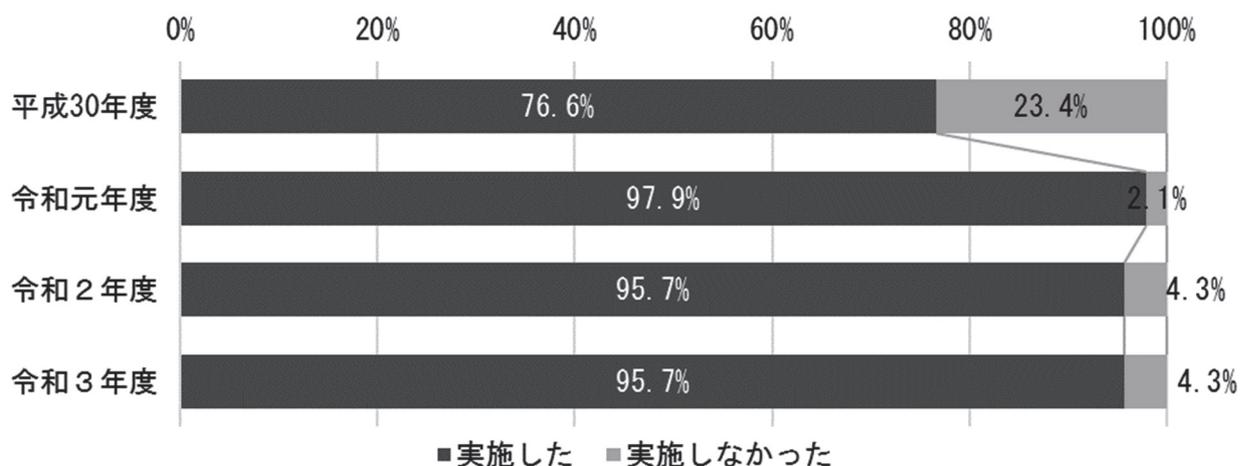
(3) 調査結果

①地域医療介護総合確保基金による令和3年度「介護ロボット導入支援事業」の実施概況

a) 介護ロボット導入支援事業の実施状況

令和3年度は45件で地域医療介護総合確保基金による介護ロボット導入支援事業が実施された。「実施しなかった」という回答は2県あり、その理由はいずれも地域医療介護総合確保基金以外の財源で、介護ロボットの導入支援事業を実施したというものであった。令和元年度以降、「実施した」の割合は95%以上となっている。

	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
実施した	36	76.6%	46	97.9%	45	95.7%	45	95.7%
実施しなかった	11	23.4%	1	2.1%	2	4.3%	2	4.3%
合計	47	100%	47	100%	47	100%	47	100%



「実施しなかった」理由

- ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を財源として実施したため
- ・令和2年度に交付された地方創生臨時交付金を活用（繰越）して事業を実施しているため

来年度の実施予定については、46件が「来年度実施を予定している」と回答した。令和3年度に介護ロボット導入支援事業を実施した45件を対象に、来年度の実施予定と実施内容を確認したところ、33件は「今年と同様に実施」、9件は「内容をより充実させて実施」、2件は「テーマ、分野を絞って実施」、1件は「実施しない」と回答した。

【来年度の実施予定】

割合	回答数	割合
来年度実施を予定している	46	97.9%
実施の予定はない	1	2.1%
合計	47	100%

【来年度、どのように実施するか（今年度事業を実施した都道府県のみ回答）】

	回答数	割合
今年と同様に実施	33	73.3%
内容をより充実させて実施	9	20.0%
テーマ、分野を絞って実施	2	4.4%
実施しない	1	2.2%
合計	45	100%

「内容をより充実させて実施」と回答した場合の具体的な内容（主な回答）

- ・予算を増額して実施の見込み。
- ・一定の要件を満たす事業所について、補助率を3/4とする。
- ・見守り支援機器と通信環境整備に係る一体的補助を追加予定。
- ・見守りセンサー機器導入に伴う通信環境整備を補助対象経費に加える。
- ・移乗支援のうち、非装着型の機器のみ補助対象に追加する。
- ・事業所の導入担当職員等を対象とした導入支援セミナーを実施する。

b) 公募期間

令和3年度介護ロボット導入支援事業を実施した45件の公募期間は以下のとおり。

	公募開始	公募終了（予定）	追加募集	
			公募開始（予定）	公募終了（予定）
北海道	令和3年7月12日	令和3年8月13日		
青森県	令和3年8月26日	令和3年10月15日		
岩手県	令和3年10月7日	令和3年11月12日		
宮城県	令和3年8月27日	令和3年10月15日		
秋田県	令和3年5月27日	令和3年7月12日	令和3年10月6日	令和3年11月5日
山形県	令和3年8月31日	令和3年10月1日		
福島県	令和3年7月21日	令和3年8月16日		
茨城県	令和3年4月30日	令和3年6月4日	令和3年10月20日	令和3年10月26日
栃木県	令和3年4月1日	令和4年3月31日		
群馬県	令和3年3月24日	令和3年5月10日		
埼玉県	令和3年7月12日	令和3年8月31日		
千葉県	令和3年10月27日	令和3年11月17日		
東京都	令和3年8月10日	令和3年9月24日		
神奈川県	令和3年5月24日	令和3年6月25日		
新潟県	令和3年5月27日	令和3年6月28日		
石川県	令和3年4月1日	令和3年7月1日	令和3年9月30日	令和3年10月29日
福井県	令和3年6月11日	令和3年7月9日	令和3年10月8日	令和3年11月5日
山梨県	令和3年7月1日	令和3年8月2日		
長野県	令和3年7月21日	令和3年8月31日		
岐阜県	令和3年5月24日	令和3年6月21日		
静岡県	令和3年9月22日	令和3年10月15日		
愛知県	令和3年6月1日	令和3年6月25日		
三重県	令和3年7月9日	令和3年7月30日		
滋賀県	令和3年6月14日	令和3年7月9日	令和3年10月11日	令和3年11月10日
京都府	令和3年9月13日	令和3年10月29日		
大阪府	令和3年7月1日	令和3年8月31日		
兵庫県	令和3年8月10日	令和3年9月10日		
奈良県	令和3年2月26日	令和3年3月12日		
和歌山県	令和3年7月1日	令和3年8月2日		
鳥取県	令和3年4月23日	令和3年6月22日		
島根県	令和3年10月8日	令和3年11月12日		
岡山県	令和3年8月23日	令和3年9月30日		
広島県	令和3年7月1日	令和3年7月30日		
山口県	令和3年6月1日	令和3年7月30日	令和3年9月1日	令和3年9月30日
徳島県	令和3年7月30日	令和3年8月20日		
香川県	令和3年3月26日	令和3年5月21日		
愛媛県	令和3年6月14日	令和3年7月30日		
高知県	令和3年6月23日	令和3年7月30日	令和3年11月15日	令和3年12月3日
福岡県	令和3年7月2日	令和3年8月31日		
佐賀県	令和3年5月31日	令和3年6月30日		
熊本県	令和3年6月7日	令和3年7月7日		
大分県	令和3年7月8日	令和3年9月30日		
宮崎県	令和3年6月28日	令和3年7月21日		
鹿児島県	令和3年10月8日	令和3年11月17日		
沖縄県	令和3年10月25日	令和3年11月22日		

c) 補助対象の上限額や補助率などの設定内容とその理由

国の要綱において、「一定の要件を満たす事業所」と「それ以外の事業所」で補助内容が異なるため、各ケースにおいて補助対象の上限額や補助率などの設定内容を把握した。なお、設定理由は両ケースを合わせた全体についての回答である。

各ケースの補助対象の上限額や補助率などの設定内容は以下のとおり。

【一定の要件を満たす事業所】

	上限額			補助率		
	国の要綱 のとおり	それ以外	無回答	3/4	それ以外	無回答
移乗支援（装着型・非装着型）入浴支援	27	6	14	20	13	14
上記以外の機器	40	2	5	28	14	5
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備	24	18	5	26	15	6

	あり
補助上限台数の制限	15
上記以外の独自の基準	13

【それ以外の事業所】

	上限額			補助率		
	国の要綱 のとおり	それ以外	無回答	1/2	それ以外	無回答
移乗支援（装着型・非装着型）入浴支援	35	5	7	37	4	6
上記以外の機器	39	3	5	39	3	5
見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備	23	18	6	35	5	7

	あり
補助上限台数の制限	15
上記以外の独自の基準	13

「補助上限台数に制限を設けている場合」の具体的な内容（主な回答）

- ・ 1事業所当たり利用定員2割まで（6件）
- ・ 施設・居住系サービス：利用定員数を10で除した数、在宅系サービス：利用定員数を20で除した数（4件）
- ・ 利用定員の1割まで（3件）
- ・ 施設・居宅系サービスは利用定員数の10分の1、在宅系サービスは利用定員数又は前年度の1月あたりの平均利用者数を20分の1
- ・ 介護ロボットの1事業所当たりの補助上限台数：利用定員
各年度の1事業所当たりの導入台数：事業所の利用定員を5で除した数

「独自の基準を設けている場合」の具体的な内容（主な回答）

- ・ 一定の要件を満たす事業所に対する補助を設定していない。（3件）
- ・ 同一法人内で、本事業で過去に同一種のロボットの助成を受けた場合は補助対象外とする。（2件）
- ・ 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備費は見守り本体と併せて1台あたり上限30万円。一定の要件を満たす場合と満たさない場合の区別はしていない。
- ・ センサー付きベッド 上限額10万円 補助率1/2
- ・ 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備については、1台あたりの補助上限額×補助台数の範囲内とする。
- ・ 生産性向上のための取組みとして以下の両方に該当すること
 (イ) 業務改善に向けた積極的な取組みを行い、その効果が見込まれること
 (ロ) 県が実施する介護ロボット活用の横展開に際して、研修等における活用事例紹介や他施設への導入指導等に協力すること
- ・ 広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会が実施する「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま制度」の認証を受けている介護サービス事業者を優先する（申請中を含む）。
- ・ 1法人あたりの補助金の上限額を170万円とする。
- ・ 対象事業所への補助率一律1/2、1法人あたり補助上限額100万円

【上記の上限額や補助率などを設定した理由（複数回答可）】

理由（複数回答）	回答数
国の基準を基に実施しているため	31
予算が限られているため	27
他の補助事業と同じ基準にしている	1
その他	1

その他

- ・ 前年度の補助事業と同じ基準にしている

【参考】令和3年度国の実施要綱

- ・ 移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援は、1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円
 - ・ 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円
 - ・ 補助上限台数：必要台数（制限の撤廃）
 - ・ 補助率：一定の要件※を満たす事業所は、3/4を下限に都道府県の裁量により設定。
 それ以外の事業所は1/2を下限に都道府県の裁量により設定
- ※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合

d) 導入支援事業の対象とする分野

導入支援事業の対象について、「支援分野を限定している」と3件が回答した。

	回答数	割合
支援対象商品を限定していない	42	93.3%
支援対象商品を限定している	3	6.7%
合計	45	100.0%

【限定している分野（複数回答可）】

	回答数
①移乗支援	2
②移動支援	3
③排泄支援	3
④見守り・コミュニケーション	3
⑤入浴支援	3
⑥介護業務支援	2

支援分野を限定している理由

- ・⑥「介護業務支援」の介護ロボットがどのようなものか想定しづらいため。⑥のうち、介護ロボット技術的要件への適合性が晦渋（かいじゅう）なため。
- ・①移乗支援については、労働局が実施する人材確保等支援助成金の補助対象となっていたため、本事業では対象としていない。別途リフトについての県単補助あり。

e) 提出された介護ロボット導入計画と採択状況

令和3年度に提出された介護ロボット導入計画と採択状況については、次頁のとおり回答を得た。

【提出された計画件数及びそのうち採択した計画件数】

	計画件数					左記のうち導入支援事業の対象として 認めた計画件数				
	施設・居宅系		在宅系		合計	施設・居宅系		在宅系		合計
	一定要件を 満たす	それ以外	一定要件を 満たす	それ以外		一定要件を 満たす	それ以外	一定要件を 満たす	それ以外	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	22	18	0	0	40	13	14	0	0	27
岩手県	54	64	24	19	161	46	49	22	16	133
宮城県	22	26	5	7	60	17	2	5	3	27
秋田県	0	32	0	19	51	0	30	0	17	47
山形県	0	32	0	3	35	0	21	0	8	29
福島県	0	62	0	12	74	0	62	0	12	74
茨城県	0	82	0	9	91	0	30	0	2	32
栃木県	0	12	0	7	19	0	12	0	7	19
群馬県	51	36	25	10	122	18	20	4	2	44
埼玉県	111	0	25	0	136	49	0	13	0	62
千葉県	0	134	0	36	170	0	67	0	26	93
東京都	0	146	0	21	167	0	142	0	21	163
神奈川県	187	11	32	1	231	24	0	0	0	24
新潟県	104	0	41	0	145	102	0	39	0	141
富山県										
石川県	21	0	11	0	32	21	0	11	0	32
福井県	0	12	0	10	22	0	12	0	10	22
山梨県	24	3	6	1	34	24	3	6	1	34
長野県	0	6	0	0	6	0	6	0	0	6
岐阜県	41	20	30	5	96	41	20	30	5	96
静岡県	0	110	0	41	151	0	110	0	41	151
愛知県	142	62	44	24	272	85	30	8	12	135
三重県	68	0	11	0	79	32	0	3	0	35
滋賀県	31	18	6	4	59	2	3	0	1	6
京都府	63	36	16	13	128	0	0	0	0	0
大阪府	225	88	25	26	364	79	30	6	6	121
兵庫県	127	59	12	11	209	127	59	12	11	209
奈良県	0	16	0	0	16	0	8	0	0	8
和歌山県	31	17	5	9	62	31	17	5	9	62
鳥取県	10	19	6	0	35	10	19	6	0	35
島根県	33	23	9	8	73	33	23	9	8	73
岡山県	7	12	4	5	28	4	6	1	1	12
広島県	0	46	0	26	72	0	29	0	13	42
山口県	0	24	0	7	31	0	24	0	7	31
徳島県	14	11	5	6	36	14	11	5	6	36
香川県	0	8	0	5	13	0	8	0	5	13
愛媛県	9	38	4	13	64	2	29	0	6	37
高知県	0	3	0	5	8	0	3	0	1	4
福岡県	240	0	5	0	245	162	0	1	0	163
佐賀県	32	0	10	0	42	26	0	7	0	33
長崎県										
熊本県	97	0	11	0	108	97	0	11	0	108
大分県	2	27	2	27	58	2	27	1	11	41
宮崎県	-	77	-	4	81	-	50	-	0	50
鹿児島県	74	40	5	5	124	50	22	4	5	81
沖縄県	7	7	3	2	19	2	1	1	1	5
合計	1,849	1,438	382	400	4,069	1,113	999	210	274	2,596

※富山県、長崎県は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による実施
 ※一定の要件を定めていない秋田県、山形県、茨城県、栃木県、埼玉県、静岡県、は
 それ以外にまとめて集計した

【採択率（導入支援事業の対象として認めた計画件数÷提出のあった計画件数）】

	採択率 (導入支援事業の対象として認めた計画件数÷提出のあった計画件数)				
	施設・居宅系		在宅系		合計
	一定要件を 満たす	それ以外	一定要件を 満たす	それ以外	
北海道	-	-	-	-	-
青森県	59%	78%	0%	0%	68%
岩手県	85%	77%	92%	84%	83%
宮城県	77%	8%	100%	43%	45%
秋田県	0%	94%	0%	89%	92%
山形県	0%	66%	0%	267%	83%
福島県	0%	100%	0%	100%	100%
茨城県	0%	37%	0%	22%	35%
栃木県	0%	100%	0%	100%	100%
群馬県	35%	56%	16%	20%	36%
埼玉県	44%	0%	52%	0%	46%
千葉県	0%	50%	0%	72%	55%
東京都	0%	97%	0%	100%	98%
神奈川県	13%	0%	0%	0%	10%
新潟県	98%	0%	95%	0%	97%
富山県					
石川県	100%	0%	100%	0%	100%
福井県	0%	100%	0%	100%	100%
山梨県	100%	100%	100%	100%	100%
長野県	0%	100%	0%	0%	100%
岐阜県	100%	100%	100%	100%	100%
静岡県	0%	100%	0%	100%	100%
愛知県	60%	48%	18%	50%	50%
三重県	47%	0%	27%	0%	44%
滋賀県	6%	17%	0%	25%	10%
京都府	0%	0%	0%	0%	0%
大阪府	35%	34%	24%	23%	33%
兵庫県	100%	100%	100%	100%	100%
奈良県	0%	50%	0%	0%	50%
和歌山県	100%	100%	100%	100%	100%
鳥取県	100%	100%	100%	0%	100%
島根県	100%	100%	100%	100%	100%
岡山県	57%	50%	25%	20%	43%
広島県	0%	63%	0%	50%	58%
山口県	0%	100%	0%	100%	100%
徳島県	100%	100%	100%	100%	100%
香川県	0%	100%	0%	100%	100%
愛媛県	22%	76%	0%	46%	58%
高知県	0%	100%	0%	20%	50%
福岡県	68%	0%	20%	0%	67%
佐賀県	81%	0%	70%	0%	79%
長崎県					
熊本県	100%	0%	100%	0%	100%
大分県	100%	100%	50%	41%	71%
宮崎県	-	65%	-	0%	62%
鹿児島県	68%	55%	80%	100%	65%
沖縄県	29%	14%	33%	50%	26%
合計	60%	70%	55%	67%	64%

f) 応募状況及び対応状況

令和3年度の応募状況について、35件が「当初の予算額を大きく超える応募があった」と回答した。

		回答数	割合
予算額に満たない応募があった		6	13.3%
	当初の予算内で対応できる範囲で採択した	4	66.7%
	予算を増額して採択した	0	0.0%
	その他	2	33.3%
当初の予算額とほぼ同額の応募があった		4	8.9%
	当初の予算内で対応できる範囲で採択した	4	100.0%
	予算を増額して採択した	0	0.0%
	その他	0	0.0%
当初の予算額を大きく超える応募があった		35	77.8%
	当初の予算内で対応できる範囲で採択した	19	54.3%
	予算を増額して採択した	9	25.7%
	その他	7	20.0%
合計		45	100.0%

令和2年度と比較して令和3年度の採択件数の増減については、「増えた」と回答したのは23件であった。

「増えた」理由については、国の基準が拡大されたこと、予算額が拡充されたこと、介護ロボットの導入を検討する施設が増えたなどであった。

「減った」理由については、国の基準拡大により1事業所あたりの単価が上がったこと、他の対応へ事業者が資金を回したことなどの回答があった。

	回答数	割合
変わらない	1	2.5%
増えた	23	57.5%
減った	16	40.0%
合計	40	100.0%

「増えた」(主な理由)

- ・ 一定の要件を満たす事業所の補助率が上がったため。
- ・ 令和4年度の申請数の把握のため、新たに広域振興局や市町村を通じて照会を行った結果、例年とは異なる事業所にも周知する形となり、申請数が増えたと考えている。
- ・ 予算を増額したため。(3件)
- ・ 交付決定前の段階であるが、前年度よりも事前協議が増えている。介護ロボットを扱う業者が積極的な営業を行っており、それをきっかけとして導入を検討する介護事業所が増えていると思われる。

- ・販売店等のPRにより補助事業の存在が認知されてきたため。
- ・支援分野を拡大したため。
- ・制度拡充に伴う補助額や台数制限の撤廃が影響したものと認識している。
- ・補助率の拡充に伴う、申請件数増のため
- ・以前より業務の効率化のため見守り機器の導入を考えていた施設が、補助率が要件を満たせば3/4になったことが後押しとなった。それが増加の要因の1つと思われる。
- ・導入実績数は増加・要因として、予算規模が2倍になったこと、及びロボット導入単価が低い計画が多かったこと
- ・補助メニューの追加や補助率の引き上げ等、補助要件が拡充されたこと。介護報酬改定で夜間の加算や人員配置基準が緩和されたことなどが要因と思われる
- ・介護ロボット等の導入効果の広まりや、補助金制度が県内に浸透してきたためと思われる。

「減った」(主な理由)

- ・補助上限台数に制限がなくなったこと、また見守り機器導入に伴う通信環境整備の補助上限額が750万になり、1事業所ごとの所要額が昨年度に比べて大幅に増え、採択事業所数を絞ったため。
- ・前年度より申請件数自体が減少しているため
- ・介護ロボット等導入支援事業の予算の中でICT機器導入及び見守り機器通信環境整備の採択が多かったため。
- ・予算を超える申請があり、過去に補助実績のある施設には補助できなかったため。
- ・令和2年度に比べ予算額は2倍以上増額したが、補助率が1/2から3/4となり、1事業所あたりの申請件数も増えたため、交付決定できる件数が減った。
- ・前年度に比べ、予算額が減ったため。
- ・令和3年度の予算額を減じており、当予算の範囲で上記計画から補助対象者を選定したため。
- ・全て補助対象であるが、予算の範囲で補助するために、計画を審査し、補助対象者を選定した。”
- ・LIFE(科学的介護情報システム)の対応に設備投資資金を振り向けた事業者が多かった。

g) 応募された計画の中で、認められない計画

応募された計画の中で、認められない計画について、「介護ロボットの技術的3要件を満たしていない」と回答したのは22件であった。その他の自由記述には、支援分野以外の機器であったことや、予算を超える申請があったため、過去に補助済みの施設からの申請は受理しなかったなどの理由があった。

	回答数	割合
介護ロボットの技術的3要件(センサー系、知能・制御系、駆動系)を満たしていない	22	66.7%
その他	11	33.3%
合計	33	100%

その他

- ・ 予算を超える申請があり、過去に補助実績のある施設には補助できなかったため。
- ・ リフト吊り下げ式など
- ・ 予算を超えた申請があったため。
- ・ 要綱の定義を満たしていない機器の導入要望があった。
- ・ 過去に同様の補助金活用実績があるため
- ・ 見守り機器を効果的に活用するための通信環境整備に要する費用を要望していたが、そもそも見守り機器を保有しておらず、また、購入の見込みもない。
- ・ ロボット技術の介護利用における重点分野の定義を満たしていない機器
- ・ 介護ロボットの定義に合致していないため

h) 執行見込額

執行額（平成30年度～令和2年度は実績、令和3年度は見込）は以下のとおり。

	平成30年度（実績）	令和元年度（実績）	令和2年度（実績）	令和3年度（見込）
北海道	14,152,000円	22,637,000円	238,982,000円	-
青森県	1,393,000円	1,854,000円	43,549,000円	43,709,000円
岩手県	7,528,000円	3,606,000円	279,070,000円	175,439,000円
宮城県	2,604,000円	3,927,000円	42,519,000円	166,000,000円
秋田県	2,282,000円	5,209,000円	8,330,000円	37,218,000円
山形県	-	-	32,837,000円	56,194,000円
福島県	6,792,000円	9,624,000円	36,239,000円	73,730,000円
茨城県	16,415,000円	13,543,000円	18,405,000円	44,054,000円
栃木県	2,500,000円	14,925,000円	20,999,000円	20,500,000円
群馬県	16,731,000円	17,484,000円	24,500,000円	59,029,000円
埼玉県	13,357,000円	15,064,000円	41,541,000円	42,600,000円
千葉県	11,340,000円	54,514,000円	57,639,000円	62,982,000円
東京都	16,267,000円	34,003,000円	221,452,000円	370,468,000円
神奈川県	19,204,000円	59,744,000円	161,422,000円	372,021,000円
新潟県	38,205,000円	40,041,000円	56,156,000円	39,475,000円
富山県	-	3,974,000円	-	-
石川県	-	4,732,000円	20,850,000円	4,800,000円
福井県	10,830,000円	11,706,000円	36,438,000円	11,684,000円
山梨県	1,500,000円	2,932,000円	13,546,000円	5,911,000円
長野県	918,000円	3,483,000円	10,856,000円	2,683,000円
岐阜県	6,396,000円	9,800,000円	215,644,000円	119,204,000円
静岡県	17,819,000円	38,128,000円	84,339,000円	112,316,000円
愛知県	23,747,000円	35,353,000円	199,600,000円	289,164,000円
三重県	5,509,000円	10,930,000円	67,317,000円	140,036,000円
滋賀県	876,000円	2,961,000円	50,492,000円	100,000,000円
京都府	-	10,431,000円	30,208,000円	409,560,000円
大阪府	9,709,000円	11,470,000円	46,128,000円	177,150,000円
兵庫県	4,842,000円	44,122,000円	162,767,000円	1,049,277,000円
奈良県	1,761,000円	9,494,000円	14,119,000円	7,555,000円
和歌山県	-	37,323,000円	41,744,000円	116,892,000円
鳥取県	5,885,000円	5,619,000円	16,000,000円	40,772,000円
島根県	5,561,000円	12,526,000円	9,266,000円	44,750,000円
岡山県	12,116,000円	13,737,000円	7,979,000円	20,348,000円
広島県	24,694,000円	24,927,000円	11,427,000円	11,240,000円
山口県	-	5,886,000円	6,000,000円	9,890,000円
徳島県	-	9,423,000円	21,601,000円	28,935,000円
香川県	2,940,000円	7,022,000円	8,328,000円	5,615,000円
愛媛県	6,643,000円	10,466,000円	26,972,000円	38,613,000円
高知県	590,000円	445,000円	6,555,000円	3,614,000円
福岡県	12,156,000円	20,209,000円	194,873,000円	285,196,000円
佐賀県	-	17,526,000円	17,031,000円	40,485,000円
長崎県	-	5,417,000円	-	-
熊本県	6,270,000円	35,288,000円	47,650,000円	84,061,000円
大分県	4,914,000円	13,893,000円	43,738,000円	42,781,000円
宮崎県	-	14,643,000円	83,133,000円	99,658,000円
鹿児島県	13,804,000円	13,476,000円	60,858,000円	82,222,000円
沖縄県	-	1,667,000円	6,114,000円	5,397,000円
合計	348,250,000円	745,184,000円	2,845,213,000円	4,953,317,000円

i) 介護ロボットの効果的な活用に関する支援

介護ロボットの効果的な活用について、「介護事業所に対する業務改善支援事業で実施した」が3件、「上記以外で実施した」と回答したのは6件だった。「上記以外で実施した」場合の内容（自由記述）は、研修会の開催、アドバイザーの派遣などであった。

	回答数	割合
介護事業所に対する業務改善支援事業で実施した	3	6.7%
上記以外で実施している	6	13.3%
実施していない	36	80.0%
合計	45	100.0%

「上記以外で実施している」場合の内容

- ・介護ロボット普及推進センターを設置し、介護ロボット・ICTテクノロジー技術の導入に関して来所・電話等による相談対応を実施。
- ・アドバイザーの派遣
- ・スマート介護施設モデル事業により介護ロボット等のモデル施設を作り、その施設での取組を報告会等で広く普及させる予定である。
- ・それぞれの事業所においてどのような機器が必要かを導く導入前セミナーや、導入した機器を有効に活用してもらうための導入後セミナー、既に機器を導入している事業所の活用状況を紹介する公開見学会等
- ・介護ロボットを導入している事業所の公開事業やアドバイザー派遣、オンラインセミナーの開催など
- ・介護ロボット・ICTの普及促進のため、法人経営層・リーダー層向けに活用事例の紹介などを行うセミナーを実施
- ・業務改善支援事業の実施
- ・ノーリフティングフォーラムの開催や業務改善アドバイザーの派遣等

j) 補助事業を円滑に遂行するために必要とする情報

令和3年度に介護ロボット導入支援事業を実施した45都道府県において、補助事業を円滑に遂行するために必要とする情報として回答が多かったのは介護ロボットの対象範囲（33件）、介護ロボットに関する機器情報（29件）、介護ロボットの活用事例（27件）であった。

	回答数
介護ロボットに関する機器情報	29
介護ロボットの対象範囲	33
介護ロボットの活用事例	27
展示会や研修会の開催情報	14
介護ロボットに関するヒヤリハット情報	8
その他	2

その他

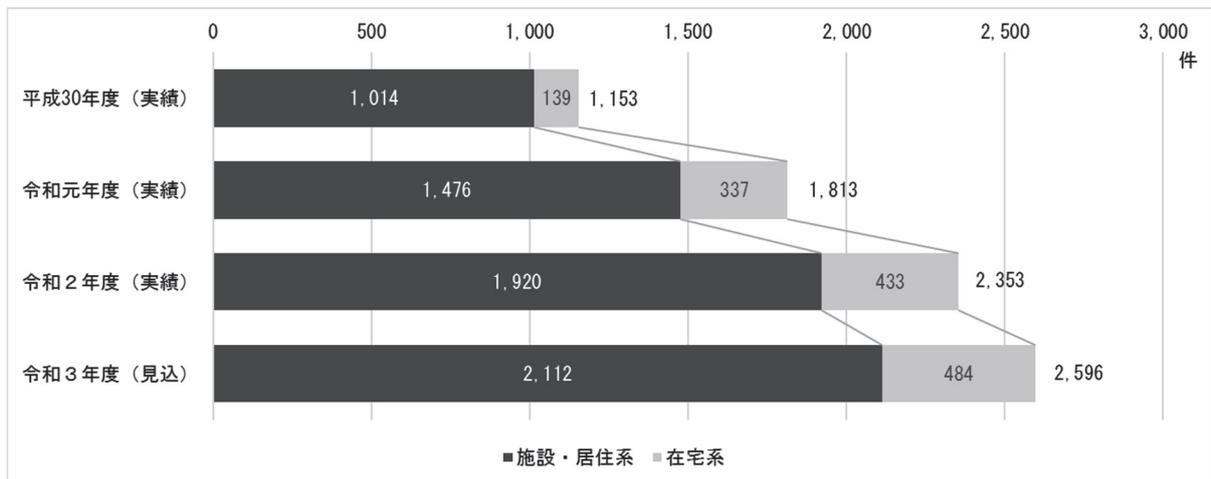
・各都道府県で対象となる介護ロボットが異なるため、統一してほしい。

②地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績

a) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績（計画件数）

（単位：件）

	平成30年度(実績)			令和元年度(実績)			令和2年度(実績) (合計)			令和3年度(見込) (一定の要件を満たす)			令和3年度(見込) (それ以外)			令和3年度(見込) (合計)		
	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計	施設・居住系	在宅系	合計
北海道	39	7	46	60	4	64	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
青森県	7	1	8	13	0	13	21	0	21	13	0	13	14	0	14	27	0	27
岩手県	16	2	18	8	1	9	116	2	118	46	22	68	49	16	65	95	38	133
宮城県	12	2	14	6	1	7	19	0	19	17	5	22	2	3	5	19	8	27
秋田県	8	1	9	11	1	12	8	5	13				30	17	47	30	17	47
山形県							25	0	25				21	8	29	21	8	29
福島県	15		15	22	0	22	31	2	33				62	12	74	62	12	74
茨城県	35		35	41	5	46	35	5	40				30	2	32	30	2	32
栃木県	6	4	10	13	5	18	17	8	25				12	7	19	12	7	19
群馬県	53	8	61	52	16	68	49	8	57	18	4	22	20	2	22	38	6	44
埼玉県	46		46	45	12	57	92	25	117	49	13	62				49	13	62
千葉県	120	9	129	118	12	130	62	11	73				67	26	93	67	26	93
東京都	23	5	28	34	13	47	0	71	71				142	21	163	142	21	163
神奈川県	28		28	58		58	79	8	87	24	0	24				24	0	24
新潟県	52	19	71	54	16	70	132	46	178	102	39	141				102	39	141
富山県				12	2	14												
石川県				6	0	6	18	0	18	21	11	32				21	11	32
福井県	25	1	26	20	10	30	34	17	51				12	10	22	12	10	22
山梨県	5		5	8		8	18	3	21	24	6	30	3	1	4	27	7	34
長野県	4		4	5		5	13	1	14				6	0	6	6	0	6
岐阜県	14		14	27	2	29	82	9	91	41	30	71	20	5	25	61	35	96
静岡県	27	10	37	64	18	82	97	46	143				110	41	151	110	41	151
愛知県	56	15	71	65	23	88	102	35	137	85	8	93	30	12	42	115	20	135
三重県	21		21	23	9	32	31	2	33	32	3	35				32	3	35
滋賀県	4		4	8		8	51	2	53	2	0	2	3	1	4	5	1	6
京都府				26	6	32	21	6	27	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府	63	8	71	57	2	59	54	9	63	79	6	85	30	6	36	109	12	121
兵庫県	25		25	71	19	90	90	10	100	127	12	139	59	11	70	186	23	209
奈良県	4		4	18	2	20	17	1	18				8	0	8	8	0	8
和歌山県				54	16	70	34	14	48	31	5	36	17	9	26	48	14	62
鳥取県	24		24	8	0	8	21	3	24	10	6	16	19	0	19	29	6	35
島根県	11	1	12	17	8	25	13	5	18	33	9	42	23	8	31	56	17	73
岡山県	16		16	14		14	12	0	12	4	1	5	6	1	7	10	2	12
広島県	63	30	93	80	37	117	44	14	58				29	13	42	29	13	42
山口県				29	6	35	16	3	19				24	7	31	24	7	31
徳島県				25	9	34	31	5	36	14	5	19	11	6	17	25	11	36
香川県	15		15	23	2	25	27	7	34				8	5	13	8	5	13
愛媛県	13	4	17	18	8	26	24	12	36	2	0	2	29	6	35	31	6	37
高知県	5		5	2	2	4	5	2	7				3	1	4	3	1	4
福岡県	82	6	88	46	17	63	100	0	100	162	1	163				162	1	163
佐賀県				31	15	46	26	9	35	26	7	33				26	7	33
長崎県				19	4	23												
熊本県	28	5	33	67	12	79	69	10	79	97	11	108				97	11	108
大分県	8		8	21	7	28	36	5	41	2	1	3	27	11	38	29	12	41
宮崎県				34	6	40	59	3	62				50	0	50	50	0	50
鹿児島県	41	1	42	40	3	43	83	6	89	50	4	54	22	5	27	72	9	81
沖縄県				3	6	9	6	3	9	2	1	3	1	1	2	3	2	5
合計	1,014	139	1,153	1,476	337	1,813	1,920	433	2,353	1,113	210	1,323	999	274	1,273	2,112	484	2,596



※「令和3年度」富山県、長崎県は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による実施

b) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績（導入台数）
 （単位：台）

	平成30年度(実績)						令和元年度(実績)								
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り・コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	合計	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	合計
北海道	3			106	1		110	9		4	166	3	2		184
青森県			12	9			21	2		4	15				21
岩手県	5			53			58			2	24		1		27
宮城県	2			15			17				32				32
秋田県	1			16	1		18	16			9	1			26
山形県															
福島県				54			54				111	1			112
茨城県	10			135			145	30			54	5			89
栃木県				25			25				71				71
群馬県	47		1	186			234	20			162				182
埼玉県	7			104			111	38			117	1			156
千葉県	1		1	109	1		112	5		1	558	2	3		569
東京都	14		5	122			141	61		3	144	35			243
神奈川県				150			150	8			404	2			414
新潟県	21		2	231			254	22			214				236
富山県								6			37	1			44
石川県								2			30	3			35
福井県	2			121			123	12			76			3	91
山梨県	2			10	1		13	4			14				18
長野県	3			10			13				29		5		34
岐阜県	10			52			62	6			109	1			116
静岡県				166			166				383				383
愛知県	14	2		229			245	24			303	4			331
三重県				77			77	20		1	76	1	1		99
滋賀県			2	15			17	13		1	6				20
京都府								42			97				139
大阪府	25			53			78	28		1	51	1	3		84
兵庫県	27			20	3	3	53	59	3	4	176	1	8		251
奈良県				12			12	24			49				73
和歌山県								17		1	258		2		278
鳥取県				42			42	3			35				38
島根県	15			25			40	36			56	1			93
岡山県	5			59	1		65				106				106
広島県	50	3	2	189	2	3	249	52		1	165	7	5		230
山口県								6			41		1		48
徳島県								18			63	5			86
香川県	4		1	23			28	16		4	31	4			55
愛媛県	3		4	20	1	7	35	23	1		45			5	74
高知県				17			17				12				12
福岡県	9		3	108			120	5	1		164	1	3		174
佐賀県								34			86	2			122
長崎県											75				75
熊本県	4		1	59	4		68	19	1		250	3	1		274
大分県			1	38	1		40	19			47	2			68
宮崎県								10	2		121	7	5		145
鹿児島県	2		1	87			90	2	2	4	81	5			94
沖縄県								2			16				18
合計	286	5	36	2,747	16	13	3,103	713	10	31	5,169	99	40	8	6,070

	令和2年度（実績） （合計）										令和3年度（見込） （合計）												
	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計	移乗支援	移動支援	排泄支援	見守り	コミュニケーション	入浴支援	介護業務支援	W i - F i 工事	インカム	介護記録とのシステム連動	合計	
北海道																							0
青森県	5		5	151	2			5		168	3	11		209			2	5	3			233	
岩手県	19	1		365	9	2		18	20	434												0	
宮城県		2		101		2		6		111	1		2	928		6		17	98			1,052	
秋田県	1		3	37		1			2	44	14		3	288	3	5		19	5	10		347	
山形県	11			186		4		1	45	247	3			260		53			20			336	
福島県				175					16	191	6			576	1	8		11	3			605	
茨城県	1			131	3			7		142	11			449		3	1	14				478	
栃木県	4			116			2			122				90		1		11				102	
群馬県	9		3	138	2	2				154	6		3	75		2						86	
埼玉県	12			239	1	9	1			262	23		6	151	2	8		65		10		265	
千葉県	25	2		888	4	44		22	1	987												0	
東京都	80		12	654	7	25				778	180	1	16	2,358	8	37						2,600	
神奈川県	41		1	1,270	4	10		29		1,355			15	1,234				20				1,269	
新潟県	18			186	2	6	2	54	2	270	16		1	175	5	2		32	1			232	
富山県																							
石川県		1		60						61	14	2	1	100	2							119	
福井県	19		2	265	2			6		294	11	1		63	1	1					3	80	
山梨県	9			126						135	1			104								105	
長野県	4			87	2					93				24								24	
岐阜県	25	30	64	1,315				68		1,502	27		14	480	7	7	1	16	92			644	
静岡県	13			445		32				490	25	3	6	521	4	27		28				614	
愛知県	40		22	1,604	2	2	2	44		1,716	39		3	1,655	4	13		23	1			1,738	
三重県	5			361		3				369	31			705	1			1	40			778	
滋賀県	12		1	529				1		543	19											19	
京都府	4			342	2			6	3	357												0	
大阪府	11			19	1	8		22	2	63	42		8	893	2	12		32	23	2		1,014	
兵庫県	65		2	806	31	3	2		56	965												0	
奈良県	13			59						72				56								56	
和歌山県	14		2	269	2	10		15		312	5		2	616	4	7		8				642	
鳥取県		1		70				3	11	85	4			52				4	7			67	
島根県	6			46	1			2		55	9	22	2	155	1			16				205	
岡山県	46			10		8				64	12			28		1						41	
広島県	57	2		55	7	3			9	133	57			81				1				139	
山口県	13			31	5					49	15			83		5						103	
徳島県	11	2		104	1			6		124	15			185	2	1		6	3			212	
香川県	10	12		50	6			1	2	81		4		50		1		2	1			58	
愛媛県	3			221	1	1	15	9	1	251	4			241		1	3	11	4	8		272	
高知県				120			1	1		124				15								15	
福岡県	63		5	638	2	20		38		766	97	3	24	1,020	4	24		43	202	6		1,423	
佐賀県	7		1	102						110			26	128								154	
長崎県																							
熊本県	28		8	211	1	15		7		270	24			295	2	19	1	20				361	
大分県	13			311		1			9	334	13		1	319				1	6	1		341	
宮崎県	7			815	2	3		25	145	997	18		1	899				13		10		941	
鹿児島県	18			339	1	5	3	19	4	389												0	
沖縄県	3			55	1			2		61	6			8				1				15	
合計	745	53	131	14,102	104	219	28	417	328	3	16,130	751	47	134	15,569	53	244	8	420	509	50	17,785	

③その他の介護ロボット開発・普及の促進に関する事業の実施状況

a) 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」以外の実施状況

令和3年度、地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」以外での介護ロボット開発・普及等に関する支援の実施状況については、「実施した」と回答したのは12都道府県だった。その具体的な支援内容は、以下、b)～d)のとおり。

	回答数	割合
実施した	12	25.5%
実施していない（令和3年度実施予定がある）	3	6.4%
実施していない	32	68.1%
合計	47	100.0%

b) 開発支援

		令和4年度
滋賀県	事業名	滋賀県中小企業新技術開発プロジェクト補助金
	執行額	52,000千円
	事業内容	県内中小企業の新製品・新技術開発を支援 ※介護ロボットの開発に限らない
	対象者	県内中小企業
	対象人数(対象社数)	県内中小企業約35,000社
	実績	採択予定数19件

c) 導入支援

		令和4年度
福島県	事業名	介護支援ロボット導入促進事業
	執行額	10,180千円
	事業内容	HAL, マッスルスーツを導入する施設等に対して補助を行い、業務負担の軽減を図るとともに、介護支援ロボットを活用できる人材を育成する。
	対象者	県内の介護事業者
	対象人数(対象社数)	予算の範囲内
	実績	補助台数55台
埼玉県	事業名	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入支援
	執行額	247,746千円
	事業内容	大規模修繕（助成を受けているかは問わない。）を実施する際に、県が実施する介護ロボット導入支援事業又はICT導入支援事業において対象となっている機器等を導入するために必要な経費を県が補助する事業。
	対象者	定員30名以上の広域型施設等（詳細は県ホームページ掲載の補助要綱参照）
	対象人数(対象社数)	施設定員数又は施設数
	実績	未定
兵庫県	事業名	介護ロボット等導入支援機能強化事業
	執行額	未定
	事業内容	介護ロボット導入の活用に関する専門的知識をもつ人材を育成する研修の実施
	対象者	介護ロボット導入支援事業の採択事業者等
	対象人数(対象社数)	未定
	実績	

d) 普及・啓発支援

		令和2年度	令和3年度	令和4年度
北海道	事業名	介護ロボット普及推進事業	介護ロボット普及推進事業	
	執行額	128,152千円	128,156千円	
	事業内容	介護ロボット普及推進センターの設置	介護ロボット普及推進センターの設置	
	対象者	-	-	
	対象人数(対象社数)	-	-	
	実績	4地区に設置	4地区に設置	
福島県	事業名	介護ロボット導入推進事業	介護支援ロボット導入促進事業	介護支援ロボット導入促進事業
	執行額	32,255千円	41,900千円	41,900千円
	事業内容	介護福祉士養成校、介護福祉施設への無償貸与等	介護福祉士養成校、介護福祉施設への無償貸与等	介護福祉士養成校、介護福祉施設への無償貸与等
	対象者	県内の介護事業者	県内の介護事業者	県内の介護事業者
	対象人数(対象社数)	養成校：7校 施設：50施設	養成校：7校 施設：50施設	養成校：7校 施設：50施設
	実績	養成校：7校 施設：30施設	養成校：7校 施設：21施設	養成校：7校 施設：50施設
埼玉県	事業名	介護ロボット活用バックアップ事業		
	執行額	2,426千円		
	事業内容	研修会を開催し、効果的に介護ロボットを利用できるようにする。		
	対象者	県内介護事業者		
	対象人数(対象社数)	オンライン実施のため制限なし		
	実績	2回オンラインセミナーを実施した		
	事業名		スマート介護施設モデル事業	スマート介護施設モデル事業
	執行額		6,300千円	6,850千円
	事業内容		介護施設にコンサルタントを派遣し、業務を再構築し、生産性向上を図り、成果を普及させる。	介護施設にコンサルタントを派遣し、業務を再構築し、生産性向上を図り、成果を普及させる。
	対象者		県が選定したモデル施設及び県内介護事業者	県が選定したモデル施設及び県内介護事業者
	対象人数(対象社数)		2施設	2施設
	実績		2施設	2施設
東京都	事業名	次世代介護機器の普及啓発事業 ※東京都福祉保健財団実施	組織・人材マネジメント事業	
	執行額	34,838千円	120,724千円	
	事業内容	①普及啓発セミナーの開催 ②公開見学会の開催 ③展示スペースの運営（出張展示含む） ④次世代介護機器導入前セミナーの開催 ⑤次世代介護機器導入後セミナーの開催 ⑥アドバンスセミナーの開催	①生産性向上セミナーの開催 ②公開見学会の開催 ③展示スペースの運営（出張展示含む） ④次世代介護機器導入前セミナーの開催 ⑤次世代介護機器導入後セミナーの開催 ⑥アドバンスセミナーの開催 ⑦人材育成セミナーの実施 ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施	
	対象者	都内介護事業者	都内介護事業所	
	対象人数(対象社数)	①普及啓発セミナーの開催：500人（250人×2回） ②公開見学会の開催：100人（25人×2回×2施設） ③展示スペースの運営（出張展示含む）：常設展示、出張展示2回 ④次世代介護機器導入前セミナーの開催：50人（10人×5回） ⑤次世代介護機器導入後セミナーの開催：50人（25人×2回） ⑥アドバンスセミナーの開催：25施設、2日間	①生産性向上セミナーの開催 2種類1回ずつ動画配信 ②公開見学会の開催 50事業所(延4回) ③展示スペースの運営（出張展示含む）常設は週年、出張は2回 ④次世代介護機器導入前セミナーの開催 300事業所(15事業所×20回) ⑤次世代介護機器導入後セミナーの開催 次世代介護機器50事業所(25事業所×2回) デジタル機器250事業所(25事業所×10回) ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1日間 新規分20事業所2日間 ⑦人材育成セミナーの実施 3種類動画配信1回ずつ ⑧個別相談の実施 ⑨専門相談の実施	
	実績	①普及啓発セミナーの開催：687回再生（動画配信） ②公開見学会の開催：80人（4回） ③展示スペースの運営（出張展示含む）：常設展示、出張展示実績なし ④次世代介護機器導入前セミナーの開催：25人（3回） ⑤次世代介護機器導入後セミナーの開催：128回再生（動画配信） ⑥アドバンスセミナーの開催：17施設、2日間(継続分)、20施設、2日間(新規分)	①生産性向上セミナーの開催 申込事業所数 計586事業所 ②公開見学会の開催 68事業所(延4回) ③展示スペースの運営（出張展示含む）常設見学77名、体験16名 ④次世代介護機器導入前セミナーの開催 計132事業所 ⑤次世代介護機器導入後セミナーの開催 次世代介護機器50事業所(25事業所×2回)未実施 デジタル機器250事業所(25事業所×10回)未実施 ⑥アドバンスセミナーの開催 継続分20事業所1日間 新規分20事業所2日間 未実施 ⑦人材育成セミナーの実施 3種類動画配信1回ずつ 計295事業所 ⑧個別相談の実施 20事業所 ⑨専門相談の実施	

神奈川県	事業名	介護ロボット普及推進事業	介護ロボット普及推進事業	介護ロボット普及推進事業
	執行額	9,444千円	8,181千円	7,466千円
	事業内容	介護ロボット公開事業所の運営、セミナーの開催等	介護ロボット公開事業所の運営、セミナーの開催等	介護ロボット公開事業所の運営、セミナーの開催等
	対象者	介護施設の関係者等	介護施設の関係者等	介護施設の関係者等
	対象人数(対象社数)	公開事業所3施設	公開事業所3施設	公開事業所3施設
実績	コロナのためオンライン開催	コロナのためオンライン開催	オンライン開催予定	
京都府	事業名		介護職場のための生産性向上セミナー	
	執行額		—	
	事業内容		介護ロボット・ICTの普及促進	
	対象者		法人経営者、管理者、リーダー層	
	対象人数(対象社数)		100名	
実績		23名参加		
長崎県	事業名	介護ロボット・ICT普及促進事業	介護ロボット・ICT普及促進事業	
	執行額	4,081千円	1,690千円	
	事業内容	導入促進セミナー、効果検証マニュアル作成、モニタリング	導入促進セミナー・機器展示、導入先進施設見学会	
	対象者	介護事業所	介護事業所	
	対象人数(対象社数)	180名	セミナー100名程度、見学会100名程度	
実績	参加者197名、機器展示7社			

④介護ロボットに関するイベントや会議等の開催状況

令和3年度に管内で開催された介護ロボットの展示等を含むイベントは以下のとおり。

令和2年度と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの開催が半数以上を占めたと推察される。

都道府県	イベント名称	開催日	開催場所 (市町村名)	主催者	来場者数	出展 企業数	運営費に対する 公的資金の投入 の有無
山形県	楽のロジケアフォーラム	令和4年2月10日	オンライン	山形県高齢者支援課	定員100人		有
神奈川県	「介護×テクノロジー」 活用オンラインセミナー in Kanagawa	令和4年2～3月 (予定)	オンライン	神奈川県	未定		有
滋賀県	福祉用具セミナー・ 展示体験会	令和3年10月21日	草津市	県社会福祉協議会	77人	5社	無
山口県	山口県 介護ロボット地域フォーラム	令和4年1月26日	オンライン	公益財団法人テクノエイド 協会	40人	19社	有
高知県	WEBふくし総合フェア	令和3年11/8～	オンライン	高知県、高知県社会福祉協 議会、福祉機器展実行委員 会、(一社)ノーリフティン グケア高知支部	開催中	開催中	有
高知県	県政150周年記念 ながさきICTフェア2021	令和3年12月25、26日	長崎市	長崎県	5,000人	38社	有
	次世代介護ソリューション セミナー	令和4年1月20日	長崎市	(株)長崎病協	100人	2社	無

⑤地域医療介護総合確保基金による令和3年度「介護事業所に対する業務改善支援事業」の実施概況

令和3年度「介護事業所に対する業務改善支援」について、6件が「実施した」と回答した。それぞれの実施内容と補助額については、以下のとおり。

	回答数	割合
実施した	6	12.8%
実施していない	41	82.3%
合計	47	100%

【実施内容】

○第三者による生産性向上の取組の支援

- ・ガイドラインに基づき、職場環境の改善等に係る支援について知識・経験を有する第三者が、対象となる介護事業所において実地による個別支援を実施する。
- ・1事業所あたり対象経費の1/2以内（上限30万円）

	件数	補助額
北海道	6	1,800,000円
福島県	1	170,000円
兵庫県	2	494,000円
香川県	2	600,000円
合計	11	3,064,000円

○介護現場革新会議に係る支援：介護現場革新会議の開催

- ・都道府県又は市町村において、管内の介護関係団体や有識者等と「介護現場革新会議」を開催し、地域における介護現場の課題に即した対応方針を策定する
- ・介護現場革新会議の開催に伴う必要な経費（会場借り上げ費用及び委員の旅費・謝金）

	件数	補助額
北海道	1	未定
合計	1	未定

○介護現場革新会議に係る支援：地域のモデル施設の育成

- ・業務改善に取り組むモデル施設を選定し、その取組に必要な支援を実施する
- ・1事業所あたり対象経費の1/2以内（上限500万円）

回答した都道府県はなし

○介護現場革新会議に係る支援：介護業界のイメージ改善、その他

- ・中高生等に対する介護職の魅力発信等による新規介護人材の確保や、介護職員の永年勤続表彰等の介護人材の定着支援を実施する
- ・介護助手の活用支援や外国人人材の活用など、業務改善や人材確保に資する支援を実施する

・介護業界のイメージ改善及びその他に関する事業を実施するための必要な経費（会場設営費や有識者への旅費・謝金等）

	実施事業名	補助額
宮城県	介護職働き方改革応援宣言プロジェクト事業	—
高知県	福祉・介護事業所認証評価事業	16,004,000円
	令和3年度「こうち介護の日」イベント開催事業	4,232,000円
	介護助手導入支援事業	1,420,000円
合計		21,656,000円

⑥「ICT導入支援事業」の実施状況

「ICT導入支援事業」の実施状況について、令和2年度は40件、令和3年度47件が「実施した」と回答した。また、47件が「来年度実施を予定している」と回答した。

	令和2年度		令和3年度	
	回答数	割合	回答数	割合
実施した	40	85.1%	47	97.9%
実施しなかった	7	14.9%	0	2.1%
合計	47	100%	47	100%

来年度の実施予定

	回答数	割合
来年度実施を予定している	47	100.0%
実施の予定はない	0	0.0%
合計	47	100%

10. 介護ロボットの選定に資する表示項目の周知・活用

(1) 趣旨

令和2年度に策定した表示項目の活用については、「介護ロボットの試用貸出リスト」に掲載する情報の一環として、情報を収集することとした。

本リストは、介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業における相談窓口へ配布した他、テクノエイド協会のホームページで誰でもダウンロードができるよう掲載した。

(2) 開発企業から取得した項目

①製品概要 (当該機器の概要、ポイントのみ)	②詳細情報 (適切な選定を促すための情報)
<ul style="list-style-type: none">1. メーカー名2. 製品名、型番、販売年月、TAISコード3. 該当する重点分野4. 製品概要<ul style="list-style-type: none">(1) 機能(2) 仕様(3) 販売価格5. 貸出に必要な環境など6. 貸出期間(1週間～3ヶ月以内とすること)7. 貸出可能台数(1要望あたりの台数)8. 問い合わせ先(担当者、連絡先)9. サポート対応 <p>※写真2枚</p>	<p>詳細情報は、実用化支援事業において検討した以下の表示項目を基本とし、当面は「見守り(介護施設)」と「移乗介助(装着・非装着)」、「移動支援(屋外)」に該当する分野の介護ロボットとし、その他の分野は既に策定した項目を参考に記載可とする。</p> <ul style="list-style-type: none">I. 適用II. 禁止事項III. 使用上の注意IV. 使用方法V. 効果VI. 仕様、構造VII. メンテナンスVIII. コストIX. オプションX. 問い合わせ先 <p>※取扱説明書、YouTube 動画等</p>

上記の赤で囲った詳細情報について各企業より収集した。

① 移乗支援（装着）

大項目	中項目	記入欄	備考（記入例等）
I 適用	1 対象者（高齢者）		—
	2 対象者（介護者）	<ul style="list-style-type: none"> ・適用身長（目安）○～○cm ・適用体重（目安）○～○kg ・腹 囲 ○～○cm ・骨 盤 幅 ○cm以下 	
	3 専門職の関与		・適用に専門職の関与が必要か。
II 禁止事項	4 禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）： ・装着者の身体状況： ・その他： 	<ul style="list-style-type: none"> ・装着者の身体状況： （例：能動型埋め込み医療機器利用、妊娠中の女性、装着者の身体サイズが合わない等）
III 使用上の注意	5 注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・装着についての注意点： ・その他注意点： 	<ul style="list-style-type: none"> ・装着についての注意点： （例：骨粗しょう症の方、ベルトによる締め付けに問題のある方等）
	6 安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： ・機器のメンテナンスにかかる注意点： 	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意： （例：高湿・水滴がかかる場所でのバッテリー交換はしない、水や洗浄液を直接本体にかけない） ・機器のメンテナンスにかかる注意点： （例：○などによる洗浄、殺菌はしない）
	7 倫理面の配慮		（例：機器使用の画像撮影など的高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報集・活用等。同意書の取得）
IV 使用方法	8 使用方法		（例：機器利用前の準備（機器の移動・調整等）、高齢者の移乗時の基本ステップ、移乗終了後の動作の説明 装着・取り外しのしやすさ）
	9 使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境： ・使用できない環境： 	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境：（例：温度、湿度など）
	10 使用場面		・利用シーンの例を示す（例：トイレ介助、入浴介助等）
	11 習熟期間		（例：うまく使いこなすようになるまで約○カ月（○～○カ月））
	12 高齢者に対する安全面の配慮		
	13 介護者に対する安全面の配慮		
V 効果	14 使用することで実現する高齢者への効果		
	15 使用することで実現する介護者への効果		（例：介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減）
	16 使用することで実現する施設への効果		（例：労働環境改善、職場の魅力向上）
VI 仕様、構造	17 アクティブ・パッシブ（区分）		（例：アクティブ：バッテリー駆動、パッシブ：サポーター、圧縮空気、バネ）
	18 使用場所、必要スペースなど		①使用場所（例：居室、浴室、トイレ） ②利用に必要なスペース等：装着時に周囲にぶつけないかの確認のための目安
	19 サイズ	幅○mm×奥行○mm×高さ○mm	
	20 重量（バッテリー含む）	○kg	バッテリー含む場合は、「バッテリー含むと記載」
	21 材質		
	22 電源・バッテリー		
	23 充電時間	○分	
	24 連続使用時間	○時間	
	25 使用時の音		
	26 緊急発報の方法		（例：アラート音、ライト点滅、なし）
	27 安全性の認証取得		（例：ISO13482取得）
	28 防水・防塵加工		
	29 アシスト力を発揮する部位		（例：腰部）
	30 最大アシスト力		通常使用においてロボットが出力可能なアシスト力の最大値
31 稼働方式			
32 必要な通信環境		（例：あり（必要な環境： ）、なし）	
33 データの記録機能、有無と内容		（例：あり：（データの内容： ）、なし）	
34 他の機器との連携・互換性		（例：あり：（連携機器： ）、なし）	
VII メンテナンス	35 準備・片付け		
	36 保管方法		
	37 メーカーによるメンテナンス		
	38 ユーザーによるお手入れ		
	39 消耗品の有無		
	40 保証期間		
	41 修理対応期間		
42 耐用年数			
VIII コスト	43 本体・付属品の定価		
	44 ランニングコスト		
	45 教育研修費		
IX オプション	46 追加できる機能		
X 問合せ先	47 緊急時の問合せ先		
	48 デモ・貸出		
	49 よくある質問（Q & A）		

② 移乗支援（非装着）

大項目	中項目	記入欄	備考（記入例等）
I 適用	1 対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長（目安）○～○cm ・適用体重（目安）○～○kg 【介護者】	【介護者】 （例：機器の操作が理解できる介護者）
	2 専門職の関与		・適用に専門職の関与が必要か。
II 禁止事項	3 禁止事項	・使用できない環境（場所）： ・その他：	
III 使用上の注意	4 注意事項		（例：設置場所、保管スペースに関する注意事項等）
	5 安全に利用するための配慮		（例：広さ、床面の状態、障害物の確認等）
	6 倫理面の配慮		（例：機器使用の画像撮影など的高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報集・活用等。同意書の取得）
IV 使用方法	7 使用方法		（例：機器利用前の準備（機器の調整等）、高齢者の移乗時の基本ステップ、移乗終了後の動作の説明）
	8 使用環境	・動作環境：（例：温度、湿度など） ・使用できない環境：	
	9 使用場面		・利用シーンの例を示す。（例：ベッド⇄車いす、ベッド⇄ストレッチャー（特浴など）等）
	10 習熟期間		（例：うまく使いこなすようになるまで約○カ月（○～○カ月））
	11 高齢者に対する安全面の配慮		（例：対象者の健康状態の確認）
	12 介護者に対する安全面の配慮		（例：足先を覆う履物を着用する）
V 効果	13 使用することで実現する高齢者への効果		（例：移乗時の緊張緩和による負担軽減）
	14 使用することで実現する介護者への効果		（例：介助動作の腰部負担軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる）
	15 使用することで実現する施設への効果		（例：労働環境改善、職場の魅力向上）
VI 仕様、構造	16 使用場所、必要スペースなど		使用場所：（例：居室、浴室、トイレ）
	17 サイズ	幅○mm×奥行○mm×高さ○mm	
	18 重量（バッテリー含む）	○kg	バッテリーを含む場合は、「バッテリー含むと記載」
	19 材質		
	20 形状		
	21 電源・バッテリー	○分	
	22 連続使用時間	○時間	
	23 連続使用回数		
	24 使用時の音		
	25 緊急発報の方法		（例：アラート音、ライト点滅、なし）
	26 安全性の認証取得		（例：ISO13482取得）
	27 防水・防塵加工		
	28 稼働方式		
	29 必要な通信環境		（例：あり：（必要な環境：）、なし）
30 データの記録機能、有無と内容		（例：あり：（データの内容：）、なし）	
31 他の機器との連携・互換性		（例：あり：（連携機器：）、なし）	
VII メンテナンス	32 準備・片付け		
	33 保管方法		
	34 メーカーによるメンテナンス		
	35 ユーザーによるお手入れ		
	36 消耗品の有無		
	37 保証期間		
	38 修理対応期間		
	39 耐用年数		
VIII コスト	40 本体・付属品の定価		
	41 設置導入に伴う費用		
	42 ランニングコスト		
	43 教育研修費		
IX オプション	44 追加できる機能		
X 問合せ先	45 緊急時の問合せ先		
	46 デモ・貸出		
	46 よくある質問（Q & A）		

③移動支援（屋外）

大項目	中項目	記入欄	備考
I 適用	1 対象者（高齢者）		
II 禁止事項	2 禁止事項		
III 使用上の注意	3 注意事項		
	4 安全に利用するための配慮		
	5 倫理的の配慮		
IV 使用方法	6 使用方法		
	7 使用環境		
	8 使用場面		
	9 高齢者に対する安全面の配慮		
	10 介護者に対する安全面の配慮		
V 効果	11 使用することで実現する高齢者への効果		
	12 使用することで実現する介護者への効果		
	13 使用することで実現する施設への効果		
VI 仕様、構造	14 使用場所、必要スペースなど		
	15 サイズ		
	16 形状		
	17 重量		
	18 積載量		
	19 電源・バッテリー		
	20 充電時間		
	21 連続使用時間		
	22 使用時の音		
	23 緊急発報の方法		
	24 安全性の認証取得		
	25 防水・防塵加工		
	26 稼働方式		
	27 必要な通信環境		
	28 必要なシステム・設備		
	29 データの記録機能、有無と内容		
	30 他の機器との連携・互換性		
VII メンテナンス	31 準備・片付け		
	32 保管方法		
	33 メーカーによるメンテナンス		
	34 ユーザーによるお手入れ		
	35 消耗品の有無		
	36 保証期間		
	37 修理対応期間		
	38 耐用年数		
VIII コスト	39 本体・付属品の定価		
	40 設置導入に伴う費用		
	41 ランニングコスト		
	42 教育研修費		
IX オプション	43 追加できる機能		
X 問合せ先	44 緊急時の問合せ先		
	45 よくある質問（Q & A）		

④見守り（施設）

大項目	中項目	記入欄	備考（記入例等）
I 適用	1 対象者	<ul style="list-style-type: none"> 【高齢者】 ・ 【介護者】 ・ 	<p>【高齢者】</p> <p>（例：転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など）</p> <p>【介護者】</p> <p>（例：複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など）</p>
	2 専門職の関与		・適用に専門職の関与が必要か。
II 禁止事項	3 禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）： ・その他： 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）： （例：浴室内等、高温多湿なところ、屋外） ・その他 （例：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール）
	4 注意事項		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者様が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。）
III 使用上の注意	5 安全に利用するための配慮		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。）
	6 誤報の有無		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・ご利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・直射日光による精度低下時、画面降下による設定相違時 ・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合）
	6 使用上の注意		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センサを遠くするような物の配置をしない、直射日光の当たる場所に配置しない ・正しい設置位置（ベッド上部から0cmの位置）で使用する ・スプリング式のベッドでは使用できない ・WiFi環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・サーバーPCの電源が抜けないようにする）
	7 倫理的配慮		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設から家族に同意書を取得する ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・ご利用者様（特に女性）のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない仕様を基本としている ・オプションとして、同意を得た上で、センサーが認識・通知した時のみ、画像で状況を確認する事が出来る様な対応をしている ・利用停止後、データを破棄する）
	8 使用方法		<ul style="list-style-type: none"> ・使用時の基本ステップ（見守りの際の準備（機器の調整等）、高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、アラートの内容等をふまえ訪室）） ・アラートの種類：（例：「動き出し」「起き上がり」「端座位」「離床」）
	9 使用方法（再設定）		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動後に、ACアダプタを接続する ・必要に応じ、しきい値を再設定 ・コントローラーで調整）
	10 使用環境		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気温0℃～0℃ ・湿度0%以下（但し、結露しないこと） ・センサーレンズを覆い隠さない事 ・居室全体が見える位置への設置 ・ベッドを利用 ・Wi-Fi環境）
11 使用場面		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア） 	
12 習熟期間		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・うまく使いこなすようになるまで約〇カ月（〇～〇カ月）） 	
13 高齢者に対する安全面の配慮		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかかる位置に配置する） 	
14 介護者に対する安全面の配慮		<p>（例）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れたままベッド移動をしない。 ・電源ケーブル等は足元に引っかかる位置に配置する） 	
IV 効果	15 機器を使用することで実現する高齢者への効果		（例：転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上）
	16 機器を使用することで実現する介護者への効果		（例：職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り）
	17 機器を使用することで実現する施設への効果		（例：事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等））

VI 仕様、構造	18 使用場所、必要スペースなど		使用場所(例: 屋内、介護施設・病院内 居室(個室・多床室)、Wifi通信が届くエリア、居室の頭部)	
	19 設置場所		(例: ・ベッド頭部側中央、高さ0m ・居室の天井や壁 ※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること ・ベッドのマットレス等の寝具の下)	
	20 設置方法		(例: ・壁付け・天井ポール設置・専用スタンド設置 ・専用取付金具使用 ・ベッドのマットレスの下に敷く)	
	21 サイズ			
	22 形状			
	23 重量 (バッテリー含む)	〇〇kg		バッテリーを含む場合は、「バッテリー含むと記載」
	24 電源・バッテリー (本体、端末、センサー等)			機器のパーツ (本体、本体以外) ごとに記載
	25 使用時の音			
	26 緊急発報の方法			(例: ・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・ナースコールシステムを介して通知 ・ランプ赤色点滅、及び警告音)
	27 安全性の認証取得			(例: ・PSE、EMS準拠 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証 (〇PSEマーク) 取得 ・かわさき基準 (KIS) 認証 ・内部通信モジュールは技適取得 ・EAE認可取得 ・医療機器 届出番号取得)
	28 防水・防塵加工			防水加工の有無 防塵加工の有無
	29 検知方式 (センサー、画像など)			(例: ・センサーで検知 (振動センサー、空圧検知センサー等) ・画像解析 ・ドップラー方式)
	30 検知範囲			(例: ・ベッド周辺30cm程度 ・対角線上6m以内 ・ベッド上 ・動体検知 (環境センサー) 垂直5m 範囲90°)
	31 反応速度 (タイムラグ)			(例: ・〇秒以内 (※通知が届くまではWifi環境による影響あり) ・即時通知)
	32 最大見守り人数			(例: ・1システム最大〇床 (1ベッド1センサー) ・1人/台 ・親機1台あたり〇名 ・上限なし)
33 必要な通信環境			(例: ・特になし ・ナースコール、または独自無線システムにて通報するため、専用の通信環境は不要 ・インターネット環境 ・Wifi環境 (ない場合はモバイルルータが必要) ・各居室へのLANケーブル配線、施設内のWifi環境整備 ・無線LAN (Wifi) 2.4GHzもしくは有線LAN通信速度 10Mbps/100Mbps)	
34 必要なシステム・設備			(例: ・表示端末 (パソコン、タブレット、スマホ等) ・専用サーバー、専用ソフトウェア、タブレット端末 (スマホ)、NW機器 ・ナースコールシステム ・追加のPC、ソフト、システム等は不要)	
35 データの記録機能、有無と内容			(例: ・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能 ・1分毎に記録する情報: 臥床、寝返り、座位、離床、室温、湿度、電波圏内・圏外、電波強度 (心拍数・呼吸数・体動量はバイタルセンサー接続時) ・1分毎に記録した利用者様の状態及び居室の状況を1日24時間分、居室単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能。 ・異常検知した動画のみの記録や追加オプションで常時録画 ・異常検知した場合、報知前の画面を表示 (3分間分) ・脈・呼吸のデータを1週間分記録可能。 ・保存期間は基本1ヶ月 ・CSVファイルのデータエクスポート機能有 ・なし)	
36 他の機器との連携・互換性			(例: ・ナースコールと連動可能 ・介護記録ソフトとの連携可能 ・検知・通知状況確認用のカメラとの接続が可能 ・なし)	
VII メンテナンス	37 メーカーによるメンテナンス		(例: ・定期的な稼働状況の確認 (リモート) ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置 (必要と認められれば、本体の交換) を行う ・クラウドサーバーの定期メンテナンス、システムバージョンアップ ・特になし)	
	38 ユーザーによるお手入れ		(例: ・タブレット端末の充電 ・本体カメラ部の清掃 ・ホコリの除去 ・コントローラ・センサはACアダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる。 ・空圧検知センサーの空気充填 ・電池交換 ・特になし)	
	39 消耗品の有無		(例: ・特になし ・バッテリーや電池 (無償交換))	
	40 保証期間			
	41 修理対応期間			
	42 耐用年数	約〇年		

Ⅵ	コスト	43 本体・付属品の定価		
		44 設置導入に伴う費用		
		45 ランニングコスト		
		46 教育研修費		
Ⅶ	オプション	47 追加できる機能		
Ⅷ	問合せ先	48 緊急時の問合せ先		
		49 デモ・貸出		
		50 よくある質問 (Q & A)		

(3) 情報の掲載

取得した情報は以下のように取りまとめた。

製品			
メーカー名 CYBERDYNE 株式会社			
製品名 HAL® 腰タイプ介護・自立支援用			
型番 HAL-BB04-555JP			
製品情報			
項目	内容	内容	
適用	対象者 (高齢者)	適用身長 (目安) 140～180cm 身長 120cm以下	適用体重 (目安) 40～80kg 体重 35cm以下
	対象者 (介護者)	適用身長 (目安) 140～180cm 身長 120cm以下	適用体重 (目安) 40～80kg 体重 36cm以下
専門職との関与		なし	
禁止事項	禁止事項		使用環境に合わない場所での利用。次の場合は装着不可 (身体サイズが合わない方、重い荷物を持つ方、心臓ペースメーカーなどの電磁誘発による影響を受けやすい方、妊娠中の女性、動作の手癖や注意点などの簡単な説明をご理解いただけない方、皮膚疾患などにより、電極の貼り付けができない方 (ただし電極利用者のみ))
	注意事項		次の場合は装着に十分注意する。背骨疾患の方、失神やめまいの恐れのある方、ベルトによる固定部への付加に問題のある方。
使用上の注意	安全に利用するための配慮		<ul style="list-style-type: none"> 入浴介助時のリフト交換等、高さ・水深がかかる場所でのバッテリー交換は要注意。リフトを交換する場合は必ず十分注意すること。 本体の「リフトカッター」を確実に閉めること。 移動輪を使用する際は、本製品を使用するから外すこと。 電気機器や器具が動作している場所や保管及び使用をしないこと。 水や洗浄剤などの液体を直接本製品にかからないこと。 水虫、皮膚炎の発症及び発病による感染、虫刺し及び放射線による感染は行わないこと。
	修理面の配慮		製造使用に当たり修理等が必要となる場合はお問い合わせください (例: 同梱物を取得する)
使用方法	使用手順		<ol style="list-style-type: none"> HAL本体のリフトを取り付ける 腰部ベルトのリフトを外し、装着者の腰にHALを乗せる 腰部ベルトを大腰部に固定する HALの電源を入れ、装着者に合ったアシストトルクを設定する アシストを停止し、電源を停止する 腰部ベルトのリフトを外す リフトを折りたたむ
	使用環境		動作環境 温度: 0℃～40℃ 湿度: 20%～80% ※結露しないこと 防水性能: IP44、防塵性能: IP54 ※薬品などの液体がかかる場所、油煙・埃の多い場所は避ける
	使用場面		移乗介助、入浴介助、体位変換介助やベッドサイドでの中腰作業などの腰部負担がかかる作業
	習熟期間		<ul style="list-style-type: none"> 機体の取り付け方法や、ボタン操作などの基本操作は1回もしくは2～3回程度の練習で習熟可能。 <身体負担を低減するための使用の留意点> ※身体負担がHALを使用する事で作業が楽に感じたり、身体負担が軽減したと感じる事を習熟と定義した場合 1習熟→1ヶ月程度 1習熟の所要時間は10時間から20時間程度
効果	高齢者に対する安全面の配慮		転倒防止器具の併用
	介護者に対する安全面の配慮		使用上の注意に準ずる
効果	使用することで実現する高齢者への効果		HAL®を装着して意思に従った運動を行うことにより、身体機能の維持・向上や自立支援を図ることが期待されます。コパノは設置を目的とした、施設での利用で楽しく、効率的に介護介助や作業が実施できることが期待されます。

製品情報			
項目	内容	内容	
効果	使用することで実現する介護者への効果		移乗介助・体位変換介助などの介助動作時の腰部負担について医学的・解剖学的観点から詳細にシミュレーションを行い、負担を軽減できる効果を実現。腰痛を予防し、作業効率を向上させることができます。
	使用することで実現する高齢者への効果		介護する人の身体負担を軽減することは、介護業務改善や労働環境向上につながります。また、介助なしでの立ち戻り動作など、介護される人の自立後の向上は、本人はもちろん介護する人の負担も大きく軽減します。
仕様・構造	アクティブ・パッシブ (区分)		バッテリー駆動
	使用場所、必要スペースなど		①使用場所: 居室、浴室、トイレなど ②使用に必要なスペース: 人が入らないスペースでは使用不可
	サイズ		奥行: 292mm × 幅: 450mm × 高さ: 522mm
	重量 (リフトリー含む)		3.1kg (リフトリー含む)
	電源・バッテリー		バッテリー駆動 (1個付) 付属の充電器にてバッテリーを充電可能。
	充電時間		90分
メンテナンス	連続使用時間		4.5時間
	使用時の音		ごく静音
	緊急時の方法		ライトおよびアラート音 (詳細は取り扱い説明書に記載)
	安全性の確保		ISO13482取得 防水・防塵加工 IPX4 防塵性能: IPX5
コスト	必要な修理部品		無し
	データの記録機能、写真と内容		無し
	他の機器との連携・互換性		無し
	修理・片付け		安全使用講習の動画参照
問合せ先	保存方法		使用環境を清潔にし、十分な広さのある安定した台の上に置いて保管。
	ユーザーによるお手入れ		水拭き、もしくはエチルアルコールもしくは、イソプロピルアルコール (濃度70～90%)。その他詳細は取扱説明書参照
パンフレット等	消耗品の有無		腰部・脚部のベルト、バッテリー、生体電位ケーブル、バッテリー、充電器一式
	保証方法		保証期間中
製品カタログ	本体・付属品の定価		本体価格: 1,760,000円 (税込)
	ランニングコスト		保守料: 月額22,000円 (税込)
教育研修費	教育研修費		初期導入費: 110,000円 (税込)
	緊急時の問合せ先		0120-813-189
デモ・貸出	デモ・貸出		貸出可能

(4) 掲載情報

掲載されている情報は50件で内訳については、以下の通り。

	種目	件数
1	移乗支援	10件
2	移動支援	2件
3	排泄支援	4件
4	見守り・コミュニケーション	32件
5	入浴支援	1件
6	介護業務支援	1件
合計		50件

1.1. 介護機器の安全利用に関する整理

(1) 福祉用具に係る重大製品事故情報の周知

①概要

厚生労働省では、消費者庁のホームページで公開されている「消費生活製品の重大製品事故」のプレスリリースの中から、福祉用具に係る重大製品事故を抜粋し、毎週月曜日に各関係機関へ周知を行っている。

プレスリリースは毎週火曜日と金曜日に公開されており、テクノエイド協会では公開された情報の中から福祉用具に係る重大製品事故を抽出し、厚生労働省へ報告することとした。

【周知先機関】

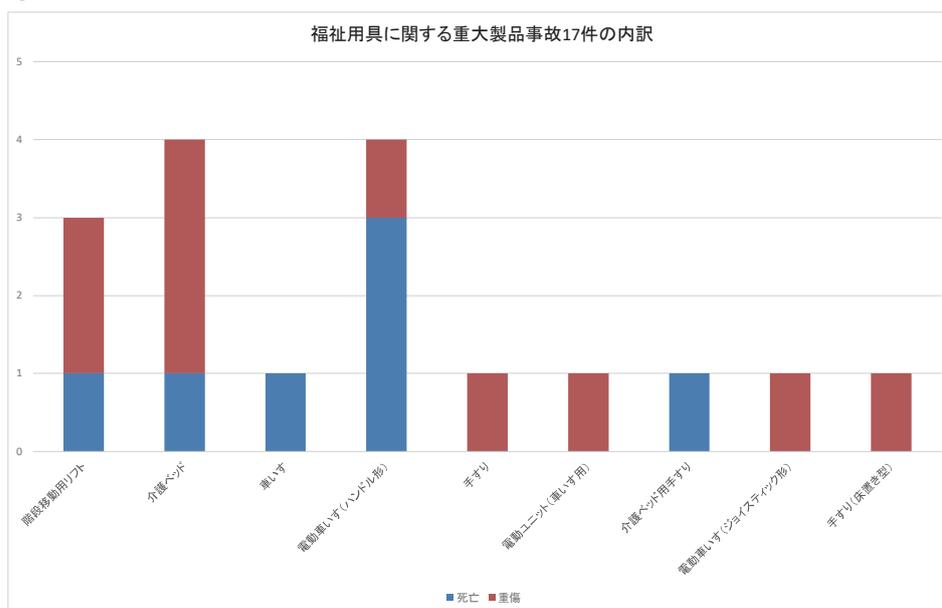
- ・各都道府県、指定都市、中核市
- ・公益財団法人テクノエイド協会
- ・一般社団法人日本福祉用具供給協会
- ・一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会
- ・一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会

②報告様式

周知方法として、事務連絡及び、以下の一覧表を付記している。(下記は一例)

情報提供日	消費者庁公表日	事故発生日	報告受理日	製品名	機種・型式	事業者名	被害状況	事故内容	事故発生日	備考
令和3年3月8日(月)	令和3年3月2日(火)	なし								
	令和3年3月5日(金)	2021年2月21日	2021年3月3日	階段移動用リフト			死亡1名	当該製品を使用中、搭乗者(80歳代)が転落し、病院に搬送後、死亡が確認された。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。	東京都	
令和3年3月15日(月)	令和3年3月9日(火)	なし								
	令和3年3月12日(金)	なし								
令和3年3月23日(月)	令和3年3月16日(火)	なし								
	令和3年3月19日(金)	なし								
令和3年3月29日(月)	令和3年3月23日(火)	なし								
	令和3年3月26日(金)	2021年2月6日	2021年3月23日	介護ベッド			重傷1名	使用者(80歳代)が当該製品を使用中、背上げ部を起こしていたところ、急に背上げ部が下がり、負傷した。当該製品に起因するののか、他の要因も含め、現在、原因を調査中。	愛知県	事業者が重大製品事故として認識したのは令和3年3月15日

③重大製品事故の内訳



(2) 介護機器の安全利用に関する実態把握

①目的

高齢者の自立を支援し、介護者の負担を軽減する福祉用具・介護ロボット（以下「介護機器」。）は、高齢者の心身機能の維持・向上、さらには活動や参加を促す一つの手段として、重要な役割を果たすものである。

こうした介護機器を安全・快適に利用するためには、高齢者の身体的及び心理的、精神的な状態は勿論のこと、使用する場面や環境など、利用者の置かれている状況に適応した機器を選定し、利用することが求められる。

一方、近年、在宅・施設を問わず介護機器を利用する機会が増加するなか、介護機器利用に伴う事故やヒヤリハットの防止と発生時の適切な対応が求められているところであり、次期の介護報酬改定に向けた検討課題として掲げられている。

こうした背景を踏まえ、介護機器の安全利用を推進するため、事故やヒヤリハットの情報（以下「事故情報等」）を効果的に活用するために必要な内容を整理することとする。具体的には、現在、関係機関等において行われている介護機器の事故情報等に関する取り組みを把握し、安全利用を推進するための課題や方策を整理することとする。

対象とする介護機器は、介護保険法による福祉用具貸与・特定福祉用具販売の対象となっている機器及び、「ロボット技術の介護利用における重点分野」に定められている既に上市されている介護ロボット等とする。

②実施期間

令和4年度1月下旬～2月上旬

③方法及び時間

オンラインによる聞き取り調査（1時間程度）

④調査対象

- ・消費者庁（消費者安全課）
- ・経済産業省（製品安全課、医療・福祉機器産業室）
- ・独立行政法人製品評価技術基盤機構（以下、NITE）
- ・公益社団法人全国老人福祉施設協議会（ロボット・ICT推進委員会担当）
- ・公益社団法人全国老人保健施設協会（管理運営委員会 安全推進部会）
- ・一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会（事務局、安心・安全部会）
- ・一般社団法人日本福祉用具供給協会（事務局）
- ・一般社団法人全国福祉用具専門相談員協会（事務局）

⑤主なヒアリング内容

- 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取り組みについて
- 現状の課題について
- 将来取組む予定等について
- 安全な利用を推進するために必要な情報や方策について

⑥ヒアリング結果

以下のとおり。

◆調査対象1：消費者庁

（実施日時：令和4年1月28日（金）13：00～）

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集について】

・以下の根拠法等に則り、重大事故情報を一元化し、対応を検討・周知している。

①消費者安全法（以下、安全法）

・消費者事故（サービス、製品限らず）のうち重大事故について、該当すると判断（該当すると見込まれると判断したものも含む。）した時点で直ちに通知するよう行政機関等に義務付けられている。

・通知された事故情報は、HPで週ごとにまとめ、公開することで注意喚起を図っている。

②消費生活用製品安全法（以下、消安法）

・消費生活用製品の製造又は輸入事業者は、消費生活用製品に起因する重大事故（業務用は含まれない）が発生したことを知ったときは10日以内に消費者庁へ報告しなければならない。

・製品事業者など報告のあった事故情報は、①と同じくHPで公開している。

・通知段階で原因が分からなければ名指しでの公開は差支えがあるため、実施しない。

・①で通知のあった重大事故は、消費者安全調査委員会で事案によって詳細な原因究明を行う。詳細調査を行う事案は、選定指針および有識者意見によって選定する。

・調査結果に基づいて、必要に応じて各行政機関へ意見を述べる。

・各所管省庁などで既に調査している場合は、介入しない。

【事故情報などの収集について】

・通知された情報はリスト化して、注意喚起のネタにするなどしている。また、プレスリリースなどで集計データを使用している。

・通知された情報は「事故情報データバンク」で一般に公開している。こちらに掲載された情報では、個人特定を避けるため全量は公開していない。

・消費者白書の資料編で通知された事故情報の年度別データなど掲載している。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・安全法では通知義務が課されているが、行政機関等にその制度は浸透しきれていない。

・消費者事故の概念も難しく、通知すべきか判断に迷うようである。

【事故情報などの発信について】

・注意喚起として発信するものが関心の低い人に届かない。どう届けたら良いかは課題。
(注意喚起は毎回事務連絡で各都道府県に通知される)

◆調査対象2：経済産業省製品安全課

(実施日時：令和4年2月10日（木）13：00～)

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの発信について】

・2年前からNITEのリスクアセスメント専門部署と連携している。また、医療・福祉機器産業室、国立研究開発法人産業技術総合研究所（以下、産総研）も含め、2週間に1回程度ミーティングを重ねている。

・目的は増加している高齢者の製品事故を対象に、NITEの分析に基づいた効果的な注意喚起を行いたいことや、発生した瑕疵について規格への反映を目指している。なお、

高齢者製品に関する標準規格は現状無い。

・ これまでは製品を特定して個々のリスクアセスメントを行ってきた。介護ベッド、電動車いす、はしご・手すり、脚立・踏み台をこれまでに対象とした。なお、脚立・踏み台は事故多発していることを選定理由として、介護保険外の製品だが対象とした。

・ 上記の取組みを反映し、高齢者の製品事故に焦点をあてたHPを今年12月に新たに公開した。HPには注意喚起のチラシや動画、高齢者行動ライブラリ等を掲載している。

・ 来年度以降は、大きなテーマで事故防止を考えていきたい。市場分析、注意喚起への工夫を検討していく予定である。

・ 製品安全の文化を普及する取組みとして、「製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）」がある。その受賞企業によるコミュニティが作られている。その中に高齢者向け製品のワーキンググループを作り、様々な議論している。そのグループに産総研も加わり、ニーズを収集している。来年度以降、収集したニーズに応えた情報を掲載できないか検討している。

・ 製品事故対策室で、事故情報に関するツイッターアカウントの運営もしている。また、ニュースリリースを当省単独でなく、消費者庁やNITEと連携して発信もしている。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・ NITEが収集している以外の情報がなかなか無い。把握できていない事故があると認識している。それをどう拾うかに強い課題意識を持っている。

・ 厚労省の事故情報収集に関する取組みと連携すれば集まるものかも不明。

・ 一般の企業にとっても事故はネガティブなものと認識されている。事故を社外に公開したくない心理環境は分かるが、そのハードル下げることを含めて仕組みを検討すべき。

【事故情報などの発信について】

・ 新たに公開したHP等が一般の方や事業者はまだ知られていない。まずは使ってもらおう。

・ 注意喚起であれば綿密にどれだけできるかが重要。関係機関を巻き込むことが必要。現状では、業界団体やメーカーまでは届いていない。

・ 製品起因の事故を基に各企業が新たな製品を開発する時に、安全性能は実験しにくいのではないかと。実験自体にリスクがある。事故情報データの取得方法が肝になると思う。

◆調査対象3：経済産業省医療・福祉機器産業室

(実施日時：令和4年2月7日(月) 15:00～)

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集・活用について】

・ 機器の開発支援や標準化について、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED）等を通じて実施している。

・ 事故情報は消費者庁、同省製品安全課から入手している。当室としては死亡事故等の重大事故が無いか見ている。昨今では介護ベッド、電動車いすなどに注目しており、事故があった場合は製品側での解決を業界団体とJISの改正などで調整している。

・ ロボット介護機器の開発支援をメインにやっている。導入障壁に機器の安全性、使用方法に不安があると聞いている。それを解決するために、機器の安全性に対する強度な

どの定量的な数値を作れるか検討している。

・介護現場が機器、ICTの使い方が分からないため、昨年度までの事業で導入マニュアルを作成した。既存の福祉用具では同様の導入マニュアルは作成していない。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・現場としては事故情報を外部に報告することに抵抗があるのではないかと感じる。任意では制度の浸透は厳しいと感じる。(虐待を疑われるなど)

・報告される中で、事故として解決できる数がどれほどあるか不明。

・事故が起きた時にソフト面の事故なのが見えにくい。製品開発側もどこまで安全を担保するかが難しい。事故が起きた際にすべてメーカー側になってしまうと厳しい。介護機器は制度に左右されるため、開発に踏み切れない企業も存在する。この場合、事故原因がはっきり分かるようにする必要がある。メーカーを守る、消費者を守る双方の意味で重要と思われる。

・介護業務支援の一環で見守り機器の開発支援を行っている。このカメラで記録した内容で事故全容などを把握して、分析すべきでは？との意見もいただいている。

【事故情報などの発信について】

・開発事業者にもヒヤリハットなどの情報を普及していく必要がある。機器だからこそ解決できるものもあるのではないかと感じる。(ニーズに近いものもある)

・機器の使い方は座学で勉強する機会がなかなか無いと思う。機器の安全な使い方の講習はよいと思う。

・使う側の問題もある。高齢者が福祉用具に触れる機会は本人が必要になってからとなる。それ以前に触れることがあれば、まだ馴染めるのではないかと感じる。

◆調査対象4：独立行政法人製品評価技術基盤機構

(実施日時：令和4年1月31日(月) 13:00～)

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集について】

・消安法に基づき報告される事故を扱っている。安全法に基づくものはすべて消費者庁管轄である。

・非重大事故で多いものは、「怪我はしていないが、部品が壊れた・外れた」などである。そのままいけば転倒など事故に繋がりがかねない状態である。また、ヒヤリハットだけでなく、治療期間30日以内であれば該当している。

・非重大事故として報告されても、内容的に重大事故の場合がある。製造者が分からない場合は非重大事故の扱いで調査することもある。

・リース事業者、設置工事事業者、修理事業者、関係団体等からの報告は少ない。製造事業者、消費生活センターが主である。介護機器に関する報告は過去10年分で無し。

・報告のあった事故は全件詳細調査する。調査度合の軽重は当社で決定して、第三者委員会には調査結果の妥当性など確認してもらっている。

・詳細調査はハード寄りではなく、あくまで第三者視点で事故原因そのものを調べる。結果的に製品起因が多いのはやむを得ない(報告のきっかけが製品なので)。

・自社予算の中で市場モニタリングに近いことはする。実施した結果は年1回の社内報

告会での共有のみ使用する。原因調査の過程で通知頻度や事故の程度によって、限定的にテーマ設定して調査することはある。

【事故情報などの発信について】

- ・誤使用と不注意事故が一定数存在しており、これを減らすことを目的に定例でプレスリリースしている。高齢者に関して、年1回以上は対象にして情報発信。今年度は敬老の日に電動車いすの事故情報発信を行った。
- ・最近はSNS、YouTubeも活用。高齢者向けでは、例えば介護用ベッドの手の挟み込みなどを注意喚起している。SNSは分析もしている。ポイントとしては、高齢者や介護者に情報が届いているか。一般企業や業界団体など影響力のあるところと連携して現場に情報を届けることが重要。実際に連携する動きもある。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

- ・事故報告制度が浸透していないと考える。市町村からの報告は制度としてあるものの、消費生活センター以外の部署が認知しているか分からない。
- ・報告された製品が一般の消費生活用か業務用かで扱いが変わる。当社は消費生活用製品のみを対象としており、業務用は対象外である。ただ、業務用であっても怪我をするのは消費者なのでジレンマがある。使うのがプロか、一般的に購入できるものか等で判断されるが、一般消費生活用か業務用かの判断は報告者に委ねられている。報告者と話しをする過程でその判断が変わることもある。
- ・使い方に問題がある場合、その使用状況が聞けない場合が多い。その場合は原因不明とせざるを得ない。当機構が消費者と直接コンタクトすることは基本無い。事業者や消防などから又聞きになる。ただし、聞いたとしても誰も見ていない間に事故が起きていたり、事故で被害者が出てると聞き取りしづらい点もある。
- ・情報を限定的にしか集められていない。事業者からすると、誤使用なども絡んでいるので、製品要因だけの事故指摘はいかなものか、ということもあり、分析の切り口の検討も課題である。

◆調査対象5：公益社団法人全国老人福祉施設協議会

(実施日時：令和4年2月3日(月)14:00～)

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集・活用について】

- ・厚労省からの情報等についてはHPに掲載するなどしているが、介護機器の事故情報に特化した情報収集は現在のところ具体的な取り組みはない。
- ・一昨年からは介護ロボットおよびICT対応の推進委員会を組織し、これから福祉用具、介護ロボット、ICT含めて情報収集を始めていこうという段階。
- ・約12,000の会員施設への実態調査などを通して、事故情報を含めた現場の状況や全体的な傾向などを把握していきたいと考えている。
- ・テクノエイド協会をはじめ、各都道府県の老協を含めたその他関係機関の各ステークホルダーと連携、情報交換していきたいと考えている。介護機器の導入については注目されている実感があるため、特に安全性の担保の点などに注力しながら積極的に取り組んでいきたい。

【事故情報などの発信について】

・老施協. comというアプリを活用して、アプリ登録者とタイムリーに相互のやりとりができる状況を整えている。現在約6,000のユーザーとつながっているため、情報収集・発信にこういったツールの活用も検討している。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・介護機器については、利用者、従事者側の観点や情報などは収集することが出来るが、メーカー側の情報がない。介護ロボット関係事業に取り組む中で、介護機器の標準化が課題だと感じている。機器ごとの情報は非常に手に入れやすくなっているが、介護機器の有効な組み合わせ、導入に必要なインフラなど技術的な側面、通信など、まだ見えにくい部分もある。同系統の機器でも性能の違いや、それぞれの利点欠点があると思われるが、それらの情報はあらかんになっていない。メーカー側の事情や様々な背景はあるだろうが、現状選ぶ側としては、機器メーカー、営業の情報などに頼らざるを得ない。

【事故情報などの発信について】

・最新の情報をどう担保するかが課題になっている。介護機器分野も急速に成長してきており、最新の正しい情報をどう発信するかが難しい。
・現在老施協. comの登録者数は約6,000で、ユーザーと相互にやり取りする機能も比較的活用されているが、現状最も情報がリーチし、広がりやすいのはFAXと書面。ただし、若い職員には紙の情報は届きにくいという部分もある。

◆調査対象6：公益社団法人全国老人保健施設協会

(実施日時：令和4年2月7日(月)13:00～)

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集について】

・福祉用具に特化した調査など実施した経験は無い。
・介護事故全般に関するものはある。また、別働体の共済会で把握している事故は集計などしている。機器に特化した視点は無かったので、これを契機に安全推進部会で調査したい。
・なお、協会としての会員への事故報告義務などは無い。賠償責任保険などを会員へ提供している共済会(会員の2/3程度が加入)への事故報告で把握する。
・ヒヤリハットや転倒、転落事故(機器が絡むことが多い。ブレーキ不具合、ヒューマンエラーなど)を通じれば、情報は集められるかもしれない。
・今般、統一化された事故報告様式には機器に特化した項目を入れても良いのではないかと思った。

【事故情報などの発信について】

・現状実施していないが、全老健では介護機器のリスクに関する情報発信に活用できる場を持っている。例えば、リスクマネジャー養成講座(2泊3日×2回、リモートはグループワーク無し。約30時間程度の学習)にもコマは現状無いが、加算対象の講座でもあるため毎年多くの受講者がいる。ヒヤリハット・苦情対応を主題にした集合研修も1泊2日で行っている。
・過去に全会員への情報発信を行った事例は1つのみ。窓ストッパーの不具合による転落

事故であった。経緯として、会員の老健施設で事故が発生し、その報告を受けたことがある。そこで全老健が聞き取りを行い、その情報を全会員へ周知した。

・また、共済会による補償制度や情報発信は以前より行っている。訴訟事案は研修会での事例で扱うなどはあるが、広く会員への情報発信することはあまり無い。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・新たな機器を導入する際には取扱説明を必ず聞くが、導入前にメーカーが把握している事故情報などは併せて知らせてほしい（導入する・しないの検討とは別の話で）。

・製品メーカー側と相互に情報をやり取りできる仕組みがあると良い。

【事故情報などの発信について】

・I o t、I C Tに関する安全性やリスクに関する情報をもらった記憶が無い。例えば、そのような情報を持つ機関とシステムチェックに全老健部会と連携して、会員へ情報発信できると良い。

◆調査対象7：一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会

（実施日時：令和4年2月7日（月）10：00～）

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集について】

・当協会にも基本的には事故を届け出る。消費者庁、N I T Eへの報告の写しはもらう。

・製品事故以外の誤使用などに取組む必要がある。ヒヤリハットも含めて集める。

・当協会では会員から事故報告とともに対応相談を受ける。その際は消費者庁への報告など指示している。

・最初の段階では製品起因か誤使用かは分からない。原因追及は非常に苦労する。重大事故であれば警察なども介入して、詳細な原因が分からないこともある。事件性が疑われれば、我々は調査にそもそも入れない。

【事故情報などの発信について】

・当協会からの情報発信として注意喚起のチラシを作るために情報を収集し、整理して公開している。製品固有の情報までは出てこない。チラシに掲載する情報は会員企業ごとで集積した経験的な情報から提供される。テクノエイド協会が公開しているヒヤリハット情報を参考にすることもある。

・当協会に報告された重大と考えられる事故についてリスク分析を実施している。消費者庁、N I T Eで公開された事故も細かく分析する。そして、チラシや動画にその結果を活かしている。例えば、展示会やY o u t u b eでもその情報は発信を行っている。

・製品起因による事故を減らすために、I S O、J I Sに反映する必要がある。

重大なものはリスク分析結果を反映している。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・本当の原因がよくわからない。重大事故になっても警察介入など詳細な情報が下りてこないなど。当事者の認知症の程度によっても影響がある。

- ・メーカーとして、ヒヤリハットの情報を得づらい。メーカーは製品に問題があったとしても、把握がすべてできるわけではない。明らかに誤使用の場合などはメーカーには情報が入ってこないと思われる。
- ・使い方に誤りがあるかは、当事者には分からない。介護現場の専門職から情報を集めてヒヤリハット集を作ったことあるが、「正しい使用方法を伝えなかった自分が悪い」「責任を負いたくない」といった理由で情報がなかなか出てこなかった。
- ・経産省は製品起因であれば所管であるが、使い方が悪い場合は管轄外としている。そのため、製品起因でないものは原因が追及されない。メーカーから上がってくる情報、貸与事業者や保険者が持っている情報をどう活用していくかが重要である。
- ・介護職員からどうやって事故報告を挙げてもらうか。介護機器への理解も不十分で、情報発信してもなかなか浸透しない。相談員にも福祉機器への意識に濃淡がある。モニタリングでの扱いもまちまちである。
- ・ヒヤリハットについて、メーカーから集める際に色々な人に聞いても集まらない。現場の専門職や福祉用具専門相談員などから集める仕組みがよいのでは？

【事故情報などの発信について】

- ・どうやって気に留めてもらうか。例えば、ベッドの挟まり事故が取り上げられた時、その直後は現場も注意されるが、時間が経って事故が減るとやはり緩む。
- ・家族への情報提供も課題。SNS 活用もしているが、高齢の家族が見てくれるかは疑問。
- ・介護機器との適合などについてモニタリングの基準を示して、質を担保すべき。
- ・学生のカリキュラムへの反映も必要。福祉用具のリスクに関するセミナーは半数程度学生が来て、アンケートでも学生時点から必要な情報だという結果が出ている。
- ・専門職にも教育が必要。安全性に関する情報をカリキュラムに入れ込む必要性をかんじる（普及に合わせて）
- ・福祉用具の安全性に関する情報はどこを見ればよいか分からない。一元化できればよい。

◆調査対象 8：一般社団法人日本福祉用具供給協会

（実施日時：令和 4 年 2 月 10 日（木） 15：00～）

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集について】

- ・平時での事故情報の収集事業はなし
- ・ただ、今年度は老健事業で調査研究を行っており、それとは別に独自事業も行っている。〈介護保険における福祉用具の利用安全を推進するための調査研究事業〉
- ・居宅サービスの中で福祉用具貸与を受けているものを対象に実施（施設は対象外）。貸与した機器で事故があったら市町村へ報告するルールだが、実態はどうかを調べた。
- ・結果として、事故報告の絶対的な件数が少ない。自治体がそのため必要性を感じない。福祉用具貸与関連で 2 ケタの報告数はそうそうない。回答の中で、施設での事故と混同している市町村もあった。
- ・事業所としても事故対応は稀であるため困っていない。市町村でも書式を示していないこともある。
- ・貸与事業所は一般的に普段からの情報収集は行っているが、自社としての事故報告の経験は滅多にない。

・貸与事業所にヒアリングすると、レンタル卸事業所の存在が分かった。関係のある貸与事業所の規模は増えている。事故があるとレンタル卸にまず話がいく。それを經由してメーカーが事故を知るという新たな流れが分かった。

【事故情報などの発信について】

・厚労省などからの重大事故情報の連携を受けて、発信している。独自の取組みは現状ない。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・(個人的見解だが) 事故情報について報告先や発信経路が多く分かりづらい。事故とヒヤリハット、製品安全・利用安全など多数の切り口で存在しており、情報が錯そう気味である。

・仕組み自体どこまで浸透しているか分からない。また、基本的な拠り所は運営基準に則っていると思う(何かあれば市町村やケアマネージャーに言う)。

【事故情報などの発信について】

・厚労省からの情報提供があるが、あくまで第一報のため情報が途切れている。次の段階がないと、具体的に貸与事業者として参考にならないと思う。

・1つの事象にたいして、ばらばらの情報では使えない。貸与事業者が見てもどの切り口で読めばよいかわからない。いくつかの共通した事項を設定するなど工夫すべき。

◆調査対象9：一般社団法人全国福祉用具専門員相談員協会

(実施日時：令和4年2月10日(木) 11:00～)

a) 介護機器の事故やヒヤリハット情報に関する取組み

【事故情報などの収集について】

・会員の相談員からの情報収集は実施していない。福祉用具の業界は強制力のないものに積極的に取り組むことは少ない傾向にあり、会員からの自主的な報告などもない。当協会から積極的に情報を取りに行っているということも現状無い。

・サービス計画書の様式の変更、見直しに取り組んでおり、基本情報でヒヤリハットの有無を聞くという項目を設定する形での変更を検討している。モニタリング時もヒヤリハットの有無を確認するなど、導入前に加えて、モニタリング時に都度確認できるような様式を考えている。機器のハード面は製造元などによる部分が大きいですが、ソフト部分については利用者と相談員の接点を活かして、モニタリングの都度確認、注意喚起を呼びかける必要あると感じている。

・情報を出す側として抵抗がないのは、研修を実施するという名目で、研修の参考となる事例が欲しい、といえは出てくるかもしれない。研修に参加する場合、参加者は施設における事故情報、ヒヤリハットに関する事例をひとつ用意することを事前課題にするなど。そのようにして集まった事例の中で、参考になりそうなものについてはあとで深掘してヒアリングなどを行うとより効果的だと思われる。

【事故情報などの発信について】

・消費者庁からの情報をHPに掲載するとともに、2,800の会員へ福祉用具事故の情報を抜粋したものをメールで配信している。

・2020年「ハンドル型電動車いすの安全利用に係る調査研究事業」では、専門相談員

としても事故が減らないという認識があり、将来的な電動車いすの利用に関する研修の実施も見据え、テキストとその解説動画も作成し、テキストは全事業所および自治体にも配布している（ただしコロナの影響等により研修は未実施の状況）。

・静岡ブロックでは、電動車いすの事故が減らないということから、セリオ（電動車いす取扱会社）と共同で電動車いすに関する研修を実施した。

b) 現状の課題

【事故情報などの収集について】

・大きな事故ほど、ディーラーの責任なのかメーカーの責任なのかという話にはなっていない。報告元も保険者に情報を上げたあと、その情報がどうなるかは意識しておらず、メーカーや消費者庁に上げなくてはいけないという認識はないというように感じている。

【事故情報などの発信について】

・ケアマネージャーの更新研修のように、事故情報や安全利用に関して、現状の福祉用具専門相談員が定期的に知識を得る機会（強制力あり）が必要だと考えている。当協会だけでなく、業界団体全体で取り組んでいく必要がある。

⑦介護機器の事故情報等に関する取り組みの整理

現在運用されている介護機器の事故情報を収集・発信する取組みは以下のとおりである。

実施機関・団体	事故情報等の収集	事故情報等の発信
消費者庁	<ul style="list-style-type: none"> ・安全法に則り、消費者事故のうち重大事故（サービス、製品限らず）を行政機関、都道府県、市町村及び国民生活センターより収集 ・消安法に則り、消費生活用製品に起因する重大事故（業務用は含まれない）を製造・輸入事業者等より収集 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記で収集した事故情報を週次で取りまとめて公開 ・多発している事故など特定テーマを対象とした注意喚起（チラシなど） ・事故情報データベースによる一般への公開 ・消費者白書等への年次集計データの掲載
独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）	消安法に則り、消費生活用製品に起因する非重大事故（業務用は含まれない）を製造・輸入事業者等より収集	<ul style="list-style-type: none"> ・一般向けのプレスリリース（記者説明会）を毎月1回実施 ・多発している事故など特定テーマを対象とした注意喚起（チラシなど） ・収集した事故情報の年度報告書・四半期報告書による公開
経済産業省（製品安全課、医療・福祉機器産業室）	独自の収集はなし（消費者庁、NITEの情報を活用）。	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の製品事故に焦点をあてたHPを公開した。同HPへの注意喚起のチラシや動画、高齢者行動ライブラリ等の掲載。 ・「製品安全対策優良企業表彰（PSアワード）」の企画・運営。 ・事故情報に関するツイッターア

実施機関・団体	事故情報等の収集	事故情報等の発信
		カウントの運営 ・消費者庁やN I T Eと連携したニュースリリース
公益社団法人全国老人福祉施設協議会	独自の収集はなし。	厚労省からの情報等をHPに掲載
公益社団法人全国老人保健施設協会	賠償責任保険などを会員へ提供している共済会（会員の2／3程度が加入）への事故報告による把握。 ※ただし、介護機器に限定せず	・定期的な発信はなし。 ・過去に1度のみ会員への注意喚起を実施（会員施設で発生した窓ストッパーの不具合による転落事故）
一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会	会員は基本的には事故を届け出る（消費者庁、N I T Eへの報告の写し）。	事故を独自に分析した結果の発信（チラシ、動画）
一般社団法人日本福祉用具供給協会	・独自の収集はなし。 ・2021年度老健事業、独自事業による市町村、都道府県等への調査を実施	厚労省などから重大事故情報の連携を受けて発信
一般社団法人全国福祉用具専門員相談員協会	・独自の収集はなし。 ・2020年度「ハンドル型電動車いすの安全利用に係る調査研究事業」を実施	・消費者庁からの情報をHPに掲載 ・会員へ福祉用具事故の情報を抜粋したものをメールで配信

⑧介護機器の安全利用を推進するための課題と方策

a) 課題の整理

ヒアリングを基に介護機器の安全利用を推進するための課題を整理すると以下のとおりとなる。

事故情報等の収集	<input type="checkbox"/> 安全法・消安法による報告制度が知られていない 当該制度について義務のある行政機関等に十分に知られていないと思われる。例えば、市町村において消費生活センター以外の部署（介護保険課等）が認知しているかは不明である。 <input type="checkbox"/> 制度は知っているが、報告すべき事故に当たるか判断に迷う 例えば、消安法では製品に起因する事故（製品事故）を報告対象としているが、一見して製品が関係しているか分からない事故の場合などは、製造事業者等が報告すべきか判断に迷う。 <input type="checkbox"/> 事故・ヒヤリハットの報告に心理的ハードルがある ・製造事業者等の一般の企業では事故にネガティブな印象もあるため、社外に公開したくないという心理がある。 ・介護事業者においても運営基準で定められた以外で事故情報等
----------	--

	<p>を積極的に外部機関へ報告することへ抵抗があるのではないか（虐待を疑われる等）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・使い方に誤りがあるかは、当事者には分からないため、介護現場の専門職からヒヤリハット情報を集めようとしたが、「正しい使用方法を伝えなかった自分が悪い」「責任を負いたくない」等の理由で情報がなかなか出てこなかった。 <p>□介護事業者と製造事業者等との安全利用に関する情報連携が不十分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員の機器への理解が不十分なことや、モニタリングでの機器の扱いが相談員によって濃淡があるため、事故情報等が製造事業者等にあがってこない。 ・製造事業者等から介護事業者への機器の使用方法や事故情報等の提供も不十分である。
<p>事故情報等の分析</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■機器の誤使用などに関する詳細調査が不十分 ・製品起因でない事故は消安法のような制度の対象にならないため、原因追及が不十分である。 ■発生要因の分析ができないケースがある ・誤使用の場合、詳細な聞き取りが困難である（使用者の記憶が曖昧である、当事者との間に他機関などが入り又聞きとなる等）。 ・事件性がある場合、警察の介入等により詳細な調査ができない。
<p>事故情報等の発信</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■事故情報等に関する発信経路が多く、分かりづらい 事故とヒヤリハット、製品安全・利用安全など多数の切り口で存在しており、情報が整理されていない。 ■活用するにあたって、情報が不足している 安全法、消安法による第一報を厚労省等が連携して発信しているが、事故概要程度の内容のため、それを見た各事業者が何を参考にすべきか分からない。 ■情報を届けたい人への届け方がわからない ・注意喚起情報を発信しているが、関心の低い人には届いていない。 ・利用者家族への情報提供に課題がある。SNSも活用しているが、高齢の家族が見てくれるかは分からない。

b) 介護機器の安全利用を推進するための方策

○誤使用などソフト面に着目した情報収集について

現在運用されている介護機器の事故情報等に関する取組みを整理すると、そもそも誤使用などのソフト面に着目した収集制度や報告様式の整備がなされていないことが分かった。

事故の分析・活用には元となる事故報告の絶対数を増やすことが必要であり、そのためには報告の責務を課したり、既存の仕組みでも情報が集まるよう工夫したりするべきではないか。

○ターゲットを明確化した注意喚起など情報発信の実施

現在運用されている取組みでは、消費者庁やN I T Eが発信する事故情報や注意喚起に関する情報を経済産業省から厚生労働省が受け取り、各種別団体などへ連携することで介護事業者への情報発信を行っている。しかし、介護事業者の介護機器に対する意識や理解が未だ不十分であることや、介護サービスへ活用するには情報の量や質が不十分であることが分かった。

これを解消するため、例えば福祉用具専門相談員やケアマネージャー等の職種が活用することを前提とした事故情報の分析・公開や、モニタリング等活用場面を想定した注意喚起ツールの作成を実施するといった工夫が必要ではないか。

○介護機器の安全利用や事故情報等に関する意識の醸成、教育の推進

現状では、福祉用具専門相談員や介護職員に対して、介護機器の基本的知識や安全性及び事故情報等のリスクに関する学習機会の提供が不十分である。介護現場の人手不足の解消やサービスの質向上を契機として、介護機器の導入や活用は推進されているが、技術の更新や新たな機器が開発されるスピードに、それを扱う介護職員等の理解が追い付いていないと考えられる。

介護機器の導入・活用の推進にあたっては、介護サービスの根幹にある安全なサービス提供を守る必要があり、介護機器に関わる全職種への安全利用や事故情報等リスクに関する意識の醸成や学習機会の提供がなされるべきではないか。

○介護機器の安全利用に関する整理

在宅・施設を問わず、介護機器を使用する機会は増加している一方、令和3年度の介護報酬改定に関する審議報告では、介護機器の利用に伴う事故等に関して、防止する観点から、市町村等においてどのような情報が収集されているかの実態把握を行うとともに、関係者が連携して、事故等が起きる原因等の分析や情報提供の方法等について、更なる検討することが求められている。

こうした背景を踏まえ、介護機器の使用に伴う安全性等の確保をより一層推進する更なる取組みの一環として、事故やヒヤリハットの情報（合わせて「事故情報等」）を効果的に活用するための検討委員会を組成が望まれる。

具体的には、自治体や関係事業者団体をはじめ、厚生労働省、消費者庁（消費者安全課）や経済産業省（製品安全課、医療・福祉機器産業室）、製品技術評価基盤機構（N I T E）等から構成する委員会を設置し、事故情報等の収集及び提供の在り方を検討するとともに、とりわけ製品に起因しない事故等を未然に防ぐための方策を整理することが望まれる。

なお、対象となる介護機器には、在宅・施設で使用される福祉用具は勿論のこと、介護施設等において、急速な導入が進められている介護ロボットも含めて整理検討する必要があると思われる。

12. 介護現場・開発企業、行政、マスコミ、海外等からの照会受付・情報発信

(1) 概要

本事業の委託先である公益財団法人テクノエイド協会（以下、テクノエイド協会）内に相談窓口を設置し、介護ロボットに関わる相談対応を行った。

主には、介護ロボットに関する開発や活用方法などについて、開発企業や介護福祉施設等からの疑問や質問を電話や電子メールで回答した。この「介護ロボット実用化に関する相談窓口」は平成25年7月より継続的に実施しているところである。

① 開設日

平成25年7月29日（以降、継続中）

② 開設場所

公益財団法人テクノエイド協会 企画部内

③ 内容

【電話相談窓口】

○専用電話番号：03-3260-5121

（※つながらない場合には、企画部電話番号：03-3266-6883）

コーディネーターが、介護ロボットの実用化に関する相談に応じる。

【ホームページ相談窓口】

○メールアドレス：robocare@techno-aids.or.jp

④ 主な利用内容

（利用者側の方）

- ・施設で導入を検討しているが、導入の助成制度があれば教えて欲しい。
- ・既に製品化され、購入できる介護ロボットはどのようなものがあるのか。
- ・導入している施設の事例などがあれば、情報をいただきたい。
- ・実際に介護ロボットを見たり、触れたりする場があるかお聞きしたい。等

（開発に携わっている方）

- ・介護ロボットを開発しているが、厚生労働省等での認定はあるのか。
- ・そもそも介護ロボットの定義がわからないので、教えて欲しい。
- ・今後、本分野に参画する予定だが、現場のニーズが知りたい。
- ・開発が完了した製品の市場を広げていくためにはどのようなことが必要か。等

⑤ その他

開発中又は開発を計画している介護ロボットについては、相談窓口を通じて「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」、「試作機器へのアドバイス支援事業」、「介護ロボット等モニター調査事業」等に繋げることとした。

(2) 相談内容

テクノエイド協会内で相談を受けた内容については、その場で内容を記録しており、最終的には月報として取りまとめている。主な問合せ内容については、下記の表の通りであった。

相談者種別	主な問合せ内容
メーカー関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護ロボット導入助成制度について ・ 導入助成事業の対象となるか否かの相談 ・ 開発助成制度について ・ 開発助成事業の対象機器となるか否かの相談 ・ 介護保険制度の給付対象について ・ 所有する要素技術の活用法 ・ 開発機器へのアドバイス相談 ・ モニター調査等実施事業についての相談 ・ 福祉用具及び介護ロボットに係る施策の動向 ・ 介護ロボットの展示やイベントの開催情報 など
介護施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 商品化されている介護ロボットについて（性能や評価） ・ 介護ロボットの導入助成制度について ・ 施設への導入検討のため、機器紹介希望 ・ モニター調査等実施事業の内容 ・ 意見交換会やモニター調査等の協力機関としての応募方法 ・ 介護ロボットの選定アドバイス ・ 試用貸出可能な介護ロボットの相談 ・ 介護ロボットフォーラムの問合せ など
行政関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護ロボット展示・イベントのための要望（機器紹介） ・ 介護ロボットの動向にかかわる講演依頼 ・ 介護ロボットの助成対象に関わる相談 ・ 介護ロボット導入施設、実績、事例の紹介依頼 ・ モニター調査等実施事業の内容 など
マスコミ関係	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護ロボット導入実績（導入実態調査） ・ 介護ロボット開発動向 ・ 介護ロボット普及状況 ・ 介護ロボット活用状況 ・ 介護ロボット全国フォーラム等の取材 など

主な意見としては、介護ロボットの導入助成制度に関して、開発企業、介護施設の双方から問合せが多く、その中でも特段、助成対象となる機器についての相談が多い傾向であった。また、上市されている機器の情報を求める声も多く、助成対象と併せて、機器一覧の作成を要望する意見もあった。

開発段階で相談のあった案件については、アドバイス支援事業やモニター調査事業等を案内するなど、開発支援に繋げることとした。

(3) 月別相談状況

① 介護ロボットに係る相談業務／受付入力・月報作成システム

月報については、様式を定め記録システムを構築している。これによって月別の相談内容をはじめ、問合せ先の種別や連絡先、問合せ方法等の情報を集約することができることとした。

【介護ロボットに係る相談業務】受付入力・月報作成システム					2021.4.14 Ver.1.21
① Seq	108	日付	3月1日 (火)	2022年	記入者
② 方法	<input type="checkbox"/> 電話 <input type="checkbox"/> e-mail <input type="checkbox"/> FAX <input type="checkbox"/> 来所 <input type="checkbox"/> 他				※その他について
③ 主テーマ	<input type="checkbox"/> ロボット導入 <input type="checkbox"/> ロボット活用 <input type="checkbox"/> ロボット補助 <input type="checkbox"/> マッチング <input type="checkbox"/> 実用化支援事業 <input type="checkbox"/> 試用貸出 <input type="checkbox"/> イベント <input type="checkbox"/> ニーズ・苦情等 <input type="checkbox"/> その他				※主テーマの備考
④ 団体名	※団体(部署)名	※企業コード	⑤ 氏名連絡先	※氏名	※TEL・e-mail など
⑥ 問合せ内容				⑦ 対応・備考	
⑧ 団体区分	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療施設 <input type="checkbox"/> 障害者施設 <input type="checkbox"/> 居宅介護事業所(貸与除) <input type="checkbox"/> 福祉用具貸与事業所 <input type="checkbox"/> メーカー 輸入事業者 <input type="checkbox"/> 介護実習普及センター 社協 <input type="checkbox"/> 自治体(県市町村) <input type="checkbox"/> 産業振興支援団体 <input type="checkbox"/> 大学・研究機関 <input type="checkbox"/> マスコミ <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 不明				

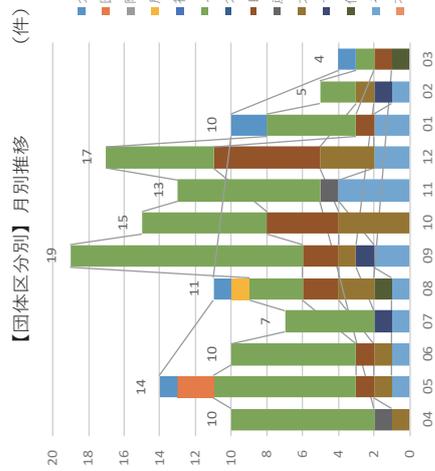
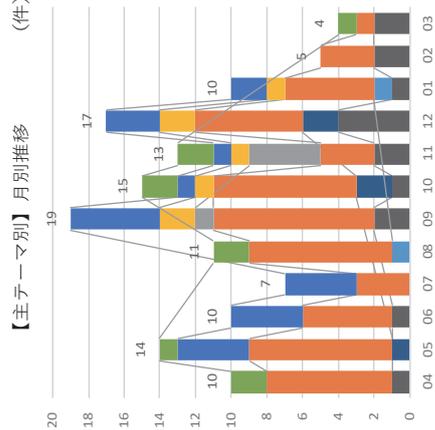
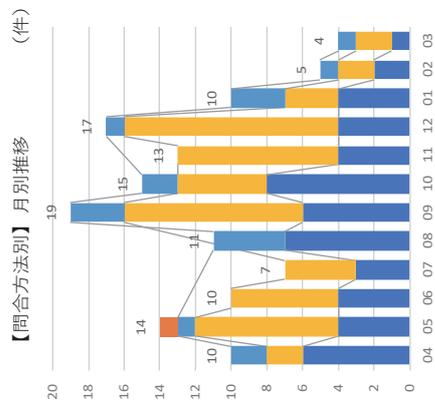
本システムの主な入力項目の解説

1. Seq : 問合わせの総計の番号。
2. 方法: 専用電話の他、メールや来所等でも相談を受付けているため、方法を選択する。
3. 主テーマ : 相談内容が多岐に渡る為、テーマを項目分けし、選択する。
4. 団体名 : 問合せ者の所属、団体名を記載する。
5. 氏名連絡先 : 氏名及び、電話番号を記載する。
6. 問合せ内容 : 具体的な問合せ内容を記載する。
7. 対応・備考 : 問合せ内容に対し、どのように対応したか共有のため、記載する。
8. 団体区分 : 問合せ者がどのカテゴリに属するか選択する。

② 年度推移集計

令和3年度の間合せの推移集計結果は以下の通りであった。(2022年3月7日現在)

【概況】



(月)	方法			主テーマ							団体区分							計										
	電話	e-mail	FAX	ロボット導入	ロボット活用	ロボット補助	マッチング	実用化支援事業	試用貸出	イベント	ニーズ・苦情等	その他	計	介護老人福祉施設	障害者施設	居宅介護事業所(貸与除)	福祉用具貸与事業者		メーカー輸入事業者	介護実習普及センター	自治体(限市町村)	産業振興支援団体	大学・研究機関	マスコミ	個人	その他	不明	
04	2	0	0	2	0	0	0	7	0	0	0	1	10	0	0	0	0	8	0	0	0	1	1	0	0	0	0	10
05	1	1	0	1	4	0	0	8	0	1	0	1	14	1	0	0	0	8	0	0	1	1	1	0	1	1	14	
06	0	6	0	4	4	0	0	5	0	0	0	1	10	0	0	0	0	7	0	0	1	1	0	0	0	1	10	
07	0	4	0	3	4	0	0	3	0	0	0	7	7	0	0	0	0	5	0	0	0	0	1	0	0	1	7	
08	4	0	0	7	11	0	0	8	1	0	0	11	11	1	0	0	0	3	0	2	2	2	0	1	1	1	11	
09	3	10	0	10	6	19	0	1	9	0	0	2	19	0	0	0	0	13	0	2	2	1	1	2	0	2	19	
10	2	5	8	15	2	8	0	1	8	2	0	2	15	0	0	0	0	7	0	4	4	0	0	0	0	15		
11	0	9	4	13	2	1	4	3	0	0	0	2	13	0	0	0	0	8	0	1	1	0	0	0	0	13		
12	1	12	4	17	3	2	2	6	2	0	0	4	17	0	0	0	0	6	0	6	3	0	0	0	0	17		
01	3	3	4	10	2	1	1	5	1	0	0	1	10	0	0	0	0	5	0	1	1	0	0	0	0	10		
02	1	2	2	5	0	0	0	3	0	0	0	2	5	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	0	0	5		
03	1	2	1	4	0	0	0	1	0	0	0	2	4	1	0	0	0	1	0	1	1	0	0	1	0	4		

II. 資料編

1. 介護ロボット地域フォーラム 募集要項

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における 「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」

募集要項

募集期限 令和3年5月24日(月)～6月25日(金)

厚生労働省が実施する「介護ロボットのプラットフォーム事業」の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関を募集します。

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行うものであり、予定の件数や予算に到達した時点で募集を終了しますので、予めご了承ください。

なお、募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。詳しくは、当協会までお尋ねください。

公益財団法人テクノエイド協会

目次

1. 目的	3
2. 対象となる機関	3
3. 対象とする介護ロボットの範囲	3
4. 実施内容	4
5. 交付額及び実施件数	5
6. 協力機関の選定等について	5
7. 実施期間	5
8. 実施結果報告の提出	5
9. 関係書類	5
10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先	6
11. 様式	7
様式1 「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」	7
様式2 「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」	8
様式3 「介護ロボット地域フォーラム 請求書」	9
様式4 「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」	10
様式5 「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」	11

**令和3年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における
「介護ロボット地域フォーラムの協力機関」
募集要項**

1. 目的

日本の高齢化は世界に例を見ない速度で進行しており、介護ニーズが多様化する中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上、さらには質の高いサービスを効率的に提供するため、介護現場へのテクノロジーの導入が進められています。

こうした中、厚生労働省では「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」を実施しているところですが、本事業では、介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県において、介護ロボット地域フォーラムを開催し、介護ロボットの体験展示や試用貸出の受付等を行う機関（以下「協力機関」）を募集します。

地域において、介護ロボットの普及啓発を行い、もって介護ロボットの適切かつ効果的な導入・利活用に資することを目的とします。

（参考）

介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の開始（令和2年8月）

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000652897.pdf>

2. 対象となる機関

- (1) 都府県又は市町村（特別区、一部事務組合及び広域連合を含む。）
- (2) 福祉用具・介護ロボットの普及啓発を行っている機関
- (3) その他、本事業の実施が可能であると認められた法人

上記(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ以下のいずれかの都府県に所在する機関とします。(1)の市町村が行う場合、当該市だけではなく所在県の全域をカバーすることとします。

介護ロボットのプラットフォーム事業の相談窓口（地域拠点）が無い都府県

・宮城県	・秋田県	・山形県	・福島県	・茨城県	・栃木県	・群馬県
・千葉県	・東京都	・石川県	・福井県	・山梨県	・長野県	・岐阜県
・静岡県	・三重県	・滋賀県	・京都府	・奈良県	・和歌山県	・鳥取県
・島根県	・岡山県	・山口県	・香川県	・愛媛県	・高知県	・佐賀県
・長崎県	・熊本県	・大分県	・宮崎県	・沖縄県		

3. 対象とする介護ロボットの範囲

「ロボット技術の介護利用における重点分野」（平成29年10月改訂）における6分野13項目に概要する機器及び、介護施設・事業所のサービスの質の向上・効率的なサービス提供に資する機器・システムを対象範囲とします。

ロボット介護機器の開発重点分野（平成29年10月）



4. 実施内容

以下のとおりとします。地域の実情やニーズに応じて計画してください。

(1) 必須項目

介護ロボット地域フォーラムの開催

①介護ロボットの展示

最低でも10機種以上の展示を行うこと。

②介護ロボットの試用貸出の受付

当該地域の要望を受付て全国14か所（予定）の相談窓口連絡すること。

③介護ロボットに関するシンポジウムの開催

介護ロボットの普及に係るシンポジウムを開催すること。

シンポジウムでは、厚生労働省が行う介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の紹介や開催地の自治体を実施する介護ロボットの導入支援に関する紹介を行うとともに、介護ロボットに係る最新動向等について情報提供を行うこととする。

(2) 任意項目

地域フォーラム開催時のイベントとして、福祉用具・介護ロボットの導入、利活用に関する地域の実情やニーズに応じた企画を立案していただいて差し支えありません。

例えば、

- ・介護ロボット導入支援事業による好事例の紹介

- ・上手に導入・利活用するためのノウハウ、ワークショップの開催
 - ・安全体制を確保するための取り組み紹介
 - ・ICTやロボット技術を活用した生産性向上に関する取り組み紹介
 - ・ロボット技術等を活用した新型コロナ対策や新しい面会システムの取り組み紹介
- 地域フォーラムの参加者に対して、アンケート調査を行い取り纏めをお願いします。
 なお、アンケート内容については、昨年度の介護ロボット地域フォーラム事業の報告書（P579-580）を参考にしてください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/12300000/000771837.pdf>

(新型コロナウイルス感染症の対応)

地域フォーラムの開催は、原則、会場開催を予定することとし、感染症予防等の徹底をお願いいたします。

但し、政府により「まん延防止等重点措置」や「緊急事態宣言」が発出された場合、あるいは開催地の自治体の要請により会場での開催が困難な場合は、オンライン開催への変更も認めることといたします。こうした場合は、事前に当協会までご相談ください。

5. 交付額及び実施件数

○1か所あたり、120万円程度（税込み）

※補助対象となる費目については、別表の対象経費を参照してください。

※謝金及び旅費、会場借料は別途精算払いとなります。

○8か所

6. 協力機関の選定等について

本事業を希望される機関は、「**実施要望書(様式1)**」及び「**経費明細書(様式2)**」を令和3年5月24日（月）～令和3年6月25日（金）の間に、電子メールにて当協会あてに（monitor@techno-aids.or.jp）提出してください。

応募されたものから、順次、当協会から厚生労働省に再委託の協議を行い、協力機関を決定して参ります。

なお、協力機関の選定にあたっては、全国的な地域のバランスを踏まえるとともに、要望書の内容を加味して決定いたします。

募集期間中に予定の件数に達しない場合は、継続して募集します。選定状況は、当協会までお尋ねください。

7. 実施期間

内定後～令和4年2月末

8. 実施結果報告の提出

本事業を実施した機関は、事業終了後速やかに「**実施結果報告書(様式4)**」及び「**支出経費明細書(様式5)**」を電子メールにて、当協会あてに（monitor@techno-aids.or.jp）提出してください。

9. 関係書類

様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

- 様式2 「介護ロボット地域フォーラム 経費明細書」
- 様式3 「介護ロボット地域フォーラム 請求書」
- 様式4 「介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書」
- 様式5 「介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書」

10. 本件に関するお問い合わせ及び実施要望書の提出先

公益財団法人テクノエイド協会 企画部（谷田・松本・根石（ねいし））

〒162-0823

東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階

TEL 03（3266）6883

電子メール monitor@techno-aids.or.jp

11. 様式

様式1「介護ロボット地域フォーラム 実施要望書」

令和 年 月 日

介護ロボット地域フォーラム 実施要望書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇（都府県名）介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施場所

--

3. 実施体制

--

4. 実施内容

--

5. 実施スケジュール

--

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

介護ロボット地域フォーラム 経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経 費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
合 計			

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出予定額	積算内訳
直接 経 費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

請 求 書

金 _____ 円

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の一環として行った「介護ロボット地域フォーラム」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金 融 機 関 名	銀行	支店
預 貯 金 種 別		
口 座 番 号		
(フリガナ) 口 座 名		

2. 協力機関及び案件

協力機関名	
担当者名	
案件番号	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

介護ロボット地域フォーラム 実施結果報告書

1. 協力機関

事業名	〇〇〇（都府県名）介護ロボット地域フォーラム
機関名称	
住所	〒
連絡担当者 所属 氏名	
電話	
電子メールアドレス	

2. 実施場所

3. 実施期間

4. 実施体制

5. 実施方法

6. 実施結果

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレットなど入れてください。)

※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

介護ロボット地域フォーラム 支出経費明細書

(1) 経費明細 ※1か所あたり、120万円程度(税込み)

	項目	支出額	積算内訳
直接 経 費	賃金・人件費		
	消耗品費		
	雑役務費		
	会議費		
	通信運搬費		
	印刷製本費		
	保険料		
	光熱水費		
	委託費		
一般管理費			
	合計		

(2) 謝金、旅費、借料及び損料 ※別途、精算払いとなります。

	項目	支出額	積算内訳
直接 経 費	謝金		
	旅費		
	借料及び損料		

※ 記載にあたっては、文字数の制限はございませんので、適宜、記載枠を広げて、具体的に、ご記入ください。

対象経費

(申請できる開発経費)

本事業の実施に必要な賃金、謝金、旅費交通費、消耗品費、雑役務費、借料及び損料、会議費、通信運搬費、印刷製本費、光熱水費の直接経費等並びに一般管理費

各項目の具体的な支出例は、以下のとおりです。経費の算出に当たっては、所属機関の規定等に基づくこと。

なお、謝金及び旅費交通費、借料及び損料につきましては、精算払いとなります。

	項目	具体的な支出例
直接 経 費	賃金・人件費	・ 事業実施に必要な作業等を行う者の人件費 ・ 事業実施に必要な臨時に雇用する者の費用
	謝金	・ 事業の協力機関に属さないシンポジウムの講師等に対する謝礼 下記の参考単価基準額を参照
	旅費交通費	・ 事業実施に必要な旅行交通費（シンポジウムの講師等）
	消耗品費	・ 各種事務用紙、文具の類、収入印紙、雑誌等、その性質が使用することによって消耗され又は毀損しやすいもの、長期間の保存に適さない物品の購入費
	雑役務費	・ 振込手数料、両替手数料 ・ 会議録等の作成費 ・ 介護ロボット設置セットアップ費用 ・ アンケート結果の入力費 等
	借料及び損料	・ 会場借上料
	会議費	・ 会議時の費用等
	通信運搬費	・ 郵便料、運搬料、電話料等
	印刷製本費	・ パンフレットや報告書等の印刷費
	保険料	・ 試用等に係る保険料等
	光熱水費	・ 電気使用料、ガス使用料、水道使用料等及びこれらの使用に伴う計器類の使用料等 ・ 自動車等の燃料費
	委託費	・ 業務の一部を外部機関に委託するための費用
	一般管理費	直接経費の15%以内とします

参考単価基準額

(賃金)

一日（8時間）当たり8,300円を基準とし、雇用者が負担する保険料は別に支出する。

注）一日において8時間に満たない時間又は8時間を超えた時間で賃金を支出する場合には、1時間当たり1,030円で計算するものとする。

(謝金)

定型的な用務を 依頼する場合	医師又は相当者	日給 14,100 円
	大学（短大含む）卒業者又は専門技術を有する者及び担当者	日給 7,800 円
	その他	日給 6,600 円

2. 介護ロボット地域フォーラム アンケート結果

(1) 栃木県

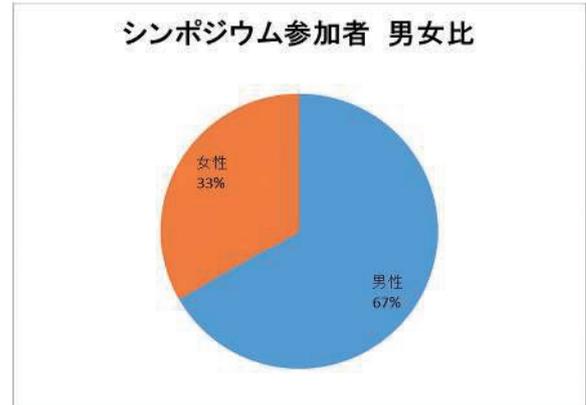
【資料 7】

令和3年度「介護ロボット地域フォーラム」
参加者アンケート結果

I. シンポジウム参加者向けアンケート集計

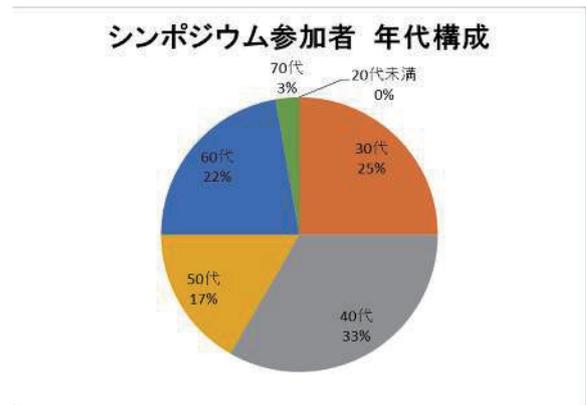
○質問 1 あなたの性別をお答えください。

- ・男性 24人
- ・女性 12人



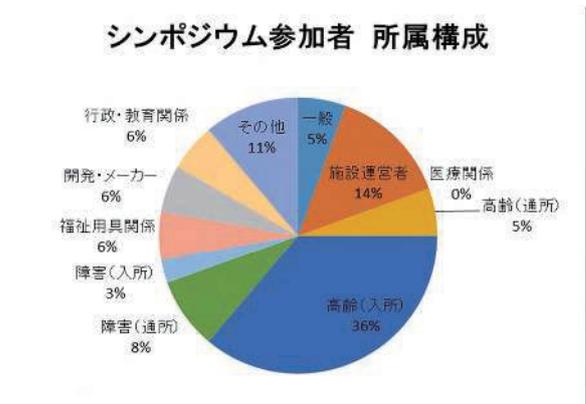
○質問 2 あなたの年齢をお答えください。

- ・20代未満 0人
- ・20代 0人
- ・30代 9人
- ・40代 12人
- ・50代 6人
- ・60代 8人
- ・70代以上 1人



○質問 3 あなたの所属をお答えください。

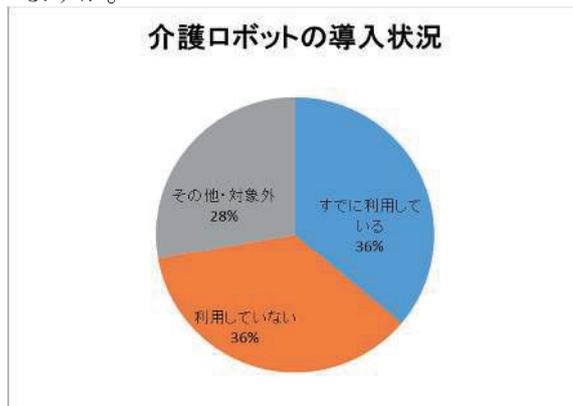
- ・一般 2人
- ・施設経営管理（施設長等） 5人
- ・医療施設 0人
- ・高齢者施設関係（通所） 2人
- ・高齢者施設関係（入所・入居） 13人
- ・障害者施設関連（通所） 3人
- ・障害者施設関連（入所・入居） 1人
- ・福祉用具貸与事業所等 2人
- ・開発・製造関係等 2人
- ・行政・教育関係等 2人
- ・その他 4人



(介護リフトメーカー・公益財団法人・高齢者施設団体・ケアマネージャー)

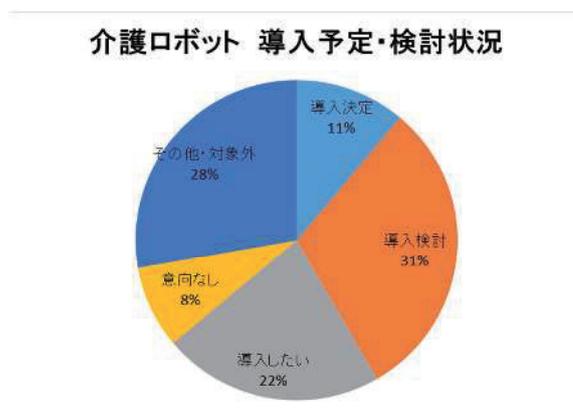
○質問4 現在介護ロボット・ICT 機器利用を利用していますか。

- ・既に利用している 13 人
- ・利用していない 13 人
- ・その他（利用対象外） 10 人



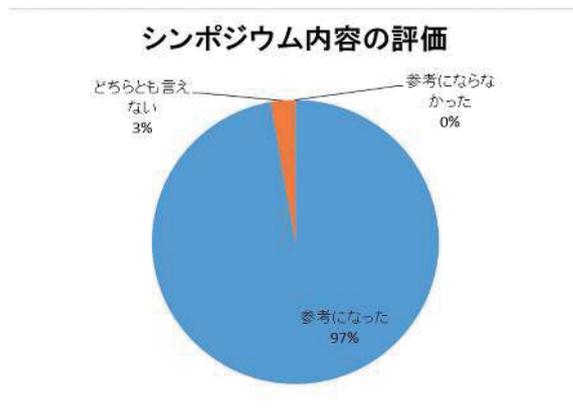
○質問5 現在介護ロボット・ICT 機器の利用導入（すでに利用している場合は追加）の予定や計画はありますか。

- ・導入が決まっている 4 人
- ・導入を検討中 11 人
- ・導入したいと思っている 8 人
- ・導入の意向はない 3 人
- ・その他（利用対象外） 10 人



○質問6 シンポジウムの内容は参考になりましたか。

- ・参考になった 35 人
- ・どちらとも言えない 1 人
- ・参考にならなかった 0 人



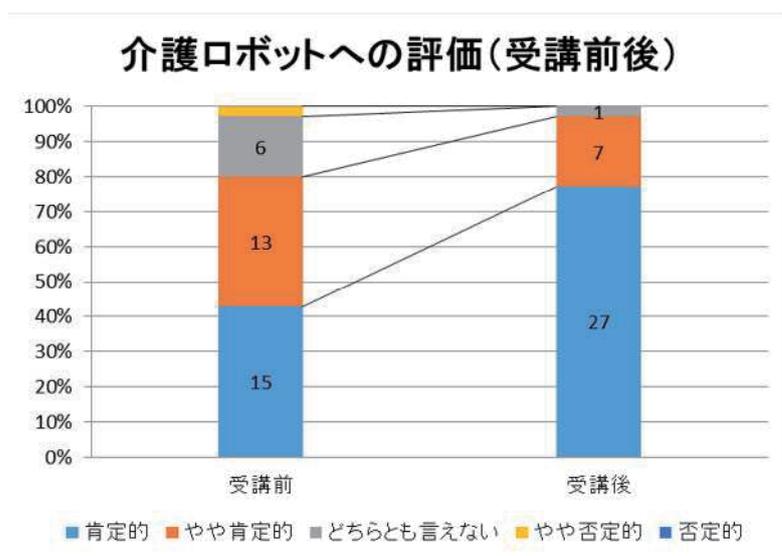
○質問7 介護ロボット・ICT 機器について受講前と後の評価をお教えてください。

□受講前

- ・肯定的 15 人
- ・やや肯定的 13 人
- ・どちらとも言えない 6 人
- ・やや否定的 1 人
- ・否定的 0 人

□受講後

- ・肯定的 27 人
- ・やや肯定的 7 人
- ・どちらとも言えない 1 人
- ・やや否定的 0 人
- ・否定的 0 人



○質問8 介護ロボット・ICT 機器について、または導入や利用についてのご意見（自由記載）

□主に参考になった内容についての記載

- ・施設での具体的な取り組みを知ることができよかった。
- ・介護ロボットの導入に関して様々な取り組みや制度があり、その情報について自ら求めていかないといけないと改めて思った。
- ・介護技術の標準化についての取り組みがとても参考になった。
- ・機器を導入している施設の話を知ることができて大変参考になった。
- ・単なる職員の労働支援ではなく、業務全般にわたる管理ができていることが必要であることがわかりました。
- ・課題や導入時の職員への周知方法など具体例が聞けて参考になった。
- ・導入費用に対して国や県がいろいろな取り組みをしていることがわかった。
- ・機器の導入で夜間の配置基準が変わってきた。
- ・介護分野の導入効果は聞くことがあるが、障害分野の導入効果はなかなか聞くことがなく、非常にためになりました。また、導入効果として、利用者への利益がなかなか出てこないという部分は、どの施設様でも同じ課題なのかなと感じます。
- ・まずはスマートな介護で離職防止や人材確保という部分をフォーカスして導入することがよいのかと感じました。
- ・他分野での導入実践が聞けて参考になりました。
- ・最新の情報を聞くことができました。
- ・介護ロボットを導入することにより、メリット・デメリットそれぞれあるが、いろいろと行ってゆき、メリットが多いように思いました。
- ・少しでも利用者さんと職員が楽しめるようにしていきたいと思いました。
- ・スマートでかっこいい介護は良いですね。
- ・2025 問題などを考えれば介護ロボットの必要性は不可欠であると感じる。また、ICT 導入による人材の質が高まることで経営にも役立つ内容である。

- ・介護ロボットの導入の制度について参考になった。
- ・導入事例などを聞くことができて参考になった。
- ・コロナ禍で感染対策ばかりの状況の中で自動ラップのものがあるのは良いなおもい、取り寄せたいと思います。
- ・ハグやほかのリフト以外の移乗機器を試用し、取り寄せては職員からバツ印をされてへこんでいました。もっと利用者に合うものをこれからも見つけていきたいと思います。
- ・滝田先生や岩崎先生のお話を伺い、時代に合わせた運営をされていること、重要さを改めて知れました。
- ・目の前の利用者や事業を持続させていくうえでも、フィッティングの意識を強くもっていくことができました。
- ・会員・団体の課題などを知ることができました。
- ・ロボット、ICT のデジタルへの移行は必須な状況が理解できました。
- ・これから検討していくので参考になります。
- ・介護系の営業で独立を考えているので、大変勉強になりました。

□主に意見や感想の記載

- ・介護ロボットを導入しても利用できていない部分があるので導入前に現場の声を十分聴いて安易に妥協すべきではなく、費用の面などで実際に使える機器を検討してほしい。
- ・日々の記録や非直接介護を行っている時間をロボット機器や ICT 機器の導入を行うことで利用者に還元できるのではないかと希望を持たた。

職員の離職、退職が続いているので、ロボット機器を活用して職場環境が改善されるといいなと思った。

- ・ICT 機器については、これからは必要なものとなっていくと思いますが、介護ロボットマッスルスーツ移乗リフト天井走行リフトについては、心のハードルを飛び越えないと使用していくのは難しいかもしれません。(カッコいい介護現場とは、ロボット活用だけではないと思いますが、考える機会となりました。ありがとうございました。)
- ・必要なことは利用者の利益。人生を通しての支援という目標をきちんと定めてあげることだと思いました。

- ・補助金などを活用して導入を検討する。
- ・補助金を多く使えるようにすること、機器導入前のレンタルなども積極的にしてほしい。

職員の心身ストレスが少なくご利用者様とかかわれることはサービスの質に大きく左右されると考えます。

- ・利用者、職員、どちらにも有効なため、導入は推進すべきだと思うが、導入により利用者の方が機械的な冷たさなどを感じないように気を付けなければならないと思う。
- ・機器の導入後にどういった研修を行っているのか具体的に知りたい。
- ・介護ロボットを導入することにより、スタッフの体の負担軽減となり、よりよいサービスの提供につながるのではないかと改めて感じました。
- ・当方介護ロボットや ICT 機器を導入支援する立場なのですが、導入してからの課題の部分が非常に興味深いものでした。単体のロボットだけが動くのではなく、連携することが大事で、あとは補助がなければなかなか導入できないのも実感しました。
- ・労働人口が現状していくなかで、活用が必須であると思います。

- ・補助金もありますが、初期費用も負担が大きい。(すでに利用中)
- ・使い方がわかりやすく、利用しやすい機器が増えてくれるといいと思いました。
- ・介護ロボット普及を推進していただきたい。また、ジャンルごとに明確に示してほしい。
- ・身体的な介助負担の軽減とデスクワークの軽減について、ツールの導入方法や制度の活用方法がわかった。

・今まで想像していなかったロボットなどがたくさんあることに驚いた。

業務にあたりこういうロボットがあれば便利だなとイメージーションを働かせながら業務にあたりたいと思います。

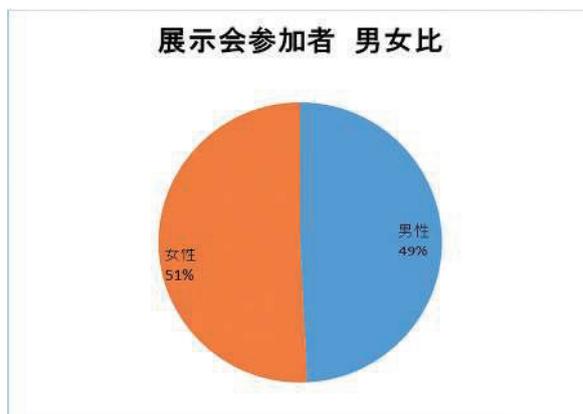
・記録システムエパット、PC増設し、記録時間を工夫しています。移乗機器と違い、すぐ結果や効果が出ず、アクセスポイントや機器も半導体のせいで遅れておりますが、来年度には成果が出てくるのではないかと考えております。コミュニケーションロボットの導入、考えました。

- ・まずは進めていくことが大切だと思いました。
- ・ぜひ導入したい。
- ・施設の状況などに応じて費用対効果などを考える必要があるのではないか。
- ・ニーズに応じてどのような機器が必要なのか今後は考えたいと思う。
- ・現場の状況を分析し、少しでも有効かつ効率的なロボットなど職員と検討していきたいです。ありがとうございました。
- ・各種補助金をうまく活用したいと思います。
- ・介護ロボットの購入にあたり、はみ出た分の額の減価償却はどのくらいとみているのかが気になりました。

II. 展示会参加者向けアンケート集計

○質問1 あなたの性別をお答えください。

- ・男性 63人
- ・女性 65人



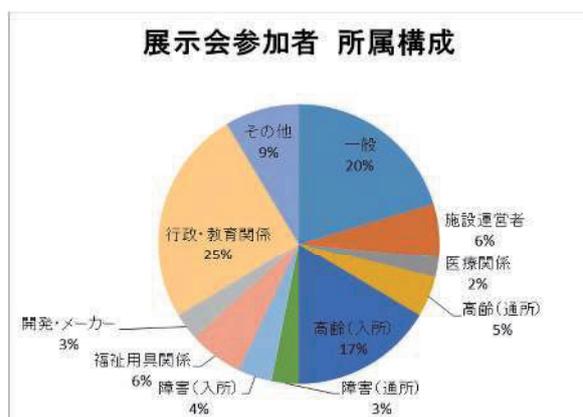
○質問2 あなたの年齢をお答えください。

- ・20代未満 1人
- ・20代 31人
- ・30代 17人
- ・40代 30人
- ・50代 19人
- ・60代 19人
- ・70代以上 11人



○質問3 あなたの所属をお答えください。

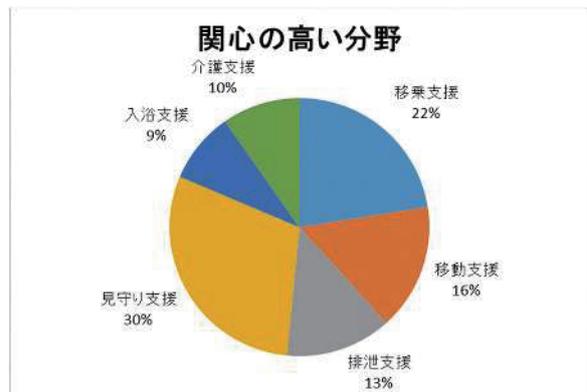
- ・一般 26人
- ・施設経営管理（施設長等） 8人
- ・医療施設 3人
- ・高齢者施設関係（通所） 6人
- ・高齢者施設関係（入所・入居） 21人
- ・障害者施設関連（通所） 4人
- ・障害者施設関連（入所・入居） 5人
- ・福祉用具貸与事業所等 8人
- ・開発・製造関係等 4人
- ・行政・教育関係等 32人
- ・その他 11人



（相談員2・重度訪問・介護リフトメーカー・居宅介護支事業所・評価組織・介護福祉専門学校・包括・ケアマネージャー・）

○質問4 関心の高い介護ロボット・ICT機器は何ですか。(複数回答可)

・ 移乗支援	58人
・ 移動支援	41人
・ 排泄支援	34人
・ 見守り・コミュニケーション	77人
・ 入浴支援	23人
・ 介護業務支援	25人



○質問5 展示会の内容は参考になりましたか。

参考になったかどうか。

- ・ 参考になった 116人
- ・ どちらとも言えない 7人

参考になった理由

- ・ 介護 IT 化
- ・ いろいろな物を見て、マンパワーに頼らない考えが思いついた。
- ・ 知りたいメーカーなどが集まっていたので。ただもう少し種類が多くていいかも。
- ・ ICT 機器の見守り能力等の技術進歩を知ることができた。
- ・ 実物に触れて、実際に使用した時のメリットがより知ることができた。システムの導入できない機器の把握もできた。
- ・ 実際体験ができたため。
- ・ マットレスに取り付ける見守りシステムに感心した。
- ・ 最新機器が見れた。
- ・ 具体的な話を聞くことができた。
- ・ 天井からの見守りセンサー。
- ・ 新しい技術がわかりやすく紹介されていてとても興味深く感じた。
- ・ 自分のため。
- ・ 新しい商品が見れた。
- ・ コロナでしばらく展示会に行けず、久しぶりのリアル展示会だった。
- ・ いろいろな機器を見ることができた。
- ・ 排泄、入浴、余暇活動に使用できそうなため。
- ・ 様々なアプローチで支援にあたる方法があった為、特色に合った機器を選ぶことができた。
- ・ 会話が楽しくできるコミュニケーションロボットの役割を望みます。
- ・ 新しいロボットが見れて、大変勉強になりました。
- ・ 実物を見ることができて解りやすい。
- ・ センサー。
- ・ 教科書でしか見たことがなかったので、見れてよかった。

- ・パンフレットでしか見たことのない機器の実物がわかったから。
- ・同じような機器にも複数種類があって、メリットを比べやすかったから。
- ・ポータブルトイレ。臭いも出ずに使用できるからすごいと思った。
- ・知らなかった機器がたくさんありました。
- ・移乗と立位が可能かと思えるものがあります。
- ・狭い場所でも安全安楽なので使える。
- ・近所で見られてよかった。
- ・これからの介護業務で、移乗時の腰への負担を軽減できるもの、参考になった。
- ・たのしかった。
- ・介護の技術を学びたいから。
- ・介護の技術など学びたいから。
- ・介護ロボットの展示会にはじめて来ました。教科書で学ぶのと違い、実際に見学すると具体的にわかる。
- ・介護者の負担軽減、作業時間の短縮が実際に可能だと感じられた。
- ・介護ロボットの種類、進化についてよくわかった。
- ・災害時の排泄などの時も、袋が密閉されることでニオイや漏れなどが無く使用できるので便利だと思った。ポータブルトイレ。
- ・体動、寝起き時の反応が早い。
- ・実際に使われている場面を見られたから。
- ・使われているところをはじめて見られた。
- ・いつか職員になったら、介助する時必要になると思います。
- ・最新の福祉用具が見られてよかった。
- ・おむつモニターmini、小さな機器でおむつの中が判るのは素晴らしいと思いました。
- ・実物を見て体験できた。
- ・ポータブルトイレのニオイの問題を（解決でき）すごかった。使いやすい。
- ・コミュニケーションロボットが気になったため。
- ・ポータブルトイレが気になった。ラップのためニオイなどが無いから。
- ・体験できて良かったです。
- ・仕事だけでなく、在宅でも使用できそうな物がみれたので。
- ・福祉機器の導入によって、ケアの幅が広がることを実感できた。Hug
- ・介護をするうえで腰が痛くなりやすいので、介護ロボットを使えばラクになったり業務がはかどると思った。
- ・施設にあれば、仕事が楽になる。身体への負担が少ない。
- ・勉強になった。
- ・勉強になった。
- ・いろいろな機器が見れ、聞けた。
- ・普段見ることができない分野だった。
- ・実物が見られて良かったです。
- ・いろいろなセンサーがあることが分かりました。

- ・具体的な話を直接聞いた。
- ・最新の機器が多くみられて勉強になった。
- ・実際にためすことができて分かりやすかった。映像が分かりやすかった。
- ・最新の福祉機器を見ることができ、今後の参考になりました。
- ・多種類があり、最新の物を体験させていただいた。
- ・同じものでも複数の展示があった。
- ・目的に合った展示品であった。
- ・こんな開発が進んでいて、未来に希望を見た気がします。
- ・第2会場の感染対策用自動ラップに興味ありました。
- ・実際に商品を見られるのは有難いです。
- ・複数の機器が同時に見れて参考になった。
- ・今後の検討材料になる。
- ・実際に体験ができたので。
- ・体験ができた。
- ・実際に機器に触れられて良かったです。

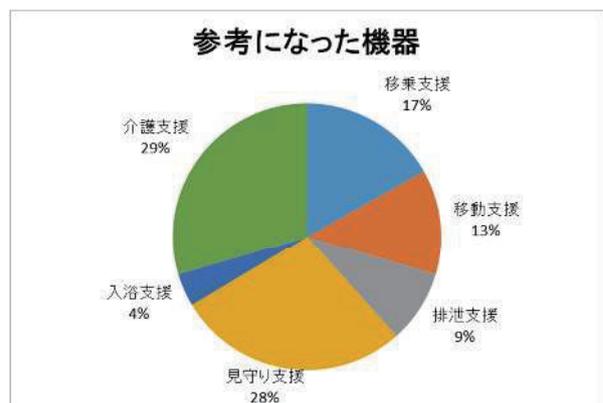
□どちらとも言えない理由

- ・買えないから。
- ・買うのは迷った。
- ・まだ必要性を感じないので参考等には比較を論じられない。

○質問6 具体的に参考になった機器がありましたらご記入ください。

※具体名称や分野での回答が混在したため、分野で整理し集計しています。

・ 移乗支援	21 人
・ 移動支援	16 人
・ 排泄支援	11 人
・ 見守り・コミュニケーション	35 人
・ 入浴支援	5 人
・ 介護業務支援	37 人



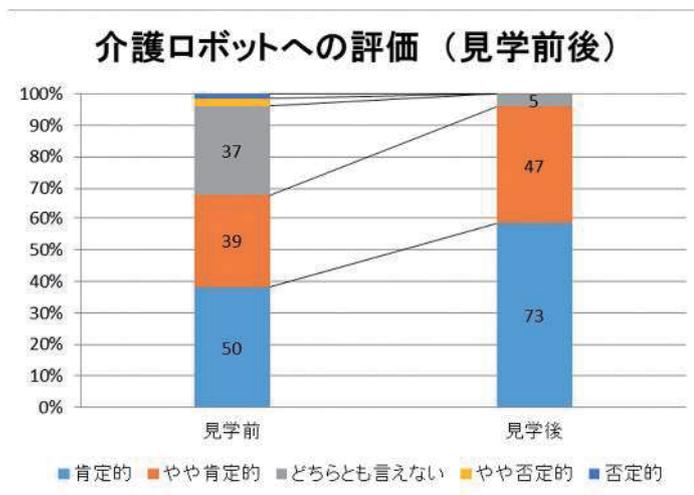
○質問7 介護ロボット・ICT 機器について見学前と後の評価をお教えてください

□見学前

- ・肯定的 50 人
- ・やや肯定的 39 人
- ・どちらとも言えない 37 人
- ・やや否定的 3 人
- ・否定的 2 人

□受講後

- ・肯定的 73 人
- ・やや肯定的 47 人
- ・どちらとも言えない 5 人
- ・やや否定的 0 人
- ・否定的 0 人



○質問8 介護ロボット・ICT 機器について、または導入や利用についてのご意見（自由記載）

- ・積極的に導入したい
- ・意外と面白い。実際に体験して知ることは重要だと思う
- ・今後の発展が楽しみ
- ・導入したい。あとは予算と相談。
- ・支援の充実
- ・導入によってスタッフの軽減、ケアの充実につなげたい
- ・価格が高い
- ・初期費用に不安
- ・最新の機器に触れてとても勉強になった
- ・一般の人間にも導入可能なものが多くとても身近に感じた
- ・見学できてよかった。ありがとうございました。
- ・簡単かつ使いやすいものを導入したい
- ・利用者への支援拡大
- ・活躍の幅を広げてほしい。使いやすさと安全性を重視してほしい。
- ・新しい機器の開発に驚いた。職員の負担軽減につながるとよい。導入前と後と比較することが大切だと思う。
- ・自分にあったものがあれば利用したい。この催しをまたやってほしい。訪問介護で利用可能なロボットを開発してほしい。一つでもいいから各施設に取り入れてほしい。
- ・今後いろいろと考えたい。
- ・両者の未来が明るくなる製品の開発に期待。内容には感動した。
- ・介助者の負担や利用者の危険を減らせる機器がたくさんあってよい
- ・入る施設に新しい技術の機械があるとよい
- ・大変参考になりました
- ・介助者なしで操作できるものも見てみたい

- ・今後施設にて働くようになってからの参考になった
- ・利用度や購入金額、利用場所など様々に折り合いがつけばどんどん利用したい。ICT 機器の導入で利用者だけでなく介護者の負担も減らせると思う。
- ・チャピットかわいかった
- ・大掛かりではなくコンパクトになっているので在宅でも利用しやすくなってきていると思う。普及を推進してほしい。
- ・介護ロボの導入はどちらにとっても負担が少なくなるが残存能力や自立支援の視点から考えると誰もが正しく使用できるかどうか難しいと思う。
- ・これから働く施設にあつたらいいと思う。
- ・就職して機械があれば使用したい。
- ・2人でやるのが1人でできるので楽になる
- ・今後導入を検討したい
- ・一般家庭では価格的に難しい
- ・介護者の負担を減らしたい。小型で動かしやすいものが欲しい。
- ・おむつのモニターが使いやすそうと思った。機会が訪れたら検討したいものばかりだった。
- ・保険が使えるが価格面に難あり
- ・移乗系のロボットはぜひ使いたい。
- ・まだ必要性を感じないが、今後検討したい
- ・うまく使うと業務改善に活かそう
- ・まだ今のところ自分でできる。
- ・ICT は検討しています
- ・在宅で活用できる機器が増えるとうれしい
- ・デモで使えるメーカーが多くて導入の検討材料として有効だった
- ・様々な機器を見て説明を聞いて良かった
- ・福専の知識と合わせて今後の利用に活かしたい
- ・導入の流れについてもっと詳しい解説をしてほしい
- ・スタッフの効率化、リスク回避、利用者家族への満足度と安心
- ・ランニングコスト（※修理費、整備費など）が気になる
- ・コミュニケーションロボットの価格が気になる
- ・介護には必要だと思う
- ・今後導入していきたい
- ・利用者職員双方にとって有用な機器を導入したい
- ・行政の協力が必要だと思う

(2) 茨城県

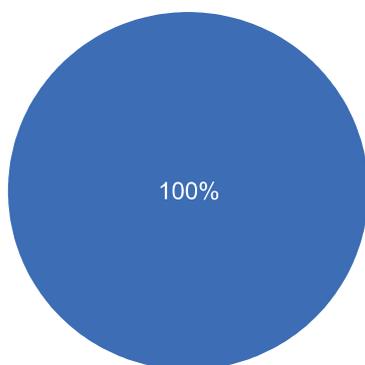
茨城介護ロボット地域フォーラムアンケート

20 件の回答

[分析を公開](#)

何日のシンポジウムに参加されましたか

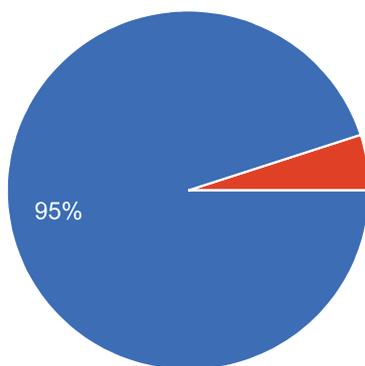
20 件の回答



- 令和3年10月25日月曜日
- 令和4年2月4日金曜日

どのような形で本シンポジウムに参加されましたか

20 件の回答

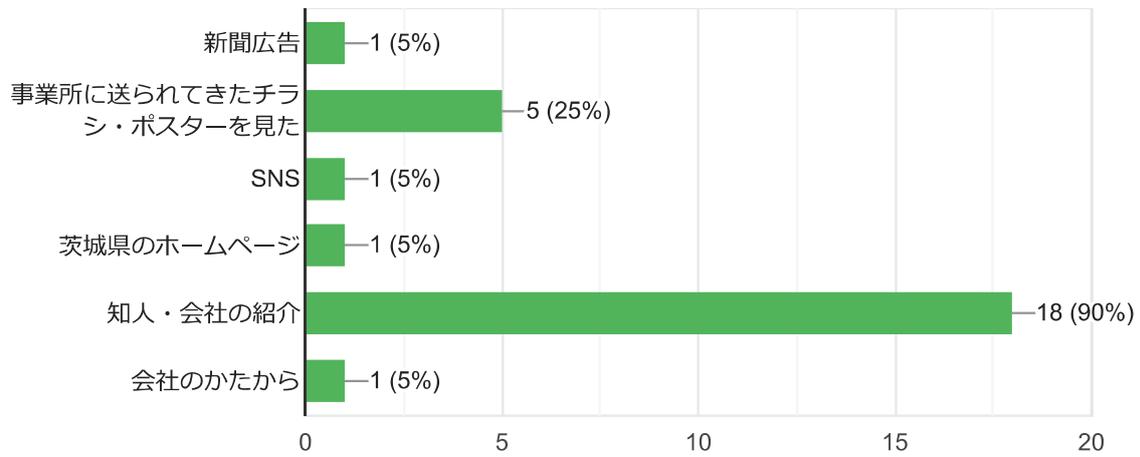


- 現地参加
- オンライン参加



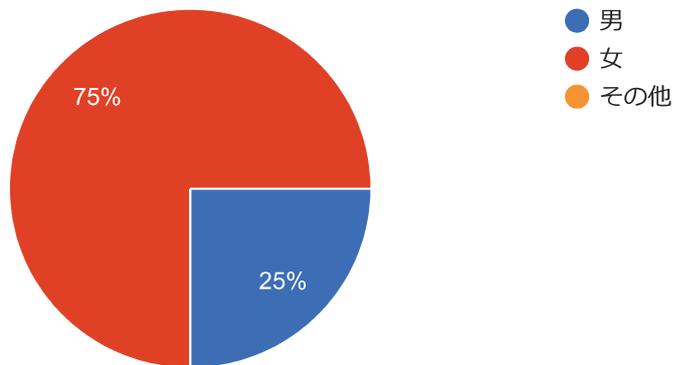
本事業を知ったきっかけをお教えてください ※複数可

20件の回答



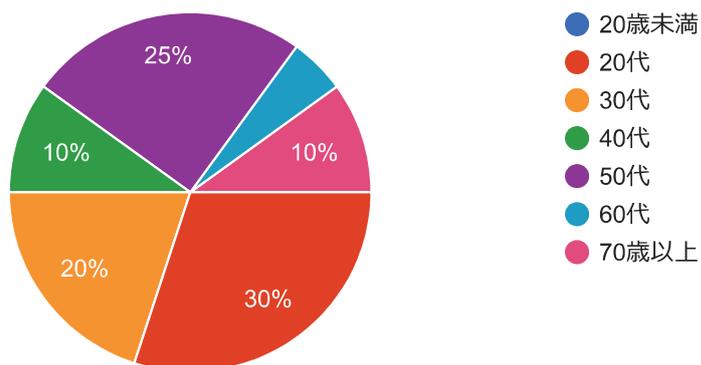
性別

20件の回答



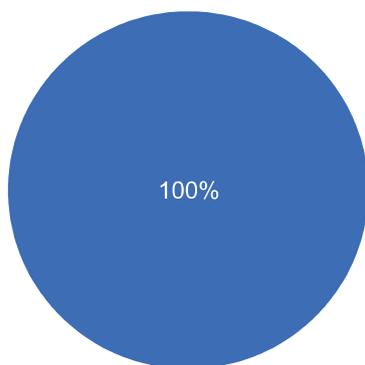
年齢

20件の回答



お住まいの地域

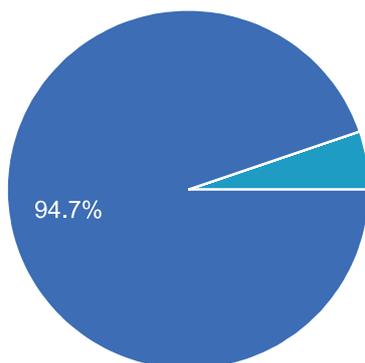
20 件の回答



- 茨城県内
- 茨城県外

勤務先

19 件の回答

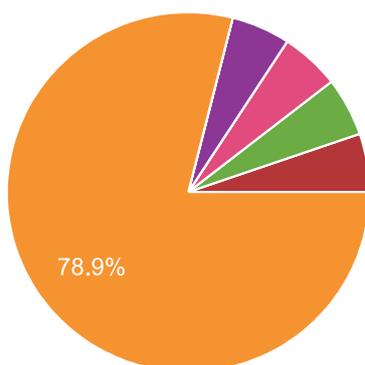


- 介護関係
- 医療関係
- 自治体
- メーカー
- 販売店
- 介護職員

職種

あなたの職種についてご回答ください

19 件の回答



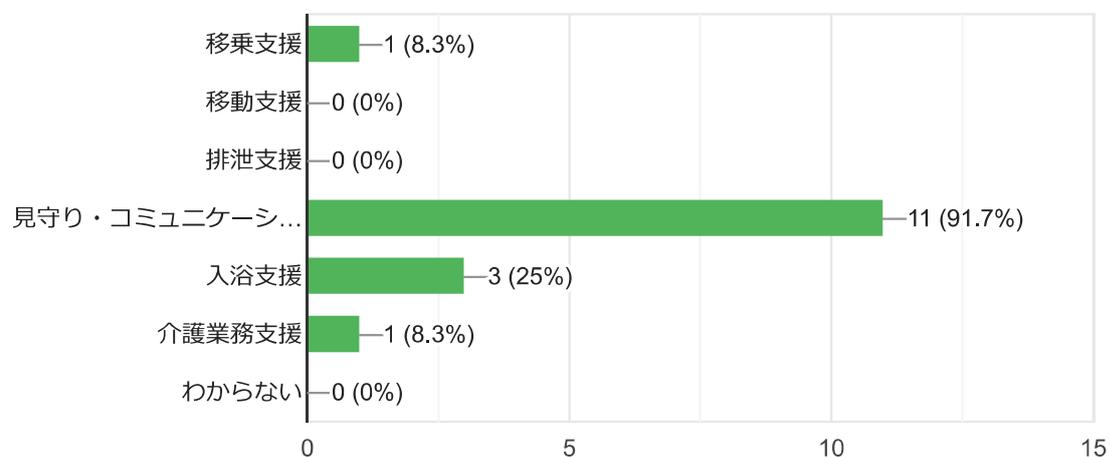
- 医師
- 正看護師・准看護師
- 介護職
- リハビリ職
- 介護支援専門員
- 福祉用具専門相談員
- 事務
- 生活支援員
- 事務職



導入済みのロボットについて

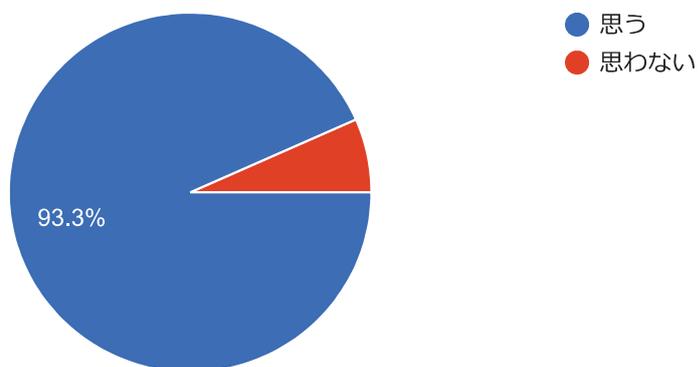
あなたの事業所ではどのような介護ロボットを導入していますか ※複数可

12件の回答



介護ロボットを導入したいと思いましたが ※すでに導入されている方もご回答ください

15件の回答

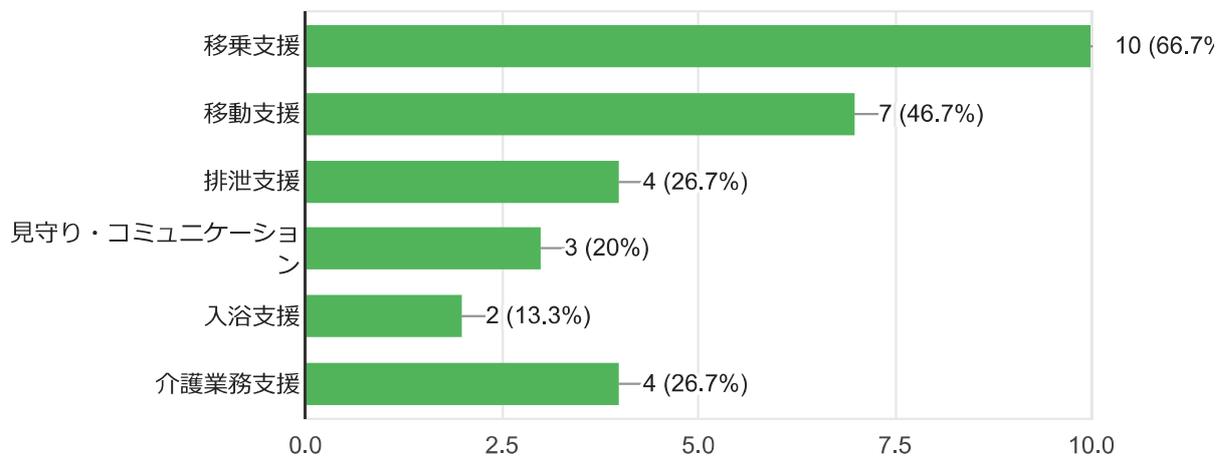


導入してみたいロボットについて



どのような介護ロボットを導入してみたいと思われましたか ※複数可

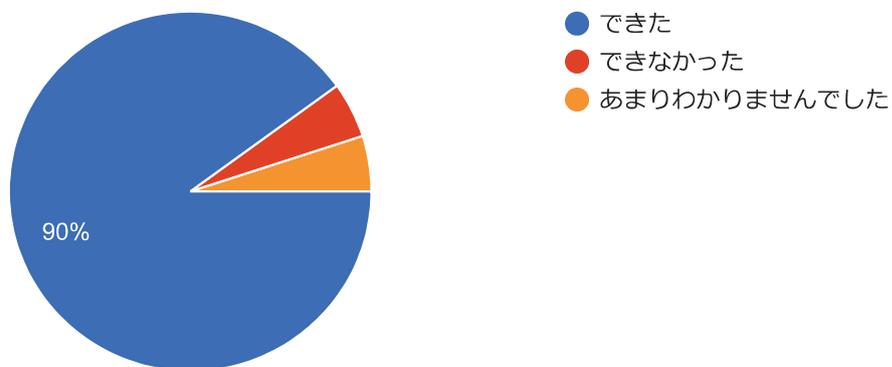
15件の回答



シンポジウムの内容について

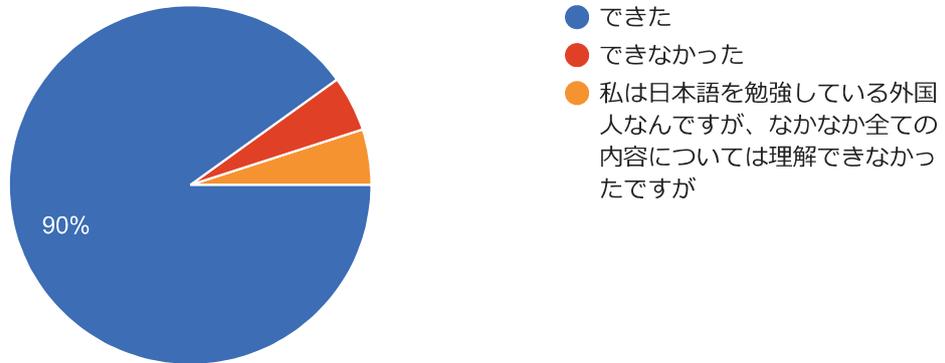
講演「福祉用具・介護ロボットにおける開発・普及の動向」の内容について理解できましたか

20件の回答



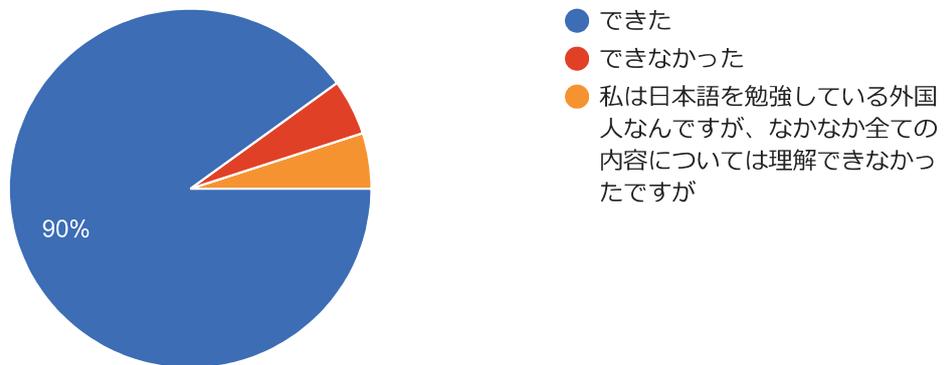
講演「茨城県における介護ロボットの推進」の内容について理解できましたか

20 件の回答



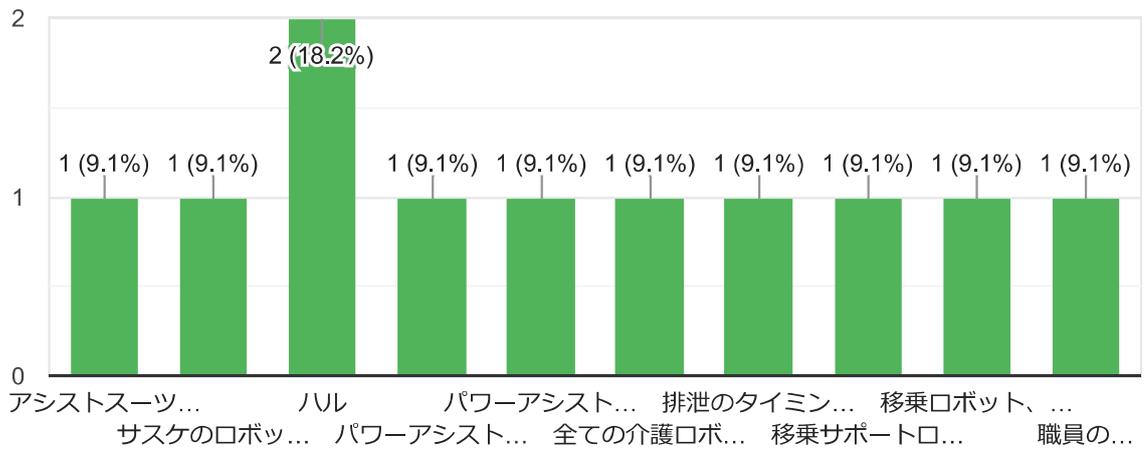
「介護ロボット展示・体験」について介護ロボットへの理解を深めることができましたか

20 件の回答



展示されていた介護ロボットの中で興味を持たれた機種をご回答ください

11件の回答



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム





第二回介護ロボット地域フォーラムアンケート

質問 回答 25 設定

25 件の回答



回答を受付中



概要

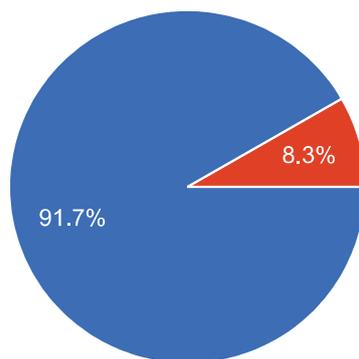
質問

個別

どのような形で本シンポジウムに参加されましたか



24 件の回答

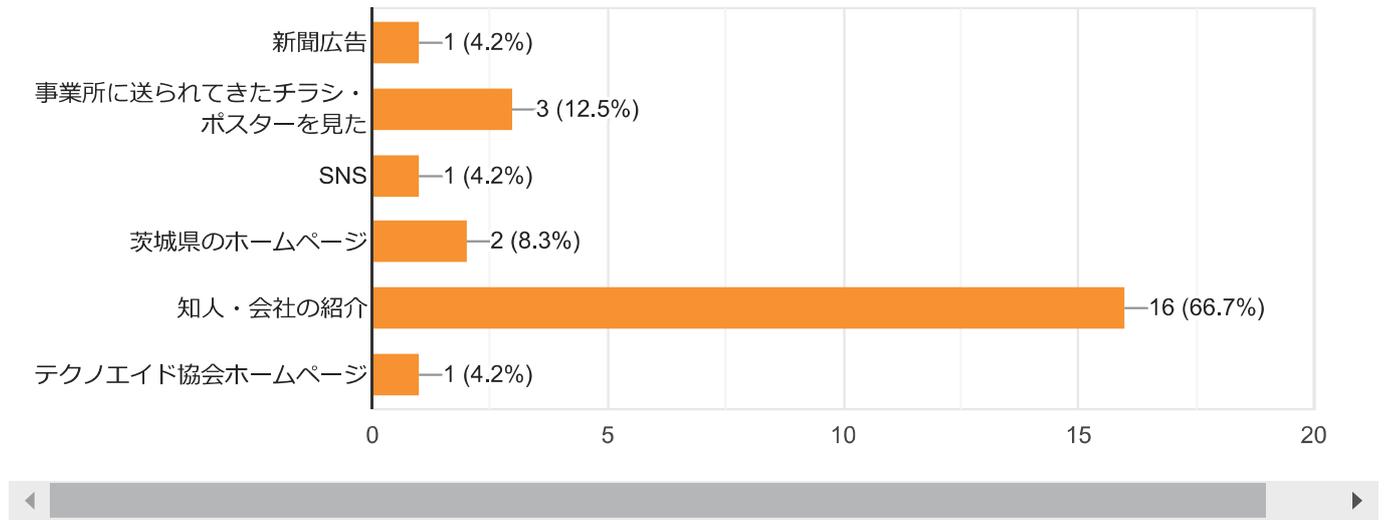


● 現地参加

● オンライン参加

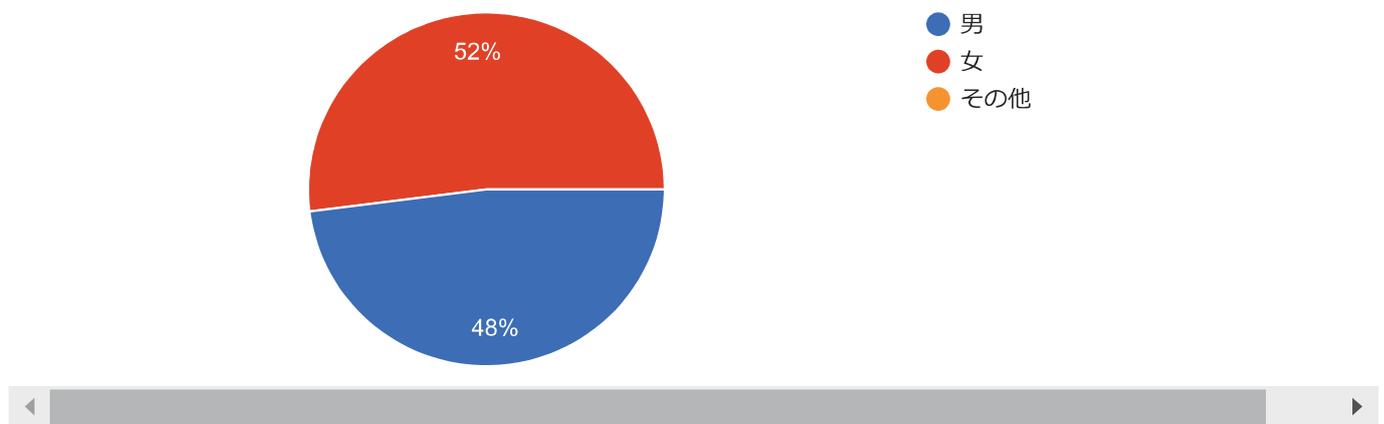
本事業を知ったきっかけをお教えてください ※複数可

24 件の回答



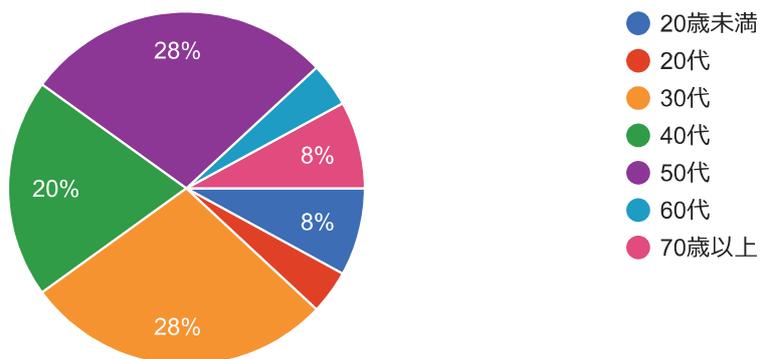
性別

25 件の回答



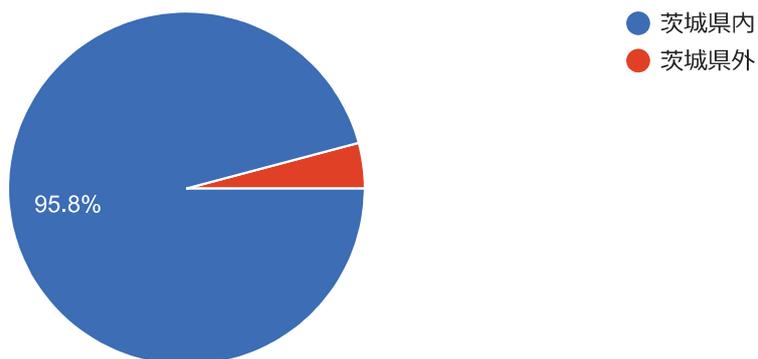
年齢

25 件の回答



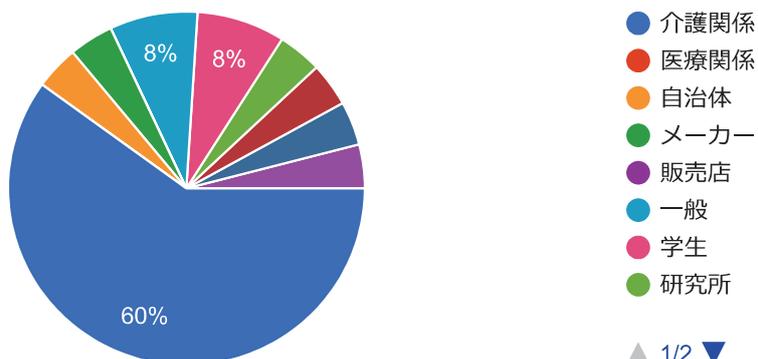
お住まいの地域

24 件の回答



勤務先

25 件の回答

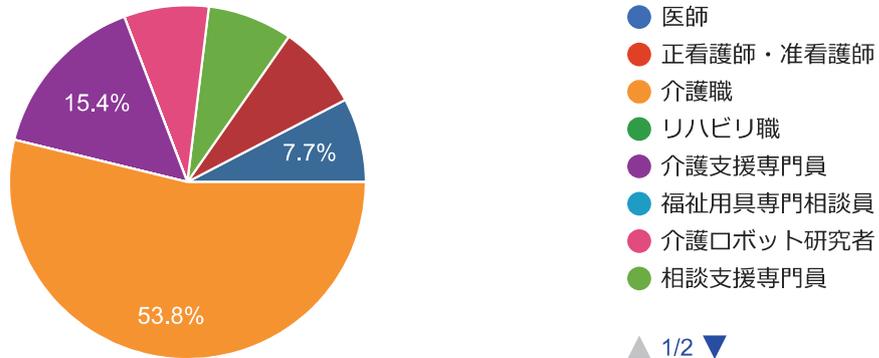


▲ 1/2 ▼

職種

あなたの職種についてご回答ください

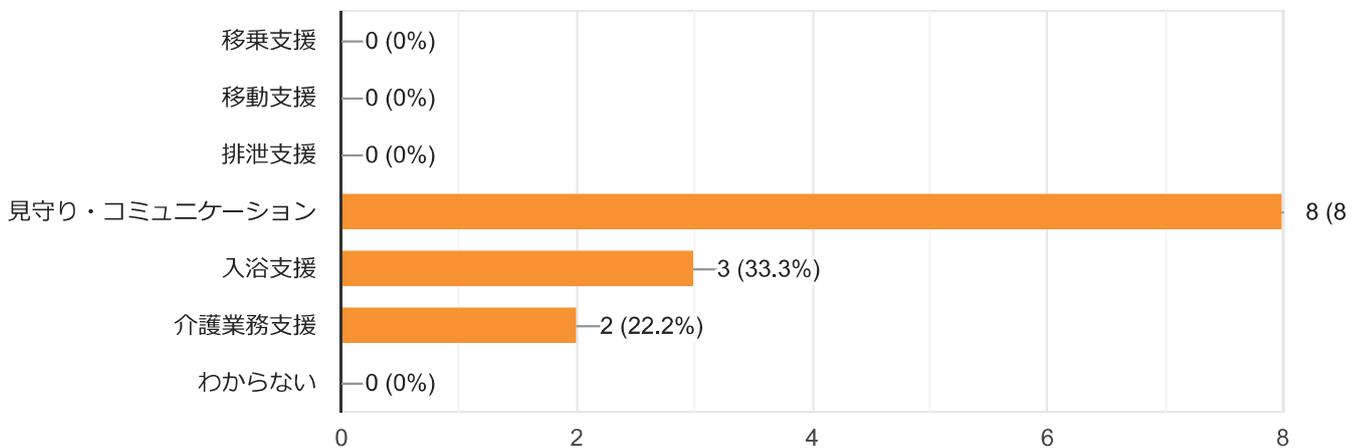
13 件の回答



導入済みのロボットについて

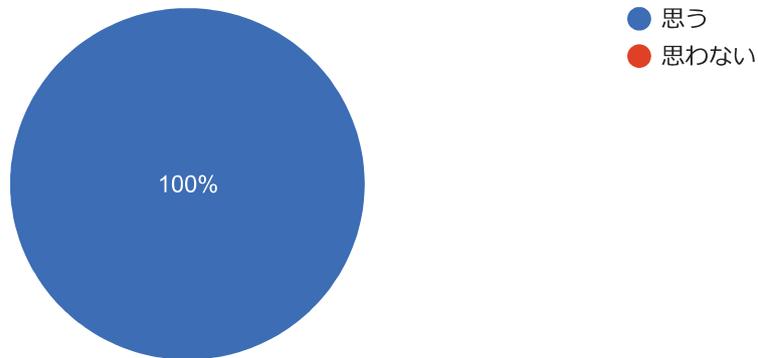
あなたの事業所ではどのような介護ロボットを導入していますか ※複数可

9 件の回答



介護ロボットを導入したいと思いましたが ※すでに導入されている方もご回答ください

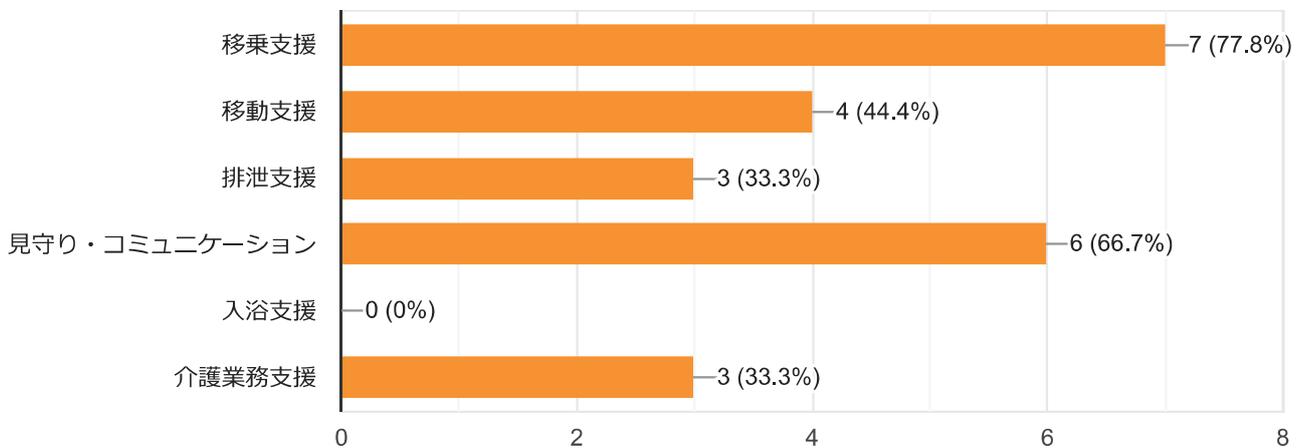
13 件の回答



導入してみたいロボットについて

どのような介護ロボットを導入してみたいと思いましたが ※複数可

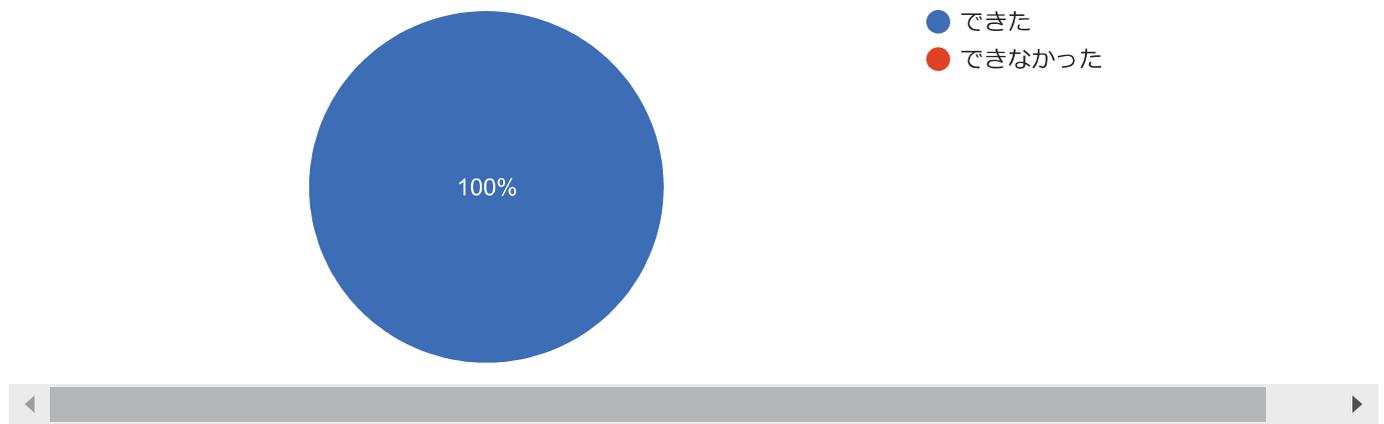
9 件の回答



シンポジウムの内容について

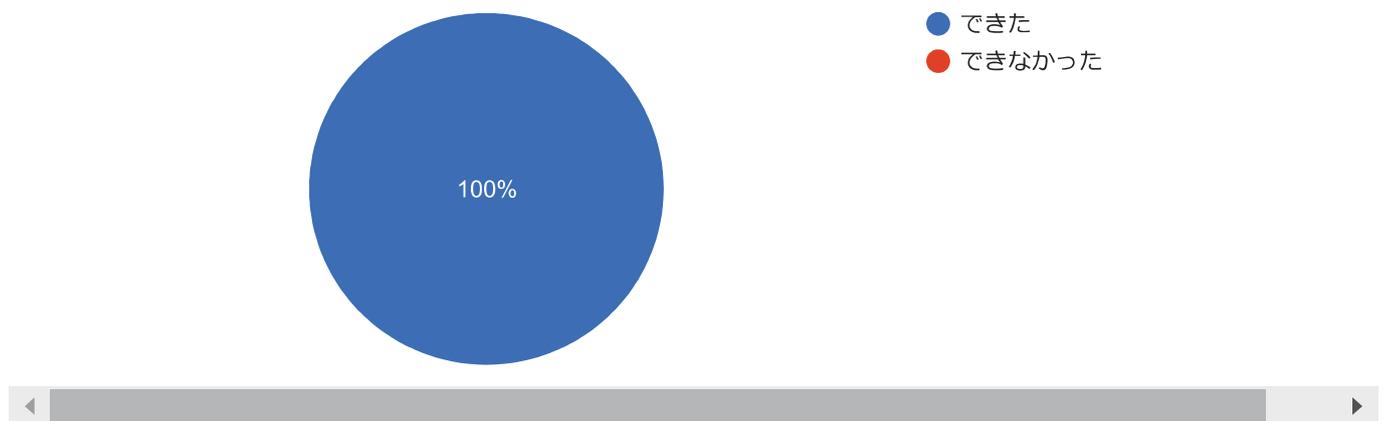
講演「福祉用具・介護ロボットにおける開発・普及の動向」の内容について理解できましたか

11件の回答



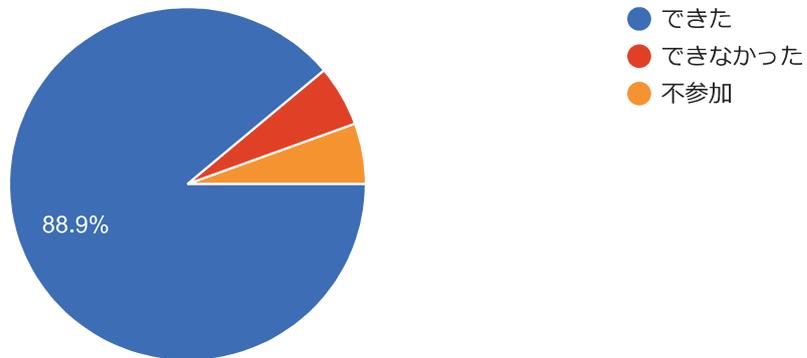
講演「茨城県における介護ロボットの推進」の内容について理解できましたか

11件の回答



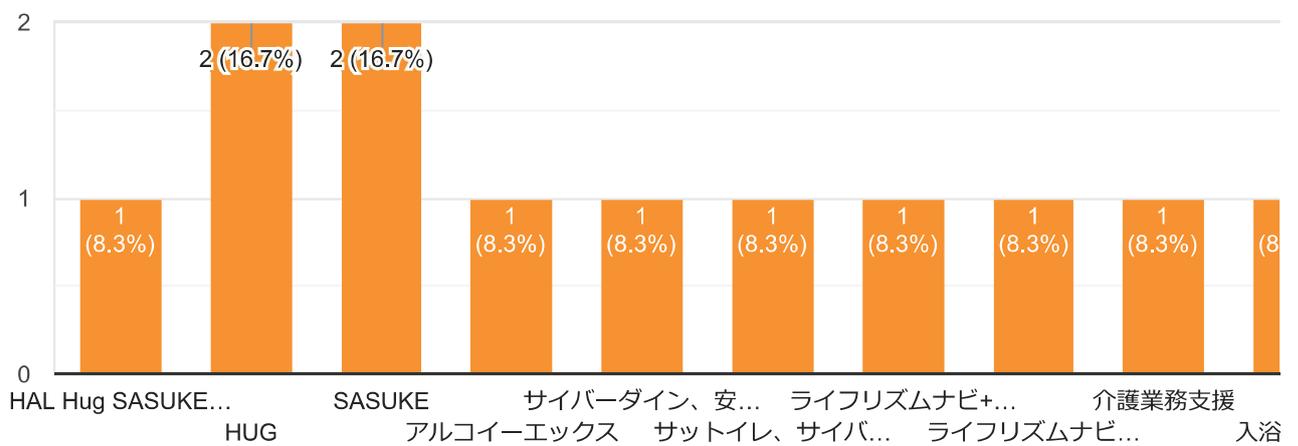
「介護ロボット展示・体験」について介護ロボットへの理解を深めることができましたか

18 件の回答



展示されていた介護ロボットの中で興味を持たれた機種をご回答ください

12 件の回答



(3) 石川県実施内容

実施内容及び参加人数

コロナウィルスオミクロン株の感染拡大が心配されるなかでの開催となりました。
会場での出展企業、来場者ともに十分な感染対策をおこなった上で実施致しました。

来場者数は112名、オンライン閲覧が86件でした。

オンライン放送した内容を後日、期間限定でネットから視聴できるようにすることで当日来場・オンライン閲覧できなかった方へも情報発信できるシステムを整えます。

シンポジウムとして下記の演題でご講演いただきました。

- ・石川県の介護ロボット導入支援の取組み紹介
石川県健康福祉部 長寿社会課長 奥泉元 氏
- ・介護ロボット導入事例
社会医療法人財団董仙会 本部長 進藤浩美 氏
- ・展示参加各企業によるオンラインセミナー

実施による成果

112名の来場者を迎え、介護施設職員の方やリハビリ職の方、一般来場の個人の方への実機による介護ロボットの紹介と実際の体験をしていただくことにより現場で介護ロボットを使う方々への周知を図ることができました。

また、実際に販売営業にあたる福祉用具取扱業者の方の介護ロボットへの理解が深まった事で今後積極的に県内での施設へのアプローチが進んでいくと考えられます。

(4) 静岡県

6. アンケート集計結果

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種をお答えください。

①性別

No.	項目	回答数	割合
1	男性	19	82.6%
2	女性	4	17.4%
3	その他	0	0%
	無回答	0	0%
計		23	100.0%

②年齢

No.	項目	回答数	割合
1	10歳未満	0	0%
2	10代	0	0%
3	20代	2	8.7%
4	30代	3	13.1%
5	40代	9	39.1%
6	50代	3	13.1%
7	60代	5	21.7%
8	70代	1	4.3%
9	80代	0	0%
	無回答	0	0%
計		23	100.0%

③地域

No.	項目	回答数	割合
1	県内	21	91.3%
2	県外	1	4.3%
	無回答	1	4.3%
計		23	100.0%

④勤務先

No.	項目	回答数	割合
1	介護関係	19	82.6%
2	医療関係	0	0%
3	自治体	0	0%
4	メーカー	1	4.3%
5	販売代理店	0	0%
6	その他	3	13.1%
	無回答	0	0%
計		23	100.0%

その他の記載内容（自由記述）

金融機関	1
社会福祉協議会	1

⑤職種

No.	項目	回答数	割合
1	医師	0	0%
2	看護師	0	0%
3	准看護師	0	0%
4	理学療法士	0	0%
5	作業療法士	0	0%
6	言語聴覚士	0	0%
7	介護支援専門員	3	15.8%
8	介護福祉士	3	15.8%
9	福祉用具専門相談員	0	0%
10	その他介護職員	1	5.3%
11	その他	12	63.2%
	無回答	0	0%
	計	19	100.0

その他の記載内容（自由記述）

柔道整復師	1
管理職員	3
施設長	2

2. シンポジウムの内容は参考になりましたか。

No.	項目	回答数	割合
1	参考になった	16	69.6%
2	参考にならなかった	0	0%
3	どちらともいえない	3	13.1%
4	シンポジウムをみていない	3	13.1%
	無回答	1	4.3%
	計	23	100.0%

選択No.	理由
1	介護現場に身近なものが多かった。
1	シルヴァーウィングの石川理事長の話は、施設の考え方が反映しており、勉強になりました。
1	新技術に接することができました。
1	展示を見たうえで、その実証試験をどう動かしていくか、具体的にイメージできました。
3	時間が少なかった。

3	静岡県の説明が、WEBであったため、音が反響して聞き取りにくかった。
3	同じ会場で機器展をやっている騒がしかった。
3	補助金を使い少しでも導入していきたい。

3. 介護ロボット・福祉機器の紹介、実演の内容は参考になりましたか。

No.	項目	回答数	割合
1	参考になった	19	82.6%
2	参考にならなかった	0	0%
3	どちらともいえない	3	13.1%
	無回答	1	4.3%
計		23	100.0%

選択No.	理由
1	体験型の説明が参考になった。
1	丁寧でした。
1	導入を検討している機器を実際にみて、体験することができた。
1	実際に使用できた。
3	今回、シンポジウムに参加目的で来場した。
3	導入済みの機器もあり、展示台数が多い方がよい。

4. 展示機器の台数はどうでしたか。

No.	項目	回答数	割合
1	多いと感じた	1	4.3%
2	今回くらいでよい	12	52.2%
3	少ないと感じた	9	39.1%
	無回答	1	4.3%
計		23	100.0%

5. 展示機器の中で興味のあるものはありましたか。

No.	項目	回答数	割合
1	あった	18	78.3%
2	なかった	2	8.7%
	無回答	3	13.1%
計		23	100.0%

興味があった機器

ベルメディカルケア(株)	Hug L1	6
(株)ブルーオーシャンシステム	ブルーオーシャンノート	3
コニカミノルタ(株)	HitomeQ ケアサポート	1
(株)ジェイテクト	パワーアシストスーツ J-PAS fairy	3
(株)サイチ	見守り花子	1
ミネベアミツミ(株)	ベッドセンサーシステム	1
エコナビスタ(株)	ライフリズムナビ+Dr	2

マッスル(株)	ROBOHELPER SASUKE	3
(株)ケアコネクトジャパン	ケアカルテ	2
N&F テクノサービス(株)	ネオスケア	2
(株)メディカルプロジェクト	シッタープロ	1
(株) iSEED	パルモ	1

6. 本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見があればご自由におかきください。

1	様々な機器を体験できたので、参考になった。
---	-----------------------

以下の回答は、介護事業者の方のみの回答となります。

7. 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか。

No.	項目	回答数	割合
1	導入している	6	31.6%
2	導入していない	8	42.1%
	無回答	5	26.3%
		19	100.0%

8. 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか。

No.	項目	回答数
1	移乗介助（装着型）	1
2	移乗介助（非装着型）	2
3	移動支援（屋外）	0
4	移動支援（屋内）	0
5	移動支援（その他）	0
6	排泄支援	0
7	排泄予測	0
8	排泄支援（動作）	0
9	見守り（介護施設）	5
10	見守り（在宅）	1
11	コミュニケーション	1
12	入浴支援	0
13	介護業務支援	2
14	その他	0

9. あなたは介護する際に介護ロボットを利用したいと思いますか。

No.	項目	回答数	割合
1	思う	7	87.5%
2	思わない	0	0%
3	どちらともいえない	1	12.5%
		8	100.0%

1	補助金を活用できる。
1	介護者、利用者の安心と負担軽減につながると思う。

1	介護を要する人が増えてきているため。
3	設備投資に不安がある。

10. 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか。

No.	項目	回答数	割合
1	思う	9	47.4%
2	思わない	1	5.3%
3	どちらともいえない	3	15.8%
	無回答	6	31.6%
		19	100.0%

1	半導体不足による欠品。
1	介護職不足。

(アンケート調査の結果や本事業で作成したパンフレットなど入れてください。)

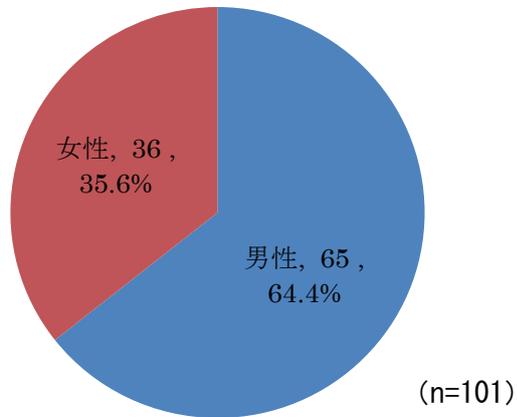
※記載には文字数の制限はありません。必要に応じて頁を増やしてください。

(5) 長崎県

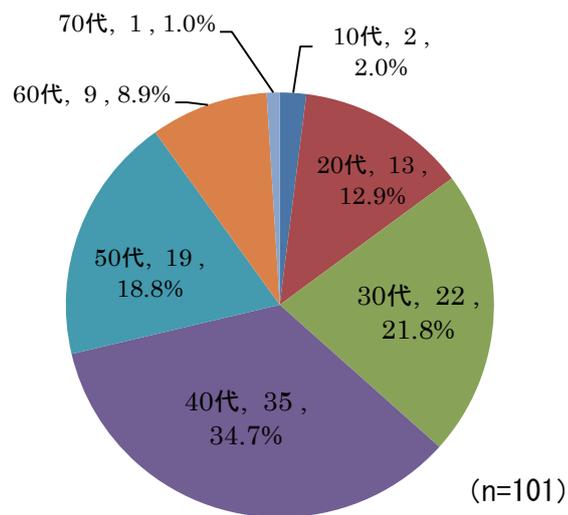
⑦ アンケート集計結果

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種についてお答えください。

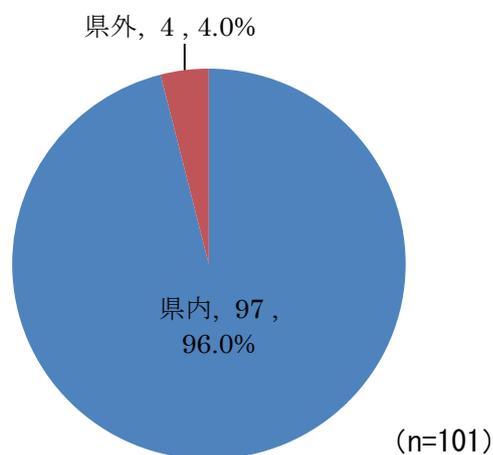
① 性別 (単一回答、n=101)



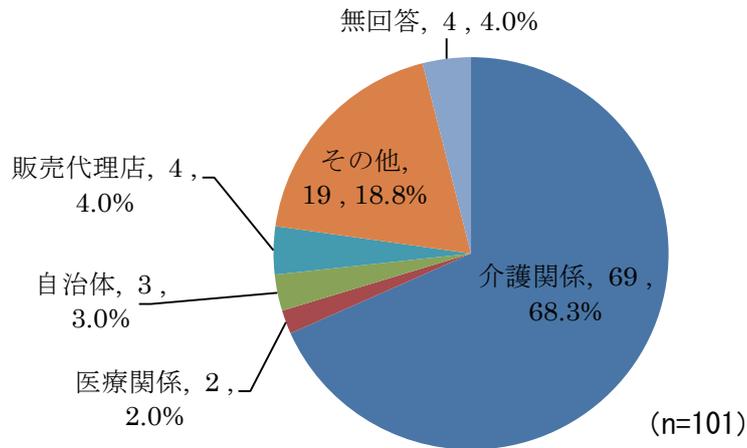
② 年齢 (単一回答、n=101)



③ 地域 (単一回答、n=101)



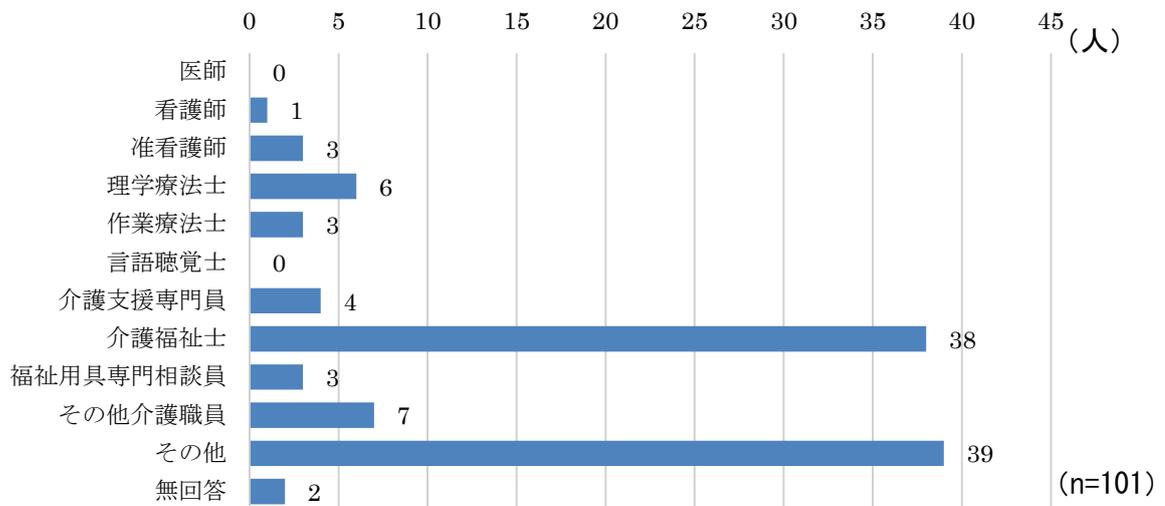
④ 勤務先（単一回答、n=101）



（その他の職業）

- ・ 法人保健施設
- ・ 介護教員
- ・ 学生

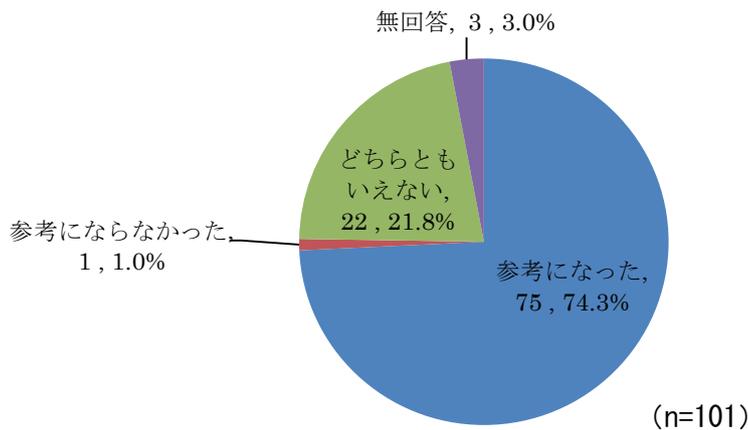
⑤ 職種（複数回答、n=101）



（その他の職種）

- ・ 医薬品卸
- ・ 営業職
- ・ 管理者
- ・ 建築士
- ・ 施設経営者
- ・ 施設長
- ・ 総務
- ・ 事務
- ・ 事務長補佐
- ・ 専門学生

⑥ フォーラムの内容は、参考になりましたか。(単一回答、n=101)

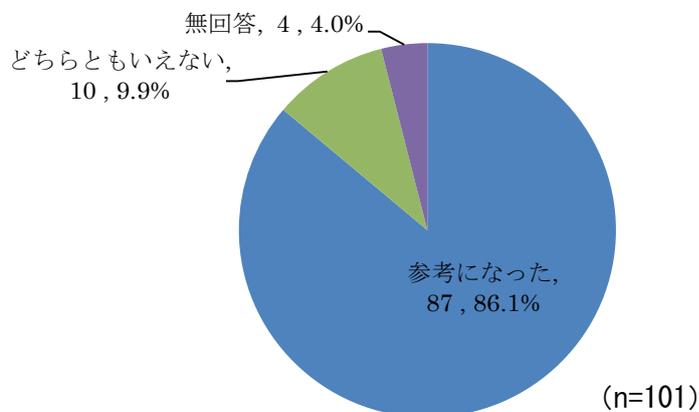


(理由・感想)

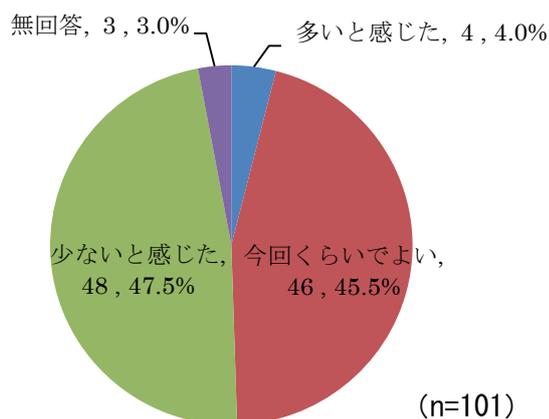
ICT・介護ロボットの良い点、失敗例等が聞けて良かった。
neos+care は、腰痛予防に役立ちそうです。
新しい製品情報や導入された施設の体験が聞けたこと。
介護現場で実際、利用されている事例がわかりやすかった。
介護者の負担軽減に機器の促進が不可欠と考えている。
介護ロボットの位置づけがわかった。
機器の体験ができて良かった。
グループホームでの必要性を感じている為、参加しました。参考にさせていただきます。
現状に照らし合わせて利用可能なものなどを知ることが出来ました。
県の導入効果の集計、特になごみ会の導入事例の説明が私たちの事業所でも活用できる内容だったのでとても参考になりました。また使いこなせなかった導入事例も今後の参考になりました。
五島でのノータイスには以前から興味があって特に文章入力（音声入力）の話、高齢の職員への適応など聞きたいところが聞けた。実際使用している現場を見て見たい。
コミュニケーションロボット 今後、必ず必要になってくると思う
今後の介護に支援できるのではないかと思った。（参考になるのでは）
再確認ができた
様々な新しいロボットを知れてよかったです。
実機が見られたこと、他の施設の利用について参考になった。
実際に ICT を導入している事業所の事例を知ることができた。
実際に介護ロボットに触れて良かったです。
実際に現場で使用してみた声を聞くことができ大変参考になった。
実際にデモ機に触れたり、体験できた。
実際に導入の状況などを聞くことができた。
実際に取り組まれている事例を聞けて良かった。
実際に働く上で知っておく事は大切だと思っていたので知ることが出来て良かったと思いました。利用者様や職員への負担軽減のため色々考えられて開発されているのだと感じました。
実際の現場の話を知ることができた。
実際の福祉用具を体験できた。
自分が知らない機能を活用した機械がいっぱいあったし、介護者の負担を減らすという考えが自分になかったがここでそういう機能がある機械に出会えて少し興味をもった。

シャワーオールは、介助者、利用者の負担が軽減され便利だと思った。
使用してみたいものがいくつかあった。
知りたい情報を得られなかった。
セミナー会場のモニターが小さい。前から4列目でようやく見えた。
体験ができた。
体験を実際にできて良かった。
導入され、実際活用した話を聞けてとても良かった。
導入事例、問題点をもっと聞きたかったです。
特に見守り系のシステムについて、デモを通して理解することが出来ました。
長崎県の介護ロボット・ICTに対する考えを知ることができた。
反省と経過がわかりやすかった。
福祉・介護を取り巻く環境・今後の方向性、取り組むべき課題等が理解できた。
普段の生活の中で意識したことがなかったものがあって視野が広がりました。
プロジェクターを大きめにしていれば見やすかったと思います。
マッスルスーツが以前に比べると使いやすくなっていると思いました。見られて良かったです。
利用者、介護者、ご家族ともに負担軽減になるものがたくさんあり、実際に導入されている所に就職したいと思った。
利用者にあったものがたくさんあってすごく勉強になりました。
ロボット、ICT 機器はすばらしいと思った。

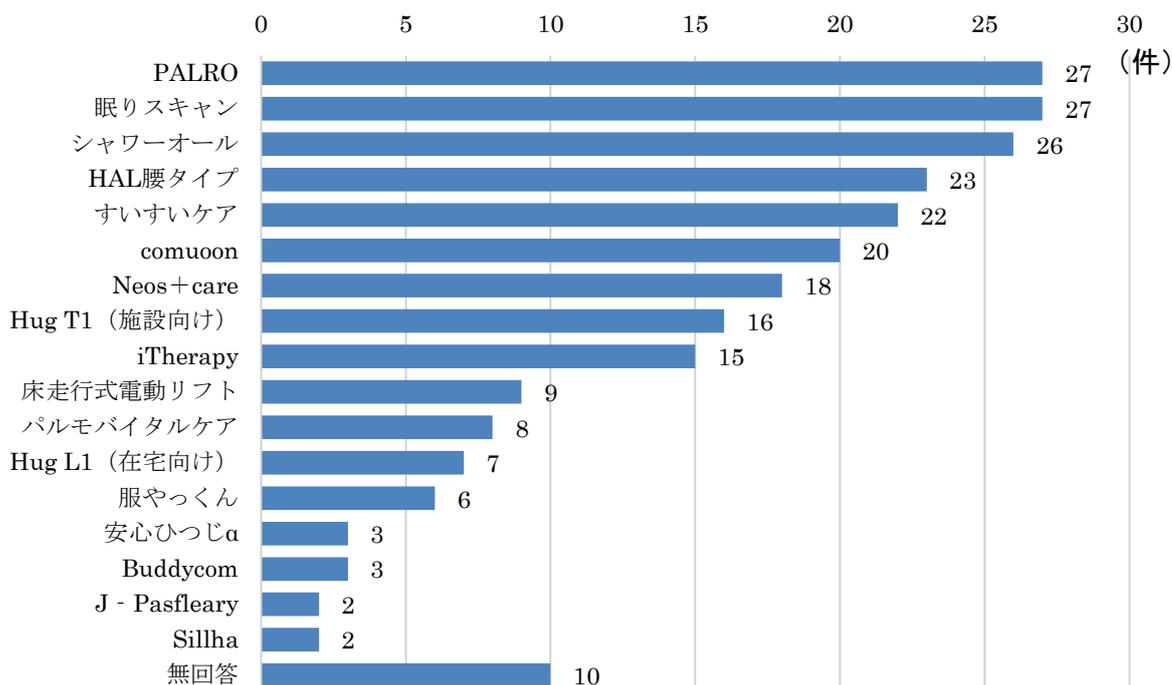
⑦ 介護ロボット・ICT機器の紹介、実演の内容は、参考になりましたか。(単一回答、n=101)



⑧ 展示機器等の台数はどうでしたか。(単一回答、n=101)



⑨ 展示機器の中で興味のある物はどの機器でしたか。(複数回答、n=101)



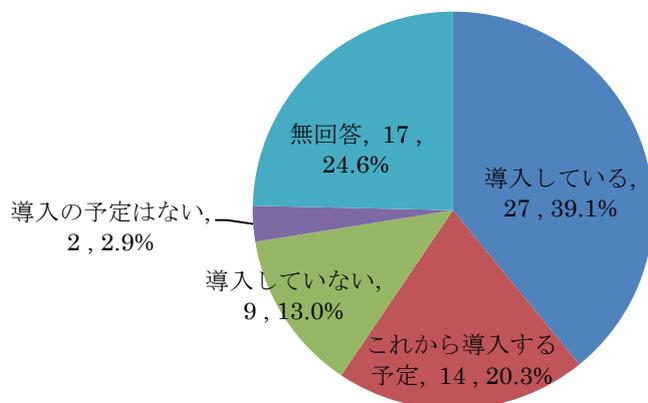
⑩ フォーラム及び介護ロボットに対する感想、ご意見等があればご自由にご記入ください。

色々とお触れよかった
色々とお試してみたいと思った。実際使用している施設を見学してみたい。使用してその後を知りたい<対職員、対利用者>
介護スタッフ年齢が上がり、自分の体も守りながらの介護はとても大変です。少しでも楽にできるなら試してみたいと思いますが、施設は購入してくれるだろうか?と思います。
介護ロボットの未来は明るいがまだまだ課題が多い。国、民間が協力して高齢化社会をより良いものにしていかなければと思う。
介護ロボットを使うと力がない人も介助ができると思う。
可能であれば、モニターを大きくするか、プロジェクターでスクリーンなどに映して欲しかったです。又は椅子4列に1台間隔でモニターが欲しかった。前の人の頭でモニターが見づらかったので椅子をジグザクに配置するか、モニターを椅子と椅子の間の位置にするか高さをもう少しつけて欲しかったです。
九州介護ロボット開発・実証・普及促進センターの方の導入をどう進めるのか、誰がどのように...のお話はとても分かりやすかったです。使いう事によって何を求めるのかの理念のような介護者や利用者の方の思いについて考える必要があると思います。
行政や業界が取り組んでいる事、これから進展していくであろう事業等を知ることが出来て良かったと思います。
コロナ禍での人材不足や職員負担軽減など実機やメーカーさんも言葉などを聞けて良かったと思います。
実際に触れてみる事が出来て良かったです。

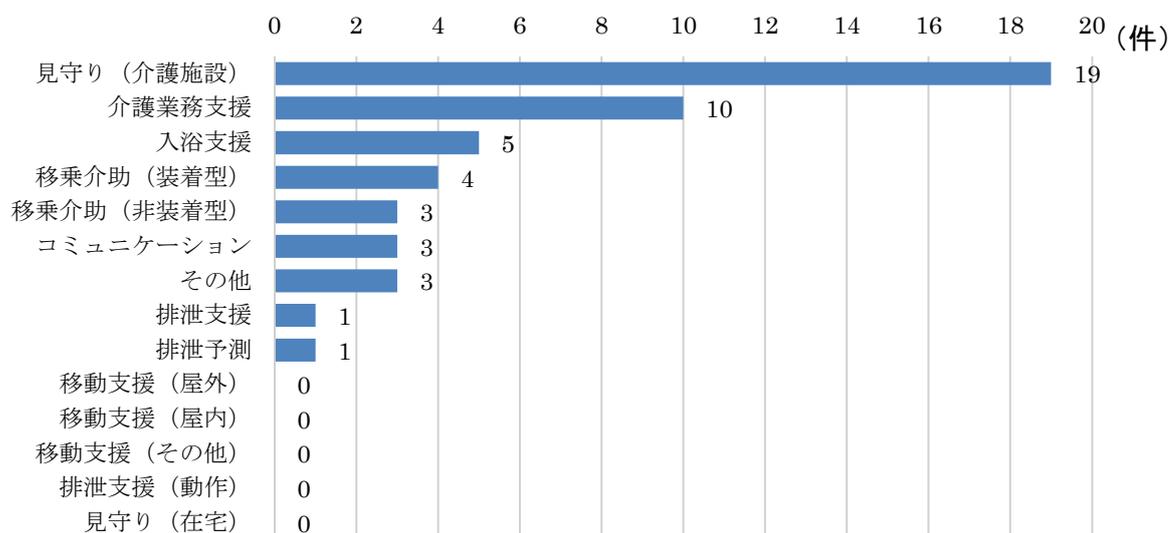
自分が思っていたよりも介護ロボットも人に寄り添うことができたり、ボディメカニクスを最大限生かせるサポートになっていたりと今日こなければ知りえることができなかつたものばかりで勉強になりました。
自分の知らないところを知る機会になってとても良かった。
セミナーの資料を頂きました。
相談先（センター）とお話できて良かった。
大変参考になりました。継続的にフォーラムを今後も開催して欲しい。
展示品の数も丁度よく、じっくり説明を伺うことが出来ました。ロボット助成金の対象になっていると知らなかつたものもあり、大変勉強になりました。
長崎は実際に福祉機器を見たり、体験したりする箇所がない為、このような機会をたくさん作ってほしい。
日本はとても上手です。
フォーラムのモニターがもう少し大きければ・・・。
見守りシステムなど詳しい話を聞けて良かったです。
もう少し多くの機器がみたいと思いました。
もう少し規模が大きいと良かった。講義を聞いたが、椅子が無くて疲れてしまった。
モニターが小さい、見えない。
離島介護施設の取組みなど、実際に現場で活用できたこと、活用できなかったことについて、話を聞くことができ、参考になりました。
私がまだ知らなかつた福祉用具があつてとても勉強になりました。少しでも楽にできるようにといった用具があつたのでとてもいいなと思いました。

以下の回答は、介護事業者の方のみの回答となります。(n=69)

⑪ あなたの職場では、介護ロボット・ICTを導入していますか。(単一回答、n=69)



⑫ どのようなタイプの介護ロボットを導入又は導入予定ですか。(複数回答、n=41)



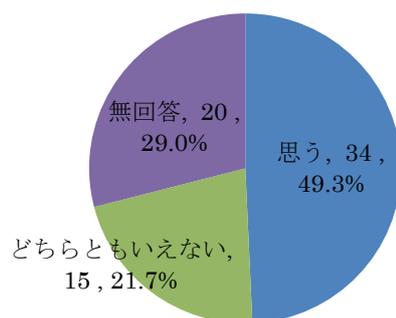
<具体的な機種名>

分類	機種名
見守り (介護施設)	眠りスキャン
	エスパシア
介護業務支援	Notice
	ケアカルテ
	ブルーオーシャン
入浴支援	アダージオ
移乗介助 (非装着型)	床走行式リフト
コミュニケーション	PALRO

<その他>

- ・ ケア記録
- ・ タブレット

⑬ あなたは介護する際に介護ロボットを利用したいと思いますか。(単一回答、n=69)



<「利用したいと思う」理由>

職員の負担軽減と円滑なコミュニケーションのため。
腰痛の方が多いので腰痛緩和に役立つ商品があれば導入したいと思います。
介助する側が楽になり、事故が起きる可能性が減ると思います。
業務の負担軽減。
質の向上、職員満足度 UP、入居者、家族の負担軽減と QOL の向上。
人が足りないからではなく、ロボットにしてほしいと思うことがあると思うので。
業務の効率化のため。
職員の高齢の方が増えてきている為、色々な面での介護ロボットを利用できたらいいなと思いました。
業務上使用した方が良いと思うが装着に人手や時間がかかるものは向かない。
介護者の負担の軽減、質の確保につなげたい。労働力の代わりとして活用。
職員、利用者の身体的、精神的負担軽減になると思うから。
介護スタッフ、ご利用者様のより良いケアにつながるのであれば積極的に利用したい。
職員の負担軽減の為に利用したいと思う。
職員負担を減らすため。
ぜったいあったらよいと思う。
身体への負担は常々感じています。良いものがあれば、試してみたい。
介護をする上で抱え上げや移乗など、体の負担が大きく、仕事自体がきつい、大変なので少しでも軽減できればなと思います。
人手不足の労務量の軽減。
腰痛があるため。
今後、人材不足により職員の手が回らなくなる可能性、利用者により安全、安心して生活してもらえるように。

(6) 山口県

アンケート結果

1 性別		(n=15)	
1	男性	11	73%
2	女性	4	27%

2 年齢		(n=15)	
1	10代	0	0.0%
2	20代	0	0.0%
3	30代	3	20.0%
4	40代	6	40.0%
5	50代	2	13.3%
6	60代	4	26.7%
7	70代	0	0.0%
8	80代	0	0.0%

3 地域		(n=15)	
1	山口県内	9	60%
2	県外	6	40%

4 勤務先		(n=15)	
1	介護関係	4	26.7%
2	医療関係	2	13.3%
3	自治体	1	6.7%
4	メーカー	6	40.0%
5	販売代理店	0	0.0%
6	その他	1	6.7%
7	回答しない	1	6.7%

5 職種		(n=15)	
1	医師	0	0.0%
2	看護師	0	0.0%
3	准看護師	0	0.0%
4	理学療法士	4	26.7%
5	作業療法士	0	0.0%
6	言語聴覚士	0	0.0%
7	介護福祉士	1	6.7%
8	介護支援専門員	1	6.7%
9	その他介護職員	0	0.0%
10	福祉用具専門相談員	0	0.0%
11	開発担当者	1	6.7%
12	販売担当者	5	33.3%
13	その他	3	20.0%
14	回答しない	0	0.0%
15	無回答	0	—

6 役職・職位		(n=15)
1	所長	1
2	担当部長	1
3	事務次長	1
4	課長	2
5	介護課長	1
6	主任	3
7	主任主事	1
8	コーディネーター	1
9	リーダー	1

7 シンポジウムの内容は参考になりましたか？		(n=15)	
1	参考になった	12	80.0%
2	参考にならなかった	0	0.0%
3	どちらともいえない	2	13.3%
4	回答しない	1	6.7%

前問の理由		(n=13)
1	知らなかった商材知識を得たから。	
2	機器の種類や導入事例など具体的な検討材料を得ることができた。	
3	参考になる部分があったが、開発製造メーカーの視点でみて、新鮮な観点がとくになかった。	
4	いろいろな介護ロボットの紹介や次年度の補助金の概要を知ることが出来良かったと思います。	
5	講師の方のお話やメーカーの商品や役所の方が参加され複合的な知識が得られた。	
6	介護ロボット普及のアイデアが広がったため。	
7	介護ロボットへの色々な考えを聞いた事。	
8	市役所の業務の中ではわからない現場でのリアルな声を聞くことができました。今後の市役所で業務を進めていく中でこういった政策が必要なのか参考とさせていただきたいと思います。	
9	プレゼンテーションを通じて他社の様々な商品について知ることができた。	
10	当日業務となってしまったので、合間で聴講していたため。	
11	沢山の介護ロボットの説明や導入効果が知ることができた。	
12	知らない介護機器があった。また導入している機器もあったが、使い方を熟知できていないことも知れたので。	

8 講師の話は聞き取りやすかったですか？		(n=14)	
1	聞き取りやすかった	12	85.7%
2	聞き取りにくかった	0	0.0%
3	どちらともいえない	1	7.1%
4	回答しない	1	7.1%
	無回答	1	

9 今後、興味のあるテーマのWEBセミナーがあれば受講を希望しますか？		(n=15)	
1	WEBセミナーを受講したい	6	40.0%
2	できる限り現地（対面）開催のセミナーを受講したい	5	33.3%
3	どちらともいえない	4	26.7%
4	回答しない	0	0.0%

10 WEBセミナーの改善点や要望があれば記載してください (n=15)

1	プレゼンの時間がせめて12分程度は欲しい(質疑も入れて)
2	LIFEを中心とした、情報の一本化に関する知識、情報
3	質疑応答が活発になれば良いと感じました。 そのためにいわゆるサクラなども必要かもしれません。
4	現場からの要望がもう少し聞けると参考になる。
5	急遽オンラインでの開催となったがスムーズに進行されており良かったです。
6	特にありません。

11 企業展示ページで何をしましたか? (n=14)

1	テキスト等を読む, 製品紹介(動画等)の閲覧	3	21.4%
2	製品紹介(動画等)の閲覧, 各種資料のダウンロード	7	50.0%
3	各種資料のダウンロード	1	7.1%
4	企業担当者との個別連絡	0	
5	企業展示ページを見ていない	1	7.1%
6	その他	2	14.3%
	無回答	1	

12 展示機器(プレゼンテーション)の中で興味のあるものはありましたか? (n=15)

1	あった	8	53.3%
2	なかった	0	0.0%
3	回答しない	7	46.7%

13 興味があった機器 (n=6)

1	眠りスキャン
2	見守りキューブ お知らせのわかりやすさなど参考になりました。
3	見守り機器
4	見守り系全般
5	非接触見守りセンサーとモニターを組み合わせた各種機器など
6	商品を知らなかった見守り機器

14 フォーラムの感想、介護ロボットに対する意見があればご自由にお書きください (n=15)

1	今回は対面式でなくて残念でしたがまた次の機会があれば参加させていただきたいです。
2	最新の情報に触れることができ、参考になりました。ありがとうございました。
3	大変ありがとうございました。行政の支援制度・取り組みが他県に比べ少ないのも課題。
4	本日はありがとうございました。楽しく聴講させて頂きました。
5	事務局の運営、お疲れ様でございました。 対面での開催から急遽オンラインにされてご苦労も多かったと思います。 進行はスムーズで6分という時間が短いかなと思いましたが、逆に間延びする事なく進行しており多くの介護ロボットについて見る事ができ非常に満足しております。 また、このような機会がありましたら出展させて頂きたく存じます。 この度はありがとうございました。
6	今後も同様のセミナー開催いただけますと幸いです。

介護現場対象

15 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか？ (n=12)

1 導入している	4	33.3%
2 導入していない	2	16.7%
3 回答しない	6	50.0%
無回答	3	

複数回答

16 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか？ (n=3)

1 移乗介助（装着型）	2	66.7%
2 移乗介助（非装着型）	0	0.0%
3 移動支援（屋内）	2	66.7%
4 移動支援（屋外）	0	0.0%
5 移動支援（その他）	0	0.0%
6 排泄支援	0	0.0%
7 排泄予測	0	0.0%
8 排泄支援（動作）	0	0.0%
9 見守り（介護施設）	0	0.0%
10 見守り（在宅）	0	0.0%
11 コミュニケーション	1	33.3%
12 入浴支援	0	0.0%
13 介護業務支援	2	66.7%
14 その他	0	0.0%

17 あなたは介護をする際に介護ロボットを利用したいと思いますか？ (n=12)

1 思う	10	83.3%
2 思わない	0	0.0%
3 どちらともいえない	0	0.0%
4 回答しない	2	16.7%
無回答	3	

18 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか？ (n=12)

1 思う	9	75.0%
2 思わない	3	25.0%
3 どちらともいえない	0	0.0%
4 回答しない	0	0.0%
無回答	3	

前問の理由 (n=9)

1 利用者との接触頻度の削減（感染防止）。
2 介護職員の不足・高齢化にコロナ禍が加わり労働環境の改善は急務だが、現実的には急いで進めることは難しいと思うから。
3 機器を使った介護は、密になりすぎることを防ぐので、コロナは介護ロボット普及にはプラスに働くと思っています。
4 労力の軽減は人との接触を減らす事にも繋がるので普及には良い面もある。
5 マンパワー不足となりやすいため。
6 利用する側の考え次第だと思います。
7 コロナにかかわらず、介護職の慢性的な不足は解消していないから。
8 実証実験の結果、みまもり支援機器を導入することにより、訪室の回数を軽減できることが実証できたから。
9 人手不足のため。

(7) 佐賀県

佐賀県介護ロボット地域フォーラム(シンポジウム)アンケート集計結果

シンポジウム参加者:来場 18名、WEB 21名 合計39名
アンケート回答23件(回収率 59.0%)

1. あなたの性別、年齢、お住まいの地域、勤務先、職種をお答えください。

① 性別(N=23)

項目	回答数	割合
男性	14	60.9%
女性	9	39.1%
その他	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

② 年齢(N=23)

項目	回答数	割合
10歳未満	0	0.0%
10代	0	0.0%
20代	10	43.5%
30代	6	26.1%
40代	4	17.4%
50代	3	13.0%
60代	0	0.0%
70代	0	0.0%
80代以上	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

③ 地域(N=23)

項目	回答数	割合
県内	15	65.2%
県外	6	26.1%
無回答	2	8.7%

	計	23	100.0%
--	---	----	--------

④ 勤務先(N=23)

項目	回答数	割合
介護関係	8	34.8%
医療関係	0	0.0%
自治体	2	8.7%
メーカー	1	4.3%
販売代理店	0	0.0%
その他	9	39.1%
無回答	3	13.1%
	計	23
		100.0%

その他の記載内容(自由記載)

学生	7
教育機関	2

⑤ 職種(N=23)

項目	回答数	割合
医師	0	0.0%
看護師	0	0.0%
准看護師	1	4.3%
理学療法士	0	0.0%
作業療法士	0	0.0%
言語聴覚士	0	0.0%
介護支援専門員	1	4.3%
介護福祉士	5	21.7%
福祉用具専門相談員	0	0.0%
その他の介護職	0	0.0%
その他	0	0.0%
無回答	16	69.7%
	計	23
		100.0%

2. シンポジウムの内容は参考になりましたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
参考になった	22	95.7%
参考にならなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	4.3%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

【上記回答を選択した理由をご記入ください】

日頃介護ロボットを扱わないため
介護事業所の取り組み状況や介護ロボットに対する考え方が確認できたため
佐賀県、および厚生労働省での先端介護製品に対する取り組みを知ることができました
これまで知らなかった介護ロボットの紹介について知ることができたり、どのような経緯で導入され、どのように活用されているのかを知ることができたため
実際の事例などはこのような場でしか知ることができないので参考になった
様々な介護ロボットがあることを知ることができたため
最新情報の取得
IT・AIが実際に介護現場で活用されている状況を知ることができたからです
介護ロボットについて詳しく知ることができたから
県の取り組みを聞いたことと併せて実際補助金にて介護ロボットを実施している話が参考になりました
マットレスの下に設置するだけで睡眠が測れるのは、睡眠の質の向上や日常生活の向上に繋がると感じた
参加しないと分からないことが沢山あった
リモートでの説明が途切れたりして分かりにくかった。必要なことをメモしていたが、スライドが早すぎた
実際に使用されている話は参考になった
実際の取り組みも知る事が出来、今後の活用を考える事が出来た
介護ロボット導入に向けた取り組みを聞け、興味深い新たな事も聞いた
ロボットの介入はすぐそこまで来ているという事が分かった
身近に感じる事ができたから
佐賀県の取り組みについて理解する事ができたから
聞いたことのないことを聞くことが出来た

3. 介護ロボット・福祉機器の紹介、実演の内容は参考になりましたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
参考になった	22	95.7%

参考にならなかった	0	0.0%
どちらともいえない	1	4.3%
無回答	0	0.0%
計	23	100.0%

【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

今後介護現場のみならず医療現場においてもその活用は積極的に行われることが示唆されるから
各ロボットの概要の紹介があり、ロボットの利用方法やメリットを知ることができたため
各社とも、製品の機能やプレゼンテーションの内容について、現場の方の利用ニーズに沿ったものを制作されており、参考になりました。
介護ロボットが介護者や患者さんの負担軽減のために以下に工夫されて作られており、どのように活用されているのかを知るきっかけになったため
ベッドの使用などは移乗や立ち上がりまで見られるとより良かった
実際に現地で見ることができなかったが、パワーポイントや動画で紹介していただき分かりやすかったため
最新情報の取得
今は、介護現場には所属していませんが、介護現場への介護ロボットの導入等を期待しています。このような情報を知ることによって、私からも介護現場への情報提供ができるのではないかと思います
どのような特徴があるのか知ることができたから
どのようなロボット機能であるか知ることができた。
リフトに乗る立場を経験出来て良かった。
知らなかった介護ロボット福祉機器があって参考になった。
介護ロボットの種類や活用方法を知る事が出来、自分の現場での課題を考える事が出来た。
まだ知らなかった機器などもあり、興味深い。
介護者が減っている中で、ロボットは重要な役割が期待されているということが分かりました。
実習で役立つと思ったから。
授業で習ったものを実際に見る事が出来たから。

4. 展示機器の台数はどうでしたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
多いと感じた	3	13.0%
今回くらいでよい	14	61.0%
少ないと感じた	3	13.0%
無回答	3	13.0%
計	23	100.0%

5. 展示機器の中で興味のある物はありましたか。(どれか1つにチェック)(N=23)

項目	回答数	割合
あった	19	82.6%
なかった	1	4.3%
無回答	3	13.1%
計	23	100.0%

【興味があった機器を教えてください(複数選択可)】

項目	回答数
ライブコネクト	6
見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU 助」	9
ベッド内蔵型見守りセンサー「i サポート」搭載 X シリーズ	5
見守りケアシステム M2	9
ラップポンエール2	2
移乗サポートロボット Hug	11
みまもり CUBU	3
スカイリフト	7
ロボットアシストウォーカー RT- I 、RT- II	3
メンタルコミットロボット パロ	3
スマイビ S	1
ユメル、ネルル	1
こんにちは赤ちゃん	4
なでなでねこちゃん DX3、なでなでワンちゃん	3

6. 本日のフォーラムの感想や介護ロボットに対する意見があればご自由にお書きください。

本日は当社製品 (FUKU 助) をご紹介する機会をいただき、ありがとうございました。
将来、働く際に患者さんへの提供できる情報の一つとしてこのような物もあることを知ることができ、活用されるように様々な工夫をされており、とても面白いフォーラムでした。ありがとうございました。
毎年実施していただき、介護機器のアップデートしたい。
このような研修会に、もっと多くの介護現場の方に参加していただきたいと思いました。知っているのと知らないのでは支援方法が大きく異なりますし、サービス・職員のモチベーション差にもつながると思います。施設の上層部の方に、是非参加していただきたいと思いました。生意気な意見ですみません。

Wi-Fi 環境を設備してほしい。
これから介護職で働くために介護ロボットや福祉用具の事をもっと知りたくて来ました。介護現場研修がなくなったので、今回フォーラムに参加できて良かったです。

介護事業者の方のみ、以下の設問にご回答ください。

7. 現在、あなたの職場では介護ロボットを導入していますか。(どれか 1 つにチェック) (N=5)

項目	回答数	割合
導入している	3	60.0%
導入していない	2	40.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

8. 導入しているのはどのようなタイプの介護ロボットですか。(当てはまるもの全てにチェック)

項目	回答数
移乗介助(装着型)	0
移動介助(非装着型)	1
移動支援(屋外)	0
移動支援(屋内)	0
移動支援(その他)	0
排泄支援	0
排泄予測	0
排泄支援(動作)	0
見守り(介護施設)	3
見守り(在宅)	0
コミュニケーション	1
入浴支援	0
介護業務支援	0
その他	0

9. あなたは介護をする際に介護ロボットを利用したいと思いますか。(どれか 1 つにチェック) (N=5)

項目	回答数	割合
----	-----	----

思う	5	100.0%
思わない	0	0.0%
どちらとも言えない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

安心、安楽な介護を受けたい。
睡眠時の見守り、Hug
Hug。腰痛のあるスタッフも多いため使用し、痛みの軽減に努めたい
利用者・介護者双方の負担軽減のため

10. 現在のコロナ禍は介護ロボットの普及・促進に影響を及ぼすと思いますか。(どれか 1 つにチェック) (N=5)

項目	回答数	割合
思う	4	80.0%
思わない	1	20.0%
どちらとも言えない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	5	100.0%

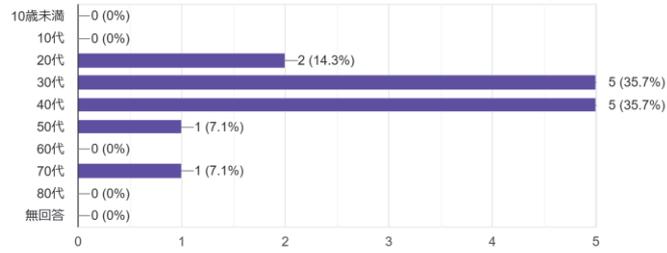
【 上記回答を選択した理由をご記入ください 】

訪問回数の低下等により感染リスクを下げる。
良い意味で感染対策にもなると考える
面会や介助方法についても急激に変わっている中で、普及は加速していくと思います

アンケート結果

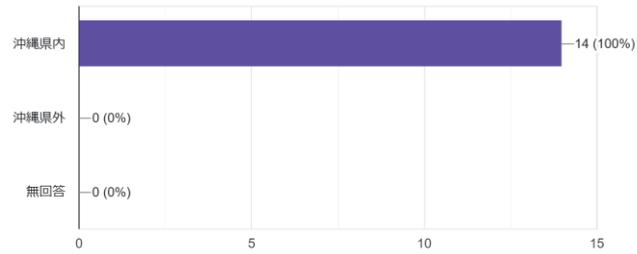
1. 年齢

14件の回答



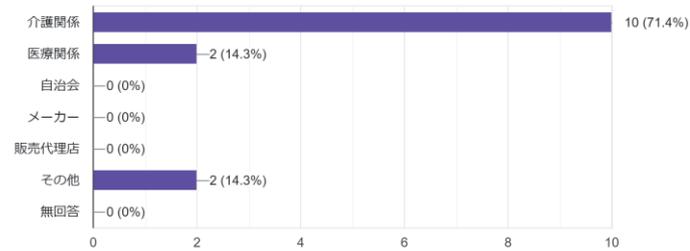
2. 居住地

14件の回答



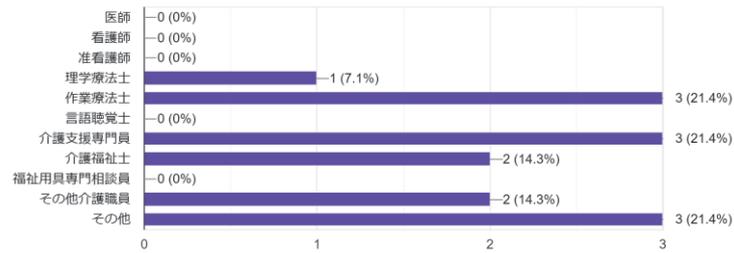
3. 勤務先

14件の回答



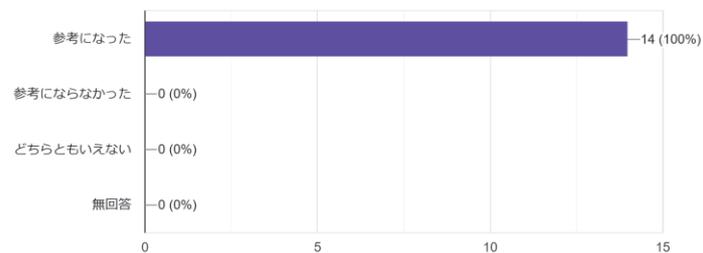
4. 職種

14件の回答



5. シンポジウムの内容は参考になったか

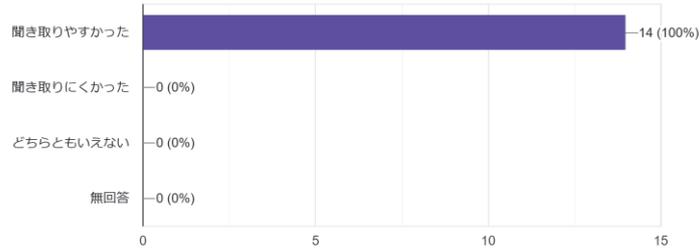
14件の回答



アンケート結果

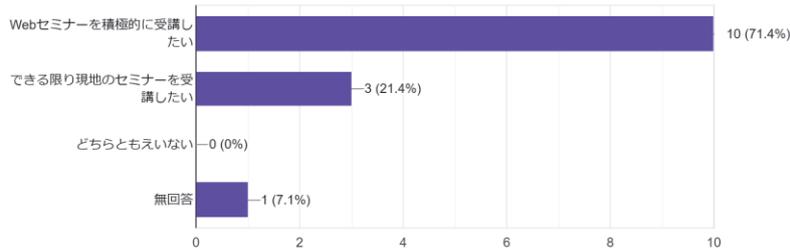
6. 講師の話は聞き取りやすかったですか

14件の回答



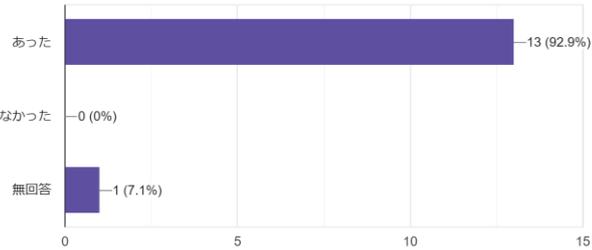
7. 今後、興味のあるWebセミナーがあれば受講を希望するか

14件の回答



8. 介護ロボット機器紹介の中で興味のある物はあったか

14件の回答



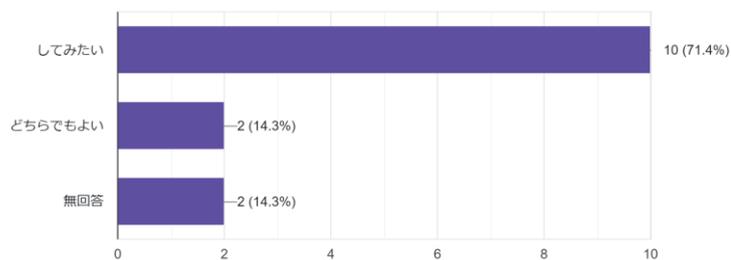
9. 興味のある機器

14件の回答



10. 興味のある機器を実際に使用・体験してみたいか

14件の回答



厚生労働省 「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

オンラインによるシンポジウム
配信のみとなりました

介護ロボット 全国フォーラム

テクノロジーを活用した
未来の介護

令和4年1月26日 **水**

11:00～16:30

TOC有明4階
コンベンションホール

参加費無料
入退場自由

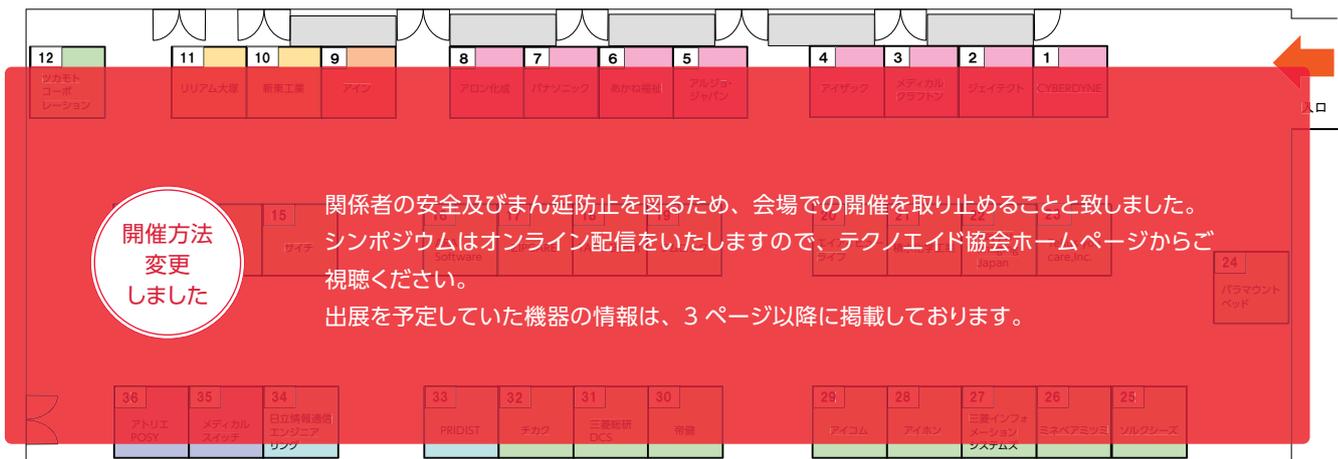
介護ロボット全国フォーラム

4階
コンベンション
ホール

~~WESTホール~~ 会場開催中止

~~最新機器の展示、体験、デモ、相談 (11:00~16:30)~~

高齢者や障害者の自立や介助、介護者の業務を支援する介護ロボットを中心に、製品化された実機の展示・説明・相談ほか (約 30 社の実機を展示)

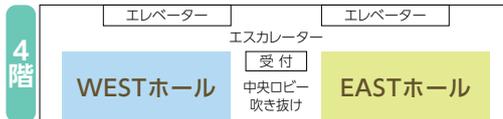


開催方法
変更
しました

関係者の安全及びまん延防止を図るため、会場での開催を取り止めること致しました。
シンポジウムはオンライン配信をいたしますので、テクノエイド協会ホームページからご
視聴ください。
出展を予定していた機器の情報は、3 ページ以降に掲載しております。

No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ・分野	No	団体・企業名	機器名称	カテゴリ・分野
1	CYBERDYNE 株式会社	HAL 腰タイプ 介護・自立支援用	移乗支援	19	株式会社ラムロック	みまもり CUBE Plus-システム Light-	見守り/コミュ ニケーション
2	株式会社ジェイテクト	衣服型アクティブパワーアシスト スーツ J-PASfleairy(フレアリー) 自立推進トレーニングロボット J-Walker テクテック	移乗支援 移動支援	20	エイアイビュラライフ 株式会社	自立支援型 介護見守りシステム A.I.Viewlife 生体センサー連動版	見守り/コミュ ニケーション
3	メディカルクラフトン 株式会社	DARWING Hakobelude (ダーウィン ハコベルデ)	移乗支援	21	積水化学工業株式会社	見守りセンサー ANSIEL (アンシエル)	見守り/コミュ ニケーション
4	株式会社アイザック	Keipu-Sb	移乗支援	22	Vayyar Imaging Japan	Vayyar Care (バヤーカー)	見守り/コミュ ニケーション
5	アルジョ・ジャパン 株式会社	移乗支援機器サラフレックス 移乗支援機器マキシムーブ	移乗支援	23	Tellus you care,Inc.	Tellus 生活リズムセンサー	見守り/コミュ ニケーション
6	株式会社 あかね福祉	「移乗です」	移乗支援	24	パラマウントベッド 株式会社	見守り支援システム 眠り SCAN	見守り/コミュ ニケーション
7	パナソニック株式会社	歩行トレーニングロボット	移動支援	25	株式会社ソルクシーズ	見守り支援システム 「いまイルモ」	見守り/コミュ ニケーション
8	アロン化成株式会社	歩行車リトルターン 電動アシスト付き 水洗ポータブルトイレ キュレット 家具調トイレ セレクト R 自動ラップ	移動支援 排泄支援	26	ミネベアミツミ株式会社	リコーみまもりベッドセンサー システム	見守り/コミュ ニケーション
9	株式会社アイン	ナノミストベッドタイプ	入浴支援	27	三菱電機 インフォメーション システムズ株式会社	AI x 見守りサービス kizkia-Knight (きづきあ-ないと)	見守り/コミュ ニケーション
10	新東工業株式会社	Aiserv® 排泄検知システム	排泄支援	28	アイホン株式会社	見守りカメラ (Vi-nurse システム)	見守り/コミュ ニケーション
11	株式会社リリアム大塚	排尿タイミング予測支援デバイス 「リリアムスポット 2」	排泄支援	29	アイコム株式会社	HP200H (モバイル IP フォン インカム) IP100H (無線 LAN インカム)	見守り/コミュ ニケーション
12	株式会社ツカモトコーポ レーション	AlgoSleep 介護用見守りセンサー	見守り/コミュ ニケーション	30	株式会社帝健	腰部負担計測用スマートデバイス	見守り/コミュ ニケーション
13	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ®+Dr	見守り/コミュ ニケーション	31	三菱総研DCS株式会社	Link & Robo for ウェルネス	見守り/コミュ ニケーション
14	富士通株式会社	ミリ波装置による見守りサービス	見守り/コミュ ニケーション	32	株式会社チカク	オンライン面会用テレビ電話	見守り/コミュ ニケーション
15	株式会社サイチ	みまもり花子 PLEN Cube	見守り/コミュ ニケーション	33	株式会社 PRIDIST	Time Tapper	ソフトウェア 介護記録
16	株式会社 ARASoftware	eye-Box smart R	見守り/コミュ ニケーション	34	株式会社日立情報通信 エンジニアリング	日立データコレクション IC2000 -介護施設向けケア支援ソリューション-	ソフトウェア 介護記録
17	株式会社 ZIPCARE	まもる~の HOME (在宅向け) まもる~の Station (施設向け)	見守り/コミュ ニケーション	35	株式会社メディカル スイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット 「FUKU助」	その他
18	株式会社 TAOS 研究所	見守りセンサー AiSleep	見守り/コミュ ニケーション	36	株式会社アトリエ POSY	植バズシート、set up ボード	その他

テクノロジーを活用した未来の介護



EASTホール オンライン配信のみ

シンポジウム (13:00~16:10)

介護ロボットに係る重点政策及び、事業の成果、先進事例の報告等を行います。(入退室自由)

※事前登録制とさせていただきます、参加申込をされていない方は、入場できません。※入場制限あり

13:00	開会 挨拶 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 司会 公益財団法人テクノエイド協会	大橋 謙策
13:10-13:50 (各20分) 行政報告	厚生労働省における介護テクノロジー関連政策について 厚生労働省 老健局 高齢者支援課 課長 経済産業省における福祉・ロボット介護機器産業政策について 経済産業省 商務情報政策局 商務・サービスグループ ヘルスケア産業課 医療・福祉機器産業室 室長補佐	須藤 明彦氏 岡崎 健一氏
13:50-14:00	休憩	
14:00-14:40 (各20分) 成果報告	福祉用具・介護ロボット実用化支援事業の実施について 公益財団法人テクノエイド協会 企画部 介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォームについて 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所 情報未来イノベーション本部 先端技術戦略ユニット	谷田 良平 山内 勇輝氏
14:40-14:50	休憩	
14:50-16:10 (各20分) 基調報告	介護の質と生産性を向上する未来の介護 介護ロボット実用化支援事業の取り組み スマリンケアライフ株式会社 ドマーニ神戸 ケアセンター センター長 コロナ禍において、介護の可能性を広げるIoTシステムの実践について リハ・ハウス来夢	福本 順子氏 矢代 虎太郎氏
	テクノロジーの活用を提案する アルゴスリープ介護現場から見た見守りセンサーの活用法 株式会社ツカモトコーポレーション 排泄検知システムの開発と介護施設でのモニター調査結果 新東工業 株式会社 開発本部開発グループ	小林 孝路氏 鈴木 誉久氏
16:10	閉会 公益財団法人テクノエイド協会	

出展機器

1 CYBERDYNE株式会社

HAL腰タイプ 介護・自立支援用



問合せ先

茨城県つくば市学園南2-1-1
TEL:029-869-8448 E-Mail:ag-sales@cyberdyne.jp

2 株式会社ジェイテクト

衣服型アクティブパワーアシストスーツJ-PASfleairy(フレアリー)
自立推進トレーニングロボットJ-Walkerテクテック



問合せ先

愛知県刈谷市朝日町1-1 技術二号館3階
TEL:0566-25-5193 E-Mail:rie_a_suzuki@jtekt.co.jp

3 メディカルクラフトン株式会社

DARWING Hakobelude
(ダーウィン ハコベルデ)



問合せ先

岡山県岡山市南区古新田1125
TEL:086-282-1770 E-Mail:suemori@medicalcrafton.jp

4 株式会社アイザック

Keipu-Sb



問合せ先

福島県会津若松市山見町25-9
TEL:0242-85-8590 E-Mail:info@aizuk.jp

5 アルジョ・ジャパン株式会社

移乗支援機器サラフレックス
移乗支援機器マキシムーブ



問合せ先

東京都港区虎ノ門3-7-8ランディック第2虎ノ門ビル9階
TEL:070-3284-8665 E-Mail:nobuaki.nakanishi@arjo.com

6 株式会社 あかね福祉

「移乗です」



問合せ先

福島県郡山市安積町荒井字雷神16-1
TEL:024-937-5022 E-Mail:me-ka@akane-fukushi.co.jp

7 パナソニック株式会社

歩行トレーニングロボット



問合せ先

大阪府門真市大字門真1006
TEL:070-2919-3230 E-Mail:wtr_sales@gg.jp.panasonic.com

8 アロン化成株式会社

歩行車リトルターン 電動アシスト付き
水洗ポータブルトイレ キューレット
家具調トイレ セレクトR 自動ラップ



問合せ先

東京都港区西新橋2-8-6 住友不動産日比谷ビル8F
TEL:03-6891-6053 E-Mail:takuya_sakaguchi@aronkasei.co.jp

出展機器

9

株式会社アイン

ナノミストベッドタイプ



問合せ先

大阪府大阪市浪速区日本橋東1-12-18
TEL:06-6648-7222 E-Mail:info@eins-1.jp

10

新東工業株式会社

Aiserv®排泄検知システム



問合せ先

愛知県豊川市穂ノ原3-1
TEL:0533-95-4020 E-Mail:info-aiserv@sinto.co.jp

11

株式会社リリアム大塚

排尿タイミング予測支援デバイス
「リリアムスポット 2」



問合せ先

神奈川県相模原市中央区中央1-1-1 シブラルタ生命相模原ビル3階
TEL:042-707-4258 E-Mail:Lilium-inq@otsuka.jp

12

株式会社ツカモトコーポレーション

AlgoSleep介護用見守りセンサー



問合せ先

東京都中央区日本橋本町1-6-5
TEL:03-3279-6847 E-Mail:t-kobayashi@tsukamoto.co.jp

13

エコナビスタ株式会社

ライフリズムナビ®+Dr



問合せ先

東京都千代田区紀尾井町3-1 KKDビル6F
TEL:03-6206-9207 E-Mail:d.kidoka@econavista.com

14

富士通株式会社

ミリ波装置による見守りサービス



問合せ先

神奈川県川崎市幸区大宮町1-5JR川崎タワー
TEL:080-854-2745 E-Mail:yoshikawa.masat@fujitsu.com

15

株式会社サイチ

みまもり花子PLEN Cube



問合せ先

愛知県西尾市中畑町宮西34-1
TEL:0563-59-5252 E-Mail:anshin@saichi.jp

16

株式会社ARASoftware

eye-Box smart R



問合せ先

北海道北見市東三輪4丁目16-10
TEL:080-3293-0402 E-Mail:ceo-murai@arasoftware.com

出展機器

17

株式会社ZIPCARE

まもる～のHOME (在宅向け)
まもる～のStation (施設向け)



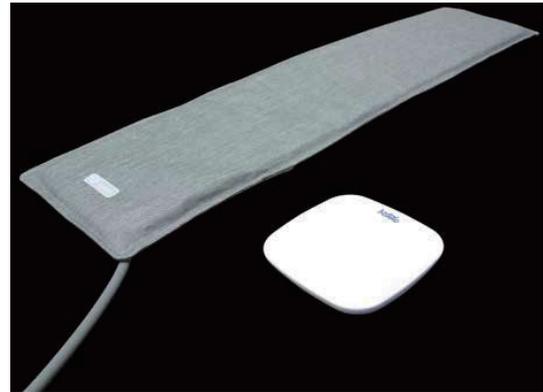
問合せ先

東京都千代田区神田佐久間町4-16パルク2ビル3F
TEL:03-5817-8767 E-Mail:info@zipcare.co.jp

18

株式会社TAOS研究所

見守りセンサAiSleep



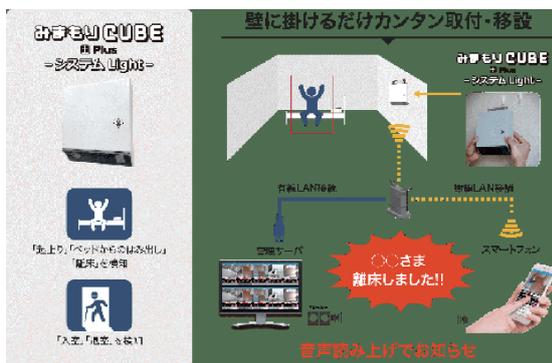
問合せ先

神奈川県横浜市港北区新横浜2-2-15パレアナビル8F
TEL:045-620-7647 E-Mail:info@itaos.org

19

株式会社ラムロック

みまもりCUBE Plus -システムLight-



問合せ先

福岡県飯塚市勢田1950-1
TEL:0948-92-3156 E-Mail:shishidou@ramrock.co.jp

20

エイアイビューライフ株式会社

自立支援型 介護見守りシステム
A.I.Viewlife 生体センサー連動版



問合せ先

東京都千代田区隼町2-13 US半蔵門ビル201
TEL:03-6261-6327 E-Mail:support@aiview.life

21 積水化学工業株式会社

見守りセンサー ANSiEL (アンシエル)



問合せ先

東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー21F
TEL:03-6748-6525 E-Mail:ansiel@sekisui.com

22 Vayyar Imaging Japan

Vayyar Care (バヤーケア)

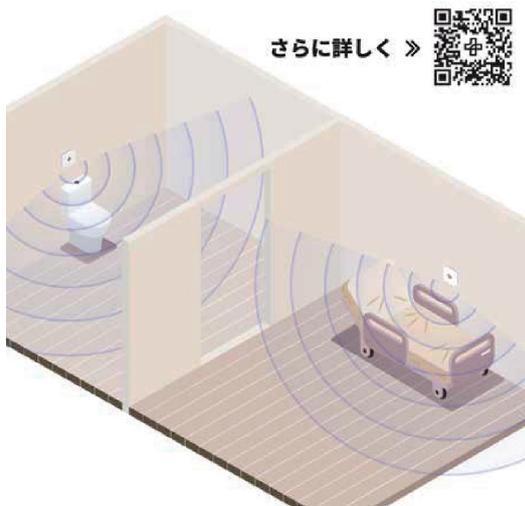


問合せ先

東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー7F
TEL:03-6894-2365 E-Mail:shigeki.takeda@vayyar.com

23 Tellus you care,Inc.

Tellus 生活リズムセンサー

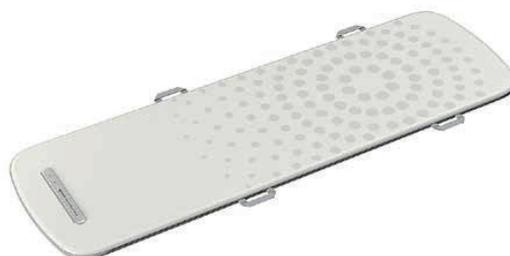


問合せ先

東京都渋谷区道玄坂1-9-4 ODAビルディング3F 株式会社スパイラルアンドカンパニー内
TEL:090-9969-4217 E-Mail:sales@tellusyoucare.com

24 パラマウントベッド株式会社

見守り支援システム 眠りSCAN



問合せ先

東京都江東区東砂2-14-5
TEL:080-2563-1301 E-Mail:t.iwata@paramount.co.jp

出展機器

25 株式会社ソルクシーズ

見守り支援システム「いまイルモ」



問合せ先

東京都港区海岸3-9-15 LOOP-Xビル5F
TEL:03-6722-5019 E-Mail:tkameyama@solxyz.co.jp

26 ミネベアミツミ株式会社

リコーみまもりベッドセンサーシステム



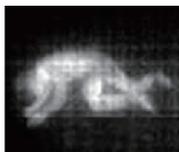
問合せ先

東京都港区三田3-5-27住友不動産三田ツインビル西館11階
TEL:03-6758-6272 E-Mail:ytanaka.mt@minebeamitsumi.com

27 三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

AI x 見守りサービス
kizkia-Knight (きづきあ-ないと)

赤外線センサーを壁に設置



シルエット映像

スマホで見守り



kizkia-Knight きづきあ-ないと

問合せ先

東京都港区芝浦4-13-23
TEL:03-5445-7306 E-Mail:kizkia_sales@mdis.co.jp

28 アイホン株式会社

見守りカメラ(Vi-nurseシステム)



問合せ先

名古屋市中区新栄町1-1 明治安田生命名古屋ビル10階
TEL:080-1603-2280 E-Mail:masayuki_ueda@aiphone.co.jp

29

アイコム株式会社

IIP200H(モバイルIP フォン インカム)
IP100H(無線LAN インカム)



問合せ先

東京都江東区木場2-17-16ビサイド木場5F
TEL:03-6240-3538 E-Mail:Ryosuke_imanaka@icom.co.jp

30

株式会社帝健

腰部負担計測用スマートデバイス



問合せ先

大阪市北区中之島3丁目2番4号 中之島フェスティバルタワーウエスト31階
TEL:06-6233-3565 E-Mail:wada-k@tejjin-frontier.com

31

三菱総研DCS株式会社

Link & Robo forウェルネス



※ソフトバンクロボティクス的小型二足歩行ロボット[NAO]を活用し、三菱総研DCSにて独自にサービス提供をしています ※[NAO]はソフトバンクロボティクスの商標です

問合せ先

東京都品川区東品川四丁目12-2
E-Mail:robocomm@dcs.co.jp

32

株式会社チカク

オンライン面会用テレビ電話



問合せ先

東京都渋谷区東2-14-7
TEL:03-6712-6886 E-Mail:biz@chikaku.co.jp

出展機器

33 株式会社PRIDIST

Time Tapper



問合せ先

神奈川県平塚市宝町11-1 平塚フジビル3F
TEL: 0463-23-7830 E-Mail: information@pridist.com

34 株式会社日立情報通信エンジニアリング

日立データコレクションIC2000
-介護施設向けケア支援ソリューション-



問合せ先

神奈川県横浜市西区みなとみらい2丁目3番3号クイーンズタワーB棟22階
TEL: 090-9242-8635 E-Mail: haruka.akimoto.pj@hitachi.com

35 株式会社メディカルスイッチ

見守り機能付き服薬支援ロボット
「FUKU助」

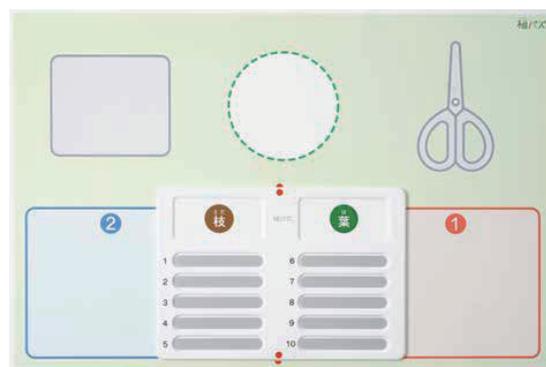


問合せ先

東京都大田区西糀谷4-26-6 糀谷岡野ビル502
TEL: 03-6883-3360 E-Mail: info@medical-switch.com

36 株式会社アトリエPOSY

植パズシート、set upボード



問合せ先

千葉県千葉市中央区亥鼻2-3-11
TEL: 043-221-6854 E-Mail: info@posy.jp

事務局

公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・松本・根石
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
電話番号 03(3266)6883 FAX 03(3266)6885

企業向け

令和3年度
福祉用具・介護ロボット実用化支援事業

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、
「試作機器へのアドバイス支援事業」、
「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

募集要項

令和3年6月24日

公益財団法人テクノエイド協会

本事業は、当協会が厚生労働省から受託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」の一環として行う事業です。従って、予定する件数や予算に到達しだい受付終了となりますので、予めご了承ください。詳しくは、当協会までお尋ねください。

本事業で使用する様式は、当協会のホームページ（<http://www.techno-aids.or.jp/>）からダウンロードしてください。

目 次

1. 目的、事業の概要	1
2. 事業内容	3
A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集	3
(1) 募集対象者	3
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	3
(3) 実施内容等	3
B. 「試作機器へのアドバイス支援事業」の募集	5
(1) 募集対象者	5
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	5
(3) 実施内容等	5
C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集	7
(1) 募集対象者	7
(2) 募集の対象となる介護ロボット等	7
(3) 実施内容	7
(4) モニター調査の枠組み	8
(5) 応募書類と方法	10
(6) 募集期間	10
(7) 採否の決定等	10
(8) モニター調査の流れ	10
3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）	12
4. 様式（企業向けの様式）	14
様式A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）	14
様式B（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書）	15
様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）	17
様式D（介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書）	18
様式E（介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書）	21
5. 参考資料（介護施設等向けの様式）	22
様式1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）	22
様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）	24
様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業）	25
様式4（介護ロボット等モニター調査 実施希望書）	26
様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）	28
様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）	30
公益財団法人テクノエイド協会の概要	31

「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」及び、 「試作機器へのアドバイス支援事業」、 「介護ロボット等モニター調査事業」の実施について

～ 募集要項 ～

福祉用具・介護ロボット実用化支援事業



背景

急激な高齢化の進展にともない、要介護高齢者の増加、介護期間の長期化など、介護ニーズは益々増大する一方、核家族化の進行や、介護する家族の高齢化など、要介護高齢者を支えてきた家族をめぐる状況も変化している。

また、介護分野においては、介護従事者の腰痛問題等が指摘されており、人材確保を図る上では、働きやすい職場環境を構築していくことが重要である。

このような中で、日本の高度な水準のロボット技術を活用し、高齢者の自立支援や介護従事者の負担軽減が期待されている。

現状・課題

【介護現場からの意見】

- ・どのような機器があるのか分からない
- ・介護場面において実際に役立つ機器がない・役立て方がわからない
- ・事故について不安がある

ミスマッチ!!

【開発側からの意見】

- ・介護現場のニーズがよく分からない
- ・実証試験に協力してくれるところが見つからない
- ・介護現場においては、機器を活用した介護に否定的なイメージがある
- ・介護ロボットを開発したけれど、使ってもらえない

マッチング支援

介護現場のニーズに適した実用性の高い介護ロボットの開発が促進されるよう、開発の早い段階から現場のニーズの伝達や試作機器について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの実用化を促す環境を整備する。

資料：厚生労働省

1. 目的、事業の概要

当協会では、厚生労働省の委託を受けて「福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式」を実施しています。

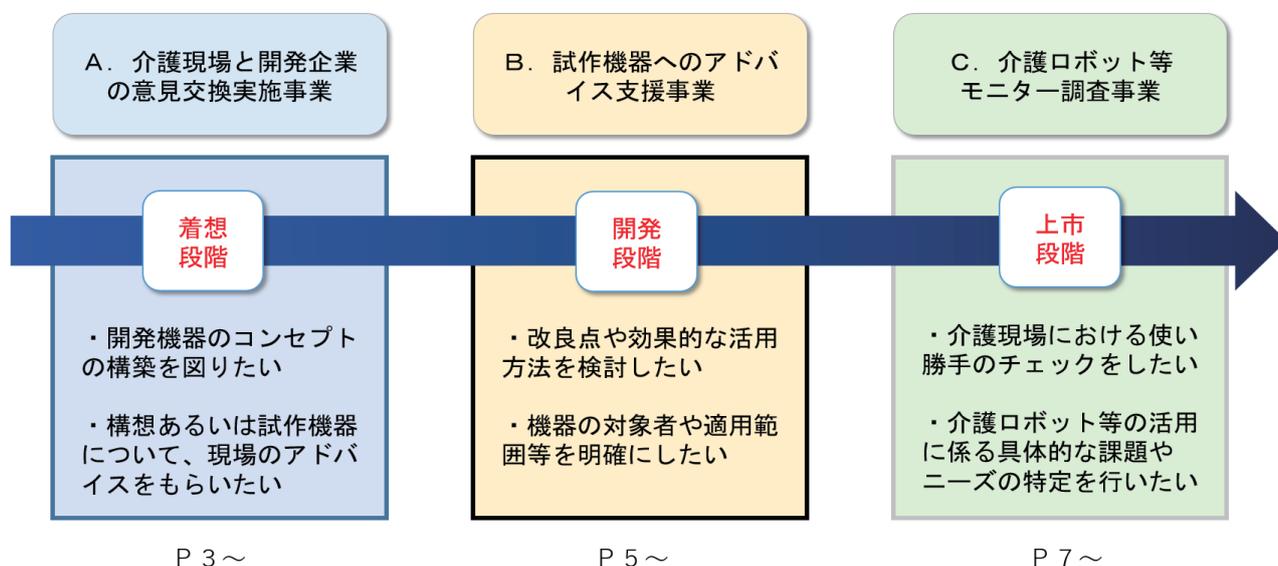
本事業は、高齢者介護の現場において、真に必要とされる「福祉用具・介護ロボット（以下「介護ロボット等」。）」の実用化を促す環境を整備し、企業による製品化を促進することを通じて、要介護者の自立支援や介護者の負担軽減を図ることを目的とした事業です。

この度、本事業の一環として、使用する側の「ニーズ」と開発する側の「シーズ」をマッチングする取り組みとして、次頁以降に記載する3事業を行うことと致しました。

それぞれの事業の趣旨を踏まえ、いずれか（あるいは複数）の事業を希望される企業の方は、本書記載の内容に沿って応募してください。

なお、本事業は、予算の範囲で実施するものであり、予定の件数に到達しだい受付終了となりますので予めご了承ください。

3 事業の概要
(開発段階に応じた事業メニュー)



※開発（検討）中の機器がどの段階にあるか不明な場合は、当協会までご相談ください。

開発段階に応じた事業メニュー		開発段階	試作機	実施期間
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	コンセプト段階 開発中（試作段階）		1～2日間
B	試作機器へのアドバイス支援事業	開発中もしくは上市間もない（1年以内）	必須	1週間～1ヶ月程度
C	介護ロボット等モニター調査事業	開発中もしくは上市間もない（1年以内）	必須	1ヶ月～6ヶ月程度

(事業で使用する様式)

事業メニュー		依頼書 様式A	依頼概要書 様式B	要望書 様式C	計画概要書 様式D	事業報告書 様式E
A	介護現場と開発企業の意見交換実施事業	○	○			
B	試作機器へのアドバイス支援事業	○	○			
C	介護ロボット等モニター調査事業			○	○	○
本書の掲載頁 →		P 1 4	P 1 5	P 1 7	P 1 8	P 2 1

※Cの事業には、応募期限があります。（P 1 0）

※各様式は、当協会ホームページからダウンロードできます。

2. 事業内容

A. 「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」の募集

開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）の介護ロボット等について、介護施設等での自由な意見交換を行い、当該機器の課題や改良点及び、効果的な活用方法等についての話し合いを行います。

（1）募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発コンセプトの段階（実機不要）や開発中（試作段階）にある介護ロボット等のメーカー
- 介護現場等での意見交換を通じて、開発機器のコンセプトの構築を図りたいメーカー
- 構想あるいは試作機器について、現場のアドバイスをもらいたいメーカー

（2）募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとします。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- ▶ 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- ▶ 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- ▶ 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ▶ ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- ▶ 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- ▶ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和3年6月28日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和3年7月～（※実施期間：1日～2日程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・介護職員等との意見交換：アドバイス協力費として、5万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式A 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書 …………… P 1 4

様式B 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書 …… P 1 5

●提出部数

正本1部、電子媒体1枚（電子メール又はCD）

●提出方法

郵送又は持参、電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<http://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式1 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書 …………… P 2 2

様式2 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書 …………… P 2 4

様式3 介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業
請求書 …… P 2 5

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることと致しません。

B. 「試作機器へのアドバイス支援事業」の募集

開発中にある介護ロボット等又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、福祉用具や高齢者に係わる専門職等が試用等を行い、専門的なアドバイスを行うことにより、適用対象者の想定を行うとともに、真に必要とされる機能や性能の検討を行い、もって使用場面のニーズを的確に捉えた機器開発を促します。※高齢者に実際に使用することはありません。

（1）募集対象者

以下に掲げる企業を対象とします。

- 開発中又は、上市して間もない（1年以内）介護ロボット等があり、改良点や効果的な活用方法を検討したいメーカー
- 機器の対象者や適用範囲等を明確にしたいメーカー

（2）募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとします。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①カセンサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容等

①募集件数（先着順）

20件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

令和3年6月28日（月）以降、先着順とします。応募内容が本事業の趣旨に合致するものか、当協会にて審査のうえ採否を決定します。不明瞭な記載や内容に不備がある場合、また本事業の趣旨に反する案件等については、受付しない場合もあります。

②実施時期

令和3年7月～（※実施期間：1週間～1ヶ月程度 協力施設等と要相談）

③費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・試作機器へのアドバイス支援：アドバイス協力費として、8万円

④企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

注）既縁の介護施設等が有る場合であっても登録が必要になります。

⑤応募の書類と方法について

●提出書類

様式 A 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書 …………… P 1 4

様式 B 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書 …… P 1 5

●提出部数

正本 1 部、電子媒体 1 枚（電子メール又は CD）

●提出方法

郵送又は持参、電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限

先着順（受付可能な機器や時期、内容等については、当協会までお尋ねください。）

上記の様式は、当協会のホームページからダウンロードしてください。

当協会ホームページ：<http://www.techno-aids.or.jp/>

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式 1 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書 …………… P 2 2

様式 2 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書 …………… P 2 4

様式 3 介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業
請求書 …… P 2 5

※様式 1 及び 2、3 は、「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」と同様の様式です。

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることと致しません。

C. 「介護ロボット等モニター調査事業」の募集

開発中又は上市して間もない（1年以内）介護ロボット等について、介護現場における使い勝手のチェックや介護ロボット等活用に係る具体的な課題やニーズの特定等を行い、もって企業が当該機器を開発又は改良する上で有用となる情報を収集するためのモニター調査を行うこととします。

モニター調査と合わせて、実証試験を行うことも可能です。

（1）募集対象者

以下の2つの条件を満たす必要があります。

- ① 本モニター調査は、後述する（4）に示す枠組みに即したモニター調査を行う企業等が対象となります。
- ② 効果的なモニター調査を推進する観点から、専門職等による助言・指導及び協力施設等とのマッチングを希望する企業等が対象となります。

（2）募集の対象となる介護ロボット等

以下の2要件をいずれも満たすものとします。

◆目的要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- 心身の機能が低下した高齢者の日常生活上の便宜を図る機器
- 高齢者の機能訓練あるいは機能低下予防のための機器
- 高齢者の介護負担の軽減のための機器
- 介護職員の間接業務を軽減するための機器

◆技術要件（以下のいずれかの要件を満たす機器であること。）

- ロボット技術（※）を適用して、従来の機器ではできなかった優位性を発揮する機器
（※）①力センサーやビジョンセンサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う
- 技術革新やメーカー等の製品開発努力等により、新たに開発されるもので、従来の機器では実現できなかった機能を有する機器
- 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・標準化事業」や「ロボット介護機器開発等推進事業（開発補助）」において採択された機器

（3）実施内容

①実施期間

採択決定後～令和4年1月末

※モニター調査の期間は、内容や規模を考慮し協力施設等を相談して決定すること。

②採択件数

15件程度（複数の介護施設で行うことも可能）

③モニター調査の期間

1ヶ月～6ヶ月程度（協力施設等と要相談）

④費用の交付

応募企業に対する費用の交付はありませんが、ご協力いただく介護施設等に対して下記の金額を当協会から交付します。

- ・モニター調査協力費として、15万円

⑤企業と介護施設等のマッチング

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。但し、15件に到達した時点でマッチングは終了となります。

⑥モニター調査実施にあたっての留意

- ・ モニター調査を希望する企業とモニター調査に協力していただける介護施設等とのマッチングを一つの目的としております。
- ・ 申請に当たって、実施するモニター調査の内容の一部を登録施設等へ情報提供するとともに、当協会のホームページから情報提供することに同意いただくことになります。
- ・ 適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成及び実施にあたって、当協会が設置するモニター調査検討委員会から指導・助言を行います。
- ・ モニター調査は、利用者の同意を得て実施することとし、また、実証試験を行う際には、倫理審査の実施が必須となります。

(4) モニター調査の枠組み

本モニター調査は、下記にまとめた観点の①～⑤に基づいて実施していただきます。

応募に際して、機器開発の状況、今回のモニター調査で把握したい事項などについて、この枠組みに即して記載してください。

なお、①～⑤の全てを行う必要はありません。調査したい項目を選択してください。

モニター調査項目の基本的な考え方と指標の例

①利用対象者の適用範囲

開発の狙いと想定する身体機能レベルの整合性について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	要介護度、ベッド利用時の状態・時間・転落の危険性の有無、姿勢保持レベル、コミュニケーション能力、歩行・移動の自立度、排泄の自立度
調査結果の活用	利用者の適用範囲について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。

②利用環境の条件

機器利用環境の条件について、複数の被験者の評価結果等から整理する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標	利用時に必要となる空間（広さ）、設備、介助者の条件
調査結果の活用	利用環境について条件を整理し、その条件でのモニター調査を経ても支

	障がなかったかを確認する。支障が生じた場合には、その原因と支障が及ぶ範囲を把握し、その結果をもとに適用範囲を修正する。
--	---

③機器の利用効果

機器開発の狙いに即して、調査すべき項目・指標を設定する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認、定点観測
指標設定方法	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの研究開発の蓄積から、独自に設定。 ・学識経験者、類似開発経験者等有識者の指導・協力を得て設定。 ・モニター調査協力施設との意見交換により設定。等
指標	<p>① 被介護者 要介護度、ADL、IADL (FIM 指標)、LSA (Life Space Assessment)、日常生活時間、QOL (sf-36、QOL26 等)</p> <p>② 介護者 腰痛等の有無、介護負担指標 (Zarit 介護負担尺度、BIC-11 等)、ストレス指標、生体情報 (筋電図、心電図、運動解析情報)</p> <p>③ 介護サービス提供全体の流れ プロセス全体の時間、人員構成、職務タイムスタディ法</p>
調査結果の活用	提案するロボットを活用することにより、各指標がどの程度改善したかを確認する。改善が見られない場合は、その原因を把握し、ロボットの改良につなげる。

④機器の導入・活用可能性

開発するロボットの操作可能性 (介護職員等が取扱うことができる技術であるか)、想定される導入コスト、導入した場合の利用者満足度を調査する。

調査手法	観察法、インタビュー法、質問紙法、日々の利用状況が確認できる日誌等の確認
指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ QUEST (満足度評価) ・ VAS (Visual Analogue Scale) ・ SUS (System Usability Scale)
調査結果の活用	開発するロボットが、介護現場にとって導入・活用が可能なものか確認し、導入・活用が困難な場合は搭載する技術の見直し等を行う。

⑤介護現場での利用継続性

上記①～④の調査を踏まえた上で、モニター調査に協力した施設等で継続して利用したいと思うか調査する。

調査手法	インタビュー法、質問紙法等
調査内容	利用継続性の有無について、その理由も聴取
調査結果の活用	理由に基づき、今後の改良・修正箇所の確認、新商品の開発につなげる。

(5) 応募書類と方法

●提出資料

様式C 介護ロボット等モニター調査事業 要望書 …… P17

様式D 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書 …… P18

●提出部数

正本1部、コピー1部、電子媒体1枚（電子メール又はCD）

●提出方法

郵送又は持参、電子メール（FAXによる提出は不可。）

●提出期限 令和3年7月28日(水) 12時

(6) 募集期間

令和3年6月28日(月)～7月28日(水)

※) 募集期間に予定の件数及び予算に満たない場合には追加募集します。詳しくは当協会にお尋ねください。

(7) 採否の決定等

当協会による書面審査及び当協会が設置するモニター調査検討委員会の意見を踏まえて、最終的に当協会が決定します。

採否については、決定しだい応募された方へ通知いたします。

但し、介護施設等とのマッチング件数は、15件程度となります。15件に到達した時点で受付は終了となります。従って、採択されてもモニター調査先を選定することができない場合もあり得ることを予めご了承ください。

本事業に採択された企業におかれましては、2月に開催するモニター調査検討委員会において成果報告のプレゼンテーションを行っていただきます。

(8) モニター調査の流れ

★7月28日(水) 12時厳守

(様式C) 介護ロボット等モニター調査事業 要望書及び、

(様式D) 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書の提出期限

→ 協会にて書面審査を行います。

本事業は、企業に対する費用の交付はございませんが、介護施設等に対してモニター調査協力を当協会から予算の範囲内で交付します。従って、事務処理の都合上、一定程度の募集期間を設けておりますが、期間内で既定の応募件数を満たない場合には、追加募集することといたします。詳しくは、協会まで問い合わせてください。

→ 書面審査の結果を踏まえて、次のステップへ進みます。

★8月上旬～

① → **試作機器等の事前検証**の実施

書面審査の結果をクリアした案件については、原則として、当協会が設置する「モニター調査検討委員会」において、試作機器等の事前検証を行います。

事前検証は、当協会が指定した開催日に会場（東京都内を予定）までお越しいただき、当該機器の対象及び有用性、さらには想定するモニター調査の内容等について説明していただきます。

なお、事前検証に伴う旅費等の費用は応募者の負担となります。

また、新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

② → 委員会による審議を踏まえて、**採択企業を決定**

委員会審議の結果を送付します。

なお、委員会による審議の結果、モニター調査としては不採択であっても、当協会から「介護現場と開発企業の意見交換実施事業」「試作機器へのアドバイス支援事業」の実施へ誘導する場合があります。

③ → 採択後の**モニター調査の計画作成に係わる助言・指導**

適切かつ効果的なモニター調査を推進する観点から、モニター調査の計画作成にあたって、当協会の設置するモニター調査検討委員会等から、助言・指導を得ることができます。

④ → モニター調査を実施する**介護施設等とのマッチング**

協力いただく介護施設等は、原則として、当協会が募集している「福祉用具・介護ロボットの開発・実証フィールド（介護施設等）」の中から選定していただくことになります。

15件の採択件数に到達した時点で受付終了となります。

次のステップへ進みます。



★8月下旬～令和4年1月末

→ 介護施設等において、**介護ロボット等モニター調査**の実施

→ モニター調査終了後、「事業報告書（様式E）」を提出していただきます。

必要に応じて協会職員が同行し、また適切なモニター調査が行われるよう、状況に応じて当該機器に適した専門家等を派遣します。

当協会では、製品の安全性やモニター調査にあたって生じた事故等の責任を負いません。必要に応じて保険をかけるなどし、十分注意して調査を行ってください。

★令和4年3月上旬

→ モニター調査検討委員会において、**成果報告のプレゼンテーション**の実施

モニター調査結果を踏まえて、プレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーション資料のご用意をお願いします。開催日はおってお知らせします。

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、モニター調査検討委員会の開催をオンライン会議とする場合もあり得ます。この場合には事務局の指示に従ってください。

～ 以下は、協力いただく介護施設等の関係書類です。参考として掲載しています。 ～

様式4	介護ロボット等モニター調査	実施希望書	……	P 26
様式5	介護ロボット等モニター調査	結果報告書	……	P 28
様式6	モニター調査事業・協力施設	請求書	……	P 30

新型コロナウイルス等感染症予防の対策について！

新型コロナウイルス等感染症予防の観点から、介護施設等への来所が制限されたり、禁止される場合も想定されます。事業実施は、原則、介護施設等の意向に従うこととし、オンライン会議で実施の打合せを行う場合もあり得ます。

なお、オンライン会議での実施になった場合においても、原則、当協会が間に入ることと致します。

3. 本事業に関する問い合わせ先（事務局）

公益財団法人テクノエイド協会 企画部（谷田・松本・根石（ねいし））
〒162-0823
東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
TEL 03（3266）6883
[電子メール monitor@techno-aids.or.jp](mailto:monitor@techno-aids.or.jp)

メモ

日付	問い合わせ内容	結果・対応

4. 様式（企業向けの様式）

様式 A（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

（依頼者）

〒
住所

事業者名
担当者所属
担当者名
電話番号
電子メールアドレス

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う、介護ロボット等に係る「**介護現場と開発企業の意見交換実施事業**」又は「**試作機器へのアドバイス支援事業**」について、下記の書類を提出して依頼します。

記

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 依頼概要書

1. 希望する事業の種類（いずれかに○印を記入してください。）

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	

2. 依頼者（企業）の概要

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他		

3. 当該機器の開発コンセプト又は試作機器等の概要（可能な限り詳しく記入してください。）

機器の名称（仮称）		
試作機器の有無及び機器のコンセプト（試作機器あれば写真を添付）	試作機器の有無	1. 有 ・ 2. 無
	機器の目的及び特徴	

<p>想定する使用者及び使用方法、使用場面</p>	<p>①想定する使用者</p> <p>②想定する使用場面</p> <p>③想定する使用方法</p>
<p>現在の開発状況と主な課題</p>	
<p>特にアドバイス（意見交換）を希望している事項</p>	
<p>その他</p>	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式C（介護ロボット等モニター調査事業 要望書）

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会 殿

(要望者)

〒

住所

事業者名

担当者所属

担当者名

電話番号

電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 要望書

貴法人が福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行う「介護ロボット等モニター調査事業」について、下記の書類を添付して要望します。

記

1. 介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書
2. 会社概要（任意様式）
3. これまでの介護ロボット等に関わる開発実績がわかる書類（任意様式）
※）実績がない場合は、提出不要

（本書類の取扱いと留意事項について）

- ご提出いただく「介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書」は、介護施設等とマッチングする際、当協会のホームページを通じて、介護施設等へ公開いたします。
従って、記載する内容は、公開可能な範囲で差し支えありませんが、具体的な記載がない場合には、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご了承ください。
- 適切なお協力がいただける介護施設等とマッチングするためにも、記載内容は技術的な事に偏らず理解しやすいものとしてください。
- 当協会では記載内容や本事業に関わる各種の相談を承っております。
- 案件によっては、マッチング先が現れない場合もあり得ることをご留意ください。

介護ロボット等モニター調査事業 計画概要書

1. 申請者（企業）の概要等

企業名		
担当者名		
担当者連絡先	住所	〒
	電話	
	電子メールアドレス	
主たる業種		
主要な製品		
希望する施設等の種類や職種等 希望施設に☑を入れてください 複数選択可	<input type="checkbox"/> 介護老人福祉施設：特別養護老人ホーム <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設：老人保健施設、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護：グループホーム <input type="checkbox"/> 特定施設入居者生活介護：有料老人ホーム、軽費老人ホーム、養護老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅、地域密着型特定施設入所者生活介護 <input type="checkbox"/> 居宅介護サービス：訪問介護、看護、デイサービス、リハ、福祉用具貸与サービス事業者、小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 等 <input type="checkbox"/> ショートステイ <input type="checkbox"/> 障害者福祉施設 <input type="checkbox"/> 医療機関：介護療養型、介護医療院、病院、リハビリテーションセンター 等 <input type="checkbox"/> その他：（ ）	
その他の希望		

2. 申請機器の概要（可能な限り詳しくご記入ください。）

機器の名称（仮称）	
機器の概要 (写真を添付すること)	<u>想定する使用者、使用場面</u>
	<u>機能と使用方法、有用性</u>
	<u>類似する機器との相違</u>
	<u>当該機器と介護業務との関連性</u>

現在の開発状況と課題	<u>機器に関するリスクアセスメント</u> （性能安全と利用安全の確保対策） ※アセスメント結果を添付して下さい。
	<u>社内や社外モニター調査の実績</u> ※実績ありの場合は、その結果を添付して下さい。
	<u>開発に関する当面の課題</u>

3. モニター調査の概要

1. 調査のねらい	
2. 調査概要	1) 調査対象： 2) 調査したい場面、場所： 3) 調査期間（日数）： 4) 機器の台数：

4. モニター調査の実施手法（協力施設等へお願いしたい内容）

※本書のP8～9を参考にモニター調査の具体的な実施方法を記載してください。

注）5つの項目全てを行う必要はありません。（実施しない項目は「特になし」としてください。）

※モニター調査検討委員会等の審議により採択された場合には、当協会及び専門家によるアドバイスをを行います。

1. 利用対象者の適用範囲に関すること	【調査手法】 <input type="checkbox"/> 観察法 <input type="checkbox"/> インタビュー法 <input type="checkbox"/> 質問紙法 <input type="checkbox"/> その他： 【想定する調査方法】
---------------------	---

2. 利用環境の条件 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
3. 機器の利用効果 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
4. 機器の使い勝手 に関すること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
5. 介護現場での利 用の継続性に関す ること	<p>【調査手法】 <input type="checkbox"/>観察法 <input type="checkbox"/>インタビュー法 <input type="checkbox"/>質問紙法 <input type="checkbox"/>その他：</p> <p>【想定する調査方法】</p>
6. その他	

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式 E (介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書)

令和 年 月 日

公益財団法人テクノエイド協会理事長 殿

事業者名
 担当者所属
 担当者名
 電話番号
 電子メールアドレス

介護ロボット等モニター調査事業 事業報告書

標記について、下記のとおり報告します。

案件番号		
機器の名称 (仮称)		
モニター調査の実施体制		
実施経過	実施時期	主な実施内容
	年 月	
	年 月	
	年 月	
実施結果 (計画概要書に沿って記入してください)		
市場投入に向けて有用となった事項		
モニター調査後の協力施設との関係		
本事業に対する要望等		

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

5. 参考資料（介護施設等向けの様式）

様式 1（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施希望書

1. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	<input type="checkbox"/>
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	<input type="checkbox"/>

※上記「2」を選択した場合には、案件に応じて、Ns、PT、OT、ST等がアドバイスを行うメンバーに入る必要があります。在籍していない場合には、当協会にご相談ください。

2. 希望する案件・機器の名称

案件番号	
企業名	
機器の名称（仮称）	

3. 実施体制

実施機関名			
実施責任者名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わる者 （アドバイス等に 係わる全ての方を 記載してください。）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
福祉用具の開発に関与した実績等（あれば記載してください）			

その他	
-----	--

4. 実施機関の概況

介護業務における 現状の課題	
当案件を希望する 理由	

5. アドバイス支援等の具体的な実施方法

実施方法	
------	--

(注) 本事業では、介護職員等の専門職が試用する事業であり、実際の高齢者が試用するものではありません。

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式2（介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書）

令和 年 月 日

介護現場と開発企業の意見交換実施事業等 実施報告書

1. 実施体制

実施機関名			
実施責任者			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の職種と 日常業務			
アドバイス（意見交換）に係わった担当者 （アドバイス等に 係わった全ての方 を記載してください。）	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年

2. 実施結果

案件番号		機器の名称	
企業名			
アドバイス（意見交換） の実施経過	実施日	実施方法等	
使用者の適応範囲に関する留意点、課題			
使用時の利用環境に関する留意点、課題			
期待する効果を発揮するための課題及びその対応策			
使い勝手に関する課題及びその対応策			
特にアドバイス（意見交換）してほしい事柄に対する結果			
その他			

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式3（請求書：介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業）

請 求 書

金 _____ 円

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護現場と開発企業の意見交換実施事業／試作機器へのアドバイス支援事業」について、上記のとおり請求します。
 なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金 融 機 関 名	銀行	支店
預 貯 金 種 別		
口 座 番 号		
(フリガナ) 口 座 名		

2. 事業の種類 ※いずれか一つに○印をつけてください。

1. 介護現場と開発企業の意見交換実施事業	
2. 試作機器へのアドバイス支援事業	

3. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 ____ 年 ____ 月 ____ 日

公益財団法人 テクノエイド協会
 理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
 住所 〒

事業者名

代表者

印

様式4 (介護ロボット等モニター調査 実施希望書)

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 実施希望書

1. 希望するモニター調査事業

案件番号		機器の名称	
企業名			

2. 実施体制

実施機関名			
実施責任者氏名			
主担当者名			
主担当者連絡先	住所	〒	
	電話		
	電子メールアドレス		
主担当者の職種と 日常業務			
モニター調査に係 わる者 (モニター調査に 係わる全ての方を 記載してください。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年
モニター調査実施 可能な期間			
福祉用具の開発に 関与した実績等(あ れば記載してくだ さい)			
今回、モニター調査 を希望する施設と してのねらい			

3. メーカーがモニター調査したい内容に対する対応予定

項目	対応予定

4. 当該機器に対して、介護施設等の側からモニターしたい内容等

項目	モニターしたい内容

(注) 必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式5（介護ロボット等モニター調査 結果報告書）

令和 年 月 日

介護ロボット等モニター調査 結果報告書

1. 実施体制

実施機関名			
主担当者名			
連絡先	電話		メールアドレス
主担当者の資格と 日常業務			
モニター調査に係 わった担当者 (モニター調査に 係わった全ての方 を記載してくださ い。)	氏名	所属	資格及び業務経験等、経験年数
			年
			年
			年
			年

2. 実施状況

案件番号		機器の名称	
企業名			
実施期間	月 日 ~ 月 日		
調査対象とした介護サ ービスの種類・内容			
機器を利用した介護サ ービス場面			
機器を利用した対象者 の状態像、人数			
モニター調査結果の収 集と記録の方法			
応募時と異なったこと 想定していなかったこ と等			
その他			

3. モニター調査結果

利用対象者の適用範囲 （特に留意すべき点など）	
利用環境の条件 （特に留意すべき点など）	
機器の利用効果 （機器の特性に即してあてはまる項目について記入すること。）	<u>介護を受ける側への効果</u> （本人のADLやQOLの維持・向上、精神的負担の軽減等）
	<u>介護する側への効果</u>
	<u>介護業務の過程における効果</u> （安全な介護の実施や効率的な介護の実現等）
	<u>その他</u>
使い勝手や操作機能性	
改良の希望とその理由	
その他	

（注）必要に応じて記載欄を増やしてください。

様式6（請求書：介護ロボット等モニター調査）

請 求 書

金 150,000円

令和3年度 福祉用具・介護ロボット実用化支援等一式の一環として行った「介護ロボット等モニター調査」について、上記のとおり請求します。

なお、上記金額は次の口座にお振り込み下さい。

1. 振込先

金 融 機 関 名	銀行	支店
預 貯 金 種 別		
口 座 番 号		
(フリガナ) 口 座 名		

2. 実施機関及び案件

実施機関名	
担当者名	
案件番号	
機器の名称	
企業名	

令和 年 月 日

公益財団法人 テクノエイド協会
理事長 大橋謙策 殿

(請求者)
住所 〒

事業者名

代表者

印

公益財団法人テクノエイド協会の概要

○目的

当協会は、福祉用具に関する調査研究及び開発の推進、福祉用具情報の収集及び提供、福祉用具の臨床的評価、福祉用具関係技能者の養成並びに義肢装具士に係る試験事務等を行うことにより、福祉用具の安全かつ効果的な利用を促進し、高齢者及び障害者の福祉の増進に寄与することを目的としています。

○設立

- ・ 1987年（昭和62年）3月16日
財団法人設立許可（厚生省社第220号）
- ・ 1987年（昭和62年）4月1日
法人設立登記
- ・ 2011年（平成23年）7月1日
公益財団法人へ移行登記

○主な事業

- ・ 福祉用具・介護ロボットの開発普及に係る事業
- ・ 福祉用具の臨床評価に関する事業
- ・ 福祉用具情報の収集及び提供に関する事業
- ・ 福祉用具に関する調査研究事業
- ・ 福祉用具の規格化・標準化に関する事業
- ・ 福祉用具関係技能者の養成
- ・ 義肢装具士の国家試験
- ・ その他、福祉用具に係る事業



○所在地

〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1-1 セントラルプラザ4階
公益財団法人テクノエイド協会 企画部 谷田・松本・根石（ねいし）
TEL 03-3266-6883

福祉用具・介護ロボットの開発と普及に関する取り組み

これまでの福祉用具・介護ロボットに関する取り組み及び情報、研究報告等は、当協会のホームページに掲載しています。

本事業で必要な様式も以下からダウンロード可能となっています。

<http://www.techno-aids.or.jp/>

厚生労働省

「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」

介護ロボットの 試用貸出リスト

令和3年7月

はじめに

日本の高齢化は、世界に例を見ない速度で進行しており、生産年齢人口が減少し、介護ニーズが増大していく中、介護人材の確保は喫緊の課題であり、介護職員の負担軽減や介護現場の生産性向上を図り、さらに質の高いサービスを効率的に提供するためには、介護現場へのテクノロジーの導入が不可欠となっております。

この「介護ロボットの試用貸出リスト」は、厚生労働省が公益財団法人テクノエイド協会に委託した「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」の一環として作成したものです。

テクノエイド協会において、実用化している介護ロボットの開発企業等に対して試用貸出への参加を募り、同意を得ることができた企業及び製品名等を掲載しております。

本リストの掲載内容は、重点分野に該当する介護ロボットを基本とし、基本的には開発企業から提供された情報となっております。従って、介護ロボットの機能や性能の有効性及び、安全性を協会が保障するものではありません。

本リストは、厚生労働省が実施する介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業の相談窓口において、開発企業と試用貸出を希望する介護施設等の取次等で活用されます。

また、本リストは協会のホームページや介護ロボット地域フォーラムの協力機関などからも、広く周知されます。

これにより介護ロボットの効果的な導入と利活用を推進します。

令和3年7月

厚生労働省
(公益財団法人テクノエイド協会)

目次

はじめに

移乗支援	A-01	CYBERDYNE 株式会社	HAL [®] 腰タイプ介護・自立支援用	1
	A-02	ダイヤ工業株式会社	DARWING Hakobelude	5
	A-03	株式会社ジェイテクト	衣服型アクティブパワーアシスト スーツ J-PAS fleairy (フレアリー)	9
	A-04	株式会社加地	レイボエクソスケルトン	13
	A-05	マッスル株式会社	ROBOHELPER SASUKE	17
	A-06	株式会社FUJI	移乗サポートロボット Hug L1	21
	A-07	株式会社FUJI	移乗サポートロボット Hug T1	25
	A-08	株式会社アイザック	移乗・移動ロボット Keipu	29
	A-09	アルジョ・ジャパン株式会社	サラフレックス	33
	A-10	アルジョ・ジャパン株式会社	マキシムーブ	37
移動支援	B-01	RT.ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカー RT.1	41
	B-02	RT.ワークス株式会社	ロボットアシストウォーカー RT.2	45
排泄支援	C-01	トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社	排尿予測デバイス「DFree」	49
	C-02	株式会社リリアム大塚	リリアムスポット2	53
	C-03	株式会社アム	水洗式ポータブルトイレ「流せる ポータくん」3号洗浄便座付き	57
	C-04	株式会社キュラコジャパン	自動排泄処理装置 キュラコ	61
見守り・コミュニケーション	D-01	エコナビスタ株式会社	ライフリズムナビ [®] +Dr.	65
	D-02	エイアイビューライフ株式会社	A.I.Viewlife	69
	D-03	株式会社フジクラエンジニアリング	どこでもナースコール・見守りセンサー	73
	D-04	株式会社 Z-Works	ライブコネクト	77
	D-05	凸版印刷株式会社	SensingWave [®] 介護・睡眠見守りシステム	81
	D-06	ノーリツプレジジョン株式会社	見守りシステム Neos+Care (ネオスケア)	85
	D-07	キング通信工業株式会社	シルエット見守りセンサ	89
	D-08	新東工業株式会社	Aiserv TM 排泄検知システム	93
	D-09	株式会社メディカルプロジェクト	シッタープロ	97
	D-10	株式会社エイビス	エイビスみまもりシステム	101

見守り・コミュニケーション

D-11	積水化学工業株式会社	起上り検知センサー「ANSIEL」	105
D-12	株式会社リンクジャパン	スマートナースコール eBell（イーベル）	109
D-13	コアフューテック株式会社	e 伝之介くん	113
D-14	株式会社ツカモトコーポレーション	AlgoSleep 見守りセンター	117
D-15	株式会社 TAOS 研究所	見守りセンサ AiSleep	121
D-16	ドーンコーラス合同会社	高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん 2」	125
D-17	株式会社コンフォート	エンジェルアイ	129
D-18	加藤電機株式会社	見守りシステム SAN フラワー X ヘルシーライフ	133
D-19	三昌商事株式会社	見守りシステム“CareBird”	137
D-20	株式会社ヒート	みてるもんシリーズ V2	141
D-21	シーホネンス株式会社	ベッド内蔵型見守りセンサー 「i サポート」搭載 X シリーズ	145
D-22	フランスベッド株式会社	見守りケアシステム M2	149
D-23	株式会社ラムロック	ーみまもり CUBE ー	153
D-24	株式会社ラムロック	みまもり CUBE ーシステム Light ー	157
D-25	株式会社 アルコ・イーエックス	ペイシエントウォッチャープラス	161
D-26	株式会社エフエージェイ	おむつモニター mini	165
D-27	株式会社ソルクシーズ	見守り支援システム「いマイルモ」	169
D-28	株式会社まもるーの	まもるーの HOME	173
D-29	株式会社トレイル	うららか GPS ウォーク	177
D-30	株式会社メディカルスイッチ	見守り機能付き服薬支援ロボット 「FUKU助」	181
D-31	富士ソフト株式会社	PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ	185
D-32	株式会社レイトロン	音声認識コミュニケーション ロボット『Chapit』（チャピット）	189

入浴支援

E-01	株式会社ハイレックスコーポレーション	バスアシスト	193
------	--------------------	--------	-----

介護支援

F-01	ジーコム株式会社	ココヘルパ	197
------	----------	-------	-----

CYBERDYNE 株式会社

HAL[®] 腰タイプ介護・自立支援用

品番・型番

HAL-BB04-SSSJP

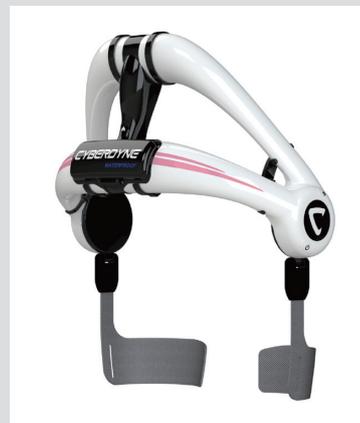


機器の概要

機器の機能

HAL[®] 腰タイプ介護・自立支援用は、介護する側と介護される側に対して、介護支援と自立支援の2つの用途で活用できる装着型サイボーグです。

介護者が装着することで、介護動作時の腰部負荷や腰痛発生リスクを低減することを目的とした「介護支援用途」と、要介護状態の方が装着することで、弱った足腰などの身体機能の向上を目的とした「自立支援用途」の2つの用途で使用いただけます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

動作環境 温度：0℃～40℃
湿度：20%～80%
※結露しないこと

防水性能：IPX4、防塵性能：IPX5
範囲内での環境

試用期間中のサポート

オンライン（zoom）や電話・メールでの運用サポート

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **CYBERDYNE 株式会社**

〒305-0818 茨城県つくば市学園南 2-2-1

TEL 029-869-8448

MAIL contact@cyberdyne.jp

所属部署

営業部門

担当者名

近藤、菊池



機器の仕様

販売開始

2019年8月

販売価格

1,760,000円(税込)

HAL[®] 腰タイプ介護・自立支援用

適用身長(目安) 140～180cm

適用体重(目安) 40～80kg

腹 囲 120cm以下

骨 盤 幅 36cm以下

外形寸法 奥行き 292mm × 幅 450mm × 高さ 522mm

重 量 3.1kg(バッテリー含む)

可動範囲 股関節：伸展 30° / 屈曲 130°

動作環境 温度：0℃～40℃ 湿度：20%～80%

※結露しないこと

防水性能：IPX4、防塵性能：IPX5



機器の使用場面

製品

メーカー名 CYBERDYNE 株式会社

製品名 HAL[®] 腰タイプ介護・自立支援用

型番 HAL-BB04-SSSJ P

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (高齢者)	適身長 (目安) 140 ~ 180cm 腹 囲 120cm 以下 適用体重 (目安) 40 ~ 80kg 骨 盤 幅 36cm 以下
	対象者 (介護者)	適身長 (目安) 140 ~ 180cm 腹 囲 120cm 以下 適用体重 (目安) 40 ~ 80kg 骨 盤 幅 36cm 以下
	専門職の関与	なし
禁止事項	禁止事項	使用環境に合わない場所での利用。次の場合は装着不可 (身体サイズが合わない方、著しい関節障害を有する方、心臓ペースメーカーなどの能動型埋め込み医療機器をご利用の方、妊娠中の女性、動作の手順や注意点などの簡単な説明をご理解いただけない方、皮膚疾患などにより、電極の貼り付けができない方 (ただし電極利用者のみ))
	注意事項	次の場合は装着に十分注意する。骨粗鬆症の方、失神やめまいの恐れのある方、ベルトによる固定部締め付けに問題のある方。
使用上の注意	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 入浴介助時のバッテリー交換等、高湿・水滴がかかる場所でのバッテリー交換は要注意。 バッテリーを交換する時は水気を十分拭き取ること。 本体のバッテリーカバーを確実に閉めること。 除細動器を使用する時は、本製品を使用者から外すこと。 磁気共鳴画像診断装置が動作している場所で保管及び使用をしないこと。 水や洗浄液などの液体を直接本製品にかけないこと。 水洗い、指定外の薬品及び溶剤による洗浄、加熱、紫外線及び放射線による殺菌は行わないこと。
	倫理面の配慮	機器使用にあたり画像撮影など、高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報を収集・活用する場合の配慮をお願いしたい (例: 同意書を取得する)
	使用方法	<p>使用手順</p> <ol style="list-style-type: none"> HAL 本体にバッテリーを取り付ける 腰部ベルトのバックルを外し、装着者の腰部に HAL を乗せる 腹部側で腰部ベルトのバックル二箇所を留める 脚部ベルトを大腿部に固定する HAL の電源を入れ、装着者に合ったアシストトルクに設定する <p>外し方</p> <ol style="list-style-type: none"> アシストを停止し、電源を停止する 脚部ベルトを外す 腰部ベルトのバックルを外す バッテリーを外す <p>自立支援用途での使用の場合は、上記手順の他に以下の手順を追加し使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 装着者の皮膚に電極シールを貼付し、専用の電極ケーブルを取り付け HAL 本体のケーブルに接続する。 使用後は電極ケーブル及び電極シールを外す。
使用方法	使用環境	動作環境 温度: 0℃ ~ 40℃ 湿度: 20% ~ 80% ※結露しないこと 防水性能: IPX4、防塵性能: IPX5 ※薬品などの液体がかかる場所、油煙・埃の多い場所は避ける
	使用場面	移乗介助、入浴介助、体位変換介助やベッドサイドでの中腰作業などの腰部負荷がかかる作業
	習熟期間	機体の取り付け方法や、ボタン操作などの基本操作は1回もしくは2~3回程度の装着で習得可能。 <身体負荷低減目的使用の場合> 装着者自身が HAL を使用する事で作業が楽に感じたり、身体負荷が低減したと感ずる事を習熟と定義した場合 1週間~1ヶ月程度 ・目安の装着時間は 10 時間から 20 時間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	転倒防止器具の併用
	介護者に対する安全面の配慮	使用上の注意に準ずる
効果	使用することで実現する高齢者への効果	HAL [®] を装着して意思に従った運動を行うことにより、身体機能の維持・向上や自立度を高めることが期待されます。コンパクトな軽量モデルのため、施設ではグループで楽しく、訪問介護ではじっくりとなど、様々な場面で気軽に活用することができます。

製品情報		
	項目	内容
効果	使用することで実現する介護者への効果	移乗介助・体位変換介助などの介助動作時の腰部負荷について医学的解剖学的観点から解析・シミュレーションし、より低減できる機能を実現。腰痛を引き起こすリスクを減らします。防水機能もあるため、負担の大きい入浴介助でもご使用いただけます。これまで通りの介護を楽に行うことができます。
	使用することで実現する施設への効果	介護する人の身体的負荷を低減することは、労働環境改善や労働災害防止につながります。また、介助なしでの立ち座り動作など、介護される人の自立度の向上は、本人はもちろん介護する人の負担も大きく軽減します。
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	バッテリー駆動
	使用場所、必要スペースなど	①使用場所：居室、浴室、トイレなど ②利用に必要なスペース等：人が入れないスペースでは使用不可
	サイズ	奥行き 292mm × 幅 450mm × 高さ 522mm
	重量（バッテリー含む）	3.1kg（バッテリー含む）
	電源・バッテリー	バッテリー駆動（1個付き） 付属の充電器にてバッテリーを充電可能。
	充電時間	90分
	連続使用時間	4.5時間
	使用時の音	ごく弱音
	緊急発報の方法	ライトおよびアラート音（詳細は取り扱い説明書に記載）
	安全性の認証取得	ISO13482 取得
	防水・防塵加工	防水性能：IPX4、防塵性能：IPX5
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	必要な通信環境	無し
	データの記録機能、有無と内容	無し
他の機器との連携・互換性	無し	
メンテナンス	準備・片付け	安全使用講習の動画参照
	保管方法	使用環境を満たしており、十分な広さのある安定した台の上に置いて保管。
	ユーザーによるお手入れ	水拭き、もしくはエチルアルコールもしくは、イソプロピル・アルコール（濃度70～90%）その他詳細は取扱説明書参照
	消耗品の有無	腰部・脚部のベルト、パッド類、生体電位ケーブル、バッテリー、充電器一式
	修理対応期間	契約期間中
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	本体価格：1,760,000円（税込）
	ランニングコスト	保守料：月額 22,000円（税込）
	教育研修費	初期導入費：110,000円（税込）
問合せ先	緊急時の問合せ先	0120-813-189
	デモ・貸出	貸出可能

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.cyberdyne.jp/products/bb04.html>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/channel/UClKuavneK77vzMcfxHXUbtA>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

ダイヤ工業株式会社

DARWING Hakobelude



機器の概要

機器の機能

DARWING Hakobelude は、ダイヤ工業独自の空気圧式の人工筋肉を用いることで持ち上げ作業をアシスト。軽量かつ柔軟性を実現したサポートウェアです。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・動作環境：温度が0度～40度
- ・使用できない環境：温度が0度～40度以外・水中・ホコリの多い場所・化学薬品で腐食しやすい場所等

試用期間中のサポート

WEB 商談 (Microsoft teams/Cisco 等) で製品紹介や装着レクチャーを行います。
※ネット環境があれば WEB 商談の準備は弊社で行います。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	L サイズ 2台
	M サイズ 2台

問い合わせ先 **メディカルクラフトン株式会社** ※メーカーのグループ会社。介護市場の窓口
 岡山県岡山市南区古新田 1125
TEL 086-282-1770 **MAIL** yamasaki@daiyak.co.jp
所属部署 営業部 **担当者名** 山崎



機器の仕様

販売開始

2020年9月

販売価格

85,800円(税込)

DARWING Hakobelude

リュックサックを背負うように装着した背面には、肩から腰と脇から腰にかけて特殊高反発ゴムを、腰から大腿部にかけて特殊高反発ゴムと人工筋肉を配置しています。腰を落として屈むことにより背後から引っ張られ、ゴムの収縮力が発生して自然と上半身を起こしてくれるようなアシストが得られます。

これにより、重い荷物などを持ち上げる際に背中から大腿部にかけての筋肉を補助する機能を発揮します。

また人工筋肉は空気を送り込むことで人の筋肉と同じように収縮しパワーを発揮します。

その作用によって人が中腰姿勢を維持するときに使う背面の筋肉を助ける働きをします。長時間中腰姿勢で作業する場合などに長時間の姿勢保持がラクになるよう設計されています。



機器の使用場面

製品

メーカー名 ダイヤ工業株式会社

製品名 **DARWING Hakobelude**

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	介助が必要な高齢者（ベッドからの移乗、歩行、トイレなど）
	対象者（介護者）	・適身長（目安） Lサイズ：170～185cm Mサイズ：155～170cm ・胸囲（目安） Lサイズ：80～110cm Mサイズ：75～100cm ・大腿周囲（目安） Lサイズ：50～70cm Mサイズ：45～60cm
	専門職の関与	・専門職の関与は不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：温度が0度～40度以外の環境 ・装着者の身体状況：能動型埋め込み医療機器利用、妊娠中の女性、装着者の身体サイズが合わない等
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点： 使い始めは1～2時間程度装着し、不快感やかゆみがないか確認をしてください。 また、就寝時のご使用を避けてください。
	安全に利用するための配慮	・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点： 洗濯時は空気供給口を必ず閉めてください
使用方法	使用方法	・機器利用前の準備（機器の移動・調整等）、高齢者の移乗時の基本ステップ、移乗終了後の動作の説明
	使用環境	・動作環境：温度が0度～40度 ・使用できない環境：温度が0度～40度以外・水中
	使用場面	・移乗介助・トイレ介助・入浴介助
	習熟期間	自動的に動くものではなく、通常の動きに追従するので特にありません。
	高齢者に対する安全面の配慮	・特になし
	介護者に対する安全面の配慮	・体を支える部分はマジックテープを使用せず、アタッチメントを使用。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・介助時のパフォーマンスがアップし、より快適なサービスが受けられる
	使用することで実現する介護者への効果	・介助動作の腰部、臀部負荷軽減。腰痛リスクの軽減
	使用することで実現する施設への効果	・労働環境の改善、退職者の軽減
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ：サポーター、圧縮
	使用場所、必要スペースなど	・使用場所：ベッド・浴室・トイレなど ・必要スペース：人、一人分
	サイズ	・Lサイズ：幅 290mm×奥行 30mm×高さ 800mm ・Mサイズ：幅 280mm×奥行 30mm×高さ 700mm
	重量（バッテリー含む）	・Lサイズ：816g ・Mサイズ：780g
	材質	・ナイロン、ポリエステル

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー	・なし
	充電時間	・電源、バッテリーが非使用のため、無し
	連続使用時間	・電源、バッテリーが非使用のため、無し
	使用時の音	・電源、バッテリーが非使用のため、無し
	緊急発報の方法	・電源、バッテリーが非使用のため、無し
	安全性の認証取得	・なし
	防水・防塵加工	・なし
	アシスト力を発揮する部位	・腰部、臀部
	稼働方式	・無電力（高反発ゴムと独自開発の）
	必要な通信環境	・なし
	データの記録機能、有無と内容	・なし
	他の機器との連携・互換性	・なし
	メンテナンス	準備・片付け
保管方法		・温度が0度～40度内の日陰。 ・避けてください（ホコリの多い、化学薬品などにより腐食しやすい場所）
メーカーによるメンテナンス		・特になし
ユーザーによるお手入れ		・特になし
消耗品の有無		・あり
保証期間		・1年間
修理対応期間		・なし
コスト	耐用年数	・年 / 人工筋・高反発ゴム
	本体・付属品の定価	・本体価格 85,800 円（税込） 交換人工筋価格 19,800 円（税込） 高反発ゴム 6,600 円（税込）
	ランニングコスト	・年 / 交換人工筋価格 19,800 円（税込） 高反発ゴム 6,600 円（税込）
オプション	教育研修費	・なし（WEB 商談でレクチャー可能）
	追加できる機能	・なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	・メディカルクラフトン株式会社 TEL:086-282-1770
	デモ・貸出	・L×2 M×2

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.daiyak.co.jp/work/catalog/DARWINGHakobelude/index.html>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=5b2LmSIKTSM>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ジェイテクト
**衣服型アクティブパワーアシストスーツ
 J-PAS fleairy (フレアリー)**



機器の概要

機器の機能

動きを検知してモーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブタイプで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。フレーム構造をもたない、ベルト巻き上げ式により大幅な軽量化を実現できました。介護作業における腰部の負担へ高い軽減効果。トイレ空間等での立位保持介助では59%低減、オムツ交換などの中腰姿勢保持では約94%低減を実現します。IP55を取得し、浴室作業可。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

100V 電源 (充電用)

試用期間中のサポート

アシストスーツをより有効にご使用いただけるよう、使用のコツをサポート。購入時のご相談。

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社豊通オールライフ

愛知県名古屋市中村区名駅三丁目 25 番 3 号 大橋ビル 10F

TEL 052-533-5182 MAIL tomohisa_maruyama@tal.toyotsu.net

所属部署 事業企画グループ 担当者名 丸山 (レンタル卸窓口)



機器の仕様

販売開始

2021 年 3 月

販売価格

327,800 円 (税込)

衣服型アクティブパワーアシストスーツ J-PAS fleairy (フレアリー)

動きを検知してモーターでアシスト力の調整を可能とするアクティブタイプで、複合的な連続する作業動作に対応し、しっかりとしたアシスト感を提供。

フレーム構造をもたない、ベルト巻き上げ式により大幅な軽量化を実現できました。介護作業における腰部の負担へ高い軽減効果。トイレ空間等での立位保持介助では 59% 低減、オムツ交換などの中腰姿勢保持では約 94% 低減を実現します。IP55 を取得し、浴室作業可。

さらに、J-PAS fleairy 本体に付属する装具は洗濯可です。(洗濯機を使用する場合、洗濯ネットに入れてください。) 体格に合わせて 3 サイズをご用意しています。

J-PAS fleairy 本体は、本体に付属するリモコンだけでなく、Android スマートフォン向けのアプリでも操作可です。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ジェイテクト

製品名 衣服型アクティブパワーアシストスーツ J-PAS fleairy (フレアリー)

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (介護者)	<ul style="list-style-type: none"> ・適用身長 (目安) 145 ~ 185cm ・適用体重 (目安) 規定なし ・腹 囲 65 ~ 125cm ・骨 盤 幅 規定なし
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境 (場所) : 水中 ・装着者の身体状況 : お酒を飲んでいる方、過労睡眠不足の方、妊娠中の方、16歳未満の方、病気がけを負われている方、ペースメーカを装着されている方。
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・装着についての注意点 : 装着者のサイズに適切に合わせ、締め付けすぎないようにご注意ください。 ・その他注意点 : 本製品は、装着者の腰への負担を軽減する製品です。非装着状態でできないことに対して使用しないようにしてください。
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な利用環境 (水回り等) における注意点 : 動作温度0℃ ~ 40℃ 相対湿度 20% ~ 85%、保管温度 -10℃ ~ 40℃ ・機器のメンテナンスにかかる注意点 : 分解しない。
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の電源を入れた後、J-PAS fleairy に付属する装具を肩、腰、膝に装着すれば準備完了。本体の操作は、腰部についているスイッチ、または Android スマートフォンアプリで可能です。
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境 : 動作温度0℃ ~ 40℃ 相対湿度 20% ~ 85% ・使用できない環境 : 水中
	使用場面	・車いす移乗、トイレ介助、入浴介助、ベッド周り作業
	習熟期間	・導入教育実施後
	高齢者に対する安全面の配慮	ペースメーカを装着されている方、病気、けがを負われている方は使用しないでください。
	介護者に対する安全面の配慮	・自分が出せる力を増強するものではありません。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	介護作業中にかかる腰への負荷が軽減されます。
	使用することで実現する介護者への効果	介護作業中にかかる腰への負荷が軽減されます。
	使用することで実現する施設への効果	従業員の腰への負荷を軽減することができますので、従業員の労働環境改善になります。
仕様、構造	アクティブ・パッシブ (区分)	アクティブ : バッテリー駆動
	使用場所、必要スペースなど	使用場所 : 屋内、浴室 (バッテリーおよびバッテリーカバー内 : 水濡れ不可、他 : 水没不可)、屋外
	サイズ	幅 222mm × 奥行 94mm × 高さ 289mm
	重量 (バッテリー含む)	1.6kg (装具除く)
	材質	A B S、アルミ他
	電源・バッテリー	マキタ製バッテリー BL1820B
	充電時間	45分 (充電機 DC18SD 使用時)

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	連続使用時間	約4時間（弊社標準作業の場合）
	使用時の音	モーター作動音あり
	緊急発報の方法	ライト点滅
	安全性の認証取得	ISO13482 取得済み
	防水・防塵加工	I P 55
	アシスト力を発揮する部位	腰部
	最大アシスト力	150N
	稼働方式	モータ
	必要な通信環境	あり（スマートフォンアプリを用いる場合、Bluetooth4.0以上が必要）
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	あり（連携機器：スマートフォンアプリ）
メンテナンス	保管方法	・高温、多湿を避け、保管中に落下することが無いように置いてください。
	ユーザーによるお手入れ	・本体は、乾いた柔らかい布で表面の汚れ、ホコリなどを軽くふき取ってください。 ・装具は洗濯可です。洗濯機を使用する場合、洗濯ネットに入れてください。
	消耗品の有無	装具、バッテリー
	保証期間	納品より1年間
	耐用年数	3年
コスト	本体・付属品の定価	税込み 327,800円
問合せ先	緊急時の問合せ先	090-6387-8800（JTEKT 金谷携帯）
	デモ・貸出	あり
	よくある質問（Q&A）	https://active-life.jp/jpasfleairy/faq/

パンフレット等

製品カタログ <https://active-life.jp/jpasfleairy/catalog/>



使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/channel/UCxtQRSMVtDsFZmJUKNfdOHA>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社加地

レイボエクソスケルトン

品番・型番

V2.56



機器の概要

機器の機能

腰の支持だけではなく、体のバランスを整えて前屈作業するときの体幹を支持します。上半身のブロックである肋骨と下半身のブロックである骨盤の間の体幹を安定させることで、無駄な労力を使わずに作業に集中してもらい、身体的疲弊を軽減することでサービスの品質維持向上を目指すための道具です。骨格構造に沿って装着しますので、機能オンオフレバーがあり、オフの場合はデスクワークなどの着座作業も装着したままでも行えます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

特になし。

試用期間中のサポート

関東近郊・近畿圏であれば、貸し出しに伴い訪問して装着レクチャーを実施します。遠方の場合、Zoom等によるオンライン装着レクチャーを初回に実施し、都度必要であれば、オンライン対応します。

貸出期間	2週間 / 4週間
貸出可能台数	10台

問い合わせ先 **株式会社加地**

神奈川県横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル 88 8F

TEL 045-482-3551 MAIL y_nakanishi@exgel.jp/t_shioya@exgel.jp

所属部署 レイボアジアグループ 担当者名 中西洋介／塩谷俊之



機器の仕様

販売開始

2017年1月

販売価格

627,000円 (税込)

レイボエクソスケルトン

- ・前屈姿勢を取るときの自重のエネルギーを腰部のガススプリングに貯めます。
- ・その貯めた力で前屈姿勢時の上半身を支えます。回旋動作中も支え続けます。
- ・アシスト方向は、前側から肋骨部を持ち上げるので、肩のストレスゼロとなり、腕が動かしやすくなります。
- ・上体を起こす動作に伴い、ガススプリングで貯めた力を開放することで、アシスト力を発揮します。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社加地

製品名 **レイボエクススケルトン**

型番 V2.56

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（介護者）	<ul style="list-style-type: none"> ・適用身長（目安）150～189cm ・適用体重（目安）30～110g ・腹囲 60～120cm ・骨盤幅 30cm以上
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）：入水場所 ・装着者の身体状況：金属アレルギー等には対応していません。
使用上の注意	注意事項	・装着についての注意点：骨格構造にフィットさせること
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・配慮が必要な利用環境（水回り等）における注意点：腰部のパーツに水がかかる場合は、その部分を覆って利用すること。 ・機器のメンテナンスにかかる注意点：3年毎にガススプリングとストラクチャーを交換すること。
	倫理面の配慮	なし。
使用方法	使用方法	必ず、装着手順動画の視聴や株式会社加地スタッフからの装着レクチャーを受けること。
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境：なし。 ・使用できない環境：浴槽内
	使用場面	体位変換・おむつ交換などのベッド上でのケア、移乗ケア等
	習熟期間	1週間
	高齢者に対する安全面の配慮	移乗などで介護者に身体を預けるときに機械が当たっても痛くないような介護用ベストをオプション設定し、必要に応じて活用して頂いている。
	介護者に対する安全面の配慮	アシスト機能のオンオフは、前屈時にはロックされるようにしている。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	品質の高いサービスを受けることができる。
	使用することで実現する介護者への効果	身体的疲労の軽減による疲れの蓄積を減らし、働く意欲の継続。
	使用することで実現する施設への効果	高齢者が求める人的介助品質の維持向上と労働環境改善による介助者の身体的疲弊を防ぐことができる。
仕様、構造	アクティブ・パッシブ（区分）	パッシブ
	使用場所、必要スペースなど	①身体寸法外側に左右5cm / 前後は身体寸法で問題なし。 ②装着時は、ジャケットを羽織るのに必要なスペースがあれば問題なし。
	重量（バッテリー含む）	2.8kg
	材質	スチール・ナイロン・ウレタン・エクスジェル
	電源・バッテリー	なし。
	充電時間	不要
	連続使用時間	永遠
	使用時の音	なし。
	緊急発報の方法	なし。
	安全性の認証取得	C E マーキング取得
	防水・防塵加工	オプションにて設定

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	アシスト力を発揮する部位	主に体幹（腰回り）
	稼働方式	ガススプリング
	必要な通信環境	なし。
	データの記録機能、有無と内容	なし。
	他の機器との連携・互換性	なし。
メンテナンス	準備・片付け	ベルトを緩めておく
	保管方法	専用ハンガーに吊るす
	メーカーによるメンテナンス	3年毎に、ガススプリングとストラクチャー交換及びオーバーホール
	ユーザーによるお手入れ	2-3ヶ月ごとに、サポートカム部へのグリース塗工
	消耗品の有無	ガススプリングとストラクチャー
	保証期間	1年
	修理対応期間	期限なし
	耐用年数	3年毎にパーツ交換すれば、耐用年数に期限なし。
コスト	本体・付属品の定価	627,000 円（税込）（標準仕様） ■代表的なオプション ・腰固定ユニット 20,000 円（税込） ・伸縮サスペンダー 6,000 円（税込） ・レッグパッド用エクスジェルパッド 7,000 円（税込） ・簡易防水防塵カバー 9,500 円（税込）
	ランニングコスト	なし。
	教育研修費	無料
	オプション	追加できる機能
問合せ先	緊急時の問合せ先	045 - 482 - 3551
	デモ・貸出	2週間／4週間
	よくある質問（Q&A）	Q: 就業中装着したままでも問題ないか A: 機能のオンオフレバーがあるので、オフにすればデスクワークも可能

パンフレット等

製品カタログ <https://laevo.jp>



使用方法等の動画 本体 <https://youtu.be/z8kmfMgF6HY>
腰固定ユニット <https://youtu.be/YgWOCAYTLTk>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

マッスル株式会社

ROBOHELPER SASUKE

品番・型番

RS1-08Y-A
RS1-08Y-B
※ RS1-12Y-B

機器の概要

機器の機能

「抱き上げ式」で移乗介助をアシストします。専用シートを敷き込み、シート全面で抱き上げ、揺れの少ない安定した移乗を行います。簡単なレバー操作で一人でも120kgまで移乗介助が可能です。高さや臥位から座位までの傾きを任意の姿勢で保持でき、幅広い種類の車いすに対応できます。介護を受ける方・おこなう方の双方に、やさしさと安心をお届けします。密着せずに介助を行う事ができるため、感染予防対策としても有効です。



機器の写真 (RS1-12Y-B)



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ① ベッド下に SASUKE の脚が入る空間が7cm以上必要です。
- ② お部屋に入るために80cm以上の間口が必要です。
- ③ 床質が、分厚い絨毯・たたみ・超クッションフロアの場合はご使用できない可能性がありますのでご相談下さい。

試用期間中のサポート

導入時講習の後、試用期間中においても、安心安全に有効利用頂くために再講習や、様々なご質問・ご相談などに対応致します。コロナ禍にて訪問が難しい場合はリモートによるデモや講習を行っています。

貸出期間	1週間～1ヶ月以内
貸出可能台数	1施設につき1台

問い合わせ先 **マッスル株式会社**

〒541-0042 大阪府大阪市中央区今橋2-5-8 トレードピア淀屋橋6階

TEL 06-6229-9550 MAIL healthcare@musclecorp.com

所属部署 **ヘルスケア部** 担当者名 **齋藤、山崎**



機器の仕様

販売開始

※ 2019年11月

販売価格

(RS1-12Y-B)998,000円(非課税)

TAISコード

01554-000002
01554-000004
01554-000005



ROBOHELPER SASUKE

SASUKEの両アームを専用シート両端に通してベッドから抱き上げます。シート全体で抱き上げるため、体圧が分散され局所に圧が集中しにくく安全な移乗が行えます。移乗の際に双方が密着しすぎず、感染予防対策としても有効です。抱き上げる際は、介護をうける方の足元に立ち、一方の手でレバー操作し、もう一方の手は介護をうける方に添えることができます。そのままお互いの顔を見ながらベッド⇄車いす(ストレッチャー)へ移動し、車いす等と介護をうける方の姿勢を合わせて着座します。操作は指で軽く操作レバーを上下するだけで、昇降(高さ調整)と回転(座位⇄臥位の任意の姿勢調整)が行えます。専用シートは柔らかい素材で日中は車いすに敷いたままで過ごせ、シートの着脱に生じる双方の心身負担が軽減されます。コードレスで取外し可能なバッテリーにて稼働します。安全性では「ISO13482」の認証を取得しています。

本体重量 70kg、
サイズ(幅・奥行・高さ) ①収納・出入時: 80cm × 85cm × 152cm ②使用時: 120cm × 100cm × 130cm、
バッテリー充電時間 約 2-4 時間で 100 回以上の移乗が可能。



機器の使用場面

製品

メーカー名 マッスル株式会社

製品名 ROBOHELPER SASUKE 01554-000002、01554-000004、01554-000005

型番 RS 1-08Y-A、RS 1-08Y-B、※ RS 1-12Y-B

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 体重 120kg 以下、身長 140cm ～ 180cm 【介護者】 SASUKE の正しい操作ができる介護者
	専門職の関与	必要時
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内での使用は禁止 ・その他：移動機器としての試用は禁止
使用上の注意	注意事項	使用前に必ず取扱説明書を確認。
	安全に利用するための配慮	使用前の機器安全確認。床面の状態の確認。使用環境の安全確認。
	倫理面の配慮	施設基準順守。（機器使用の画像撮影など的高齢者・介護者のプライバシーに関わる情報集・活用、同意書の取得等）
使用方法	使用方法	専用シートを敷き込み、 ①シートにアームを通す、②シートごと抱き上げ姿勢調整、③着座（着臥）する。 ※シートの敷込みと取外しについては、その日の最初の移乗で敷き込み、最後の移乗で取り外すことを推奨。車いす上でも敷いたままで OK
	使用環境	・動作環境：居室及び脱衣室（温度：0～40℃、湿度：20～80%） ・使用できない環境：浴室、屋外
	使用場面	ベッド⇄車いす、ベッド⇄ストレッチャー（特浴など）など移乗の場面
	習熟期間	操作方法：数分程度 使用方法：30分～1時間程度 利用者別にアレンジ使用：1か月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認
	介護者に対する安全面の配慮	足先を覆う履物を着用
効果	使用することで実現する高齢者への効果	・揺れない安心安全な移乗が行える ・移乗時の緊張が緩和され負荷が軽減→移乗後の活動へ穏やかに移行できる ・身体を密着されることなく移乗が行える
	使用することで実現する介護者への効果	・介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減 ・1人移乗が可能になる
	使用することで実現する施設への効果	・介護負担軽減による離職予防や人員不足対応などが期待できる（労働環境改善） ・介護ロボットを導入しているという実績から新規雇用への期待（職場の魅力向上） ・二人で行っていた移乗介助が一人で行え業務効率アップが期待できる（介護業務の革新）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室
	サイズ	幅 x 奥行 x 高さ ①収納時：80cm x 85cm x 152cm ②使用時：120cm x 100cm x 130cm
	重量（バッテリー含む）	70kg（バッテリー含む）
	材質	専用シート：ポリエステル 本体：ABS、ステンレス等
	形状	抱き上げ式
	電源・バッテリー	取外し可能なバッテリー稼働。専用充電器。
	連続使用時間	約6時間～8時間
	連続使用回数	約 100 回
	使用時の音	静音
	緊急発報の方法	アラート音、ライト点灯（緊急停止ボタン始動時）
	安全性の認証取得	ISO13482 認証取得
防水・防塵加工	無	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	稼働方式	操作レバーによる操作
	必要な通信環境	無
	データの記録機能、有無と内容	有 (メンテナンス用)
	他の機器との連携・互換性	無
メンテナンス	準備・片付け	使用前の安全確認。
	保管方法	居室あるいは居室に相当する環境で保管。(高温多湿等は避ける)
	メーカーによるメンテナンス	必要時メーカー対応
	ユーザーによるお手入れ	本体 (特にアーム) の清拭。専用シートの洗濯。
	消耗品の有無	専用シート、専用クッション
	保証期間	原則として1年。ただし、法人購入の場合は3年付帯。
	修理対応期間	原則として1年。ただし、法人購入の場合は3年付帯。
コスト	耐用年数	原則として5年 (法定耐用年数)
	本体・付属品の定価	望小売価格：本体 998,000 円 (非課税)、シート：M 40,700 円 (税込)、L 55,000 円 (税込) ※国内では殆どの方が M サイズで対応可能です。
	設置導入に伴う費用	無
	ランニングコスト	無
オプション	教育研修費	導入時スタート講習 (回数制限無) は無料。アフターフォローも現在のところ無料で実施中。
	追加できる機能	無
問合せ先	緊急時の問合せ先	マッスル株式会社ヘルスケア部 TEL：06-6229-9550
	デモ・貸出	デモ・貸出とも有。 リモート及び訪問によるデモを随時実施。貸出は代理店及びメーカー、又は、介護ロボットプラットフォーム事業相談窓口経由も可能。
	よくある質問 (Q&A)	「エレベーターや在宅のドアを通れますか？」 → 間口 80cm あれば、通ることができます。4輪キャスターで動きます。 「購入したら組立てとかありますか？」 → 完成形で搬入されるのですぐに使用できます。

パンフレット等

製品カタログ

<https://musclecorp.com/>



取扱説明書

<https://musclecorp.com/>



使用方法等の動画

イメージ動画① <https://youtu.be/wlWfTWo-Aug>
イメージ動画② <https://youtu.be/WP12OIHb7W0>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社FUJI
移乗サポートロボット
Hug L1

品番・型番

L1-01



機器の概要

機器の機能

座位間の移乗動作、トイレや脱衣所での立位保持、更衣介助をサポートする製品です。一人介助を可能にし、さらに介助者の腰痛予防に役立ちます。スリングシート不要なので準備に手間取らず、簡単リモコン操作で技量に頼らない移乗が可能です。

コンパクト設計のためトイレなどの狭い場所でもご利用いただけます。リモコン操作は立つ・座るの2つだけ。本体重量30kgと軽いので、小柄な方でも大柄な方の移乗介助が一人で可能です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

段差、傾斜、凹凸のない、フローリングなど硬めの床（クッション性のある床や畳は取り回しが重くなり転倒してしまう可能性があります）

試用期間中のサポート

デモ機貸出をご希望の際は、代理店がお客様の元へ実機をお持ちし、実機の説明、貸出、貸出後のアフターフォローをさせていただきます。使い方レクチャーをオンラインでご希望の際はご相談ください。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **株式会社FUJI**

〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19 番地

TEL 0566-55-8800 MAIL hug@fuji.co.jp

所属部署 RS 事業本部 第四営業部第2営業課



機器の仕様

販売開始

2018 年4月

販売価格

880,000 円 (非課税)

TAIS コード

01666-000002



移乗サポートロボット Hug L1

寸法 (全長 × 全幅 × 全高) : 880 × 550 × 850 ~ 1200mm

総重量 : 30kg

最大使用者体重 : 100kg

動作条件 温度 : 0 ~ 40℃ / 湿度 : 20 ~ 90% RH

バッテリー 型式 : 鉛蓄電池 / 定格電圧 : DC24V

充電時間 : 8時間 / 最大使用回数 : 100回



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社FUJI

製品名 移乗サポートロボット Hug L1 01666-00002

型番 L1-01

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長（目安）140～180cm ・適用体重（目安）～100kg ・要介護度（目安）1～3 ・移乗動作に補助が必要な方 ・端座位がとれる方 ・上半身がしっかりしており脇で挟む力がある方 ・介護者の指示が理解できる方 【介護者】 ・Hugの操作ができる方
	専門職の関与	介護を受ける方の症状・身体機能、介護する方の体力や機器への適応能力などに合わせて、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：水が直接かかる場所（浴室：床が濡れている程度であれば問題ない）・屋外・段差を越える使用・クッション性が強い床や畳・傾斜・凹凸のある場所、滑りやすい床 ・その他：ペースメーカーを使用している方への使用
使用上の注意	注意事項	・被介護者の症状にあわせて使用すること ・2人以上を移乗させないこと ・操作は必ず介護者が行うこと ・最大使用者体重（100kg）を超える荷重を加えないこと ・被介護者を乗せた状態で長距離移動・長時間放置をしないこと ・湿気の多い場所に長時間放置しないこと ・使用可能温度以外の場所で使用しないこと ・本体に水を直接かけないこと 取扱説明書をよく読んで上で使用ください
	安全に利用するための配慮	・滑りやすい床、やわらかい床、段差・傾斜・凹凸のある場所・屋外で使用しないこと ・周囲環境に注意すること（本体と建物の一部、家具、人などに接触しないか確認） ・介護者・被介護者ともにかかとが低く、つま先がとがっていない靴を着用すること（介護者はスリッパや裸足で操作しないこと） ・介護者・被介護者とも衣服の前面に装飾がついていないこと ・髪が長い場合は束ねること ・マフラーやストールなど首に巻いている場合は取り外すこと
	倫理面の配慮	（個人情報などプライバシーに関わる記録をする機能はありません。）
使用方法	使用方法	【準備】 ①非常停止ボタンが解除されているか確認 ②動きが止まるまで、「すわる」ボタンを長押しし、身体保持部を開始位置に移動する。 【操作】 ①足裏をフットプレートに置き、さらに上半身が身体保持部にふれるまで近づける。 ②身体保持部に体重が掛かるように、介護を受ける方の上体を乗せる ※身体保持部バーの先端が脇下から出ていること・胸が身体保持部に密着していること・身体保持部の下端部が太腿上にあること・膝が膝当てに当たっていること・足がフットプレートに乗っていることを確認 ③「たつ」ボタンを押して、起立する。身体条件に合わせて上げ過ぎないように注意。 ④ハンドルを持って、ゆっくりと移動する。後ろへの倒れるおそれがある方は後ろに回りこむ。 ⑤介護を受ける方のひざ裏が移動先の座面に触れるまで調整する。 ⑥「すわる」ボタンを押して座らせる。浅座り防止には車いすの位置を介護を受ける方側に調整する。 ⑦介護を受ける方の上体を起こし、両足をフットプレートから降ろす。
	使用環境	・動作環境：温度 0～40℃、湿度 20～90%RH ・周辺に干渉するものがない場所 ・座面高さ：40～60cm以内 ・水が直接かからない場所
	使用場面	・移乗動作：ベッド⇄車いす、車いす⇄シャワーチェア、車いす⇄トイレ ・立位保持：トイレでの排泄ケア、脱衣場での更衣介助
	習熟期間	生活場面での使用まで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・対象者の体調、症状の確認 ・Hugに対する不安・恐怖をなくすための声掛け
	介護者に対する安全面の配慮	・不安定なスリッパや裸足で操作しないこと
	使用することで実現する高齢者への効果	トイレでの排泄、残存機能の活用による ADL 向上、精神的負担軽減
効果	使用することで実現する介護者への効果	腰痛予防、身体的・精神的負担の軽減、一人での移乗介助が可能、業務効率向上
	使用することで実現する施設への効果	人材確保促進、労働環境改善、職場の魅力向上
仕様・構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、脱衣場、リビング
	サイズ	Hug L 1-01：全長 880×全幅 550×全高 850～1200（mm）
	重量（バッテリー含む）	Hug L 1-01：30kg
	材質	本体 鉄 カバー ABS
	形状	床走行式

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー	型式：鉛蓄電池、定格電圧：DC24V、充電時間：8時間、最大使用回数：100回（使用環境による）
	連続使用時間	2分（その後18分間休めること）
	連続使用回数	連続使用は故障の恐れがあります。
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	充電器：PSE（電気用品安全法） アクチュエータ：CEマーク
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	モーター
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	【準備】 ・非常停止ボタンが解除されているか確認 ・動きが停止するまですわるボタンを長押しする ・対象者の近くまでゆっくりと近づける 【片付け】 ・保管場所へ戻してキャスターをロックする
	保管方法	・キャスターをロックする ・使用後はこまめに充電する
	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	お手入れ前にキャスターをロック・非常停止ボタンを押す ①水で濡めた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたく絞って拭く ②水で濡した布をかたく絞って水拭き（中性洗剤を拭き取る） ③乾いた布で乾拭き
	消耗品の有無	あり
	保証期間	1年
コスト	本体・付属品の定価	本体：880,000円（非課税）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	山形膝当て（膝が横に開いてしまう方用の対応膝当て）
問合せ先	緊急時の問合せ先	0566-55-8800 / hug@fuji.co.jp
	デモ・貸出	対応可能
	よくある質問（Q&A）	Q：介護保険の対象ですか？ A：対応しています。
		Q：補助金対象ですか？ A：各種補助金に対応しています。（各自治体により異なる為、詳細は各都道府県、市町村に確認要） ・介護ロボット補助金 / ・人材確保等支援助成金（旧職場定着支援助成金） / ・コロナ対策補助金など
		Q：片麻痺の方、認知症の方に使えますか？ A：使える方もいます。使えるか確認した上で導入してください。
		Q：清掃はどのように行いますか？ A：次亜塩素酸 1%、アルコール等の清掃可能です。
		Q：浴室内で使用できますか？ A：防水仕様ではありませんが、脱衣場での使用はできます。また、水がかからなければ利用可能です。
		Q：トイレではどの程度スペースが必要ですか？ A：便器の根元から1m程度スペースが必要です。ポータブルトイレとの相性も良いです。
		Q：導入実績はありますか？ A：Hugシリーズ1,400台出荷しています。（在宅・施設・病院 etc.）
		Q：Hug T 1との違いは何ですか？ A：小型で軽量コンパクトなつくりのため、取り回しがしやすく、狭い間取りの場所でもお使いいただけます。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.fuji.co.jp/items/hug/hug1>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=HCvNBY19jy8>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社FUJI
移乗サポートロボット
Hug T1

品番・型番

T1-02



機器の概要

機器の機能

座位間の移乗動作、トイレや脱衣所での立位保持、更衣介助をサポートする製品です。一人介助を可能にし、さらに介助者の腰痛予防に役立ちます。スリングシート不要なので準備に手間取らず、簡単リモコン操作で技量に頼らない移乗が可能です。

人が立ち上がる動作を再現しているため、残存機能を活かせます。また、身体保持部分の高さ調節が可能のため、幅広い体格の方にお使いいただけ、安定した姿勢保持を実現します。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

段差、傾斜、凹凸のない、フローリングなど硬めの床（クッション性のある床や畳は取り回しが重くなり転倒してしまう可能性があります）

試用期間中のサポート

デモ機貸出をご希望の際は、代理店がお客様の元へ実機をお持ちし、実機の説明、貸出、貸出後のアフターフォローをさせていただきます。使い方レクチャーをオンラインでご希望の際はご相談ください。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **株式会社FUJI**

〒472-8686 愛知県知立市山町茶碓山 19 番地

TEL 0566-55-8800 MAIL hug@fuji.co.jp

所属部署 RS 事業本部 第四営業部第2営業課



機器の仕様

販売開始

2019年10月

販売価格

980,000 円 (非課税)

TAIS コード

01666-000003



移乗サポートロボット Hug T1

寸法 (全長 × 全幅 × 全高) : 950 × 620 × 880 ~ 1350mm

総重量 : 35kg

最大使用者体重 : 100kg

動作条件 温度 : 0 ~ 40℃ / 湿度 : 20 ~ 90% RH

バッテリー 型式 : 鉛蓄電池 / 定格電圧 : DC24V

充電時間 : 8時間 / 最大使用回数 : 100回



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社FUJI

製品名 移乗サポートロボット Hug T1 01666-00003

型番 T1-02

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者・介護者）	<p>【高齢者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適用身長（目安）140～180cm ・適用体重（目安）～100kg ・要介護度（目安）1～3 ・移乗動作に補助が必要な方 ・端座位がとれる方 ・上半身がしっかりしており脳で挟む力がある方 ・介護者の指示が理解できる方 <p>【介護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Hugの操作ができる方
	専門職の関与	介護を受ける方の症状・身体機能、介護する方の体力や機器への適応能力などに合わせて、専門の医師や理学療法士、作業療法士などに相談してください。
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）：水が直接かかる場所（浴室：床が濡れている程度であれば問題ない）・屋外・段差を越えての使用・クッション性が強い床や畳・傾斜・凹凸のある場所、滑りやすい床 ・その他：ペースメーカーを使用している方への使用
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・被介護者の症状にあわせて使用すること ・2人以上を移乗させないこと ・操作は必ず介護者が行うこと ・最大使用者体重（100kg）を超える荷重を加えないこと ・被介護者を乗せた状態で長距離移動・長時間放置をしないこと ・湿気の多い場所に長時間放置しないこと ・使用可能温度以外の場所で使用しないこと ・本体に水を直接かけないこと 取扱説明書をよく読んで上で使用ください
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・滑りやすい床、やわらかい床、段差・傾斜・凹凸のある場所・屋外で使用しないこと ・周囲環境に注意すること（本体と建物の一部、家具、人などに接触しないか確認） ・介護者・被介護者ともにかかとが低く、つま先ががっついていない靴を着用すること（介護者はスリッパや裸足で操作しないこと） ・介護者・被介護者ともに衣服の前面に装飾がついていないこと ・髪が長い場合は束ねること ・マフラーやストールなど首に巻いている場合は取り外すこと
	倫理面の配慮	（個人情報などプライバシーに関わる記録をする機能はありません。）
使用方法	使用方法	<p>【準備】</p> <p>①動きが停止するまですわるボタンを長押し、身体保持部を開始位置に移動する</p> <p>【操作】</p> <p>①定巻をフットプレートに置き、さらにひざがひざパッドにふれるまで近づける。</p> <p>②「+」を押して身体保持部バーが膝下に軽くふれるまで上げる。</p> <p>③身体保持部に体重が掛かるように、介護を受ける方の上体を乗せる。</p> <p>※身体保持部バーの先端が膝下から出ていること・身体保持部バーが膝下に触れていること・胸が身体保持部に密着していること・膝が膝当てに当たっていること・足がフットプレートに乗っていることを確認</p> <p>④「たつ」ボタンを押して、起立する。身体条件に合わせて上げ過ぎないように注意。</p> <p>⑤ハンドルを持って、ゆっくりと移動する。後ろへの倒れるおそれがある方は後ろに回りこむ。</p> <p>⑥介護を受ける方のひざ裏が移動先の座面に触れるまで調整する。</p> <p>⑦「すわる」ボタンを押して座らせる。浅座り防止には車いすの位置を介護を受ける方側に調整する。</p>
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・動作環境：温度 0～40℃、湿度 20～90%RH ・周辺に干渉するものがない場所 ・座面高さ：40～60cm以内 ・水が直接かからない場所
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・移乗動作：ベッド⇄車いす、車いす⇄シャワーチェア、車いす⇄トイレ ・立位保持：トイレでの排泄ケア、更衣場での更衣介助
	習熟期間	生活場面での使用まで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者の体調、症状の確認 ・Hugに対する不安・恐怖をなくすための声掛け
	介護者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・不安定なスリッパや裸足で操作しないこと
	効果	<p>使用することで実現する高齢者への効果</p> <p>トイレでの排泄、残存機能の活用によるADL向上、精神的負担軽減</p> <p>使用することで実現する介護者への効果</p> <p>腰痛予防、身体的・精神的負担の軽減、一人での移乗介助が可能、業務効率向上</p> <p>使用することで実現する施設への効果</p> <p>人材確保促進、労働環境改善、職場の魅力向上</p>
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、更衣場、リビング
	サイズ	Hug T1-02：全長950×全幅620×全高880～1350（mm）
	重量（バッテリー含む）	Hug T1-02：35kg
	材質	本体：鉄 カバー：ABS
	形状	床走行式

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー	型式:鉛蓄電池、定格電圧:DC 2.4V、充電時間:8時間、最大使用回数:100回(使用環境による)
	連続使用時間	2分(その後18分間休めること)
	連続使用回数	連続使用は故障の恐れがあります。
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	充電器:PSE(電気用品安全法) アクチュエータ:CEマーク
	防水・防塵加工	なし
	稼働方式	モーター
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	【準備】 ・電源スイッチを押して、電源を入れる ・動きが停止するまですわるボタンを長押しする ・リモコンの高さ調節の「+」ボタンを押して、身体保持部を上昇させる ・対象者の近くまでゆっくりと近づける 【片付け】 ・保管場所へ戻してキャスターをロックした後、電源スイッチを押して電源を切る
	保管方法	・キャスターをロックする ・使用後はこまめに充電する
	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	お手入れ前にキャスターをロック・電源が入っていないことを確認する ①水で濡れた中性洗剤を柔らかい布に含ませ、かたく絞って拭く ②水で濡した布をかたく絞って水拭き(中性洗剤を拭き取る) ③乾いた布で乾拭き
	消耗品の有無	あり
	保証期間	1年
	修理対応期間	保守部品供給:5年(調達可能期間は対応)
コスト	耐用年数	5年
	本体・付属品の定価	本体:980,000円(非課税)
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
問合せ先	教育研修費	なし
	緊急時の問合せ先	0566-55-8800 / hug@fuji.co.jp
	デモ・貸出	対応可能
	よくある質問(Q&A)	Q:介護保険の対象ですか? A:対応しています。
		Q:補助金対象ですか? A:各種補助金に対応しています。(各自自治体により異なる為、詳細は各都道府県、市町村に確認要) ・介護ロボット補助金/・人材確保等支援助成金(旧職場定着支援助成金)/・コロナ対策補助金など
		Q:片麻痺の方、認知症の方に使えますか? A:使える方もいます。使えるか確認した上で導入してください。
		Q:清掃はどのように行いますか? A:次亜塩素酸1%、アルコール等の清掃可能です。
		Q:浴室内で使用できますか? A:防水仕様ではありませんが、脱衣場での使用はできます。また、水がかかかなければ利用可能です。
		Q:トイレではどの程度スペースが必要ですか? A:便器の根元から1m程度スペースが必要です。ポータブルトイレとの相性も良いです。
		Q:導入実績はありますか? A:Hugシリーズ1,400台出荷しています。(在宅・施設・病院 etc.)
Q:Hug L1との違いは何ですか? A:身体保持部の高さ調整が可能のため、より幅広い体格の方に対応でき、その方に合った自然な立ち上がりをすることができます。また、バッテリーの取り外しができるため、充電する場所を選びません。		

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.fuji.co.jp/items/hug/hugt1>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=lkOqKd3llp4&t=3s>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社アイザック

移乗・移動ロボット Keipu

品番・型番

AIZ-15



機器の概要

機器の機能

従来の車いすとは違い、後部より乗り込むことで移乗時の介護者の腰痛を無くします。また、乗り込む際の落下の危険性を削減します。便座への移乗については介護者の負担を軽減します。被介護者も移乗時に、手すり、椅子の位置が上下機構により移動動作が容易になります。さらには、トイレなどの狭い場所でもその場回転機能により容易に方向が変えられます。椅子の上下により介護者の目線が高くなり自立支援での効果が得られます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

家庭用コンセントが必要です。段差乗越えが最大 6mm のためバリアフリーの環境が必要。保管場所は、湿度 40% 以上 70% 以下（建築物衛生法の管理基準値）の範囲内で保管。浴室など湿気、水分のある所での使用、保管は厳禁

試用期間中のサポート

貸し出し中のトラブルは、メーカーより直接対応いたします。なお、貸出先様の故意による故障につきましては別途修理費用が発生いたします。貸出先様の所在地により、サポート対応までの時間が変わります。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	2台

問い合わせ先 **株式会社アイザック**
 福島県会津若松市山見町 25-9
 TEL 0242-85-8590 MAIL miyoshi@aizuk.jp
 所属部署 研究開発部 担当者名 三好



機器の仕様

販売開始

2016年7月

販売価格

800,000円 (税込)

TAISコード

01689-000001



移乗・移動ロボット Keipu

寸法(全長×全幅×全高):734mm×610mm×1,054mm(最大到達点)、シート高:430～630mm、総重量(バッテリー含):47.3kg、駆動モータ:DCブラシレスモーター 24V180W×2、バッテリー:ニッケル水素(本体に内蔵)、充電器:電源AC 100V～240V、50/60Hz、150VA、左右・駆動輪:エアレスタイヤ 200mm、操舵方式:ジョイスティック操舵、最高速度:3km、実用登坂可能斜度(停止可能斜度):6度(勾配10%、路面状況による)、最小回転半径:0.38m、段差乗り越え高さ:7mm、連続走行可能距離:最大約18km(条件:荷重75Kg、速度3Km/h、気温0℃、平坦路)、利用者最大荷重(積載物含む):75Kg、シート昇降機構:電動シリンダ(DCモータ24V、192VA)、その他の機能:・駆動輪ブレーキ開放機能(左右独立):手押し/電動レバーで切替/手すりの高さ調整専用レバーあり、リモートコントロール機能(無線):電波到達操作可能距離(10m)Wi-Fi/・本体操作タッチパネルと同等の機能使用可能(8方向操作)



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社アイザック

製品名 移乗・移動ロボット Keipu 01689-000001

型番 AIZ-15

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】 ・適用身長（目安）145～180cm ・適用体重（目安）～75kg（実測値では、100kgは可能） 【介護者】 特に限定はありません
	専門職の関与	特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内および湿気の多いところ ・その他：水分による洗浄など
使用上の注意	注意事項	移乗後、シートベルトをご利用いただき、介護者の体を固定してください
	安全に利用するための配慮	段差 6mm 以上の乗り越えはできません。傾斜の 6 度以上の上り降りは安全のため避けてください。 乗車時の服装は、マフラーや裾の長い物での乗車はご遠慮ください。タイヤに巻き込む可能性があります。
	倫理面の配慮	特になし
使用方法	使用方法	屋内の移乗・移動に使用してください。 施設 / 病院などの大型施設内でも可能です。
	使用環境	・使用できない環境：浴室など水分、湿気が発生するところでの使用は避けてください
	使用場面	短距離での移動を推奨します。 ベッド→Keipu→トイレ ベッド→Keipu→リハ室 ベッド→Keipu→食堂 など
	習熟期間	短時間での利用習熟が可能（20分ほど）
	高齢者に対する安全面の配慮	認知症などの方は、利用不可（介助者の見守りがある場合は可）
	介護者に対する安全面の配慮	乗車時の服装は、マフラーや裾の長い物での乗車はご遠慮ください。タイヤに巻き込む可能性があります。 履物は、着用して、底が滑りにくいものを着用ください。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の落下リスク低減 自立支援効果（自立移動、および目線が高くなるため他者との会話チャンスが広がる）
	使用することで実現する介護者への効果	移乗時の落下リスク低減 身体的腰痛の削減 移乗時の一人解除
	使用することで実現する施設への効果	対外的に施設環境の改善 労働環境の改善（スピーディーな移乗、移動が可能となります） 廃用症候群の予防 利用者の自立心の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、トイレ、食堂、リハ室へ移動
	サイズ	幅 734mm × 奥行 610mm × 高さ 1,054mm
	重量（バッテリー含む）	47.3kg
	材質	鉄およびアルミ材、手すり / シート部分：レザー
	形状	後ろのリフト移動機
	電源・バッテリー	バッテリー：ニッケル水素バッテリーを使用
	連続使用時間	2.5 時間

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用時の音	駆動輪のモーター音、手すり、シートの上下時のモーター音
	緊急発報の方法	タッチパネルにおける警笛
	安全性の認証取得	ISO13482 準拠
	防水・防塵加工	家庭用防水程度
	稼働方式	モーターによる稼働
	必要な通信環境	スマートフォンの利用により、遠隔操作が可能 (スマートフォンは、Wi-Fi 機能を持つもの)
	データの記録機能、有無と内容	特になし
	他の機器との連携・互換性	特になし
メンテナンス	準備・片付け	電源 off 後に、収納場所で保管
	保管方法	水分・湿気のないところ
	メーカーによるメンテナンス	訪問してメンテナンス
	ユーザーによるお手入れ	樹脂表面のアルコールでの拭き掃除
	消耗品の有無	バッテリー消耗時は交換が必要
	保証期間	導入後、3ヶ月
	修理対応期間	5年
	耐用年数	7年
コスト	本体・付属品の定価	本体：¥800,000 (税込) (バッテリー交換時は実費)
	設置導入に伴う費用	輸送料及び設置調整料
	ランニングコスト	特になし
	教育研修費	特になし
オプション	追加できる機能	特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	(株) アイザック 0242-85-8590
	デモ・貸出	対応可

パンフレット等

製品カタログ

<http://www.aizuk.jp>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

アルジョ・ジャパン株式会社

サラフレックス

品番・型番

HEB0000-28



機器の概要

機器の機能

サラフレックスは、自身の脚で立ちたいという利用者の意思と尊厳を尊重し、また介助者の身体的負担を軽減するために開発された電動立位補助機です。人間工学に基づき、自然な動きで無理なく利用者を立ち上げさせます。車いす・トイレ・シャワーチェアへの移乗や着替えが一人介助で安全に行え、また起立姿勢で脚に自重負荷をかけることにより、下肢訓練や拘縮予防のリハビリにも利用できます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

【推奨環境】

- ・硬めの床材（毛足の長い絨毯以外）
- ・周辺に干渉するものがない場所
- ・車いす用トイレへの移乗を推奨
- ・防水性能：IPX4（ハンドコントローラー部は完全防水のIPX7）

試用期間中のサポート

安全にお使い頂く為に試用前に製品説明と実演をご提供致します。運用のご相談や使用方法についてご不明点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。直接訪問が難しい場合はオンラインによるリモート式対談も承ります。

貸出期間	通常1-2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **アルジョ・ジャパン株式会社**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第2虎ノ門ビル9階

TEL 03-6435-6401

MAIL nobuaki.nakanishi@arjo.com

所属部署 営業部

担当者名 中西伸明



機器の仕様

販売開始

2019年10月

販売価格

980,000円 (非課税)

サラフレックス

【製品仕様】

最大安全耐荷重 200 kg
 製品重量 52 kg (体重計付 53,6 kg)
 全長 996 mm
 最小持ち上げ高さ 991 mm
 最大持ち上げ高さ 1518 mm
 全高 1162 mm
 シャーシ高 100.5 mm
 閉脚時外寸レグ幅 660 mm
 開脚時外寸レグ幅 1029 mm
 バッテリー 24V DC 4Ah
 バッテリー 3.8 kg
 本体保護等級 IP24
 ハンドコントロール保護等級 IPX7
 低摩擦キャスター 後方2キャスターはブレーキ付
 充電残量表示 (BDI) - 電池の再充電が必要な時表示します
 サービスメーターがモーターの合計使用時間を表示します
 緊急停止及びシステム故障時の停止機能

【適合規格】

EN / IEC 60601-1 (TÜV SÜD)
 EN ISO 10535 : 2006 (TÜV SÜD)



機器の使用場面

製品

メーカー名 アルジョ・ジャパン株式会社

製品名 **サラフレックス**

型番 HEB0000-28

製品情報

	項目	内容	
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】・適身長（目安）145～195cm ・適身体重（目安）45～200kg 【介護者】機器の操作が理解できる介護者	
	専門職の関与	・専門職の関与は特になし	
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外での使用（凹凸のある道等）	
使用上の注意	注意事項	・推奨しない保管場所：湿度が高い場所（80%以上）や濡れた場所での長期保管（製品の腐食防止の為）	
	安全に利用するための配慮	広さ、床面の状態、障害物の確認等	
	倫理面の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮等。	
使用方法	使用方法	【機器操作方法の流れ】※ご使用前に必ず操作説明を受けて下さい。 （車いすからサラフレックスへの移乗） 1. 起動：本体の電源ボタン緑を押す。 2. 脚部幅調整：車いすの幅に合わせてシャーシ脚部を電動ボタンで開きます。 3. 移乗用ベルト（以下ベルト）装着：車いすに座っている利用者の腰部から腹部にかけて立位補助ベルトを巻き、ベルトのパックル2箇所をしっかりと留めます。 4. フレックスへ移乗：利用者の正面までサラフレックスを近づけ、フットプレートに足を乗せます。レッグサポートに膝が付く程に更に近づけます。 5. ベルトを本体へ取付：ベルトのクリップ部を本体持ち上げアーム先のフックに掛けます。 6. 起立昇降：利用者に立ち上がる旨をお声がけしてから電動昇降ボタンの上ボタンを押し起立していきます。 7. 移動：対面式ですので利用者と会話を楽しみながら介助者は後方歩行もしくは平行の向きで移動します。（移動中はシャーシ脚部を閉じた方が移動しやすいです） ※初回もしくは慣れていない利用者や布がりな利用者は臀部が浮く程度の高さから移乗を始めてください。 ※臀部が完全に浮いた後は長時間の移動・移乗は控え、簡潔に行ってください。	
	使用環境	・動作環境：温度 -25°～70°、湿度 10%～80%	
	使用場面	ベッド⇔車いす、車いす⇔トイレ、車いす⇔シャワーチェア等	
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約1～2か月	
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認	
	効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の緊張緩和による負担軽減と拘縮予防。尊厳の維持。
		使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる。介護者高齢化による身体的理由の離職軽減。
使用することで実現する施設への効果		労働環境改善、職場の魅力向上	
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室、トイレ	
	サイズ	幅 660mm×奥行 996mm×高さ 1162mm	
	重量（バッテリー含む）	52kg	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー	0から満充電まで6時間程度
	連続使用時間	2-3時間程度
	連続使用回数	100 回程度
	使用時の音	充電残量が 10% を下回るとピープ音が発報。
	安全性の認証取得	EN / IEC 60601-1 認証、EN ISO10535:2006 認証
	防水・防塵加工	IPX4 ※ハンドコントローラー部はIPX7
	稼働方式	SaraFlex アームの上昇と下降、脚部の開閉機能
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	あり：(データ内容：利用頻度、総ストローク回数等)
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	特になし
	保管方法	電源ボタンを「OFF」に切り替え、ブレーキをかけて保管
	メーカーによるメンテナンス	不具合などがあれば弊社フィールドサービス事業部までお問合せください。
	ユーザーによるお手入れ	適宜製品のクリーニング又は消毒
	消耗品の有無	有 (移乗用スリング、バッテリー等)
	保証期間	無償保証期間：購入月から1年間
	修理対応期間	製造販売終了後、7～10 年間まで
	耐用年数	平均耐用年数：10 年
コスト	本体・付属品の定価	本体定価 980,000 円 (非課税) 付属品定価 (腹部ベルト) 56,000 円 (非課税) ※本体1台につきベルト1枚までが非課税
	設置導入に伴う費用	本体と付属品費用+配送費用
	ランニングコスト	特になし
オプション	追加できる機能	特になし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6435-6401
	デモ・貸出	常時承っております。お気軽にご相談下さい。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.arjo.com/ja-jp/products/safe-patient-handling/standing-and-raising-aid/sara-flex/>



取扱説明書

<https://qbank.arjo.com/productdocumentation/04.KL.00.JA%20rev.%206.pdf>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=ONQqvnRlvlg&t=1s>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

アルジョ・ジャパン株式会社

マキシムーブ

品番・型番

KMCEXN-D-28



機器の概要

機器の機能

マキシムーブは、ご自身の力で動けない利用者の移乗支援を一人介助で行えるように設計された移乗機器です。垂直昇降式で床からの移乗もでき持ち上げ時に不快な揺れが生じません。オプションバーの組み合わせで、移乗、着替え、トイレ、入浴など幅広い用途にご利用頂けます。センサーが搭載されたスプレッダーバーにより利用者を的確な位置に移乗します。移乗シートは低摩擦で肌に優しい素材で利用者を安全に包み込みます。



※実機は低床キャスターです

機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

【推奨環境】

- ・硬めの床材（毛足の長い絨毯以外）
- ・周辺に干渉するものがない場所
- ・車いす用トイレへの移乗を推奨
- ・防水性能：IPX4（ハンドコントローラー部は完全防水のIPX7）

試用期間中のサポート

安全にお使い頂く為に試用前に製品説明と実演をご提供致します。運用のご相談や使用方法についてご不明点等ございましたらお気軽にご連絡下さい。直接訪問が難しい場合はオンラインによるリモート式対談も承ります。

貸出期間	通常1-2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **アルジョ・ジャパン株式会社**

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-7-8 ランディック第2虎ノ門ビル9階

TEL 03-6435-6401

MAIL nobuaki.nakanishi@arjo.com

所属部署 営業部

担当者名 中西伸明



機器の仕様

販売開始

2018年8月

販売価格

1,700,000円 (非課税)

マキシムーブ

【製品仕様】

最大安全耐荷重 227 kg (延長ジブ使用時 130 kg)
 本体重量 (スプレッダーバーとバッテリーを含む) 70 kg
 上昇時の最高値 1575 mm
 下降時の最小値 225 mm
 上下昇降ストローク長 1350 mm
 保管時のサイズ (高さ) 1402 mm
 閉脚時外寸 (幅) 718 mm
 開脚時外寸 (幅) 1196 mm
 閉脚時内寸 (幅) 578 mm
 開脚時内寸 (幅) 1074 mm
 リフトの保護等級 I P X 4
 コントロール手元スイッチの保護等級 I P X 7
 バッテリー 24 V、4Ah

バッテリー充電インジケーター
 サービスメーター - 合計使用時間 (時間単位) を表示
 緊急停止及びシステム故障時のオーバーライド
 自動安全停止機能 (下降時の障害物接触で作動)
 低床用&低摩擦キャスター (後方2輪ブレーキ付)
 オプション: 計量測定機能 (後付け不可)



機器の使用場面

製品

メーカー名 アルジョ・ジャパン株式会社

製品名 **マキシムーブ**

型番 KMCEXN-D-28

製品情報

	項目	内容	
適用	対象者（高齢者・介護者）	【高齢者】・適身身長 特になし ・適用体重 227kg 未満の方 【介護者】 機器の操作が理解できる介護者	
	専門職の関与	・専門職の関与は特になし	
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外での使用（凹凸のある道等）	
使用上の注意	注意事項	・推奨しない保管場所：湿度が高い場所（80%以上）や濡れた場所での長期保管（製品の腐食防止の為）	
	安全に利用するための配慮	広さ、床面の状態、障害物の確認等	
	倫理面の配慮	利用者への同意やプライバシーに関する配慮等。	
使用方法	使用方法	【機器操作方法の流れ】 ※ご使用前に必ず操作説明を受けて下さい。 (車いすからマキシムーブへの移乗) 1. 起動：本体の電源ボタン緑を押す。 2. 脚部幅調整：車いす幅に合わせてシャーン脚部を電動ボタンで開きます。 3. 移乗用スリング（以下：スリング）の敷き込み：車いすの背もたれと利用者の隙間からスリング臀部の縁を車いすの座面付近まで差し込みます。 4. スリング大腿部を利用者に沿って広げ大腿部下に敷き込み、腿内側にスリングの脚部クリップがくるようにします。 5. スリングをマキシムーブへ取付：本体のスプレッダーバーにスリングのクリップが取り付けられる位置までマキシムーブを近づけます。 6. 利用者を乗せて上昇：コントローラーの「上ボタン」を押し上昇します。利用者は前方のバー部分に手で掴まることができます。 ※揺れが無く、垂直に上昇しますので怖がりな方でも安心して乗ることができます。 7. 移動：対面式ですので利用者と会話を楽しみながら介助者は後方歩行もしくは平行の向きで移動します。(移動中はシャーン脚部を閉じた方が移動しやすいです) ※利用者を乗せて上昇する際は、クリップ部にテンションが掛かった時に一時停止し、クリップ4箇所がスプレッダーバーに掛かっていることを確認してください。 ※臀部が完全に浮いた後は長時間の移動は控え、簡潔に行ってください。	
	使用環境	・動作環境：(温度 5°～40℃、湿度 15%～93%)	
	使用場面	ベッド⇔車いす、車いす⇔トイレ、車いす⇔シャワーチェア等	
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約1～2か月	
	高齢者に対する安全面の配慮	対象者の健康状態の確認	
	介護者に対する安全面の配慮	腰の負担が無い姿勢での介助が可能	
	効果	使用することで実現する高齢者への効果	移乗時の緊張緩和による負担軽減と拘縮予防。尊厳の維持。
		使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる。介護者の高齢化による身体的理由の離職軽減。
使用することで実現する施設への効果		労働環境改善、職場の魅力向上	
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室、脱衣室、トイレ	
	サイズ	幅 770mm×奥行 1118mm×高さ 1402-2213mm	
	重量（バッテリー含む）	64.5kg	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー	0から満充電まで6時間程度
	連続使用時間	2-3時間程度
	連続使用回数	100 回程度
	使用時の音	昇降音
	緊急発報の方法	バッテリー残量低下時にピープ音にて発報
	安全性の認証取得	IEC 60601-1-1 適合、ISO 10535 取得
	防水・防塵加工	IPX4 ※ハンドコントローラー部はIPX7
	稼働方式	垂直昇降式
	必要な通信環境	なし
	データの記録機能、有無と内容	あり：(データ内容：利用頻度、総ストローク回数等)
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	特になし
	保管方法	電源ボタンを「OFF」に切り替え、ブレーキをかけて保管
	メーカーによるメンテナンス	不具合などがあれば弊社フィールドサービス事業部までお問合せください。
	ユーザーによるお手入れ	洗浄方法（清拭）：温水と中性洗剤で湿らせた布で残留物を除去しながら拭き取ります。洗剤が残っているときは、きれいな水ですすぎます。最後に乾いた布で拭き取ってください。
	消耗品の有無	有（移乗用スリング、バッテリー等）
	保証期間	無償保証期間：購入月から1年間
	修理対応期間	製造販売終了後、7～10年間まで
	耐用年数	平均耐用年数：10年
コスト	本体・付属品の定価	本体定価 1,700,000 円（非課税）
	設置導入に伴う費用	なし
オプション	追加できる機能	計量測定機能 ※計量測定無しとは品番と定価が異なります
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6435-6401
	デモ・貸出	常時対応可能

パンフレット等

製品カタログ <https://axel.as-1.co.jp/asone/d/64-8882-39/>



取扱説明書 <https://qbank.arjo.com/productdocumentation/001.25060.JP%20rev.%2017.pdf>



使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=M12VEI7ycgE>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

RT.ワークス株式会社

ロボットアシストウォーカーRT. 1

品番・型番

RT1-01RDN (レッド)
RT1-01BKN (ブラック)

機器の概要

機器の機能

ハンドルに手を添えて歩くだけの簡単操作で、センサーとモータを使ったロボット技術により坂道を上る時はパワーアシストで軽々と楽に、坂道を下る際には自動減速を行い、さらに手をハンドルから離すと自動ブレーキがかかるので安心、快適な歩行をサポート。又、通信機能を搭載、GPSとインターネットを利用した様々なサービスで歩行距離等の確認、「見守り機能」や「緊急通知機能」で離れて暮らす家族にも安心を提供。



機器の写真



機器の貸出

試用期間中のサポート

RT.ワークスサポートセンターにて、電話・メールで使用方法等サポート致します。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 RT. ワークス株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道 1-10-26

TEL フリーコール 0120-959-537 MAIL support-rtw@rtworks.co.jp

所属部署 RT. ワークス サポートセンター 担当者名 松井由江



機器の仕様

販売開始

2015年7月

販売価格

250,800円(税込)

TAISコード

01560-000002



ロボットアシストウォーカーRT. 1

- ・サイズ：全幅 510 × 全長 601 × 高さ 819 ~ 1019mm
※折畳可能、車トランク積載可能
- ・重量：約 15kg
- ・ハンドル形状：T字型（シルバーカータイプ）
- ・ハンドル高さ：750 ~ 950mm（5段階調節可能）
- ・荷物積載重量：10kg
- ・電源：リチウムイオンバッテリー（専用充電器付属）
- ・充電時間：約 2時間
- ・連続動作時間：連続歩行 4時間以上
- ・防水機能：防雨型（IPX3規格準拠）



機器の使用場面

製品

メーカー名 RT. ワークス株式会社

製品名 **ロボットアシストウォーカーRT.1 01560-000002**

型番 RT1-01RDN (レッド)、RT1-01BKN (ブラック)

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (高齢者)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行に少し不安のある方 生活環境に坂道等が多い方 傾いた道路などで蛇行歩行により歩行安定が図れない方 買い物など重い荷物を積載しての歩行シーンが多い方 リウマチや手のこわばりなどブレーキ操作が難しい方 パーキンソン病や股関節可動域制限のある方
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 座面の上に乗ったり、ペット等の生体運搬には使用しない 歩行以外の用途に使用しない 急な坂道では使用しない 雨の日は使用しない
	安全に利用するための配慮	電源「切」やバッテリー残量無しの際には坂道を歩行しない
使用方法	使用方法	バッテリーを装着し、電源を入れて押し歩く
	使用環境	屋外、屋内、0～40℃
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> お買物 (重い荷物を積載して歩行) 散歩 リハビリ
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ハンドル高さを適正に調整する アシスト力、ブレーキ力、速度制限の設定値を適正に設定する
効果	使用することで実現する高齢者への効果	歩行時の転倒防止、歩行意欲の向上により歩行距離、歩行時間、外出頻度の増加
	使用することで実現する介護者への効果	歩行介助時の負担軽減 (付き添い介助から見守り介助へ)
	使用することで実現する施設への効果	利用者の転倒未遂 / 事故率の低減 / 歩行介助の負担軽減による職員の離職率低減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋外、屋内、傾斜路面
	サイズ	使用時 W510×L601×H819～1019mm (ハンドル高さ H750～950mm で5段階調節可能) 折畳時 W510×L487×H714mm
	形状	四輪シルバーカー (手押し車型)
	重量	約 15kg
	積載量	最大 10kg
	電源・バッテリー	リチウムイオンバッテリー (専用充電器付属)
	充電時間	約2時間
	連続使用時間	連続歩行4時間以上
	緊急発報の方法	緊急時アラート音発声： 転倒時 「転倒しています」 傾斜 10 度以上を感知時 「急斜面です、注意してください」 バッテリー残量が少ない 「バッテリー残量が少なくなっています、お早めに充電してください」 前輪が地面から浮いている時 「前のタイヤが地面から離れました、タイヤを地面に下して歩いて下さい」 緊急時メール通知 (ネットワーク機能)： カート転倒やバッテリー残量がなくなった時など異常状態を関係者宛にメール送信

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	安全性の認証取得	・生活支援ロボットの安全性に関する国際規格ISO13482認証取得 ・バッテリー充電器はPSE（電気用品安全法）適合
	防水・防塵加工	防雨型（IPX3規格準拠）
	稼働方式	電源ボタンを押下
	必要な通信環境	ネットワーク機能作動に3G通信環境が必要
	データの記録機能、有無と内容	ネットワーク機能を本体に内蔵、専用サーバーで歩行記録等記録
	他の機器との連携・互換性	ネットワーク機能により、歩行記録等はパソコン、スマートフォンにて確認可能
メンテナンス	準備・片付け	バッテリーの充電
	保管方法	直射日光や雨、露を受けない風通しの良い場所で保管
	ユーザーによるお手入れ	・ハンドル / 車体 / タイヤ等に過度なガタがないことを確認 ・手動ブレーキが正常に作動することを確認 ・車体の汚れは絞った濡れ布で拭き取る
	消耗品の有無	・タイヤ（前・後） ・バッテリーパック
	保証期間	お買い上げ日より1年間
	耐用年数	約5年間
コスト	本体・付属品の定価	本体 250,800 円（税込）
	ランニングコスト	1回の充電にかかる電気代 / 概算 1.14 円
オプション	追加できる機能	通信サービス / おさんぽけあサービス ※ネットワーク機能を利用するには別途契約が必要です
問合せ先	緊急時の問合せ先	RT. ワークス サポートセンター 0120-959-537
	よくある質問（Q&A）	Q：車に載せることはできますか？ A：折り畳んだ状態で、タクシー等のトランクにも搭載可能です。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.rtworks.co.jp/>

取扱説明書

<https://www.rtworks.co.jp/>

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

RT.ワークス株式会社

ロボットアシストウォーカーRT. 2

品番・型番

RT2-01RD (レッド)
RT2-01CG (シャンパンゴールド)

機器の概要

機器の機能

ロボット技術により路面状況や速度超過などを検知し、自動の電動アシスト機能が安心・快適な歩行を実現。上り坂はパワーアシストで楽にのぼれ、下り坂では適度に減速、傾いた道もハンドルをとられることなく進み、速度超過の際には自動減速して転倒を防ぎます。歩行レベルや使用環境に合わせて速度やブレーキなどを4段階に調節可能、音声で歩行距離等を教えてくれるおしゃべり機能付き。介護保険の福祉用具レンタル対象。



機器の写真



機器の貸出

試用期間中のサポート

RT.ワークスサポートセンターにて、電話・メールで使用方法等サポート致します。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 RT. ワークス株式会社

〒537-0025 大阪市東成区中道 1-10-26

TEL フリーコール 0120-959-537 MAIL support-rtw@rtworks.co.jp

所属部署 RT. ワークス サポートセンター 担当者名 松井由江



機器の仕様

販売開始

2016年7月

販売価格

129,800円(税込)

TAISコード

01560-000003



ロボットアシストウォーカーRT. 2

- ・サイズ：全幅550×全長740×高さ735～860mm
※折畳可能、車トランク積載可能
- ・重量：約9kg
- ・ハンドル高さ：725～850mm（6段階調節可能）
- ・荷物積載重量：5kg
- ・電源：リチウムイオンバッテリー（専用充電器付属）
- ・充電時間：約3時間
- ・連続動作時間：連続歩行4時間以上
- ・防水機能：防雨型（IPX3規格準拠）



機器の使用場面

製品

メーカー名 RT. ワークス株式会社

製品名 **ロボットアシストウォーカーRT. 2 01560-000003**

型番 RT2-01RD (レッド)、RT2-01CG (シャンパンゴールド)

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (高齢者)	<ul style="list-style-type: none"> 歩行に少し不安のある方・生活環境に坂道等が多い方 リウマチや手のこわばりなどブレーキ操作が難しい方、歩行器をあきらめた方 パーキンソン病や股関節可動域制限のある方 傾いた道路などで蛇行歩行により歩行安定が図れない方 買い物など重い荷物を積載しての歩行シーンが多い方 適応身長：135～165cm (165～185cmの方向向けにトールタイプもあり)
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 座面の上に乗ったり、ペット等の生体運搬には使用しない 歩行以外の用途に使用しない 急な坂道では使用しない 雨の日は使用しない
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 電源「切」やバッテリー残量無しの際には坂道を歩行しない
使用方法	使用方法	バッテリーを装着し、電源を入れて押し歩く https://www.youtube.com/watch?v=IXKZQR8iApc
	使用環境	屋外、屋内、0～40℃
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> お買物 (重い荷物を積載して歩行) 散歩 リハビリ
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ハンドル高さを適正に調整する アシスト力、ブレーキ力、速度制限の設定値を適正に設定する
効果	使用することで実現する高齢者への効果	歩行時の転倒防止、歩行意欲の向上により歩行距離、歩行時間、外出頻度の増加
	使用することで実現する介護者への効果	歩行介助時の負担軽減 (付き添い介助から見守り介助へ)
	使用することで実現する施設への効果	利用者の転倒未遂 / 事故率の低減 / 歩行介助の負担軽減による職員の離職率低減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋外、屋内、傾斜路面
	サイズ	使用時 W550×L740×H735～860mm (ハンドル高さ H725～850mm で6段階調節可能) 折畳時 W260×L740×H735mm
	形状	四輪歩行器 (手押し車型)
	重量	約 9kg
	積載量	最大 5kg
	電源・バッテリー	リチウムイオンバッテリー (専用充電器付属)
	充電時間	約3時間
	連続使用時間	連続歩行4時間以上
	緊急発報の方法	緊急時アラート音発声: 転倒時 「転倒しています」 傾斜 10 度以上を感知時 「急斜面です、注意してください」 バッテリー残量が少ない 「バッテリー残量が少なくなっています、お早めに充電してください」 前輪が地面から浮いている時 「前のタイヤが地面から離れました、タイヤを地面に下して歩いて下さい」

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	安全性の認証取得	・生活支援ロボットの安全性に関する国際規格ISO13482認証取得 ・バッテリー充電器はPSE（電気用品安全法）適合
	防水・防塵加工	防雨型（IPX3規格準拠）
	稼働方式	電源ボタンの押下
メンテナンス	準備・片付け	バッテリーの充電
	保管方法	直射日光や雨、露を受けない風通しの良い場所で保管
	ユーザーによるお手入れ	・ハンドル / 車体 / タイヤ等に過度なガタがないことを確認 ・手動ブレーキが正常に作動することを確認 ・車体の汚れは絞った濡れ布で拭き取る
	消耗品の有無	・タイヤ（前・後） ・バッテリーパック
	保証期間	お買い上げ日より1年間
	耐用年数	約5年間
コスト	本体・付属品の定価	本体 129,800円（税込）
	ランニングコスト	1回の充電にかかる電気代 / 概算 1,14円
問合せ先	緊急時の問合せ先	RT. ワークス サポートセンター 0120-959-537
	よくある質問（Q&A）	Q：おしゃべり機能の音量調整はできますか？ A：音量はオフも含めて8段階で調節できます。尚、音量オフ設定でも転倒時等の緊急時音声は必ず発するようになっています。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.rtworks.co.jp/>

取扱説明書

<https://www.rtworks.co.jp/>

使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/channel/UCXp4R-FA-aMveFQGgixiaWw>

製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

排尿予測デバイス「DFree」

品番・型番

DFree-U2



機器の概要

機器の機能

超音波センサーで膀胱の大きさを捉え、排尿タイミングをお知らせする世界初の排泄予測デバイス「DFree（ディー・フリー）」です。排尿前後のお知らせを事前に行うことで、トイレ誘導とおむつ交換の空振り削減や、利用者の自立排泄と失禁減少をサポートします。また、夜間の起き上がりを検知する機能も搭載されており、夜間の転倒予防にも役立ちます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

ご利用には、DFree 本体と中継機に加えて、消耗品として、装着補助シート・テープと超音波用のジェルが必要となります（試用貸出期間中は無償サンプル提供）。Wi-Fiの環境がない場合でも別途SIMカードを使って、利用できます。

試用期間中のサポート

オンラインによる研修、電話・メール等による問い合わせ対応及びフォローアップ

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社
〒105-0001 東京都港区虎ノ門一丁目4番5号 文芸ビル5階
TEL 03-5459-1295 MAIL care@www-biz.co
所属部署 カスタマーサポート 担当者名 小林正典



機器の仕様

販売開始

2021年6月

販売価格

330,000円 (税込)

排尿予測デバイス「DFree」

■デバイス仕様

- ・大きさ：W51 × D36 × H17 (mm)
- ・重さ：26 g
- ・防水性：水洗い可能
- ・通信方法：Bluetooth
- ・動作時間：約 26 時間 (満充電には約 4 時間必要)
- ・その他：ケーブルレス、充電式リチウムイオン電池

■アプリ仕様

- ・スマートデバイス：iOS (12.0 以上)
- ・パソコン：Google Chrome 推奨

排
泄
支
援



機器の使用場面

製品

メーカー名 トリプル・ダブリュー・ジャパン株式会社

製品名 **排尿予測デバイス「DFree」**

型番 DFree-U2

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	排泄時の介助が必要な高齢者
	対象者（介護者）	排泄の介助を行う介護者
禁止事項	禁止事項	充電しながら、ご利用しないでください。 肌に赤みやかぶれが発生した場合、利用を中止してください。 ペースメーカー等、医療機器との併用はしないでください。
使用上の注意	注意事項	汚れが発生した場合、水洗いを行ってください 利用者の半径 10 ～ 15m 程度に中継機を設定してください
	安全に利用するための配慮	充電しながらの利用はできないように配慮している 専用の装着シート（メディカルテープ）を準備しており、肌への負担を最小限にするよう配慮をしている
	倫理面の配慮	・センサーにより収集した超音波による膀胱データは個人を特定しない形で当社のサーバーにアップロードされる ・データは当社クラウドサーバー（AWS）のセキュアな環境にて保管・管理されている
使用方法	使用方法	超音波センサーを下腹部に装着し、膀胱の尿のたまり具合をモニタリング 膀胱の尿のたまり具合を 10 段階で数値化し、iPad/iPhone/PC 等に表示 尿が一定量たまると、トイレ誘導のタイミングをお知らせする
	使用環境	Wi-Fi完備（各居室まで）の施設または、ドコモ回線の電波が届く施設 ※ドコモ回線を利用する場合、通信料別途
	使用場面	トイレ誘導時の空振り減少 トイレでの自立排尿うながし おむつ・パッド交換の最適化
	高齢者に対する安全面の配慮	・充電中は使用できないように配慮している ・利用者が食べられない大きさにしている
	介護者に対する安全面の配慮	・充電中は使用できないように配慮している
効果	使用することで実現する高齢者への効果	自立支援（自立排泄向上、失禁減少）
	使用することで実現する介護者への効果	排泄介助業務の負担軽減
	使用することで実現する施設への効果	消耗財（おむつ・パッド等）の減少

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	大きさ	W51 × D36 × H17 (mm)
	重さ	26g
	電源	内臓リチウムイオン電池
	動作時間	約 26 時間 (満充電には約4時間必要)
	通信方式	Bluetooth® LE 5.0
メンテナンス	準備・片付け	機器を充電して、中継機を通信可能な場所にセット
	保管方法	直射日光の当たらない場所
	メーカーによるメンテナンス	なし (故障等の場合、無償交換)
	ユーザーによるお手入れ	有 (アルコール消毒・水洗い)
	消耗品の有無	有
	保証期間	3年
	修理対応期間	3年
	耐用年数	3年
コスト	本体・付属品の定価	1台 330,000 円 (税込)
	ランニングコスト	消耗品 (ジェル・装着シート)、通信費 (Wi-Fi を利用できない場合)
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	排泄ケア記録 (無料)、おむつ・尿とりパッド月額定額プラン
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-5459-1295
	よくある質問 (Q&A)	以下よりご確認ください。 https://tayori.com/faq/1b4d9ef23e7016eb3994162ac6bc306754e84a1f

パンフレット等

製品カタログ <https://dfree.biz/professional/>



使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=wzlb68WQBD8>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社リリアム大塚

リリアムスポット2

品番・型番

USP200



機器の概要

機器の機能

超音波で膀胱内の尿のたまり具合の確認ができます。音声ガイダンスと音で操作をナビゲートすることにより、ボタン1つで操作することが可能です。尿のたまり具合を目盛りで表示し、トイレ介助の適切なタイミングの予測を支援します。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

貸出に際しては、超音波ジェルや充電ケーブルなど必要なアイテムをセットでお貸しいたします（往復送料当社負担）。

試用期間中のサポート

ご不明な点がございましたらリリアム大塚サポートセンターへご連絡ください。

貸出期間	1週間から(応相談)
貸出可能台数	1台(応相談)

問い合わせ先 株式会社リリアム大塚

〒252-0239 神奈川県相模原市中央区中央1-1-1 ジブラルタ生命相模原ビル

TEL 0120-543-563 MAIL Liliium-inq@otsuka.jp

所属部署 リリアム大塚サポートセンター



機器の仕様

販売開始

2021年7月

販売価格

99,000円(税込)

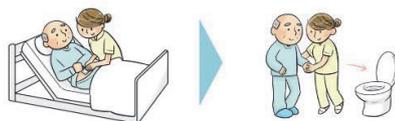
リリアムスポット2

サイズ:幅45×奥行40×高さ150mm、重量:160g、材質:ABS樹脂、電源:内蔵充電電池(マイクロUSB充電ケーブル付属)、音声ガイダンス用スピーカー、有機EL表示ディスプレイ搭載。

排泄支援

効率的なトイレ誘導に

「尿意の曖昧な方」等に対し
蓄尿状態の確認の上、トイレ誘導を判断してください。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社リリアム大塚

製品名 **リリアムスポット2**

型番 USP200

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	尿意が曖昧な方や尿意を頻繁に訴える方など
	対象者（介護者）	トイレ誘導による負担を感じている方など
禁止事項	禁止事項	本製品を水洗いしない、火気に近づけない、電子レンジに入れない等
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・利用時には、必ず超音波ジェルをつけてお使いください。 ・濡れた手で触ったり、お風呂などで使用しないようにご注意ください。 ・高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。
	安全に利用するための配慮	製品本体より音声ガイダンスが流れます。その他、取扱説明書をご確認ください。
	倫理面の配慮	個人情報保護規定を制定し情報管理を徹底しております。
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・プローブ部にジェルを塗り、ボタンを押すと起動と同時に測定が開始されます。 ・画面のゲージが一番高くなる位置（尿が多いところ）を探し、音声ガイダンスに沿って本体を傾けると結果が表示されます。 ・詳細については、必ず取扱説明書や動画をご参照ください。
	使用環境	ベッドや椅子があるスペースでご使用ください。
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ誘導のタイミングがうまく合わずに失禁されている方の確認に。 ・尿意が曖昧な方に対して尿のたまり具合の確認とトイレ誘導に。 ・尿意を頻繁に訴える方に対しての尿のたまり具合の確認に。 ・排尿後の尿出し切れているかの確認（医療と介護の切り分け） など
	高齢者に対する安全面の配慮	音声ガイダンスの音量調整機能あり
	介護者に対する安全面の配慮	落下防止の為、ストラップホールがあります。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	<p>排尿回数の減少と1回排尿量の増加、尿意の回復によるオムツが取れる可能性があります。</p> <p>排尿回数減少と1回排尿量の増加については、学会報告あり（岩田研二ほか、日本排尿機能学会、2019）。その他超音波支援トイレ誘導については、本邦でも多くの研究成果が報告され、排尿習慣の再学習として、一定の有効性がガイドラインでも示されています。（WHOほか）</p>
	使用することで実現する介護者への効果	トイレ誘導回数の低下と心理的負担が軽減する可能性
	使用することで実現する施設への効果	おむつ廃棄にかかる費用削減や排尿自立による要介護度が改善する可能性
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	ベッド付近や、トイレ付近など
	サイズ	幅 45mm × 奥行 40mm × 高さ 150mm
	形状	スティック状
	重量	0.16kg
	電源・バッテリー	充電式電池（充電ケーブル付属） 定格：DC2.4V/1.7W
	充電時間	2時間
	連続使用時間	100分
	使用時の音	あり。音声ガイダンスの音量調整機能（無音=0, 1, 2）
	緊急発報の方法	なし
	安全性の認証取得	なし
	防水・防塵加工	IPX1（プローブ部のみ防水対応として滴下する水に対する保護）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	必要な通信環境	不要
	必要なシステム・設備	不要
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	準備・片付け	充電ケーブル（同梱）によりご使用前に充電ください。使用後はジェルをふき取ってください。
	保管方法	ほこりの多いところ、高温多湿、直射日光を避け、結露しないように保管
	メーカーによるメンテナンス	保証期間中は無償で補修を実施します
	ユーザーによるお手入れ	本製品のご使用後は、プローブ部をティッシュペーパーなどできれいに拭き取り常に清潔に保ってください。
	消耗品の有無	超音波ジェル（貸与時に同梱します）
	保証期間	1年間
	修理対応期間	保証期間を超えても対応します。
コスト	耐用年数	1年間
	本体・付属品の定価	99,000円（税込・送料無料）
	ランニングコスト	充電にかかる電気代以外には、超音波ジェルの費用がかかります。
オプション	教育研修費	不要
	追加できる機能	プログラムアップデートがあった場合、随時機能を更新します。（未定）
問合せ先	緊急時の問合せ先	リリアム大塚サポートセンター 0120-543-563（フリーダイヤル）
	よくある質問（Q&A）	<p>Q どの姿勢で使用したらよいですか？ A 仰向け（顔・体を上に向けること）に寝た姿勢での使用をお勧めしています。</p> <p>Q 服や下着の上から使用できますか？ A 服や下着の上からは使用できません。直接肌にあててご使用ください。 また、肌に密着させるために、使用の際には「超音波ジェル」が必要になります。</p> <p>Q 充電はどのようにしたらよいですか？ A 付属の USB ケーブルを使用して USB - AC アダプター（必要に応じて用意ください） あるいはパソコンから行うことができます。 なお、USB - AC アダプターは次の仕様を満たす製品をご使用ください。 ①本体に P S E マークがあること ②入力が AC100V であること ③出力が 5V 1A であること</p>

パンフレット等

使用方法等の動画 https://www.lilium.otsuka/lilium_spot/movie/



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社アム
水洗式ポータブルトイレ
「流せるポータくん」3号洗浄便座付き

品番・型番

SPF15-3-SB



機器の概要

機器の機能

流せるポータくんは電動ポンプ圧送式水洗トイレです。ボタンを押すだけで汚物を排水設備に流します。汚物処理の必要が無いので、①介護負担が軽減②居室の臭い③利用者の気兼ねによる我慢が無くなります。流せるポータくんをご利用頂いた施設さんからは業務改善だけでなく、転倒転落防止に役立つ等、現場の介護スタッフ様の評判も良好です。室内の洗面設備を利用出来れば最短2時間程度で設置可能で、直ぐにご利用頂けます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

電源・給排水設備を必要としますが、お部屋での導入方法等ご提案致します。

試用期間中のサポート

機器・設備の保守・メンテナンス等 ご要望下さい。

貸出期間	2～3ヶ月程度
貸出可能台数	2台

問い合わせ先 株式会社アム

〒929-0426 石川県河北郡津幡町竹橋西 179-1

TEL 076-288-8655 MAIL pota@am-co.co.jp

所属部署 福祉事業部 担当者名 河口泰範



機器の仕様

販売開始

2016年1月

販売価格

382,800円 (税込)

TAISコード

00994-000013



水洗式ポータブルトイレ 「流せるポータくん」3号洗浄便座付き

□効果・効能

- ①介護者のバケツ清掃の時間が無くなります。
- ②居室内の臭いが無くなります。
- ③利用者の臭いや遠慮からの我慢が無くなります。
- ④転倒転落等の事故防止に繋がります。
- ⑤排尿排泄が増えて、積極的に水分摂取するようになります。

□適用

座位が保てる方 又は介助者や補助器具を使って座位を保てる方

□外形寸法

[幅]58cm[奥行]71cm[高さ]60cm [座面高さ]標準便座 39cm

洗浄便座付き 41cm

重量：25kg

電源：AC100V (50Hz/60Hz)

定格消費電力：310W/306W(50Hz/60Hz)

使用者体重：80kg以下

□材質

[本体]FRP樹脂、ポリエチレン

[手すり]ステンレス、ウレタンフォーム

[ホース]軟質塩化ビニル

[壁ジョイント]塩化ビニル、黄銅

※通常の水洗トイレと同じ様に洗剤・掃除ブラシ等で掃除出来ます。



機器の使用場面 手押し



機器の使用場面 足踏み

製品

メーカー名 株式会社アム

製品名 水洗式ポータブルトイレ「流せるポータくん」3号洗浄便座付き 00994-000013

型番 SPF15-3-SB

製品情報

	項目	内容	
適用	対象者（高齢者）	座位が保てる方 又は介助者や補助器具を使って座位を保てる方。	
	対象者（介護者）	介護者全員が対象です。 ※使用に訓練や研修は必要ありません。	
禁止事項	禁止事項	トイレトーパー・排泄物 以外の物は流せません。	
使用上の注意	注意事項	停電時は使用出来ません。	
	安全に利用するための配慮	使用者体重 80kg 程度にして下さい。	
	倫理面の配慮	利用者の状態・意向に沿って目隠しパーテーション等を使用して下さい。	
使用方法	使用方法	通常、ボタンを押すだけです。 ※スイッチは変更出来ません。	
	使用環境	給排水の設備が必要です。	
	使用場面	バケツ式のポータブルトイレと同じです。	
	高齢者に対する安全面の配慮	移乗・機器の利用に介助が必要な場合は介助が必要です。	
効果	使用することで実現する高齢者への効果	自発的な排泄、積極的な水分補給、トイレ回数の増加、ADL低下防止	
	使用することで実現する介護者への効果	バケツ清掃の時間と手間の削減	
	使用することで実現する施設への効果	居室の臭いの削減、利用者のQOL向上、利用者家族の満足	
仕様、構造	外形寸法	[幅]58cm[奥行]71cm[高さ]60cm	
	座面高さ	標準便座 39cm 洗浄便座付き 41cm	
	重量	25kg	
	電源	AC100V (50Hz/60Hz)	
	定格消費電力	310W/306W(50Hz/60Hz)	
	使用者体重	80kg 以下	
	材質	[本体]	F R P 樹脂、ポリエチレン
		[手すり]	ステンレス、ウレタンフォーム
		[ホース]	軟質塩化ビニル
		[壁ジョイント]	塩化ビニル、黄銅

製品情報

	項目	内容
メンテナンス	準備・片付け	設置時に配管取付けが必要です。以降は特にありません。
	保管方法	特にありません。
	メーカーによるメンテナンス	定期メンテナンス等はありません。
	ユーザーによるお手入れ	通常の水洗トイレと同様に清掃して下さい。
	消耗品の有無	特にありません。
	保証期間	メーカー保証1年間、保証期間後も部品交換等のご対応をします。
	修理対応期間	地域に依ります。
	耐用年数	※特に規定はありませんが、長い方で10年程度使用されています。
コスト	本体・付属品の定価	本体希望小売価格 ¥382,800 (税込)
	ランニングコスト	電気・上下水道を使用します。
	教育研修費	必要ありません。
オプション	追加できる機能	標準便座タイプ、暖房便座タイプ、脱臭機能、リモコン付き
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社アム北陸本社【TEL】076-288-8655
問合せ先	よくある質問 (Q&A)	詰まりませんか?と質問を頂く事が多いです。 下記のQRコード又はwebサイトから動画をご覧下さい。

パンフレット等

製品カタログ <http://www.pota-kun.jp>



使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=7lYVNFiqLK8>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社キュラコジャパン

自動排泄処理装置 キュラコ

品番・型番

CURA-100-B03



機器の概要

機器の機能

寝たまま排泄できる洗浄機能付きトイレ。トイレへの移動が困難な方や便の処理が困難な方などが、排泄する際に使用。紙おむつを使用せず、専用カバーとレシーバーを陰部に装着。排泄物（大小便）を感知、吸引、洗浄、乾燥までの全ての過程を自動で処理をし、衛生的で介護される側する側双方に優しい自動排泄処理装置（介護ロボット）。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

使用環境は、ベッドや寝具の横に本体を設置するため、設置スペースと電源の確保が必要。専用カバーの装脱着や汚物タンクに溜まった排泄物をトイレへ処理する事、洗浄水タンクへ給水するなど介助者が必要となる。

試用期間中のサポート

試用期間中のサポート（取扱い説明など）は総代理店の株式会社ウイズにて対応致します。

貸出期間	1週間～1ヶ月以内
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 総代理店：株式会社ウィズ

〒564-0042 大阪府吹田市穂波町 19-25

TEL 06-6310-9090 HP <http://www.hello-with.com>

所属部署 卸部 担当者名 岡田文晴



機器の仕様

販売開始

2013年4月

販売価格

795,000円(税込)

TAISコード

01834-000003



自動排泄処理装置 キュラコ

【本体】サイズ：幅42cm 高さ49cm 奥行き70.8cm 重量：23kg 汚物タンク容量6L 洗浄水タンク5L 洗浄水温度35℃～39℃（段階別調整可能）電源AC100V・50/60Hz

【レシーバー】サイズ：幅8cm 高さ15.8cm 奥行き36cm 重量：2.6kg

本体の液晶画面の下に便、尿、汚物、洗浄水、交換、点検のマークがあり、自動モードを実行させると、大小便を感知したキュラコは吸引、洗浄（お湯・ノズルが上下に動きしっかりと洗浄・自動でノズルやカップ内も洗浄）、温風乾燥まで全自動で動作。手動モードでは、カップの洗浄やおしり、ビデなどを手動で動作する場合に使用。本体の内部は、洗浄水タンク、汚物タンク、脱臭フィルターがあり、汚物タンクの悪臭や細菌は内部の脱臭フィルターとUVランプで空気を浄化、消臭される。レシーバーは、尾骨部分の骨が圧迫しにくいコンパクト設計をしており、肌に密着する部分はシリコンクッションにより当たりを和らげている。キュラコは利用者の性別に合わせて男性用レシーバーと女性用レシーバーがあり、体型に合わせてアジャスター調整が可能である。専用の装着カバーにより身体にフィットする。

排泄支援



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社キュラコジャパン

製品名 **自動排泄処理装置 キュラコ 01834-000003**

型番 CURA-100-B03

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (高齢者)	基本的には、要介護4又は5の方。
	対象者 (介護者)	認知面が保たれおり、機器の操作や排泄物を処理するなどができる方
禁止事項	禁止事項	重度な屈曲拘縮や重度な肥満体型又は痩せている方
使用上の注意	注意事項	完全な側臥位は漏れてしまうため注意が必要
	安全に利用するための配慮	装着したレシーバーによる発赤や痛みがでないように配慮
	倫理面の配慮	プライバシーの確保、ご本人・ご家族の意向の尊重
使用方法	使用方法	専用レシーバーを装着し、操作パネルを自動モードに設定すると完了
	使用環境	ベッド上仰臥位
	使用場面	排尿排便の時間帯のみ使用など (例えば夜間帯のみ使用)
	高齢者に対する安全面の配慮	皮膚トラブル、発赤、痛みなど
	介護者に対する安全面の配慮	機器の操作、排泄物の処理など
効果	使用することで実現する高齢者への効果	清潔保持、精神的負担軽減
	使用することで実現する介護者への効果	オムツ介助の軽減 (介護負担軽減) 精神的負担軽減
	使用することで実現する施設への効果	オムツ介助の軽減 (介護負担軽減) 精神的負担軽減
仕様、構造	本体寸法 (cm)	幅 42.0cm 高さ 49.0cm 奥行 70.8cm
	ホース + レシーバー寸法 (cm)	幅 80.0cm 高さ 15.8cm 全長 246.8cm
	重量 (kg)	本体 : 23.5kg ホース・レシーバー 2.6kg
	容量 (cc)	洗浄水タンク 4,600cc 汚物タンク 5,000cc
	定格電圧	交流 100V 50/60Hz
	消費電力	モーター 590W 温水システム 1,200W

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	待機電力	17W
	温水温度	35℃～39℃
	材質	A B C、シリコン、綿、ポリエステル他
メンテナンス	準備・片付け	本体にある洗浄水タンクに水を入れる。汚物タンク、脱臭フィルターボックスをセットする。レシーバーにあるホースを本体に挿入し接続する。電源を入れる。レシーバー装着カバーをセットし、利用者へ装着する
	保管方法	直射日光が当たらない場所で保管
	メーカーによるメンテナンス	エラーメッセージによる対応や脱臭フィルターなどの交換
	ユーザーによるお手入れ	汚物タンク内の排泄物の処理と洗浄
	消耗品の有無	装着カバーやシリコンクッションなど汚れが目立つ際に交換
	保証期間	メーカー保証1年
	修理対応期間	随時
	耐用年数	使用頻度により異なるため不明
	コスト	本体・付属品の定価
ランニングコスト		個別の使用状況により異なるため、記載困難
教育研修費		別途ご相談
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	貸出先別地域担当になるため、貸出時に詳細を周知。本社 06-6310-9090
	よくある質問 (Q&A)	Q：お試しに対する費用負担はありますか？ A：無料です。使用状況をご確認頂いてから、レンタルや購入となります。

パンフレット等

製品カタログ <http://www.hello-with.com/>



取扱説明書 <http://www.hello-with.com/>



使用方法等の動画 <http://www.hello-with.com/publics/index/183/>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

エコナビスタ株式会社

ライフリズムナビ[®]+Dr.

品番・型番

LRND-3



機器の概要

機器の機能

ライフリズムナビ[®]+Dr. は、高齢者施設における「予見する介護」をITでサポートいたします。これまでの見守りサービスでは、異変に気付くことはできるのは事故が起こってからでした。本来の「見守り」というのは、事故が起こってから対応することではなく、事故の予兆を見つけ、危険の芽を早期に摘むこと。その理想を実現するために開発しました。



① ベッドセンサー / LRNゲートウェイ



② 人感センサー



③ 温湿度センサー



④ 開け閉めセンサー

機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

電源を1口（5V3A）を使用しますので、ベッド付近に電源（専属延長コード）をご用意ください。

管理画面閲覧・設定用のPCは必ずご用意ください。3G電波の届かないところでは使用できません。

試用期間中のサポート

オンラインによる設置、設定支援。
各種設定アドバイス。

貸出期間	2週間前後 延長可
貸出可能台数	1台～ *要相談

問い合わせ先 **エコナビスタ株式会社**

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町 3-1 KKDビル 6F

TEL 03-6261-3345 MAIL support@econavista.com

所属部署 ライフリズムナビ サポート



機器の仕様

販売開始

2016年11月

販売価格

291,687円 (税込)

ライフリズムナビ[®]+Dr.

1. ベッドセンサーマット 幅750×奥行550×高さ10mm、2. 見守りシステム親機（マットセンサーユニット一体型）幅166×奥271×高さ60mm、3. 温湿度センサー幅82×奥24×高さ12mm、4. 開け閉めセンサー幅82×奥24×高さ12mm、5. 人感センサー（居室、トイレ）幅90×奥行50×高さ35mm。電源5Vアダプタ。3G回線を通じてデータ送信を行うので、ネットワーク配線工事不要。

クラウドでのデータ管理となりますので、外部接続ができるネットワーク接続できる通信環境下でご使用ください。PCの他、タブレット、スマホ（Android、iOS共に可）でも使用できます。



機器の使用場面

製品

メーカー名 エコナビスタ株式会社

製品名 **ライフリズムナビ[®]+Dr.**

型番 LRND-3

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】・複数的高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい方など。
	専門職の関与	看護師、機能訓練指導員にも情報共有し、アセスメントに活用ください
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：当社指定の設置場所以外での使用（居室内限定）。 ・その他：分解、過電流、改造
使用上の注意	注意事項	・ベッドマットセンサー他、指定位置からずれると正しく動作しません。 ・たこ足配線せず、専属の電源を使用ください。
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する。 ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・対象者が使用推奨位置から外れて就寝している場合 ・ベッド付近に干渉をする機器がある場合（酸素濃縮装置など）
	使用上の注意	・正しい設置位置で使用する。
使用方法	使用方法	・センサー設置後、管理画面での状態確認 ・ログによる生活リズムの把握 ・睡眠ログによる睡眠の質の把握 ・必要に応じてアラート設定（トイレ、長時間トイレ、ドア開け閉め、センサー反応なし、体動、離床）
	使用方法（再設定）	管理画面で再設定を行う
	使用環境	・居室内での使用のみ対応。
	使用場面	・生活リズムの把握からアセスメントを立案する。 ・排泄コントロール、下剤服用タイミングの最適化を図る。 ・起き上がりなど早期状態把握が必要な場合。 ・居室内での生活状況を把握したい。
	習熟期間	・基本操作1週間 ・データ蓄積後の分析3か月
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・ギャッジアップ時に配線が引っかからないように注意する ・ベッドの振りまわしの際には電源コードを抜く
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室内
	設置場所	ベッドマットレス等寝具の下（布団対応） 壁面、ドア
	設置方法	ベッドマットセンサー（ずれ防止バンド）、天井（ビス止め）、壁面・ドア（両面テープ）
	サイズ	1. ベッドセンサーマット 幅750×奥行550×厚さ10mm、2. 見守りシステム親機（マットセンサーユニット一体型）幅166×奥271×高さ60mm、3. 温湿度センサー幅82×奥24×高さ12mm、4. 開け閉めセンサー幅82×奥24×高さ12mm、5. 人感センサー（居室、トイレ）幅90×奥行50×高さ35mm。
	重量	センサーマット&ユニット約2kg、他センサー150g以下
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサーユニット本体のみAC電源

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・スマホ、タブレットアプリ使用时読み上げ機能使用可
	防水・防塵加工	防水加工なし
	検知方式（センサー、画像など）	圧力センサー（空気）人感センサー（赤外線による動体感知）
	検知範囲	ベッド上 居室内およそ 30m ² （遮蔽物などがない場合）
	反応速度（タイムラグ）	・3～5秒以内（※通知が届くまでは通信環境による影響あり）
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	・無線LAN（Wi-Fi）2.4GHz もしくは有線LAN通信 ・3G通信対応
	必要なシステム・設備	表示端末PC*必須 スタッフステーション表示用モニタ（サブモニタ）
	データの記録機能、有無と内容	・睡眠 ・体動 ・中途覚醒 ・心拍 ・呼吸 ・無呼吸回数 ・湿度 ・室温 ・トイレ入室回数 ・ドア開閉回数 ・疲労回復度、快眠指数、快適環境指数 *特許取得 ・各種アラート履歴
	他の機器との連携・互換性	・介護ソフトとの記録連携
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う。 ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	特になし
	修理対応期間	ご利用開始から5年を目途
	耐用年数	最低5年
コスト	本体・付属品の定価	291,687円（ベッド、温湿度、人感×2、開け閉めのセット）*税込
	設置導入に伴う費用	現地確認の上
	ランニングコスト	1ベッドセンサー（システム親機）×1,500円
	教育研修費	別途
オプション	追加できる機能	室内カメラ、顔認証システム、呼び出しボタン、体温・血圧・SpO ₂ 計測器、エアコン制御
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6261-3345 ※平日 10:00～18:00
	デモ・貸出	対応
	よくある質問（Q&A）	<p>Q. ベッドセンサーだけで使用できますか？ A. はい。</p> <p>Q. システム専用のPCは必要ですか？ A. いいえ。</p> <p>Q. android 端末で使用できますか？ A. はい。iOS とどちらでも使用できます。</p> <p>Q. 端坐位の状態は検知できますか？ A. いいえ。ベッドから起き上がり際の体動を検知します。</p> <p>Q. アラートの個別設定はできますか？ A. はい。個人ごとに時間帯設定できます。</p> <p>Q. 1施設でどのくらい導入したらいいですか？ A. 業務効率化の観点から全室での導入をおすすめしております。</p>

パンフレット等

使用方法等の動画 <https://youtu.be/sgSe34F9RUk>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

エイアイビューライフ株式会社

A.I.Viewlife

品番・型番

IRセンサー
型番：VP105J-POE-IR

機器の概要

機器の機能

業界初の広角赤外線（IR）センサーによって居室全体の見える化（プライバシー保護付き）により、居室内全エリアを対象とした様々な異常検知と駆け付け、無駄な訪室の減少（必要な時のみ訪室）、生体異常検知による看取り対応、24時間365日昼夜を問わない動作検知と画像記録によるエビデンス取得、感染症リスク対策としての遠隔アクセス機能による接触回数削減など介護現場での「様々な課題解決」を実現する。

感染症対策支援システム
A.I.Viewlife

業界初!居室全体を見守る、
広角IRセンサーを搭載

無料貸出
キャンペーン
実施中!

24時間365日
安心の見守り!

機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・ノートPC型サーバー設置場所の確保（ステーション等）
- ・Wi-Fi環境（Wi-Fi環境が無い場合は、弊社にて簡易無線Wi-Fi環境を構築）
- ・推奨接続方法：
ノートPC型サーバーとIRセンサー間は有線LAN接続
ノートPC型サーバーとモバイル端末はWi-Fi接続

試用期間中のサポート

弊社が取付・設置実施後の操作説明会を実施。土日祝日含め電話やメール等のフォローの他、遠隔操作サポート（インターネットを介し同じ画面を見て設定調整や検知設定など）
※緊急時は担当営業へ時間外連絡可能

貸出期間	10日間前後（要相談）
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **エイアイビューライフ株式会社**

〒102-0092 東京都千代田区隼町2番13号 US半蔵門ビル201

TEL 03-6261-6327 FAX 03-6261-6328 MAIL support@aiview.life

所属部署 営業・サポート 担当者名 横沢、山出、高田



機器の仕様

販売開始

2018年10月

販売価格

IRセンサー本体単価
363,000円(税込)

TAISコード

01868-000001



A.I.Viewlife

<システム>

- 業界初の広角赤外線レーザーを採用し、3次元画像を用いた高度な動作検知アルゴリズムを搭載
 - ・対象エリア：ベッドエリア含む居室全体（ベッド、居室、トイレ等）
 - ・危険予兆動作：起き上がり、端座位、立位、離床、入室、退出
 - ・危険状態：転倒、ベッド転落、うずくまり、横たわり、トイレ異常、生体異常
 - プライバシー保護された画像での閲覧・検知・録画データの通知・記録保存（常時録画機能あり）
 - バイタル（体動・呼吸）情報での閲覧・検知データの通知・記録保存（グラフ表示）
 - 感染症対策（訪室することなく要介護者の日常生活動作や危険状態を遠隔にて把握可能）
 - 居室タイプ：多床室、ユニット（個室）、床マットや畳布団への設置可能
 - 無拘束・非接触方式
 - 他システム連携：ナースコール（アイホン/ケアコム/ナカヨ）、介護記録ソフト（ほのぼの、ワイズマン、福祉の森、ケアカルテ）
- <必要NW環境>
- IRセンサー：LAN配線によるPOE給電+データ通信
 - 生体センサー：USBケーブルによるUSB給電+データ通信
 - LAN：100BASE CAT5e以上
 - Wi-Fi：2.4/5Ghz帯



機器の使用場面

製品

メーカー名 エイアイビューライフ株式会社

製品名 **A.I.Viewlife 01868-000001**

型番 IRセンサー 型番：VP105J-POE-IR

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・疾患・認知症、急変する疾病、精神疾患（躁うつ病等）の方 ・心身機能・知的低下、生活動作機能の低下、精神ストレスがある方 ・活動・能動的な通知が難しい、歩行が不安定、疾患リスクの高い方 【介護者】 非拘束・非接触で複数の高齢者を同時に見守りたい、訪室の優先順位を正しく判断したい、業務（特に夜間）の負担軽減をしたい、自立支援促進と重度化防止をしたい、転倒原因を特定して予防策につなげたいなど
	専門職の関与	・ICF（国際生活機能分類）の専門知識をもつ識者の関与が望ましい。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内、高温多湿な場所、屋外 ・その他：特になし。完全非接触仕様であるため安全性は確保されている（天井からのLAN配線&給電および天井へのセンサー設置）
	注意事項	システムは、自己診断機能と死活監視機能にて常時動作確認が行われており、異常発生時にはユーザーへの通知と自動停止をする。
使用上の注意	安全に利用するための配慮	・見守りの開始/停止は使用者が操作できるため、正しく設定ができていないかをサーバーまたはモバイル端末にて確認する。見守りが開始されていなければ正しい通知（危険予兆動作、危険動作等）はされない。
	誤報の有無	下記の条件下では誤検知が発生します。 ・見守り設定が正しくされていない 例：検知項目、ベッド、出入口、トイレ位置情報 ・直射日光による影響 ※赤外線レーザーを使用しているため、太陽光の影響を受ける。 ※カーテン等により対策は可能 ・ネットワーク環境による影響 ※無線Wi-Fiの電波が受信できない環境
	使用上の注意	・天井に設置したセンサー前に遮蔽物を置かない ・サーバーPCの電源をオフにしない、電源が抜けないようにする
	倫理的配慮	・システム使用前に、ご本人・ご家族への説明を行い使用許諾を得る ・個人情報を含まないプライバシー保護された画像とする
	使用方法	・見守り開始ボタンを押す 前提条件として見守り設定（検知項目、ベッド位置、出入口、トイレ等）が完了していること ・検知項目に合致した動作時、検知履歴情報としてサーバー経由にてモバイル端末にアラート通知される ・通知後は、対象居室のリアルタイム画像にて様子を確認でき、必要であれば検知時の前後画像を確認・保存することもできる
使用方法	使用方法（再設定）	・居室のレイアウトが変わった場合は、見守り設定（ベッド位置のみ）をモバイル端末から変更し、見守りを開始する ・居室を変更する場合は、見守り設定（検知項目、センサー位置設定、ベッド位置、入退室、トイレ等）をモバイル端末から行い、見守りを開始する
	使用環境	・室内温度：50度未満 ・居室全体が見える位置への設置 ・センサーレンズを覆い隠さない事 ・トイレル異常検知は、ポータブルトイレでも可 ・ベッドでも敷布団でも利用可 ・Wi-Fi環境（2.4G or 5G）
	使用場面	・24時間 365日昼夜を問わず居室の様子や検知を確認する場合 ・転倒リスクの高い方の転倒要因を常時録画から分析する場合 ・安眠状態や安静状態を確認する場合 ・認知症者の退室や不審者の入室を把握したい場合 ・トイレに入ったタイミングを知りたい場合 ・日常生活動作を把握したい場合 ・突発的な生体異常（着取り）を検知したい場合
	習熟期間	・モバイル端末の操作に慣れるまでの期間
	高齢者に対する安全面の配慮	・非接触型で天井設置を推奨しており、天井からのLAN配線（POE給電）によるAC電源等への接触事故を回避、天井等高い位置に設置されているためコード類に触れることも無い。また落下対策として、専用取付け金具は耐荷重 1.4kgの金具を使用。
効果	介護者に対する安全面の配慮	・非接触型で天井設置を推奨しており、天井からのLAN配線（POE給電）によるAC電源等への接触事故を回避できる。センサー自体も天井等高い位置に設置されているためコード類に触れることも無く、ベッド昇降によるコード等の切断故障も回避できる。また、センサーの異常時には自己診断および死活監視機能にて通知および自動停止する。
	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・ADLの把握、転倒事故防止、自立度向上、重度化防止、ストレス低減、感染症防止、夜間安眠による日中活動量の増加
仕様、構造	機器を使用することで実現する介護者への効果	・夜勤業務負担軽減、訪室回数の低減、ストレス低減、訴訟リスク回避、感染症防止
	機器を使用することで実現する施設への効果	・介護職員離職回避、介護職員募集時のPR、訴訟リスクの回避、介護職員を守るエビデンス、人件費削減（介護保険制度改定時）
	使用場所、必要スペースなど	・介護施設内・病院内の居室（個室・多床室）、Wi-Fi通信が届くエリア
	設置場所	・居室の天井や壁 ※設置面が十分な重量（450g）を保持できる強度を有していること
	設置方法	・専用取付け金具使用（石膏ボード用釘利用）※耐荷重 1.4kg
	サイズ	・122 × 92 × 56mm
	形状	・BOX型
	重量（バッテリー含む）	・450g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・距離センサー：PoE-HUBからのLANケーブル給電 ・生体センサー：距離センサーからのUSBケーブル給電
	使用時の音	・無音
緊急発報の方法	・モバイル端末（Android/iPhone）へポップアップ通知+アラート音、モニタPCのブラウザ画面への通知表示	
安全性の認証取得	・EMS準拠	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	防水・防塵加工	・なし
	検知方式 (センサー、画像など)	・距離センサー：広角赤外線 (IR) レーザー方式 (TOF: Time Of Flight) ・生体センサー：24GHz マイクロ波ドップラー方式
	検知範囲	・距離センサー：距離：6m 未満、画角：水平：90°、垂直：70° ・生体センサー：距離：3m 未満、電波：水平：2θ、垂直：70°
	反応速度 (タイムラグ)	・検知判定時間：2～4秒以内 ※2秒は確定待ち時間を含む ・通知時間：1～5秒以内 ※Wi-Fi環境により変動する
	最大見守り人数	・1システム最大 200 床 (1ベッド1センサー) ・1ベッド/台
	必要な通信環境	・各居室へのLANケーブル配線 (POE給電)、施設内のWi-Fi環境整備 ※ナースコールとの連動も可能 (PHS方式/Wi-Fi方式)
	必要なシステム・設備	・専用サーバー (LinuxOS) ・専用ソフトウェア ・タブレット端末 (Android/iPhone) ・NW機器 (POE-HUB、Wi-Fiアクセスポイント、LANケーブル (cat5e以上))
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、常時録画データを用いた分析も可能 ・随時記録する情報：位置情報 (ベッド、居室、トイレ、不在当) ・バイタル情報：5秒毎の呼吸レベル・体動レベル ・要介護者の状態及び居室の状況を1日 24 時間分、居室単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能。 ・検知した場合、検知の前後数十秒間の画面を表示 (最大2分間) ・呼吸・体動の履歴データを1か月分記録可能。 ・検知履歴データの保存期間は約3ヶ月、常時録画の保存期間は2週間 ・CSVファイルの履歴データとAVIの動画ファイルのエクスポート機能有
メンテナンス	他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能 ・介護記録ソフトとの連携可能 ・他の見守りセンサーとの連動可
	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認 (リモート) ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないと分からない不具合解消時にオンサイト ・不具合の場合、リモートにて対応。必要に応じてオンサイト対応 ※ハード問題の場合は、代替機 (クローン) 送付にて即システム稼働 ・定期バージョンアップは、リモートアクセスにて実施
	ユーザーによるお手入れ	・モバイル端末の充電のみ
	消耗品の有無	・なし
	保証期間	・納品後当初保証期間 (1年間)。有償にて4年間延長保証有り。
	修理対応期間	・センサー、サーバー：最大5年間 (以降は最新機種への有料交換) ・モバイル端末本体は製造メーカーによる保証内容及び期間に準じる
	耐用年数	・センサー、サーバ：最大5年間
	コスト	本体・付属品の定価 (税込)
設置導入に伴う費用 (税込)		・短期貸出時は無料。 購入時：IRセンサー取付作業費 3,850 円 / 台、生体センサー取付作業費 3,850 円 / 台、24,750 円 / 台、サーバーキッティング費 77,000 円。その他：設定調整費用、オプション連動ソフトウェアなど御見積時に算出
ランニングコスト		・なし
教育研修費		・なし
オプション	追加できる機能	・介護記録ソフト連携 (ほのぼの / ワイズマン / ケアカルテ / 福祉の森) ・ナースコール連携 (アイホン社 / ケアコム社 / ナカヨ社) ※ソフト環境や機器型番については事前確認必要
	緊急時の問合せ先	・エイアイビューライフ株式会社 TEL：03-6261-6327 / FAX：03-6261-6328 e-mail：support@aiview.life
問合せ先	デモ・貸出	・あり
	よくある質問 (Q&A)	<貸出時の質問> Q 1：使い方や設定が難しいですか？ A 1：弊社が初期設定まで行いますので使い方は、簡単マニュアルを見るだけで視覚的な操作にて行えます。 Q 2：移動しやすいですか？ A 2：モニター期間中に居室を変更することは想定しておりません。但し、ベッドを移動することは可能です。 Q 3：通知が届かない、検知が届かないのですがどうしたら良いですか？ A 3：まず、モバイル端末のWi-Fi接続の有無を確認して下さい。またモニター画面のルーム一覧画面にて、対象居室が接続されていることを確認して下さい。それでも検知が届かない場合はリモートアクセスにて弊社にて対応します。 Q 4：記録した動画を取り出したいのですが？ A 4：モニター画面にて対象居室の検知履歴一覧画面からエクスポートボタンを押下するとデスクトップ上に保存されます。

パンフレット等

製品カタログ

<https://aiview.life/document/>



使用方法等の動画

https://www.youtube.com/watch?time_continue=3&v=Y6W7CiUpUdA&feature=emb_logo



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社フジクラエンジニアリング

どこでもナースコール・見守りセンサー



機器の概要

機器の機能

Wi-Fi不要、工事不要で初期コストを抑え簡単に導入ができるナースコール&見守りシステムで、ナースコール・見守りセンサー・見守りカメラ・インカム機能を持つ無線システムです。無線・電源レスでコールボタン、センサーは自由に設置でき、着床センサーには煩わしいケーブルがありません。お部屋毎に必要なものを必要な台数選んで無駄を省き、レンタル利用により初期コスト最小にします。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

ナースコール、着床センサー、ドアセンサー、カメラ、インカム等のご試用する機能をお部屋毎にお知らせください。携帯電波が入る環境であれば、すぐに利用可能で配線作業などの工事は不要なため、施設スタッフによる設置が可能です。すでにWi-Fi環境があるようでしたら、その環境を利用することもできますのでご相談ください。

試用期間中のサポート

適時サポート致します。

貸出期間	1～2ヶ月程度
貸出可能台数	3部屋相当

問い合わせ先 株式会社フジクラエンジニアリング

〒135-0042 東京都江東区木場 1-5-1 フジクラ R&D 棟 5F

TEL 03-5606-8122 MAIL fen.info@jp.fujikura.com

所属部署 通信エンジニアリング部システム技術部 担当者名 竹沢真一



機器の仕様

販売開始

2020年4月

販売価格

月額レンタル
2,750円(税込)～
(構成による)

どこでもナースコール・見守りセンサー

- ・クラウドシステム
- ・Android スマートフォン(スタッフ端末)
- ・コールボタン: Bluetooth 対応
- ・見守りセンサー(着床/ドア/人感): Bluetooth 対応
- ・ネットワークカメラ: Wi-Fi 対応



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社フジクラエンジニアリング

製品名

どこでもナースコール・見守りセンサー

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい ・業務の負担軽減をしたい ・費用面で設備更新や導入に悩まれている方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・高温・多湿になる場所への設置はできません。 ・屋外には設置できません。
使用上の注意	注意事項	・高温・多湿になる場所への設置はできません。 ・屋外には設置できません。
	安全に利用するための配慮	・着床センサーは、マット本体がずべる場合は、テープで固定して下さい。
	誤報の有無	電波環境による
	使用上の注意	受信端末とコールボタン及び各種センサー、カメラは、適切な距離以内でご利用下さい。位置変更する場合は、かならず動作確認をして下さい。
使用方法	倫理的配慮	・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得て下さい。 (システム側で動画保存はしていません)
	使用方法	スマートフォンでの操作のため、特に難しいことはありません。 機器の設置も簡単です。
	使用方法 (再設定)	設置居室が変わった時は、呼出名称の変更が必要なため、担当者へお知らせ下さい。
	使用環境	・温度0℃～50℃ ・湿度80%以下(結露しないこと)
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合
	習熟期間	即日(シンプルな機能で、操作は簡単)
効果	高齢者に対する安全面の配慮	・機器の電源コンセントは、高齢者が誤って外すことがない場所に接続して下さい。
	介護者に対する安全面の配慮	コールボタンは、壊れていないかなどの動作確認を年に1回行って下さい。
	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減
仕様、構造	機器を使用することで実現する介護者への効果	負担軽減、介護者同士のコミュニケーション向上(インカム利用時)
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善
	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内居室(個室・多床室)、 携帯電波が届くエリア、既設Wi-Fi通信が届く場所
	設置場所	・着床センサー: ベットの足元 ・ドアセンサー: 扉 ・人感センサー: 天井 ・受信装置、カメラ: 電源が確保できる場所
	設置方法	受信端末とコールボタン及び各種センサー、カメラは距離10m以内で見通しが利く範囲に設置して下さい。 設置は、適切な位置に両面テープやマジックテープ固定します。
	サイズ	H100xW65xD14mm(受信端末)、H500xW500xD8mm(着床センサー)、 H500xW1000xD8mm(着床センサー大)、H58xW49xD9mm(開閉センサー・人感センサー)、H120xW80xD80mm(カメラ)
	形状	写真参照
重量(バッテリー含む)	96g(受信端末)、1.0kg(着床センサー)、2.0kg(着床センサー大)、21g(開閉センサー・人感センサー)、120g(カメラ)	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	受信端末：AC 100V 電源 各センサー：電池内蔵 カメラ：AC 100V 電源
	使用時の音	・スマホの音設定による ・コールボタン押下時のみGW端末（受信）よりピンポン音あり
	緊急発報の方法	スマホに通知
	安全性の認証取得	・PSE、EMS 準拠
	防水・防塵加工	防水加工：無 防塵加工：無
	検知方式（センサー、画像など）	・ドアセンサー：マグネット ・着床センサー：圧力 ・人感センサー：赤外線
	検知範囲	・人感センサー：距離3m、範囲2m
	反応速度（タイムラグ）	即時通知
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	なし
	必要なシステム・設備	なし
	データの記録機能、有無と内容	センサー検知日時とスタッフ対応日時の記録（要望に応じてデータ提供）
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・クラウドサーバーの定期メンテナンス ・不具合時の電話対応 ・センサー電池残量低下のアナウンスと交換品発送 ・機器故障時に交換品の発送
	ユーザーによるお手入れ	・スマートホン端末の充電 ・センサー電池消耗および機器故障時に本体撤去と返送および交換品の設置
	消耗品の有無	・スマートホンのバッテリー（無償交換） ・GW端末のバッテリー（無償交換） ・各センサーに内蔵された電池（無償交換）
	保証期間	永久保証（スマホについては、無償交換は1回のみ）
	修理対応期間	交換品を提供
	耐用年数	3～5年
コスト	本体・付属品の定価	なし（レンタル提供）
	設置導入に伴う費用	初回設置費無料ですが遠方の場合は、経費を頂く場合があります。
	ランニングコスト	レンタル費用に含まれます。
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	受信端末のインターネット接続環境は、Wi-Fi 環境として提供可能
問合せ先	緊急時の問合せ先	貸出担当者
	デモ・貸出	fen.info@jp.fujikura.com
	よくある質問（Q&A）	Q1. 既設ナースコールとの連動はできますか。 A1. できません。 Q2. 他社の見守りセンサー用のWi-Fi 環境として使用できますか。 A2. できます。 Q3. スマホは共用できますか。 A3. 可能です。

パンフレット等

製品カタログ

https://www.fen.fujikura.jp/products/pro03/2059784_9774.html



使用方法等の動画

<https://youtu.be/S5eHyRRvjEQ?t=254>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社 Z-Works

ライブコネクト



機器の概要

機器の機能

居室に設置した複数のセンサーにより「睡眠状態」や「心拍」「呼吸」「トイレ回数」などを検知することで利用者の状態や行動を可視化し 24 時間見守ります。異常を検知した場合、リアルタイムにスタッフ様に通知し重大事故（転倒）を防止すると共に、利用者に合わせて異常検知の設定が可能のため、作業（介助）の効率化を図ることが可能です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・ベッドサイドの電源コンセントを 1 口使用します。
- ・4G 通信が可能なこと。

試用期間中のサポート

- ・スタッフ様向け説明会を複数回実施
- ・メール、電話、リモートによるサポート

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	5台を3セット

問い合わせ先 株式会社 Z-Works

東京都新宿区下落合 4-21-19 目白LKビル 7F

TEL 03-5988-7403 MAIL uchino@z-works.co.jp

所属部署 事業企画本部 担当者名 内野智彰



機器の仕様

販売開始

2018年9月

販売価格

146,000円 (税込)

ライブコネクト

主な機能・特徴

- ・Wi-Fiが不要なため工事不要で簡単に導入可能です。
 - ・「睡眠状態」や「心拍」「呼吸」「トイレ回数」など利用者の状態を可視化出来ます。
 - ・夜間もライブコネクトで見守ることで、巡視回数の削減と接触機会の削減が可能です。
 - ・「見守りシステムが沢山ありすぎて選べない」「効果が出るか不安」「使いこなせるか不安」などの不安を解決！トライアルプログラムをご用意していますので導入前にお試しいただけます。
 - ・各種補助金やリースにも対応しております。
- ※独自のナースコールシステムやスタッフ間通話機能も介護記録ソフト連動も今夏リリース予定！



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社 Z-Works

製品名 **ライブコネクト**

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】 ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい
	専門職の関与	必要ありません。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室や4Gの電波が届かない場所 ・分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。
	安全に利用するための配慮	・電源ケーブルやセンサーケーブルの挟み込みが無い確認する。 ・浴室などの水場では使用しない。
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・4G回線やZ-WAVEの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・スプリング式のベッドでは使用できない ・4G回線エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・センサを遮るような物の配置をしない
	倫理的配慮	・利用者（特に女性）のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない仕様を基本としています。 ・カメラ連動は今後オプションで提供予定です。
	使用上の注意	・モニターに表示した居室の状態を確認し訪室。 ・アラートの種類：離床、トイレ反応、ドア開閉、温度異常、心停止など
使用方法	使用方法	・モニターに表示した居室の状態を確認し訪室。 ・アラートの種類：離床、トイレ反応、ドア開閉、温度異常、心停止など
	使用方法（再設定）	・ベッドサイドのコンセントに電源を接続 ・ベッドフレームにバイタルセンサーと離床センサーを設置 ・トイレやドアにセンサーを設置 ・設置後24時間後、以後1週間ごとにセンサーの閾値を自動調整
	使用環境	・気温 0℃～40℃ ・結露しないこと ・センサーを覆い隠さない事 ・ベッドを利用 ・4G回線
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・離床など早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約2週間～2か月程度
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルをベッドフレームに固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・ベッドを移動する場合は電源を抜く ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内 居室（個室・多床室）、4G回線が届くエリア、ベッドのヘッドボード
	設置場所	・ヘッドボードに通信機器を吊り下げ ・バイタルセンサー、離床センサーをベッドフレームに設置 ・トイレ内とドアに各種センサー設置 ・スタッフ待機場所にモニターを設置

製品情報

	項目	内容	
仕様、構造	設置方法	・ヘッドボードに通信機器を吊り下げ ・バイタルセンサーはベッドフレームに固定 ・離床センサー、トイレセンサー、ドアセンサーは両面テープにて固定	
	サイズ	通信機器は W300mm × D300 程度 バイタルセンサーは W800mm × D20mm 程度 離床センサー、トイレセンサーは W30mm × D30mm 程度 ドアセンサーは W50mm × D10mm 程度	
	重量（バッテリー含む）	2kg 程度	
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	通信機器は電源ケーブル 離床センサー、トイレセンサー、ドアセンサーは電池駆動	
	使用時の音	異常県知事にアラート音を発報	
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・ランプ赤色点滅、及び警告音	
	安全性の認証取得	P S E、技適、K I S	
	防水・防塵加工	なし	
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（振動センサー、赤外線）	
	検知範囲	バイタルセンサー：ベッド付近 離床センサー、トイレセンサー 5m 程度	
	反応速度（タイムラグ）	1 秒～ 5 秒程度	
	最大見守り人数	1 モニタの最大表示数は 122 床となります。	
	必要な通信環境	W i e F i などのネットワーク環境は不要 4G 回線提供エリアであることが必要	
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）	
	メンテナンス	データの記録機能、有無と内容	・夜間の在床時間、睡眠時間、覚醒回数、離床回数、トイレ回数を 1 ヶ月程度さかのぼって閲覧可能
他の機器との連携・互換性		・介護記録ソフトとの連携可能 ・カメラは 8 月連動予定	
メーカーによるメンテナンス		・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・機器本体やソフトウェアのバージョンアップが必要と判断した場合や現地作業でないとならない不具合解消時に訪問 ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ	
ユーザーによるお手入れ		・タブレット端末の充電 ・センサーの電池交換	
消耗品の有無		電池	
保証期間		1 年	
耐用年数		約5年	
コスト		本体・付属品の定価	50,000 円～ 146,000 円（税込）
		設置導入に伴う費用	100,000 円～ 400,000 円（税込）
		ランニングコスト	3,000 円～ 4,000 円（税込）
	教育研修費	なし	
オプション	追加できる機能	8 月以降「カメラ機能」「通話機能」	
	緊急時の問合せ先	03-5988-7403	
問合せ先	デモ・貸出	あり	
	よくある質問（Q&A）	Q. W i e F i 環境は必要ですか？ A. 必要ありません。4G 回線を使用しますので、ネットワーク工事が不要です。 Q. 本当に効果があるか？使いこなせるか不安です。 A. 2 か月間のトライアルプラン（有償）をご用意しています。	

パンフレット等

使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=t5eiZGCT9SQ>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

凸版印刷株式会社

SensingWave[®]

介護・睡眠見守りシステム

品番・型番

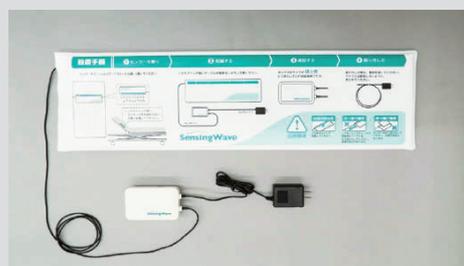
1803CI



機器の概要

機器の機能

ベッドのマットレスの下に敷いて使用するシート型非接触見守りセンサーです。寝ている利用者のバイタル情報（心拍相当数・呼吸相当数）や睡眠の質（深い／浅い、睡眠時間・熟睡度）を数値化します。従来の製品と異なり、利用者がしっかり眠れているかどうかを確認できるため、夜間の巡視効率化やケアの質向上、ケアプラン改善にも活用可能です。また、データはクラウド上に蓄積されるため、遠隔での情報共有が可能です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

本体通信にはモバイルルータ付機器の貸出を行います。
データ確認用のPC・タブレット・スマートフォンのいずれか（インターネットにつながるもの）をご準備ください。

試用期間中のサポート

試用期間開始時の職員への勉強会や、期間中の不明点への回答、使用期間後のフィードバックまで一貫して対応いたします。

貸出期間	1～2週間 *要相談
貸出可能台数	5台

問い合わせ先 凸版印刷株式会社

〒110-8560 東京都台東区台東 1-5-1

TEL 03-3835-6462 MAIL sensingwave@toppan.co.jp

所属部署 環境デザイン事業部 まちづくり本部 担当者名 吉永



機器の仕様

販売開始

2018年4月

販売価格

187,000円(税込)

SensingWave[®] 介護・睡眠見守りシステム

シート部分をマットレス下に敷き（利用者の胸の下あたり）、電源を入れるだけで設置完了です。マットレスは、厚さ20cmまで対応可能です（一部エアマットも可）。基本的にはWi-Fiへ接続しますが、環境が無い施設はモバイルルーターの提供も行っています（オプション）。計測したデータはクラウドサーバーに蓄積され、パソコンやスマートフォンのウェブブラウザで閲覧します。専用端末や専用ソフトのダウンロードは必要なく、インターネットに繋がっている端末であればお使いいただけます。データの閲覧は、購入時に発行するURLと、ID・パスワードで可能です。「一覧画面」「詳細画面」「レポート」が閲覧できます。管理画面では、「設置機器の場所」「利用者情報」「アラート通知」の設定ができます。機器の利用者や設置場所を変更する場合は、管理画面から簡単に設定が可能です。「アラート通知」は、施設の担当者が、利用者の状態によって通知するイベント（「覚醒」「離床」等）と通知する時間帯、タイミングを設定することができます。機器の使用手法や、管理画面の操作方法に関してマニュアルを用意しております。



機器の使用場面

製品

メーカー名 凸版印刷株式会社

製品名 SensingWave[®] 介護・睡眠見守りシステム

型番 1803CI

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、看取りの方など 【介護者】・夜間の巡視効率化やケアの質向上、プラン改善を希望している方 ・業務負荷軽減を希望している方
禁止事項	禁止事項	お客様による修理・分解・改造
使用上の注意	注意事項	火気・水などの液体に注意すること タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えないこと
	安全に利用するための配慮	指定する設置条件や設置方法以外での使用は避けること
	使用上の注意	リクライニング時に、折れ曲がる部分には設置しないこと 振動がある環境で使用しないこと（検出が正しく行われない可能性有） 正しい設置位置（ベッド上部から50cmの位置）で使用する
使用方法	使用方法	コンセントにACアダプターをさして使用
	使用環境	・2人以上で使用しないこと ・振動が生じる環境で使用しないこと ・気温：0～40℃ 湿度：10～90% RH
	使用場面	・転倒・転落や徘徊のリスクを軽減したい場合 ・離れた場所にいる利用者の状況把握 ・夜勤時の訪室頻度削減等業務負荷や効率化を進めたい場合 ・ケアの質向上を図りたい場合
仕様、構造	設置場所	ベッドのマットレス等の寝具の下
	設置方法	センサー本体のイラストが記載されている面を上にして、 ベッドのマットレスの下に敷いて使用
	サイズ	センサーマット部 225mm × 750mm 制御通信 BOX 部 111 × 74 × 30mm（突起部含まず）
	形状	シート型センサー
	重量（バッテリー含む）	750g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	コンセントが1口必要

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	検知方式（センサー、画像など）	振動センサー
	最大見守り人数	1台につき1名
	必要な通信環境	Wi-Fi環境（ない場合はモバイルルータが必要）
	必要なシステム・設備	インターネットにつながるPC・タブレット・スマートフォン
	データの記録機能、有無と内容	有（保存期間は基本1ヶ月）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合・故障時対応
	保証期間	1年
	修理対応期間	1年間は取り扱い起因でない場合、無償対応。それ以降は費用発生（内容によって金額は異なる）。
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	本体:187,000円(税込) オプション:42,240円(税込) (共に初年度ランニング費込)
	設置導入に伴う費用	基本的には無。※設置環境の状況による。
	ランニングコスト	本体:10,560円(税込) オプション:9,240円(税込) (共に年額)
オプション	追加できる機能	モバイルルータ（利用先でWi-Fiが整っていない場合必要）
問合せ先	緊急時の問合せ先	凸版印刷株式会社（TEL：03-3835-6462）

パンフレット等

製品カタログ

<https://forest.toppan.co.jp/products/sensingwave.html>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

ノーリツプレジジョン株式会社
見守りシステム
Neos+Care (ネオスケア)

品番・型番

CIS-CSS3-L1/
3-L2/4-L1/4-L2

機器の概要

機器の機能

居室内に取り付けしたセンサーにより、危険につながる動作を正確に見つけて通知します。万が一の事故があっても、画像をすぐに確認して、状況を把握できるから安心。無駄な訪室が激減します。再発防止にも使えます。介護施設で使われる様々なシステムと連携・集約することでスタッフの利便性を向上し、作業を効率化できます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

貸出機は仮設用のポール設置となります
 < 仮設条件 >
 天井高さ 2,200 ~ 2,600mm ポールの固定できない構造体は不可。
 AC100Vコンセント
 Wi-Fi通信環境
 ネットワーク環境についてはご相談ください。

試用期間中のサポート

コールセンターによる電話サポート
 営業日時：月曜～土曜日 9時～16時
 弊社または販売パートナーが取付・設置および取扱説明も可能です。
 ※エリアにより費用が発生する場合がございます。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 ノーリツプレジジョン株式会社

〒640-8550 和歌山県和歌山市梅原 579-1

TEL 073-456-3966 MAIL robotcare.nkw@noritsu.com

所属部署 事業推進部 新規事業課 担当者名 巽敦司



機器の仕様

販売開始

2015年10月

販売価格

タイプ別に価格が異なるため、
ご相談ください

TAISコード

01949-000001



見守りシステム Neos+Care (ネオスケア)

施設の規模・通信環境に合わせて4種類の中から選択頂くことが可能です。

- ① オンプレサーバー・センサー有線型
- ② オンプレサーバー・センサーWi-Fi型
- ③ サーバレス・センサー有線型
- ④ サーバレス・センサー無線型

電源：有線LAN接続時 15.4W以下 (PoEにて給電)
無線LAN接続時 AC100V

検知方法：赤外線距離センサーを使った非接触方式

取り付け方法：居室内のベッドが見わたせる壁に専用アタッチメントで取り付け。予備アタッチメントを取り付けている居室には、センサーを簡単に移設可能。

使用対象ベッドサイズ：横幅 90～100cm 縦幅 210cm
以下 高さ 30cm～50cm

使用時温度環境：室内(周囲温度) 5～40℃ / 室内
(周囲湿度) 10～80%結露なきこと



機器の使用場面

製品

メーカー名 ノーリツプレジジョン株式会社

製品名 見守りシステム Neos+Care (ネオスケア) 01949-000001

型番 CIS-CSS3-L1/3-L2/4-L1/4-L2

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、介護現場における人員体制の効率化と、利用者のケアの質の向上、職員の負担軽減はかりたい方
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：直射日光のあたる場所、Wi-Fi電波強度が弱い場所 ・電気設備の法定点検時や落雷が予測される場合は、コンセント、LANケーブルを抜いてください。
	注意事項	本製品は、見守りを必要とされている方の危険予兆動作を検知するための支援機器であり、危険予兆動作を完全に検知し、危険防止できることを保証するものではありません。なお、当社は、本製品に起因する被介護者または介護者の損害について責任を負いません。
使用上の注意	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・使用中に本製品から煙や異音、異臭が発生したり、本製品が異常に熱くなった場合は、速やかに使用を中止してください。 ・当社が指定していない機器の接続および、ソフトウェアの使用が原因で本製品に発生した故障については、当社は一切責任を負いません。OS（Operating System）の各種設定、ハードディスク内のデータ構造および、データの変更が原因でパソコンに発生した故障についても、当社は一切責任を負いません（マニュアルに記載している内容以外は、変更しないでください）。 ・タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因になります。 ・センサーユニットのレンズ部分を直接手で触ったり、汚さないでください。汚れると正しく検知できなくなります。汚れた場合は、乾いた布（クリーニングクロスなど）で清掃してください。 ・本製品には、フォールトレランス機能（不具合に対して自動的に対応できる機能または性能）はありません。本製品は、本製品に不具合が発生し、または本製品が機能しなかった場合に死亡、重大な人身損害、または重大な物理的損害もしくは環境の破壊につながるものが合理的に考えられるようなエンベデッドシステムでの使用（以下「リスクの高い状況での使用」といいます）を前提として設計されたものではなく、かかる使用を意図したものではありません。弊社は、リスクの高い状況での使用を目的として、本製品を使用、頒布、または本製品の使用を再許諾するライセンスを許諾されるものではありません。リスクの高い状況での使用は、いかなる場合も禁止します。 ・外光が入る場合は、カーテンを使用してください。強い光があたると検知ができない場合があります。 ・センサーユニットは赤外線カメラを使用しています。他の赤外線機器を同じ部屋で使用しないでください。正しく検知できなくなる恐れがあります。
	誤報の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーとベッドの位置関係が仕様外の場合 ・センサーと見守り対象者の間に障害物がある場合 ・検知エリア内に見守り対象者以外の人がいる場合 ・直射日光もしくは、赤外線等のノイズがある場合 ・センサーの位置調整が正しく行われていない場合 ・検知項目の選択が正しく行われていない場合
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・センサーとベッドの位置関係は仕様の範囲内でご使用ください ・センサーと見守り対象者の間に障害物がないようにしてください ・直射日光もしくは、赤外線等のノイズが入らないようにしてください ・センサーの位置調整が正しく行ってください ・検知項目の選択が正しく行ってください ・モバイル端末を持つ介護職員の活動範囲において、Wi-Fiハンドオーバーが機能するようにWi-Fiネットワーク環境を整備してください ・Wi-Fi接続型のセンサーを使用する場合はセンサー設置場所の電波強度-60dBmを確保してください。
	倫理的配慮	使用前に、対象者の方で本人および家族の同意を取得することが望ましい。
	使用方法	<p>----- 使用開始前の点検</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの電源をONにする ・ネオスケアのアプリを起動する ・ログインを行う ・各居室の見守りが開始されていることを確認する <p>----- 動作検知時の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・動作検知があった居室をリアルタイム画像で確認する ・訪室の必要が無い場合は「確認のみ」をタップする ・訪室の必要が有る場合は「見守り一時停止」をタップし、訪室作業が終わった時点で「見守り再開」をタップする
使用方法	使用方法（再設定）	1. メニューアイコンより「見守り終了」を選択 2. メニューアイコンより「見守り設定」を選択 3. 検知項目と体格を選択 4. ベッドの高さ・位置に合わせてベッド枠を調整
	使用環境	使用時温度環境：室内（周囲温度）5～40℃ / 室内（周囲湿度）10～80%結露なきこと
	使用場面	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、介護現場における人員体制の効率化と、利用者のケアの質の向上、職員の負担軽減はかりたい方
	習熟期間	・通常使用のみの一般職員：1週間程度 ・システム管理者の場合：1～2ヶ月程度
高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・センサー移動時の高所作業に注意する

製品情報

	項目	内容
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	介護品質の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	介護施設・障害者施設・病院内の居室（個室・多床室）
	設置場所	メーカーまたは販売会社が施設様の目的に合った推奨場所を提案いたします <以下は基本数値> 床から 2000mm ~ 2300mm ベッド横 側端から 1200mm ~ 2100mm ベッド頭側 側端から 1100mm ~ 1600mm ベッド下 側端から 800mm ~ 1600mm
	設置方法	・壁付け ※天井付けも可能ですが、震災等を考慮し推奨しません ・専用取付金具使用
	サイズ	全幅 190mm 全高 190mm 全奥行 110mm コードは含まない
	形状	箱型
	重量（バッテリー含む）	1.17kg
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサー本体 サーバ ※オンプレサーバモデルの場合 モバイル端末
	使用時の音	設定変更可能
	緊急発報の方法	モバイル端末にポップアップと音で発報
	防水・防塵加工	防水・防塵加工なし ※携帯するスマホについては、防水・防塵タイプのご紹介あり
	検知方式（センサー、画像など）	・赤外線距離センサー ・弊社独自の画像解析アルゴリズム
	検知範囲	センサーより直線距離で 4mm（センサー⇄ベッドの一番近い角まで）
	反応速度（タイムラグ）	即時通知（NW環境による影響あり）
	最大見守り人数	1センサーにつき、1人
	必要な通信環境	Wi-Fi 環境 有線 LAN 環境（オンプレサーバモデルおよびセンサー有線モデルの場合）
	必要なシステム・設備	・表示端末（タブレット、スマホ等） ・専用サーバ、専用ソフトウェア、NW機器
	データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能。保存期間については、モデルタイプにより異なる。
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能（オプション） ・IPインカムとの連携可能（オプション）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・センドバック対応 ・コールセンターによる問診ヘルスチェックも可能
	ユーザーによるお手入れ	・タブレット端末の充電
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1年
	修理対応期間	販売から5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格 販売店にお問合せください
	設置導入に伴う費用	販売会社にお問合せください
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	販売会社にお問合せください
オプション	追加できる機能	・生体モニターユニット ・無線キット ・介護記録連携 ・IPインカム連携 その他
	緊急時の問合せ先	試用開始時にご連絡いたします
問合せ先	デモ・貸出	販売会社にお問合せください
	よくある質問（Q&A）	オンラインデモも承ります

パンフレット等

製品カタログ

<https://neoscare.noritsu-precision.com/>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

キング通信工業株式会社

シルエット見守りセンサ

品番・型番

WOS-114N



機器の概要

機器の機能

ベッド上の起き上り / はみ出し / 離床を区別して検知し、介護者にお知らせします。利用者の様子をシルエット画像で確認することができ、プライバシーを保護しながら事故発生を予防します。センサ1台から運用可能で、居室間の移設も可能です。検知時のシルエット画像が履歴に保存される為、施設内の情報共有やご家族への説明に役立ちます。常時録画ができるオプションソフトにより、データ分析も可能です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

無線LAN (Wi-Fi)、表示端末 (パソコン、タブレット、スマホなど)
 ※機器運用に必要な周辺機器 (無線LANアクセスポイント、表示端末) の貸出も可能ですので、施設側で特にご用意いただくものはありません。

試用期間中のサポート

使用方法の説明
 設置・設定方法の問い合わせ対応

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **キング通信工業株式会社**

〒158-0092 東京都世田谷区野毛 2-6-6

TEL 03-3705-8113 MAIL e-takahashi@king-tsushin.co.jp

所属部署 営業統括本部 営業推進課 担当者名 高橋絵理子



機器の仕様

販売開始

2015年 4月

販売価格

300,000円 (税込)

TAISコード

01558-000003



シルエット見守りセンサ

電源電圧：AC 100V ± 10V 50/60Hz

消費電力：AC 100V時 15W

周囲温度：0℃～40℃ (屋内)

通信：有線LAN

(1ポート、通信速度：10Mbps/100Mbps)

または無線LAN (2.4GHz)

取付方式：壁面設置または自立型ポール設置

サイズ・重量：116 (H) × 217 (W) × 126 (D) mm・
約800g

材質：PC/ABC樹脂



機器の使用場面

製品

メーカー名 キング通信工業株式会社

製品名 シルエット見守りセンサ 01558-000003

型番 WOS-114N

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】 ・徘徊や転倒・転落リスクの高い方、障がい者の方、見守りが必要な方等 【介護者】 ・画像で確認したいがプライバシーが気になる、離れた場所から様子を確認したい、夜間巡回の負担を軽減したい、ベッドから移動される際の動き出しを知りたい、ベッドからの転倒・転落時の状況を知りたい方など
	専門職の関与	・特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・表示された電源電圧の範囲外での使用、分解、改造、濡れた手での接触、水や異物の機器内への混入、機器に物を載せる、布をかぶせる
使用上の注意	注意事項	・設置時にしっかり機器を固定する ・不安定な場所に設置しない ・本体を低い位置に設置しない ・ポール設置時は簡単に手の届く場所や、通路に設置しない ・各種接続ケーブルを踏かないように処理をする ・センサにつかまらない ・シンナー、ベンジン、アルコールなどの溶剤を含む薬品等で拭かない ・microSDカードは本体電源が切れている時に取り出し、挿入を行う ・次のような場所には設置しない - 湿気、油煙、ほこりの多い場所 - 腐食性ガスの発生する場所 - 水、油、薬品、導電性の異物が装置内に入るおそれのある場所 - 使用温度範囲（0℃～40℃）以外の温度になる場所 - 振動の激しい場所や衝撃の加わる場所 - 高出力のアンテナや溶接機等、著しく電磁ノイズの発生が懸念される場所 - テレビ、アンプ、スピーカー、OA機器など磁気を帯びた物に極端に近い場所 - 熱器具の近くや直射日光が当たる場所
	安全に利用するための配慮	・ACアダプタのプラグとコンセントとの接続部分などのほこりやゴミを定期的に乾いた布で取り除く ・正常に機能するように、日常点検、定期点検、清掃を実施する
	誤報の有無	・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境（太陽光、家具の位置等）による場合
	使用上の注意	・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合
	倫理的配慮	・使用前にご本人、ご家族のセンサ利用の同意を得る
	使用方法	・アプリケーションで機器の設定（見守りエリア、お知らせの種類等）を行い、居室（利用者）の様子を確認する
	使用方法（再設定）	・ベッドやセンサを動かした際に見守りエリア設定でベッド位置を指定する
使用方法	使用環境	・ベッド全体が直角に入る位置に設置（壁面又はポール） ・高さ1.8m以上、ベッドからの距離3m以内 ・無線LAN（Wi-Fi）の電波が届く場所
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・転倒・転落や徘徊リスクがあり、ベッドからの動きを早期に検知したい場合
	習熟期間	・基本操作はスマートフォンの操作に慣れていれば即日 ・詳細設定等を利用者、状況ごとに設定できるまで約1ヵ月
	高齢者に対する安全面の配慮	・利用者が接触しない場所に設置する。電源ケーブルを固定する。
	介護者に対する安全面の配慮	・機器の移設の際に落下させないように注意する
	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・ベッドからの転倒、転落リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・訪室回数の減少による身体的、心理的負担の軽減 ・見える化による心理的負担の軽減
仕様、構造	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上 ・労働環境改善、職場の魅力向上（P.R等） ・エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
	使用場所、必要スペースなど	・介護施設、病院のベッド周辺（個室、多床室問わず）
	設置場所	・ベッド周辺の設置高1.8m以上
	設置方法	・壁面設置 ・自立型ポール設置 付属のブラケットを使用、ポール設置の際はポール設置用金具を使用
	サイズ	116 (H) × 217 (W) × 126 (D) mm

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	形状	持ち運びが容易なコンパクトな箱型
	重量（バッテリー含む）	約 750g（ACアダプタ含まず）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・ ACアダプタ ・ 取付用ブラケット ・ ボール設置用金具
	使用時の音	検知時、表示端末からお知らせ音が鳴る。ON/OFF、音楽、音量は設定変更可能 センサー本体からは出ません
	緊急発報の方法	・ パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコン変化でお知らせ
	安全性の認証取得	・ JIS C7550: (IEC62471) の免除グループ（何らの光生物学的傷害も起こさないもの）に準拠 ・ VCCIクラスB
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	・ 赤外線センサー（測距センサー）
	検知範囲	ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒～設定可能（※通知が届くまではWiFi環境による影響あり）
	最大見守り人数	・ 1 システム最大 32 床（1 ベッド 1 センサー）
	必要な通信環境	・ 無線 LAN（Wi-Fi）2.4GHz もしくは有線 LAN 通信速度 10Mbps/100Mbps
	必要なシステム・設備	・ 表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	・ 異常検知した前後 15 秒ないし 60 秒の動画 ・ 操作履歴、機器異常等 ・ 追加オプションで常時録画
他の機器との連携・互換性	・ ナースコールと連動可能	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・ 機器本体とアプリケーションのバージョンアップ ・ 故障時の修理対応（訪問 / センドバック）
	ユーザーによるお手入れ	・ うすめた中性洗剤を布に含ませ、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後、乾いた布で拭く ・ ACアダプタのほこりの除去
	消耗品の有無	なし
	保証期間	1 年間無償修理対応
	修理対応期間	7 年間
コスト	耐用年数	約 7 年
	本体・付属品の定価	30 万円（税込）
	設置導入に伴う費用	設置台数、施設の通信環境による
	ランニングコスト	なし
オプション	追加できる機能	常時録画、利用者の活動データ自動分析
	教育研修費	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	キング通信工業株式会社 03-3705-8111
	デモ・貸出	可能（台数、期間については別途ご相談ください）
	よくある質問（Q&A）	Q: メンテナンス費用やアプリケーション更新料は必要か。A: 必要なし

パンフレット等

製品カタログ https://www.king-tsushin.co.jp/solution/wos_solution/



取扱説明書 https://www.king-tsushin.co.jp/solution/wos_solution/



使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=f3ZB7KOpA3M&feature=youtu.be>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

新東工業株式会社

Aiserv™ 排泄検知システム



機器の概要

機器の機能

1. ウェアブルセンサなのでベットはもちろんデイルーム・車いすでも使えます。
2. 離れていても排泄（便）を通知。排泄の履歴も記録します。
3. リアルタイムで排泄を検知。利用者に清潔な状態を維持できます。
4. 運用が簡単でコンパクトです。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

1. 連続稼働時間は約7日間です。
2. 排泄センサを便や尿に浸した状態で使用しないでください。
3. 排泄センサは、新東工業株式会社指定の撥水性の不織布袋に入れて使用ください。

試用期間中のサポート

1. 直接訪問によるご説明をいたします。（オンラインでのご説明も可能です）
2. ご試用中、定期的な訪問とお電話によるサポートいたします。

貸出期間	1ヶ月～2ヶ月
貸出可能台数	10台

問い合わせ先 **新東工業株式会社**

〒442-8505 愛知県豊川市穂ノ原三丁目1番地

TEL 0533-95-4020 MAIL info-aiserv@sinto.co.jp

所属部署 アイサーブ事業グループ 担当者名 松本・島崎・古川



機器の仕様

販売開始

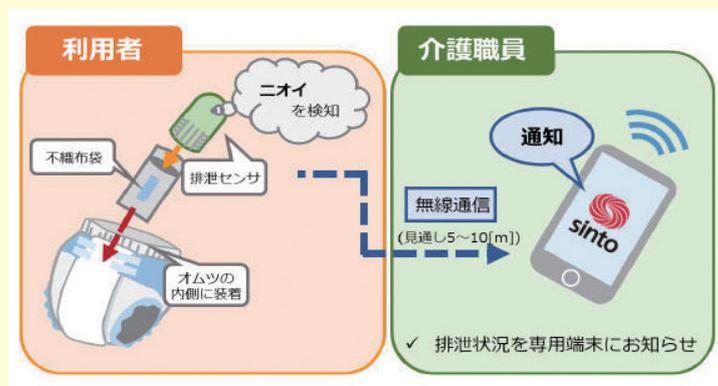
2021年1月

販売価格

297,000円 (税込)

Aiserv™ 排泄検知システム

1. サイズ (センサ本体) H65mm × W50mm × D13mm
2. 重量 24g (電池含まず)
3. 検出方式 ガス検知式
4. 電池 / 連続稼働時間 CR2032 / 約7日間



機器の使用場面

製品

メーカー名 新東工業株式会社

製品名 **Aiserv™ 排泄検知システム**

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】 ・自分でトイレに行けない方 ・便意を表現できない方 ・排泄（便）でお困りのすべての方 【介護者】 ・業務の負担軽減をしたい方
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内 ・分解、アルコールでの掃除、表示端末OSのアップデート
使用上の注意	注意事項	1. 誤飲による窒息（電池・不織布袋など） 2. センサを下敷きにした場合、褥瘡が発生する 3. 取扱説明書を確認の上、ご使用 4. ご試用前に覚書の手続きいただき注意事項を理解する
	安全に利用するための配慮	1. 便や尿に浸した状態で使用しない 2. 認知症のある方は、使用前に十分検討する
	誤報の有無	1. 感度設定がうまくできていない場合 2. 利用者それぞれに個人差があるため感度調整が必要
	使用上の注意	1. よごれた場合は水洗い 2. アルコールを使用しない 3. 表示端末OSのアップデートはしない 4. 専用の不織布袋に入れて使用する
	倫理的配慮	施設から家族に同意
使用方法	使用方法	1. センサスイッチON 2. センサを不織布袋にIN 3. おむつに装着
	使用方法（再設定）	連続7日間でボタン電池交換
	使用環境	Bluetoothが使用できる環境
	使用場面	利用者の排泄物（便）を素早く検知し、おむつを取り替えたい場合
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで約1日間
	高齢者に対する安全面の配慮	電池等、不織布など誤飲しないように注意を促す
	介護者に対する安全面の配慮	ボタン電池を1週間で交換
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	皮膚を清潔に保つ
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の業務負担の軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	排泄ケアの質の向上
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	ベット・デイルーム・車いす
	設置場所	おむつにセンサを不織布袋に入れ装着
	設置方法	不織布に入れた状態で使用 おむつの内側に取り付ける おむつにマジックテープで装着
	サイズ	H65mm × W50mm × D13mm
	形状	直方体（隅角部は曲面）
	重量（バッテリー含む）	24g（電池含まず）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ボタン電池 CR2032 1個 排泄センサ1台 不織布（100枚）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用時の音	1. 排泄検知後メロディが流れる 2. 消音可能
	安全性の認証取得	リスクアセスメント（外部機関 東京海上日動リスクコンサル）実施済
	防水・防塵加工	簡易な防水加工済
	検知方式（センサー、画像など）	においセンサで検知
	検知範囲	排泄センサから表示端末への通知距離（5～10mで検知）
	反応速度（タイムラグ）	リアルタイム通知（通信環境による）
	最大見守り人数	1人/台
	必要な通信環境	特になし
	必要なシステム・設備	特になし（新東工業にてセンサ・表示端末を準備します） 新東工業専用アプリを使用致します
	データの記録機能、有無と内容	1. 日時（自動） 2. 種別（自動） 3. 性状（手入力） 4. 便量（手入力） 5. 血液混入（手入力） 6. 尿量（手入力）
他の機器との連携・互換性	なし	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	メーカー1年保証 万が一不具合の場合、電話にて対応
	ユーザーによるお手入れ	不織布の交換
	消耗品の有無	1. 不織布袋 2. マジックテープ 3. 電池
	保証期間	1年
コスト	本体・付属品の定価	297,000円（税込）
	設置導入に伴う費用	本体以外のコストは必要ありません
	ランニングコスト	ボタン電池1個（寿命約7日/個） 不織布袋 100枚 付です
	教育研修費	事前の説明会（WEB会議）実施します
オプション	追加できる機能	ありません
問合せ先	緊急時の問合せ先	新東工業株式会社 新規事業PJ推進 アイサーブ事業グループ
	デモ・貸出	無料貸出（期間あります）

パンフレット等

製品カタログ <https://www.sinto.co.jp/aiserv/haisetsu.html>



使用方法等の動画 <https://youtu.be/X3bj4laQwIE>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社メディカルプロジェクト

シッタープロ

品番・型番

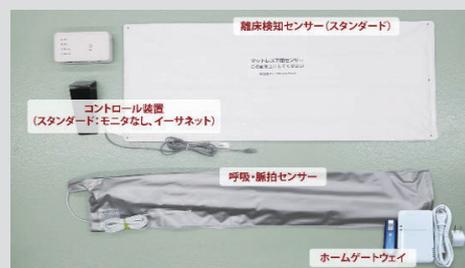
M1900S



機器の概要

機器の機能

「シッタープロ」は、マットレスの下にセンサー置き、体動から呼吸・脈拍を検出し、遠隔からPCやスマホ、タブレットにてモニタリングを行うシステムです。また、オプションの環境センサー、トイレセンサーを使用することにより、室内の温度・湿度・照度・トイレの利用状況の見守りを行うことが可能になります。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

シッタープロのアプリケーションは、webブラウザ（動作保証：Google Chrome）で動作します。インターネット利用可能なPC、スマートフォン、タブレットをご用意ください。

試用期間中のサポート

試用開始前、訪問による取り扱い説明を行います。試用期間中、ご不明な点がございましたら、お電話、メールにて承ります。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社メディカルプロジェクト

〒420-0026 静岡県静岡市葵区大鋸町 1-12

TEL 054-252-1141

MAIL info1@medicpro.co.jp

所属部署 営業部

担当者名 足立匡弥



機器の仕様

販売開始

2019年11月

販売価格

319,000円～(税込)

シッタープロ

マットレス下に空圧センサーシート、離床センサーシートを置きコントロール装置に接続します。コントロール装置へ接続したホームゲートウェイから検出データをクラウドサーバーへ送信します。インターネット接続された端末にてモニタリングを行います。オプションの環境センサー、トイレセンサーはホームゲートウェイに接続した通信用ドングルと無線接続されます。各センサーから得られるデータは職員の任意の設定でアラート通知されます。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社メディカルプロジェクト

製品名 **シッタープロ**

型番 M1900S

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<ul style="list-style-type: none"> ・看取り期で頻回な見守りが必要な利用者 ・在宅独居にて訪問サービスを利用している高齢者
禁止事項	禁止事項	<p>見守りセンサーは体動を検知する装置であり、体動の異常を予防、治療するものではありません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁気共鳴画像診断装置（MRI）と併用しないでください。 ・高気圧酸素治療装置内で使用しないでください。火災の原因となります。 ・引火性、加熱性ガス及び高濃度酸素の環境下では使用しないでください。火災の原因となります。 ・本機器を分解したり改造したりしないでください。火災や感電の原因となります。 ・機器に異常または故障が発見された場合は直ぐに使用を中止して販売店が発売元へご連絡ください。 ・本装置は診断のためにのみ使用されるものであり、睡眠時無呼吸症の監視や生命維持などの環境下で、無呼吸モニタとして使用しないこと。 ・設定の変更を行う場合は、医療従事者に相談の上、設定値の確認をしてください。 ・勝手に修理改造を行わないでください。測定器が破損し、重大な事故が起こる恐れがあります。
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・取扱説明書に記載された使用方法に従って使用すること。 ・本品に水などの液体をかけないこと。 ・ぶつける、曲げる、落下させるなどの衝撃を本品に与えないようにすること。 ・センサーのケーブル接続部分を無理に引っ張らないこと。また移動時にケーブル接続部を持たないこと。 ・使用しない時、及び異常が見つかった時はACアダプターをコンセントから抜いてください。 ・本品は、患者監視装置の代わりとなるものではない。また本製品は、確認する唯一の指標とみなすべきではない。 ・本品が故障した時は、必ず販売店が発売元にお問合せください。 ・運搬輸送時に強い衝撃が加わらないように注意してください。 ・付属品や機器の廃棄は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理してください。
	安全に利用するための配慮	<p>本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に仕様できる状態であることを確認すること。点検後、機器の異常や故障が考えられる場合は、直ぐに使用を止め、販売店が発売元に点検・修理を依頼すること。</p>
	誤報の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・使用しているマットレスによっては感度調整が必要 ・各センサーの設置場所による
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に仕様できる状態であることを確認すること。点検後、機器の異常や故障が考えられる場合は、直ぐに使用を止め、販売店が発売元に点検・修理を依頼すること。
	倫理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーに配慮したアイコン表示 ・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	取扱説明書、アプリケーション操作説明書に記載された使用方法に従って使用すること。
	使用方法（再設定）	取扱説明書、アプリケーション操作説明書に記載された使用方法に従って使用すること。
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・周囲温度 10℃～40℃、周囲湿度 20%～80%、 ・周囲気圧 700hPa～1060hPa 以内 ・モニタリングのための端末はインターネットに接続できる環境であること。
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・看取りケア ・在宅独居の高齢者の異常検知
	習熟期間	・特になし
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルは固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に固定する
	介護者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れたままベッド移動しない。 ・電源ケーブル等は足元に引っかからないような位置に配置する

製品情報

	項目	内容	
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒予防 ・バイタル異常の早期発見 ・快適な生活環境の維持	
	機器を使用することで実現する介護者への効果	看取り期の見守りによる職員の負担の軽減等	
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善	
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室内	
	設置場所	・ベッド ・トイレ ・リビングスペース等	
	設置方法	取扱説明書、アプリケーション操作説明書に記載された使用方法に従って使用すること。	
	サイズ	・コントロール装置 165mm×78mm×32mm ・空圧検知センサーシート 830mm×140mm×30mm ・離床検知センサーシート 760mm×120mm×20mm ・ゲートウェイ 110mm×70mm×48mm	
	重量（バッテリー含む）	・コントロール装置 210g ・空圧検知センサーシート 170g ・離床検知センサーシート 670g ・ゲートウェイ 190g	
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	AC / DC電源アダプタ（12V）	
	使用時の音	特になし	
	緊急発報の方法	・モニタリング用端末へアラート表示 ・登録されている端末へメール通知 ・ナースコール	
	安全性の認証取得	特になし	
	防水・防塵加工	特になし	
	検知方式（センサー、画像など）	・空圧センサー ・距離センサー ・赤外線センサー	
	検知範囲	・ベッド上 ・トイレセンサー（距離センサー） 10cm～80cm ・リビングセンサー（赤外線センサー） 4m～5m 120°	
	反応速度（タイムラグ）	インターネット環境による	
	最大見守り人数	上限なし	
	必要な通信環境	モニタリングにはインターネット環境が必須	
	必要なシステム・設備	モニタリング用PC、タブレット、スマホ	
	データの記録機能、有無と内容	・アイコン表示（臥床、離床、体動、活動中、トイレ利用、緊急通知、中断、エラー表示） ・呼吸、脈拍、温度、湿度、照度のグラフ表示 ・各種アラート表示 ・データの保存期間3年間	
	他の機器との連携・互換性	・ナースコールとの連動可能	
	メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合の場合、電話にての対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
		ユーザーによるお手入れ	空圧センサーシートへの空気充填
消耗品の有無		・空圧センサーシート ・離床センサーシート	
保証期間		ご購入から1年	
修理対応期間		特に設定なし	
耐用年数		使用状況による	
コスト	本体・付属品の定価	319,000円（税込）（ご購入から1年間のクラウド利用料金含む）	
	設置導入に伴う費用	別途	
	ランニングコスト	2年目以降のクラウド利用料金（都度お見積り）	
	教育研修費	特になし	
オプション	追加できる機能	特になし	
問合せ先	緊急時の問合せ先	TEL：054-252-1141 平日9:00～18:00	
	デモ・貸出	可能	

パンフレット等

製品カタログ

<http://www.medicpro.co.jp/sitterpro/index.html>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社エイビス

エイビスみまもりシステム

品番・型番

AIVS-001-01



機器の概要

機器の機能

- ◇【ベッド上にいる】【起き上がり】【離床】
【異常な動き（痙攣等）】などの状態変化をモニタリング。
- ◇利用者ごとの危険レベルを設定し、必要な状態でアラーム通知。正確な判定で誤報が少ない。
- ◇アラームの通知機能は3種類から選択。
 - ・パソコンで管理して携帯端末へお知らせするネットワーク型
 - ・既設のナースコールでお知らせするナースコール型
 - ・簡易受信機でお知らせする通報器型



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

※販売価格は共通セットのみ

必要な機器はお貸しますので特に必要ありません。

試用期間中のサポート

基本的に電話にて運用サポート。必要に応じて、リモートソフトウェアを利用、訪問してレクチャー。

貸出期間 7～30日間

貸出可能台数 2台

問い合わせ先 **株式会社エイビス**

〒870-0026 大分県大分市金池町 3-3-11

TEL 097-536-0999 MAIL m_kubo@aivs.co.jp

所属部署 介護事業本部 担当者名 久保雅紀



機器の仕様

販売開始

2014年6月

販売価格

198,000円 (税込)

エイビスみまもりシステム

【共通セット】

- ・情報ボックス、パネルセンサー(マットレスの下に設置)。

【ネットワーク型】

- ・パソコン みまもり支援システムをセットアップ。ブラウザでベッド一覧やアラーム通知の受信。
- ・無線LAN 携帯端末を持ったスタッフの動線は網羅したエリアが必要。
- ・スマホ アンドロイドに専用のアプリをインストールして使用。
- ・ネットワークカメラ ベッドサイドに設置すれば、アラーム通知時に状況を映像で確認できる。

【ナースコール型】

- ・ナースコール分配器 アイホン社、ケアコム社、それぞれのコネクタ形状に合わせて用意。

【通報器型】

- ・簡易型通知装置 無線でアラーム通知時に音でお知らせ。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社エイビス

製品名 **エイビスみまもりシステム**

型番 AIVS-001-01

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など。 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方。
	専門職の関与	特に必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外、高温多湿なところ。 ・分解、改造、過負荷、過電流、洗浄
使用上の注意	注意事項	・強い衝撃を与えない。 ・水に浸けたり、濡らしたりしない。 ・ACアダプターのコードに傷をつけない。 ・たこ足配線などコンセントの定格を超えて使用しない。 ・濡れた手でACアダプターのプラグの抜き差しはしない。 ・本製品を使用中に煙が出たり、焦げた匂いがしたときなどは、直ちに使用を止めてプラグをコンセントから抜く。 ・スプリング式のマットレスの下では使用できない。
	安全に利用するための配慮	・利用者の触れないところに設置する。 ・未使用時の保管は、暗所で濡れたり埃が入らないようにする。
	誤報の有無	・センサー感度設定（自動調整）がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・（無線LANを利用する場合）電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・意図した設置位置で使用する。 ・利用者マニュアルに従って使用する。
	倫理的配慮	・施設から家族に同意書を取得するべき。 ・施設にてオプションのカメラを利用するかどうかについてよく検討し、使用するのであれば運用ルールを定める。 ・利用者のプライバシーに配慮し、映像は残さない仕様を基本としている。 ・センサーが認識・通知した時のみ、画像で状況を確認する事が出来る様な仕様になっている。
使用方法	使用方法	・使用開始時はパネルセンサーと情報BOXを設置、電源投入のみ。 ・アラートの種類：「起き上がり」「離床」「寝返り」「安否確認」
	使用方法（再設定）	・電源の投入時に初期化され、自動設定。
	使用環境	・気温 0℃～40℃ ・湿度 20%～80%以下、但し結露しないこと
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケアまで
	習熟期間	・アラーム検知だけであれば即使用できる。
	高齢者に対する安全面の配慮	・高齢者が触れる場所に機器を設置しない。 ・電源ケーブルは整理する。
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッドを移動しない。
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上。
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減（訪室巡視が減らせる）
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設・病院内 居室（個室・多床室）。
	設置場所	・センサーはベッドのマットレス等の寝具の下。機器類はベッドの下。
	設置方法	・センサーはベッドのマットレス等の寝具の下に置く。機器類はベッドの下に置く。
	サイズ	パネルセンサー：サイズ：600×180×10mm、情報ボックス：110×105×26mm
	形状	センサーはパネル型
	重量（バッテリー含む）	パネルセンサー：1100g、情報ボックス：170g

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	コンセント接続
	使用時の音	無音
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ ・ナースコールシステムを介して通知
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇P S Eマーク）取得 ・内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	無し
	検知方式（センサー、画像など）	・振動センサーなどで検知
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・1秒以内（※通知が届くまではW i - F i 環境による影響あり）
	最大見守り人数	・上限なし
	必要な通信環境	・無線L A Nもしくは有線L A N通信速度10Mbps/100Mbps) ・ナースコールに接続すれば通信環境は不要
	必要なシステム・設備	・パソコン、スマホ、専用ソフトウェア、ネットワーク機器 ・ナースコールに接続すればP C、ソフト、システム等は不要
データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名、検知履歴一覧の表示。 ・記録する情報：乗床、寝返り、起き上がり、離床（心拍数・呼吸数はバイタルセンサー接続時） ・記録した利用者の状態及び居室の状況を1日24時間分、居室単位でグラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能。 ・C S Vファイルのデータエクスポート機能有	
他の機器との連携・互換性	・ナースコールと連動可能 ・検知状況確認用のカメラとの接続が可能	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	・アンドロイド端末の充電 ・コントローラ・センサはA Cアダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとる。
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	ご購入後1年間
	修理対応期間	5年間
	耐用年数	約5年間
コスト	本体・付属品の定価	198,000円（税込）
	設置導入に伴う費用	アラームの通知方式による。
	ランニングコスト	無し
	教育研修費	別途相談
オプション	追加できる機能	カメラ、バイタルセンサー
問合せ先	緊急時の問合せ先	090-8222-4823 久保
	デモ・貸出	090-8222-4823 久保

パンフレット等

製品カタログ https://www.aivs.co.jp/watch_hos/



使用方法等の動画 https://youtu.be/rX9gaCTHV_s



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

積水化学工業株式会社

起上り検知センサー「ANSIEL」

品番・型番

AS-101

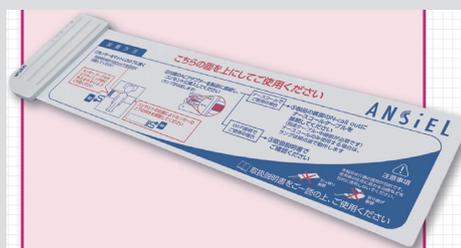


機器の概要

機器の機能

マットレスの下に ANSIEL を設置することで、ナースコール接続（別途接続機器が必要）では3つの状態を（①体動・②起始・③起上）通知します。

W i - F i 環境下では起上り検知と在床管理が可能です。P C 接続によるブラウザ画面、スマホやタブレット用専用アプリにより6つの状態（①入床・②在床・③体動・④起始・⑤起上・⑥不在）に加え、心拍・呼吸の通知が可能です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

A C 100 V の電源が必要です。
ナースコール接続時には、中継器・専用ケーブルなどの接続機器が必要です。
W i - F i 接続時には、①W i - F i 環境②P C ・スマホ・タブレットの何れかが必要です。

試用期間中のサポート

ご要望に応じ、現地での設置サポート、リモートによるサポート等を行います。また、専任担当者を配置しお電話によるサポートも行います。

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	5台

問い合わせ先 積水化学工業株式会社

東京都港区虎ノ門 2-10-4

TEL 03-6748-6525

MAIL hideki.kurihara@sekisui.com
atsushi.wada@sekisui.com

所属部署

住インフラ材戦略室

担当者名

栗原・和田



機器の仕様

販売開始

2020年2月

販売価格

オープン

TAISコード

01962-000001



起上り検知センサー「ANSIEL」

1. 使用温度範囲 5 ~ 35° C
2. 使用湿度範囲 30 ~ 80%
3. 保管温度範囲 0 ~ 40° C
4. 保管湿度範囲 10 ~ 80%
5. 定格入力電圧 AC100V ~ 240V / 50-60Hz
6. 出力電圧 / 電流 DC9V ± 5% / 1.3A
7. Wi-Fi規格 IEEE 802.11b/g/n (2.4GHz)
8. 商品寸法本体: W × D × H = 800 × 230 × 22 (mm)
9. ACアダプタ: W × D × H = 34 × 45.5 × 24.7 (mm)
10. 商品重量本体: 590 (g) ACアダプタ: 80 (g)

見守り・コミュニケーション



機器の使用場面

製品

メーカー名 積水化学工業株式会社

製品名 起上り検知センサー 「ANSIEL」 01962-000001

型番 AS-101

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】・転倒転落リスクのある方 ・認知症の方 ・日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 ・徘徊予防の必要な方</p> <p>【介護者】・従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方 ・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい方 ・業務の負担軽減をしたい</p>
	専門職の関与	特になし
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）：ベッドマットレスや敷布団以外のところ ・センサーを折り曲げない、引っ張らない センサー及びコード類を傷つけない センサーに殺虫剤、洗剤などの薬剤を触れさせない センサーに重量物を置かない センサーに落下などの強い衝撃を与えない センサーに布や布団で包んで使用しない 使用温度、湿度範囲外での使用、保管をしない 水につけない 温熱器具に直接接触させない 火の気近づけない 適合する設置環境、方法以外で使用しない 凹凸な面や柔らかい面に設置しない 裏向きに設置しない 付属のACアダプター以外使用しない AC100V以外のコンセントでは使用しない 付属のACアダプターに無理な力を加えない、埃を付着させない 2人以上（ペットも不可）で使用しない 電子レンジなど電波を発生する電化製品や装置を同じ部屋に置かない USBポートはメンテナンス用のため通常時は使用しない
使用上の注意	注意事項	操作を十分に理解した上で使用する 利用者に合わせた調整をすること
	安全に利用するための配慮	禁止事項に記載
	誤報の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・感度設定、調整がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・センサーの設置位置が適当な場所にされていない場合 ・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境により強度が不足している場合
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・センサー、センサー本体に接続されているケーブルがベッド可動部に挟まれない様ご注意ください。事故や故障につながるおそれがあります。 ・センサー本体に接続されているケーブルがリクライニング時に外れないことをご確認ください。 ・利用者の肩より約5cm下を目安にセンサー本体が設置されていない場合、適切に通知出来ない可能性があります ・センサー本体の設置位置にご確認ください ・設置面が商品の幅より狭い場合は、センサー本体のシート側を余らす形でお使い頂くことは可能ですが、環境によっては適切に通知出来ない場合があります。
	倫理的配慮	・施設からご家族様に同意書を取得されることが望ましい。
使用方法	使用方法	<p>①付属のACアダプターをセンサー本体に接続し、コンセントに挿入してください</p> <p>②センサーをマットレスの下に敷いてください（肩から5cm下を目安）</p> <p>ナースコール接続（別途接続機器が必要）では3つの状態を ①体動・②起始・③起上）通知。Wi-Fi環境下では起上り検知と在床管理が可能。PC接続によるブラウザ画面、スマホやタブレット専用アプリにより6つの状態 ①入床・②在床・③体動・④起始・⑤起上・⑥不在）に加え、心拍・呼吸の通知が可能</p>
	使用方法（再設定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプタの接続 ・Wi-Fiと機器の接続 ・利用者に合わせた体重設定もしくは自動調整を使用した設定
	使用環境	<p>1. 使用温度範囲5～35℃ 2. 使用湿度範囲30～80%</p> <p>3. 保管温度範囲0～40℃ 4. 保管湿度範囲10～80%</p> <p>ナースコールとの有線接続もしくはWi-Fi環境</p>
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケア
	習熟期間	設置位置の把握などで1週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードを目立たないようにする ・電源コードに引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源コードに引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒、転落リスクの低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減 ・生活リズムの把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・ベッド上（マットレス下）もしくは敷布団下
	設置場所	・ベッドマットレス等の寝具の下（肩の位置から5cm程度下に配置）
	設置方法	・ベッドマットレス等の寝具の下に敷く
	サイズ	商品寸法本体：W×D×H= 800×230×22（mm）
	形状	デバイス部+シート状
	重量（バッテリー含む）	本体重量：590g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	ACアダプタ：80g
	使用時の音	電源ON時に小さな電子音
	緊急発報の方法	・緊急発報機能なし（機器異常時に点灯ランプが赤く点灯）
	安全性の認証取得	・内部通信モジュールは技適取得 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇PSEマーク）取得
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（圧電センサー）
	検知範囲	・ベッド上（センサ上）
	反応速度（タイムラグ）	・5秒程度（通知時に通信環境の影響あり）
	最大見守り人数	・1名/台
	必要な通信環境	・ナースコール機器もしくはWi-Fi環境（ない場合はモバイルルーターが必要）
必要なシステム・設備	・ナースコールシステムもしくは表示用端末（パソコン、タブレット、スマホ等）	
データの記録機能、有無と内容	・動作履歴、脈、呼吸の測定履歴のデータ出力	
他の機器との連携・互換性	・一部ナースコールとの連動可能	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合時のお問い合わせ対応（本体修理対応など） ・クラウドサーバーの定期メンテナンス、システム改修
	ユーザーによるお手入れ	・表示用端末の充電、メンテナンス
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	製品出荷日より1年間
	修理対応期間	製造後5年
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6748-4525
	デモ・貸出	特になし
	よくある質問（Q&A）	特になし

パンフレット等

製品カタログ <https://www.s-ansiel.com/>



取扱説明書 <https://www.s-ansiel.com/download/>



使用方法等の動画 <https://www.s-ansiel.com/movie.php>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社リンクジャパン
スマートナースコール
eBell (イーベル)

品番・型番

BE1



機器の概要

機器の機能

- 工事不要
eBellは工事を一切必要とせず、介護施設や自宅等、場所を選ばずに利用シーンに合わせて、すぐに利用可能です。
- ワンタッチでビデオ通話開始、スマホから呼びかけ
現場スタッフが手持ちのスマホで、どこにいても通知を受け取り即座にビデオ通話が始まります。
利用者の様子が気になる時は、スマホからの呼びかけも可能で、スマートナースコールとしても活用できます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・常時接続できるインターネット環境(2.4GHz帯のWi-Fi)が必須です。
- ・アプリ対応のスマホまたはタブレット端末(iOS11以上、Android 7.0以上)が必要です。

試用期間中のサポート

- ・メール、チャット、電話対応
- ・オンライン対応(zoomなど)

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	5台

問い合わせ先 **株式会社リンクジャパン**

〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東2丁目9-5 池松ビル4F

TEL 070-4400-5549 MAIL suishin@linkjapan.co.jp

所属部署 営業部 担当者名 堂山哲雅



機器の仕様

販売開始

2020年3月

販売価格

43,780円(税込)

スマートナースコール eBell (イーベル)

動画保存場所：microSDカード(最大128G)

有効画素数：200万画素

視野角対角：120° / 水平：100° / 垂直：55°

通信：IEEE802.11b/g/n (2.4GHz～2.4835GHz)

電源：AC / DCアダプター 5V-1A

動作環境：温度 -20℃～50℃、湿度 <90%

マイク&スピーカー：内蔵(アプリで双方向通話可能)

ナイトビジョン：“赤外線ナイトビジョン、昼/夜モード
自動切り替え”

ビデオ解像度：1080p (1920 × 1080)

同時通話数：制限なし(※Wi-Fiの接続上限数による。)

遠隔録画確認：可

サイズ：115mm × 45mm × 26mm

重量：78g

設置方法は柔軟に。ニーズに合わせて



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社リンクジャパン

製品名 **スマートナースコール eBell (イーベル)**

型番 BE1

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のナースコールの更新料を抑えたい
	専門職の関与	・特になし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外 ・分解、改造、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合 ・出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合
	使用上の注意	・Wi-Fi環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所に利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る
使用方法	使用方法	・スマホを2.4GHzのWi-Fiに接続し、アプリをダウンロード。アプリの案内にそってセットアップ ・使用方法 高齢者→呼び出したいときに、ボタンを押す 介護スタッフ→対象者がボタンを押すと通知があり通話やビデオ通話が可能、高齢者の様子が気になる際はスマホから呼びかける
	使用方法（再設定）	・移動後に、ACアダプタを接続する ※Wi-Fiネットワークが変更する場合は、再セットアップの必要あり
	使用環境	・温度 -20℃～50℃ ・湿度 <90%（但し、結露しないこと） ・居室全体が見える位置への設置 ・Wi-Fi環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の状況把握を行いたいとき ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから着取りケア ・ナースコールとして活用したい
	習熟期間	・うまく使いこなすようになるまで約2週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	すぐに呼びかけ可能なため安心感を与えられる、遠方のご家族とコミュニケーションができる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、既存ナースコールと比べ導入料を抑えられる
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内 居室（個室・多床室）、Wi-Fi通信が届くエリア
	設置場所	・居室の天井や壁 ※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること
	設置方法	・壁付け（両面テープ、固定ネジ）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	サイズ	115mm × 45mm × 26mm
	重量 (バッテリー含む)	78g
	電源・バッテリー (本体、端末、センサー等)	micro USBケーブル、USBアダプター (5V 1A)
	使用時の音	呼び出し時に、本体スピーカーから音が鳴る
	緊急発報の方法	呼び出しがあった場合、スマホ・タブレット・パソコン等へ通知がくる
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証 (◇PSEマーク) 取得
	防水・防塵加工	なし
	検知方式 (センサー、画像など)	・センサーで検知 (赤外線センサー)
	検知範囲	・動体検知
	反応速度 (タイムラグ)	・約2秒 呼び出しボタンが押されてから、スマホに通知がくる速度 ※Wi-Fi環境による影響あり
	最大見守り人数	・1つのアプリで管理でき、登録数に上限なし
	必要な通信環境	・常時接続可能なインターネット環境 ・無線LAN (Wi-Fi) 2.4GHz
	必要なシステム・設備	・使用端末 (iOS11以上・Android 7.0以上のタブレット、スマホ)
	データの記録機能、有無と内容	・呼び出し時の通知履歴を確認できる、また誰が対応したのか担当者を設定することができる ・microSDカードで録画可能 (常時録画、動体検知時、無効)
	他の機器との連携・互換性	・呼び出しボタンと連動可能
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、メール・チャット・電話にて対応。現地対応が可能な場合は、不具合の確認・適切な処置 (必要と認められれば、本体の交換) を行う ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・スマホ・タブレット端末の充電 ・本体カメラ部の清掃 ・ホコリの除去
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	一年間
	耐用年数	約7年
コスト	本体・付属品の定価	43,780円 (税込)
	設置導入に伴う費用	設置費用は実費
	ランニングコスト	サービス利用料: 月額 1,100円 / 台 (税込) サービス利用料: 一括 99,000円 / 台 (税込)
オプション	追加できる機能	インカム機能 (アプリ間通話)
問合せ先	緊急時の問合せ先	070-4400-5549
	デモ・貸出	070-4400-5549
	よくある質問 (Q&A)	Q インターネットの環境がありませんが、使用できますか? A インターネット環境 (2.4GHzのWi-Fi) が必須となります。オプションで2.4GHzに接続できるSIMルーターの提供も可能です。

パンフレット等

製品カタログ

<https://linkjapan.co.jp/product/ebell/>



取扱説明書

https://linkjapan.co.jp/wp-content/manual_eMamo/Index.html



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

コアフューテック株式会社

e 伝之介くん

品番・型番

EDS-01SSCMR000



機器の概要

機器の機能

「離床」してからの駆けつけで手遅れとならぬ様、「起床」、「端座位」にまで遡っての検知通知を、1台のセンサーに集約して行う。センサーマットの持つ、「どける」、「またぐ」、「つまづく」、「折れ曲げ断線」という弱点が無い。高性能赤外線カメラを通しての画像を、富士通の特許による画像処理技術で解析する事で、利用者の動きを認識する。感染症に強い、非接触型センサー。第3者は認識しない。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- 1 小型PCを内蔵する電子機器であり、丁寧なお取り扱いをお願いします。
- 2 カメラにに対しての強い西日による逆光等の場合は、カーテンのご使用をお願いします。
- 3 認識精度向上の為、枕元周辺には物を置かないでください。

試用期間中のサポート

メール及び、ズームによるWeb対応を行います。

貸出期間	1ヶ月（応相談）
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 コアフューテック株式会社

〒211-0004 神奈川県川崎市中原区新丸子東 2-888 KTSビル 2階

TEL 044-430-5501 MAIL e-den@corefutec.co.jp

所属部署 介護機器事業部 担当者名 橋本 眞



機器の仕様

販売開始

2019年4月

販売価格

140,800円 (税込)

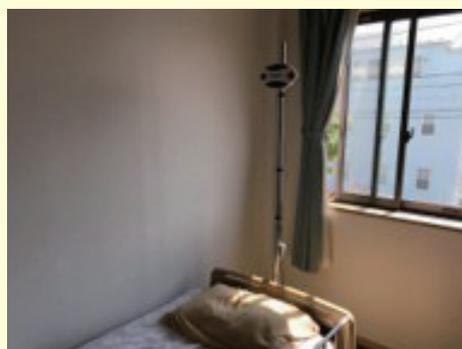
TAISコード

01903-000001



e伝之介くん

- 1 電源：AC 100V
- 2 消費電力：7.7w
- 3 取り付け・配線工事：不要
- 4 本体サイズ・重量：L:200mm X W:120mm X H:50mm / 320g
- 5 検知方法：LED照射による赤外線カメラでの画像を内蔵画像処理ソフトで解析。
- 6 通知方法：①ナースコール、②独自ワイヤレスチャイム（見通しで120m）、③独自無線（見通しで1,000m）
- 7 取り付け方法：①スタンドタイプ、②壁付けタイプ、③超低床ベッド用ヘッドボードタイプ。
- 8 標準カラー：①アイボリーホワイト、②ダークグレー（つや消し）



機器の使用場面

製品

メーカー名 コアフューテック株式会社

製品名 **e 伝之介くん 01903-000001**

型番 EDS-01SSCMR000

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	在宅（同居）、介護施設、医療機関、障がい者施設での、高齢者、障がい者の自立支援を目指した見守り。
	専門職の関与	特に必要としない。
禁止事項	禁止事項	機器を破損する動きの恐れのある利用者への使用はお控え下さい。
使用上の注意	注意事項	「どける」、「またぐ」、「つまづく」、「折れ曲げ断線」等、センサーマットの持つ弱点はありません。また、多くのIT系センサーの様に多機能ではありませんが、手の届きやすい価格に抑えております。人に勝る見守りはありませんが、競合品との良さをご評価頂いた上でご使用ください。
	安全に利用するための配慮	①電源はAC100Vです。ACアダプターは、より安全性が求められる、「特定電気用品」用の認証（PSEマーク）を取得しています。 ②ワイヤレスチャームについては、当社名義にて、日本電波法による認証を取っております。認証番号は、「007-AH0122」です。その他、使用上安全に対する特別な注意が必要な点はありません。小型PC、電子基板、高性能カメラ、LEDライト等を内蔵する電子機器ですので、丁寧なお取り扱いをお願いします。
	誤報の有無	①1秒間に7コマの画像を取り込んで解析していますが、利用者の動きが著しく早い場合は、7コマの画像では追いきれないケースがあります。 ②利用者が「起床」しながらも、「起床」の通知により駆けつけてみれば横になっておられるケースがありますが、これも誤報ではありません。 ③利用者がベッドから離れたときに、介護者等他の方がベッドに入れば「検知」・「通知」致しますが、これも誤報ではありません。
	使用上の注意	①カメラに西日等、強い光が当たる場合や、②枕元にぬいぐるみ等、利用者の頭部と誤認しかねない物を置いている場合は、正常に作動出来ない事があります。①カーテンを引いたり、②枕元をスッキリとしておいてください。
	倫理的の配慮	利用者のプライバシーに配慮し、画像は撮らない、残さない事を基本としています。しかし、ご家族・施設様双方の個別の理由により、どうしてもご覧になりたいとのご要望もあります。ご本人様・ご家族様のご同意を頂いた上で、オプションとして、センサーが認識・通知した時のみ（拘束にならない様）、画像で状況を確認する事が出来る様な対応を考えます。
使用方法	使用方法	電源を入れると、センサーは自動的に起動し、ベッド・利用者を認識の後、自動で、「起床」、「端座居」、「離床」の認識・検知・通知を開始します。PC、追加ソフト、取り付けに伴う特別の工事等は不要です。
	使用方法（再設定）	必要な時に、必要な場所に移動し、電源を入れれば、上記8の様に認識・通知を始めます。
	使用環境	コンピューター、カメラ、LEDライト、画像解析ソフト内蔵のデリケートな電子光学機器です。例えば、利用者がご入室で無い場合に、室温が40℃以上になる様な環境での設置はお控えください。
	使用場面	在宅・介護施設・医療施設・障がい者施設において、「離床」してからの駆けつけて手遅れとならぬ様、「起床」、「端座居」にまで遊んでの検知通知を、1台のセンサーに集約して行う事ができます。遍く普及しているセンサーマットと異なり、「どける」、「またぐ」、「つまづく」、「折れ曲げ断線」と言う弱点がありません。また、第3者は認識せず、感染症に強い非接触型です。
	習熟期間	家電と同様、設置後2～3日で使いこなせる様になります。
	高齢者に対する安全面の配慮	①接触型のセンサーマットと異なり、「非接触型」にする事で、利用者及び介護者様双方に対して、感染症のリスクを軽減出来ます。 ②本体は樹脂成型により出来ており、部品成型材料の耐熱性につき、「荷重たわみ温度試験」を実施しております。 ③LEDライトによる温度上昇をコントロールする機器をつけています。
	介護者に対する安全面の配慮	介護者に対する、格別の危険な要素はありません。
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	優しく見守られており、何かあればすぐに駆け付けてくれるという安心感から、利用者ご自身にも自分で出来る事は自分でやろうと言う自立の意識が芽生える。また、ご自分で呼ばなくても、センサーが代わりに呼んでくれると言う事で、「気が楽だ。」と仰る利用者もおられます。
	機器を使用することで実現する介護者への効果	①転倒事故→大腿骨折→死亡リスクの増大や、一人歩き（徘徊）の不安に対する介護職員の心理的・身体的なストレスを大きく緩和する事で、介護職員の離職理由の上位に入る、「心身の不調」を減らす効果がある。 ②センサーマットの様に、利用者が、「どける」、「またぐ」、「つまづく」事による検知・通知漏れが無く、事故率を減少出来る。 ③センサーマットの様な、汚れに対するクリーニングの手間がかからず、介護者への負担が軽減できる。
	機器を使用することで実現する施設への効果	①事故リスクの低減により、空室率を低く抑え、施設経営の安定化に寄与する。 ②「身体拘束廃止未実施減算」の可能性の回避。 ③今後共、増額の見込まれる、「夜間職員配置加算増額」の活用。 ④介護職員の離職理由の削減（上記15）により、求人問題に悩むケースが減少する

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	利用者の寝室の別途の頭部側。
	設置場所	ベッドの頭部側に設置。
	設置方法	①壁付け、②スタンド設置タイプ、③超低床ベッドのヘッドボードに取り付け。その他、環境に合わせたこまめな対応は出来る範囲で致します。
	サイズ	本体：L 200mm × W 120mm × H 50mm
	形状	コンパクトな楕円形
	重量（バッテリー含む）	本体：320g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	外部電源（AC 100 V）
	使用時の音	無音。
	緊急発報の方法	「緊急時」だけでは無く、常に、検知・通知を続けます。
	安全性の認証取得	「特定電気用品」用の認証（PSEマーク）を取得しております。
	防水・防塵加工	防水・防塵対応とはなっておりません。
	検知方式（センサー、画像など）	赤外線カメラで取り込んだ画像を、本体に内蔵する画像処理ソフトで解析し、「起床」、「端座居立ち上がり」、「離床」を認識し、介護者に通知する。
	検知範囲	ベッド回り。
	反応速度（タイムラグ）	1秒間に7コマで取り込んだ画像を、内蔵画像処理ソフトで瞬時に解析し、独自無線・ナースコールを通じて通知します。殆どリアルタイムでの、検知・通知です。
	最大見守り人数	一名
	メンテナンス	必要な通信環境
必要なシステム・設備		見守りセンサーとしての機能は、全て本体に内蔵・完結しており、追加のPC、ソフト、システム等は一切不要。
データの記録機能、有無と内容		お求めやすい価格設定にする為に、「起床」、「端座居立ち上がり」、「離床」の検知・通知のみに特化させており、データの記録はしない。将来の市場からの要望に対する拡張性は持っている。
他の機器との連携・互換性		オプションとして、検知・通知状況確認用のカメラとの接続が可能。
メーカーによるメンテナンス		不具合の場合、電話、Zoom等のWebにて対応致します。必要な場合は、現地に出向き、不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行います。
ユーザーによるお手入れ		熱、埃等の環境にご注意頂く他は、格別のお手入れは必要ありません。
消耗品の有無		摩耗・消耗部品を使っておらず、部品交換の必要はありません。除：LEDライトの寿命（3-4年）による交換。
保証期間		購入後3ヵ年。
耐用年数		発売後間もなく、実績年数の測定は出来ませんが、設計上は、LEDライトの寿命が3年-4年であり、それを交換すれば、5-6年の使用には耐えられると想定しています。
コスト		本体・付属品の定価
	設置導入に伴う費用	上記「本体・付属品の定価」の、本体・付属品の価格以外にかかる費用はありません。
	ランニングコスト	①摩耗・消耗部品を使っておらず、部品交換の必要はありません。（除：LEDライトの寿命による交換。） ②通信機能を持たせていないので、通信費用等も不要です。
	教育研修費	特にありません。
オプション	追加できる機能	画像による確認機能。
問合せ先	緊急時の問合せ先	電話：044-430-5501、メール：e-den@corefutech.co.jp
	デモ・貸出	対応中・リース・レンタルも応相談。

パンフレット等

製品カタログ <https://www.e-den.corefutech.co.jp/>



取扱説明書 <https://www.e-den.corefutech.co.jp/manual/e-dennosukekun.pdf>



使用方法等の動画 https://www.e-den.corefutech.co.jp/e-den_setting



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ツカモトコーポレーション

AlgoSleep 見守りセンター

品番・型番

SC300M



機器の概要

機器の機能

ベッドマットレスの下に敷いて使用する非接触型の見守りセンサーです。低周波集音センサーと独自のアルゴリズムにより、利用者の心拍数や呼吸数を遠隔地からPCやスマートフォンアプリを通じてモニタリングすることが可能です。アラート機能を搭載し、心拍数や呼吸数が設定値を上回る（下回る）場合や離床をした際は端末にお知らせいたします。睡眠解析機能では、睡眠の深度や質を点数化しケアプランの改善に活用が可能です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

Wi-Fi環境、スマートフォンなどが必要となりますが、ご相談の上状況に応じて弊社からモバイルルータやスマートフォン等の貸与させていただきます。

試用期間中のサポート

機器トラブル、使用方法がわからない等ございましたら担当までお気軽にお問い合わせください。

*営業部時間外の場合は対応までお時間をいただく場合がございます。

貸出期間	2週間～1か月程度 延長等対応可能
貸出可能台数	～30台 *要相談

問い合わせ先 株式会社ツカモトコーポレーション

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1丁目6番5号

TEL 03-3279-6847 MAIL solution@tsukamoto.co.jp

所属部署 営業本部 新規事業準備室 担当者名 小林



機器の仕様

販売開始

2020年10月

販売価格

レンタル

月額 3,300 円 (税込)

AlgoSleep 見守りセンター

センサーマットをマットレスの下（利用者肩甲骨の下あたり）に敷き使用します。利用者から取得した生体情報はW i - F i環境を通じてクラウド上のサーバにアップロードされ、P Cブラウザやスマートフォンのアプリを通じて確認することが可能です。アプリ上ではリアルタイムモニタリング、アラート通知、レポート機能をご利用できます。

リアルタイムモニタリングでは離床 / 座位 / 臥床 / 睡眠の状態をリアルタイムに表示します。モニタリング画面を利用して、目が覚めている要介護者様へ優先的にケアを行うなど、状況に応じた対応が可能になります。同時に利用者の心拍と呼吸数を計測し、モニタリング画面に数値を表示します。

アラート機能は測定中のデータに基づき異変を感知し、管理者のスマートフォンにお知らせをする機能です。迅速な対応の補助によりスタッフの精神的負担をサポートします。

レポート機能では日報、週報、月報の確認が可能で、睡眠の点数をはじめ、レム睡眠やノンレム睡眠などの睡眠の深度、睡眠時の心拍や呼吸数の推移を確認することが可能です。

初期設定や設置作業に関しては可能な限り弊社でサポートさせていただきます。

アプリ + センサーマット

で叶える、
新しい介護のかたち。

介護用みまもりセンサー
AlgoSleep
アルゴスリープ



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ツカモトコーポレーション

製品名 **AlgoSleep 見守りセンター**

型番 SC300M

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・高齢者施設、障害者支援施設の利用者、在宅サービス利用者（転倒リスクのある方、認知症の方、生活リズムの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方） 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、と感じている方
	専門職の関与	・不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：ストーブなどの火気の近くやホットカーペットなどの暖房器具の上、トラップや電車が頻りに通過路脇などの振動が多い場所。電波障害を受けやすい電子機器は本製品からの電波障害がないことを確認してから使用する ・分解、改造、修理をしない
	注意事項	・本製品を医療用または診断設備として使わない ・センサーマットのカバーが破れていないか確認し、破れた状態では使用しない ・湿気やほこりの多い場所や、保管温度範囲（0～50度）外の場所に放置しない ・お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く ・長時間使用しない場合は、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜く
使用上の注意	安全に利用するための配慮	・付属のACアダプタ以外は使用しない ・電源プラグは根元まで確実に差し込む ・電源プラグのホコリ等は定期的にとる ・センサーマットおよび通信ユニットを水につけたり、水をかけたり、水をこぼしたりしない ・濡れた手でACアダプタやセンサーマットプラグの抜き差しをしない ・センサーマットの上に立ったり、飛び跳ねたり、不安定な場所・姿勢で使用しない
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・電源コードやセンサーマットケーブル（特にセンサーマットケーブル接続部）に負荷をかけたり、傷つけたりしない ・センサーマットを強く折り曲げない ・通信ユニットやACアダプタを落としたり、強い衝撃を与えない ・濡れた手で操作しない ・センサーマットは一人用の測定機です
	使用方法	・ACアダプタのアダプタプラグを、通信ユニットのアダプタプラグ差込口に接続し、電源プラグをコンセントに差し込み、通信ユニットの電源スイッチをONにする ・移動後に、ACアダプタを接続、通信ユニットの電源スイッチをONにする
使用方法	使用環境	・センサーマットはできるだけ硬い素材の上に敷いてご使用いただくことを推奨いたします ・ストーブなどの火気の近くや、ホットカーペットなどの暖房器具の上で使用しないでください ・湯たんぽ等をご使用の場合は、センサーマットと直接触れないようにしてください。火災や事故・故障の原因になります ・本製品の使用温度範囲は5℃～35℃です ・センサーマットは一人用の測定機です。ベッドでパートナーや子供、ペットと一緒に寝る場合は、正しい測定ができません ・振動が多い場所では測定しないでください。測定または測定結果に誤差が生じる原因になります ・電波障害を受けやすい電子機器は本製品からの電波障害がないことを確認してからご使用ください
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守りが必要な場合
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っぱったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない ・移動の際はケーブルを踏まないように注意する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒リスクの軽減 ・睡眠の質の向上 ・排泄の自立支援によるQOL向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・利用者の状況を把握することで状況に応じた対応が可能になる ・アラート機能を利用して利用者の異変に素早く気付くことができる ・睡眠の可視化により、ケアプランの改善に活かすことができる
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減 ・ケアの質の向上 ・エビデンスデータの保持 / 訴訟リスクの軽減
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・屋内、介護施設内居室（個室・多居室） *Wi-Fi通信が届くエリアに限る
	設置場所	・ベッドフレームとマットレスの間 ・ベッドフレームの間からベッドに干渉しないようにアダプターのコードを配置する
	設置方法	・カラダの上下方向に対して垂直になるようにセンサーマットの上辺が肩位置にくるように設置する
	サイズ	センサーマット：W802×D252×H12mm 通信機器本体：W181×D40×H12mm

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	形状	画像参照
	重量（バッテリー含む）	センサーマット：0.4kg 通信機器本体：0.4kg
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサーマット ・通信ユニット ・ACアダプタ
	緊急発報の方法	・スマートフォンアプリ上にて音、振動、アイコンでお知らせ
	安全性の認証取得	・アダプタは◇P S Eマーク取得 ・認証機器のクラス分類：一般医療機器 ・医療機器届出番号：13BX1024600001
	防水・防塵加工	・センサーマットの隙間や通信ユニットに水が入らないようにご注意ください
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（振動センサー、空圧検知センサー等）
	検知範囲	・ベッド上（*ベッドの個体により影響される可能性あり）
	反応速度（タイムラグ）	・10-20秒以内（*W i - F i環境による影響あり） ・生体情報は約1分ごとに更新
	最大見守り人数	・1人/台 ・施設/アカウント毎の上限はなし
	必要な通信環境	・無線LAN（W i - F i）2.4GHzが必要 ・W i - F i環境がない場合は弊社にてモバイルルーターの貸与可能 ・データ閲覧にはインターネット環境が必要
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマートフォン） パソコン、タブレットはブラウザでの閲覧、スマートフォンでは専用アプリでの閲覧が可能
	データの記録機能、有無と内容	・1分毎に表示する情報：臥床、座位、離床、心拍数、呼吸数 ・アラート機能により通知された時間や項目は24時間保存 ・睡眠の質を独自のアルゴリズムに基づいて、点数評価で表示 ・点数評価に基づいて、日報/週報/月報の単位で、詳細データを確認が可能 ・睡眠得点以外に、心拍数データ、呼吸数データ、離床回数、覚醒、REM睡眠時間、浅い睡眠（N1/N2）の時間、深い睡眠（N3/N4）の時間等の睡眠ステージ分析が時間推移で表示可能
他の機器との連携・互換性	・なし	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、メール、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行います ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ ・定期的な稼働状況の確認（リモート）
	ユーザーによるお手入れ	・ご使用端末（スマートフォン）の充電 ・コントローラ・センサが汚れたときは乾いた柔らかい布で拭き取ってください ・汚れがひどいときは水または家庭用中性洗剤を含ませた布をよく絞ってから拭き、その後乾いた布で拭き取ってください
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	契約期間中は無償対応（お客様取扱いの場合を除く）
	修理対応期間	契約期間中
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	レンタル 3,300円/月額（税込）
	設置導入に伴う費用	無償
	ランニングコスト	レンタル費用のみ
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	モバイルルータ、スマートフォン（iPhone）の貸与（デモ期間のみ）
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ツカモトコーポレーション 新規事業準備室 TEL：03-3279-6847
	デモ・貸出	承っております。お気軽にお問い合わせください。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.tsukamoto-aim.co.jp/product/SC300M/>



取扱説明書

<https://www.tsukamoto-aim.co.jp/wp-content/uploads/2020/08/5c6755f72c30071249dbb14b00514cf5.pdf>



使用方法等の動画

https://www.youtube.com/channel/UCIfc9TNbERYG_IPVC62wXww



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社TAOS研究所

見守りセンサ AiSleep

品番・型番

MAT-WF01



機器の概要

機器の機能

電源を入れるだけでお試し導入が可能となる見守りシステムです。
 基本機能は、リアルタイムで「バイタル（心拍・呼吸）」及び「ベッド上での4つのステータス（離床・起き上がり・覚醒・睡眠）」を計測し、24時間の睡眠状態（深い・浅い・REM・覚醒）、ゆらぎ健康度の解析を行います。
 利用者・職員の健康・安全・改善機能を搭載しています。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・居室内のベッド付近に電源があること
- ・貸出し時はモバイルルーターにて提供するため、施設通信環境（Wi-Fi環境）に依存せずに使用可能

試用期間中のサポート

- ・定期的な稼働状況の確認（リモート）
- ・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う

貸出期間	1週間～3週間 (要相談)
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社TAOS研究所

神奈川県横浜市港北区新横浜 2-2-15 パレアナビル 8F

TEL 045-620-7647

MAIL taosnews@itaos.org

所属部署 営業部



機器の仕様

販売開始

2018年10月

販売価格

オープン価格

TAISコード

01945-000001



見守りセンサ AiSleep

- ベッドマットの下に敷いて使用するマット型センサ
- ベッド上に寝ているだけで非接触にてプライバシーに配慮した見守りが可能
- 3つの基本機能、①リアルタイム機能 ②レポート解析機能 ③高速検知・高精度
- ①リアルタイム機能：「バイタル情報（心拍・呼吸）」と「ベッド上の状態（睡眠・覚醒・起き上がり・離床）」を高速検知し、転倒・転落リスクへの早期対応、夜間帯の介護者の精神的負担を軽減。
- ②レポート解析機能：夜間帯の「離床回数」や「睡眠の質（深い・浅い・REM・覚醒）」のステージごとの睡眠時間を数値化することで利用者の熟睡度の変化が確認でき、夜間巡視の効率化やケアプランの改善に活用が可能。
- ③高速検知・高精度：起き上がり・離床を高速検知し、通信環境に依存することなく安定的な通知が可能。
- 運用方法は「オンプレミスサーバー運用」「クラウド運用」の2種類から選択可能。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社TAOS研究所

製品名 **見守りセンサ AiSleep 01945-000001**

型番 MAT-WF01

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方・認知症の方・健康意識の高い方 【介護者】・徘徊予防の必要な認知症の方、介護従事者の負担軽減および作業の効率化、介護サービスの拡充を考えている施設経営者・運営者
	専門職の関与	専門職の関与の必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：高温多湿場所・屋外・Wi-Fi等通信（モバイルルーターの通信）が届かないエリア ・お客様による修理・分解・改造
	注意事項	・振動がある環境で使用しないこと（検出が正しく行われな可能性有） ・正しい設置位置（胸部下あたり）のベッドマット下に敷き使用すること ・リクライニングベッド等でギャッジアップした姿勢で使用する場合、センサマット部分のずり下がりを防ぐために結束バンド等で設置位置を固定すること ・ベッドマットの厚さは20cm未満を推奨（一般的なエアマットは測定可能だが特別仕様の物はその限りではない。）
使用上の注意	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認し、電源を入れる。 ・コードやチューブの上に物をのせない。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気が多い場所での使用はしない。）
	誤報の有無	・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・センサマット部分を正しい設置位置（ベッドマット下に設置し、胸部下あたりの位置）で使用する。 ・電源が正しく入っていること。
	倫理的配慮	・施設から家族に同意書を取得する。 ・収集したデータはシステム外で利用しない。
使用方法	使用方法	コンセントにACアダプターをさして使用
	使用方法（再設定）	ACアダプターを抜き差し
	使用環境	・モバイルルーターにて提供【通信環境（Wi-Fi環境）に依存せず使用可能】
	使用場面	・施設・在宅サービスでの高齢者の見守り ・夜間の入室回数の削減を行いたいとき ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・離床や起き上がりなどの状態を早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・夜間帯の睡眠（覚醒・深い・浅い・REM）・呼吸状態を把握したい場合
	習熟期間	・リアルタイム機能（バイタル状態把握・ベッド上のステータス）は導入直後より活用可能 ・解析機能（睡眠や呼吸の長時間にわたる状態把握、夜間帯の離床回数、ゆらぎ健康度）はデータの蓄積期間約1週間程度を要してから活用すると有効
	高齢者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する ・認知症の方への配慮として、コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・不要な入室回数が減るので睡眠の質が高くなり、安眠できる ・プライバシーに配慮した見守りができる ・早期状態検知が可能のため、転倒・転落のリスクの低減につながる
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・夜間帯の状態把握（バイタル・ベッド上の状態）が可能のため精神的負担の軽減 ・リアルタイムで（睡眠・覚醒、離床・起き上がり）状態が把握できるので優先順位をつけて効率的な入室が可能
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上と時間の確保、労働環境改善による職員の離職率の削減と有能な人材の確保、未経験者のスタッフの介護スキルの定量化、夜間帯の状態（離床回数・睡眠の状態把握等）エビデンスデータの蓄積により事故発生時の訴訟リスクの回避や施設のサービス拡充等PRIに寄与し他施設との差別化が可能
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・使用場所（屋内・介護施設・病院内）居室（個室・多床室）、Wi-Fi通信が届くエリア ・設置場所：ベッドのマット下（エアマット可）
	設置場所	・ベッドのマットレス下（エアマット可）胸部下あたりに設置
	設置方法	・ベッドのマットレス下（エアマット可）胸部下あたりに設置 ギャッジアップ等のリクライニングベッド仕様の場合、ずれ落ちが心配な場合は結束バンドでマット部分をベッドに固定する
	サイズ	・センサマット：755×17×8mm、コアユニット：108×108×20mm
	重量（バッテリー含む）	・センサマット：222g、コアユニット：72g

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	・センサマット、コアユニット、電源コード
	使用時の音	・なし
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等使用される表示端末に通知 表示アイコンの点滅及びアラートによる発報
	安全性の認証取得	・アダプタは「特定電気用品」用の認証（＜P S Eマーク＞取得 ・内部無線LAN通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	・センサマット部分について、防水加工有り
	検知方式（センサー、画像など）	・空気圧センサ
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度（タイムラグ）	・2秒以内（※通知が届くまではWi-Fi環境による影響あり）
	最大見守り人数	・1システム最大200床（1ベッド1センサ） ・1人/台
	必要な通信環境	【クラウドサーバー利用の場合】 ・インターネット環境 ・Wi-Fi環境（ない場合はモバイルルータが必要） 【オンプレサーバー利用の場合】 ・無線LAN（Wi-Fi）2.4GHz 【miniサーバー利用の場合】 ・特になし
	必要なシステム・設備	【クラウドサーバー利用の場合】 ・追加のPC、ソフト、システムは不要 【オンプレサーバー利用の場合】 ・専用サーバー、専用ソフトウェア 【miniサーバー利用の場合】 ・専用サーバ、専用ミニルーター
	データの記録機能、有無と内容	【施設・デバイス管理】施設名、介護グループ名、計測者名、居室番号、デバイスID 【睡眠日誌】指定した利用者ID日時を指定する ・睡眠スコア、睡眠効率、総睡眠時間、睡眠潜時、各睡眠ステージ（深い・浅い・REM・覚醒） の時間と割合をグラフ化、寝返り回数、離床回数 ・平均心拍数、平均呼吸数 ・無呼吸度、ゆらぎ健康度 【睡眠週報】指定した利用者ID日時を指定する（最大1年間分を出力） 24時間のベッド上の状態（離床・起き上がり・覚醒・浅い睡眠・深い睡眠・REM） ・保存期間は基本1年間 ・CSVファイルのデータエクスポート機能有
他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフトとの連携可能	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認（リモート） ・不具合の場合、基本的には電話及びメール等にて対応。必要に応じて、不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う ・クラウドサーバーの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	・1年間
	修理対応期間	・1年間
コスト	耐用年数	・約5年
	本体・付属品の定価	・オープン価格
	設置導入に伴う費用	・オンプレミスサーバ、クラウドサーバ運用の場合：初期設置費用（現地デバイス設置・登録作業費用） ・ミニサーバ運用の場合：なし
	ランニングコスト	・オンプレミスサーバ、ミニサーバ運用の場合：なし ・クラウドサーバ運用の場合：通信費用が発生
オプション	追加できる機能	Bluetoothによる外部機器のインターフェイス
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社TAOS研究所 営業部： TEL：045-620-7637 MAIL：taosnews@itaos.org
	デモ・貸出	あり
	よくある質問（Q&A）	Q1. ベッドマットの厚さは何cmまで対応しますか？また、エアマットは対応していますか？ A1. 20cmの厚さのベッドマットまでを推奨しております。 また、エアマットにも対応しております。（特殊なエアマットの場合は事前に使用可能かどうかお問い合わせください。） Q2. Wi-Fi環境は必要ですか？ A2. お貸出し期間中のご利用でしたらWi-Fi環境は不要となります。 本導入をご検討の場合は以下の環境が必要となります。 【クラウドサーバー利用の場合】 ・インターネット環境 ・Wi-Fi環境（ない場合はモバイルルータが必要） 【オンプレサーバー利用の場合】 ・無線LAN（Wi-Fi）2.4GHz 【miniサーバー利用の場合】 ・特になし

見守り・コミュニケーション

パンフレット等

製品カタログ

<https://aisleep.jp/>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

ドーンコーラス合同会社
 高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム
 「もりん2」

品番・型番

MR-S2



機器の概要

機器の機能

ベッド上での入居者の状態（座位、離床、臥床、寝返り）や室温・湿度を検知しスマホやタブレット等に表示
 相部屋、個室に対応
 検知時間約1秒
 呼吸等による微振動も検知
 設置・移設が簡単、工事不要（センサーはマットレスの下に置くだけ）
 入居者に見えないように設置可能（入居者のストレス軽減）
 「心拍数・呼吸数・体動量」をリアルタイムに一覧表示（オプション）
 過去データを見やすいようグラフ化して表示



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

お客様にご用意頂くものは特にありません。
 タブレットやWi-Fiルーター等も含めて、機器一式を設定済みの状態でお送りします。
 お客様ご自身で設置が可能（両面テープで固定したりケーブル接続のみ）です。

試用期間中のサポート

月～金：9:00～17:00が原則ですが、土日祝日や定時外でも可能な限り対応致します。
 電話・E-mailでの対応となります。

貸出期間	約1ヶ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 **ドーンコーラス合同会社**

〒102-0074 東京都千代田区九段南 1-5-6 リそな九段ビル 5F・KS フロア

TEL 03-6755-8046

MAIL support@dawnchorus.co.jp

担当者名 橋本健一



機器の仕様

販売開始

2020年5月

販売価格

165,000円 (税込)

高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム

「もりん2」

型番 MR-S 2
電源 AC 100 V (50/60 Hz)
電源電圧 DC 9V (付属の専用ACアダプタをご使用ください)
消費電力 0.35W
動作可能環境温度 5℃～35℃ (結露しないこと)
機能 利用者の状態 (臥床、座位、離床、寝返り、体動停止) を検知、居室の室温・湿度を計測、離床後の経過時間を計測
無線到達距離 室内 60m。子機から一番近い親機との距離、または子機と子機との距離の目安です。
もりんは子機同士が数珠つなぎになるので、実際は親機が 60m 以上離れていても到達する可能性が高いです。
搭載センサー、素子 高精度校正済温度・湿度センサー×1個
独自開発微振動検知センサー×2個
温度測定可能範囲 -10～85℃ 精度 ±0.4℃
湿度測定可能範囲 0～80% 精度 ±4%
外部端子 振動センサー用端子×2個、ナースコールユニット・バイタルセンサー2兼用端子×1個
外形寸法 (mm)
本体 幅 150 x 奥行 58 x 高さ 180 (突起物含む)
振動センサー (1個) 幅 80 x 奥行 45 x 高さ 22.5 (突起物含む)
質量 本体 187g
振動センサー (1個) 42g

見守り・コミュニケーション



機器の使用場面

製品

メーカー名 ドーンコーラス合同会社

製品名 **高齢者・障害者支援施設向け 見守り支援システム「もりん 2」**

型番 MR-S2

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】：転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方 【介護者】：複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、訪室の回数を減らしたい、利用者の排泄の失敗を減らしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方、利用者の風邪・熱中症予防をしたい、利用者のご家族への説明参考資料や介護サービスの改善をしたい
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、改変
使用上の注意	注意事項	絶対に分解・改造・修理をしない。 絶対に未使用（従来の拡張用）端子には他の機器等を接続しない。 親機や子機の内部に、異物を入れたり差し込んだりしない。 屋外で使わない。 湿気の多いところや水気のあるところで使わない。 ぬれた手でさわらない。液体でぬらさない。 高温になるところで使わない。 電源やACアダプタ、電源プラグ・コードについて 付属のACアダプタ以外のものは使わない 束ねたり折り曲げたり重いものを乗せたりしない。傷んだものは使わない 引っ張らない。コードを持って抜かない ぬれた手でさわらない プラグやコンセントの差し込みが緩いときは使わない 子機の設置について（壁への取り付け） 設置した子機につかまったり、無理な力や体重をかけたりしない。 異常を感じた時は直ちにACアダプタをコンセントから抜き使用を中止する。 親機や子機やACアダプタが破損したときは、ただちに使用を中止する。 落雷の恐れがあるときや雷の発生時には、ACアダプタをコンセントから抜いて使用を中断する。 電源やACアダプタ、電源プラグ・コードについて 交流100Vのコンセントを使う ACアダプタの電源プラグの刃および、刃の取り付け面に付着したほこりは、乾いた布でよく拭き取る システムは、スタッフの業務の支援のために利用する。不具合発生時などに重大な事故につながる可能性があります。 子機の設置について 手順にしたがいしっかりとおこなう。 設置方法及び運用には、利用者の状況を考慮し、十分に注意を払う。 親機と子機の取り扱いについて 親機や子機に無理な力を加えない。センサーがはずれたり故障の原因になります。 つぎのような場所ですべったり保管しない。故障の原因になります。 湿気の多いところや水気のあるところ 直射日光があたる場所 衝撃や振動が加わる場所
	安全に利用するための配慮	センサーが正しい位置に設置できていない場合 機器の接続が正しくできていない場合 センサーは正しい位置に設置する シーツ交換等でマットレスをめくった場合は、確認LEDが点滅するまで（1～10分程度）ベッドには触れない アラームで配慮し、カメラ等の画像による判定は行ってません。 視界に入る機器等が知覚される障害をお持ちの方に配慮し、センサーや子機を隠せる（利用者から見えないように設置できる）構造になっています。
	誤報の有無	センサーが正しい位置に設置できていない場合 機器の接続が正しくできていない場合 センサーは正しい位置に設置する
	倫理的配慮	もりん画面は3種類。「ホーム画面かんたん表示」、「ホーム画面詳細表示」、「生活記録画面」 座位で通知 利用者が座位になった時点で通知。 ベッドから降りて歩き始めてしまう前に、早めに気づくことが可能。 離床で通知 利用者がベッドから降りた場合に通知。 介助無しに1人で歩くことはできるけれど徘徊の心配があるときや、特に夜間に長い時間ベッドから離れたら通知がほしいときに使用。 体動停止で通知（詳細表示のみ） 利用者がベッドに居る状態で体動が停止した、もしくは振動センサーで検知できないレベルまで体動が小さくなった場合に通知。※ 離床した場合は、体動停止として認識しません。 心拍数で通知（詳細表示のみ、バイタルセンサーを接続した場合に可能） 室温で通知（詳細表示のみ） 【生活記録画面】 居室での状態（臥床、寝返り、座位、離床）、室温・湿度などは、すべて1分ごとに保存。
使用方法	使用方法（再設定）	子機移動による再設定等の作業は特に不要です。 動作可能環境温度 5℃～35℃ ※結露しないこと 子機の設置場所は任意（利用者から見えにくい位置に設置可能） Wi-Fi環境は任意（タブレットやスマホを居室で使用した場合のみ）
	使用環境	・利用者の異常を早く検知（座位や離床検知から通知まで約1秒）し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒、転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケア ・看取りケア（呼吸停止、体動停止） ・居室の室温や湿度をスタッフルームで把握したい場合 ・直射日光の当たる居室で使用したい場合 ・センサーマットをまたいでしまう利用者を見守りたい場合 ・臥床中に手や足を上げる利用者を見守りたい場合 ・頻りにベッドを移動したり高さ調整したりする場合（ベッド移動、高さ変更での調整不要） ・頻りにセンサーを居室間で移動した場合（移設がかんたん） ・Wi-Fi環境がない施設で使用したい場合（Wi-Fiは必須ではありません） ・機器購入後、毎月の保守費用やクラウド使用料の支払い等を避けたい場合
	使用場面	・Wi-Fi環境がない施設で使用したい場合（Wi-Fiは必須ではありません） ・機器購入後、毎月の保守費用やクラウド使用料の支払い等を避けたい場合
	習熟期間	うまく使いこなすようになるまで数日～数週間
高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に対する安全面の配慮	・高齢者が触れる場所に子機を設置しない（ベッド下など見えない場所に子機を設置する） ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかかる位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない。 ・電源ケーブル等は足元に引っかかる位置に配置する

株式会社コンフォート

エンジェルアイ

品番・型番

CFT-012



機器の概要

機器の機能

要介護者側に設置したカメラと介護者側（複数）の端末間で、映像を見ながら双方会話、ボタンで介護者へメールを送信、センサーにより起床・着床等を端末へ通知、オプション設定で端末から遠隔スイッチ制御可能。画像情報と合わせて、遠くにいながらも要介護者の合図を受け取ることも可能となり、介護従事者の負担軽減が可能。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

インターネット環境
Wi-Fi環境（ない場合はモバイルルータが必要）

試用期間中のサポート

不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて現地対応。

貸出期間	1か月
貸出可能台数	200台

問い合わせ先 株式会社コンフォート

兵庫県姫路市西庄甲 155-1

TEL 079-292-4164

MAIL itou-s@itoden-eng.co.jp

担当者名 伊藤茂男



機器の仕様

販売開始

2019年5月

販売価格

98,000円(税込)

TAISコード

01204-000010



エンジェルアイ

通信はWi-Fiで費用が安価。インターネット環境があれば遠隔から見守り可能。夜間も鮮明に状況把握。64GBマイクロSDにて1週間録画(上書き)。温度、音、赤外線センサー、動体検知で通知。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社コンフォート

製品名 **エンジェルアイ 01204-000010**

型番 CFT-012

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・独居老人、在宅介護者、転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
	専門職の関与	なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ ・分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わない。 ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がするなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・Wi-Fi環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・利用者（特に女性）のプライバシーに配慮する。
使用方法	使用方法	・使用時の基本テップ（見守りの際の準備（機器の調整等）、高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、アラートの内容等をひまえ訪室）
	使用方法（再設定）	なし
	使用環境	・センサーレンズを覆い隠さない事 ・居室全体が見える位置への設置 ・Wi-Fi環境
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	1週間
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する)
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担軽減、睡眠の把握
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内 居室（個室・多床室）、Wi-Fi通信が届くエリア、居室の頭部
	設置場所	・ベッド頭部側中央 ・居室の天井や壁 ※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	設置方法	・壁付け・天井ポール設置・専用スタンド設置 ・専用取付金具使用
	サイズ	センサー兼送受信機：幅 90 ×高さ 140 ×奥行 90mm モーションセンサー：幅 59 ×高さ 80 ×奥行 46mm
	重量（バッテリー含む）	センサー兼送受信機：190g モーションセンサー：106g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	センサー兼送受信機、モーションセンサー
	使用時の音	電子音
	緊急発報の方法	センサー検知時にアラーム、電子音で報知 オプションでポップアップメール通知が可能 センサーが作動すると音と光で報知する
	安全性の認証取得	PSE, EMS準拠 賠償責任保険加入
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	センサー検知時にアラーム、電子音で報知 オプションでポップアップメール通知が可能 センサーが作動すると音と光で報知する
	検知範囲	最大 100m
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒以内
	最大見守り人数	1カメラ3センサー、オプションで1ペット 16 センサー
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Wi-Fi環境（ない場合はモバイルルータが必要）
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等） ・タブレット端末（スマホ）
データの記録機能、有無と内容	64 GマイクロSDにて1週間録画（上書き）	
他の機器との連携・互換性	ナースコール、アレクサ、グーグルホームとの連動可能	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・不具合の場合、電話にて対応。必要に応じて、現地で不具合の確認・適切な処置（必要と認められれば、本体の交換）を行う
	ユーザーによるお手入れ	・本体カメラ部の清掃 ・ホコリの除去
	消耗品の有無	電池
	保証期間	2年
	修理対応期間	10年
コスト	耐用年数	約 20年
	本体・付属品の定価	98,000 円（税込）
	設置導入に伴う費用	20,000 円（税込）
	ランニングコスト	Wi-Fi通信費用
オプション	教育研修費	なし
	追加できる機能	ポップアップメールによる通知
問合せ先	緊急時の問合せ先	(株)コンフォート 電話 06-6326-1739
	デモ・貸出	あり

パンフレット等

製品カタログ <https://www.itoden-eng.co.jp>



取扱説明書 <https://www.itoden-eng.co.jp>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

加藤電機株式会社
見守りシステム
SANフラワーXヘルシーライフ

品番・型番

ARMK-200



機器の概要

機器の機能

事業所から発信機を携帯した利用者が離設・帰設された際、GEOフェンスSANアンテナを通じて介護スタッフなどへメールにて通知します。発信機は長期間連続稼働（約1.5ヶ月）するため、充電の手間や充電切れが少なく安心です。また、搜索機器で最小誤差50cmまで誘導され、発見することができます。専用シューズは発信機の携帯忘れ防止に効果的です。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

GEOフェンスSANアンテナを設置するスペースと一般家庭用のAC100Vコンセントから電源が取得できれば大丈夫です。面倒な電源工事は不要です。GEOフェンスSANアンテナは、コンパクトサイズで場所をとりませんので、設置するスペースも簡単に確保いただけます。

試用期間中のサポート

ご用意いただければ、担当スタッフが現地に出向き、機器の設置・使用方法を詳しく説明いたします。また、取扱説明書や動画をご用意しております。ご不明な点など、お気軽にご相談ください。

貸出期間	1週間
貸出可能台数	3台

問い合わせ先 加藤電機株式会社

〒475-8574 愛知県半田市花園町6-28-10

TEL 0569-21-6182

MAIL sa2_nagoya@kato-denki.com

所属部署 営業部

担当者名 吉澤、榎本



機器の仕様

販売開始

2017年6月

販売価格

210,870円 (税込)

TAISコード

01572 - 000007



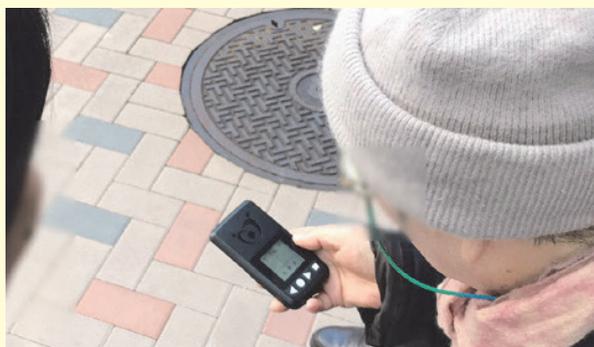
見守りシステム SANフラワーXヘルシーライフ

GEOフェンスSANアンテナ：38 × 160 × 100 mm
(突起部を除く)、約 257g、内蔵バッテリー：1100 mAh
(リチウムイオン電池)

小型SANTAG (発信機)：約 29 × 34 × 10.5mm (突起部を除く)、約 9g、内蔵バッテリー：120mAh、充電方法：
マイクロUSB充電

SANレーダー (検索機器)：約 68 × 114 × 14mm、約 70g、内蔵バッテリー：300mAh、充電方法：マイクロUSB充電

ヘルシーライフ 500 (専用シューズ)：SS (21.0 ~ 21.5cm)、S (22.0 ~ 22.5cm)、M (23.0 ~ 23.5cm)、L (24.0 ~ 24.5cm)、LL (25.0 ~ 25.5cm)、3L (26.0 ~ 26.5cm)、4L (27.0 ~ 27.5cm)



機器の使用場面

製品

メーカー名 加藤電機株式会社

製品名 見守りシステムSANフラワーXヘルシーライフ 01572-00007

型番 ARMK-200

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・施設・病院に同居・入院している徘徊予防の必要な方、認知症の方 【介護者】・介護従事者の負担軽減および作業の効率化、介護サービスの向上を考えている施設経営者・運営者
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）：浴室内等の高温多湿なところ、ガラスが無く鉄筋コンクリートでおおわれている部屋 ・その他： <ul style="list-style-type: none"> ・必ず専用の電源アダプタをご使用ください。 ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしないでください。 ・火の中に投入したり、加熱しないでください。 ・加熱用機器（電子レンジ）や高圧容器に入れてください。 ・導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）を、電源アダプタ端子に接触させたり内部に入れたりして電源アダプタ端子をショートさせないでください。 ・高所から落下させる、投げつける、踏みつけるなど強い衝撃を与えないでください。 ・分解・改造・修理はしないでください。SANアンテナの改造は電波法違反になります。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がるなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。
	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・通電状態では電源アダプタの端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。 ・電源アダプタは家庭用交流 100 V（AC 100 V）コンセントに接続してください。指定以外の電源電圧では使用しないでください。 ・小さなお子様やペットがいるご家庭では手の届かない所に設置してください。 ・水などの液体をかけないでください。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気が多い場所での使用はしないでください。
使用上の注意	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い場所（使用：50℃以上、充電：40℃以上）や寒い場所（使用：-10℃以下、充電：0℃以下）では使用しないでください。 ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因になります。
	誤報の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・小型SANタグ所持者が施設から外出していても、電波が何らかの要因で遮断されると通報（メール）します。例：携帯電話が通話できないような部屋などに小型SANタグ所持者が居る場合 ・GEOフェンスSANアンテナは電波を利用する機器です。電波環境が良く見通しの良い際などに設置してください。 ・床から約1mの場所に設置してください。
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・金属や水は電波を通さないため、設置する時は注意してください。 ・上層階がある建物の場合、上層階に設置するほど見守りエリアは広くなります。 ・振動が多い場所や、気化した薬品が充満していた場所や薬品に触れる場所はへの設置避けてください。また、電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所（電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオなど）も避けてください。
	倫理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・GEOフェンスSANアンテナを設置し、専用サイトでメール通知先の設定を行います。 ・小型SANタグを対象の方に携帯させます。 ・SANリーダーに小型SANタグのIDを登録します。 ・自宅や施設（GEOフェンスSANアンテナ）から出た時や帰宅した時にメール通知します。 ・捜索が必要な場合、SANリーダーで対象のIDを選択して、近隣にいないか移動しながら確認します。 ・SANリーダーで発見した後は画面に従い移動すると対象者に近づき、発見できます。
	使用方法（再設定）	同一住所での移動では特に再設定の必要はありません。電源を差し込むだけで大丈夫です。
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・暑い場所（使用：50℃以上、充電：40℃以上）や寒い場所（使用：-10℃以下、充電：0℃以下）では使用しないでください。 ・ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因になります。
	使用場面	徘徊予防の必要な認知症の方に小型SANタグを携帯させます。施設から離脱した際に、介護スタッフにメールでお知らせします。介護スタッフはSANリーダーを用いて、小型SANタグを携帯した人を探します。
	習熟期間	SANリーダーを使用した捜索訓練を3回程度
	高齢者に対する安全面の配慮	小型SANタグを誤飲しないように注意ください。
	介護者に対する安全面の配慮	GEOフェンスSANアンテナはぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがの原因になります。
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	早期発見により高齢者の怪我などのリスクを下げることに繋がります。
	機器を使用することで実現する介護者への効果	介護者、スタッフの代わりに入居者を見守ります。万一の徘徊による行方不明の際でも、捜索への時間、人材が大幅に軽減できます。
	機器を使用することで実現する施設への効果	入居者への見守りがされていることで、施設の信用を保つことにつながります。また入居希望されるお客様にもご安心いただけます。
	仕様、構造	<ul style="list-style-type: none"> 使用場所、必要スペースなど GEOフェンスSANアンテナは事務所など窓のある部屋に設置します。 設置場所 GEOフェンスSANアンテナ：-10℃～50℃（床から1m以上の高さを推奨） 設置方法 GEOフェンスSANアンテナ：据え置き（床から1m以上の高さを推奨） サイズ GEOフェンスSANアンテナ：38×160×100mm（突起部を除く） SANリーダー：約68×114×14mm 小型SANタグ：約29×34×10.5mm（突起部を除く） 形状 GEOフェンスSANアンテナ：箱型 重量（バッテリー含む） GEOフェンスSANアンテナ（バッテリー含む）：約257g SANリーダー（バッテリー含む）：約70g 小型SANタグ（バッテリー含む）：約9g 電源・バッテリー（本体、端末、センサー等） GEOフェンスSANアンテナ：AC100V 50/60Hz、内蔵バッテリー：1,100mAh（リチウムイオン電池） SANリーダー：300mAh、マイクロUSB充電、連続待受時間約3,000時間（約4ヶ月） 小型SANタグ：120mAh、マイクロUSB充電、連続動作時間約1,200時間（約1.5ヶ月）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用時の音	GEOフェンスS ANアンテナ：起動音以外特になし（緊急地震速報付） S ANレーダー：ボタン操作時、検索時に電子音が鳴ります。 小型S ANタグ：音なし
	緊急発報の方法	パソコン・スマホ・タブレット等へメールでお知らせ
	安全性の認証取得	PSE
	防水・防塵加工	GEOフェンスS ANアンテナ：室内設置のため防水加工なし S ANレーダー：生活防水 小型S ANタグ：生活防水
	検知方式（センサー、画像など）	特定小電力無線 920 MHz 帯を活用した検索システム
	検知範囲	市街地で約 0.5 ～ 300 m
	反応速度（タイムラグ）	GEOフェンスS ANアンテナ：約 1 分（通信環境やメール受信環境による） S ANレーダー：リアルタイム
	最大見守り人数	GEOフェンスS ANアンテナ：最大 100 人 S ANレーダー：検索IDを切り替えるため無制限
	必要な通信環境	特になし（GEOフェンスS ANアンテナに通信モジュール内蔵）
	必要なシステム・設備	パソコン・スマホ・タブレット等のメールを受信できる機器
	データの記録機能、有無と内容	小型S ANタグとGEOフェンスS ANアンテナの通信記録（最大 300 件、30 日経過後に自動削除）
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	なし
	ユーザーによるお手入れ	小型S ANタグとS ANレーダーの充電
	消耗品の有無	靴、バッテリー
	保証期間	購入から1年（ただし消耗品は除く）
	修理対応期間	都度
	耐用年数	約10年
コスト	本体・付属品の定価	210,870円（税込）
	設置導入に伴う費用	初期登録料 10,780円（税込） が別途必要です。 S ANサービス利用料 初回2年間は無料です。
	ランニングコスト	3年目以降継続してS ANフラワー見守りサービスご利用の場合は、月額費用 4,180円（税込） が必要です。
オプション	教育研修費 追加できる機能	内容により相談 とくになし
問合せ先	緊急時の問合せ先	加藤電機株式会社 TEL0569-21-6182 お問い合わせフォームはQRコードを読み取ってください。 
	デモ・貸出	可能（お問い合わせください）
	よくある質問（Q&A）	Q：小型S ANタグはどのように携帯すればいいのでしょうか？ A：小型S ANタグを取附できる介護シューズ（ヘルシーライフ500）をご利用ください。またS ANタグは小型なため、カバンなどに入れておくことができますが、別売りのお守り袋やフック付の袋に入れて携帯いただくこともできます。 Q：家から外出したことをお知らせしてくれる機能はありますか？ A：外出した時に設定したメール（最大5ヶ所）に通知することができます。GEOフェンスS ANアンテナは、GEOエリアを形成することができます。設置も簡単で100Vコンセントを差すだけです。また、ご自宅に帰宅した際にもメール通知を受けられるので、速く離れていても見守ることが可能です。 Q：S ANレーダーは、建物の中に隠れている人も探せますか？ A：はい、検索可能です。水や金属以外は電波を通過するため屋内にいる人も検索可能です。また、山の中や地下など携帯電話の電波が入らない場所でも、専用の電波で検索しているため検索可能です。 Q：小型S ANタグの電池残量は怎么样って確認できますか？ A：小型S ANタグ動作LEDにて電池残量を色（緑/橙/赤）で確認することができます。 緑：電池残量は十分です。 橙：電池残量が少なくなっています。早めの充電をお勧めします。 赤：充電が必要です。 Q：身体への影響は？ペースメーカーを使っている人も大丈夫ですか？ A：体への影響が少ない低電磁波を使用しています。医療用電気機器や心臓ペースメーカーなどを使用されている場合には、電波によりそれらの装置・機器に影響を与える場合がありますので、医療用電気機器等をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響をご確認ください。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.anshin-anzen.com/san-flower/user/product/>



取扱説明書

<https://www.anshin-anzen.com/san-flower/download/>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=9KXhX6nVkyS>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

三昌商事株式会社

見守りシステム “CareBird”



機器の概要

機器の機能

マットレスの下に設置した非接触バイタルセンサーを使って、利用者の体動（脈拍・呼吸）を測定し、見守りします。また、離床する前に利用者がベッド上で上体を起こした事を職員に通知する事により転倒予防に繋がります。

お部屋全体を感知するルームタイプのセンサーもあり、用途に応じて見守りシステムのサービスを提供致します。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

[Wi-Fi環境がある場合]
2.4GHz帯 IEEE802.11b/g/n IPv4による固定IPをセンサーおよび制御端末に割当致します。

[Wi-Fi環境がない場合]
ご利用頂く環境にWi-Fi環境がない場合は、当社にてご用意致します。

試用期間中のサポート

平日（9時～17時30分）で、E-mail及びお電話でサポート致します。クラウド型見守りシステムですので、リモート対応も可能で御座います。

貸出期間	約1ヶ月
------	------

貸出可能台数	1台
--------	----

問い合わせ先 **三昌商事株式会社**

〒105-0003 東京都港区西新橋1-18-17 (明産西新橋ビル)

TEL 03-6203-1888 MAIL takase@sansho-shoji.co.jp

所属部署 アライアンス事業部 担当者名 高瀬正章



機器の仕様

販売開始

2016年4月

販売価格

オープン価格

見守りシステム “CareBird”

マットレスの下に設置した非接触バイタルセンサーを使って、入居者の体動（脈拍・呼吸）を測定し、見守ります。また、睡眠状態を確認することもできます。見守りシステム “CareBird” を活用することにより、入居者の生活リズムを把握やスタッフの業務負担軽減などお役に立てます。クラウド型見守りシステムであり、入居者の状況は、パソコンやタブレット、スマートフォンで施設外でも確認する事が出来ます。バイタル異常発生時や、上体を起こし離床する前にスタッフに音と共に報知致します。また、ナースコールとの連携も可能であり、施設でご利用頂いている端末に通知を行います。



設置イメージ

機器の使用場面

製品

メーカー名 三昌商事株式会社

製品名 見守りシステム “CareBird”

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など 【介護者】・複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	・感度設定がうまくできていない場合 ・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・直射日光による精度低下時、画面降下による設定相違時 ・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・正しい設置位置（ベッドマットの下）で使用する ・スプリング式のベッドでは使用できない ・Wi-Fi環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる）
	倫理的の配慮	・施設から家族に同意書を取得する ・利用停止後、データを破棄する
	使用方法	・使用時の基本ステップ（見守りの際の準備（機器の調整等）、高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、アラートの内容等をふまえ訪室）） ・アラートの種類：「離床」「バイタル異常」「起き上がり」
使用方法	使用方法（再設定）	・移動後に、ACアダプタを接続する ・必要に応じ、しきい値を再設定
	使用環境	・Wi-Fiは貴所のインフラを利用し、2.4GHz帯 IEEE802.11b/g/n IPv4による固定IPをセンサーおよび制御端末に割当することを前提。また、WAN側ではSSL通信に443ポートの使用が可能であること。 ・センサーを設置する居室内の推奨電波強度は、-60dBmを目安とする。
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・通常の見守りケアから看取りケア
	習熟期間	・お使い後直ぐに習熟頂けます
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない。 ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する	
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・生活リズムの把握、転倒・転落のリスク低減、眠りの質の向上、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・職員の負担軽減、睡眠の把握、看取り
	機器を使用することで実現する施設への効果	・事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・使用場所(屋内、介護施設・病院内 居室(個室・多床室))
	設置場所	・ベッドマット下に設置 ・居室の天井や壁 ※接地面が十分な重量を保持できる強度を有すること
	設置方法	・壁付け・天井ポール設置・専用スタンド設置 ・専用取付金具使用 ・ベッドのマットレスの下に敷く
	サイズ	340(W) × 64(H) × 18(D)mm
	形状	筐体
	重量(バッテリー含む)	508kg
	電源・バッテリー(本体、端末、センサー等)	機器のパーツ(本体、制御端末)
	使用時の音	なし
	緊急発報の方法	・パソコン:音とアイコンでお知らせ ・スマホ・タブレット:EMAILやLINEで通知 ・ナースコールシステムを介して通知
	安全性の認証取得	・PSE、EMS 準拠 ・アダプタは「特定電気用品」用の認証(◇PSEマーク)取得 ・EAE認可取得
	防水・防塵加工	・防水加工:無 ・防塵加工:無
	検知方式(センサー、画像など)	・センサーで検知(2.4GHz帯 マイクロ波ドップラー方式の非接触バイタルセンサー) ・画像解析
	検知範囲	・ベッド上
	反応速度(タイムラグ)	・10秒(設定値は複数あり)
	最大見守り人数	・上限なし
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Wi-Fi環境(ない場合は当社で準備致します) ・各居室へのLANケーブル配線、施設内のWi-Fi環境整備 ・無線LAN(Wi-Fi)2.4GHz
	必要なシステム・設備	・表示端末(パソコン、タブレット、スマホ等) ・ソフトやシステム等のダウンロード不要
データの記録機能、有無と内容	・検知日時・検知項目・検知状態・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示、 検知履歴動画作成・エクスポート可能、蓄積データを用いて分析も可能 ・1時間、24時間、10日間、2か月間グラフあり。 ・睡眠/臥床、左右、脈拍、呼吸グラフあり。 ・保存期間は基本2ヶ月	
他の機器との連携・互換性	・なし	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・定期的な稼働状況の確認(リモート) ・クラウドサーバの定期メンテナンス、システムバージョンアップ
	ユーザーによるお手入れ	・特になし
	消耗品の有無	・特になし
	保証期間	・1年間
	修理対応期間	・1年間は無償対応
コスト	耐用年数	・非接触バイタルの為、軽減劣化に優れております
	本体・付属品の定価	オープン価格(ご利用台数によって、異なります)。
	設置導入に伴う費用	オープン価格(ご利用台数によって、異なります)。
	ランニングコスト	オープン価格(ご利用台数によって、異なります)。
	教育研修費	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	03-6203-1888
	デモ・貸出	あり
	よくある質問(Q&A)	当社HPをご覧ください(https://carebird-portal.com/)

パンフレット等

製品カタログ

<https://carebird-portal.com/>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ヒート

みてるもんシリーズ V2

品番・型番

S30N
D20
B20-M

機器の概要

機器の機能

- ・軽量の為、どこにでも設置でき修正が出来ます。
- ・昼間は、トイレキャッチ、危険個所（階段付近・エレベーター前・非常口）への侵入防止に威力を発揮します。
- ・熱感知のため、布団のずり落ち等には反応せず誤作動が無くなります。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・100V コンセントがある場所
- ・湿気のかかる場所、直射日光が当たるか場所には設置しないでください。

試用期間中のサポート

電話対応・メール

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社ヒート

〒341-0031 埼玉県三郷市岩野木 58-1

TEL 048-933-9202 MAIL ootuki@heat-heat.com

担当者名 大月輝彦



機器の仕様

販売開始

2014年5月

販売価格

52,800円(税込)

みてるもんシリーズ V2

- ・中継器(写真掲載無、詳細はホームページ)は、タッチパネルを採用、複数のセンサー接続が出来ます。
- ・ナースコールが無い場所でもOK。配線工事不要でナースコールの更新が出来ます。(台数無制限)モニターはCRT
- 他社センサーも接続します。(以下はセンサーメーカー)
- ・アナログ信号 電圧値(電流値・抵抗でも結構です)取込んだ値はAD変換しシリアル送信
- ・電源5V・24Vで対応します。電力値0.5A以下
- ・コネクタ標準はe-con 4P(ハウジング3M製型式:37204-1BE 0-004PL)



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ヒート

製品名 **みてるもんシリーズ V2**

型番 S30N・D20・B20-M

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】 ベッドから転倒・転落の危険がある方。移動に付き添いが必須の方。</p> <p>【介護者】 ・マットセンサーの誤報による駆けつけ動作の削除。夜間見回りの低減。高齢者のトイレ待機の時間低減。従事者全般（パート従業員も範疇）</p>
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）：浴室等、高温多湿なところ ・その他：分解・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光の当たる場所には設置しない。 ・湿気・水滴のかかるような場所に設置しない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音が出るなどの症状が発生したら直ちに使用を中止し、すぐに電源アダプタを抜いてください。
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルを引っ張らない。 ・ケーブルに物を載せない、踏まない。 ・電源やナースコール接続ケーブルを外すときは必ずコネクタを持って行う。 ・足で蹴らない。
	誤報の有無	高齢者がベッドから転倒する時の軌跡を想定した場所にセンサーを設置すれば誤作動は極端に減らすことができます。
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・直射日光の当たる場所には設置しない。 ・湿気・水滴のかかるような場所に設置しない。 ・エアコン送風機の風が直接当たる場所には設置しない。
	倫理的配慮	・施設から家族に同意書を取得する
	使用方法	使用方法
使用方法（再設定）		→対応後、解除ボタンを押して見守り再開
使用環境		<ul style="list-style-type: none"> ・施設内の居住空間全般 ・100V 電源がある部屋
使用場面		<ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り ・他の居住者に暴力をふるう恐れの方
習熟期間		・一週間
高齢者に対する安全面の配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる。 ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する。
介護者に対する安全面の配慮		<ul style="list-style-type: none"> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる。 ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する。
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の負担低減
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、労働環境改善、職場の魅力向上、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内 居室（個室・多床室）
	設置場所	介護従事者の手の届く場所
	設置方法	自由にどこでも設置できるのが本商品の特徴で、介護従事者の手の届く場所
	サイズ	幅 100×高さ 220×奥行 100mm
	形状	円筒+箱

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	重量（バッテリー含む）	510g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	AC電源
	使用時の音	無音
	緊急発報の方法	・ ナースコールシステムを介して通知 ・ ランプ赤色点滅、及び警告音
	安全性の認証取得	・ アダプタは「特定電気用品」用の認証（◇PSEマーク）取得 ・ 内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	防水加工の無 防塵加工の無
	検知方式（センサー、画像など）	焦電型赤外線センサー（人感センサー）
	検知範囲	・ 直線 4.5m 範囲±7°
	反応速度（タイムラグ）	0.5 秒
	最大見守り人数	・ 1人 / 台 ・ 上限 124
	必要な通信環境	・ ナースコール ・ 独自無線システムのため、専用の通信環境は不要 ・ NET 環境があるならクラウド対応可
	必要なシステム・設備	・ 特にない。 ・ ナースコールがあるなら連動
	データの記録機能、有無と内容	・ 検知日時・ルーム名・センサー名、検知履歴一覧の表示・エクスポート可能、蓄積データを用いた対象者の行動予測
	他の機器との連携・互換性	・ ナースコール連動
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・ 不具合が生じた場合、弊社まで送って頂き、メンテナンス後宅配便にて返送
	ユーザーによるお手入れ	特に無し。
	消耗品の有無	特に無し。
	保証期間	購入後3か月
	修理対応期間	弊社到着後1週間で返送
コスト	耐用年数	約 10 年
	本体・付属品の定価	①本体¥46,000（税込） ②ナースコール連動分配 BOX ¥16,000（税込）
	設置導入に伴う費用	特に無し。
	ランニングコスト	電気代のみ
オプション	教育研修費	特に無い。
	追加できる機能	・クラウド対応とシステム構築
問合せ先	緊急時の問合せ先	048-933-9202
	デモ・貸出	2週間
	よくある質問（Q&A）	ナースコール連動をご要望の場合、故障 / 破損したナースコールボタンを郵送してください。メーカー・型式によってナースコール端子が 20 種類以上存在しますので、合わせる必要がありますのでご協力願います。また、コネクタメーカーが倒産し、端子を購入できない場合は対応できませんのでご容赦願います。

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.heat-heat.com/careroobot>



取扱説明書

<https://www.heat-heat.com/careroobot>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

シーホネンス株式会社
ベッド内蔵型見守りセンサー
「iサポート」搭載 Xシリーズ



機器の概要

機器の機能

「iサポート」は、非接触・無拘束で利用者の自立行動を尊重しつつ、シンプルかつ本質的に必要なサポートができるベッド内蔵型見守りセンサーです。お使いのナースコールを通じて、利用者のベッド上での起き上がり・離床・徘徊などの状態をリアルタイムにスタッフに知らせることができるので、転倒や転落などのリスク低減や、適切なタイミングでスタッフが訪室するなどの介護業務効率化にもお役に立ていただけます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

お使いのナースコール設備によって分岐ボックスのコネクタ形状が異なりますので、適合確認が必要です。(分岐ボックスが必要ない場合もございます。)

試用期間中のサポート

使い方や設定などでお困りごとがございましたら、最寄りの弊社支店・営業所の担当スタッフがサポートいたします。また貸出期間などについてはご要望をお聞きますのでお申しつけください。

貸出期間	2週間～
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 シーホネンス株式会社

〒537-0001 大阪府大阪市東成区深江北 3-10-17

TEL 06-6973-3471 MAIL strategy@seahonence.co.jp

所属部署 事業戦略室 担当者名 藤田 泉



機器の仕様

販売開始

2018年11月

販売価格

723,580 ~

1,133,000 円 (税込)

ベッド内蔵型見守りセンサー 「iサポート」搭載 Xシリーズ

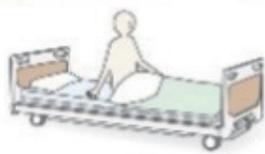
ベッドに内蔵されたセンサーにより、利用者の起き上がり・離床・徘徊の状態を検知し、分岐ボックスを介して現在お使用のナースコールにお知らせします。

【アラート設定】操作コントローラーの4つのボタン〔起き上がり（感度調節可能）・離床・見守り〕から1つを選んで押すだけで設定完了。体重の入力や、利用者がベッドに戻った際の再設定も不要です。

【誤操作防止ロック機能】操作コントローラー裏面のロック機能を活用することで、意図しない設定変更や電源の切替を防止します。

【足元灯（オプション）】利用者が離床しようとする動作を検知して点灯します。足元を照らすので、夜間のトイレの際に躓いて転倒するなどのリスクを低減します。

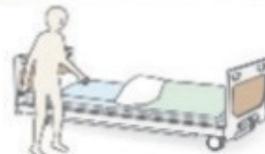
1 起き上がり



2 離床



3 見守り



機器の使用場面

製品

メーカー名 シーホネンス株式会社

製品名

ベッド内蔵型見守りセンサー「iサポート」搭載 Xシリーズ

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】・ベッドからの転落・転倒や徘徊リスクがある方</p> <p>【介護者】・導入または検討中の見守り機器が複雑な設定のため、使用に不安を感じている場合</p> <p>・適切なタイミングで訪室し、業務効率化をしたい場合</p>
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッドの下にもぐり込んだり、身体の一部を入れない。 ・ベッドの上で飛び跳ねたりしない。 ・分解、改造はしない。
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・電源プラグやセンサー出力ケーブルはしっかりと差し込んでください。 ・ベッド設置後、センサーが正しく通知することを確認してから使用してください。
	安全に利用するための配慮	取扱説明書に記載の注意事項に沿って、ご利用ください。
	誤報の有無	下記状況などによっては、誤って離床の通知をする場合があります。
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・センサ出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・分岐ボックスは接続するナースコールシステムにより形状が異なります。(詳しくは弊社 カスタマーサポートまたは営業担当者にお尋ねください)
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・アラート設定：操作コントローラーの4つのボタンから1つを選んで押すのみ。 ・アラートの種類：「起き上がり（感度調節可能）」「離床」「見守り」 ・動作ロック機能：コントローラー裏面のロックダイヤルスイッチを付属のダイヤルキーで回転させることで、電源の切替や意図しない設定変更を防止。
	使用方法（再設定）	センサー発報後、利用者がベッドに戻られた際も再設定不要。
	使用環境	・背ボトムスイッチや座ボトムの下に障害物を取り除く
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合
	高齢者に対する安全面の配慮	低床ベッドのため、安心してご利用いただけます。
	介護者に対する安全面の配慮	<p>ベッドの高さ調整機能により、床高が67.5 (72.5) cm までの任意の位置まであげることができるので、介助時の腰痛リスクも軽減します。</p> <p>※カッコ内は、低床 30cm モデルご利用の場合</p>
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落事故、徘徊リスクの低減。
	機器を使用することで実現する介護者への効果	簡単設定と高い検知率により負担軽減につながる。根拠をもったタイミングでの適時の訪室により、介護業務の効率化が期待できる。
	機器を使用することで実現する施設への効果	利用者にとってより安全な療養環境の実現と、スタッフの負担軽減により働き方改革の実現が期待できる。
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室
	設置場所	居室
	設置方法	居室内の任意の場所に設置し、ベッドの電源プラグをコンセントをつなぐ

製品情報

	項目	内容	
仕様、構造	サイズ	(樹脂ボード)：(83cm 幅) 総全長 210 × 全幅 93cm / (90cm 幅) 総全長 210 × 全幅 100cm [スチールフレームボード (90cm 幅)]：総全長 212 × 100.5cm [整形ボード]：(83cm 幅) 総全長 212 × 全幅 93.5cm / (90cm 幅) 総全長 212 × 全幅 100.5cm (木製ボード)：(83cm 幅) 総全長 211.5 × 全幅 95.5cm / (90cm 幅) 総全長 211.5 × 全幅 102.5cm	
	重量 (バッテリー含む)	最大 110kg 程度	
	電源・バッテリー (本体、端末、センサー等)	ベッドのコンセント接続により使用可能	
	緊急発報の方法	ナースコールシステムを介して通知する	
	検知方式 (センサー、画像など)	センサー	
	検知範囲	ベッド上	
	反応速度 (タイムラグ)	即時	
	最大見守り人数	1人 / 台	
	必要な通信環境	特になし	
	必要なシステム・設備	ナースコールシステム	
	データの記録機能、有無と内容	無	
	他の機器との連携・互換性	お使いのナースコールシステムと連携します	
	メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	弊社 各支店・営業所からサービススタッフ派遣によるメンテナンス対応可
		消耗品の有無	特になし
保証期間		1年	
耐用年数		約8年	
コスト	本体・付属品の定価	iサポート搭載ベッド本体 723,580 ~ 1,133,000 円 (税込)	
	設置導入に伴う費用	台数・運搬費・設置搬入費等の諸条件により異なります (別途ご相談)。	
	ランニングコスト	無	
	教育研修費	無	
オプション	追加できる機能	離床連動型 足元灯 (オプション)	
問合せ先	緊急時の問合せ先	シーホネンス (株) カスタマーサポート TEL : 0120-20-1001	
	デモ・貸出	可	

パンフレット等

製品カタログ

http://www.seahonence.co.jp/hp/sensor/i-support_characteristic.html



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

フランスベッド株式会社

見守りケアシステムM2

品番・型番

M2



機器の概要

機器の機能

センサーがベッド利用者の体動や動作を検知し、ナースステーションに通知します。『動き出し』・『起き上がり』・『端座位』・『離床』・『離床管理』の5つの通知モードから選んで設定でき、ベッドからの転倒、転落の危険性を軽減するほか、認知症の方の徘徊による事故等の予防につながります。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

ナースコールの状況により、別途分配器をお買い求めいただく場合もあります。また、利用者のリアルタイムの状態表示をさせるオプション機能を選ばれる場合は施設内においてWi-Fi環境及びパソコンが必要となります

試用期間中のサポート

貸出先施設様の所在地の管轄営業所にてフォローいたします。

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 フランスベッド株式会社

〒106-0032 東京都港区六本木 4-1-16

TEL 03-5549-2936 MAIL chizuwa_shigeki@francebed.jp

所属部署 法人企画部 法人企画課 担当者名 千頭和 重基



機器の仕様

販売開始

2017年5月

販売価格

オープン価格

見守りケアシステムM2

ベッドに内蔵された4つのセンサーが、ベッド上の利用者の状態を自動認識、見守りが出来るベッドとなります。特に「誰もが簡単に操作、運用出来る事」に配慮しておりますので、複雑な設定等を行う事なくどなたでも簡単に操作出来る機器となっております。ベッドをナースコールと接続致しますので、利用者の状態で通知が必要な場合はナースコールへ正確に発報を行います。また、自動体重測定機能やWi-Fiを活用したリアルタイムでのベッド複数台の見守りにも対応、別売りのオプションをご購入頂く事で、部屋内の温湿度や利用者のバイタルデータも見守る事が可能となります。



機器の使用場面

製品

メーカー名 フランスベッド株式会社

製品名 **見守りケアシステムM2**

型番 M2

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・足腰の弱った方や認知症の方など、転倒リスクのある方。 【介護者】・見回り業務などにより、患者の状態を細かく把握することが必要とされている方。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造
使用上の注意	注意事項	・コントローラ、分配器を落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 ・見守り中に利用者以外の方がベッドに腰かけたり、また重い物（30kg以上）を載せるなどしないでください。
	安全に利用するための配慮	・コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押ししたりしないでください。 ・濡れた手でコントローラを操作したり、SDカードやコネクタの抜き差しを行ったり、水やジュースなど液体をこぼさないでください。
	誤報の有無	・見守り中にベッドの昇降動作をしたり、ヘッドボードやサイドレールを取り外した場合。 ・最終設定中にベッドに寄り掛かったり、不要なものをベッドの上に置いた場合。
	使用上の注意	・見守り中にベッドの昇降動作をしたり、ヘッドボードやサイドレールを取り外さないでください。 ・コントローラ、分配器を落としたり、引きずったり、強引に引っ張ったりしないでください。 ・コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押ししたりしないでください。 ・見守り中に利用者以外の方がベッドに腰かけたり、また重い物（30kg以上）を載せるなどしないでください。
使用方法	使用方法	・ベッドに内蔵した4つのセンサがベッドに寝た状態から離床するまでの利用者の動作を検知し、ナースコールへ通知します。 ・通知タイミングを「動き出し」、「起上がり」、「端座位」、「離床」、「離床管理」の5つのモードから選択でき、利用者の状態などに合わせた使用ができます。
	使用方法（再設定）	・搬送などで電源を差し直した場合でも、「新規⇄継続」選択画面が表示され前回の設定内容を継続することができます。 ・利用者がベッドに横になる度に自動調整を行っています。利用者が変わり、体重や身長が違ったとしても設定変更する必要はありません。
	使用環境	・室温：15～45℃、湿度：35～85%RH ・突起物の無い水平かつ頑強な場所
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・動き出しなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合
	高齢者に対する安全面の配慮	センサーは内蔵型でケーブル類の露出はありません。
	介護者に対する安全面の配慮	・コントローラのボタンを爪や先の尖ったもので押したり、必要以上に強く押ししたりしないでください。 ・コントローラを取り外す際は、必ず電源を切ってから外してください。
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	・転倒・転落のリスク低減
	機器を使用することで実現する介護者への効果	・不要な訪室回数の低減による介護負担の軽減。
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	・介護施設内の居室
	設置場所	・ナースコール設備付近 ・突起物の無い水平かつ頑強な場所
	設置方法	・センサ中継コードを分配器（別売）に接続。 ・既存のナースコール設備より、ナースコール子機を外し、分配器のナースコール接続口に接続。 ・分配器のコードをナースコール設備のコンセントに接続。

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	サイズ	コントローラー：116 (L) × 110 (W) × 25 (H) mm
	使用時の音	接続先のナースコールシステムによる。またはWi-Fi、有線LAN仕様の場合は、サーバー (PC) による。
	緊急発報の方法	・ ナースコールシステムを介して親機やPHSなどに通知 ・ Wi-Fi、有線LAN仕様の場合は、サーバー (PC) より警告音とアイコン赤点減表示にて通知。
	安全性の認証取得	・ センサはベッドに付属。ベッドはPSE準拠。 ・ Wi-Fiモジュールは技適取得品。(※Wi-Fi仕様のみ)
	検知方式 (センサー、画像など)	・ センサーは荷重変化により検知 (歪ゲージ方式)
	検知範囲	・ ベッド上の動作
	反応速度 (タイムラグ)	・ 離床、動き出しモード 約 30 秒 ・ 起上がり、端座位モード 約 10 秒 (※通知が届くまでの時間は、接続先のナースコールシステム、またはWi-Fi環境による。)
	最大見守り人数	・ ベッドにセンサー内蔵のため、1ベッドあたり1人。 ・ Wi-Fi、有線LAN仕様の場合、1つのサーバー (PC) に最大 20 ベッド接続可能。
	必要な通信環境	・ ナースコールシステムを利用して通知する場合は特に無し。 Wi-Fi仕様の場合 ・ 各居室室内まで電波が届くWi-Fi環境 対応規格：2.4GHz (IEEE802.11b/g/n) 有線LAN仕様の場合 ・ 各居室へのLANケーブル配線
	必要なシステム・設備	・ ナースコールシステム ・ 専用サーバー (PC)、専用ソフトウェア (※オプションのWi-Fi、有線LAN仕様のみ)
	データの記録機能、有無と内容	・ データ登録数：制限なし ・ 解析内容 (ログ全体画面)：体動レベル、利用者の状態および設定状態を表示 ・ 解析内容 (週別解析結果)：1週間分の離床、臥床、アラームをグラフ表示 ・ アウトプット (レポート印刷)：すべての解析内容項目を印刷可能
	他の機器との連携・互換性	・ ナースコールと連動可能 ・ 介護記録ソフトとの連携可能
消耗品の有無	・ 特になし	
コスト	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	別途御見積
オプション	追加できる機能	Wi-Fi仕様、有線LAN仕様、バイタルセンサー、温度・湿度センサー
問合せ先	緊急時の問合せ先	平日9時～18時 03-5549-2936 フランスベッド株式会社 法人企画課
	よくある質問 (Q&A)	Q どのくらいの体重利用者まで可能ですか? A 30kg～135kgの範囲で使用可能

パンフレット等

製品カタログ

https://medical.francebed.co.jp/iryofukushi/mimamori_m2/



使用方法等の動画

https://youtu.be/tGjgNkGfK_w



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ラムロック

—みまもり CUBE—

品番・型番

CUBE-00002-A



機器の概要

機器の機能

『みまもり CUBE』のカメラ映像を独自の画像認識技術で解析を行い、高齢者の徘徊（外出）や離床を検知して画像付きメールで E-MAIL 配信。内蔵スピーカーによる音声で警報。

スピーカー・マイク機能により対話も可能

『みまもり CUBE』（スタンドアロンモデル）は SIM カード内蔵しているので Wi-Fi 環境不要



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・ E-MAIL が受信できる携帯電話またはスマホ等
- ・ みまもり CUBE 設置場所から 5 メートル範囲内に AC100V コンセント 1 口が必要
- ・ NTTdocomo の LTE サービスエリア内に限ります

試用期間中のサポート

ラムロックオペレーションセンター【受付時間：月～土 9:30～18:00/ 固定電話からは：0120-306-692 携帯・PHS：094-966-8160】にてサポートいたします。

貸出期間	2週間～1ヶ月程度
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社ラムロック

〒820-1111 福岡県飯塚市勢田 1950-1

TEL 09496-2-3156 MAIL shishidou@ramrock.co.jp

所属部署 サポート事業本部 担当者名 獅子堂正哉



機器の仕様

販売開始

2018年6月

販売価格

146,300円 (税込)

TAISコード

01325-000012



—みまもり CUBE—

通知スケジュール：通知する時間と通知しない時間を1時間単位（曜日毎）で設定できます。録画保存期間：みまもり CUBE 本体の microSD カード（64GB）に記録されます。（保存期間：約7日間）/録画再生：録画から任意の時間を指定し、×1倍速×2倍速×4倍速×8倍速で再生できます。/スキップ再生：録画の中から検知箇所のみを頭出し再生できるスキップ再生機能です。/録画のダウンロード：録画をavi形式に変換してダウンロードする機能です。/モザイク設定：プラバシー保護の対策として、映像中の指定したエリアにモザイク処理をする機能です。/集音機能：みまもり CUBE に内蔵しているマイクで周囲の音を集音してスマートフォンから聴くことが可能です。/呼びかけ機能：スマートフォンから各みまもり CUBE 毎に呼びかけることが可能です。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ラムロック

製品名 **—みまもり CUBE— 01325-000012**

型番 CUBE-00002-A

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方。 <p>【介護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者を遠隔で見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・起動：みまもり CUBE に付属されている A C アダプターをコンセントに差し込むと起動が始まります ・シャットダウン：A C アダプターをコンセントから抜き取ると自動的にシャットダウンします ・再度起動する場合はみまもり CUBE 正面（左側）の赤いランプが消灯していることを確認して、A C アダプターをコンセントに差し込むと起動します。下で点灯・点滅している赤ランプが完全に消えた状態から起動して下さい ・利用者が触れないところに設置する ・タコ足配線は行わず、A C アダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行います。画角が変わると再度検知設定が必要になります
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・感度設定がうまくできていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行います。画角が変わると再度検知設定が必要になります
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・センサを遮るような物の配置をしない。 ・水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） ・サーバーP Cの電源が抜けないようにする ・ご利用の際は NTTdocomo の L T E サービスエリア内に限ります。
	倫理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・施設から家族に同意書を取得する（同意書のフォーマットあり） ・カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る ・利用者のプライバシーに配慮し、任意の場所へのモザイク加工も可能（ライブ映像・録画映像を選択）
	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・使用時の基本ステップ（機器設置→ラムロックオペレーションセンターに電話し、検知内容を伝える→インターネット回線を用いてリモートで設定） ・高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、検知の内容等をふまえた訪室） ・検知種類：「動き出し」「起き上がり」「端座位」「離床」「ドアの出入り」「危険箇所の立ち入り」等
使用方法	使用方法（再設定）	<ul style="list-style-type: none"> ・移動後に、A C アダプタを接続する ・ラムロックオペレーションセンターにてリモート検知設定
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・気温 0℃～40℃ ・センサーレンズを覆い隠さない事 ・検知対象が見える位置への設置 ・NTTdocomo の L T E サービスエリア内
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき ・起き上がりなど早期検知が必要な場合 ・転倒・転落や徘徊リスクがある場合 ・認知症の方の見守り
	習熟期間	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく使いこなすようになるまで約 2～3 週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する。
効果	介護者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の身体的・精神的負担軽減
仕様、構造	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（P R 等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
	使用場所、必要スペースなど	<ul style="list-style-type: none"> ・屋内、介護施設・病院内 居室（個室・多床室） ・L T E 通信（Docomo）が届くエリア
	設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ・居室内での離床検知用途の場合：ベッド頭部側又は定例 天井付近（高さ 2.2～2.7 m 程度）場合によりベッド側面の壁へ設置 ・施設又は居室からの離脱・徘徊検知用途の場合：対象の出入り口より（距離 2.5～3.0 m 程度）
	設置方法	<ul style="list-style-type: none"> ・壁固定（同梱の専用取付金具） ・突っ張り棒設置（別売り）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	サイズ	高さ 9cm、幅 9cm、奥行き 10cm
	形状	立方体
	重量（バッテリー含む）	310g 以下
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	みまもり CUBE 本体、電源アダプター
	緊急発報の方法	・パソコン・スマホ・タブレット等へ画像付きメール（Eメール）で通知
	安全性の認証取得	PSE 準拠
	防水・防塵加工	防水加工無し 防塵加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	・画像認識
	検知範囲	・検知距離最大 10メートル ・取付位置高さ 2.2～2.7メートル※推奨 ・対象までの距離 2.5～3.0メートル※推奨
	反応速度（タイムラグ）	・3秒以内（※みまもり CUBE 及び受信する機器の通信状況により異なります。）
	最大見守り人数	・1システム最大1床（1ベッド1センサー）
	必要な通信環境	・NTTdocomoのLTEサービスエリア内
	必要なシステム・設備	検知受信端末・表示端末（パソコン・タブレット・スマホ等）
	データの記録機能、有無と内容	録画機能：SD3.0(UHS-I)×1ch 64GB 内蔵 常時7日間保存可能（録画データのEXPORT可能）
他の機器との連携・互換性	・なし	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・システムバージョンアップ ・不具合の場合、電話にて対応。リモートサポート 必要に応じて現地で不具合の確認・適切な処置
	ユーザーによるお手入れ	・ホコリの除去
	消耗品の有無	・赤外線LED ・SDカード（有償交換）
	保証期間	購入日より1年間
	修理対応期間	購入日より1年間
	耐用年数	約5年
コスト	本体・付属品の定価	146,300円（税込）
	ランニングコスト	画像認識サービス利用料：2,090円（税込）/月額 データ通信量：1,100円/1GB（税込）/月額 1GB追加ごとに1,100円（税込）
	教育研修費	必要に応じて説明会開催（現地・web）
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ラムロック 所属部署：サポート事業本部 営業 担当者名：獅子堂 正哉 TEL：090-5884-5251 Mail：shishidou@ramrock.co.jp
	デモ・貸出	可能 2週間程度（ご要望に応じて延長も可能）

パンフレット等

製品カタログ <https://ramrock-eyes.jp/download/>



取扱説明書 <https://ramrock-eyes.jp/download/>



使用方法等の動画 <https://ramrock-eyes.jp/download/>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ラムロック
みまもり CUBE
—システム Light—

品番・型番

CUBE-LG-S5



機器の概要

機器の機能

『みまもり CUBE』のカメラ映像を独自の画像認識技術で解析を行い、高齢者の徘徊（外出）や離床を検知してお知らせすることができます。集中管理サーバにモニターを接続する事で、居室に訪室せずとも詰所で複数台のみまもり CUBE のモニタリングが可能です。さらに、みまもり CUBE が異常を検知すると、モニターから音声で通知を行います。また、スマートフォンでもモニターと同様に音声で通知を受け取れます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

みまもり CUBE 設置場所：設置場所から 5 メートル範囲内に AC100V コンセント 1 口

管理サーバ&モニター設置場所：AC100V コンセント 1 口

居室と詰所の距離：貸出の際は、簡易的に独立したネットワークでシステムを稼働させるため、居室と詰所の距離は Wi-Fi が届く範囲内（管理サーバ&モニター設置場所より 10 m 程度）

試用期間中のサポート

ラムロックオペレーションセンター【受付時間：月～土 9:30～18:00/ 固定電話からは：0120-306-692 携帯・PHS からは：094-966-8160】にてサポートいたします。

貸出期間	2週間～1ヶ月程度
貸出可能台数	1式

問い合わせ先 株式会社ラムロック

〒820-1111 福岡県飯塚市勢田 1950-1

TEL 09496-2-3156 MAIL shishidou@ramrock.co.jp

所属部署 サポート事業本部 営業 担当者名 獅子堂正哉



機器の仕様

販売開始

2018年6月

販売価格

443,300円 (税込)

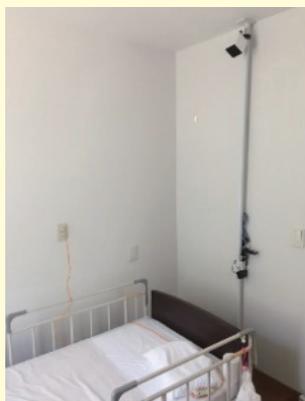
TAISコード

01325-000013



みまもりCUBE ーシステム Lightー

通知スケジュール：通知する時間と通知しない時間を1時間単位（曜日毎）で設定できます。/音声通知：発報時に登録したカメラ名称を、モニターとスマートフォンから音声で読み上げを行う機能です。（登録したカメラ名称を音声で読み上げる）/録画保存期間：みまもりCUBE本体のmicroSDカード（64GB）に記録されます。（保存期間：約7日間）/録画再生：録画から任意の時間を指定し、×1倍速×2倍速×4倍速×8倍速で再生できます。/スキップ再生：録画の中から検知箇所のみを頭出し再生できるスキップ再生機能です。/録画のダウンロード：録画をavi形式に変換してダウンロードする機能です。/モザイク設定：プラバシー保護の対策として、映像中の指定したエリアにモザイク処理をする機能です。



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ラムロック

製品名 **みまもり CUBE —システム Light— 01325-000013**

型番 CUBE-LG-S5

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方、看取りの方など <p>【介護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複数の高齢者を同時かつ遠隔に見守りたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> 使用できない環境（場所）：浴室内等、高温多湿なところ、屋外 その他：分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 起動：みまもり CUBE に付属されている AC アダプターをコンセントに差し込むと起動が始まります シャットダウン：AC アダプターをコンセントから抜き取ると自動的にシャットダウンします 再度起動する場合はみまもり CUBE 正面（左側）の赤いランプが消灯していることを確認して、AC アダプターをコンセントに差し込むと起動します。下で点灯・点滅している赤ランプが完全に消えた状態から起動して下さい 利用者が触れないところに設置する タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えない 高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行います。画角が変わると再度検知設定が必要になります
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する コードの上に物をのせない。 通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	<ul style="list-style-type: none"> 感度設定がうまくできていない場合 利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 直射日光による精度低下時、画面降下による設定相違時 無線Wi-Fiの電波状況の悪い場合 みまもり CUBE の検知設定は画角（カメラアングル）を固定した状態で行います。画角が変わると再度検知設定が必要になります
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> センサを遮るような物の配置をしない。 Wi-Fi環境エリア内のみ通知受信する、端末を利用する際に電波の届く場所にて利用する 水濡れには注意する（火災や故障の原因となる） サーバーPCの電源が抜けないようにする。
	倫理的配慮	<ul style="list-style-type: none"> 施設から家族に同意書を取得する（同意書のフォーマットあり） カメラを利用するかどうかについて、本人、家族の同意書を得る 利用者のプライバシーに配慮し、任意の場所へのモザイク加工も可能（ライブ映像・録画映像を選択）
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 使用時の基本ステップ（機器設置→ラムロックオペレーションセンターに電話し、検知内容を伝える→インターネット回線を用いてリモートで設定） 高齢者の見守り時の基本ステップ（ステーションからの端末確認、検知の内容等をふまえて入室） 検知種類：「動き出し」「起き上がり」「端座位」「離床」「ドアの出入り」「危険箇所の立ち入り」等
	使用方法（再設定）	<ul style="list-style-type: none"> 移動後に、ACアダプタを接続する ラムロックオペレーションセンターにてリモート検知設定
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> 気温 0℃～40℃ センサーレンズを覆い隠さない事 検知対象が見える位置への設置 Wi-Fi環境又は有線LANのネットワーク環境
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> 離れた場所にいる利用者の異常を素早く検知し状況把握を行いたいとき 起き上がりなど早期検知が必要な場合 転倒・転落や徘徊リスクがある場合 認知症の方の見守り
	習熟期間	<ul style="list-style-type: none"> うまく使いこなすようになるまで約 2～3 週間程度
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す 電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する。
	介護者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	転倒・転落のリスク低減、自立支援向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	職員の身体的・精神的負担軽減

製品情報

	項目	内容
効果	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減、ケアの質の向上、労働環境改善、職場の魅力向上（PR等）、エビデンスデータ（訴訟リスクの回避等）
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋内、介護施設・病院内 居室（個室・多床室）、Wi-Fi通信が届くエリア
	設置場所	・居室内での離床検知用途の場合：ベッド頭部側又は足側 天井付近（高さ2.2～2.7m程度）場合によりベッド側面の壁へ設置 ・施設又は居室からの離脱・徘徊検知用途の場合：対象の出入り口より（距離2.5～3.0m程度）
	設置方法	・壁固定（同梱の専用取付金具） ・突っ張り棒設置（別売り）
	サイズ	高さ9cm、幅9cm、奥行き10cm
	形状	立方体
	重量（バッテリー含む）	310g以下
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	みまもりCUBE本体、電源アダプター（みまもりCUBE分）、取付位置一式、管理サーバ、電源アダプター（管理サーバ分）
	緊急発報の方法	・専用スマホへ画像付きメール&音声読み上げ（カメラごとに任意の音声）にて通知
	安全性の認証取得	PSE準拠
	防水・防塵加工	防水加工無し 防塵加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	・画像認識
	検知範囲	・検知距離最大8メートル ・取付位置高さ2.2～2.7メートル※推奨 ・対象までの距離2.5～3.0メートル※推奨
	反応速度（タイムラグ）	・0.5秒以内（Wi-Fi環境により異なります。）
	最大見守り人数	・1システム最大1床（1ベッド1センサー）
	必要な通信環境	・貸出の際は（トライアル時）特になし ※本導入する際は、各居室へのLANケーブル配線もしくは施設内のWi-Fi環境整備（無線LAN接続2.4GHz、5GHzに対応）
	必要なシステム・設備	無線LAN・有線LAN環境
データの記録機能、有無と内容	録画機能：SD3.0(UHS-I)×1ch 64GB内蔵 常時7日間保存可能（録画データのエキスポート可能） 検知履歴一覧の表示	
他の機器との連携・互換性	・なし	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	・システムバージョンアップ ・不具合の場合、電話にて対応。リモートサポート 必要に応じて現地で不具合の確認・適切な処置
	ユーザーによるお手入れ	・ホコリの除去
	消耗品の有無	・赤外線LED ・SDカード（有償交換）
	保証期間	購入日より1年間
	修理対応期間	購入日より1年間
コスト	耐用年数	約5年
	本体・付属品の定価	443,300円（税込）
ランニングコスト	みまもりCUBE1台～5台まで	9,350円（税込）/月額
	みまもりCUBE6台～15台まで	15,400円（税込）/月額
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ラムロック 所属部署：サポート事業本部 営業 担当者名：獅子堂 正哉 TEL：090-5884-5251 Mail：shishidou@ramrock.co.jp
	デモ・貸出	可能 2週間程度（ご要望に応じて延長も可能）

パンフレット等

使用方法等の動画 <https://youtu.be/a5DpesbFI7w>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社アルコ・イーエックス

ペイシェントウォッチャープラス

品番・型番

PWS-R3L02



機器の概要

機器の機能

ペイシェントウォッチャープラスは、常に利用者を見守り数秒間隔で現在の画像を画面に表示。この画面を適宜観察する事で、お部屋に行かなくても状況を確認できます。また、利用者の動きを音とアイコンでお知らせも可能で、施設のナースコールへ接続すればナースコールからお知らせも可能です。標準装備のUSBメモリでの録画や、オプションでバイタルセンサーを接続する事でバイタルを収集し異常があればお知らせも可能。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・本事業における試用貸出に限り、受信機としてご利用いただける端末を1台貸出可能です。
それ以外に施設様のパソコン等を受信機として使用する場合には、インターネットにつながっている必要がございます。
- ・ソフトバンク株式会社のサービスエリア内にあり、本体を取り付けたい場所の通信状態が良好である事。

問い合わせ先 株式会社アルコ・イーエックス

〒312-0036 茨城県ひたちなか市津田東 4-10-5

TEL 029-275-8072 MAIL alco-ds@alco-ex.jp

所属部署 営業部 担当者名 瀧村



機器の仕様

販売開始

2019年10月

販売価格

272,800円 (税込)

TAISコード

01803-000003



ペイシエントウォッチャープラス

電源：AC100 50/60Hz

消費電力：19W (最大)

外形寸法：直径 250mm × 高さ 75mm

質量：約 840g

設置位置：ベッド頭部側中央、高さ約 1.7m

対応ベッドサイズ：シングルベッド

試用期間中のサポート

お困り際には電話にてリモート対応いたします。

万が一ハードの故障の場合は代替機をご用意して対応いたします。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	2台



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社アルコ・イーエックス

製品名 **ペイシエントウォッチャープラス 01803-000003**

型番 PWS-R3L02

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・転倒リスクのある方、認知症の方、日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方、徘徊予防の必要な方など 【介護者】・複数的高齢者を同時かつ遠隔に見守りしたい、業務の負担軽減をしたい、従来のセンサでは介助が間に合わないと感じている方など
	専門職の関与	必要なし
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）： 浴室内等、高温多湿なところ、屋外 ・その他： 分解、改造等
使用上の注意	注意事項	本装置が収集するデータや表示情報は看護や医療の情報としては使用できません
	安全に利用するための配慮	コードの上に物をのせないでください
	誤報の有無	利用者以外の方が近くにいると、その方の動きを検知する場合がございます
	使用上の注意	インターネット通信状況や設置環境その他の原因で、お知らせが漏れたり誤ったお知らせをする場合があります
使用方法	倫理的配慮	施設様からご家族様へ同意を得る
	使用方法	本体の電源を入れて、パソコン等で専用ページのURLを入れてログインする
	使用方法（再設定）	本体を別の部屋に移動（本体の移動は容易に行えます）
	使用環境	5℃～40℃ 湿度80%以下（但し、結露しないこと）
	使用場面	いつでも様子を見たいときにご確認いただけます
	習熟期間	難しい設定はありませんのですぐにご利用いただけます
	高齢者に対する安全面の配慮	コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめたり隠していただく
効果	介護者に対する安全面の配慮	本体取付方法を遵守していただく
	機器を使用することで実現する高齢者への効果	安全性向上、眠りの質の向上
	機器を使用することで実現する介護者への効果	無駄な訪室を減らし負担の軽減、精神的なストレス軽減
仕様、構造	機器を使用することで実現する施設への効果	サービス向上、従業員を守る（エビデンス）、人件費削減
	使用場所、必要スペースなど	屋内
	設置場所	ベッド頭部側中央、高さ約1.7m
	設置方法	壁付け・天井ポール設置・専用スタンド
	サイズ	直径250mm×高さ75mm
	形状	円形
	重量（バッテリー含む）	約840g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	AC100V 50/60Hz
	使用時の音	お知らせ発生時には本体からは音はなりません
	緊急発報の方法	パソコン・スマホ・タブレット等へ音とアイコンでお知らせ
	防水・防塵加工	防塵加工実施済み
検知方式（センサー、画像など）	画像解析	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	検知範囲	・ベッド周辺 30cm 程度
	反応速度 (タイムラグ)	約1~3秒程度
	最大見守り人数	上限なし
	必要な通信環境	インターネット回線
	必要なシステム・設備	お知らせを受け取る為の、インターネットが繋がっているパソコンやスマホ等 (すでにお持ちの設備をご利用いただけます)
	データの記録機能、有無と内容	検知発生を自動で記録。また、録画用メモリを使い録画する事で約4~5日分程度の録画が可能です
	他の機器との連携・互換性	無し
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	定期的な稼働状況の確認 (リモート)
	ユーザーによるお手入れ	本体カメラ部の清掃
	消耗品の有無	無し
	保証期間	1年間
	修理対応期間	特に定め無し
	耐用年数	約4年
コスト	本体・付属品の定価	272,800 円 (税込)
	設置導入に伴う費用	本体設置費用・PC等の初期設定費 (別途お見積もり)
	ランニングコスト	1台あたり月額 (税込) SIMモデル: 1,100 円 or 3,300 円 (リアルタイム画像のコマ送り周期間隔によって2プランございます) Wi-Fiモデル: 550 円
	教育研修費	無し
オプション	追加できる機能	ナースコール接続・バイタルセンサー接続
問合せ先	緊急時の問合せ先	アルコ・イーエックス 029-275-8072
	デモ・貸出	可能
	よくある質問 (Q&A)	Wi-Fi環境が必要ですか? → 本体にSIMが入っていますので不要です

パンフレット等

製品カタログ

https://www.alco-ex.jp/product_patientwatcher.html



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=lyiD20BxPIQ>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社エフエージェイ

おむつモニター mini

品番・型番

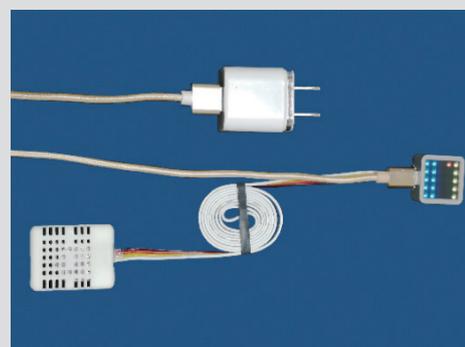
om-mini



機器の概要

機器の機能

- ◆シーツの下の膝の中間辺りに設置したセンサーで、ニオイと湿度と温度を計測し、排便レベルと排尿レベルと温度をLED表示器に表示します。
- ◆個人によって排便と排尿のレベルは異なりますから、排便と排尿の判断はLEDの点灯個数で判断します。
- ◆おむつ交換の後、前面を押すことでリセットし、排便と排尿の再監視を始めます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

100Vのコンセントが必要
防水シートの下は、センサーが動作しません
ニオイがこもる掛け布団が必要

試用期間中のサポート

電話または email に対応
(平日9時から17時)

貸出期間	2週間
貸出可能台数	20台

問い合わせ先 株式会社エフエージェイ

〒241-0826 横浜市旭区東希望が丘 7-25 芙蓉ビル

TEL 045-532-5581 MAIL faj@fajpn.com

所属部署 技術 担当者名 美藤 均 (ミトウ)



機器の仕様

販売開始

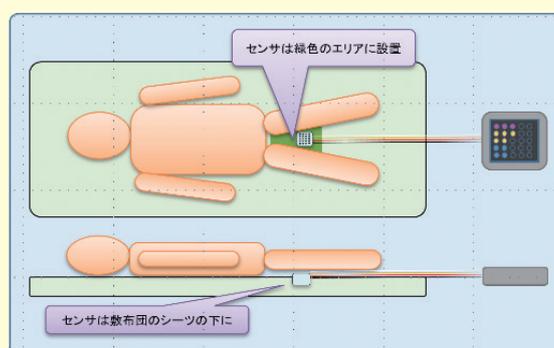
2021年5月

販売価格

15,500円(税込)

おむつモニター mini

- ◆センサー：ニオイ、湿度、温度
サイズ：50×30×7mm
- ◆LED表示器：多色LED25個
サイズ：24×24×13mm
- ◆USBアダプター：AC100V入力、5v出力
- ◆接続ケーブル：4色 1m
- ◆USB接続ケーブル：USB C、長さ2m



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社エフエージェイ

製品名 **おむつモニター mini**

型番 om-mini

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・介護者に排泄を通知できない、寝たきりの人 【介護者】・LED表示器の点灯具合を見て排便と排尿を判断する。
	専門職の関与	不要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：防水シートの下 ニオイのこもる掛け布団がない。
使用上の注意	注意事項	設置箇所はシートの下で膝の中間辺りにセンサーを設置する。 センサー接続ケーブルは細くて弱いので、取扱いは注意 シート交換でセンサーが移動する場合は、テープで固定する センサーは防水ではありません。
	安全に利用するための配慮	電源ケーブルがあるため、コードは高齢者の手の届かない場所に設置する。
	誤報の有無	一番上のLEDが点滅している場合は正常で。点灯や消えている場合は、故障 又はコネクタの接触不良です。
	使用上の注意	排便レベルが低いままの場合はセンサー位置が下腹部から離れすぎです。
	倫理的配慮	・施設から家族に同意書を取得する
使用方法	使用方法	見廻りのときLEDの点灯色と点灯数を見て、排便か排尿かを判断します。
	使用方法（再設定）	オムツ交換の後にLED面を押しリセットとすれば、排泄の監視を再開します。
	使用環境	気温：10度から50度
	使用場面	ベッドに横たわった人で排泄を介護者に告げられない人の排泄を知らせる。
	習熟期間	即使用可能
	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・高齢者が触れる場所に機器を置かない ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない。 ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する 高齢者への効果	おむつを開かずに排泄が分かるので、安眠を妨げない。
	機器を使用することで実現する 介護者への効果	介護者はLEDの点灯を見るだけで排泄が分かるので、定時巡回の時間が短縮 される。
	機器を使用することで実現する 施設への効果	夜間の介護者の少ない時間の介護者の作業が低減する。
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	在宅、施設
	設置場所	シートの下の下腹部に近い膝近傍にセンサーを設置し、LEDは高齢者に見え なくて介護者に見える個所に設置する。
	設置方法	敷布団のシートの下で膝の中間辺りに、センサをセットする (防水シートの下では作動しません)
	サイズ	センサー：50×30×7mm LED：24×24×13mm センサーケーブル：1m
	重量（バッテリー含む）	LED表示部：7g センサー部：15g

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	◆センサー：ニオイ、湿度、温度 サイズ：50×30×7mm ◆LED表示器：多色LED 25個 サイズ：24×24×13mm ◆USBアダプター：AC 100V入力、5v出力 ◆接続ケーブル：4色 1m ◆USB接続ケーブル：USB C、長さ 2m
	安全性の認証取得	電源アダプターはPSEマーク取得品
	防水・防塵加工	防水加工無し
	検知方式（センサー、画像など）	センサー：ニオイ、湿度、温度
	検知範囲	下腹部近傍
	反応速度（タイムラグ）	排便は約 10分 排尿は数分
	最大見守り人数	1人/台
	必要な通信環境	なし
	必要なシステム・設備	なし
	データの記録機能、有無と内容	なし
	他の機器との連携・互換性	なし
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	不具合の場合は郵送で交換いたします。
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	センサーが濡れてしまったときは、センサー交換（¥7,000）（税込）
	保証期間	半年
	耐用年数	センサーは約2年
コスト	本体・付属品の定価	15,500円（税込）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	なし
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	弊社 tel 045-532-5581
	デモ・貸出	あり

パンフレット等

製品カタログ http://fajpn.com/app-def/S-102/wp/?page_id=1144



取扱説明書 http://fajpn.com/app-def/S-102/wp/?page_id=1144



使用方法等の動画 <https://www.youtube.com/watch?v=s5CeUOapbHE>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社ソルクシーズ 見守り支援システム 「いまイルモ」



機器の概要

機器の機能

見守り支援システム「いまイルモ」は、一人暮らしの高齢者の生活の様子を離れた場所から確認できるクラウド型のシステムです。みまもりセンサーはカメラを使わずプライバシーに配慮し、人感センサー、照度センサー、温度・湿度センサーを搭載しデータを取得します。データを分析することで、利用者に最適なケアプラン作成が可能となり、QOL向上へと繋がります。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・貸出対象は、小規模多機能型居宅介護や訪問介護・看護の事業者になります。利用者の在宅で見守り強化に最適です。
- ・見守り支援システム（クラウド）の確認用として、パソコン・タブレット・スマートフォンのいずれか（インターネットにつながるもの）が必要となります。
- ・みまもりセンサーには、SIMカードが内蔵されています。設置場所のインターネット環境は必要ありません。

試用期間中のサポート

試用開始前は、取扱説明をさせていただきます。また、試用期間中ご不明点等ございましたら、電話、メールにてご連絡いただけましたらご対応致します。

貸出期間	2週間程度
貸出可能台数	1セット (機器構成は要相談)

問い合わせ先 株式会社ソルクシーズ

〒108-0022 東京都港区海岸3-9-15 LOOP-Xビル5階

TEL 03-6722-5716 MAIL support@imairumo.com

所属部署 IoT 事業推進室 担当者名 亀山



機器の仕様

販売開始

2014年10月

販売価格

オープン価格
(機器費用・月額費用)

見守り支援システム「いマイルモ」

【みまもりセンサー】

外形寸法：76 (W) × 27 (D) × 135 (H) mm

※突起物除く

質量：各センサー約 120g ※ACアダプター含まず

材質：ABS樹脂

電源：AC100V-240V 50/60Hz

搭載センサー：温度センサー、湿度センサー、照度センサー、
モーションセンサー、微動センサー（子機のみ搭載）

【ドアセンサー】

外形寸法：44 × 60 × 23mm

質量：約 34.5g(電池除く)

電源：単4電池2本

【バイタルセンサー（ベッドタイプ）】

外形寸法：340 (W) × 18 (D) × 64 (H) mm

質量：508g (本体 424g+ACアダプタ 84g) ± 5g

電源：AC100V-240V 50/60Hz



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ソルクシーズ

製品名 **見守り支援システム「いまイルモ」**

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人暮らしの高齢者（日中独居も対象） <p>【介護者】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅にいらっしゃる利用者の見守りを強化し、QOL向上の為に、最適なケアプランを提供したいと考えられている介護事業者。
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> 屋外での使用は禁止します。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤作動する場合があります。 本体は精密な電子機器の為、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用・保管は避けて下さい。
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> 万一、異常が発生したとき。本体から異臭や煙が出た時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて下さい。 異物を入れないでください。本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。 ※万一異物が入った場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。 落雷の恐れがあるときや雷発生時は、いったん電源プラグをコンセントから抜いて使用中断して下さい。 水気の多い場所での使用、濡れた手での取り扱いはおやめください。 分解しないでください。 ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。 付属の AC アダプター以外の物を使用しないで下さい。
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> 電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> 親機、子機間の無線通信は見通しの良い場所で 40m 以内となりますが、遮蔽物等の影響により有効距離が短くなる事がありますので設置の際はご注意ください。（妨害電波、金属のドアやコンクリートの壁がある場合、2 階建ての場合等） 電源コードはしっかりと機器に差し込んで下さい。通電の確認の為、電源を入れてから 30 秒経ってからお知らせボタンを押して光と音が出れば正常に通電されています。
使用方法	倫理的配慮	事業者から家族に同意書を取得していただいています。
	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> 使用開始時に、「利用開始メール」が登録してあるメールアドレスに送られます。メールに記載されている URL にアクセスし、手順に沿って進めて行くこと初期設定が完了し、利用を開始することができます。
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> 消費電流 親機：800mA 子機：60mA 動作温度 0℃～40℃（結露無きこと）
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> 在宅にいらっしゃる方の見守り強化を行いたい場合。 利用者が独居で、身内の方の見守りがうまくできていない場合や、利用者は自宅で過ごし続けたいが、家族の不安が解消できず施設入所を希望している場合など。 医療連携を行いたい場合。
	習熟期間 高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な利用方法は 1 週間程度 電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する 過度の見守りを行わなくても独居の方の生活状況の把握ができるので、見守られる方が自由に生活することができる。 見守られる方が何かを身に付けたり何かをする必要がなく、設置するセンサーも生活の妨げにならないデザインのため、ストレスを感じずに普段通りの生活を送ることができる
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の生活状況の把握
	機器を使用することで実現する介護者への効果	<ul style="list-style-type: none"> ケアの質の向上 労働環境改善 職場の魅力向上（P/R 等）
	機器を使用することで実現する施設への効果	
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居間、寝室、トイレなど
	設置場所	居室の壁、高さ約 1.2m 位置。（設置場所の状況によって調整は行う）
	設置方法	壁付け。または、専用スタンドに設置
	サイズ	<p>【みまもりセンサー】</p> <p>外形寸法：76（W）× 27（D）× 135（H）mm ※突起物除く</p> <p>【ドアセンサー（※オプション）】</p> <p>外形寸法：44 × 60 × 23mm</p> <p>【バイタルセンサー（ベッドタイプ）（※オプション）】</p> <p>外形寸法：340（W）× 18（D）× 64（H）mm</p>
	形状	コンパクトな箱型
	重量（バッテリー含む）	<p>【みまもりセンサー】</p> <p>質量：各センサー約 120g ※ AC アダプター含まず</p> <p>【ドアセンサー（※オプション）】</p> <p>質量：約 34.5g（電池除く）</p> <p>【バイタルセンサー（ベッドタイプ）（※オプション）】</p> <p>質量：508g（本体 424g + AC アダプター 84g）± 5g</p>

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	【みまもりセンサー】 電源：AC100V-240V 50/60Hz 【ドアセンサー（※オプション）】 電源：単4電池2本 【バイタルセンサー（ベッドタイプ）（※オプション）】 電源：AC100V-240V 50/60Hz
	緊急発報の方法	・メールで通知 ・見守り画面での通知
	安全性の認証取得	内部通信モジュールは技適取得
	防水・防塵加工	防水加工・防塵加工は無し
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーで検知（人感センサー、温湿度センサー、照度センサー）
	検知範囲	・モーションセンサー 検出距離：最大5M 検出距離角度：82度 ・微動センサー 検出距離：最大2M 視野角：91度 ・温度センサー 標準検出範囲：-40～+80℃（精度±0.5℃） ・湿度センサー 標準検出範囲：0～99.9%RH（精度±3%RH） ・照度センサー 感度波長範囲：300～820nm
	最大見守り人数	・1セット1名 ・複数人を一覧表示し管理することも可能
	必要な通信環境	・特になし（みまもりセンサーには、SIMカードが内蔵されています。設置場所のインターネット環境は必要ありません）
	必要なシステム・設備	・表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）※インターネットに接続できるもの
	データの記録機能、有無と内容 他の機器との連携・互換性	・有（保存期間は1年間） ・チーフと連携可能（アイホン社）
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	特になし
	ユーザーによるお手入れ	特になし
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	購入後1年間
	修理対応期間	特になし
コスト	耐用年数	約5年
	本体・付属品の定価	オープン価格
	設置導入に伴う費用	無し（通常、設置については、お客様に行っていただいております。）
	ランニングコスト	オープン価格
オプション	追加できる機能	・ドアセンサー ・バイタルセンサー（脈拍・呼吸）
	教育研修費	無し
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社ソルクシーズ いまイルモサポート窓口 E-Mail: support@imairumo.com TEL: 03-6722-5716 受付時間: 10:00～17:00 (土日祝日年末年始休業日除く)
	デモ・貸出	同上
	よくある質問 (Q&A)	HPの「よくあるご質問」をご参考ください。 https://www.imairumo.com/faq.html

パンフレット等

製品カタログ (製品概要) <https://www.imairumo.com/kaigo/about.html>



使用方法等の動画 <https://youtu.be/Unxu8-v6M9c>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社まもる一の

まもる～のHOME

品番・型番

SS-300T



機器の概要

機器の機能

まもる～のHOMEはベッドのマットレス下に設置したセンサーで、利用者の睡眠・離床、部屋環境を的確にとらえ、離れた場所にいる家族や介護施設スタッフに在床状態をお知らせするシステムです。オプションでネットワーク接続いただくと、お手持ちのPCやスマートフォンなどへ通知し、いつでもどこでも利用者の状態を確認することができます。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

インターネットに接続できるPCやスマートフォンをご用意ください。

試用期間中のサポート

電話またはEメールにて対応いたします。
電話受付：平日 9:00～17:00

貸出期間	1ヵ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社まもる一の

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 4-16 パル K2 ビル 3F

TEL 03-5817-8767 MAIL info@miel.care

担当者名 荻野重人



機器の仕様

販売開始

2020年4月

販売価格

250,000円(税込)

TAISコード

01952-000001



まもる~のHOME

特長：3つのわかると通知（オプション接続時）

- ①利用者の離床／在床と脈拍・呼吸の状態がわかります。
- ②居室の温度・湿度・照度がわかります。
- ③利用者の睡眠状態をグラフで表示し、生活傾向がわかります。

通知機能 あらかじめ設定した値にもとづき、アラートメールやLINEで通知します。

通知は全9項目あり、細かな設定が可能で、しきい値設定や通知時間帯の設定なども可能です。

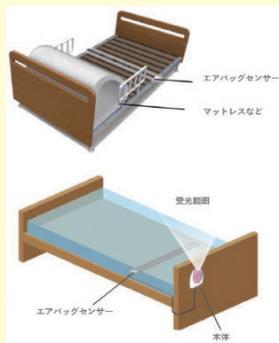
セット内容：本体、エアバッグセンサー、ACアダプタ、オプション接続用受信機

サイズ：本体 122 × 90 × 37mm、
エアバッグセンサー 760 × 50mm

重量：本体 120g、エアバッグセンサー 120g

材質：本体ケース：ABS、エアバッグ：PU

電源：ACアダプタ（100V）



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社まもる一の

製品名 **まもる~のHOME 01952-000001**

型番 SS-300T

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・在宅介護者 【介護者】・ご家族 ・介護施設スタッフ
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：屋外、水のかかる場所
使用上の注意	注意事項	・タコ足配線は行わず、ACアダプターへの無理な力を加えない ・高温になる場所（ストーブなどの火のそば、炎天下など）での使用や放置、保管をしない。 ・使用中に煙が出る、においがする、異常な音がるなどの症状が発生したら直ちに使用を中止してください。電源をオフにし、その後電源アダプタを抜いてください。
	安全に利用するための配慮	・本機器の使用前と使用後に、機器が正常かつ安全に使用できる状態であることを確認する ・コードの上に物をのせない。 ・通電状態では電源アダプタの端子に手は指など身体の一部が触れないようにする。 ・水などの液体をかけない。また、水などが直接かかる場所や風呂など湿気の多い場所での使用はしない。
	誤報の有無	・センサー出力ケーブルが奥まで差し込まれていない場合 ・利用者以外の方が近くにいるときに、その方の動きを検知した場合 ・無線Wi-Fiの電波強度や居室環境による場合
	使用上の注意	・エアバグセンサーの正しい設置位置（取扱説明書参照）で使用する ・電源ケーブルが抜けないように注意する ・センサーケーブルが抜けないように注意する
使用方法	使用方法	マットレス下にエアバグセンサーを設置後、エアバグセンサーケーブルを本体に接続し、本体の電源を入れる。オプションの送受信機の電源を入れる。PCやスマートフォンからログイン後、必要な通知の種類やしきい値を設定する。詳細な内容はマニュアルをご覧ください (https://mamoruno.miel.care/download-individual.php)
	使用方法（再設定）	・移動後に、ACアダプタを接続する ・必要に応じ、しきい値を再設定
	使用環境	本体 使用温湿度範囲：-10℃～+50℃ / 10～85%（結露なきこと） 保存温湿度範囲：-20℃～+60℃ / 10～85%（結露なきこと） エアバグセンサー 使用温湿度範囲：+5℃～+40℃・30～85%RH 保存温湿度範囲：-10℃～+50℃・30～60%RH
	使用場面	・離れた場所にいる利用者の状況把握を行いたいとき
高齢者に対する安全面の配慮	高齢者に対する安全面の配慮	・コード類を触ったり引っ張ったりしないようまとめる、隠す ・電源ケーブルを固定する ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
	介護者に対する安全面の配慮	・電源を入れたままベッド移動をしない。 ・電源ケーブル等は足元に引っかからない位置に配置する
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	独居の高齢者の方などが、見守られている安心感
	機器を使用することで実現する介護者への効果	見守る家族の安心感、ケア品質の向上
	機器を使用することで実現する施設への効果	小規模多機能施設などの在宅利用者への介護において、ケア品質の向上、介護業務の効率化
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	居室

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	設置場所	エアバッグセンサー：ベッドマットレス又は敷布団の下 本体：ベッドボード又は周辺の棚類
	設置方法	エアバッグセンサー：動かないように軽くマジックテープなどで固定 本体：付属のフックで引っ掛けてぶら下げる
	サイズ	本体 122 × 90 × 37mm、エアバッグセンサー 760 × 50mm
	重量（バッテリー含む）	本体 120g、エアバッグセンサー 120g
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	A C アダプター
	緊急発報の方法	本体のブザー又は E メール又は L I N E 通知
	安全性の認証取得	P S E 認可取得 A C アダプタ
	防水・防塵加工	なし
	検知方式（センサー、画像など）	振動センサー
	検知範囲	ベッド内
	反応速度（タイムラグ）	1分～3分（ネットワーク通知の場合は通信環境による影響あり）
	最大見守り人数	1システム最大 35 人
	必要な通信環境	オプション接続の場合、インターネット接続環境
	必要なシステム・設備	表示端末（パソコン、タブレット、スマホ等）
データの記録機能、有無と内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1 分毎に記録する情報：在床状態、睡眠レベル、室温、湿度、照度、脈拍・呼吸、電波強度 ・ 1 分毎に記録した利用者の状態及び居室の状況を1日 24 時間分、グラフ化して表示。日付を指定して過去の記録も表示可能。 ・ あらかじめ設定した通知を通知記録として表示 ・ 保存期間は基本6ヶ月 ・ 累積睡眠データ、離床回数の印刷 	
他の機器との連携・互換性	特になし	
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	特になし
	ユーザーによるお手入れ	センサーの汚れが目立つ場合は、A C アダプターを抜いて、水または水で薄めた中性洗剤を含ませて、固く絞った布で拭きとってください
	消耗品の有無	特になし
	保証期間	1年
	修理対応期間	5年
	耐用年数	3～5年
コスト	本体・付属品の定価	本体セット：250,000 円（税込）
	設置導入に伴う費用	なし
	ランニングコスト	オプション：1,980 円（税込）
オプション	追加できる機能	インターネットを介して利用者の情報を閲覧できるサービス
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社まもるの（03-5817-876）

パンフレット等

製品カタログ

<https://mamoruno.miel.care/product-home.php>



取扱説明書

<https://mamoruno.miel.care/download-individual.php>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社トレイル

うららかGPSウォーク

品番・型番

G-001



機器の概要

機器の機能

認知症等による徘徊行動を見守る為のGPS機器等を保持していただくためのGPS内蔵可能靴。利用者の尊厳も守りつつ、安全・確実に機器を持って頂くよう開発。当初、NTTドコモ社製GPS機器のみを内蔵出来るよう開発しましたが、その後、改良を重ね、多種のGPS機器を内蔵出来るよう汎用化し、世界標準GPSであるトラッキモGPSも実装しています。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

基本的に個人向けの貸出しはお受けしておりません。GPS機器本体（トラッキモGPS）の貸出も可能。位置情報を確認するためには、PCもしくはタブレット、スマートフォンが必要となります。

試用期間中のサポート

ご不明点につきましては、電話・メール等にて回答させていただきます。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社トレイル

〒650-0013 兵庫県神戸市中央区花隈町 3-18

TEL 078-382-3637 MAIL mail@uraraca.net

所属部署 企画営業 担当者名 森下寛之



機器の仕様

販売開始

2015年10月

販売価格

8,580円(税込)

TAISコード

01549-000001



うららかGPSウォーク

サイズ

SS (22.0 ~ 22.5cm)	L (25.0 ~ 25.5cm)
S (23.0 ~ 23.5cm)	LL (26.0 ~ 26.5cm)
M (24.0 ~ 24.5cm)	3L (27.0 ~ 27.5cm)

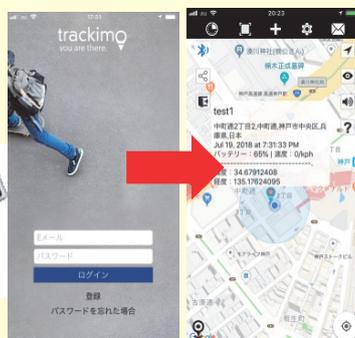
色：ブラック

甲材：合成皮革（ポリウレタン 100%）

トリコットスウェード（ポリエステル 100%）

底材：合成底

重さ：約 250g（Sサイズ片足、GPS機器含まず）



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社トレイル

製品名 **うららかGPSウォーク 01549-00001**

型番 G-001

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	【高齢者】・認知症やその他疾病・障害による徘徊行動をされる可能性のある方 【介護者】・徘徊の可能性のある方の施設への送迎の隙間リスク。独居や老々介護での見守りが必要と感じている方
	専門職の関与	独居・老々介護でスマートフォンが使えない方の場合、サポートが必要
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境（場所）：地下や通信電波の入りにくい所
使用上の注意	注意事項	3～4日に一度くらいの頻度で充電が必要となります。本体充電が困難な場合は、別売りのバッテリーをご購入の上、充電済みのバッテリーとの交換をしてください。
	安全に利用するための配慮	雨の日のご使用の場合は、GPS本体をチャック付きポリパック等を使用して保護していただけるようお勧めしています。
	誤報の有無	GPS機器の電波状況により、位置情報がずれる場合があります。在宅時に常にずれが生じる場合は、居宅の電波状況が良くないため、ズレた位置を居宅と認識していただいたり、徘徊時・歩行時にズレが生じる場合は、移動履歴を参照していただき、位置を推察していただいております。
	使用上の注意	靴に内蔵して使用する場合、付属の保護ケースにGPS機器を入れて使用してください。
	倫理的な配慮	徘徊行動等の見守りの一手段として活用し、他の目的に使用しないでください。位置情報を見守る方は家族等の同意を得てご使用ください。
使用方法	使用方法	GPS機器を付属の保護ケースに入れ、左足の中敷き下の底部分に装着。他は普通の靴として使用してください。また、他の靴を履かないよう他の靴や他人・家族の靴はしまってください。
	使用方法（再設定）	アプリ内にて多機能を調整可能
	使用環境	雨の日のご使用の場合は、GPS本体をチャック付きポリパック等を使用して保護していただけるようお勧めしています。
	使用場面	認知症の方の見守り。障がい等による突発行動をされる可能性のある方を見守り。
	習熟期間	3～4日くらいで習得可能と思います。
	高齢者に対する安全面の配慮	通常の靴と同じく1足の靴のみを連続使用しますと匂いや劣化の原因になりますので、履き替えの靴をご用意される事をお勧めしております。
	介護者に対する安全面の配慮	特になし。
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	外出を無理に阻止される事がなくなるため、認知症の進行を軽減でき、怒り等の感情の起伏を緩やかに出来る可能性があります。
	機器を使用することで実現する介護者への効果	勝手に外出してしまった場合に慌てて捜索に入らず、まず位置確認が出来る事により職員の身体的、精神的、時間的な負担を軽減します。
	機器を使用することで実現する施設への効果	事故リスクの低減

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	屋外
	設置場所	玄関・出入り口
	設置方法	GPS機器を内蔵した靴を置くだけ
	サイズ	22.0～27.5cm
	形状	マジックテープタイプと紐靴タイプ
	重量（バッテリー含む）	靴：約 250g（Sサイズの場合） GPS機器：約 40g（バッテリー含む）
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	USB充電リチウムイオンバッテリー
	使用時の音	無音に設定可
	緊急発報の方法	パソコン・スマートフォン・タブレットにEメール・ショートメールを送信。設定により多人数に同時送信可能
	防水・防塵加工	生活防水加工
	検知方式（センサー、画像など）	振動センサー、加速度センサーも内蔵
	検知範囲	全世界
	反応速度（タイムラグ）	GPS機器の電波状況により左右されます。
	最大見守り人数	1人 / 台
	必要な通信環境	特になし。
	必要なシステム・設備	表示端末（パソコン・スマートフォン・タブレット等）
	データの記録機能、有無と内容	移動履歴に関しては最大1年間を記録可能
	他の機器との連携・互換性	特になし。
メンテナンス	メーカーによるメンテナンス	1年間のメーカー保証
	ユーザーによるお手入れ	GPS機器の本体充電、もしくは充電済バッテリーとの交換
	消耗品の有無	特になし。
	保証期間	GPS機器に関しては1年間のメーカー保証
コスト	本体・付属品の定価	靴：8,580円（税込） GPS機器：25,850円（税込）（1年間の通信費込み）
	設置導入に伴う費用	特になし。
	ランニングコスト	翌年以降、年間 8,250円（税込）の通信料
問合せ先	緊急時の問合せ先	GPS機器に関してはトラックモGPS 03-3818-2320
	デモ・貸出	対応可

パンフレット等

製品カタログ

<https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/gps-walk.html>



取扱説明書

<https://www.uraraca.net/rehabili-shoes/use-gps.html>



使用方法等の動画

<https://www.youtube.com/watch?v=rgErPcj5M-E>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社メディカルスイッチ
見守り機能付き服薬支援ロボット
「FUKU助」

品番・型番

FK-A01



機器の概要

機器の機能

FUKU助は、見守り機能付きの服薬支援ロボットです。設定された服薬時刻になると利用者へ声をかけ、薬を出してくれます。また、ご利用する方の暮らしを見守るさまざまなセンサーと、通信機能を内蔵しており、専用クラウドとスマホアプリを介して、利用者の服薬履歴やセンサー情報を確認できます。また、ごみの日のお知らせ、熱中症の注意喚起といった、利用者の生活をサポートする声かけ機能も備えています。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

- ・電源 (コンセント AC100V)
- ・FUKU助のデータを閲覧するためのスマートフォン

試用期間中のサポート

FUKU助の初期設定や操作方法などのご質問について、電話または電子メールにて対応

貸出期間	1週間
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社メディカルスイッチ

〒144-0034 東京都大田区西糀谷 4-26-6 糀谷岡野ビル 502

TEL 03-6883-3360

MAIL info@medical-switch.com

担当者名 宮下直樹



機器の仕様

見守り機能付き服薬支援ロボット 「FUKU助」

【寸法】 幅 280mm、奥行 297mm、高さ 420mm

【質量】 本体 5.7kg

【消費電力】 待機時 約 7W、おくすり取り出し時 約 10W

【内蔵センサー】 気温、湿度、気圧、照度、人感反応
(赤外線検知方式)

【通信装置】 3GまたはLTE通信モジュール内蔵

【おくすり収納量】 最大 31 日分 (1日 4 回服用時、薬包
の厚みにより異なる)

【収納可能な薬包】 一包化：分包サイズ 80 × 70mm ま
たは 70 × 70mm

チャック袋：専用チャック袋

漢方薬：アルミパック包装サイズ 50
× 75mm

【設定可能な用法】 内服 (起床時、朝一昼一夕食後、朝一
昼一夕食前、朝一昼一食間、就眠前)
頓服

【声かけ機能】 熱中症注意喚起、ごみの日通知、食事の促
し 他多数

販売開始

2019 年 4 月

販売価格

オープン価格

TAIS コード

01933-000001



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社メディカルスイッチ

製品名 見守り機能付き服薬支援ロボット「FUKU助」 01933-000001

型番 FK-A01

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	介護を受けつつも、在宅での生活ができる高齢者（軽度認知症含む）
	対象者（介護者）	電子メールの送受信ができる方
禁止事項	禁止事項	本体およびACアダプターを水で濡らしたり、落下させたりしないこと。 直射日光が当たる場所に設置しないこと。 その他、取扱説明書の記載に従うこと。
使用上の注意	注意事項	本体付属の取扱説明書の記載をよく読んで、ご利用ください。
	安全に利用するための配慮	停電や製品故障などに備えて、予備の薬を別途保管しておくことを推奨します。
	倫理面の配慮	プライバシーに配慮して、カメラおよびマイクは設けておりません。
使用方法	使用方法	本体付属の取扱説明書をご参照ください。
	使用環境	室内において、水平で安定し、直射日光が当たらず、湿度が少なく、ホコリやチリの少ない場所に設置してください。
	使用場面	高齢者が服用する薬を内部に保管しておき、服薬時刻になると音と光で服薬時刻をお知らせし、タッチパネルをタッチすることで薬を出してくれます。
	高齢者に対する安全面の配慮	鋭利な突起物がない構造です。 電源が切断されるなどの異常を検知した場合は、あらかじめ登録されている方（ご家族や介護者など）へ、電子メールとアプリ通知を送信して、確認を促します。
	介護者に対する安全面の配慮	本体にセットされた薬の残数が少なくなると、電子メールでお知らせし、補充を促します。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	薬の飲み忘れや、飲み間違いを防止する効果が期待できます。 室内の気温が高いことを警告してくれるので、熱中症予防効果が期待できます。
	使用することで実現する介護者への効果	最大で1ヶ月分の薬をまとめて収納し、高齢者へ服薬を促して薬を渡す作業を製品に任せることができるので、服薬介助の負担が軽減します。 利用者の生活状況（服薬の有無、室内の気温、活動状況など）を、アプリを使って遠隔で確認できるので、安否確認の負担が軽減します。 利用者が薬を受け取らない場合などには、電子メールとアプリ通知で知らせてくれるので、利用者の異常（倒れていたなど）を速やかに検知できます。
	使用することで実現する施設への効果	上記、介護者への効果の欄を参照
仕様、構造	寸法	幅 280mm、奥行 297mm、高さ 420mm
	質量	本体 5.7kg
	消費電力	待機時 約 7W、おくすり取り出し時 約 10W
	内蔵センサー	気温、湿度、気圧、照度、人感反応（赤外線検知方式）
	通信装置	3GまたはLTE通信モジュール内蔵
	おくすり収納量	最大 31 日分（1日4回服用時、薬包の厚みにより異なる）

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	収納可能な薬包	一包化：分包サイズ 80×70mm または 70×70mm チャック袋：専用チャック袋 漢方薬：アルミパック包装サイズ 50×75mm
	設定可能な用法	内服（起床時、朝-昼-夕食後、朝-昼-夕食前、朝-昼-夕食間、就眠前） 頓服
	声かけ機能	熱中症注意喚起、ごみの日通知、食事の促し 他多数
メンテナンス	準備・片付け	FUKU助に保管する薬を、一回に服用する分量毎に薬包（一包化または専用チャック袋）にしてから、FUKU助に収納します。
	保管方法	高温、湿気が多いところ、直射日光が当たる場所を避けて保管ください。
	メーカーによるメンテナンス	レンタル商品のため、故障時は良品に交換します。
	ユーザーによるお手入れ	外装が汚れた場合は、固くしぼった布巾などでやさしく拭いてください。
	消耗品の有無	一包化を収納する場合は、「薬包貼り付けシール」を別途ご購入下さい。
	保証期間	期間の定めなし（レンタル商品のため、故障時は良品に交換します。）
	修理対応期間	期間の定めなし（レンタル商品のため、故障時は良品に交換します。）
コスト	本体・付属品の定価	レンタル商品・オープン価格
	ランニングコスト	電気代：約 190 円/月 薬包貼り付けシール：4~6円/枚
	教育研修費	なし
オプション	追加できる機能	なし
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社メディカルスイッチ Tel：03-6883-3360
	よくある質問（Q&A）	下記URL参照 https://www.medical-switch.com/faq/

パンフレット等

使用方法等の動画 https://www.youtube.com/watch?v=Dm_t6CMe6L0



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

富士ソフト株式会社

PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ

品番・型番

PRT060J-W01



機器の概要

機器の機能

「日常会話の話し相手／レクリエーションの司会進行／健康体操のインストラクター」など、高齢者福祉施設におけるさまざまな場面で、コミュニケーション機能を活用しながら高齢者の OQL 向上と介護者の負担軽減を支援します。介護者が日常的に行っている、高齢者の状態変化に基づいた行動の促しや声掛けの一部を PALRO が行うことで、高齢者の自立支援に寄与する効果が多くの公的実証事業等で確認されています。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

試用貸出期間中に必要な環境はございません。

正式導入いただく際には、無線 LAN 環境および、無線 LAN に接続可能なタブレットもしくは Windows パソコンが必要となります。

(詳細はお問合せください。)

試用期間中のサポート

貸出前に機器説明、貸出後に使用後のヒアリングの計 2 回のお打合せを予定しております。

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、TV 会議ツール (Zoom や Teams 等) を利用したお打合せも可能です。

貸出期間	2週間
貸出可能台数	1施設1台

問い合わせ先 富士ソフト株式会社

〒221-0822 神奈川県横浜市神奈川区西神奈川 1-10-10

TEL 050-3000-2136 MAIL palro-center@fsi.co.jp

所属部署 プロダクト事業本部 PALRO 事業部 担当者名 パルロセンター(試用貸出希望とお伝えください)



機器の仕様

販売開始

2019年4月

販売価格

737,000円(税込)

TAISコード

01760-00001



PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ

本体寸法：全高 約 40cm、肩幅 約 18cm、
胴体 約 11cm (幅)

重 量：約 1.8kg (バッテリーパック搭載時)

駆動箇所：全身 23 箇所

駆 動 源：AC 電源、バッテリーパック (リチウムイオンバッテリー)

カ メ ラ：1 ヶ搭載

マイ ク：4 ヶ搭載

無線 LAN 規格：IEEE802.11b/g/n 準拠 (2.4GHz)

Bluetooth スピーカー対応

◆卓上で使用しても威圧感のない小型ヒューマノイドロボット

◆100人以上の個人認識が可能で、顔を認識し名前を呼び掛けながら話しかけます

◆レクリエーションや健康体操のインストラクター機能を有し、365日毎日替わりで実施します

◆指定された時刻、指定された対象者に、スケジュールと連動した声掛けや個別の声掛け / 促しをします

◆インターネットを活用し、天気やニュースなどの新しい情報を会話の中で提供します

◆ソフトウェアのアップデートにより、性能が向上し新しい機能が追加され、進化しつづけます



機器の使用場面

製品

メーカー名 富士ソフト株式会社

製品名 **PALRO 高齢者福祉施設向けモデルⅢ 01760-00001**

型番 PRT060J-W01

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (高齢者)	介護度や既往歴による制約はございませんが、30分以上の座位保持が可能で言語的コミュニケーションがある程度可能な対象者 (高齢者) を想定した製品設計としております。
	対象者 (介護者)	日中の見守り業務、レク業務、声かけ業務、受付業務などに携わるすべての方が利用可能です。アクティビティや声掛けが思うように提供できていない時間帯がある、対象者 (高齢者) の日中の傾眠傾向を改善したい、認知症を患う対象者 (高齢者) とのコミュニケーションにストレスを感じている介護者の方などがお使いいただくことで効果を感じていただけます。
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・使用できない環境 (場所): 防滴・防塵保護機能を有していないため、浴室内等、高温多湿なところ及び屋外。日本国外。 ・その他: 分解、改造、機器への接触、過負荷、過電流、改変・改造・オーバーホール等ユーザーズマニュアルにて定めている危険事項・警告事項・注意事項を守って活用すること。
使用上の注意	注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・ペースメーカーを利用されている対象者 (高齢者) は、ペースメーカーとPALROが22cm以上離れるよう運用をお願いしております。 ・その他取扱いの注意点は、ユーザーズマニュアル記載の危険事項・警告事項・注意事項をご確認ください。
	安全に利用するための配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・設置場所は、PALROが立ち上がりたり胴体をひねる動作をしても転倒しないような安定した机上としてください ・ACアダプターおよび電源コードは通路など足を引っかかないような場所に設置してください ・PALRO本体を持ち上げる際や持ち運ぶ際は、必ず胴体部を持つこととしてください
	倫理面の配慮	対象者 (高齢者) が、拒否反応を示す場合や、安全な運用・利用が困難と介護者の方が判断された際は、ただちに利用を中止してください。
使用方法	使用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・対象者 (高齢者) とPALROがコミュニケーションがとれるよう机上に設置する ・レクリエーションや体操を実施する ・設定をすることで設置場所や対象者 (高齢者) に合わせた声掛けをする
	使用環境	<ul style="list-style-type: none"> ・室温: 5℃～28度 ・湿度: 20%～80% (結露なきこと) ・無線LANインターネット環境
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティビティとアクティビティの間の隙間時間 ・フロアで日中の見守りが必要なとき ・入浴待機中、個別介助待ちなどでフロアにいらっしゃるとき ・レクリエーション実施時 ・体操実施時 ・時間やフロアに応じた声掛けが必要なとき
	高齢者に対する安全面の配慮	万が一PALROを故意に転倒させた場合も机下に落下しないよう十分なスペースの机で利用するようにしてください。
効果	介護者に対する安全面の配慮	起動している間はPALROが立ち上がりたり胴体をひねる動作をする場合があることに留意し、ご利用ください。
	使用することで実現する高齢者への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・生活機能改善効果 ・QOL向上効果 ・ADL維持・改善効果 ・BPSD低減効果 ・生活リズム改善効果
	使用することで実現する介護者への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的負担の軽減 ・精神的負担の軽減
仕様、構造	使用することで実現する施設への効果	<ul style="list-style-type: none"> ・業務負担分散 ・残業時間軽減 ・施設アクティビティへの積極参加による収益増加
	使用場所、必要スペースなど	共用スペースまたは、居室
	設置場所	ロボットの落下防止のため、安定していて、十分な広さが確保されている机または台に設置。
	サイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・全高: 約40cm ・肩幅: 約18cm ・胴体幅: 約11.5cm ・奥行: 約12.6cm (背面プロテクター含む) ・腕の長さ: 16.5cm ・脚の長さ: 17.8cm
	重量 (バッテリー含む)	約1.8kg (バッテリー含む)
電源・バッテリー (本体、端末、センサー等)	電源・バッテリー (本体、端末、センサー等)	<ul style="list-style-type: none"> 1.ACアダプター ・入力: AC100V ・出力: DC12V 5A ・消費電力: 約60W 2.リチウムイオンバッテリー ・容量: 5700mAh ・充電時間: 約5時間
	防水・防塵加工	無

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	安全性の認証取得	<ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN 規格: IEEE802.11b/g/n 準拠 (最大: 150Mbps) 電波障害対策: VCCI Class A バッテリーパック、AC アダプター: PSE マーク承認済み 臨床的評価株式会社福祉用具総合評価センター (CECAP) による評価を実施 (2013 年 6 月)。本機器の特殊性も考慮した上で評価項目を設定し、評価した結果、福祉用具として不適切な評価項目はなし。
	使用人数	PALRO がレクリエーションや体操を実施している間、PALRO が対象者 (高齢者) の関心をひき付け、介護者の方の目中的の見守りが可能です。人数に上限はありませんが、対象者 (高齢者) の介護度や状態に合わせて最大 20 人程度を目安に利用してください。
	必要な通信環境	無線 LAN インターネット環境 (ない場合はモバイルルーターが必要)
	必要なシステム・設備	<ul style="list-style-type: none"> 無線 LAN インターネット環境に接続可能なタブレットもしくは Windows パソコン (PALRO 設定用のアプリケーションがインストールできること) ※対応 OS は更新されることがあるため、以下ウェブサイトを参照ください。 https://www.palrogarden.net/palro/main/Download/application.html
	データの記録機能、有無と内容	有無: 有 内容: <ul style="list-style-type: none"> 顔画像 名前 (あだ名も可) 誕生日 施設内の設置場所 会話によって得られた話し相手の趣味趣向や経験の有無 例) ○○ (食べ物や食材、スポーツ等の名前) は好きかどうか △△ (有名な観光地や一般的な場所 (山や海など)) に、行ったことがあるかどうか
メンテナンス	準備・片付け	設置場所と保管場所を導入時に施設で決めて運用願います。
	保管方法	設置場所と保管場所を導入時に施設で決めて運用願います。
	メーカーによるメンテナンス	<ul style="list-style-type: none"> ハードウェア: 必要に応じてセンドバック形式での修理を実施。 ソフトウェア: ソフトウェアアップデート及びアプリケーション追加は、無線 LAN インターネット環境下で実施可能 (本体購入時は「PALRO アップグレードサービス」のご契約が必要です) サポートセンターにて電話・メール対応を実施しております。
	ユーザーによるお手入れ	表面が汚れた場合、傷がつかないように柔らかい布で拭き拭きすること。お手入れの際は、スタンバイ状態にしてから、主電源をオフにし、AC アダプターとバッテリーパックを取り外す。また本体の塗装を痛める恐れがあるため、アルコールやベンジンなどの揮発性のもの、薬品、洗剤や水など水分のあるものは使用しないこと。
	消耗品の有無	<ul style="list-style-type: none"> バッテリーパック アクチュエーター (サーボ駆動部)
	保証期間	1 年間
	修理対応期間	2021 年 6 月現在、修理対応期間は設けておりません。ただし、破損状況によって修理が承れない場合があります。(本体深部まで水濡れている場合など)
コスト	本体・付属品の定価	https://palro.jp/product/service.html
	ランニングコスト	本体購入の場合: PALRO アップグレードサービス ¥39,600/年の契約が必要です。(PALRO アップグレードサービスは PALRO の更新情報を利用するのに必要なクラウドサービスです) 本体レンタルの場合: レンタル費用 (¥33,000 ~ /月) 以外のランニングコストはかかりません。(価格はすべて税込み)
	教育研修費	任意サービスとして PALRO への初期設定および事業所職員の方への導入説明会を以下で承っております。(価格はすべて税込み) セットアップサービス (現地訪問): ¥88,000/台 リモートセットアップ (Zoom や Teams 等): ¥44,000/台
オプション	追加できる機能	PALRO アップグレードサービス (クラウドサービス) ご契約中の場合は、随時提供している追加コンテンツやアップデートをご利用いただけます。
問合せ先	緊急時の問合せ先	富士ソフト パルロセンター TEL: 050-3000-2136/E-mail: palro-center@fsi.co.jp もしくは、担当営業までご連絡ください。
	よくある質問 (Q&A)	https://palro.jp/faq

見守り・コミュニケーション

パンフレット等

製品カタログ

<https://palro.jp/product/business.html>



取扱説明書

https://www.palrogarden.net/palro/main/_userdata/Manual/carehouse/060_PALRO_usermanual_ALL.pdf



使用方法等の動画

<https://youtu.be/hWqLw0QgHQY>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

株式会社レイトロン
音声認識コミュニケーションロボット
『Chapit』（チャピット）

品番・型番

RPCMA04-01



機器の概要

機器の機能

雑音に強く高認識率の音声認識コミュニケーションロボット『チャピット』は、ご高齢の方でもスムーズな会話ができる未来型のロボットです。500種類以上の言葉を理解。トレーニングモードではチャピットが言葉を教えてくれるので継続して会話を楽しめます。薬の時間や食事の時間を教えてくれる他、アラーム機能でチャピットから話しかけてくれます。都道府県クイズなどで遊んで脳トレができるなど、機能が充実しています。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

AC 100 Vのコンセントを1口ご準備ください。チャピットはACアダプターを差したままで、ご使用いただけますが、バッテリーでも動作します。満充電時には8時間動作します。充電は、5時間で満充電になります。

試用期間中のサポート

ご不明点やご質問等は、メールや電話にてお問い合わせいただくと共に、ZoomなどのWeb会議でも、お打合せが可能ですので、ご連絡をいただけますと大変有難く存じます。

貸出期間	1ヶ月
貸出可能台数	1台

問い合わせ先 株式会社レイトロン

〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町 1-4-8 エスリードビル本町 11 階

TEL 06-6125-0500

MAIL support@www.raytron.co.jp

所属部署 営業部

担当者名 宮崎



機器の仕様

販売開始

2016年8月

販売価格

148,500円 (税込)

TAISコード

01777-000001



音声認識コミュニケーションロボット 『Chapit』 (チャピット)

- 雑音に強く高認識率の音声認識専用LSIを搭載しています。
- 使用者の音声を登録する必要がありません。(不特定話者対応)
- 音声認識するフレーズは、あらかじめ決まっていますので、フレーズリストから選んでお使いください。
- 音声を認識する前にウエイクアップワードを言う必要がないので、ご高齢の方でも簡単に音声認識が可能です。
- 「自動音声区間検出と自動認識棄却フィルタリング」※1により、登録フレーズ以外の誤認識を防ぎます。
- インターネットに接続しないので、アドレスやアカウントの取得など、面倒な初期設定が全く必要ありません。
- 音声などの個人データをクラウドなどの外部に送信することは無いので、安心してお使いいただくことができます。
- タイムサポート機能は、マルチメディアカードを使ってパソコンでも設定が可能です。

※1 特許取得済

◆ サイズ：身長 25 × 幅 22 × 奥行 18cm 体重 600g

◆ 動作時間：約 8 時間 (満充電時)、充電時間：約 5 時間

◆ 付属品：ACアダプター、簡単ガイド、取扱説明書、リボン (青色)



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社レイترون

製品名 音声認識コミュニケーションロボット『Chapit』（チャピット）

型番 RPCMA04-01

製品情報

	項目	内容
適用	対象者（高齢者）	チャピットと話ができる方。発話障害のない高齢者。（軽度認知症含む）話し相手がない、対人関係が構築されていない、上手く話せないなど様々な理由で周囲とのコミュニケーションが上手く取れない高齢者や要介護者の方。
	対象者（介護者）	業や食事などの時間やイベントの通知を行ったり、アラーム機能でロボットから話しかけることで高齢者の自立度を向上し、業務の負担軽減をしたいと感じている方など
禁止事項	禁止事項	チャピットおよびACアダプターを水につけたり、水をかけたりしないでください。お風呂場では、使用しないでください。
使用上の注意	注意事項	ACアダプターのプラグは根元まで確実に差し込んでください。ロボットとの会話は毎日の積み重ねが重要。
	安全に利用するための配慮	ACアダプターのコードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。改造、分解、修理をしないでください。
	倫理面の配慮	音声認識専用LSIで音声を判別しているため、インターネットには接続していません。音声などの個人データをクラウドなどの外部に送信することはありませんので、安心してお使いいただくことができます。
使用方法	使用方法	チャピットが認識できる音声認識フレーズ表にて話しかけてください。トレーニングモードでは、チャピットが言葉を教えてくれるので、継続して会話を楽しめます。アラーム機能を設定するとチャピットから話しかけてくれます。チャピットの使い方、設定の仕方がわからない場合は、レイترونのホームページ内にある、チャピットの使い方簡単ビデオのページをご参照ください。 http://www.raytron.co.jp/index.php?CID=245
	使用環境	周囲温度が0℃～+50℃以内で、相対湿度が10～90%以内、直射日光が当たらない場所、結露しない環境にてご使用ください。
	使用場面	業の時間や食事の時間、デイサービスや施設のイベントなどの通知。都道府県クイズや暗記ゲームで、脳トレやレクリエーション。テレビや照明の操作を音声で行うことが可能。
	高齢者に対する安全面の配慮	ACアダプターを接続している場合には、コードに足をかけて転倒しないように、電源タップは、延長するなどして余裕をみてください。
	介護者に対する安全面の配慮	ご使用の部屋に電磁ノイズに弱い精密機器がある場合には、ACアダプターのコードに、付属のフェライトコアを取り付けてください。フェライトコアを取り付ける際、指などを挟まないようご注意ください。フェライトコアを閉めるとき、ACアダプターのコードを無理に挟まないでください。
効果	使用することで実現する高齢者への効果	業の時間や食事の時間、デイサービスや施設のイベントなどの通知を行うことで、生活リズムの改善を図ると共に、「自立支援」、「社会参加の促進」、「認知症の予防・改善」によるQOL向上が期待できます。コミュニケーションロボットの活用によっては、高齢者の「活動・参加の自立向上」と「生活の活発化」についての改善の効果に期待できます。
	使用することで実現する介護者への効果	コミュニケーションロボットを設置して、目的として使うだけでなく、「手段として用いる」ことの効果が大きく、手段としての「促し」を有効に行える介護プログラムの設計により、促しによって「行う」状態への向上が期待できます。（介護者の促しから、ロボットの促しのみで行えるようになる）
	使用することで実現する施設への効果	持ち運びが可能なロボットにおいては、個々の高齢者に対しての「促し」を有効に行える介護プログラムを設計することで、高齢者の自立度が向上し、介護者の負担を軽減することができると、より質的に高い介護が、介護負担の増加なしに可能となります。
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	小型のぬいぐるみタイプで、バッテリーを搭載しているので、持ち運びも可能です。基本は、テーブルに置いて、話しかけてください。
	サイズ	身長 25cm × 幅 22cm × 奥行 18cm
	重量	600g
	材質	樹脂製の本体の上にぬいぐるみの生地をかぶせています。ぬいぐるみの生地は、マジックテープで取り外しが可能です。
	電源・バッテリー	コンセントを接続したまま動作が可能です。バッテリーも搭載しており、満充電時に約8時間動作が可能です。
	充電時間	コンセント接続による満充電までの時間は約5時間です。
	連続使用時間	コンセントを接続したままであれば、何時間でも連続動作が可能です。満充電時のバッテリーでは、約8時間の連続動作が可能です。
	使用時の音	特になし
	安全性の認証取得	ACアダプターは、PSE取得です。EMC試験、振動試験、低温試験、バッテリー単体試験、遊離ホルムアルデヒド量試験（ぬいぐるみの生地）の各種に合格しております。
	防水・防塵加工	特になし
	検知方式（センサー、画像など）	フレーズ音声認識方式（Always Listening 機能：ウェイクワード無しで認識が可能です。）
	検知範囲	SN比 10dB 以上（周囲雑音に対して 10dB 以上の音声であれば音声認識が可能です。）
	反応速度（タイムラグ）	音声を発話終了後、0.4秒（音声認識から音声再生開始までの時間）
	必要な通信環境	特になし
	必要なシステム・設備	特になし
	データの記録機能、有無と内容	特になし
	他の機器との連携・互換性	各種メーカーのテレビリモコンコードをプリセット登録している他、赤外線リモコンで動作可能な家電製品の赤外線リモコンコードを学習（登録）可能。

製品情報

	項目	内容
メンテナンス	準備・片付け	チャピットが認識できる音声認識フレーズ表を準備いただけます。
	保管方法	高温、湿度の多いところ、直射日光が当たる場所を避けて保管ください。
	ユーザーによるお手入れ	10日以上コンセントに接続していない場合は、時計の設定をお願いします。 ぬいぐるみの生地は、マジックテープで脱がせることができますので、手洗いで洗うことが可能です。
	消耗品の有無	無
	保証期間	ご購入後1年間
	修理対応期間	ご連絡いただければ、修理対応いたします。
	耐用年数	5年
コスト	本体・付属品の定価	148,500円(税込)
	ランニングコスト	電気代：14円/月
問合せ先	緊急時の問合せ先	株式会社レイトロン 営業部 TEL：06-6125-0500 E-mail：support@www.raytron.co.jp
	よくある質問 (Q&A)	<p>Question.1 誰にでも、カンタンに操作できますか? Answer.1 難しい操作は必要なく、やさしくチャピットに話しかけるだけで、さまざまな機能を使うことができます。チャピットは生活雑音環境下で、離れた場所から音声でコントロールできる音声認識ロボットです。</p> <p>Question.2 音声認識ができるフレーズ数は? Answer.2 クイズや設定用のフレーズも含めると、500単語以上のフレーズを音声認識することができます。また、チャピットは音声認識に対して、2,000単語以上のフレーズでお返事します。</p> <p>Question.3 用事をしながら、お話しできますか? Answer.3 料理中に手がぬれていたり、何かの作業をしているときにも音声認識ができるから大丈夫です。チャピットに話しかけると、時間を教えたり、テレビのチャンネルを変えたりすることができます。</p> <p>Question.4 1ヶ月分のスケジュールをお知らせしてくれるって、ホントですか? Answer.4 ゴミの日やリサイクル回収日、デイサービスや友人との外食日など、登録日から1ヶ月分のスケジュールを登録できます。スケジュールは、音声認識でも、付属のアプリケーションソフトでも簡単に登録できます。(アプリケーションソフトを使うと年間のスケジュールを登録できます。)</p> <p>Question.5 完全スイッチレスって、いつでもお話しできるの? Answer.5 今までのコミュニケーション機器は話しかける前に、スイッチを押したり、名前を呼んだり、手を叩いたりする必要がありましたが、チャピットは「完全スイッチレス」を実現した「高認識率の音声認識専用LSI (VoiceMagic)」を搭載していますので、普通に話しかけるだけでお返事します。 (※ Always Listening 機能を搭載) ※特許取得済</p> <p>Question.6 音声操作の一例を教えてください! Answer.6 ●歌うたって：「歌うたって!」と話しかけると、10曲の中からランダムに童謡を歌います。 ●静かにしてモード：「静かにして!」と話しかけると、「静かにするね」と返事した後、静かにしてモードにまります。 ●静かにしてモード解除：静かにしてモード中に「起きて起きて!」と話しかけると、静かにしてモードが解除できます。</p>

パンフレット等

製品カタログ

<http://www.raytron.co.jp/products/chapit>



使用方法等の動画

https://www.youtube.com/channel/UC_UaYcflnVmo5UBA8KLzQ_A
または、
<http://www.raytron.co.jp/index.php?cID=245>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

E-01 入浴支援

株式会社ハイレックスコーポレーション バスアシスト

品番・型番

RRT613-R (右仕様)
RRT613-L (左仕様)



機器の概要

機器の機能

- ・本体に手摺、背もたれがあるので移乗時に機器本体からの転落が防げる。
- ・座面が回転するのでまたぎ動作の時、臀部がすれません。
- ・水圧式で上昇するので、充電の必要が無く、感電の心配が無い安心設計。丸洗い可能でいつも清潔。
- ・大掛かりな水道工事が不要、シャワーホースを機器に設置するだけ。(シャワーも使えます)
- ・本体約 7.8kg と軽量で必要な時、必要が無い時に設置や取り外しが可能。



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

設置可能な浴槽が必要です。
条件 (浴槽間口: 横幅 97cm 以上×奥行 56cm 以上、深さ: 44cm ~ 55cm、縁の幅: 3.5cm ~ 10.5cm)
*貸出前に設置可能か確認します。

試用期間中のサポート

・日常のメンテナンスが必要ない機器となっております。
・故障や機器操作方法などの問合せに関しては、午前9時から午後5時までメールもしくは電話でお受け致します。(土日祝日、GW、夏季、冬季休暇を除く)

貸出期間	2週間~1ヶ月 (ご要望に応じて対応します)
貸出可能台数	2台

問い合わせ先 **株式会社ハイレックスコーポレーション**

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町1-12-28

TEL 0797-85-2551 MAIL hi-lexcare@hi-lex.co.jp

所属部署 産業機器営業グループ 新市場開拓チーム

担当者名 松本茂 もしくは 上田健斗



機器の仕様

販売開始

2021年5月

販売価格

352,000円 (税込)

TAISコード

01929-000001



バスアシスト

タイプ：浴槽内設置型昇降リフト

昇降方法：水圧式（使用水量：約15リットル/回）

動力源：最低水圧0.1Mpa

推奨水圧：0.15～0.3Mpa 昇降速度（参考）7mm/秒
前後（水圧、水温、ホース長さ、給湯器性能により変動）

重量：約7.8kg（本体）、約1.0kg（操作部）

外形寸法：623×641×947（本体、最上位）、
159×154×55（操作部、ホース・吸盤類を除く）

ご使用体重：35～80kg、最大使用荷重：80kg



機器の使用場面

製品

メーカー名 株式会社ハイレックスコーポレーション

製品名 **バスアシスト 01929-00001**

型番 RRT613-R (右仕様)、RRT613-L (左仕様)

製品情報

	項目	内容
適用	対象者 (高齢者・介護者)	【高齢者】 ・適用身長 (目安) 140 ~ 180cm ・適用体重 (目安) 35 ~ 80kg ・座位が保てる方 【介護者】 機器の操作が理解でき、介護可能な健康状態の方。
	専門職の関与	専門職の方は必要ないが、必ず付き添いの方が必要です。
禁止事項	禁止事項	・使用できない環境 (場所) : 全ての浴槽に設置できないので貸出前に設置可能か確認要。 ・その他 : 大浴場への設置はできません。
	安全に利用するための配慮	・機器への移乗は必ず介護者が付き添い、ゆっくり移乗して転倒を予防する。 ・コントローラは手の届く所に設置して緊急時に停止できるようにする。
	倫理面の配慮	機器使用の画像撮影など的高齢者・介護者のプライバシーに関する情報集・活用等。同意書の取得
使用方法	使用方法	座って移乗する為のシャワーチェア等の準備及び高さ調整、低身長の方は踏み台を準備する。 ①シャワーチェア等からバスアシストへの移乗 ②足を浴槽内へ移動させる ③レバーの操作にて座面を下降させる ④コントローラの操作にて座面を上昇させる ⑤足を浴槽外へ出す ⑥シャワーチェアへ移乗する 介助者は移乗の補助、機器の操作、見守りを行う。
	使用環境	・動作環境: 近くにシャワーホースがあり、十分な水圧がある (最低水圧: 0.1Mpa、推奨水圧: 0.15 ~ 0.3Mpa) ・使用できない環境: シャワー水栓への接続が出来ない、全ての浴槽に設置できないので貸出前に設置可能か確認要。
	使用場面	シャワーチェア⇄バスアシスト本体への移乗 浴槽底への出入り
	習熟期間	操作が簡単で、2から3日あれば十分に使いこなせる。
	高齢者に対する安全面の配慮	足や手が機器に挟まれる場合があるので使用時に利用者の足や手の位置を介護者は確認する。
	介護者に対する安全面の配慮	特になし。
	効果	使用することで実現する高齢者への効果 移乗時の緊張緩和による負荷軽減、抱え上げの廃止による皮膚の擦れ低減
使用することで実現する介護者への効果	介助動作の腰部負荷軽減、腰痛リスク軽減、1人移乗が可能になる	
使用することで実現する施設への効果	労働環境改善、職場の魅力向上	

製品情報

	項目	内容
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	浴室
	サイズ	幅 623mm ×奥行 641mm ×高さ 947mm
	重量 (バッテリー含む)	本体:約 7.8kg、 操作部:約1kg
	材質	本体 アルミ、ポリプロピレン、座面 ポリエチレン、バックレスト ポリプロピレン、サイドレスト EVA樹脂、コントローラー ABS樹脂、ステンレス
	形状	浴槽内椅子設置型
	電源・バッテリー	必要なし、シャワーの水圧利用
	連続使用時間	特に設定無し
	連続使用回数	特に設定無し
	使用時の音	水が、本体に流れる音のみ。
	緊急発報の方法	無し
	安全性の認証取得	無し
	防水・防塵加工	必要なし
	稼働方式	水圧による上下昇降
	必要な通信環境	無し
	データの記録機能、有無と内容	無し
	他の機器との連携・互換性	無し
メンテナンス	準備・片付け	ハンドルによる機器の着脱、水洗い、乾燥
	保管方法	本体に注入された水を抜いた後、乾燥させる。
	メーカーによるメンテナンス	特に必要無し。
	ユーザーによるお手入れ	中性洗剤をスポンジにつけ、丸洗い可能。
	消耗品の有無	特になし。
	保証期間	1年間
	修理対応期間	生産終了後5年間
コスト	耐用年数	4年間
	本体・付属品の定価	352,000 円 (税込)
	設置導入に伴う費用	初期設置工事、機器調整費用:別途相談
	ランニングコスト	約2円 / 1昇降 (水道代)
教育研修費	無し	
オプション	追加できる機能	無し
問合せ先	緊急時の問合せ先	0797-85-2551
	デモ・貸出	有り

パンフレット等

パンフレット等

製品カタログ <http://www.hi-lex.co.jp>



使用方法等の動画 http://www.hi-lex.co.jp/business/house/bath_assist.html



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

F-01 介護業務支援

ジーコム株式会社

ココヘルパ



機器の概要

機器の機能

介護施設専用設計の全く新しい無線式のコールシステムです。

先端技術の無線周波数を活用し、高信頼のワイヤレスネットワークに加え、スマートフォン&最新のIoT技術を積極的に活用しながら、簡単に利用できる仕組みを多数採用しています。

- ・映像記録で事実に基づいたヒヤリハット対策を実現
- ・介護記録ソフトとの連携でケア記録入力などの業務軽減
- ・他社見守りセンサー、ビジネスフォンもスマートフォン1台に業務集約



機器の写真



機器の貸出

必須環境・推奨環境

絶対条件はありませんが、事前打ち合わせが必要

試用期間中のサポート

使用前の操作説明、試用期間中の現地サポートに加え、遠隔ソフトによるサポートも可能

貸出期間	要相談
貸出可能台数	要相談

問い合わせ先 **ジーコム株式会社**

〒143-0016 東京都大田区大森北 6-1-17

TEL 080-5423-0545 MAIL y_nakayama@gcomm.co.jp

所属部署 営業部 担当者名 中山雄三



機器の仕様

販売開始

2011年4月

販売価格

施設規模による

ココヘルパ

【メディアユニット】WT50 外形寸法：W140 × H120 × D32.7 無線周波数：2.4GHz帯 (Wi-Fi)

【映像会話ユニット】WT30D/M 外形寸法：W140 × H120 × D27mm 無線周波数：2.4GHz帯 (Wi-Fi)

【会話ユニット】DT50 外形寸法：W150 × H54 × D43.5mm 無線周波数：1.9GHz帯 (DECT)

【緊急呼出ボタン】SW23E 外形寸法：W52 × H100 × D16mm 無線周波数：920MHz帯 (独自規格)



機器の使用場面

製品

メーカー名 ジーコム株式会社

製品名 **ココヘルパ**

製品情報

	項目	内容
適用	対象者	<p>【高齢者】・アクティブシニア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活動作・危険予兆動作・危険動作などの把握を必要とする方 ・看取りの方 <p>【介護者】・従来の業務から身体的・精神的負担を軽減したい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設のICT化を図り、業務効率を向上させたい ・業務改善を図り、職員の満足度を向上させたい
	専門職の関与	なし
禁止事項	禁止事項	<ul style="list-style-type: none"> ・分解、改造をしないで下さい ・水漏れさせないで下さい（防水呼出ボタン以外） ・落としたり、強い衝撃を与えたり曲げたりしないで下さい ・管理用パソコンは、本製品専用として使用して下さい
	誤報の有無	なし
使用上の注意	使用上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・各種センサーは設置エリアに登録されているので、設置エリアでのみ使用する ・Wi-Fi環境エリア内のみ通知受信するため、端末を利用する際は施設内に利用する
	倫理的の配慮	意図なく映像確認することを防ぐために、センサーから発報しなければ映像確認させない、または許可された高齢者を許可された介護者のみが映像確認できる配慮を施している
使用方法	使用方法	呼出ボタンが押されるとスマートフォンに情報が通知されるので、画面をタップする事で対応することができます
	使用環境	ナースコールの通知を受けなければならない場所をカバーするWi-Fi環境
	使用場面	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハット対策を強化したい場合 ・業務効率を向上させたい場合 ・業務負担を軽減したい場合 ・ICT化を図りたい場合
	習熟期間	1週間で年代関係なく使いこなせます
	高齢者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・呼出ボタンはワイヤレスを生かし、本来ナースコールが設置できない壁から離れたような場所へも、位置の変更ができます ・呼出ボタンを操作できないなど身体の状態変化にも対応できるように、多様なセンサーや特殊スイッチを接続可能な呼出しボタンを用意
介護者に対する安全面の配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・発報に対する対応漏れの無いように、対応したら解除ボタンを押すことでスマートフォンに表示された通知をクリアする、2重確認方式を採用 ・サーバーとなるデスクトップパソコンにはUPS（無停電電源装置）を搭載し、瞬間停電が発生してもシステムがシャットダウンされません 	
効果	機器を使用することで実現する高齢者への効果	映像に基づいた転倒の対策、遠隔で夜間巡回することで眠りを妨げないなど、高齢者の満足にも効果があります
	機器を使用することで実現する介護者への効果	音声だけでなく、映像でもご入居者の姿を確認できるので、優先順位がつけやすく、スタッフの労力削減に繋がります
	機器を使用することで実現する施設への効果	映像はスマートフォンで確認するだけでなく、記録することもできますので、ヒヤリハット対策やエビデンスの視覚化が可能で
仕様、構造	使用場所、必要スペースなど	使用場所：介護施設・高齢者施設・障がい者施設・病院（居室内、トイレ、脱衣所、浴室）
	設置場所	<ul style="list-style-type: none"> ・ベッド、壁面（各種センサー） ・居室の壁面、または天井（カメラユニット） ・ベッドのヘッドボード、手すりなど（会話ユニット）
	設置方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ストラップ、マジックテープ、ホルダー固定（各種センサー） ・自由雲台（カメラユニット） ・フック（会話ユニット）
	サイズ	<p>【メディアユニット】WT50 外形寸法：W140×H120×D32.7</p> <p>【映像会話ユニット】WT30D/M 外形寸法：W140×H120×D27mm</p> <p>【会話ユニット】DT50 外形寸法：W150×H54×D43.5mm</p> <p>【緊急呼出ボタン】SW23E 外形寸法：W52×H100×D16mm</p>
	形状	<p>【メディアユニット】WT50：箱型</p> <p>【映像会話ユニット】WT30D/M：箱型</p> <p>【会話ユニット】DT50：長丸型</p> <p>【緊急呼出ボタン】SW23E：箱型</p>

製品情報

	項目	内容	
仕様、構造	重量（バッテリー含む）	【メディアユニット】 WT50：箱型 【映像会話ユニット】 WT30D/M：187g 【会話ユニット】 DT50：135g 【緊急呼出ボタン】 SW23E：60g	
	電源・バッテリー（本体、端末、センサー等）	【メディアユニット】 WT50：AC100V 電源 【映像会話ユニット】 WT30D/M：AC100V 電源 【会話ユニット】 DT50：AC100V 電源 【緊急呼出ボタン】 SW23E：電池	
	緊急発報の方法	管理用パソコン、スマートフォンへ音と表示でお知らせ	
	安全性の認証取得	・各種センサーの無線モジュールは技術基準適合認証取得 ・アンテナ、カメラユニット、会話ユニットに技術基準適合認証取得済み無線モジュール搭載 ・ACアダプタは全てPSE適合品 ・かわさき基準（KIS）認証（ココヘルパVcam）	
	防水・防塵加工	防水呼出ボタンあり	
	検知方式（センサー、画像など）	・センサーによる検知（加圧、赤外線、磁気） ・画像解析	
	反応速度（タイムラグ）	即時通知（ネットワーク環境による）	
	最大見守り人数	上限なし	
	必要な通信環境	・インターネット環境 ・Wi-Fi環境（事前確認必要） ・対象機器にはLANケーブル、電源必要	
	必要なシステム・設備	専用パソコン、専用ソフトウェア、ココヘルパ用アンテナ、ココヘルパセンサー、スマートフォン、タブレット	
メンテナンス	データの記録機能、有無と内容	・呼出し日時・室名・呼出し入居者名・センサー名・呼び出し対応スタッフ情報・復旧時間・スマホケア記録をCSVファイルにてエクスポート可能 ・映像・音声データの記録（記録時間はシステムによる）	
	他の機器との連携・互換性	・介護記録ソフト連携 ・ネットワーク共存 ・ビジネスフォン連携 ※環境や機器型番については事前確認必要 ・スマートフォン共存	
	メーカーによるメンテナンス	・電話、メールによる受付。システムにメンテナンスが必要と判断した場合は遠隔作業、または現地作業によるメンテナンスを実施 ・ご要望に応じて、保守契約あり	
	ユーザーによるお手入れ	・スマートフォンの充電 ・電池交換	
	消耗品の有無	あり（電池、バッテリー、ACアダプター）	
	保証期間	ご購入後1年間	
	修理対応期間	互換後継機による対応可能	
	耐用年数	12年	
	コスト	本体・付属品の定価	システム製品につき、施設規模による
		設置導入に伴う費用	設置工事費、配線・電源工事費
ランニングコスト		なし	
オプション	追加できる機能	要相談	
問合せ先	緊急時の問合せ先	ジーコム株式会社 03-5753-7577	
	デモ・貸出	対応可	

パンフレット等

製品カタログ <https://www.gcomm.co.jp/>



使用方法等の動画 <https://youtu.be/rpUSVsByrGo>



製品に関する詳細については各企業にお問合せ下さい。

介護ロボットの試用貸出リスト

厚生労働省 老健局高齢者支援課
〒100-8916 東京都千代田区霞が関 1-2-2
電話：03-5253-1111（代表）

事業委託先：公益財団法人テクノエイド協会
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸 1 番 1 号セントラルプラザ 4 階
電話：03-3266-6880



6. 介護機器の開発・導入に係る助成制度 調査結果

令和3年度 介護機器の開発に係る助成制度 一覧

更新日： 令和3年11月

本資料は、都道府県別に1シートに纏めています。

掲載総件数	87件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件
2	青森県	5件
3	岩手県	2件
4	宮城県	3件
5	秋田県	1件
6	山形県	1件
7	福島県	7件
8	茨城県	1件
9	栃木県	1件
10	群馬県	2件
11	埼玉県	1件
12	千葉県	1件
13	東京都	1件
14	神奈川県	8件
15	新潟県	4件
16	富山県	2件
17	石川県	1件
18	福井県	2件
19	山梨県	3件
20	長野県	2件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	4件
23	愛知県	1件
24	三重県	0件
25	滋賀県	1件

No.	都道府県	掲載件数
26	京都府	2件
27	大阪府	1件
28	兵庫県	1件
29	奈良県	1件
30	和歌山県	2件
31	鳥取県	3件
32	島根県	2件
33	岡山県	1件
34	広島県	2件
35	山口県	1件
36	徳島県	0件
37	香川県	0件
38	愛媛県	1件
39	高知県	1件
40	福岡県	3件
41	佐賀県	1件
42	長崎県	1件
43	熊本県	3件
44	大分県	1件
45	宮崎県	0件
46	鹿児島県	1件
47	沖縄県	0件
48	全国	1件

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	ものづくり開発推進事業	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	採択枠6件のうち、介護関連製品の開発枠については2件の枠を設置し、開発に関する費用について支援	下記の要件を満たす中小企業者、組合等。 (1) 「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村の区域内に本社を有する企業 ※「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村は以下のとおり。 札幌市と連携市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町） (2) 設立後1年以上経過し、事業を継続して実施する見直しがあること	補助対象経費の2/3を補助	2021年4月5日～ ～5月14日	採択件数：2件 総額（予定）： 10,000,000円（1 件当たりの上限 額5,000,000円）	採択件数： 1件 総額： 4,330,000円	部署 公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 事業部 担当者 電話番号 011-792-6119（代表） FAX番号 011-747-1911 E-mail https://www.noastec.jp/web/search/02/details/mono_03.html
2	小規模企業向け製品開発・販路拡大支援事業	一般財団法人さっぽろ産業振興財団	開発の前段階の取組（調査、試作、調査等）、新製品・新技術開発の取組、開発の後段階の取組（販路開拓・拡大）に関する費用について支援	下記の要件をすべて満たす小規模企業。 (1) 「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村の区域内に本社を有する企業 ※「さっぽろ連携中枢都市圏」を構成する市町村は以下のとおり。 札幌市と連携市町村（小樽市、岩見沢市、江別市、千歳市、恵庭市、北広島市、石狩市、当別町、新篠津村、南幌町、長沼町） (2) 設立後1年以上経過し、事業を継続して実施する見直しがあること	本補助金はものづくり分野への補助金であり、その中で介護ロボットに類する案件については加算となるスキーム。 補助対象経費の2/3を補助。	2021年4月21日～5月28日	採択件数：最大1件 総額（予定）： 1,900,000円	採択件数：0件	部署 一般財団法人さっぽろ産業振興財団 販路拡大支援部 担当者 電話番号 011-820-2062 FAX番号 011-815-9321 E-mail http://www.sec.or.jp/other/2009.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
3	医療機関ニーズ対応型開発補助金	公益財団法人北海道科学技術総合振興センター	医療機関等の現場における新たなニーズ及び現場における課題解決を目的とした研究開発・事業化を促進	①札幌市内に本社を有する企業 ②札幌市外に本社を有する企業で札幌市内に事業・営業拠点を有する企業	取組に直接必要となる経費 例) 原材料・消耗品費、機器リース料、機器購入費、施設及び設備等賃借料、産業財産権等出願費、外注費等 ①補助率 10/10 ②補助率 1/2	2021年4月1日～6月30日	採択件数: 2件 総額(予定): 2,000,000円	採択件数: 5件 総額(予定): 4,262,266円	部署 研究開発支援部 担当者 電話番号 011-708-6392 FAX番号 011-747-1911 E-mail HP_URL http://www.noastec.jp

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	令和3年度青森県医福工連携製品開発事業費補助金	青森県	・医療・介護関連機器等の事業化に係る基礎調査等(試作、商品開発、各種調査等) ・既存の製品等や試作品の、顧客ニーズ評価及び顧客ニーズに基づく改良等 ※医療関連機器については、新型コロナウイルス感染症の感染リスク軽減等に資するものに限る	県内に事業所を有する中小企業者等 ※大学・研究所等の専門機関との連携が条件	補助対象経費の2分の1相当額もしくは100万円以内の額	募集中	採択件数：3件程度 総額(予定)：3,000,000円	採択件数：4件 総額：2,088,133円	部署 担当者 電話番号 017-734-9420 FAX番号 017-734-8115 E-mail sozoka@pref.aomori.lg.jp HP_URL https://www.pref.aomori.lg.jp/sangyo/shoko/salon.html
2	八戸市中小企業振興条例新事業活動に対する助成	八戸市	新商品の開発または生産、新役務の開発または提供、商品の新たな生産または販売の方式の導入、役務の新たな提供の方式の導入等に対する助成	市内に主たる事業所のある中小企業者	・先駆的または革新的な取り組みであり、市内の中小企業者等への波及効果が見込まれる事業であること。 ・補助率1/2 ・上限200万円(経営革新計画認定事業及び事業承継を契機に実施する事業は300万円)	2021年7月21日～2021年9月3日	採択件数：3件 (介護ロボット関連の採択は無し)	採択件数：0件	部署 担当者 電話番号 0178-43-9242 FAX番号 0178-43-2256 E-mail shoko@city.hachinohe.aomori.jp HP_URL https://www.city.hachinohe.aomori.jp/soshikikarasagasu/shokoka/zis/yosya_sogyosyashien/3/5098.html
3	イノベーター産業集積促進事業補助金	八戸市	成長ものづくり分野である自動車、航空宇宙、医療福祉に取り組み事業に対し、拠点開設や展示会出展、試作開発等に係る費用を補助	八戸圏域連携中核都市圏内(八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南郷町・階上町・新郷村・おいらせ町)の企業(大企業・中小企業不問)	【試作開発事業について】 ・対象経費・・・原材料費、技術導入費、外注加工費、委託費、その他の必要な経費 ・補助率1/2 ・上限200万円	2021年4月30日～12月28日	採択件数：0件 (11月1日現在)	採択件数：0件	部署 担当者 電話番号 0178-43-9048 FAX番号 0178-43-2256 E-mail https://www.city.hachinohe.aomori.jp/jigyosha/muke/yuchi_sogyo_zigyosyashien/kigyoyouchi/8052.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
4	研究開発資金助成事業	公益財団法人八戸地域高度技術振興センター	高度技術の開発、高度技術を利用した新製品の開発または製品の高付加価値化等に対する助成	八戸地域高度技術産業都市地域（八戸市、十和田市、三沢市、おいらせ町、六戸町、東北町、五戸町、陸上町、南郷町）に事業所を有する事業者（個人事業者主も可）	<ul style="list-style-type: none"> ・対象経費・・・研究開発に要する原材料及び副資材購入費等 ・補助率1/2 ・上限100万円 	2021年5月10日～6月17日	採択件数：1件 （介護ロボット関連の採択は無し）	採択件数：2件 総額：2,000,000円 （介護ロボット関連の採択は無し）	八戸地域高度技術振興センター 部署 担当者 電話番号 0178-21-2131 FAX番号 0178-21-2119 E-mail hc21@hachinohe-ip.co.jp HP_URL http://www.hachinohe-ip.co.jp/index2.htm
5	産学官共同研究開発支援事業（八戸市委託事業）	㈱八戸インテリジェントプラザ	企業が大学等と共同で行う産業の技術の高度化、新たな製品開発に対し補助	八戸圏域連携中核都市圏内（八戸市・三戸町・五戸町・田子町・南郷町・陸上町・新郷村・おいらせ町）の企業	<ul style="list-style-type: none"> ・対象経費・・・研究開発のために要する、設備機器購入費、原材料購入費、技術指導料等 【バイロット事業枠】 ・補助率10/10 ・上限25万円 【成果育成枠】 ・補助率1/2 ・上限200万円 	2021年6月30日まで	採択件数：1件 （介護ロボット関連の採択は無し）	採択件数：2件 総額：2,227,273円 （介護ロボット関連の採択は無し）	㈱八戸インテリジェントプラザ 部署 担当者 電話番号 0178-21-2111 FAX番号 0178-21-2119 E-mail HP_URL http://www.hachinohe-ip.co.jp

← 目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	成長産業試作・開発支援事業	公益財団法人いわて産業振興センター	今後成長が期待される分野において、開発を目指す活動を支援し、成長産業分野への参入、取引拡大を促進するための経費を助成するもの。	・助成による支援の効果が期待できる成長産業関連機器等又はその構成部品に係る試作・開発 ・県内に工場又は事業所を有する中小企業	助成対象事業に要する経費のうち別表に掲げる経費とし、助成金の限度額は、1事業あたり100万円以内（助成率：10分の10以内）	2021年05月14日（金）～ 2021年06月23日（水）	—	—	ものづくり振興部 産学連携室 担当者 電話番号 019-631-3825 FAX番号 019-631-3830 E-mail kenkyu@ioho-iwate.or.jp HP_URL iwate.or.jp
2	いわて希望応援ファンド 地域活性化支援事業	公益財団法人いわて産業振興センター	助成事業の区分は、創業支援事業、新事業活動支援事業、商店街等活性化支援事業の3つに分かれています。	3事業に分かれており、煩雑なため割愛 下記ページの公募要領を参照 http://www.ioho-iwate.or.jp/fund	3事業に分かれており、煩雑なため割愛 下記ページの公募要領を参照 http://www.ioho-iwate.or.jp/fund	【事前相談期間】 令和3年3月8日（月）～ 令和3年3月31日（水）15時迄 【申請書類提出期間】 令和3年4月1日（木）～ 令和3年4月14日（水）15時必着	—	—	産業支援部 地域産業・起業支援担当 担当者 電話番号 019-631-3823 FAX番号 019-631-3830 E-mail ioho@ioho-iwate.or.jp HP_URL http://www.ioho-iwate.or.jp/fund

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数(予定) 総額(予定)	R2実績 採択件数 総額	連絡窓口	
									部署	HP_URL
1	CareTechニーズリサーチ 委託事業	公益財団法人仙台市産業 振興事業団	介護現場ニーズ深堀調査～ソリューション ビジネス企画～試作のプロセスをサ ポートすることにより、ニーズ志向かつ 競争力の高い製品開発を後押しする。ま た、開発委託事業への質の高い案件応募 を促す。	仙台市内に事業所、または開発拠点を 有する中小企業	健康福祉分野及び介護福祉現場におけ る諸課題の解決を目的とし、自社で 開発あるいは改良を検討中の機器・ サービスについて、ニーズ深堀調査及 びマーケティング調査、分析等を踏ま え、開発または改良に向けた仕様設計 をまとめること	二次募集：2021年8月23 日～11月19日	3件 900,000円	3件 900,000円	公益財団法人仙台市産業振 興事業団 FWBC推進室 担当者 電話番号 022-303-2666 FAX番号 022-303-2667 E-mail rdunit@sendai.fwbc.jp HP_URL https://sendai.fwbc.jp/	
2	CareTech効果実証サポー ト補助金事業	公益財団法人仙台市産業 振興事業団	製品・サービスについて実証試験フィー ルドを提供し、効果検証によるブラッ シュアップを後押しするとともにICT利 活用を促進する。	仙台市内に事業所、または開発拠点を 有する中小企業 ・仙台市内に事業所開設の予定がある中 小企業 ・仙台市の中小企業と連携し補助事業 を行う中小企業	介護現場が抱える課題の解決を目的と した、自社で開発・製造した既存の ICT機器・サービス、または開発中あ るいは機能を拡充中のICT機器・サー ビスを用いた実証試験を行うこと 補助率10/10	2021年5月24日～11月30 日	3件 600,000円	1件 90,000円	公益財団法人仙台市産業振 興事業団 FWBC推進室 担当者 電話番号 022-303-2666 FAX番号 022-303-2667 E-mail rdunit@sendai.fwbc.jp HP_URL https://sendai.fwbc.jp/	
3	健康福祉サービス・機器 ビジネス開発委託事業 【募集終了】	公益財団法人仙台市産業 振興事業団	Well-beingという言葉が含む、QoLの向 上に資する様々なサービス・機器のビジ ネス化をサポートする。	健康福祉分野において、仙台フィンラ ンド健康福祉センターの機能を活用し てビジネス開発を行う法人および個人 のうち、要領記載の要件を満たすもの	開発に必要な試作費、人件費等	2021年4月1日～5月7日 (募集終了)	5件 10,000,000円	4件 8,000,000 円	公益財団法人仙台市産業振 興事業団 FWBC推進室 担当者 電話番号 022-303-2666 FAX番号 022-303-2667 E-mail rdunit@sendai.fwbc.jp HP_URL https://sendai.fwbc.jp/	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	ウィズコロナ対応医療機器等開発事業	秋田県	新型コロナウイルス感染拡大に対応する医療福祉ヘルスケア機器等の開発経費や必要な認証取得経費の一部を補助	秋田県内に企業活動の拠点を有する中小企業者 点、生産拠点等)を有する中小企業者又はコンソーシアム。	<p>【補助対象事業】 開発型：医療福祉ヘルスケア機器等の開発 認証取得型：関連する認証取得</p> <p>【対象経費】 直接人件費、謝金、旅費、原材料費、機械器具費、共同研究費、外注委託費、認証取得関連費等</p> <p>【補助率、上限】 開発型：補助対象経費の2/3以内、上限200万円 認証取得型：補助対象経費2/3以内で、上限100万円</p>	2021年7月上旬～	採択件数(予定)：開発型5件、認証取得型5件 総額(予定)：15,000,000円	なし	地域産業振興課 医療福祉産業班 担当者 電話番号 018-860-2246 FAX番号 018-860-2590 E-mail induprom@pref.akita.lg.jp HP_URL https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/50051

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	令和3年度やまがた産業技術振興基金による助成金交付事業（研究開発支援事業）	公益財団法人山形県産業技術振興機構	新たな技術等の開発や地域の資源等を活用した新製品開発など、新規事業の創成や新事業展開のための研究開発に取り組む事業 ※介護ロボット等に限らない	山形県内に主たる事務所、事業所を有する中小企業者	①補助率 補助対象経費の1/2以内 ②補助上限額 400万円	2021年6月14日～ 6月18日	採択件数： 20件程度	R2実績 採択件数：20件	振興部プロジェクト推進課 部署 担当者 電話番号 023-647-3163 FAX番号 023-647-3139 E-mail HP_URL http://www.ypoint.jp/

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数：2件 総額（予定）： 8,000,000円	R2実績 採択件数：2件 総額：7,891,000 円	連絡窓口	
									部署	HP_URL
1	健康ビジネス創出支援事業 (健康指標改善型製品 開発等支援事業)	福島県	健康指標改善や病気・介護予防する医療 福祉関連製品の開発等に取り組み県内企 業を支援する事業。	健康指標改善や病気・介護予防する医 療福祉関連製品の開発・実用化を行う 県内企業 ※県内に工場や事務所等の事業所を有 する県外企業を含む。	・補助対象経費等 対象経費：財金、旅費、事務経費、 消耗品費、機械装置費、外注費、直接 人件費、委託費、その他知事が認める もの。 補助額：上限400万円 補助率：中小企業・小規模企業2/ 3、大企業1/2	2021年7月1日～			商工労働部医療関連産業集 積推進室 担当者 電話番号 024-521-7282 FAX番号 024-521-7932 E-mail medical- unit@pref.fukushimajg. HP_URL https://www.pref.fukushimajg.jp/w4/iryou-d/	
2	地域復興実用化開発等促 進事業	福島県	福島イノベーション・コースト構想の重 点分野（ロボット・ドローン、エネル ギー、環境・リサイクル、農林水産業、 医療関連、廃炉、航空宇宙）について、 地元企業及び地元企業との連携による地 域振興のための実用化開発等に要する経 費の一部を補助	・地元企業等：福島県浜通り地域等に 本社、試験・評価センター、研究開発 拠点、生産拠点等が所在する企業、国 立研究開発法人である研究所、大学も しくは国立高等専門学校機構又は農業 協同組合その他の法人格を有する団体 等 ・地元企業等と連携して実施する企業 (全国の企業が対象)	中小企業：【補助率】2/3 【上限額】補助対象経費10.5億円の 2/3 (7億円) 大企業：【補助率】1/2 【上限額】補助対象経費14.0億円の 1/2 (7億円)	1次公募2021年3月25日～ 4月26日（応募受付終 了） 2次公募2021年6月30日～ 7月30日	採択件数：70件 予算額：約55億 円	採択件数：66件 総額：5,701,659 千円	産業振興課 担当者 電話番号 024-521-7283 FAX番号 024-521-7932 E-mail HP_URL http://www.pref.fukushimajg.jp/site/jitsuyokai/	

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口	
									部署	担当者
3	基礎技術産業高度化支援 事業補助金	南相馬市	製造業者の先端技術育成と連携強化を図るため、試作品等開発の取組に対し、補助金を交付する。	・市内製造業者であること。 ・(株)ゆめサポート南相馬※が開発等をコーディネートすること。 ※ 南相馬市の産業支援センター	(助成対象経費) 試作品等開発のために要する経費(機械装置費・原材料費、人件費など) (補助率) ・1/2 ・上限500万円 (市と協定を締結しているベンチャーキャピタル等から出資等を受けた者、又は市内に事業所が所在する会社等若しくは大学、高等専門学校等と連携して事業を行う者に限り補助率3/4以内(限度額7,500千円)) ※他の公的機関から補助を受ける場合は、補助残額に補助率を乗じる	年度内(予算の範囲内)	採択件数: 18件 予算額: 63,150,000円	採択件数: 14件 実績額: 47,680,000円 ※介護機器開発の実績は0件	部署 経済部商工労政課 担当者 電話番号 0244-24-5335 FAX番号 0244-23-7420 E-mail svokorosei@city.minamisona.lg.jp HP_URL https://www.city.minamisona.lg.jp/portal/business/jigyoshoshien/3/4572.html	連絡窓口
4	医工連携事業化参入コンソーサルディング事業医療機器開発・試験研究支援事業	一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構	郡山市内企業を対象に医療福祉機器の製品開発や検証、試験実施等にかかる費用の一部を支援する。	郡山市内に事業所を有する企業	医療福祉機器開発・試験研究支援 補助上限: 1企業30万円(補助率2/3) ※補助上限額変更の可能性あり。	第1期: 5月6日～6月9日 第2期: 年度内	採択件数: 2件 総額: 50万円 ※第1期にて1社採択済み	採択件数: 2件 総額: 200万円	部署 事業企画推進部事業推進グループ 担当者 電話番号 024-954-4014 FAX番号 024-954-4033 E-mail HP_URL https://www.fmdipa.jp/Main/08.php	事業企画推進部事業推進グループ
5	ロボット関連産業基盤強化事業	福島県	ロボットへの実装につながる可能性のある要素技術の研究開発又はロボット本体の開発について、対象経費の一部を補助	福島県内に本社、試験・評価センター又は研究開発拠点、研究成果を用いた生産拠点のいずれかが所在する企業	中小企業: 補助対象経費上限額1000万円の3/4(最大750万円)を補助 大企業: 補助対象経費上限額1000万円の2/3(最大666.6万円)を補助	1次公募2021年3月22日～5月6日(応募受付終了) 2次公募2021年5月31日～6月29日(応募受付終了) 3次公募2021年7月15日～7月30日(応募受付終了)	1次採択件数: 10件 総額: 68,790千円(応募受付終了) 2次採択件数: 3件 総額: 22,500千円(応募受付終了) 3次採択件数: 2件 総額: 12,000千円(応募受付終了)	1次採択件数: 17件 総額: 115,785千円 2次採択件数: 3件 総額: 22,500千円 3次採択件数: 2件 総額: 12,000千円	部署 商工労働部次世代産業課 担当者 電話番号 024-521-8568 FAX番号 024-521-7932 E-mail next-generation@pref.fukushima.lg.jp HP_URL http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/32021/	商工労働部次世代産業課

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
6	福島市医療福祉機器等産業創出支援事業	福島市	市内の中小企業が医療福祉機器等関連産業分野における機器の製品化や企業の技術の高度化を図るため、医療福祉機器に係る製品開発等を行い、本市経済の活性化及び発展に寄与すると判断される場合、その開発事業に要する経費の一部を補助する。	①中小企業基本法に規定する製造業者及び製造に関する業務を営む企業者 ②市内に主たる事業所又は工場を有すること ③原則として事業による市税を納入していること	①医療福祉機器等に係る製品開発 ②医療福祉機器等に係る試作開発 ③医療福祉機器等周辺機器の研究開発及び試作開発 ・対象経費の2/3以内、限度額50万円(対象経費：市場調査費、機イン開発費、原材料及び副資材費、機械装置及び工具器具費、外注加工費、技術指導費、研究開発委託費、産業財産権取得費、販路開拓費)	2021年4月1日～5月7日 ※今年度の募集は終了	採択件数：4件 総額(予定)：17,642,000円	採択件数：4件 総額：16,388,000円	部署 課 担当者 電話番号 024-515-7746 FAX番号 024-535-1401 E-mail sangyou@mail.city.fukushima.jp HP_URL https://www.city.fukushima.fukushima.jp/sangyou/seisaku/shigoto/sangyou/sangvoshinko/15032601.html
7	浜通り地域医療・福祉機器導入モデル事業	一般財団法人ふくしま医療機器産業推進機構	浜通り地域の企業が開発する又は開発した医療・福祉分野に関連する製品について、医療・福祉分野における現場のニーズと対応する①製品の開発及び改良に係る費用の一部を補助するほか、同地域で開発した製品の全県下への②導入するための費用の一部を補助する。	浜通り地域等15市町村(いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、川俣町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町、飯館村)内に本社もしくは事業所を有する企業。	①開発・改良支援は補助対象経費の3/4を補助 ②導入支援は医療・介護施設への無償貸与、施設が購入する場合、購入金額の3/4を助成。	2021年4月27日～2021年5月21日	採択件数：①2件 ②3件 総額(予定)：23,388,000円	採択件数：①1件 ②2件 総額：17,512,000円	事業企画推進部営業推進グループ 部署 担当者 電話番号 024-954-3504 FAX番号 024-954-4033 E-mail HP_URL https://fmdipa.jp/Main/17.php

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	工業振興支援事業補助金 ※介護ロボット等に限定 した助成ではありません	水戸市	新製品及び新技術の開発に係る経費を補助	水戸市内に事業所を有し、製造業又は情報通信業を主な事業として営むもの ※上記のものが、介護機器の新製品及び新技術の開発を行う際は対象になる可能性があります	範囲または条件 補助対象経費の3分の1又は1,000,000円のいずれか低い金額（対象経費） ・原材料の購入又は機械若しくは工具の購入若しくは賃借に係る経費 ・機械又は工具の試作又は改良に係る経費 ・外部の者に行わせる加工に係る経費 ・技術指導の受け入れに係る経費	2021年4月1日～ 2022年3月31日	R3予定 採択件数：3件 総額（予定）：3,000,000円 ※予算残額：1,000,000円	R2実績 採択件数：8件 総額：5,154,904円 ※内、介護ロボット等は無し	連絡窓口 部署：産業経済部商工課 担当者 電話番号：029-232-9185 FAX番号：029-232-9232 E-mail： commerce@city.mito.lg.jp HP_URL： https://www.city.mito.lg.jp/001437/001445/p020149.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	とちぎ未来チャレンジ ファンダ活用助成事業 2, 戦略産業等分野 ②技術高度化助成事業	公益財団法人栃木県産業 振興センター	中小企業者等が行う、戦略3産業（医療・福祉機器産業等）、未来3技術（AI・IoT・ロボット技術等）又は食品関連産業に係る、技術の高度化、新技術・新製品・新役務の開発事業に要する経費への助成。	とちぎ医療福祉機器産業振興協議会等、とちぎ未来技術フォーラム又はフー ドハレーとちぎ推進協議会のいずれか の会員である 中小企業者	<p>範囲または条件</p> <p>【対象経費】謝金、旅費、研究開発事業費(原材料費、機機装置又は工具器具の信用・購入・試作・改良・据付け・修繕に要する経費、他者が所有する産業財産権の導入に要する経費、外注加工費、検査分析費、事業運営費(会場借料、印刷製本費、資料購入費、通信運搬費、借料又は損料、調査研究費、消耗品費)、委託費、その他の経費</p> <p>【限度額】300万円以内 【助成率】 2 / 3 以内</p>	<p>公募期間</p> <p>【令和3(2021)年度公募】 (第1次) 2021年6月1日 ～6月30日 (第2次) 2021年10月15日 ～11月12日</p>	<p>R3予定</p> <p>非公開</p>	<p>R2実績</p> <p>【交付決定】 7件、15,146,000 円</p>	<p>連絡窓口</p> <p>産業振興部 ものづくり産 業振興グループ</p> <p>部署</p> <p>担当者</p> <p>電話番号 028-670-2601</p> <p>FAX番号 028-670-2611</p> <p>E-mail monozukuri@tochigi-iin.or.jp</p> <p>HP_URL http://www.tochigi-iin.or.jp/index/3/2/</p>

← 目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口	
									部署	課
1	ぐんまDX技術革新補助金（DX推進・地域課題解決タイプ）	群馬県	補助対象事業は県内の中小企業者が行う、次のいずれかに該当する技術や製品・サービスの開発等であり、生産性・企業価値の向上を実現する事業とする。 ① デジタル技術の活用により新たな価値を生み出すもの ② 地域課題を解決する新技術、革新技術等	県内に主たる事業所を有する中小企業者、又は共同体の核となる、県内に主たる事業所を有する中小企業者	・開発事業に要する経費のうち、補助対象となる経費（原材料費、機械装置費、委託費、システム開発費、クラウドサービス利用費、知財出願費等）の一部を補助 ・補助限度額：500万円 ・補助率：1/2	2021年5月6日～5月31日	採択件数：10件 総額：50,000,000円	採択件数：8件 総額：52,485,500円 ※R2実績は、ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（先端ものづくり産業推進型）実績を参考計上	産業経済部 地域企業支援課 担当者 電話番号 027-226-3352 FAX番号 027-223-7875 E-mail kigyouka@pref.gunma.jp g.jp https://www.pref.gunma.a.jp/cate_list/ct00004062.html HP_URL	
2	ぐんまDX技術革新補助金（市町村・県連携タイプ）	群馬県、共同実施市町村 （※25団体：前橋市、高崎市、桐生市、伊勢崎市、太田市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、下仁田町、甘楽町、中之条町、東吾妻町、みなかみ町、玉村町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町）	中小事業者が自ら行う、ものづくりやサービス等に係る新技術・新製品に関する開発で、地域に根差した技術・製品開発であることが認められるもの。	共同実施市町村内に主たる事業所を有する中小企業者	・開発事業に要する経費のうち、補助対象となる経費（原材料費、機械装置費、委託費、システム開発費、クラウドサービス利用費、知財出願費等）の一部を補助 ・補助限度額 80万円 （県・市町村 各40万円） ・補助率：1/2（小規模事業者は4/5）	（1次募集）2021年5月6日～5月31日 （2次募集）2021年6月未頃～7月末頃 （3次募集）2021年8月中旬～10月中旬 ※2次・3次募集については、市町村毎に個別設定	採択件数：55件 総額：22,000,000円（県予算分）	採択件数：38件 総額：11,685,000円 ※R2実績は、ぐんま新技術・新製品開発推進補助金（市町村・県パートナーシップ支援型）実績を参考計上	産業経済部 地域企業支援課 担当者 電話番号 027-226-3352 FAX番号 027-223-7875 E-mail kigyouka@pref.gunma.jp g.jp https://www.pref.gunma.a.jp/cate_list/ct00004062.html HP_URL	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	令和3年度埼玉県デジタル技術活用製品開発費補助金	埼玉県産業労働部	デジタル技術を活用した製品を開発するための経費を助成する。	県内中小企業、大学、研究機関等 (県内中小企業でない場合は、共同開発体に県内中小企業が含まれていることとする。)	補助率：補助対象経費の3分の2以内 補助金額：上限750万円 補助金の支払い：精算払い	2021年4月1日 ～5月10日	採択件数： 7件(応募終了) 総額(予定)： 45,000,000円	—	部署 先端産業課 担当者 推進担当 電話番号 048-830-3737 FAX番号 048-830-4816 E-mail a3760- 02@pref.saitama.lg.jp HP_URL https://www.pref.saitama.lg.jp/a0812/r3-hoiyo-digital.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	医療機器等開発支援補助事業	千葉県	以下の2カテゴリーに関する費用について 補助 ①製造販売業者等と連携した医療機器及び医療・健康・福祉・介護関連の機器等の研究・製品開発 ②医療機器及び医療・健康・福祉・介護関連の機器等の臨床試用、性能評価、薬事審査及び承認・認証	主たる事業の実施地が千葉県内である 中小企業者	事業内容①②のいずれかのうち、補助対象経費の2/3を補助	2021年4月1日～4月9日	R3予定 採択件数： 7件 総額： 20,000,000円	R2実績 採択件数： 6件 総額： 14,606,000円	部署 商工労働部産業振興課 担当者 電話番号 043-223-2778 FAX番号 043-222-4555 E-mail sangyo-d@mz.pref.chiba.lg.jp HP_URL https://www.pref.chiba.lg.jp/sanshin/kenkou/kobo/hoiokin3.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	新製品・新技術開発助成事業	東京都中小企業振興公社	本事業では、実用化の見込みのある新製品・新技術の自社開発を行う都内中小企業者等に対し、試作開発における経費の一部を助成します。	<ul style="list-style-type: none"> 都内の本店又は支店で実質的な事業活動を行っている中小企業者（会社及び個人事業者）等 都内での創業を具体的に計画している個人 	【対象経費】 原材料・副資材費、機械装置・工具器具費、委託・外注費 産業財産権出願・導入費、専門家指導費、直接人件費 【助成限度額】 1,500万円 【助成率】 1/2以内	<申請書類提出期間> 3月15日（月）～4月5日（月）17時00分	—	—	部署 助成課 担当者 電話番号 03-3251-7895 FAX番号 — E-mail — HP_URL https://www.tokyo-kosha.or.jp/support/ios/ei/jigyو/shinsei/in.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	川崎市福祉製品開発支援補助金	川崎市役所	産業と福祉の融合で新たな活力と社会的価値を創造することを旨とする「ウェルフェアイノベーション」を推進するため、企業等の福祉製品、日用品及び福祉サービスの開発及び改良等にかかる経費を助成	フォーラムの会員であり、市内事業者又は市外事業者（当補助対象事業を市内事業者と共同で行う者） 《補助対象事業》 Kawasaki Wellfare Technology Lab（略称：ウェルテック）で事前に相談し、助言に基づき実施する事業であり、老人福祉施設、障害者支援施設、病院等の協力を得て行う事業又は製品の開発・改良に係る試験をウェルテックで行う事業であること。	専門家謝金、原材料費、消耗品費、機械工具等費、外注加工費、研究開発委託費、産業財産権導入費、技術指導費、その他の経費（資料購入費、通信運搬費、雑役務費等の研究開発に伴う諸経費） 補助率：3分の2以下 補助限度額：100万円	令和3年9月1日（水）から令和3年9月30日（木）まで	採択件数（未定） 総額（予算）：3,000,000円	採択件数： 1件 総額： 589,000円	部署 経済労働局イノベーション推進室 担当者 044-200-2513 FAX番号 044-200-3920 E-mail 28innova@city.kawasaki.jp HP_URL https://www.city.kawasaki.jp/ligyou/category/79-31-4-0-0-0-0-0.html
2	大和市企業活動振興条例	大和市	事業所の新設や経営規模の拡大等を行う企業に対して奨励金として交付します（上限あり）。	対象は統計法に基づく日本標準産業分類に規定する、製造業、情報通信業、自然科学研究所のいずれかの業種 新規立地奨励金：大和市内に事業所を有しない企業が、市内において新たに操業を開始する場合（資本投資額1千万円以上）。 事業拡大奨励金：市内で継続して3年以上操業している企業が、事業の拡大のために市内において事業所を増設又は既存事業所の移設・建て替えを行う場合（資本投資額1千万円以上）。 設備投資奨励金：市内で継続して3年以上操業している企業が、事業の拡大のために市内において事業所の設備を拡大または更新する場合（資本投資額1千万円以上）。	ロボット産業（ロボットの生産に係る産業で、医療福祉関連ロボット及び防災関連ロボットであるもの）の場合は、新規取得した土地を除く固定資産の固定資産税及び都市計画税見込額の1.2倍（新規立地奨励金、事業拡大奨励金は2億円が上限。設備投資奨励金は1億円が上限）となります。 ※ロボット産業以外の、新規取得した土地を除く固定資産の固定資産税及び都市計画税見込額の6倍（新規立地奨励金、事業拡大奨励金は1億円が上限。設備投資奨励金は5千万円が上限）となります。	随時	—	—	部署 産業活性化課 担当者 企業活動サポート係 電話番号 046-260-5135 FAX番号 046-260-5138 E-mail sk_sangyo@city.yamato.lg.jp HP_URL http://www.city.yamato.lg.jp/web/sangyo/kcijourei.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
3	生活支援ロボット研究開発補助金	大和市	生活支援ロボットの研究開発に要する費用を一部補助します。	市内に事業所を有する中小企業者で、神奈川県オープンイノベーションに参画し、かつ、応用開発ステージ等で採用された技術等をもつ者。	研究開発費用(調査研究費用、実証実験費用、原材料費用、設計費用、加工製造費用等)の3分の1(上限500,000円)	随時	採択件数: 1件 総額(予定): 500,000円	—	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL
4	LP横浜 トライアル助成金	公益財団法人木原記念横浜生命科学科学振興財団	健康・医療分野の基礎研究成果や臨床ニーズ等の実用化に向けた産学連携事業の推進につながる取組のうち、研究成果やアイデア等を具体化する試作品の開発や次の研究ステップに進むために必要なデータ等の取得などに対する研究開発費の助成	・中小企業であって、横浜市内に本店を登記している、もしくは、申請事業を実施するための開発拠点を有する者 ・大学等であって、横浜 大学・都市パートナーシップ協議会則第3条に規定する者 ・研究機関、病院等であって、横浜市内に申請事業を実施するための研究開発拠点を有する者	・研究成果やアイデア等を具体化する部品・製品・ソフトウェアの開発や試作品の開発 ・②新場の研究アイデアに基づく予備試験又は仮説検証に必要となるデータ等の取得 ※新場の研究アイデアとは、検証中の研究内容の延長ではなく、新しい着想により研究テーマを発展・展開させたものをいう。 (助成率:対象経費の10/10以内、1申請あたりの助成限度額:100万円)	随時	採択件数: 20~22件(予定) 総額: 20,000,000円(予定)	採択件数: 22件 総額: 21,665,000円	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL
5	製品化・事業化支援事業	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	新製品の開発や新事業をめざす県内の中小企業に対し、当所の保有技術や設備機器を活用し、技術・デザイン・経営・金融等の総合支援をすることにより、競争力の高い製品化・事業化の達成を促進する。製品化支援(年1回公募)と事業化支援(随時受付)に分けて実施。	神奈川県内に事業所を有し、新製品の開発や商品化をめざす中小企業者(法人、個人事業者、組合ほか)	対象分野: 研究開発的要素を有するものづくり分野(※主な対応分野:材料、機械、電気・電子、化学、デザイン、IoTなど) 支援内容: ・担当職員を決めて、技術サポート ・試験計測費用と設備機器使用料が30万円~100万円相当を上限に免除。 ・製品開発室使用課題に採択された場合、当研究所内の実験室(製品開発室、約57㎡)を専有(有料)し、開発の拠点として活用 その他、展示会出展、特許相談等、製品化支援・事業化支援の両面からサポート	製品化支援 2021年1月19日 ~2月22日 事業化支援 随時受付	採択件数: 18件程度 (製品化支援10件、事業化支援8件)	採択件数: 17件 (製品化支援9件、事業化支援8件)	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数： 3件以内	R2実績 採択件数： 3件	連絡窓口	
									部署	事業化支援部企画支援課
6	生活支援ロボットのデザイン支援事業	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	商品の高付加価値化、市場競争力強化を図るため、開発の初期段階からデザインを戦略的に活用し、生活支援ロボットの早期商品化・事業化に向けた支援を実施	神奈川県「さがみロボット産業特区」の事業に参加している、神奈川県内に事業所を有する中小企業者、又は、神奈川県内に事業所を有する中小企業者を構成員を含むグループで、デザイン開発の支援を受けることにより、翌年3月までに生活支援ロボットの商品化または商品化に向けた試作品を完成させることができる事業者。	支援内容： ・商品化プロセスに必要なデザイン開発を総合的に支援<業務委託費 2.0万円以内> ・商品化プロセスに必要なデザイン開発の一部を支援<業務委託費 8.0万円以内>	開発テーマ募集	採択件数： 3件以内	採択件数： 3件	部署 事業化支援部企画支援課 担当者 046-236-1500 FAX番号 046-236-1525 E-mail HP_URL	
7	相模原市中小企業研究開発補助金	相模原市	市内中小企業者の新製品・新技術開発や新分野進出を支援するため、研究開発に要する経費の一部を補助	相模原市内に事業者を有し、補助対象事業に係る研究開発拠点が市内である中小企業者 市税について未納の税額がないこと 【一般型】 補助内容：新製品・新技術の研究開発に必要な経費を補助 【新型コロナウイルス関連型】 補助内容：新型コロナウイルス感染症対策に資する新製品・新技術の研究開発に必要な経費を補助	【一般型】 ■補助率：研究開発に要する経費の2分の1以内 ■補助額：1案件あたり50万円以上100万円以内。ただし、産学連携枠や行政課題対応枠による研究開発テーマについては、50万円以上150万円以内。 【新型コロナウイルス関連型】 ■補助率：研究開発に要する経費の4分の3以内 ■補助額：1案件あたり50万円以上300万円以内	2021年6月1日から 6月30日まで	採択件数： 【一般型】 4件 総額(予定)： 5,000,000円 【新型コロナウイルス関連型】 11件 総額： 20,843,000円	採択件数： 【一般型】 4件 総額6,685,000円 【新型コロナウイルス関連型】 11件 総額： 20,843,000円	部署 経済部 産業支援課 担当者 ロボット・新事業支援班 電話番号 042-707-7154 FAX番号 042-754-1064 E-mail sangyou.s@city.sagami hara.kanagawa.jp HP_URL https://www.city.sagami ihara.kanagawa.jp/sang vo/sangvo/1003291/ios ei/1003311.html	
8	産学公連携事業化促進研究	地方独立行政法人神奈川県立産業技術総合研究所	今後成長が期待される産業分野において、中小企業等の開発ニーズと大学等の研究シーズ(知識・技術等)を結び付け、さらに当所が有する技術・ノウハウを活用することにより、中小企業等による事業化を促進し、イノベーションを出して地域産業の振興と競争力強化を図る	・研究シーズを有する大学等と開発ニーズを有する企業等の両者を含む共同研究体で申請がなされること ・神奈川県内に主たる事業所を有する中小企業が研究参加機関に含まれること	対象分野： ロボット、IoT、エネルギー、先端素材、エレクトロニクス、ライフサイエンス(未病、先端医療)、輸送用機械等 支援内容： ・研究費の一部負担(1年目300万円、2年目200万円、3年目100万円を上限)	2021年3月1日～3月25日 (令和4年度事業は、 2022年3月に公募実施予定)	採択件数： 3件(R3.6月末時点でR3年度公募終了)	採択件数： 5件	部署 研究開発部橋渡し研究課 担当者 046-236-1500 FAX番号 046-236-1525 E-mail sm_sec_hashi@kistec.jp HP_URL https://www.kistec.jp/category/r_and_d/cmcl/	

～目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数： 4件 総額（予定）： 4,000,000円	R2実績 採択件数：2件 総額： 1,000,000円	連絡窓口	
									部署	HP_URL
1	技術アイデア実行支援補助金	公益財団法人新潟市産業振興財団	新潟市内の中小事業者が自社製品の生産性強化や品質の向上、新事業への展開、新製品開発のために取り組む研究、技術開発について支援 (※対象は介護機器に限りません。)	新潟市内に本社又は主たる事業所を有する中小事業者	・補助上限額100万円 ・補助対象経費の2/3以内を補助 ※新型コロナウイルス感染症の影響により前年同月比15%以上の売上減少が認められかつ売上減少理由が新型コロナウイルス感染症の影響であることが明確である場合は、補助対象経費の4分の3以内	2021年7月1日～7月30日			ビジネス支援センター 部署 担当者 電話番号 025-226-0550 FAX番号 025-226-0555 E-mail info@niiigata-ipc.or.jp HP_URL https://niiigata-ipc.or.jp/	
2	感染症対策及び健康維持製品開発支援事業	一般社団法人健康ビジネス協議会 ※新潟県の委託により実施	新しい生活様式を踏まえた医療福祉従事者及び高齢者の感染症対策や健康維持に製品開発に関する費用について支援	新潟県内に主たる事業所を有するもの	消費税及び振込手数料等は対象外 補助対象経費の1/2を補助	1次募集：2021年5月25日～6月24日 2次募集：2021年7月9日～8月18日	採択件数： 1件 総額（予定）： 1,500,000円	なし ※本事業はR3から開始	一般社団法人健康ビジネス協議会 部署 担当者 電話番号 025-246-4233 FAX番号 025-250-1117 E-mail HP_URL https://kenbikyoku.jp/10089/	
3	医療・福祉現場の職場環境改善ツール実装支援事業	一般社団法人健康ビジネス協議会 ※新潟県の委託により実施	県内企業、医療機関、福祉施設等が連携して行う医療・福祉現場の職場環境の改善に役立つツールの実装に関する費用について支援	新潟県内企業、医療機関、福祉施設等が連携・協働する共同事業体（コンソーシアム）	消費税及び振込手数料等は対象外 補助対象経費の2/3を補助	1次募集：2021年5月25日～6月24日 2次募集：2021年7月9日～8月18日	採択件数： 1件 総額（予定）： 2,000,000円	採択件数： 2件 総額： 3,851,000円	一般社団法人健康ビジネス協議会 部署 担当者 電話番号 025-246-4233 FAX番号 025-250-1117 E-mail HP_URL https://kenbikyoku.jp/9949/	
4	DX推進試作開発助成金	公益財団法人にいがた産業創造機構 ※新潟県の補助により実施	5Gを活用する製品・サービスやAI、IoT等を活用したシステムやロボット等の試作開発に要する経費の一部を助成	新潟県内に主たる事業所を持つ製品・サービスを開発する者、製品・サービスの顧客（ユーザー）となる者等で構成する共同事業体（コンソーシアム）	消費税及び振込手数料等は対象外 補助対象経費の1/2を補助	2021年4月26日～6月11日	採択件数： 5件 総額（予定）： 25,000,000円	なし ※本事業はR3から開始	産業創造グループIT支援チーム 部署 担当者 電話番号 025-246-0069 FAX番号 025-246-0030 E-mail HP_URL https://www.nico.or.jp/sien/hojokin/46882/	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口	
									部署	ヘルスケア担当
1	令和3年度ヘルスケア産業育成創出事業（ヘルスケア製品加速化事業）	公益財団法人富山県新世紀産業機構	富山県に蓄積された産業基盤や資源を活用した新商品・新事業の創出促進を図るもの。応募対象提案は、ヘルスケア分野に該当するもの。	富山県内に事業所を有する企業、研究者と県内大学等高等教育機関、公的試験研究機関の研究者等で構成される共同研究開発グループ	委託対象となる経費は、取り組みを実施するために必要な旅費、通信運搬費、消耗品費、工具機器費、（機械装置の）リース・レンタル費、ソフトウェア開発費、専門家謝金・旅費、外注費、再委託費、共同研究費	2021年6月1日～	採択件数：3件 総額（予定）：15,000,000円	採択件数：3件 総額：14,642,000円	部署	ヘルスケア担当
2	令和3年度ヘルスケア産業育成創出事業（ヘルスケアイノベーション・チャレンジプログラム）	公益財団法人富山県新世紀産業機構	とやまヘルスケアコンソーシアムが設定した介護施設等の現場ニーズに基づき具体的な製品テーマに関する研究開発を委託することにより、迅速に利用者支店の製品の開発を図るもの。	富山県内に事業所を有する企業、研究者と県内大学等高等教育機関、公的試験研究機関の研究者等で構成される共同研究開発グループ	委託対象となる経費は、取り組みを実施するために必要な旅費、通信運搬費、消耗品費、工具機器費、（機械装置の）リース・レンタル費、ソフトウェア開発費、専門家謝金・旅費、外注費、再委託費、共同研究費	2021年6月1日～	採択件数：2件 総額（予定）：10,000,000円	採択件数：2件 総額：6,041,000円	部署	ヘルスケア担当

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	いしかわか次世代産業創造 ファンド事業 次世代産業創造支援事業 (重点分野として、5分 野を指定)のうち、ライ フサイエンス分野	公益財団法人石川県産業 創出支援機構	医療機器・器具、介護・福祉用品の開 発、医療・介護福祉サービス等のICT 等を活用した高度化・効率化に資するシ ステム開発、特定保健用食品、栄養機能 食品。病者用食品等の機能性食品や医薬 品の開発など、健康、医療、介護、福祉 等のライフサイエンス分野における取り 組みについて支援する。	石川県内に本社又は開発拠点等を有す るコア企業と大学や企業等で構成され る連携体。	事業実施期間内(最大3年間)で 3 0,000千円以内(但し、補助対象 経費の2/3以内)	今年度の募集は、終了。	採択件数：- 件 総額：- 円	採択件数：0 件 総額：0 円	部署 担当者 電話番号 076-267-6291 FAX番号 076-268-1322 E-mail project@isico.or.jp HP_URL www.isico.or.jp

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	ヘルスケアビジネスプラン実証事業補助金	福井県	福井県ヘルスケアビジネス研究会において策定されたビジネスプランに基づき、ヘルスケア分野の商品・サービス開発における実証実施を支援	福井県ヘルスケアビジネス研究会に参加している県内企業または企業グループ（業種指定あり）	5,000千円以内（補助対象経費の1/2以内）	9月～10月	採択件数：1件	採択件数：2件	部署 産業技術課 担当者 電話番号 0776-20-0374 FAX番号 0776-20-0646 E-mail HP_URL https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/chisangi/ryouu/kyougikai.html
2	成長産業チャレンジ支援事業補助金	福井県	県内企業が実施する成長産業への参入や市場拡大のための技術開発および大学や研究機関、金融機関等と連携して実施する技術開発を支援	県内中小企業	A. 成長産業可能性調試験 100万円（補助率2/3以内、1年以内） B. 早期事業化技術開発 500万円（補助率2/3以内、1年以内） C. 地域経済牽引型技術開発 3,000万円（補助率2/3以内、2年以内）	4月 ※R3募集は終了	採択件数：10件	採択件数（前事業）：7件	部署 産業技術課 担当者 電話番号 0776-20-0374 FAX番号 0776-20-0646 E-mail sangyo-gijutsu@pref.fukui.lg.jp HP_URL https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/chisangi/sangakuukan/seichosangvo.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	やまなしイノベーション 創出事業費補助金（研究 開発）	山梨県	今後成長が期待される産業分野への進出を促進するため、県内中小企業が行う新技術・新製品の研究開発に対して助成対象成長分野（技術）：医療機器・ヘルスケア 研究開発内容例： ○健康機器・家庭用医療機器・器具 ○生体計測機器・器具 ○診断機器・器具 ○治療機器・器具 ○在宅診断・治療機器・器具 ○リハビリ支援機器・器具 ○機能代替治療機器・器具 ○生活支援ロボット ○介護・福祉ロボット ○上記機器に関連する周辺機器及びその製造技術 ○上記に関連する生産工程管理機器及びその製造技術 ○上記機器に適応する組み込みソフト・制御技術	山梨県内に本店、製造拠点又は研究開発拠点を有し、知事が別に定める計画等を策定した中小企業者	対象経費：人件費（一般枠のみ、上限あり）、報償費、旅費、原材料費、構築物費、機械装置・工具器具費、外注加工費、技術指導受入費、研究開発委託費、試験・分析費、その他の経費 一般枠 2,000万円以内 補助対象経費の1/2以内 小規模事業者枠 500万円以内 補助対象経費の2/3以内	2021年4月12日～	一般枠 採択件数：2件 総額（予定）：40,000千円 小規模事業者枠 採択件数：4件 総額（予定）：20,000千円	一般枠 採択件数：2件 総額：24,670千円 小規模事業者枠 採択件数：4件 総額：12,992千円	部署 山梨県産業労働部 成長産業推進課 担当者 新分野進出担当 電話番号 055-223-1565 FAX番号 055-223-1569 E-mail seichosango@pref.yamanashi.lg.jp HP_URL https://www.pref.yamanashi.jp/seichosango/innovation_hojyo/innovation_hojyokin.html
2	中小企業・小規模企業振興基金助成事（新製品・新技術研究開発助成事業）	公益財団法人やまなし産業支援機構	新製品・新技術開発等の研究開発に要する経費の一部を助成	山梨県内に事業所を有する中小企業や小規模企業、中小企業や小規模企業のグループなど	助成限度額：100万円 助成率：対象経費の2/3以内	2021年4月13日～2021年5月31日	採択件数：2件 総額（予定）：2,000,000円	採択件数：5件 総額：4,161,333円	部署 新産業創造部新事業創造課 担当者 電話番号 055-243-1888 FAX番号 055-243-1885 E-mail sinjigyo@viso.or.jp HP_URL https://www.viso.or.jp/subsidy/promote1.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
3	山梨みらいファンド（成長分野スタートアップ資金助成事業）	公益財団法人やまなし産業支援機構	今後成長が期待される分野における起業に要する経費の一部を助成	山梨県内に本社（拠点）を設けて起業者、山梨県内に本社（拠点）を設置した企業後5年未満の者	助成限度額：50万円 助成率：対象経費の2/3以内	2021年9月1日～2021年10月29日	採択件数： 5件 総額（予定）： 2,500,000円	採択件数： 4件 総額： 2,000,000円	部署 新産業創造部新事業創造課 担当者 電話番号 065-243-1888 FAX番号 065-243-1885 E-mail sinigy@yiso.or.jp HP_URL http://www.yiso.or.jp/subsidy/fund.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	世界市場展開のための研究開発支援事業 ※福祉用具・介護ロボット以外も対象とする事業	長野県	未解決の社会ニーズを踏まえ、ニーズの解決・事業化に必要な新技術特定するとともに、その新技術の具現化のために行う研究開発	「県内企業」及び「県内大学等」	補助金の上限200万円、補助率2分の1以内	2021年4月14日～5月14日	採択件数15件 総額26,000,000円	採択件数12件 総額： 18,248,145円	産業技術課技術振興係 担当者 電話番号 026-235-7196 FAX番号 026-235-7496 E-mail sangl@pref.nagano.jp HP_URL https://www.pref.nagano.lg.jp/mono/sekaishiyoutenkai.html
2	医療機器開発等支援事業	長野県／公益財団法人長野県テクノ財団	県内ものづくり企業が行う医療機器等の試作開発及び販路開拓に要する経費について支援 ※要素技術開発又は販路開拓のみ行う事業は対象外	県内に事業所を有する中小企業	補助金の上限1,000万円、補助率2分の1以内	2021年6月18日～7月12日	採択件数2件 総額20,000,000円	—	産業技術課技術振興係 担当者 電話番号 026-235-7196 FAX番号 026-235-7496 E-mail sangl@pref.nagano.jp HP_URL https://www.tech.or.jp/head-office/information/2021/08/post-57.php

← 目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	航空宇宙・医療福祉機器産業等競争力強化支援事業費助成金	公益財団法人岐阜県産業経済振興センター	航空宇宙、医療・福祉機器、医薬品（保健機能食品を含む）の成長分野において、県内中小企業者・中小企業グループが競争力強化・新規受注獲得を図るとともに、他産業から成長分野への参入を目指すために自ら行う新たな生産体制の構築、新技術・新工法・新製品の開発、新規参入のための認証・認可取得などの事業経費について支援	岐阜県内中小企業者・中小企業グループ	助成対象経費の1/2以内	2021年4月2日～	採択件数：9件 （うち医療関連：4件） 総額（予算）： 32,135,000円 （交付決定額）： 32,135,000円 （うち医療関連：4件） 連：15,950,000円	採択件数：8件 （うち医療関連：4件） 連：4件） 総額（予算）： 43,500,000円 （交付決定額）： 36,117,000円 （うち医療関連：4件） 連：13,584,000円	部署 技術振興部 担当者 電話番号 058-379-2212 FAX番号 058-379-2215 E-mail ikou@gpc-gifu.or.jp HP_URL https://www.gpc-gifu.or.jp/

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口	
									部署	担当者
1	沼津市ニュービジネス創出事業補助金	沼津市	「中小企業等経営強化法」に基づき、県知事の承認を受けた新製品・新サービスの開発等に取り組み場合、費用の一部を市が補助する。	市内に主たる事業所を有する中小企業者等	県の承認を受けた経営革新計画に基づき、新商品・新技術・新サービス開発に関する事業が対象 補助対象経費の1/2以内、上限10万円を補助	【第1次募集】2021年4月9日～5月21日 【第2次募集】2021年6月18日～8月13日	採択件数：9件 総額（予定）：9,000,000円	採択件数：8件 総額：7,374,000円	商工振興課 担当者 電話番号 055-934-4748 FAX番号 055-933-1412 E-mail svouko@city.numazu.lg.jp HP_URL https://www.city.numazu.shizuoka.jp/business/yuchi/shoko/newbusiness/index.htm	
2	自立支援・介護支援機器等開発助成事業	公益財団法人ふじのくに医療城下町推進機構	高齢者の自立支援、介護者の負担軽減等に資する新たな介護機器・福祉用具等の早期実用化を支援する	静岡県内に主たる事務所、事業所を有する中小企業	【対象】 ・高齢者等の自立やQOLの向上、介護者の負担軽減、その他介護現場の課題解決等に資する新たな製品の実用化に向けた事業（既に市場導入されているものは対象外） ・ファルマバレーセンター内に設置されているモデルルームの改善やさらなる発展に寄与する研究開発 【補助対象経費】 原材料費、機械装置購入費、外注加工・評価分析費、技術指導受入費、販売戦略費等 【補助率】 1/2（補助上限3,000千円）	2021年3月22日～ 2021年5月21日	採択件数：4件 総額（予定）：8,642,000円	採択件数：4件 総額：7,302,000円	ファルマバレーセンター事業推進部 担当者 電話番号 055-980-6333 FAX番号 055-980-6320 E-mail jigyoo@fuji-pvc.jp HP_URL http://www.fuji-pvc.jp/center/	

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 総額(予定)	R2実績 採択件数:20件 総額: 105,868,593円	連絡窓口
3	浜松市新産業創出事業費 補助事業	浜松市	浜松市において戦略的に支援すべき産業分野として位置づけている成長6分野* (次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ) について、新技術、新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助する。 *医療機器分野以外も対象となります。	補助対象者となる事業者は、次のいずれかに該当する者で、市税を滞納してない者。 ①市内に住所又は主たる事務所を有する個人又は中小企業者(中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条に規定する中小企業者) ②市内に住所又は主たる事務所を置き、新たに事業を開始しようとする者。 ③①又は②に該当する者を1人以上含み、事業化開発を目的に2人以上の者と組織された共同体。	総費用の1/2を補助 ●研究開発補助金 対象とします。基礎研究は対象外です。 ・製品化のための設計試作を見込む事業に原則、第一次試作を完成させることができるところ。 ・補助終了後目安として4年以内の製品化を見込む事業。 *事業1件あたり100万円を上限とし、500万円を上限とします。 ●製品開発補助金 ・補助事業の成果物として、補助期間終了までに製品の試作を完成ができること。 ・補助終了後、目安として2年以内の製品化、3年以内の事業化を見込む事業。 *事業1件あたり150万円を上限とし、1,000万円を上限とします。	2021年4月9日～5月10日	115,000,000円	部署 産業部 産業振興課 担当者 電話番号 053-457-2044 FAX番号 053-457-2283 E-mail shinsangyo@city.hama.matsushizuoka.jp HP_URL https://www.city.hama.matsushizuoka.jp	
4	浜松市新事業挑戦事業費 補助事業	浜松市	浜松市において戦略的に支援すべき産業分野として位置づけている成長6分野* (次世代輸送用機器、健康・医療、新農業、光・電子、環境・エネルギー、デジタルネットワーク・コンテンツ) について、新技術、新製品等の研究開発により事業化を目指す市内の中小企業者等に対し、研究開発費の一部を補助する。 *医療機器分野以外も対象となります。	補助対象者となる事業者は、次のいずれかに該当する者で、市税を滞納してない者。 ①市内に住所又は主たる事務所を有する個人又は中小企業者(中小企業基本法(昭和38年法律第154号)第2条に規定する中小企業者) ②市内に住所又は主たる事務所を置き、新たに事業を開始しようとする者。 ③①又は②に該当する者を1人以上含み、事業化開発を目的に2人以上の者と組織された共同体。	総費用の1/2を補助 ●新事業挑戦事業費補助金 ・補助事業の成果物として、補助期間終了までに製品の試作を完成ができること。 ・補助終了後、目安として5年以内の製品化を見込む事業。 *事業1件あたり100万円を上限とします。	2021年4月12日～5月31日	3,000,000円	部署 公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構 担当者 電話番号 053-489-8111 FAX番号 053-450-2100 E-mail info@hai.or.jp HP_URL https://www.hai.or.jp	

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	新あいち創造研究開発補助金	愛知県	次世代自動車や航空宇宙、ロボットなど、今後の成長が見込まれる分野において、企業等が行う研究開発等を支援 ※研究開発等とは、県内に事業所を持つ企業等が実施する研究開発及び企業等が県内において実施する実証実験	大企業、中小企業（事業協同組合等を含む） ※「トリアル型」の対象者は、過去に本補助金の採択実績がない中小企業	補助率 ・大企業 原則1/2以内 ・中小企業 2/3以内 限度額 ・大企業 2億円以下 ・中小企業 原則1億円以下 ※「トリアル型」は500万円	2021年3月22日～ 2021年4月6日	採択件数： 78件 うち情報通信・ロボットと健康 長寿分野の採択 26件	採択件数： 72件 うち情報通信・ロボットと健康 長寿分野の採択 23件	経済産業局産業部産業科学課 技術課 担当者 電話番号 052-954-6370 FAX番号 052-954-6977 E-mail https://www.pref.aichi.jp/site/shin-aichi/ HP_URL

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
-----	-------	------	------	-----	---------	------	------	------	------

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	滋賀県コロナ対応モノづくり研究開発支援事業	滋賀県	新型コロナウイルス感染症対応をはじめとした社会の多様なニーズに応えるために、県内中小企業等が行う新製品、新技術の開発に必要なとされる原材料費、機械装置等の経費に対して、その一部を助成 (※介護・福祉分野を含む)	滋賀県内に主たる研究開発拠点がある中小企業等	【一般型】 限度額：2,000万円、補助率：1/2 (大学等との共同研究の場合は2/3) 【トライアル型※】 限度額：200万円、補助率：2/3 ※過去5か年において、滋賀県中小企業新技術開発プロジェクト補助金の採択実績がない、等の条件を満たした企業等が申請可能	一次募集 2021年4月8日 ～5月14日 二次募集 2021年7月19日 ～8月6日	R3予定 採択件数：23件 交付決定総額：85,252,138円	R2実績 採択件数：18件 交付決定総額：60,129,746円	部 署 振興課 担当者 電話番号 077-528-3794 FAX番号 077-528-4876 E-mail fd00@pref.shiga.lg.jp HP_URL http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/shigotosandgyou/kougyou/317863.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	事業の実施に必要な補助対象経費の1/2以内で最大3,000万円 範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	京都エコノミック・ガバナンス強化事業	公益財団法人京都産業1	中小企業が自社強みの強みを活かし、新規事業に取り組みにあたって必要な、事業計画の策定、製品開発、販路開拓、設備投資などに要する費用を支援	京都府内に本補助事業に係る製品開発、生産、営業等の事業活動を遂行する拠点（工場・研究所、営業所等）を有する中小企業	本事業の実施に必要な補助対象経費の1/2以内で最大3,000万円	2021年6月1日～7月30日	採択件数： 44件 総額： 約4億円	採択件数： 41件 総額： 約4億円	部署 グループ 担当者 電話番号 075-315-9425 FAX番号 075-315-8926 E-mail sangaku@k21.jp HP_URL https://www.k21.jp/su/sidy
2	京都発革新的医療技術研究開発助成事業	京都市	新たな医薬品・医療機器、健康・介護・リハビリ機器等の開発につながる革新的な医療技術に関する研究開発に助成	京都市内の大学研究者及び中小企業者	○ 助成金額 大学研究者：上限100万円（間接経費を含む場合は上限130万円） 中小企業者：上限100万円 ○ 助成率 100%	2021年4月1日～4月22日	採択件数： 24件 総額（予定）： 28,750,000円	採択件数： 19件 総額： 21,288,036円	部署 担当者 電話番号 075-222-3324 FAX番号 075-222-3331 E-mail HP_URL https://www.city.kyoto.lg.jp/sankan/page/0000282905.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	堺市ものづくり新事業 チャレンジ支援補助金	堺市	新たなものづくりにチャレンジする経費を補助（医療・介護・健康関連産業分野等を優先採択分野としている）	堺市内の主たる事業所または研究開発拠点において、引き続き1年以上事業を行っている中小企業者	機械装置費用等の補助事業の執行に必要経費の1/2以内を補助(上限300万円)	毎年5月1日～5月末	採択件数：5件 総額(予定)： 13,150,000円	R2実績 採択件数： 3件 総額： 14,890,000円	ものづくり支援課 部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	兵庫県最先端技術研究事業(COEプログラム)	兵庫県	次世代産業を中心とした成長産業分野の育成を図るため、産学官連携による萌芽的な研究調査を支援するとともに、立ち上がり期の予備的、準備的な研究プロジェクトの本格的な研究開発への移行を支援	以下の要件を満たす産学官で構成される共同研究チーム 【要件】 ①「産・学・官」、「産・学」、「産・官」のいずれかで構成 ②「産」のうち県内に事業所を有し、かつ県内で研究活動を行っている中小企業者を少なくとも1者含むこと ③対象産業分野の事業拡大又は新規参入を目的として実施する研究で、共同研究に参画する県内中小企業者が当該研究成果を活用した事業化計画を有していること	研究（調査、試験分析、試作を含む）に必要な経費を定額補助	R3.2.26～R3.4.5 R3.7.19～R3.8.23	採択件数： 27件 総額（予定）： 106,907千円	採択件数（介護機器関係のみ）： 0件	産業労働部産業振興局工業振興課 担当者 電話番号 078-362-3373 FAX番号 078-362-3801 E-mail HP_URL http://web.pref.hyogo.lg.jp/sr09/ie03_00000002.html

[← 目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	研究開発支援事業	奈良県	令和4年度より事業化に向けた研究開発を支援することにより、最適な事業展開を補助する。	○対象者：民間企業の製造業者 ①県内に事業所を有する企業 ・補助開始年度より10年間事業所を県内で定着 ・研究成果の事業化 ②県内に事業所を有しない企業 ・補助期間終了後、県内で5年以内に一定規模の事業所を設置 ○対象分野 ①機械・金属、食品、プラスチック、製菓、繊維、木材・木製品 ②モジュール・航空機、食品、医療、生活産業	・補助額100,000千円/件（下限50,000千円/件） ・補助率補助対象経費の3分の2以内 ・補助期間3年	5月17日（月）～ 8月31日（火）	公募、補助対象企業を決定。		産業・観光・雇用振興部 産業政策課 担当者 電話番号 0742-27-8814 FAX番号 0742-27-4473 E-mail HP_URL http://www.pref.nara.jp/58309.htm

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数：6件 総額： 76,184,000円	R2実績 採択件数：11件 総額： 83,591,000円	連絡窓口						
									部署	産業技術政策課	担当者	電話番号	FAX番号	E-mail	HP_URL
1	先駆的産業技術研究開発 支援事業	和歌山県	国内外で高いニーズが見込まれる先駆的産業技術の研究開発を行う県内企業等の取組みを支援し、新技術の創出と実用化を図ることにより、県産業の高度化と地域経済の活性化を目指す。 ※福祉用具・介護ロボット以外も対象	(1)先駆的産業技術研究開発 ア 和歌山県内に事業所を有し、補助事業の主たる実施場所が和歌山県内に所在すること。 イ 補助事業において自らが主体的に研究開発を行うこと。 (2)先端技術社会実装 ア 和歌山県内に事業所を有し、補助事業において主たる技術・能力を持つ、若しくは実用化後主たる新たな商品やサービス提供を行う者 イ 補助事業において自らが主体的に補助事業を行うこと。	補助率：補助対象経費の3分の2以内上 上限：2,000万円以内/件 補助期間：最長3年（何年間の研究事業であってても1件2,000万円まで）	R3公募終了									https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/063100/senku.html
2	未来企業育成事業	公益財団法人わかやま産業振興財団	大学・公設試験研究機関等が有する研究成果や技術を県内中小企業が有効活用することにより、新事業の創出、事業化に結びつく共同研究を支援。 ※福祉用具・介護ロボット以外も対象	和歌山県内に主たる事業所を有する中小企業（中核企業）に共同研究を委託した上、中核企業のほか、「学」又は「官」から少なくとも1機関以上の参画を要すること	委託費：50万円以上400万円以内	R3公募終了	採択件数：4件 総額： 12,496,000	採択件数：5件 総額： 15,306,000円	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail	チクノ振興部 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail					https://www.yarukioendan.or.jp/business/training/business/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	医療機器開発支援補助金 医療・介護連携型	公益財団法人 鳥取県産業振興機構	医療・介護と連携した県内企業の医療機器開発	鳥取県内に事業者等を有する中小企業者	補助対象経費の2分の1以内 上限500万円（最長2か年度） 補助対象経費：原材料費、研究開発用機器、設備費、委託費、共同研究費、外部専門家受入経費、外注加工費、産業財産権導入費、直接人件費、人材育成費、事務費、事務手数料等	1回目は終了、2回目の公募を予定	予算の範囲内	非公開	部署 担当者 電話番号 0857-52-6073 FAX番号 0857-52-6673 E-mail tottori- ikou@toriton.or.jp HP_URL https://www.toriton.or.jp/
2	医療機器開発支援補助金 参入支援型	公益財団法人 鳥取県産業振興機構	医療・福祉機器の開発	鳥取県内に事業者等を有する中小企業者	補助対象経費の3分の2以内 上限300万円（最長12か月） 補助対象経費：原材料費、研究開発用機器、設備費、委託費、共同研究費、外部専門家受入経費、外注加工費、産業財産権導入費、直接人件費、人材育成費、事務費、事務手数料等	1回目は終了、2回目の公募を予定	予算の範囲内	非公開	部署 担当者 電話番号 0857-52-6073 FAX番号 0857-52-6673 E-mail HP_URL https://www.toriton.or.jp/
3	医療機器開発支援補助金 専門学会展示会出展・改良事業	公益財団法人 鳥取県産業振興機構	医療・福祉機器の専門学会・展示会出展及び出展後の改良	鳥取県内に事業者等を有する中小企業者	補助対象経費の2分の1以内 上限500万円（最長12か月） 製品改良に必要な原材料費、委託費、共同研究費、外注加工費、事務費、事務手数料、展示会の出展費用	1回目は終了、2回目の公募を予定	予算の範囲内	非公開	部署 担当者 電話番号 0857-52-6073 FAX番号 0857-52-6673 E-mail HP_URL https://www.toriton.or.jp/

← 目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	オープンイノベーション 活用促進事業	公益財団法人しまね産業 振興財団	島根県内企業の研究開発力強化による個 社新技術・新製品の開発、売上増加、利 益率向上を図るため、大学等との共同研 究費や研究開発経費を助成 1. 事業化促進助成金 自社の新製品・新技術の研究開発を外 部専門家からの指導・助言を受けながら 行うもの 2. 次世代技術開発助成金 県内外の大学・研究機関等と協力して 次世代新製品・新技術の研究開発を行う もの	島根県内企業	1. 事業化促進助成金 ・助成率1/2以内 ・限度額500万円 ・期間 2年以内 (うち大学等との共同研究費は助成率 10/10、限度額250万円) 2. 次世代技術開発助成金 ・助成率1/2以内 ・限度額1,000万円 ・期間 2年以内 (うち大学等との共同研究費は助成率 県内10/10、県外2/3、限度額500万 円)	1. 2.ともに 令和3年6月14日 (月)～7月16日 (金)	1. 採択件数：1件 総額：10,000千 円 2. 採択件数：1件 総額：20,000千 円	1. 採択件数：4件 総額：10,000千 円 2. 採択件数：1件 総額：10,000千 円	部署 新事業支援課 技術支援グループ 担当者 電話番号 0852-60-5112 FAX番号 0852-60-5106 E-mail sat@ioho-shimane.or.jp HP_URL https://www.ioho-shimane.or.jp/solution/subsidy/

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
2	新製品開発支援事業	まつえ産業支援センター	市内の意欲ある中小企業者又は企業グループが実施する新製品・新技術開発の取組み又は地域のモデルとなるITシステム開発の取組みに対し、必要な経費の一部を補助することにより、市内中小企業者の競争力の強化と新ビジネスの創出を図ることを目的とする。	(1) 松江市内に事業所を有する製造業を主たる事業で営む中小企業者で、市税を滞納していない者 (2) 構成員の2分の1以上が松江市内の中小企業者等で構成する企業グループで、市内に事業所を有する中小企業者の構成員が市税を滞納していないもの	(1) 開発スタートアップ支援事業 ア 地域や行政の課題解決につながる新製品開発に要する企画・設計から試作開発まで イ 自社（グループ）の競争力強化につながる新製品開発に要する企画・設計から試作開発まで ウ 自社（グループ）のITシステムの企画・設計から試作開発まで (2) 実用化製品化支援事業 試作開発が終わり、製品・技術そのものの付加価値を高めるため、実用化製品化に向けた取組 【補助率】 (1) 開発スタートアップ支援事業 補助対象経費の2分の1以内の額（1,000円未満切捨）ただし、30万円を下限、100万円を上限とする。 (2) 実用化製品化支援事業 ア 開発スタートアップ支援事業のAに係る試作開発 補助対象経費の3分の2以内の額（1,000円未満切捨）ただし300万円を上限とする。 イ 開発スタートアップ支援事業のAに係る試作開発 補助対象経費の2分の1以内の額（1,000円未満切捨）ただし300万円を上限とする。	2021年4月1日～	予定なし	福祉・養護に関する実績なし	部署 まつえ産業支援センター 担当者 電話番号 0852-60-7101 FAX番号 0852-25-0300 E-mail misc@city.matsue.lg.jp HP_URL https://www1.city.matsue.shimane.jp/jigyouusha/sangyou/kigyou/index/sinkaihatu.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	きらめき岡山創成フアーン ド支援事業	公益財団法人岡山県産業 振興財団 ※岡山県の補助により実 施	新技術・新製品の研究開発を助成することにより、県内企業の成長を支援する。	岡山県内の中小企業者	助成対象事業：新技術・新製品の研究 開発 助成率：2/3以内 助成限度額：20,000千円 助成期間：22か月以内(交付決定年度 の翌年度内) 助成対象経費： 【研究開発経費】 原材料費、機械装置 費（量産転用不可）、工具器具費、知 的財産権等関連経費、外注(加工)費、 技術専門員指導受入費、共同研究費 【市場動向調査経費】 謝金、旅費、調 査分析委託費 ※外注(加工)費、技術専門員指導受入 費、共同研究費の合計額は全助成対象 経費の2/3以内	2021年4月1日～ ～4月16日	採択件数： 9件程度 総額： 70,000,000円	採択件数： 8件 総額： 70,000,000円	岡山県産業振興財団 もの づくり支援部 研究開発支 援課 担当者 電話番号 086-286-9651 FAX番号 086-286-9676 E-mail HP_URL https://www.optic.or.jp/enterprise_detail/index/9.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数：9件 総額： 30,206,000円	R2実績 採択件数：9件 総額： 30,321,000円	連絡窓口	
									部署	HP_URL
1	健康・医療関連産業創出 支援事業	広島県	広島県内に事業所を有する「ひろしま医療関連産業研究会」又は「広島バイオテクノロジー推進協議会」の会員企業が、医療機器や福祉用具などの製品化・事業化のための研究開発など健康・医療関連分野への新規参入や事業拡大に取り組む場合に、その経費の一部について支援する。	広島県内に事業所を有する「ひろしま医療関連産業研究会」又は「広島バイオテクノロジー推進協議会」の会員企業	福祉用具の研究開発及び普及の促進に関する法律第2条に規定する福祉用具及びこれらに類するもの、または、健康の保持及び増進、介護予防等を通じた健康寿命の延伸に資する商品又はサービスの製品化・事業化のための研究開発など健康・医療関連分野への新規参入や事業拡大を図るための事業活動等	2021年3月16日～4月30日			部署 医工連携推進PT 担当者 082-513-3351 FAX番号 082-223-2137 E-mail svoikourenpt@pref.hiroshima.lg.jp HP_URL https://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/229/koupt61.html	
2	新成長ビジネス事業化支援事業	公益財団法人広島市産業振興センター	新技術・新製品の開発・事業化に関して（公財）広島市産業振興センターや国、地方公共団体の支援を受け、試作品の開発が完了している案件のうち、新成長ビジネス（医療・福祉ビジネス、エコビジネス、観光ビジネス、都市型サービスビジネス）に関連するものに対して、事業化に必要な資金の助成及び事業化促進のための専門家派遣（別途広島市委託事業において実施）を実施することにより、早期の事業化を図る。	・市内に主たる事業所を有する中小企業者又は当該中小企業者が構成員となっている組合・商品開発グループ（構成員の3分の2以上が広島広域都市圏内の市町に主たる事業所を有し、かつ1社以上が広島市内に主たる事業所を有する中小企業者）であること。	・事業化を目指す新技術・新製品について、当該事業の実施年度より前の5か年度のうち、次のいずれかの事業を活用して、試作品の開発や商品化に関する支援をうけていること。 ア（公財）広島市産業振興センターの事業 イ 国や地方公共団体の補助事業等 ウ 国や地方公共団体の補助金等を財源とした補助事業等	2021年4月1日 ～5月7日	採択件数：5件 総額： 10,821,000円	交付件数：4件 交付額： 7,919,000円	部署 公益財団法人広島市産業振興センター 担当者 082-278-8032 FAX番号 082-278-8570 E-mail assist@ipc.city.hiroshima.jp HP_URL https://www.assist.ipc.city.hiroshima.jp/joseikin/joseikin06.html	

[一頁目に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	次世代産業イノベーション推進事業（医療、環境・エネルギー、バイオ関連分野）	山口県	医療（ヘルスケア含む）、環境・エネルギー、バイオ関連分野にかかる山口県内の企業等が共同で取り組む研究開発・事業化を支援	・企業や大学など2社以上の研究開発グループ（※山口県内の中小企業が参画していることが要件。〔チャレンジ〕枠は単独企業でも可） ・代表申請者は県内に主たる事業所を有する企業（※県内での事業化を要件に県外企業からの提案も可）	補助上限： 〔チャレンジ〕1,000千円 〔ネクスト〕5,000千円 〔イノベーション〕100,000千円・15,000千円 補助率：2/3以内	〔チャレンジ〕2021年6月11日～10月18日の間随時 〔ネクスト〕2021年6月18日～7月20日 〔イノベーション〕2021年4月5日～5月17日	〔チャレンジ〕 採択件数（予定）：15件 〔ネクスト〕採 択件数：3件、総 額：14,944千円 〔イノベーション〕採 択件数：2 件、総額： 24,763千円	採択件数：4件 総額：48,421千 円	部署 担当者 電話番号 083-933-3150 FAX番号 083-933-3159 E-mail HP_URL https://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16900/index/

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
-----	-------	------	------	-----	---------	------	------	------	------

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
-----	-------	------	------	-----	---------	------	------	------	------

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	新成長ものづくり企業等 総合支援事業	愛媛県産業創出課	県内における新事業・新産業の創出支援 県内の一層効率的、効果的に行なうため、県内ものづくり企業等に対する技術開発に 取り組むための支援により、新規性があり市場性・実現性の高い技術シーズやアイデアをもとに新事業にチャレンジする 中小企業者等に対する支援を実施する。	高い技術力や独自の技術、ノウハウ等を有し県内に本社を有する企業で、以下のいずれかに該当する中小企業者、中小企業者等のグループ ○ニッチ市場で、シェアトップになるような企業 ○新しい産業分野やビジネス形態で、全国的なモデルとなるような企業 ○将来株式上場を目指すベンチャー企業	補助対象分野 戦略重点分野（高機能素材、AI・IoT、機能性表示食品等）ほかものづくり、情報サービス、環境、ヘルスケア、新型コロナウイルス感染症対策等の分野で新規性、市場性の高いもの 補助対象経費 製品開発（試作を含む）、市場調査に要する経費、原材料費、構築物費、機械装置・工具器具類、技術指導受入費、外注加工費、委託研究費、市場調査費（展示会等出店経費含む）、人件費、その他経費 補助率 2/3（人件費は補助金額の1/3以内） 補助期間 2年以内 補助限度額 一般事業者枠 10,000千円 （最大20,000千円） 小規模事業者枠 2,500千円 （最大5,000千円）	2021年4月1日～	R3予定 採択件数：6件 総額：68,044千円（2年総額） 内訳：35,000千円（R3交付決定額） 33,044千円（R4計画額） ※支給対象者、事業者ママ及び事業概要については県HPで公表。金額については非公表	R2実績 採択件数：6件 総額：68,682千円（2年総額） 内訳：35,000千円（R2交付決定済額） 33,682千円（R3計画額） ※支給対象者、事業者ママ及び事業概要については県HPで公表。金額については非公表	産業創出課 部署 担当者 電話番号 089-912-2483 FAX番号 089-912-2469 E-mail HP_URL

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	令和3年度「こうち産業振興基金等事業」(事業戦略推進事業)	公益財団法人高知県産業振興センター	県内の中小企業者等の新製品等の開発及び生産性向上などによって事業戦略、経営革新計画及び経営計画等の実現を図るための取り組みを支援する事業 (介護機器の開発に限定していない)	高知県内の中小企業者等(中小企業、農協、森林組合、漁協、NPO等) かつ下記のいずれかを満たすこと ・中小企業等経営強化法に基づき知事が承認した「経営革新計画」の策定 ・産業振興センターの事業戦略支援会議が承認した「事業戦略」の策定 ・県内商工会または商工会議所が認定した「経営計画」の策定 ・その他、これらに準ずる事業計画を策定	新商品や新技術の開発に関する取り組みを支援 補助対象経費の1/2以内で上限1,000万円を補助 ※(公財)高知県産業振興センターが内容を権認した製品企画書に基づく事業であること	令和3年3月31日～4月26日(1次募集) 令和3年6月21日～7月16日(2次募集) 令和3年9月16日～10月14日(3次募集) 令和3年12月中旬～1月中旬(4次募集)※予定	採択件数(予定):105件 予算額:1,633,424千円	採択件数:151件	(公財)高知県産業振興センター 部署 経営支援部経営支援課 担当者 電話番号 088-845-6600 FAX番号 088-846-2556 E-mail kigyousinkou@joho-kochi.or.jp HP_URL https://joho-kochi.or.jp/center/kochi-sangyokikin_2021.php

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	研究開発プロジェクト支援事業	公益財団法人北九州産業学術推進機構	北九州市の産業振興の促進に資する分野に関し、実用化を目指すシーズを見出し、その可能性を検証するための研究開発（①シーズ創出・実用性検証事業）や技術の高度化・製品の実用化を目指す研究開発（②実用化研究開発事業）に対して補助する（介護ロボット等の研究開発に係る申請も可能）	①シーズ創出・実用性検証事業 北九州市内の大学等研究機関 ②実用化研究開発事業 北九州市内の企業等	①シーズ創出・実用性検証事業 補助額（上限）100万円 ※生産性向上に資するロボット等の研究開発は300万円 ②実用化研究開発事業 補助額（上限）300万円 ※生産性向上に資するロボット等の研究開発は500万円	2021年4月7日～5月14日	採択件数 ①シーズ創出・実用性検証事業：20件 ②実用化研究開発事業：3件 総額：45,891,847円	採択件数 ①シーズ創出・実用性検証事業：17件 ②実用化研究開発事業：3件 総額：36,481,241円	部署 担当者 電話番号 093-695-3006 FAX番号 093-695-3018 E-mail faisivosei@ksrpd.or.jp HP_URL https://www.ksrpd.or.jp/fais/
2	医療・福祉関連製品開発支援事業	公益財団法人飯塚研究開発機構	医療・福祉関連製品の開発、可能性調査等に関する費用について支援	(1)福岡県内に本社を有し、かつ本事業の研究、生産活動拠点を県内に有する中小企業者 (2)医療・福祉機器分野への参入を目指す中小企業者、又は現在既に医療・福祉機器分野へ参入しており、更なる製品の高度化、技術の高度化を目指す中小企業者	補助対象経費の1/2 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上高が減少している場合は3/4	令和3年4月1日から5月20日まで	採択件数 (1)開発補助：4件 (2)調査試験補助：2件 総額：15,500,000円	採択件数： (1)開発補助：5件 (2)調査試験補助：3件 総額：15,325,000円	部署 担当者 電話番号 092-643-3453 FAX番号 092-643-3421 E-mail fukuoka-kikinet@pref.fukuoka.lg.jp HP_URL http://www.cird.or.jp/in/dex.html
3	社会ニーズ対応型ロボット・システム関連製品開発・実証支援事業	福岡県ロボット・システム産業振興会議	ロボット、半導体関連製品の開発・実証に関する費用について支援（介護ロボットなどの開発にかかる提案も可能）	次の条件を満たす企業を含む単独又は複数の企業等 (1)単独の場合、振興会議会員（法人格を有していること）であり、かつ県内に研究、生産・活動拠点を有するものであること。 (2)グループの場合、全ての構成員は振興会議会員であり、かつグループのリーダーは県内に研究、生産・活動拠点を有する振興会議の会員企業（法人格を有していること）であること。	補助対象経費の1/2 ※新型コロナウイルス感染症の影響を受け売上高が減少している場合は3/4	令和3年5月20日から6月30日まで	採択件数： (1)製品開発・実証補助：7件 (2)可能性試験補助：4件 総額（予定）：31,100,000円	採択件数： (1)製品開発・実証補助：11件 (2)可能性試験補助：1件 総額：30,884,681円	部署 担当者 電話番号 092-643-3453 FAX番号 092-643-3421 E-mail info@robot-system.jp HP_URL https://www.robot-system.jp/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数：7件	R2実績 採択件数：5件	連絡窓口	
									部署	担当者
1	さが「きらめく」ものづくり産業創生応援事業 (新技術・新製品開発補助事業)	公益財団法人佐賀県産業振興機構	県内ものづくり企業が取り組む自社技術の高度化や新技術創出を図るとともに、自社技術を活用した新製品開発に要する費用の一部を支援	佐賀県内に生産又は研究開発に関する業務を実施する事業者 業者	補助対象経費の2/3以内（補助上限額5,000千円）	2021年4月12日～5月14日	採択件数：7件	採択件数：5件	佐賀県ものづくり産業課 ものづくり推進担当	
									電話番号 0952-25-7421	
									FAX番号	
									E-mail monodukurisangyou@pfi.ef.saga.lg.jp	
									HP_URL	

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	長崎県情報産業連携体組成事業	長崎県産業労働部 新産業創造課	AI・IoT・ロボット等の情報関連産業分野において、県内企業による「情報産業連携体」を組成することで、事業拡大や県外需要獲得につながる新技術開発や新サービス創出等を図る取組を支援します。	以下の全ての要件を満たす者 ・下記、「情報産業連携体」を構成する中小企業であること。 ・長崎県次世代情報産業クラスター協議会の会員であること。 ※「情報産業連携体」…以下の(1)～(3)全ての要件を満たす者 (1) 県内に事業拠点を有する3社以上の企業から構成されるもの (2) (1)の構成企業は、県内において1年以上の事業実績を有すること (3) (1)の構成企業は、県内においてAI・IoT・ロボット等の情報関連産業分野にかかる研究・開発、製造、販売（代理店を含む）、技術サービスの提供及び関連する業務を行うものであること	対象経費：労務費、旅費、物品費、外注費、その他（指導等経費、事務費等） 助成率：1/2以内 助成限度額：10,000千円	2021年6月17日～	採択件数： 5件 総額（予定）： 40,000,000円	R3年度新規	新産業創造課 DX・新産業支援班 担当者 電話番号 095-895-2525 FAX番号 095-895-2544 E-mail jobcluster@pref.nagasaki.jp HP_URL https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/shigoto-sangyo/sangyoshien/robot-iot/

[一頁次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	医療・福祉機器開発支援等補助金	くまもと医工連携推進ネットワーク	熊本県内の「ものづくり企業等」の医療・福祉関連市場への新たな参入を支援し、医療・福祉現場におけるニーズを的確に捉えた熊本発の製品の創出及び医療機器等の事業化に向けた開発や改良を支援。	熊本県内に本社（店）、または、主要な工場、研究開発拠点等がある「ものづくり企業等」 「くまもと医工連携推進ネットワーク」への登録等が要件	医療及び福祉関連の対象機器（詳しくは募集案内に記載）の実用化、販売を目的とした製品の開発 補助率 1/2、補助上限額3,000千円	2021年5月28日～6月14日	採択件数：0件 総額：0円 ※今年度は募集を行ったもの応募がなかった。	採択件数：1件 総額：3,000千円	(一社) 熊本県工業連合会 くまもと医工連携推進ネットワーク事務局 担当者 電話番号 096-285-8131 FAX番号 096-214-2030 E-mail ikorenkei@kenkenren.gli.jp HP_URL https://kumamoto-ikorenkei.com/
2	介護ロボット研究開発支援補助金	くまもと医工連携推進ネットワーク	熊本県内の「ものづくり企業等」の福祉関連市場への新たな参入を支援し、医療・福祉現場におけるニーズを的確に捉えた熊本発の介護ロボット製品の創出及び介護現場のQOLの向上を促進するため、被介護者・障がい者等の自立支援や介護の負担に役立つ介護機器及び情報システムの開発や改良を支援。	熊本県内に本社（店）、または、主要な工場、研究開発拠点等がある「ものづくり企業等」 「くまもと医工連携推進ネットワーク」への登録等が要件	ロボット技術を活用し、被介護者・障がい者等の自立支援や介護の負担の軽減に役立つ介護機器および情報システムの開発や改良（詳しくは募集案内に記載） 補助率 1/2、補助上限額3,000千円	2021年5月28日～6月14日	採択件数：2件 総額（予定）：6,000千円	採択件数：1件 総額：3,000千円	(一社) 熊本県工業連合会 くまもと医工連携推進ネットワーク事務局 担当者 電話番号 096-285-8131 FAX番号 096-214-2030 E-mail ikorenkei@kenkenren.gli.jp HP_URL https://kumamoto-ikorenkei.com/
3	新製品・新技術研究開発事業助成金	熊本市	成長が期待される分野（情報・通信、医療・福祉、環境、バイオテクノロジー、新製造技術）において、中小企業等が実施する新製品・新技術の研究開発に必要な経費の一部を助成	熊本市内に主たる事業所がある (1) 中製造業者又は小規模企業者 (2) 中製造業者又は小規模企業者を主体とした事業協同組合又は協業組合 (3) 中製造業者又は小規模企業者を主体とした任意の団体	【助成率】 助成対象経費総額の1/2 【限度額】 ・新製品・新技術：200万円 ・小規模企業重点：100万円 【対象経費】 謝金、旅費、委託費、研究開発事業費、直接人件費等	令和3年（2021年）4月19日（月）～5月28日（金）	採択件数： ・新製品・新技術：2件 ・小規模企業重点：1件 総額（予定）：5,000千円	採択件数：4件 (新製品・新技術)：2件 小規模企業重点：2件 総額：4,000千円 小規模企業重点：1件 920千円 新型コロナウイルス対応型：1件 1,668千円 総額：6,588千円	熊本市 起業・新産業支援室 担当者 電話番号 096-328-2392 FAX番号 096-324-7004 E-mail HP_URL https://www.city.kumamoto.jp/hpkij/pub/List.aspx?c_id=5&class_set_id=3&class_id=3447

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数)：5 件 総額(予定)： 18,070,000円	R2実績	連絡窓口
1	医工連携医療関連機器等 事業化補助事業	大分県医療ロボット・機 器産業協議会	自社技術を活用して外部の機関と共同で 医療関連機器等事業化を実施する会員県 内中小企業へ、医療、看護、介護、福祉 機器等若しくはソフトウェア等の開発に かかる経費、又は当該医療関連機器等に 関して、医療機器等の申請・届け出、若 しくは医療関連機器等に関する規格認証 等の取得にかかる経費に対して支援	大分県医療ロボット・機器産業協議会 の会員である、大分県内中小企業	補助対象経費：プラント・機械装置 費、原材料費、外注加工・分析費、委 託費、共同研究費、人件費、旅費、謝 金・報償費、手数料、事務庁費 補助率：補助対象経費の2/3以内 補助限度額：400万円	2021年4月1日～ ～5月7日		—	事務局(大分県商工観光労 働部新産業振興室)
									担当者 電話番号 097-506-3269 FAX番号 097-506-1753 E-mail HP_URL http://medical- valley.jp/

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
-----	-------	------	------	-----	---------	------	------	------	------

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	先端技術研究開発支援事業	鹿児島県	自社のアイデアや技術を活用し、新技術・新製品の開発、AI・IoTやロボット等先端技術を活用した研究開発を行う中小企業者等に対し、その経費の一部を助成	県内中小企業者	対象事業：①オンリーワンといえる革新的な新技術・新製品の研究開発、 ②AI・IoTやロボット等先端的な技術を活用したシステム開発等研究開発 補助率等：対象経費の2/3以内 補助限度額：200万円	2021/4/21～5/21	—	—	かこしま産業支援センター 産学官連携課 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL https://www.kisc.or.jp/outline/div-renkei/project/sentansizyutu/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
-----	-------	------	------	-----	---------	------	------	------	------

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	課題解決型福祉用具実用化開発支援事業	国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)	障害者、高齢者やその介護者のクオリティ・オブ・ライフ向上に資する技術の確立を目指し、福祉用具の実用化開発を行う中小企業に対して助成を行うと同時に、福祉機器のニーズ調査や研究開発に必要な情報の収集・分析・提供を実施します。	中小企業、技術研究組合等	研究開発対象が「福祉用具」であること。その事業が他の補助金、助成金の交付を受けていないこと等。助成率は助成対象費用の2/3以内。ただし、みなし大企業は1/2以内。1年度における助成金の額は2,000万円以内。1助成対象事業あたり最長2年度で4,000万円以内。	2021年5月27日(木)～ 2021年7月13日(火) 正午	採択件数：1件 総額(予定)：63,000,000円	採択件数：4件 総額：58,000,000円	イノベーション推進部 ラットフォームグループ 担当者 電話番号 044-520-5175 FAX番号 044-520-5178 E-mail fukushi@nedo.go.jp HP_URL https://www.nedo.go.jp/koubo/CA2_100306.html

←目次に戻る

令和3年度 介護機器の導入に係る助成制度 一覧

更新日： 令和3年11月

本資料は、都道府県別に1シートに纏めています。

掲載総件数	61件
-------	-----

No.	都道府県	掲載件数
1	北海道	3件
2	青森県	1件
3	岩手県	1件
4	宮城県	1件
5	秋田県	1件
6	山形県	1件
7	福島県	2件
8	茨城県	1件
9	栃木県	1件
10	群馬県	1件
11	埼玉県	1件
12	千葉県	2件
13	東京都	1件
14	神奈川県	5件
15	新潟県	1件
16	富山県	1件
17	石川県	1件
18	福井県	1件
19	山梨県	1件
20	長野県	1件
21	岐阜県	1件
22	静岡県	1件
23	愛知県	1件
24	三重県	1件
25	滋賀県	1件

No.	都道府県	掲載件数
26	京都府	1件
27	大阪府	1件
28	兵庫県	1件
29	奈良県	1件
30	和歌山県	2件
31	鳥取県	2件
32	島根県	1件
33	岡山県	3件
34	広島県	1件
35	山口県	1件
36	徳島県	1件
37	香川県	1件
38	愛媛県	1件
39	高知県	1件
40	福岡県	3件
41	佐賀県	1件
42	長崎県	1件
43	熊本県	1件
44	大分県	1件
45	宮崎県	1件
46	鹿児島県	1件
47	沖縄県	1件

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定 採択件数：未定 総額（予算）： 600,000,000円	R2実績 採択件数： 313件 総額： 335,273,000円 （R3へ繰越15件 分含む）	連絡窓口	
									部署	担当者
1	介護ロボット等導入支援 事業 （介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTの導入支援）	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課	介護従事者の負担軽減及び介護業務の効率化に資する介護ロボット・ICTの導入等の経費について、予算の範囲内で補助する。	介護保険法に基づく介護サービス事業者の指定・許可を受けた北海道内に所在する事業所	介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費とし、保険料、消費税及び地方消費税は含まないものとする。	2021年7月12日～ ～8月13日			高齢者支援局高齢者保健福祉課 介護導入係 011-204-5272 011-232-8308 hofuku.kouhukui@pref.hokkaido.jp	
2	介護サービス提供基盤等整備事業費補助金 （介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTの導入支援）	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課	介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTをあわせて導入する場合には、以下の項目について助成する。 ・介護ロボットにより、介護環境の改善に即効性を持たせるとともに、広く一般に介護事業所による導入が可能となるよう先駆的な取り組みを実施するための経費に対し助成する。 ・介護分野におけるICT化を本格的に進めるため、ICTを活用して介護記録から請求業務までが一気通貫となること等を要件として、介護ソフト及びタブレット端末等を導入するための経費に対し助成する。	次の施設等の配置予定者 1 特別養護老人ホーム及び併設されるショートステイ（定員30人以上） 2 介護老人保健施設（定員30人以上） 3 介護医療院（定員30人以上） 4 ケアハウス（定員30人以上） 5 養護老人ホーム（定員30人以上） 6 介護付きホーム（定員30人以上）	介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費。 補助率は定額。	2021年3月15日～ ～4月9日	0件 （令和3年度から実施）	0件 （令和3年度から実施）	高齢者保健福祉課基盤整備係 011-206-6974 011-232-8308	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/index.htm
3	介護サービス提供基盤等整備事業費交付金 （介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTの導入支援）	北海道保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課	介護施設等の大規模修繕の際に介護ロボット・ICTをあわせて導入する場合には、以下の項目について助成する。 ・介護ロボットにより、介護環境の改善に即効性を持たせるとともに、広く一般に介護事業所による導入が可能となるよう先駆的な取り組みを実施するための経費に対し助成する。 ・介護分野におけるICT化を本格的に進めるため、ICTを活用して介護記録から請求業務までが一気通貫となること等を要件として、介護ソフト及びタブレット端末等を導入するための経費に対し助成する。	市町村	1 介護ロボット・ICTの購入、リース契約に係る経費。 2 上記1の経費を対象として、事業者に交付する補助金。 補助率は定額。	2021年3月15日～ ～4月9日	採択件数：1件 総額（予定）： 19,710,000円	0件 （令和3年度から実施）	高齢者保健福祉課基盤整備係 011-206-6974 011-232-8308	http://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/khf/index.htm

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業 (地域医療介護総合確保基金)	青森県	・介護ロボットの導入に関する費用の助成	県内の介護事業所	介護ロボット ・青森県介護サービス認証事業所認証 評価制度の参加宣言事業所であること。 ・補助率(1/2または3/4)。上限額は導入機器によって異なる。	2021年6月26日 ～10月15日	採択件数 (予定) 15件 総額(予定) 43,900,000円	採択件数： 15件 総額： 43,547,850円	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL 青森県社会福祉協議会H P内で案内

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	令和3年度介護ロボット等導入支援事業	岩手県	介護従事者が継続して就労するための環境整備を図るため、身体的負担の軽減や業務の効率化に資する介護ロボット又はICTを導入する経費に対し、補助を行う	岩手県内で介護サービス事業所を運営する者	介護ロボット等導入支援事業実施用王及びICT導入支援事業実施要綱に準じた補助率及び上限額とする。	令和3年10月7日～令和3年11月12日まで	予算額：172,745千円	採択件数：48件 総額：88,029,000円	保健福祉部 長寿社会課 担当者 電話番号 019-629-5435 FAX番号 019-629-5444 E-mail HP_URL https://www.pref.iwate.jp/index.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット・ICT導入支援事業	宮城県保健福祉部長寿社会政策課	ロボット等介護機器（介護ロボット及び介護機器の魅力向上に資する次世代型のロボット等介護機器）の導入に関する費用について助成	宮城県内に於いて介護サービス事業所を運営する者	介護負担を軽減する介護ロボットや介護職の魅力向上に資する次世代型のロボット等介護機器の導入に要する経費を補助（その他詳細な条件、補助率は検討中。）	令和3年8月27日～10月15日	予算166,000千円	採択法人数：12件 補助金総額：14,703千円	部署 担当者 電話番号 FAX番号 E-mail HP_URL

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット等導入推進支援事業	秋田県健康福祉部長寿社会課	介護ロボット・ICTの導入経費について一部助成	対象：秋田県内の介護サービス事業所 補助先：上記事業所を運営する者	介護従事者の身体的負担軽減や業務の効率化に資する介護ロボット等 詳細は県要綱等参照 https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/57905	(1次募集) 2021年5月27日～7月12日 (2次募集) 2021年10月6日～11月5日	総額 67,000千円	採択件数 24件 総額19,028千円	秋田県長寿社会課 担当者 電話番号 018-860-1364 FAX番号 018-860-3867 E-mail choujuu@pref.akita.lg.jp HP_URL https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/1303

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	令和3年度山形県介護ロボット導入支援事業費補助金	山形県健康福祉部高齢者支援課	<p>介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備をする際の経費の一部を助成</p> <p>介護ロボット： 日常生活支援における①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットであること。</p> <p>見守り機器の導入に伴う通信環境整備： (1) Wi-Fi環境を整備するために必要な経費 (2) 職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカム</p>	介護保険法に基づき指定又は許可を受けた山形県内の介護サービス事業所を運営する者	補助率は1/2で介護ロボットの上限額は、移乗支援・入浴支援の機器は100万円/台、それ以外は30万円/台。見守り機器の導入に伴う通信環境整備の上限額は、750万円/事業所。詳細は別添要綱を参照。	令和3年8月31日(火) ～令和3年10月1日(金)	総額： 2,600万円	<p>採択件数： 25件</p> <p>総額： 32,837,000円</p>	<p>部署 高齢者支援課</p> <p>担当者 023-630-2189</p> <p>電話番号 023-630-3321</p> <p>E-mail</p> <p>HP_URL https://www.pref.yamagata.jp/gata.ip/090002/kenfuku/koreisha/jigyosha/kaigorobot_ict/201012.html</p>

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口					
									部署	福島県高齢福祉課	担当者	電話番号	FAX番号	E-mail
1	ICT等を活用した介護現場 資産性向上支援事業	福島県保健福祉部高齢福祉課	高齢者介護施設・事業所等における介護 支援ロボットの導入に対し、費用の一部 を補助する。	高齢者介護施設・事業者等	HAL®腰タイプ介護・自立支援用、腰補助用 マッスルスーツ® 上記の介護支援ロボットの導入初年度 の購入に要する経費について、2/3以 内を補助。	2021年6月～ ～10月 (追加募集の有無は未 定)	採択件数： 40件 総額（予定）： 10,250,000円	採択件数： 55台 総額： 5,339,000円	部署 福島県高齢福祉課	担当者	電話番号 024-521-7533	FAX番号 024-521-7748	E-mail kourei@pref.fukushima.jp	HP_URL https://www.pref.fukushima.jp/sec/21025c/
2	ICT等を活用した介護現場 資産性向上支援事業	福島県保健福祉部高齢福祉課	介護ロボット導入による労働負担軽減の 取り組みを支援する。	介護事業所（介護保険法に基づく全 サービスを対象とする）	介護支援ロボット 移乗支援（装着型・非装着型）、入浴 支援1,000千円/台以内 補助率1/2以 内 上記以外300千円/台以内 補助率1/2 以内 (検討中のため変更となる可能性があ ります)	2021年7月～ ～8月 (追加募集無)	採択件数： 110件 総額（予定）： 40,000,000円	採択件数： 25事業所 総額： 15,764,000円	部署 福島県高齢福祉課	担当者	電話番号 024-521-7533	FAX番号 024-521-7748	E-mail kourei@pref.fukushima.jp	HP_URL https://www.pref.fukushima.jp/sec/21025c/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	ロボット介護機器普及支援事業	茨城県	介護現場へのロボット介護機器の導入による介護従事者の負担軽減や雇用環境の改善により、働きやすい介護の職場づくりを推進する。	茨城県内にある、介護保険の指定を受けている事業所	補助率は1/2。補助上限額は30万円とする。 なお、見守り機器導入にかかる通信環境整備費は750万円が上限である。	2021年4月30日～ ～6月4日	採択数： ロボット528台 通信 16事業所 総額（予定）： 70,954,000円	採択件数： ロボット135台 通信 7事業所 総額： 18,405,000円	部署 長寿福祉推進課 担当者 電話番号 029-301-3343 FAX番号 029-301-3348 E-mail chofukuk6@pref.ibaraki.jp HP_URL https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushishi/chofuku/shisetsu/kaigoroboku/todounyuuusienziyou.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	栃木県高齢対策課	介護ロボット導入支援事業、見守り機器の導入に伴う通信環境整備、ICT導入支援事業への補助	県内の介護サービス事業者	<p>国の実施要綱に準じるが、補助上限額、補助率は以下のとおり。</p> <p>○介護ロボット機器 1 機器につき導入経費の2分の1（補助限度額30万円）</p> <p>○通信環境整備 1 事業所につき整備経費の2分の1（補助限度額150万円）</p> <p>○ICT機器 1 事業所につき導入経費の2分の1（補助限度額100万円）</p>	2021年4月1日～	<p>採択件数：未定</p> <p>介護ロボット、ICT導入支援事業、見守り機器通信環境整備の総額：28,500千円</p>	<p>採択件数：122件</p> <p>総額：20,982千円</p>	<p>部署 高齢対策課</p> <p>担当者</p> <p>電話番号 028-623-3057</p> <p>FAX番号 028-623-3058</p> <p>E-mail</p> <p>HP_URL http://www.pref.tochigi.lg.jp/e03/kaigozinzaika/kuho.html</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット等導入支援事業	群馬県	介護施設・事業所が行う介護ロボットの導入に要する経費の一部を補助	介護保険法に基づくサービスを行う介護施設・事業所	<p>範囲または条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助対象経費に1/2あるいは3/4を乗じた額と、1機器あたり30万円（移乗支援・入浴支援は100万円）の基準額とを比較して少ない方の額を補助。 ・令和2年度までの補助台数を含め、利用者定員数の2割を補助上限台数とする。 	令和3年3月22日～ ～5月10日	採択件数：28件 総額：3,422万円	<p>R2実績</p> <p>採択機器数：155 機器 総額： 11,038,000円</p>	<p>介護高齢課人材確保係</p> <p>部署</p> <p>担当者</p> <p>電話番号 027-226-2564</p> <p>FAX番号 027-223-6725</p> <p>E-mail</p> <p>HP_URL https://www.pref.gunma.a.jp/02/d2300345.html</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット普及促進事業	埼玉県高齢者福祉課	<p>(予定) 介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備をする際の経費の一部を助成</p> <p>介護ロボット： 日常生活支援における①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットであること。</p> <p>見守り機器の導入に伴う通信環境整備： (1) Wi-Fi環境を整備するために必要な経費 (2) 職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカム (3) 介護ロボット機器を用いて得られる情報を介護記録にシステム連動させるために必要な経費</p>	<p>介護保険法に基づき指定又は許可を受けた埼玉県内に所在する介護サービス事業者</p>	<p>範囲または条件 1 機器につき、a又はbのいずれか低い額。 a 所要経費の3/4 b 移乗支援、入浴支援：100万円 見守り機器（導入に併せて実施する通信環境整備費を含む）：30万円 その他機器：30万円 (申請総額が予算を超えた場合、上記のとおり交付できないことがある)</p>	令和3年7月～8月	<p>R3予定 採択件数 63件 総額（予定）： 41,013,000円</p>	<p>R2実績 採択件数 117件 総額： 41,541,000円</p>	<p>連絡窓口 部署 高齢者福祉課施設整備担当</p> <p>担当者</p> <p>電話番号 048-830-3260</p> <p>FAX番号 048-830-4781</p> <p>E-mail a3240-06@pref.saitama.lg.jp</p> <p>HP_URL https://www.pref.saitama.lg.jp/a0603/kaigo-net/robot/saitama.html</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	千葉県介護ロボット導入支援事業費補助金	千葉県	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図ることなどを目的とし、県内に所在する介護サービス事業者等が介護ロボットを導入するために要する経費について補助	県内に所在する民間の介護サービス事業者等	(範囲) 介護ロボット導入に係る経費の1/2を補助(上限額あり)。【令和2年度現在】 (条件) 介護ロボット導入計画に基づき、導入により得られた効果に関するデータ等について、定期的に県へ報告する。	令和3年10月27日(水) ～令和3年11月17日(水)【必着】	予算額： 64,000,000円	採択件数： 73件 総額： 57,639,000円	部署 高齢者福祉課法人支援班 担当者 電話番号 043-223-2350 FAX番号 043-227-0050 E-mail — HP_URL https://www.pref.chiba.lg.jp/cate/kfk/fukushi/koureisha/service/index.html
2	大規模修繕時介護ロボット・ICT導入支援事業	千葉市	大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入費用を助成する。	千葉市内の特別養護老人ホーム、介護老人保健施設、認知症高齢者グループホーム等	定員数に420千円乗じた額の範囲で市長が定める額	前年度調査により、決定済	1件 約15,000千円	令和3年度新規事業	部署 介護保険管理課 担当者 電話番号 043-245-5206 FAX番号 043-245-5623 E-mail kaigohokenkanri.HWS@city.chiba.lg.jp HP_URL https://www.city.chibai.p/hokenfukushi/koreishogai/kaigohokenkanri/robot/daikiborobot_syukusya.html

← 目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	次世代介護機器導入支援事業	東京都	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化など、介護環境の改善に資する次世代介護機器の導入に必要な経費の一部を補助します。	事業内容により異なる	事業内容により異なる	令和3年8月上旬～9月下旬	採択件数： 未定 総額： 未定	採択件数： 71件 総額： 186,614,000円	部署 福祉保健局高齢社会対策部 介護保険課介護人材担当 担当者 電話番号 03-5320-4267 FAX番号 03-5388-1395 E-mail HP_URL https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kourei/hoken/jisedaikaiigo/jisedaikaiyou.html

← 目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	ロボット導入支援補助金	神奈川県産業振興課	「さがみロボット産業特区」で商品化されたロボットの導入経費を補助 ※介護ロボットに限りません	① 県内に事務所又は事業所を有する法人・個人事業者等(地方公共団体等を含む) ② 神奈川県内に在住している個人 ③ ①・②にロボットを貸与するため、ロボットを購入するリース業者・レンタル業者	対象ロボット さがみロボット産業特区の取組を通じて商品化されたロボット 補助金額 ロボット1台ごとに導入経費(※)の1/3 ※購入の場合：本体価格+対象付属品等の価格、 ロボット製造元等から貸与を受ける場合：当該年度における賃料総額(本体価格+対象付属品等の価格) 主な補助の条件 年度内の補助の上限 1 申請者当たりの補助上限額 100万円、補助上限台数 10台 補助条件 ロボット導入支援補助金交付要領で定める要件を満たす事業(導入)計画であること	2021年6月1日～ ～2022年1月31日 ※予算上限に達した場合は期限前に終了	補助件数： 未定 総額(予定)： 4,953,000円	補助件数： 50件 総額： 4,862,000円	部署 産業振興課 担当者 電話番号 045-210-5652 FAX番号 045-210-8871 E-mail HP_URL https://www.pref.kanagawa.jp/docs/sr4/robot-donvu-hojo.html
2	横浜市介護ロボット等導入支援事業費補助金	横浜市健康福祉局高齢健康福祉課	介護ロボット等を導入する経費を助成することにより、介護従事者の負担軽減や働きやすい職場環境の整備を図る	市内特別介護老人ホーム、介護老人保健施設、養護老人ホーム、介護付有料老人ホーム、ケアハウス、認知症高齢者グループホーム、ショートステイ等	補助金額：経費の9/10(上限90万円) 対象機器：見守り支援・排せつ支援・介護業務支援において使用される機器、ポータブル翻訳機 補助条件：補助年度に介護職員を新たに雇用すること。ポータブル翻訳機は外国人を2名以上。それ以外は中高齢者、又は外国人を3名以上。	2021年5月1日～ =12月17日	20件 18,000,000円	15件 13,449,000円	部署 健康福祉局高齢健康福祉課 担当者 電話番号 045-671-3920 FAX番号 kf- E-mail zinzei@city.yokohama.j HP_URL https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai http://kurashi/shigoto/kaigo/zinzaikakuho.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
3	川崎市福祉製品導入促進補助金	川崎市役所	産業と福祉の融合で新たな活力と社会的価値を創造することを旨とする「ウェルフェアイノベーション」を推進するため、かわさき基準（KIS）認証福祉製品等を市内の事業所に導入する際に必要な経費を助成	川崎市生活支援機器・施設内支援機器等モニター評価等支援事業実施要綱に基づき登録されたモニター評価等支援事業所（市内に事業所を有して1年以上、同一事業を行っていること）	購入費又は借受料、運搬費、設置又は配置にかかる工事費 補助率：2分の1以下 補助限度額：30万円	2021年9月15日～10月29日	採択件数：未定 総額（予定）：1,500,000円	採択件数：8件 総額：2,025,000円	経済労働局イノベーション推進室 担当者 電話番号 044-200-2513 FAX番号 044-200-3920 E-mail 28innova@city.kawasakijp HP_URL https://www.city.kawasakijp/280/page/0000107692.html
4	介護ロボット導入支援事業補助	神奈川県高齢福祉課	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化が期待できる介護ロボットについて、導入に係る経費の助成を行う	神奈川県内に所在する、介護保険法による指定又は許可を受けている居宅サービス事業者（居宅介護支援事業所、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売を除く。）、地域密着型サービス事業者及び介護保険施設の開設者（居宅介護支援事業者、介護予防サービス事業者、地域密着型介護予防サービス事業者及び介護予防支援事業者は対象外。）	介護サービス事業所等での移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用することで、効率化や負担軽減などの効果がある介護ロボット 神奈川県介護ロボット導入支援事業費補助金交付要領で定める目的要件・技術的要件・市場的要件を満たすこと 1機器につき導入に係る費用の1/2又は3/4を補助	2021年5月24日～6月25日	補助台数（予定）：457台 総額（予定）：183,000,000円	補助件数：1,321台 総額：161,422,000円	高齢福祉課 担当者 電話番号 045-210-1111（内線4853） FAX番号 045-210-8874 E-mail fshisetsu.508@pref.kanagawa.jp HP_URL https://www.pref.kanagawa.jp/docs/u6s/cnt/f420373.jp1075201.html
5	相模原市ロボット・AI・IoT活用DX化促進支援補助金	相模原市	ポストコロナ時代における自動化や非接触を図る事業者を支援するため、ロボットやAI、IoTを活用した設備投資・システム構築に係る経費の一部を補助するもの	相模原市内に事業所を有する事業者	【対象事業】 製造、医療、物流、飲食・サービス業等の現場へロボットやAI、IoTを導入する事業 ※相模原市内の中小企業に発注する事業に限る 【対象経費】 機械装置・器具・システム等導入費、委託費、専門家経費 など 【補助率】 中小企業：2/3以内 大企業：1/2以内 【補助金額】 1件あたり最大1,000万円	2021年6月1日（火）～6月30日（水）	総額（予定）：60,000,000円	なし ※R3創設 ※R4以降未定	産業・雇用対策課 事業継続応援班 担当者 電話番号 042-707-7468 FAX番号 042-754-1064 E-mail sangyou.k@city.sagami.jp hara.kanagawa.jp HP_URL https://www.city.sagami.jp/hara.kanagawa.jp/sangyo/sangyo/1019826/1023108.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット等導入支援事業	新潟県高齢福祉保健課	介護従事者の負担軽減に有効な介護ロボットの導入に係る経費を補助する。	介護保険法に基づく指定等を受けた新潟県内に所在する事業所	<p>範囲または条件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目的要件、技術的要件、市場的要件を満たす介護ロボット ・見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費 ・総費用の1/2を補助（補助上限額あり） 	2021年5月27日～ ～6月28日	<p>R3予定</p> <p>採択件数：94件 総額（見込み）：39,475千円</p>	<p>R2実績</p> <p>採択件数：118件 総額：56,156千円</p>	<p>連絡窓口</p> <p>部署：新潟県高齢福祉保健課</p> <p>担当者</p> <p>電話番号：025-280-5272</p> <p>FAX番号：025-280-5229</p> <p>E-mail</p> <p>HP_URL： https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/kourei/2021_0527robot.html</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入促進事業	富山県厚生部高齢福祉課	介護ロボット機器等を導入することで業務改善を図る事業者に対し、介護ロボット機器導入経費を補助	富山県内に於いて介護保険サービスを提供する指定事業者又は施設開設者 ※処遇改善加算Ⅰ～Ⅲのいずれかを取得していること	範囲または条件 【補助率】2/3（一定の要件を満たす事業所については3/4） 【補助限度額】 (1)介護ロボットの購入、リース等に係る経費 ・移転支援又は入浴支援⇒1機器につき100万円 ・上記以外⇒1機器につき30万円 (2)見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費 ⇒1事業所につき100万円 ※1法人あたりの補助総額上限：200万円	2021年6月25日～ ～7月26日	予算： 49,700,000円	R2実績 採択件数： 28件 総額： 33,351,000円	部署 高齢福祉課 担当者 電話番号 076-444-3414 FAX番号 076-444-3492 E-mail HP_URL https://www.pref.toyama.lg.jp/1211/kurashi/kenkou/koureisha/robot.htm

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護施設ICT・IoT導入促進事業	石川県長寿社会課	介護事業所でのICT・IoT機器の導入に係る経費について助成	石川県内の介護事業所（介護保険法に基づき全サービス）	申請時点でICT・IoT機器導入に係る検討チームを組織し検討を行い、そのメンバー1名以上が、石川県が開催する養成研修に参加できること 【補助率】 一定の要件を満たす場合、4分の3（満たさない場合、2分の1） 【補助限度額】 ICT：750千円（500千円）/事業所 IoT：移乗支援機器、入浴支援機器900千円（600千円）/台、その他の機器300千円（200千円）/台 【IoT機器の補助限度台数】施設系は定員の10分の1、在宅系は定員等の20分の1	第1回：2021年4月1日 ～7月1日 第2回：2021年9月30日 ～10月29日	採択件数： 80件程度 総額（予定）： 93,500千円	採択件数： 41件 総額： 19,679千円	部署 長寿社会課 担当者 電話番号 076-225-1416 FAX番号 076-225-1418 E-mail kaigo@pref.ishikawa.lg.jp HP_URL https://www.pref.ishikawa.lg.jp/ansin/ict-iot.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	福井県長寿福祉課	介護ロボットの購入経費に対して助成	県内介護事業所	介護負担を軽減する介護ロボット見守り機器の導入に伴う通信環境整備 介護ロボット導入計画の作成、導入効果の報告 補助率1/2	2021年6月11日～ ～7月9日 2021年10月8日～ ～11月5日	採択件数(予定)： 介護ロボット33 事業所 通信環境整備13 施設 総額(予定)： 112,350千円	採択件数： 109事業所 総額： 85,401千円	部署 長寿福祉課 担当者 電話番号 0776-20-0332 FAX番号 0776-20-0642 E-mail https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kourei/index.html HP_URL tml

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	山梨県介護ロボット導入費補助金	山梨県	介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に要する費用を支援	山梨県内に所在する介護施設（山梨県介護ロボット導入費補助金交付要綱別表に定める施設、事業所）	介護ロボット導入費及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備を補助	2021年7月1日～ ～8月2日	—	R2実績 採択件数：21施設 13,546千円	部署 福祉保健部健康寿命推進課 担当者 電話番号 065-223-1451 FAX番号 065-223-1468 E-mail chouju@pref.yamanashi.lg.jp HP_URL https://www.pref.yamanashi.jp/chouju/kaigoro-bo2015.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	長野県介護支援課	介護ロボットの導入にかかる経費を助成	県内介護サービス事業者	<p>介護職員の負担を軽減する介護ロボット 3年間効果の検証を行い報告すること また、他の施設等からの視察など、照会にも応じること 総費用の1/2を補助(1台当たり30万円を上限。1事業所あたり利用定員の2割までの台数制限有。)</p>	<p>2020年9月7日～9月30日 ※令和2年度中に募集終了</p>	<p>採択件数： 6件 総額(予定)： 2,683,000円</p>	<p>採択件数 9件 総額 10,856,000円</p>	<p>部署 介護支援課</p> <p>担当者</p> <p>電話番号 026-235-7129</p> <p>FAX番号 026-235-7394</p> <p>E-mail kaigo-jinzai@pref.nagano.lg.jp</p> <p>HP_URL https://www.pref.nagano.lg.jp/shien/jinzai/kaigorobottop.html</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	岐阜県介護ロボット導入促進事業費補助金	岐阜県	介護人材の確保のため、働きやすい職場環境の構築に有効性の高い介護ロボットの導入に対して補助	岐阜県内のすべての介護保険事業所	<ul style="list-style-type: none"> 介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備（「岐阜県介護ロボット導入促進事業費補助金交付要綱」に定義するもの） 導入効果の報告及び他施設への周知 一定の要件を満たす事業所は3/4 それ以外の事業所は1/2 	2021年5月24日～ ～6月21日	採択件数（予定）：50件 総額（予定）：119,204千円	採択件数：94事業所 総額：215,644千円	高齢福祉課 担当者 電話番号 058-272-8289 FAX番号 058-278-2639 E-mail c11215@pref.gifu.jp HP_URL https://www.pref.gifu.lg.jp/page/130095.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護分野ICT化等事業 費補助金（介護ロボット 導入促進事業）	静岡県	介護業務の効率化を図ることで、介護職員の身体的・精神的負担を軽減し、離職防止や職場定着に資するため、介護ロボット導入支援事業を実施する介護事業所を運営する法人の長に対し、予算の範囲内において補助する。	静岡県内に所在し、介護保険法（平成9年法律第123号）に基づき指定又は許可を受けた事業所等	<p>移乗介助機器、移動支援機器、排泄支援機器、見守り機器（見守り機器導入に伴う通信環境整備）、コミュニケーション機器、入浴支援機器、介護業務支援機器の購入又はリース費用を補助。</p> <p>補助額は、補助対象経費の2分の1の額と補助基準額を比較し、いずれか少ない方の額。</p> <p>補助上限台数を利用定員数を10で除した数。</p>	令和3年9月22日～令和3年10月15日	340,400千円（予定） ※ICT導入促進事業メニューとの合算	143件 84,339千円	部署 静岡県介護保険課 担当者 電話番号 054-221-2084 FAX番号 054-221-2142 E-mail kaigohoken@pref.shizuoka.lg.jp HP_URL http://www.pref.shizuoka.jp/kousei/ko-220/jinzai/ici/top.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	愛知県高齢福祉課	地域医療介護総合確保基金を活用し、介護事業所における介護ロボットの導入に際しては、介護事業所における介護ロボットの導入にかかる経費を補助する。	愛知県内に所在する介護保険に基づき指定介護サービス事業所及び施設開設者。	<p>(範囲)</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボット。 次の1又は2のいずれかを満たすロボットであること。 1 センサー等により外界や自己の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行い、従来ではできなかった動作を発揮する介護ロボット。 2 経済産業省の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」又は「ロボット介護機器開発・標準化事業」において採択された介護ロボット。 <ul style="list-style-type: none"> 販売価格等が公表されており、一般に購入又はリース等のできる状態にあること。 見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境整備に係る経費 ロボット1機器当たり（通信環境整備の場合は、1事業所当たり）3/4（※）または1/2を補助（補助上限額あり） <p>※一定の要件を満たす場合、補助率を3/4とする。</p> <p>(条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> 介護ロボット等の導入計画書を作成すること。 介護ロボットの1回当たりの限度台数は、知事が必要と認める台数。 通信環境の整備は、1事業所につき1回の補助。 	2021年6月1日～6月25日 事前協議受付 その後、内示を受けた事業所のみ申請受付。	総額（予定）： 244,850,000円	R2実績 採択件数：1,703台・式 総額：199,600,000円	高齢福祉課 部署 担当者 電話番号 052-954-6289 FAX番号 052-954-6919 E-mail korei@pref.aichi.jp
							HP_URL https://www.pref.aichi.jp/soshiki/korei/		

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	三重県	介護ロボットを導入する際の経費、及び見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境を整備するための経費について一部を補助	三重県内に所在し介護保険法（平成9年12月17日法律第123号）第8条（第6項、第12項及び第13項を除く。）に掲げる事業を行う事業所及び施設	範囲または条件 介護負担を軽減する介護ロボット導入により得られた効果について、導入の翌年度から3年間報告を行うこと 総費用の4/5を補助予定	2021年7月9日から7月30日まで	R3予定 採択件数：未定 総額：未定	R2実績 採択件数：33件 総額：67,317,000円	連絡窓口 部署 医療保健部長寿介護課 担当者 電話番号 059-224-2235 FAX番号 059-224-2919 E-mail chojus@pref.mie.lg.jp HP_URL https://www.pref.mie.lg.jp/CHOJUS/HP/29645022870_00012.htm

[← 目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	滋賀県介護職員職場環境改善支援事業	滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課	介護業務の効率化と介護従事者の負担軽減の導入に要する経費を補助する	県内で介護保険法による居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス、地域密着型介護予防サービス、地域密着型介護予防サービスの指定・許可を受けている施設・事業所	介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットを導入 導入成果報告書の提出および公表 補助額： 【介護ロボット】1 機器につき上限30万円（移乗支援および入浴支援に限り100万円） 【見守り機器の導入に伴う通信環境整備】1 事業所につき上限750万円 補助率：対象経費の1/2、一定の要件を満たす場合は3/4	2021年6月11日～ ～7月9日	予算額：100,000千円（ICT導入助成を含む）	R2実績 採択件数： 53件 総額： 50,927千円	医療福祉推進課 担当者 電話番号 077-528-3523 FAX番号 077-528-4851 E-mail ed00@pref.shiga.lg.jp HP_URL http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kenkouiryoku/hukushi/koureisya/319188.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	京都府介護ロボット等導入支援事業	京都府健康福祉部地域福祉推進課	介護ロボット等の導入を促進することにより、介護に関するサービスの提供が継続し、介護従事者の身体的負担の軽減及び業務の効率化を図るとともに、介護従事者が継続して就労可能な環境を整備するため、予算の範囲内において補助金を交付する。	次に掲げる要件の全てを満たす介護サービス事業所 (1) 介護保険法に基づき指定又は許可を受け、京都府内で介護サービスを提供していること。 ただし、居宅療養管理指導、福祉用具貸与、特定福祉用具販売、介護予防福祉用具販売、介護居宅療養管理指導、介護予防福祉用具貸与及び特定介護予防福祉用具販売を除く。 (2) きょうと福祉人材育成認証制度の宣言法人・事業所、認証法人・事業所、上位認証法人であること。	「介護ロボット」とは、次に掲げる要件を満たす知能を備えた機械をいう。 (1) 介護サービスにおける、介護従事者による利用者の移乗、移動、排泄及び入浴並びに利用者の状態の確認、利用者との意思疎通その他介護を行うときに使用され、介護従事者の身体的負担の軽減及び業務の効率化に効果があること。 (2) 次に掲げるいずれかの要件を満たすものであること。 ア 自己及び周辺の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に基づいて動作を行うこと。 イ 国立研究開発法人日本医療研究開発機構が平成30年度から実施しているロボット介護機器開発・標準化事業に採択されていること。 (3) 販売価格が表示され、かつ、広く販売されていること。 一定の条件を満たす場合は総費用の3/4を補助 それ以外の場合は総費用の1/2を補助 ※一定の条件：見守り支援介護ロボット、介護従事者が見守り支援介護ロボットの使用により得られた利用者の状態に係る情報を他の介護従事者に即時に伝達することを可能とする機能を有する機器（インカムなど）、介護サービスの利用者から当該機器が測定した情報を取得し、及び見守り支援介護ロボットの使用により得られる介護サービスの利用者の状態に係る情報を取得し、かつ、介護従事者が介護に係る記録の作成、情報の共有及び報酬の請求を一貫して処理することを可能とする機能を有するソフトウェアに当該情報を接続送信する機能を有し、かつ、衣類、腕又は首に装着することを可能とする機器（バイタル測定器と連携し、介護ソフトに情報接続することができるウェアラブル機器）のうち複数の種類の機器又は介護ソフトを導入し、かつ、介護従事者の人員の配置を効率化するための体制を整備することにも介護サービスの質の維持及び向上又は介護従事者の休憩時間の確保のために取り組むことを予定していること 限度額：介護ロボットの備品購入費、使用料、賃借料及び初期設定に要する費用 →導入する介護ロボット1台当たり30万円。 ただし、介護従事者による利用者の移乗及び入浴に使用される介護ロボットにあっては、導入する介護ロボット1台当たり100万円 通信機器等を導入する際の備品購入費、使用料、賃借料及び設置費 →導入する各介護サービス事業者あたり750万円	令和3年9月13日～令和3年10月29日	採択件数：未定 総額：未定	採択件数：27件 総額：30,208,000円	地域福祉推進課 担当者
									電話番号 075-414-4675
									FAX番号 075-414-4615
									E-mail
									HP_URL https://www.pref.kyoto.jp/chiki/news/3kaieoroboict.html

→目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	大阪府介護ロボット導入活用支援事業	大阪府	介護ロボット、見守り機器の導入に伴う通信環境整備の費用について助成。	大阪府内の介護事業者（居宅介護支援事業者、介護予防サービス事業者は除く）	範囲または条件 補助率は1/2又は3/4（上限あり）。介護ロボットの上限額は、移乗支援・入浴支援の機器は100万円/台、それ以外は30万円/台。 見守り機器の導入に伴う通信環境整備の上限額は、750万円/事業所。 その他条件や詳細は要綱を参照。	2021年7月1日～ ～8月31日	R3予定 採択件数： 69件 総額（予定） 177,150,000円	R2実績 採択件数： 63件 総額 46,128,000円	連絡窓口 部署 福祉部高齢介護至介護事業 者課整備調整グループ 担当者 電話番号 06-6944-7104 FAX番号 06-6944-6670 E-mail koreikaigo- g07@sbox.pref.osaka.lg.jp HP_URL http://www.pref.osaka.lg.jp/koreishisetsu/kaigogrobo/kaigorobohozyo.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護業務における労働環境改善支援事業	兵庫県高齢政策課	介護職員の負担軽減を図ることを目的として介護ロボット等の導入に係る費用について補助	介護ロボット 介護保険施設・事業所 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備 介護保険施設	<ul style="list-style-type: none"> 事前協議時に導入計画書を提出 導入後及び翌年度から3年間報告書を提出 補助率 1 / 2 (一定の要件を満たす場合は3 / 4)	2021年6月～9月	採択施設 約200施設 補助額 未定	採択施設 101施設 補助額 162,767,000円	高齢政策課 担当者 電話番号 078-362-9117 FAX番号 078-362-3470 E-mail HP_URL https://web.pref.hyogo.lg.jp/org/koreitaisakuka/index.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	奈良県	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図るために介護ロボットを導入するために要する経費を支援	奈良県内の介護施設又は事業所において介護サービスを行う者	(R2) 予算の範囲内で対象事業に要する経費の1/2 (R3) 予算の範囲内で対象事業に要する経費の1/2	令和3年2月26日～令和3年3月12日(金)	【採択件数】 8件 【採択総額】 7,555,000円	採択件数： 18件 総額： 14,119,000円	部署 長寿・人材確保対策課 担当者 電話番号 0742-27-8039 FAX番号 0742-26-1015 E-mail fukushijinzaai@office.pre f.nara.lg.jp HP_URL

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット等導入支援事業	和歌山県長寿社会課	介護事業所において介護従事者の負担を軽減する効果のある介護ロボットやICTの導入にかかる費用について助成	介護保険法に基づき指定又は許可を受けている和歌山県内に所在する事業所	<ul style="list-style-type: none"> 介護ロボットを軽減する介護ロボットまたはICT 介護ロボット及びICTを導入した事業所は得られた効果等を県に報告すること 一定の要件を満たす場合総費用の3/4、満たさない場合1/2を補助予定(※補助上限額あり) 	令和3年7月1日～令和3年8月2日	※精査中	採択件数： 60件 総額： 65,600,000円	部署 長寿社会課 担当者 電話番号 073-441-2519 FAX番号 073-441-2523 E-mail e0403001@pref.wakava.ma.lg.jp HP_URL https://www.pref.wakava.ma.lg.jp/prefig/040300/index.html
2	和歌山県障害福祉分野における介護ロボット等導入支援事業	和歌山県障害福祉課	障害者支援施設等事業者が介護従事者の負担を軽減する効果のある介護ロボット等を導入する際に必要な備品購入費、リース・レンタル料、セットアップ費用を助成	県知事が認めた社会福祉法人、公益社団法人、公益財団法人及び特定非営利活動法人等の団体が運営する障害者支援施設事業者	日常生活支援における、①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援のいずれかの場において使用され、介護従事者の負担軽減効果があること ・1 機器あたりの対象経費の合計額は10万円以上30万円以下(上記①、⑤は上限100万円) ・10/10補助(国2/3、県1/3) ※上限あり	非公募(予算編成時の需 要調査で当該補助事業の 活用希望のあった事業者 に対し再度意向確認を行 い、候補者を選定)	採択件数(予 定)：5件 総額(予定)： 3,062,000円	採択件数：1件 総額： 414,000円	部署 障害福祉課 担当者 電話番号 073-441-2537 FAX番号 073-432-5567 E-mail e0404002@pref.wakava.ma.lg.jp HP_URL https://www.pref.wakava.ma.lg.jp/prefig/040400/index.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて介護ロボット・ICTの導入事業	鳥取県ささえあい福祉局 長寿社会課	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費を助成	県内の介護事業所	特別介護老人ホーム等の大規模修繕の際にあわせて行う、介護ロボット・ICTの導入に必要な経費を補助。	令和2年9月～令和2年10月	採択件数：3件 総額（予定）： 123,060,000円	採択件数：2件 採択総額：46,185,000円 （繰越予定含む）	部署 担当者 電話番号 0857-26-7178 FAX番号 0857-26-8168 E-mail HP_URL
2	鳥取県介護ロボット導入支援事業	鳥取県ささえあい福祉局 長寿社会課	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化に資するため、介護事業所が介護環境改善のために整備する介護ロボット等の購入費、通信環境整備費について助成	県内の介護事業所	国要綱「3補助の対象範囲」と同様。 1事業所あたり、利用定員数の1/10（施設・居宅サービス）、1/20（在宅サービス）を限度台数とする。総費用の1/2を補助。	令和3年4月23日～ ～6月22日	採択件数：19件 30事業所 総額（見込） 45,181,000円	採択件数：14法人 25事業所 総額（実績）： 14,920,000円	部署 担当者 電話番号 0857-26-7179 FAX番号 0857-26-8168 E-mail HP_URL https://www.pref.tottori.jp/ip/129008.htm

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット等導入支援事業	島根県高齢者福祉課	介護ロボット・ICT機器等の購入、リースまたはレンタルに係る費用について助成	介護サービス事業者の指定又は認可を受けた県内に所在する事業所を運営又は開設する者（福祉用具貸与・販売を除く）	範囲または条件 【補助対象範囲】（R3） 介護ロボット（機器導入に伴う通信環境整備含む）及びICT 【補助条件】 ・介護ロボット・・・1機器につき導入経費の1/2（要件を満たす場合3/4）または30万円のいずれか低い額。 ・ICT・・・対象経費の1/2（要件を満たす場合3/4）または職員数に応じた上限額のいずれか低い額。（10名以下50万、20名以下80万、30名以下100万、31名以上130万円上限） ・導入後3年間の使用状況報告	R3.10.8からR3.11.12	予算額 : 66,000,000円	採択件数 : 43件 総額 : 19,704,000円	部署 島根県高齢者福祉課 担当者 電話番号 0852-22-5718 FAX番号 0852-22-5238 E-mail kourei@pref.shi.mane.lg.jp HP_URL https://www.pref.shima.lg.jp/

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	岡山県	介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化を図るために介護ロボットを導入するために要する経費を支援	岡山県内の介護施設又は事業所において介護サービスを行う者	(R2) 予算の範囲内で対象事業に要する経費の1/2 (R3) 予算の範囲内で対象事業に要する経費の1/2又は3/4	R3.8.23からR3.9.30	【参加事業所】未定 【事業費総額】15,000,000円(予算額)	採択件数：12件 総額：7,979,000円	保健福祉部長寿社会課 担当者 電話番号 086(226)7326 FAX番号 086(224)2215 E-mail choju@pref.okayama.lg.jp HP_URL https://www.pref.okayama.lg.jp/soshiki/35/
2	介護ロボット普及推進事業	岡山市保健福祉局保健福祉部医療政策推進課及び岡山市保健福祉局高齢福祉部事業者指導課	市内介護事業所に無償で介護ロボットを貸与(3か月間)することで、市内事業所への介護ロボットの普及や介護ロボット活用による介護職員のスキリアップを図る。また、介護ロボットの効果的な支援施策の導入に向けて、調査分析結果を国へ報告する。	市内の介護事業所	介護ロボットの導入効果等を測るため、介護従事者及び利用者(要介護者等)について、貸与期間前、貸与期間後に調査票を作成すること。	【前期】令和3年5月14日～令和3年6月18日 【後期】令和3年9月9日～令和3年10月18日	【参加事業所】50事業所(見込) 【事業費総額】25,000,000円(予算額)	【参加事業所】38事業所 【事業費総額】18,220,097円	保健福祉局保健福祉部医療政策推進課 担当者 電話番号 086-803-1638 FAX番号 086-803-1776 E-mail iryou@city.okayama.lg.jp HP_URL https://www.city.okayama.lg.jp/shisei/0000021341.html
3	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入事業	岡山市保健福祉局高齢福祉部高齢者福祉課及び事業者指導課	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入に必要な経費を助成	市内の介護施設等	特別養護老人ホーム等の大規模修繕の際にあわせて行う、介護ロボット・ICTの導入に必要な経費(令和元年5月10日老総発0510第1号・老高発0510第1号・老振発0510第1号厚生労働省老健局総務課長・高齢者支援課長・振興課長通知「地域医療介護総合確保基金(介護従事者の確保に関する事業)における「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の実施について)の別紙1・別紙2を準用する。	令和3年5月12日～令和3年5月21日	【採択件数】1施設 【総額】8,693千円(予定額)	【採択件数】6施設 【総額】20,437千円	保健福祉局高齢福祉部事業者指導課 担当者 電話番号 086-212-1014 FAX番号 086-221-3010 E-mail shidou@city.okayama.lg.jp HP_URL -

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	一般社団法人日本福祉用具供給協会中国支部広島県ブロック	県内の介護事業者が介護ロボットを導入する際にかかる経費の一部を補助する。	介護保険法の指定を受け、広島県内に所在する介護サービス事業者	<p>(i) 介護ロボット 次のア～ウの全ての要件を満たす介護ロボットを導入する際の経費を対象とする。</p> <p>ア 目的要件 日常生活支援における、①移乗介護、②移動支援、③排泄支援、④見守り・コミュニケーション、⑤入浴支援、⑥介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減効果のある介護ロボットであること。</p> <p>イ 技術的要件 次のいずれかの要件を満たす介護ロボットであること。 ・ロボット技術(※)を活用して、従来の機器ではできなかった態位性を発揮する介護ロボット ※①センサー等により外界や自己の状況を認識し、②これによって得られた情報を解析し、③その結果に応じた動作を行う介護ロボット ・経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」(平成30年度からは「ロボット介護機器開発・標準化事業」)において採択された介護ロボット(「重点分野6分野13項目の対象機器・システムの開発」に限る。)</p> <p>ウ 市場的要件 ・販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあること。</p> <p>(ii) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備 見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境を整備するための経費として、次のいずれかを対象とする。 ・Wi-Fi環境を整備するための必要な経費 (モデム・ルーター、アクセスポイント、システム管理サーバー、ネットワーク構築等) ・職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーション ・シヨンを図るためのインカム(デジタル簡易無線登録型等のWi-Fi非対応型のインカムを含む) ※既に見守り機器を導入している場合において、見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境の整備を行う場合も対象とする。 ただし、(i)(ii)ともに次に掲げる経費は補助の対象としない。 ア メンテナンスに係る経費及び通信費 イ 設置工事費 ウ 保険料 エ 消費税 オ その他本事業として適当とは認められないと運営委員会が判断した経費</p>	令和3年7月1日～ ～令和3年11月30日 ※予算年度額到達のため、7月30日で受付終了。	採択件数： 55件 総額：(予定) 11,250,000円	採択件数： 55件 総額： 11,427,175円	一般社団法人日本福祉用具供給協会 広島県ブロック 事務局 担当者 電話番号 FAX番号 (082) 877-1079 (082) 877-1323 E-mail jimukyoku@fukushiyogu-hiroshima.jp HP_URL https://www.fukushiyogu-hiroshima.jp/index.php/robot_2021/

[一覧に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	山口県介護ロボット導入支援事業	山口県健康福祉部長寿社会課	介護従事者の身体的負担軽減や業務効率化など、継続して就労するための職場環境整備を支援するため、介護施設の介護ロボット導入費用を一部助成	介護老人福祉施設等施設等居住系サービス事業者及び通所介護等在宅系サービス事業者	①移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面で使用②介護従事者の負担軽減効果のあること③県が定める技術的・市場的要件を満たすこと④1機器につき、補助基準額上限30万円（ただし、60万円未満の機器については、その価格に2分の1（一定の要件に該当する場合は3/4）を乗じて得た額）⑤介護ロボットを導入による介護ロボット使用状況報告書導入年度の翌年度から3年間報告すること。	(一次募集) 2021年6月1日～ ～7月30日 (二次募集) 2021年9月1日～ ～9月30日	採択件数： 40件 総額（予定）： 12,000,000円	採択件数： 19件 総額： 5,764,000円	部署 長寿社会課 担当者 電話番号 083-933-2793 FAX番号 083-933-2809 E-mail shisetsu- choujiv@pref.yamaguchi.lg.jp HP_URL https://www.kaiigo.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/2504.html

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	徳島県	介護ロボットの導入を支援し、介護ロボットを活用することにより、介護従事者の負担軽減等を図り、もって介護従事者の確保につながるものとなるよう、徳島県地域医療介護総合確保基金事業補助金（介護分）を活用し支援	徳島県内に所在する介護サービス事業所を運営又は開設する者	要件：日常生活支援における、①移動支援、②排泄支援、③見守り・コミュニケーション、④入浴支援、⑤介護業務支援のいずれかの場面において使用する介護ロボットであること。 ※補助要綱より一部抜粋 補助率：3/4または1/2	2021年7月30日～ ～8月20日	採択件数（予定）： 42件 総額（予定）： 35,000,000円	採択件数： 36件 総額： 21,601,000円	保健福祉部長兼いきがい課 担当者 電話番号 088-621-2247 FAX番号 088-621-2840 E-mail https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kenko/koreishafukushi/ HP_URL

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	香川県	介護職員の方々の身体的負担を軽減し、業務を効率化する介護ロボット機器及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費の一部を助成する。	香川県内に所在する介護保険法に基づく介護サービス事業所	<p>範囲または条件</p> <p>1 法人当たりの補助上限額を100万円とした上で、次の(i)及び(ii)で算出された額以内の金額で実施。</p> <p>(i) 介護ロボットの導入に伴う経費(ア) 移乗支援(装着型・非装着型)、入浴支援</p> <p>1 機器につき補助上限額は100万円。補助率は2分の1。</p> <p>(イ) 上記以外</p> <p>1 機器につき補助上限額は30万円。補助率は2分の1。</p> <p>(ii) 見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費</p> <p>1 事業所につき補助上限額は100万円とする。補助率は2分の1。</p>	2021年3月26日～ ～5月21日	<p>R3予定</p> <p>採択件数(申請計画書数)：28件 総額(予定)：7,300,000円</p>	<p>R2実績</p> <p>採択件数(申請計画書数)：33件 総額：8,328,000円</p>	<p>連絡窓口</p> <p>部署 健康福祉部長寿社会対策課 担当者 電話番号 087-832-3267 FAX番号 087-806-0206 E-mail sf6384@pref.kagawa.lg.jp HP_URL https://www.pref.kagawa.lg.jp/choju/choju/jigvosya/kikin_hoiyo.html</p>

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護業務支援機器導入促進事業費	愛媛県	介護サービス事業者が介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に要する経費の助成	愛媛県内の介護サービス事業者	介護負担の軽減や業務の効率化に資する介護ロボットの導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備に要する経費 購入費、リース又はレンタル費用 3/4（※要件あり）又は1/2補助 （機器の対象範囲や補助額は国の定めによる）	令和3年6月14日～ ～令和3年7月30日	予算額 39,010,000円 採択台数： 介護ロボット 249台 通信環境整備 17箇所 総額： 38,984,000円	予算額 27,060,000円 採択台数： 介護ロボット 251台 通信環境整備 10箇所 総額： 26,972,000円	愛媛県保健福祉部生きがい推進局長若井義典 係 担当者 電話番号 089-912-2338 FAX番号 089-935-8075 E-mail choujukaigo@pref.ehime.jp HP_URL http://www.pref.ehime.jp/h20400/kaijohoken/kaijorobotdounyuusien/jieyou.html

[← 目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	高知県介護福祉機器等導入支援事業	高知県	職員の負担軽減や業務効率化を目的として介護福祉機器・福祉用具・介護ロボット、ICT機器を導入する場面の経費について支援	<ul style="list-style-type: none"> ・県内法人（独立行政法人、地方公共団体、一部事務組合及び広域連合を除く）のうち、介護保険法による指定又は許可を受け、介護サービスを提供している法人（居宅療養管理指導、福祉用具貸与及び特定福祉用具販売を除く） ・県内法人（独立行政法人、地方公共団体、一部事務組合及び広域連合を除く）のうち、障害者総合支援法及び児童福祉法による指定又は許可を受け、障害福祉サービスを提供している法人 	<p>要件：日常生活支援における、①移動支援、②排泄支援、③見守り・コミュニケーション、④入浴支援、⑤介護業務支援のいずれかの場面において使用される介護ロボットであること。</p> <p>※補助要綱より一部抜粋</p> <p>補助率：3/4または1/2</p>	<p>一次募集：令和3年6月23日～7月30日</p> <p>二次募集：準備中</p>	<p>採択件数：公募中</p> <p>総額（予定）：177,880千円（予算額）</p>	<p>採択件数：9法人13事業所</p> <p>総額：9,448千円</p>	<p>部署 地域福祉政策課</p> <p>担当者 088-823-9631</p> <p>電話番号 088-823-9207</p> <p>FAX番号 060101@ken.pref.kochi</p> <p>E-mail 18061700027@pref.kochi.jp</p> <p>HP_URL https://www.pref.kochi.jp/soshiki/060101/2018061700027.html</p>

[← 目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	福岡県介護ロボット導入支援事業	福岡県	介護ロボットを購入する経費及び見守り機器を効果的に活用するために必要な通信環境整備に係る経費の一部を補助する。	福岡県内に所在する介護保険法上の介護サービスを実施する事業所	<p>範囲または条件</p> <p>1 補助対象経費 (1) 介護ロボットを導入する事業 次の①～③の全ての条件を満たす介護ロボットを購入する際の経費 ①目的要件 日常生活支援における、移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面において使用され、介護従事者の負担軽減に効果のある介護ロボット ②技術的要件 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」（平成30年度からは「ロボット介護機器開発・標準化事業」）において採択されたロボット（「重点分野6分野13項目の対象機器・システムの開発」に限る。）、又は、ロボット技術を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を介護分野で発揮するロボット ③市場的要件 販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあるロボット (2) 通信環境を整備するための事業 次の①～③のいずれかを対象とし、既に見守り機器を導入している場合も対象とする。 ①Wi-Fi環境を整備するために必要な経費 ②職員間の情報共有や職員の移動負担を軽減するなど効果・効率的なコミュニケーションを図るためのインカムを導入するための必要な経費 ③介護ロボット機器を用いて得られる情報を介護記録にシステム連動させるために必要な経費</p> <p>2 補助金の交付額 (1) 介護ロボットを導入する事業 ①機器1台につき、補助対象経費の支出額に4分の3を乗じた額（千円未満切捨てとする。）と、基準額とを比較して、少ない方の額を補助額とする。 ○基準額 ・移乗支援又は入浴支援…100万円 ・上記以外…30万円 ②1回あたりの履歴台数は、利用定員数の2割の数（1台未満は切り上げとする。）とする。 (2) 通信環境を整備する事業 1事業所につき、補助対象経費に4分の3を乗じた額（千円未満切捨てとする。）と、150万円とを比較して、少ない方の額を補助額とする。</p> <p>3 条件 介護従事者の負担軽減のための介護ロボット導入等計画を作成すること。</p>	2021年7月2日～8月末	採択件数：未定 総額（予定）：245,068,000円	採択件数：100件 総額：194,873,000円	保健医療介護部高齢者地域包括ケア推進課介護人材確保対策室 担当者 電話番号 092-643-3327 FAX番号 092-643-3253 E-mail kaigojinzai@pref.fukuoka.lg.jp http://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/kaigorobotto03.html

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口	
									部署	担当者
2	「令和3年度 介護ロボットエキスパート養成講座」	福岡市 保健福祉局 高齢社会政策課	介護ロボット等に対する認識を深め、具体的な活用方法を学ぶことで、現場の職員の負担を軽減するとともに、介護の質を高め、職員の定着を促進することを目的として「介護ロボットエキスパート養成講座」を福岡市が実施	福岡市指定介護サービス事業所の経営者層及び現場リーダー層	講座受講料は無料	2021年7月14日～ ～8月4日	予算額 2,000千円	予算額 3,000千円	部署 高齢社会政策課	担当者 電話番号 092-711-4595 FAX番号 092-733-5587 E-mail fukujiin@city.fukuoka.lg.jp HP_URL https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/shakaisanka/health/00/fukushi-jinzai.html
3	「介護ロボット・ICTトライアル導入支援事業の試行に係る支援業務」	福岡市 保健福祉局 高齢社会政策課	介護人材の確保及び定着を図るため、各事業所が介護ロボット・ICTを気軽にトライアル（試用）できる環境を整備し、介護ロボット・ICT機器の導入促進につなげる。	福岡市指定介護サービス事業所	低額料金で試用貸出を実施予定	未定	予算額 4,796千円	なし	部署 担当者 電話番号 092-711-4595 FAX番号 092-733-5587 E-mail fukujiin@city.fukuoka.lg.jp HP_URL https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/shakaisanka/health/00/fukushi-jinzai.html	←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	佐賀県介護現場における先進機器導入支援事業費補助金	佐賀県健康福祉部長寿社 会課	介護現場における先進機器（介護ロボット・ICT）の導入に関する費用について助成	佐賀県内で介護保険法上の指定又は許可を受けた介護サービス事業者	【補助対象範囲】 介護ロボット及びICT導入に係る経費 【補助条件等】 ・ロボット・・・1機器につき導入経費に補助率（1/2、3/4）を乗じて得た額または補助基準額のいずれか低い額 ・ICT・・・対象経費に補助率（1/2、3/4）を乗じて得た額または職員数にのじた上限額のいずれか低い額 ・導入後3年間の報告等 ※詳細については要綱参照	2021年5月27日～ 6月30日	未定 総額（予定） 12,572,000円 （ロボットの み）	30事業所 総額： 17,031,000円 （ロボットの み）	長寿社会課サービス指導担 当 担当者 電話番号 0952-25-7266 FAX番号 0952-25-7265 E-mail kaigohoken@pref.saga.lg.jp HP_URL http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00368618/index.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	感染症対策に資する介護ロボット等導入促進事業	長崎県福祉保健部長寿社 会課	介護施設の職員や利用者間の接触の機会を減らし、新型コロナウイルス等の感染症を防止するため、介護施設の介護ロボット等の導入を支援	以下の全ての要件を見たず事業者 ・長崎県内に所在する介護保険法に基づき指定又は許可を受けた介護サービスを営む事業者。ただし、(介護予防)訪問看護、(介護予防)訪問リハビリテーション、(介護予防)居宅療養管理指導、(介護予防)福祉用具貸与、特定(介護予防)福祉用具販売は除くものとする。 ・県や他事業所から要請があれば、見学等を受け入れ、導入事例を県のホームページで公表することに同意できる事業所。 ・N-CHAT(長崎県独自の健康管理アプリ)、又はこれと同等とみなせる職員・利用者の日々の健康状態を入力し、管理することができるシステムを導入し、活用する事業所。	【補助対象範囲】 移乗支援、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション(見守りに係る通信環境整備等含む)、入浴支援、介護業務支援の介護ロボット、ICT 【補助上限額】 ・共通…補助率3/4、補助上限額1事業所あたり500万円 ・介護ロボット…1機器あたりの上限30万円(移乗、入浴は100万円)。 見守り機器の導入に伴う通信環境整備は介護ロボット補助額と合わせて500万円。 ・ICT…職員数に応じた上限額(最大130万円)。	2021年6月30日～ ～8月10日	<R3募集> 採択件数： 63件(法人) 総額(予定)： 238,993,000円 ※R2予算を繰越 <R3募集> 採択件数： 11～12事業所程度 総額(予定)： 約6千万円	採択件数： 25件(法人) 総額： 210,926,000円	部署 長寿社会課-介護人材確保推進班 担当者 電話番号 095-895-2440 FAX番号 095-895-2576 E-mail kaigoinzai@pref.nagasaki.jp HP_URL http://www.pref.nagasaki.jp/bunru/hukushi-hoken/koreisha/kaigoi/nzaiakakuho/kaigorobo/

←目次に戻る

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	熊本県介護職員勤務環境改善支援事業費（介護ロボット）補助金	熊本県健康福祉部長寿社 会局高齢者支援課	介護ロボットの購入又は見守り機器の導入に伴う通信環境整備に係る経費について支援	介護保険法に基づき指定・許可を受けた熊本県内に所在する事業所	<p>○ 補助対象の介護ロボットの定義は以下のとおり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 移乗介護、移動支援、排泄支援、見守り・コミュニケーション、入浴支援、介護業務支援のいずれかの場面ににおいて使用され、介護従事者の負担軽減効果があること。 ・ 経済産業省が行う「ロボット介護機器開発・導入促進事業」において採択されたロボット、又はセンサー等により外界や自己の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行うロボットであること。 ○ 介護ロボット導入計画を提出すること。 ○ 補助率は4分の3又は2分の1 ・ 移乗、入浴支援は上限100万円 ・ 上記以外は上限30万円 ・ 見守り機器の導入に伴う通信環境整備（工事費含む。）については上限1,500万円 	2021年6月7日～ ～7月7日	<p>採択件数： 約200件</p> <p>総額（予定）： 100,350,000円</p>	<p>採択件数： 78件</p> <p>総額： 47,536,000円</p>	<p>部署 高齢者支援課施設介護班</p> <p>担当者 096-333-2217</p> <p>電話番号 096-384-5052</p> <p>E-mail</p> <p>HP_URL</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	大分県高齢者福祉課	介護サービス事業者が介護ロボットを導入する経費の一部を助成	大分県内において介護サービス事業を行う事業者	介護ロボット使用状況報告書を提出すること 費用の3/4又は1/2を補助 移乗・入浴支援100万円上限 上記以外30万円上限 通信料整備150万円上限	8月2日～9月30日	採択件数： 115台、6事業所 総額（予定）： 44,000,000円	採択件数： 325台、9事業所 総額： 43,738,000円	高齢者福祉課介護サービス 部署 事業班 担当者 電話番号 097-506-2683 FAX番号 097-506-1737 kourei- E-mail kaigoservice@pref.oitai.lg.jp HP_URL

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	労働環境改善に向けた介護ロボット導入支援事業	宮崎県長寿介護課	介護保険施設・事業所における介護ロボットの導入や通信環境の整備に係る経費について補助。	宮崎県内の介護保険施設・事業所（一部対象外のサービスあり）	介護負担を軽減する介護ロボットの新規導入費用又は通信環境整備に係る費用の1/2を補助	2021年6月28日 ～7月21日	総額： 100,000,000円	R2実績 採択件数： 94事業所 総額： 83,133,000円	部署 長寿介護課 担当者 電話番号 0985-26-7058 FAX番号 0985-26-7344 E-mail shisetsu@pref.miyazaki.lg.jp HP_URL https://www.pref.miyazaki.lg.jp/choiu/kenko/kogresha/20200527155104.html

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	鹿児島県高齢者生き生き推進課	介護ロボットを導入する介護老人福祉施設等の介護サービス事業所に介護ロボット導入及び見守り機器の導入に伴う通信環境整備費用の一部を補助	介護保険法に基づきすべてのサービスの対象者を行う事業所	<p>○補助率 費用の3/4(一定の要件を満たす場合)又は1/2を補助 (条件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用し、従前の介護職員等の人員体制の効率化を行うことを予定していること。 ・利用者のケアの質の維持・向上や職員の休憩時間の確保等の負担軽減に資する取組を行うことを予定していること。 <p>○補助上限額 移乗・入浴支援100万円上限 上記以外30万円上限 通信環境整備150万円上限</p> <p>○補助上限台数 定員の2割まで</p>	令和3年10月11日～ 令和3年10月17日	未定	<p>ロボット：366台 通信環境整備：23式</p> <p>補助総額： 60,858千円</p>	<p>部署 担当者</p> <p>電話番号 099-286-2687</p> <p>FAX番号 099-286-5554</p> <p>E-mail k-igyo@pref.kagoshima.lg.jp</p> <p>HP_URL https://www.pref.kagoshima.jp/index.html</p>

[←目次に戻る](#)

No.	事業の名称	実施団体	事業内容	対象者	範囲または条件	公募期間	R3予定	R2実績	連絡窓口
1	介護ロボット導入支援事業	沖縄県	事業所等が、介護従事者の身体的負担の軽減や業務の効率化等を図るため、介護ロボットを導入する場合に、経費の一部を助成を助成	沖縄県内に於いて介護サービス事業を営む事業者（一部対象外のサービス事業者あり）	「地域医療総合確保基金（介護従事者の確保に関する事業）における「管理者等に対する雇用管理改善方策普及・促進事業」の実施について」別紙1にあるロボット 総費用の1/2を補助（従前の介護職員等の人員体制の効率化を予定する等、一定の要件を満たす場合は3/4） ※補助上限額：移乗支援100万、その他30万	令和3年10月25日（月） ～令和3年11月22日（月）	採択件数： 9件 総額（予定）： 6,000,000円	採択件数： 9事業所 総額： 6,114,000円	部署 高齢者福祉介護 担当者 電話番号 098-866-2214 FAX番号 098-862-6325 E-mail HP_URL https://www.pref.okinawa.jp/site/kodomo/korei/zaitaku/roboto.html

← 目次に戻る

7. 介護ロボット導入支援事業等の実施状況調査 調査票

回答期限：令和3年12月17日（金）

介護ロボット導入支援事業の実施状況調査

【基本情報】

都道府県名		記入担当部署・係	
連絡先	TEL :	E-mail :	

I. **令和2年度** 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について（当初予算）

1. 令和2年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について、 当初予算での実施状況および実績を以下にご回答ください。		
(1) 当初予算での応募を実施したか	<input type="radio"/> 1. 実施した <input type="radio"/> 2. 実施しなかった	
「2. 実施しなかった」を選択した場合、以下は回答不要です。IIへお進みください		
(2) 補助対象の上限額の設定内容とその理由について教えてください。	【上限額】国の実施要綱 1 機器あたり上限30万円 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限150万円 補助上限台数：1事業所あたり利用定員2割まで 補助率：対象経費の1/2	
※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください	1 機器あたり 上限額及び補助率	<input type="radio"/> 上限30万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円) <input type="radio"/> 1/2 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
	見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備 上限額及び補助率	<input type="radio"/> 上限150万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円) <input type="radio"/> 1/2 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
	補助上限台数	<input type="radio"/> 1事業所あたり利用定員2割まで 上記以外の制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
	独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください
	【理由】 （あてはまる全てに☑を入れてください）	
<input type="checkbox"/> 1. 国の実施要綱を基に実施しているため <input type="checkbox"/> 2. 予算が限られているため <input type="checkbox"/> 3. 他の補助事業と同じ基準にしている	<input type="checkbox"/> 4. その他 ↓具体的に	

<p>(3) 採択した計画件数をそれぞれ教えてください。</p>	<p>注) 件数のカウント方法について 原則、1 事業所が同時に計画するものについては、導入機器の数・種類に関わらず 1 件としてカウントしてください。ただし、以下のような場合は複数件とします。 ① 1 事業所が、時期をずらして異なる機器の申請を行っている場合 ② 1 事業所が、機器導入と通信環境整備を分けて計画している場合</p> <p>施設・居住系の計画件数 (<input type="text"/>) 件 在宅系の計画件数 (<input type="text"/>) 件 ※ I - 2の計画件数と同じになるようにしてください ※ I - 3の計画件数と同じになるようにしてください</p>
<p>(4) 令和 2 年度当初予算執行額を教えてください。</p>	<p>(<input type="text"/>) 千円 ※左記には国からの交付分と都道府県負担分を合算した数値を記入ください</p>

II. **令和2年度** 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について（1次補正予算）

1. 令和2年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について、 1次補正予算での実施状況および実績を以下にご回答ください。		
(1) 1次補正予算での応募を実施したか	<input type="radio"/> 1. 実施した <input type="radio"/> 2. 実施しなかった	
「2. 実施しなかった」を選択した場合、以下は回答不要です。IIIへお進みください		
(2) 補助対象の上限額の設定内容とその理由について教えてください。 ※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください	【上限額】国の実施要綱 移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援は、1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円 補助上限台数：必要台数（制限の撤廃） 補助率：都道府県の裁量により設定（負担率は設定することを条件）	
	移乗支援（装着型・非装着型） 上限額及び補助率	<input type="radio"/> 上限100万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円) (割)
	入浴支援 上限額及び補助率	<input type="radio"/> 上限30万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円) (割)
	上記以外の機器 上限額及び補助率	<input type="radio"/> 上限750万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円) (割)
	見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備 上限額及び補助率	<input type="radio"/> 上限750万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円) (割)
	補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>
	【理由】 （あてはまる全てに☑を入れてください）	
	<input type="checkbox"/> 1. 国の実施要綱を基に実施しているため <input type="checkbox"/> 2. 予算が限られているため <input type="checkbox"/> 3. 他の補助事業と同じ基準にしている	<input type="checkbox"/> 4. その他 ↓具体的に <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
	(3) 採択した計画件数をそれぞれ教えてください。	注）件数のカウント方法について 原則、1事業所が同時に計画するものについては、導入機器の数・種類に関わらず1件としてカウントしてください。ただし、以下のような場合は複数件とします。 ① 1事業所が、時期をずらして異なる機器の申請を行っている場合 ② 1事業所が、機器導入と通信環境整備を分けて計画している場合
施設・居住系の計画件数 () 件 在宅系の計画件数 () 件 ※ II-2の計画件数と同じになるようにしてください ※ II-3の計画件数と同じになるようにしてください		
(4) 令和2年度1次補正予算執行額を教えてください。	() 千円 ※左記には国からの交付分と都道府県負担分を合算した数値を記入ください	

Ⅲ. **令和2年度** 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について (3次補正予算)

1. 令和2年度の地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実績について、 3次補正予算での実施状況および実績を以下にご回答ください。		
(1) 3次補正予算での応募を実施したか	<input type="radio"/> 1. 実施した <input type="radio"/> 2. 実施しなかった	
「2. 実施しなかった」を選択した場合、以下は回答不要です。IVへお進みください		
(2) 補助対象の上限額の設定内容とその理由について教えてください。 ※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください	【上限額】国の実施要綱 移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援は、1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円 補助上限台数：必要台数（制限の撤廃） 補助率：一定の要件※を満たす事業所は、3/4を下限に都道府県の裁量により設定。 それ以外の事業所は1/2を下限に都道府県の裁量により設定 ※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合	
	一定の要件を満たす事業所	
	移乗支援（装着型・非装着型） 入浴支援	<input type="radio"/> 上限100万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円)
	上限額及び補助率	<input type="radio"/> 3/4 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
	上記以外の機器	<input type="radio"/> 上限30万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円)
	上限額及び補助率	<input type="radio"/> 3/4 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
	見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備	<input type="radio"/> 上限750万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円)
	上限額及び補助率	<input type="radio"/> 3/4 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <div style="border: 1px solid black; height: 40px; width: 100%;"></div>	

それ以外の事業所	
移乗支援 (装着型・非装着型) 入浴支援	<input type="radio"/> 上限100万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 1/2 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
上記以外の機器	<input type="radio"/> 上限30万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 1/2 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
見守りセンサーの導入 に伴う通信環境整備	<input type="radio"/> 上限750万円 <input type="radio"/> 左記以外 → (万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 1/2 <input type="radio"/> 左記以外 → (割)
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <input type="text"/>
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <input type="text"/>
【理由】 (あてはまる全てに☑を入れてください)	
<input type="checkbox"/> 1. 国の実施要綱を基に実施しているため <input type="checkbox"/> 2. 予算が限られているため <input type="checkbox"/> 3. 他の補助事業と同じ基準にしている	<input type="checkbox"/> 4. その他 ↓具体的に <input type="text"/>
(3) 採択した計画件数を それぞれ教えてください。	注) 件数のカウント方法について 原則、1事業所が同時に計画するものについては、導入機器の数・種類に関わらず1件としてカウントしてください。ただし、以下のような場合は複数件とします。 ① 1事業所が、時期をずらして異なる機器の申請を行っている場合 ② 1事業所が、機器導入と通信環境整備を分けて計画している場合
一定の要件を満たす事業所の計画 施設・居住系の計画件数 () 件 それ以外の事業所の計画 施設・居住系の計画件数 () 件 ※Ⅲ-2の計画件数と同じになるようにしてください	一定の要件を満たす事業所の計画 在宅系の計画件数 () 件 それ以外の事業所の計画 在宅系の計画件数 () 件 ※Ⅲ-3の計画件数と同じになるようにしてください
(4) 令和2年度3次補正 予算執行額を教えてください。	() 千円 ※左記には国からの交付分と都道府県負担分を合算した数値を記入ください

IV. 令和3年度 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」の実施概況について

1 「介護ロボット導入支援事業」を実施しましたか。	① 令和3年度の実施状況 <input checked="" type="radio"/> 1. 実施した <input type="radio"/> 2. 実施しなかった ② 「2. 実施しなかった」を選択した場合、その理由を教えてください。		
	理由		
2 「介護ロボット導入支援事業」を来年度実施する予定はありますか。	<input checked="" type="radio"/> 1. 来年度実施を予定している <input type="radio"/> 2. 実施の予定はない		
3 「ICT導入支援事業」を実施しましたか。	① 令和3年度の実施状況 <input checked="" type="radio"/> 1. 実施した <input type="radio"/> 2. 実施しなかった ② 「2. 実施しなかった」を選択した場合、その理由を教えてください。		
	理由		
4 上記3で「1. 実施した」と回答した場合、右記の実績について教えてください。	介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行うロボット・センサー・ICTの導入支援 (1定員あたり42万円：特養、老健、認知症GH、介護付きホームの例)	件	円
5 「ICT導入支援事業」を来年度実施する予定はありますか。	<input checked="" type="radio"/> 1. 来年度実施を予定している <input type="radio"/> 2. 実施の予定はない		
1 ①で「2. 実施しなかった」と回答した場合は、Vへお進みください。			
6 令和3年度の事業の実施状況について、教えてください。	公募開始時期	()月()日から	
	公募終了(予定)時期	()月()日まで	
	⇒追加募集を行った、または行う予定の場合はその実施状況についても教えてください。		
	追加公募開始(予定)時期	()月()日から	
	追加公募終了(予定)時期	()月()日まで	

7 令和3年度の補助対象それぞれの上限額や補助率などの設定内容とその理由について教えてください。

※必ず上限額と補助率の両方をご回答ください

【上限額】国の実施要綱
 移乗支援（装着型・非装着型）、入浴支援は、1機器あたり上限100万円、その他は上限30万円
 見守りセンサーの導入に伴う通信環境整備：1事業所あたり上限750万円
 補助上限台数：必要台数（制限の撤廃）
 補助率：一定の要件※を満たす事業所は、3／4を下限に都道府県の裁量により設定。
 それ以外の事業所は1／2を下限に都道府県の裁量により設定
 ※導入計画書において目標とする人員配置を明確にした上で、見守りセンサーやインカム、介護記録ソフト等の複数の機器を導入し、職員の負担軽減等を図りつつ、人員体制を効率化させる場合

一定の要件を満たす事業所

移乗支援 (装着型・非装着型) 入浴支援	<input type="radio"/> 上限100万円	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 3／4	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 割)
上記以外の機器	<input type="radio"/> 上限30万円	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 3／4	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 割)
見守りセンサーの導入 に伴う通信環境整備	<input type="radio"/> 上限750万円	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 3／4	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 割)
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <input type="text"/>		
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <input type="text"/>		

それ以外の事業所

移乗支援 (装着型・非装着型) 入浴支援	<input type="radio"/> 上限100万円	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 1／2	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 割)
上記以外の機器	<input type="radio"/> 上限30万円	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 1／2	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 割)
見守りセンサーの導入 に伴う通信環境整備	<input type="radio"/> 上限750万円	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 万円)
上限額及び補助率	<input type="radio"/> 1／2	<input type="radio"/> 左記以外	→ (<input type="text"/> 割)
補助上限台数	制限を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <input type="text"/>		
独自の基準	上記以外に独自の基準を設けている場合は以下の欄へ具体的に記入ください <input type="text"/>		

	<p>【理由】（あてはまる全てに☑を入れてください）</p> <p><input type="checkbox"/> 1. 国の実施要綱を基に実施しているため</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 予算が限られているため</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 他の補助事業と同じ基準にしている</p> <p><input type="checkbox"/> 4. その他 ↓具体的に</p>		
<p>8 令和3年度の導入支援事業の対象とする分野※を限定していますか。</p> <p>※厚生労働省が経済産業省と共通して定める以下の6分野のこと</p> <p>①移乗支援 ②移動支援 ③排泄支援 ④見守り・コミュニケーション ⑤入浴支援 ⑥介護業務支援</p>	<p><input type="radio"/> 1. 支援分野を限定していない</p> <p><input type="radio"/> 2. 支援分野を限定している → 支援対象としている分野を以下より選択してください。 また、限定しているのはどのような理由ですか。</p> <p><input type="checkbox"/> ①移乗支援 <input type="checkbox"/> ②移動支援 <input type="checkbox"/> ③排泄支援 <input type="checkbox"/> ④見守り・コミュニケーション <input type="checkbox"/> ⑤入浴支援 <input type="checkbox"/> ⑥介護業務支援</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">理由</td> <td></td> </tr> </table>	理由	
理由			
<p>9 令和3年度（11月末まで）に提出された介護ロボット導入計画はそれぞれ何件ですか。</p>	<p>注）件数のカウント方法について【設問9～11共通】 原則、1事業所が同時に計画するものについては、導入機器の数・種類に関わらず1件としてカウントしてください。ただし、以下のような場合は複数件とします。</p> <p>① 1事業所が、時期をずらして異なる機器の申請を行っている場合 ② 1事業所が、機器導入と通信環境整備を分けて計画している場合</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> </td> </tr> </table>	<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p>	<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p>
<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p>	<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p>		
<p>10 上記9のうち導入支援事業の対象として認めた計画はそれぞれ何件ですか。</p>	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>※IV-19の計画件数と同じになるようにしてください</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>※IV-20の計画件数と同じになるようにしてください</p> </td> </tr> </table>	<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>※IV-19の計画件数と同じになるようにしてください</p>	<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>※IV-20の計画件数と同じになるようにしてください</p>
<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>施設・居住系の計画件数 () 件</p> <p>※IV-19の計画件数と同じになるようにしてください</p>	<p>一定の要件を満たす事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>それ以外の事業所の計画</p> <p>在宅系の計画件数 () 件</p> <p>※IV-20の計画件数と同じになるようにしてください</p>		
<p>11 上記10の件数は、令和2年度に対象と認めた件数の実績と比較して変動はありましたか。</p>	<p><input type="radio"/> 1. 変わらない <input type="radio"/> 2. 増えた <input type="radio"/> 3. 減った</p> <p>⇒その理由についても教えてください。（自由記述）</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">理由</td> <td></td> </tr> </table>	理由	
理由			

<p>12 令和3年度（11月未まで）の応募状況および対応状況について教えてください。</p>	<p>【応募状況】</p> <p><input type="radio"/> 1. 予算額に満たない応募があった（当初予算の90%未満）</p> <p><input type="radio"/> 2. 当初の予算額とほぼ同額の応募があった（当初予算の90%～110%未満）</p> <p><input type="radio"/> 3. 当初の予算額を大きく超える応募があった（当初予算の110%以上）</p> <p>【対応状況】上記、応募状況を踏まえたその後の対応状況についても教えてください。</p> <p><input type="radio"/> 1. 当初の予算内で対応できる範囲で採択した</p> <p><input type="radio"/> 2. 予算を増額して採択した</p> <p><input type="radio"/> 3. その他（ ）</p>
<p>13 令和3年度（11月未まで）の応募の中で、認められない計画があった場合、どんな理由でしたか。</p>	<p><input type="radio"/> 1. 介護ロボットの技術的3要素（センサー系、知能・制御系、駆動系）を満たしていない</p> <p><input type="radio"/> 2. その他 ↓具体的に</p> <p>理由</p>
<p>14 令和3年度執行見込額を記載ください。</p>	<p>（ ）千円 ※左記には国からの交付分と都道府県負担分を合算した数値を記入ください</p>
<p>15 介護ロボットの効果的な活用に関する支援を行っていますか。</p>	<p><input type="radio"/> 1. 介護事業所に対する業務改善支援事業で実施している →予算額（ ）千円</p> <p><input type="radio"/> 2. 上記以外で実施している ※国からの交付分+都道府県負担分</p> <p><input type="radio"/> 3. 実施していない</p> <p>⇒どのような支援を行っていますか。（自由記述）（具体的に記載してください。）</p>
<p>16 補助事業を円滑に遂行するために必要とする情報は何か。</p>	<p><input type="checkbox"/> 1. 介護ロボットに関する機器情報</p> <p><input type="checkbox"/> 2. 介護ロボットの対象範囲</p> <p><input type="checkbox"/> 3. 介護ロボットの活用事例</p> <p><input type="checkbox"/> 4. 展示会や研修会の開催情報</p> <p><input type="checkbox"/> 5. 介護ロボットに関するヒヤリハット情報</p> <p><input type="checkbox"/> 6. その他 ↓具体的に</p>
<p>17 次年度（令和4年度）以降は「介護ロボット導入支援事業」をどのように実施したいとお考えですか。</p>	<p><input type="radio"/> 1. 今年と同様に実施</p> <p><input type="radio"/> 2. 内容をより充実させて実施 → 具体的な内容を記載してください。 （ ）</p> <p><input type="radio"/> 3. テーマ、分野を絞って実施 → 具体的な内容を記載してください。 （ ）</p> <p><input type="radio"/> 4. 実施しない → 理由を記載してください。 （ ）</p>
<p>18 本事業へのご意見や事業所からの反応などございましたら、ご記載ください。</p>	

V. その他の介護ロボット開発・普及の促進に関する事業について

1 地域医療介護総合確保基金による「介護ロボット導入支援事業」以外に実施している介護ロボット開発・普及の促進に関する事業を実施していますか。

1. 実施した 2. 実施していない（令和4年度実施予定がある） 3. 実施していない

2 介護ロボット開発・普及の促進に関する事業の内容等についてお知らせください。
また、管内の区市町村が独自に実施している事業についても、把握している範囲でお知らせください。

（1）開発に関する支援事業について

		令和4年度
開発 支援1	事業名	
	予算額	千円
	事業内容	
	対象者	
	対象人数 (対象社数)	
	予定	
開発 支援2	事業名	
	予算額	千円
	事業内容	
	対象者	
	対象人数 (対象社数)	
	予定	
開発 支援3	事業名	
	予算額	千円
	事業内容	
	対象者	
	対象人数 (対象社数)	
	予定	
開発 支援4	事業名	
	予算額	千円
	事業内容	
	対象者	
	対象人数 (対象社数)	
	予定	

(2) 導入に関する支援事業について

		令和4年度	
導入 支援1	事業名		
	予算額	千円	
	事業内容		
	対象者		
	対象人数 (対象社数)		
	予定		
導入 支援2	事業名		
	予算額	千円	
	事業内容		
	対象者		
	対象人数 (対象社数)		
	予定		

(3) 普及・啓発に関する支援事業について

		令和2年度	令和3年度		令和4年度	
普及・ 啓発 支援1	事業名		事業名		事業名	
	執行額	千円	予算額	千円	予算額	千円
	事業内容		事業内容		事業内容	
	対象者		対象者		対象者	
	対象人数 (対象社数)		対象人数 (対象社数)		対象人数 (対象社数)	
	実績		実績見込み		予定	
普及・ 啓発 支援2	事業名		事業名		事業名	
	執行額	千円	予算額	千円	予算額	千円
	事業内容		事業内容		事業内容	
	対象者		対象者		対象者	
	対象人数 (対象社数)		対象人数 (対象社数)		対象人数 (対象社数)	
	実績		実績見込み		予定	

普及・啓発支援3	事業名		事業名		事業名	
	執行額	千円	予算額	千円	予算額	千円
	事業内容		事業内容		事業内容	
	対象者		対象者		対象者	
	対象人数 (対象社数)		対象人数 (対象社数)		対象人数 (対象社数)	
	実績		実績見込み		予定	

VI.その他、介護ロボットに関するイベントや会議等の開催状況について

1	令和3年度に管内で開催された（または予定している）介護ロボットの展示等を含むイベントの名称等について、把握している範囲で教えてください。 ※厚生労働省「福祉用具・介護ロボット実用化支援事業」介護ロボット地域フォーラム2021の開催は除きます。						
	イベント名称	開催日	開催場所 (市町村)	主催者	来場者	出展者数	運営費に対する 公的資金の 投入有無
①					人	社	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無
②					人	社	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無
③					人	社	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無
④					人	社	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無
⑤					人	社	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無
⑥					人	社	<input type="radio"/> 1. 有 <input type="radio"/> 2. 無
2	管内において、介護ロボット等の介護機器の開発に向けた、介護現場と開発企業による意見交換の場はありますか。把握している範囲で教えてください。 ※厚生労働省委託事業における「介護ロボット開発・実証・普及プラットフォーム」にかかる事業は除きます。						
	会議体の名称	事務局 (団体・組織名)	開催頻度 (月1回程度など)	介護現場 参加施設・事業者数	開発企業 参加企業数	その他 教育機関・自治体など	
①				件	社	件	
②				件	社	件	

Ⅶ. 地域医療介護総合確保基金による令和3年度「介護事業所に対する業務改善支援」の実施概況について

1 「介護事業所に対する業務改善支援」事業を実施しましたか。	令和3年度の実施状況 <input checked="" type="radio"/> 1. 実施した <input type="radio"/> 2. 実施しなかった									
2 上記1で「1. 実施した」と回答した場合、その実績について教えてください。	支援内容		件数	補助額						
	① 第三者による生産性向上の取組の支援 ・ガイドラインに基づき、職場環境の改善等に係る支援について知識・経験を有する第三者が、対象となる介護事業所において実地による個別支援を実施する。 ・1事業所あたり対象経費の1/2以内（上限30万円）	件	円							
	② 介護現場革新会議に係る支援：介護現場革新会議の開催 ・都道府県又は市町村において、管内の介護関係団体や有識者等と「介護現場革新会議」を開催し、地域における介護現場の課題に即した対応方針を策定する ・介護現場革新会議の開催に伴う必要な経費（会場借り上げ費用及び委員の旅費・謝金）	件	円							
	③ 介護現場革新会議に係る支援：地域のモデル施設の育成 ・業務改善に取組むモデル施設を選定し、その取組に必要な支援を実施する ・1事業所あたり対象経費の1/2以内（上限500万円）	件	円							
	④ 介護現場革新会議に係る支援：介護業界のイメージ改善、その他 ・中高生等に対する介護職の魅力発信等による新規介護人材の確保や、介護職員の永年勤続表彰等の介護人材の定着支援を実施する ・介護助手の活用支援や外国人人材の活用など、業務改善や人材確保に資する支援を実施する ・介護業界のイメージ改善及びその他に関する事業を実施するための必要な経費（会場設営費や有識者への旅費・謝金等）									
<table border="1" data-bbox="432 1176 1302 1352"> <thead> <tr> <th data-bbox="432 1176 1302 1220">実施事業名</th> <th data-bbox="1302 1176 1495 1220">補助額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="432 1220 1302 1265"></td> <td data-bbox="1302 1220 1495 1265">円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1265 1302 1310"></td> <td data-bbox="1302 1265 1495 1310">円</td> </tr> <tr> <td data-bbox="432 1310 1302 1352"></td> <td data-bbox="1302 1310 1495 1352">円</td> </tr> </tbody> </table>	実施事業名	補助額		円		円		円		
実施事業名	補助額									
	円									
	円									
	円									

ご協力いただきありがとうございました。